

**産業人材不足対策に資する
介護人材不足対策に係る調査業務
報告書
介護労働者編**

令和2年3月

目次

1. 調査結果（労働者）	1
全体集計（労働者）	1
①居宅介護支援	22
②訪問介護	41
③訪問入浴介護	60
④訪問看護	79
⑤訪問リハビリテーション	98
⑥通所介護	117
⑦通所リハビリテーション	136
⑧短期入所生活介護	155
⑨短期入所療養介護	174
⑩特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	193
⑪福祉用具貸与	212
⑫定期巡回・随時対応型訪問介護看護	231
⑬夜間対応型訪問介護	250
⑭地域密着型通所介護	269
⑮認知症対応型通所介護	288
⑯小規模多機能型居宅介護	307
⑰認知症対応型共同生活介護	326
⑱地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	345
⑲看護小規模多機能型居宅介護	364
⑳介護予防支援	383
㉑介護老人福祉施設入所者生活介護	402
㉒介護老人保健施設	421
㉓介護療養型医療施設	440
㉔介護医療院	459
2. 自由回答	478
3. 調査票	543

1 . 調 査 結 果 (労働者)

1. 調査結果（労働者）

全体集計（労働者）

回収者数 3,254

介護労働者向けの回答者数は以下の通りとなっている。

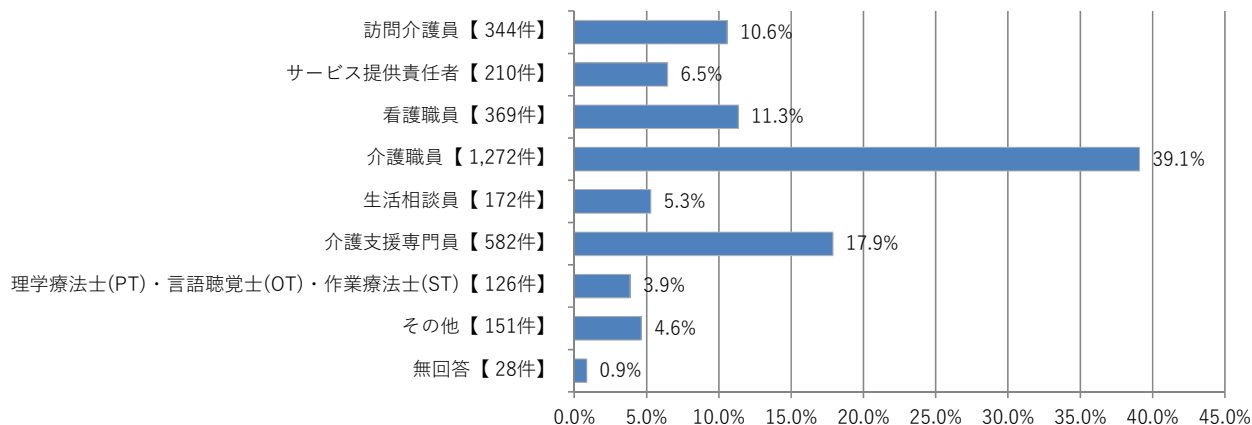
項目	回答者数
1 居宅介護支援	537
2 訪問介護	530
3 訪問入浴介護	10
4 訪問看護	246
5 訪問リハビリテーション	30
6 通所介護	367
7 通所リハビリテーション	105
8 短期入所生活介護	38
9 短期入所療養介護	11
10 特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104
11 福祉用具貸与	84
12 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103
13 夜間対応型訪問介護	7
14 地域密着型通所介護	188
15 認知症対応型通所介護	56
16 小規模多機能型居宅介護	172
17 認知症対応型共同生活介護	294
18 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19
19 看護小規模多機能型居宅介護	47
20 介護予防支援	45
21 介護老人福祉施設入所者生活介護	104
22 介護老人保健施設	109
23 介護療養型医療施設	8
24 介護医療院	6
無回答	34
合計	3,254

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が39.1%と最も多く、次いで、「介護支援専門員」が17.9%、「看護職員」が11.3%、「訪問介護員」が10.6%となっている。

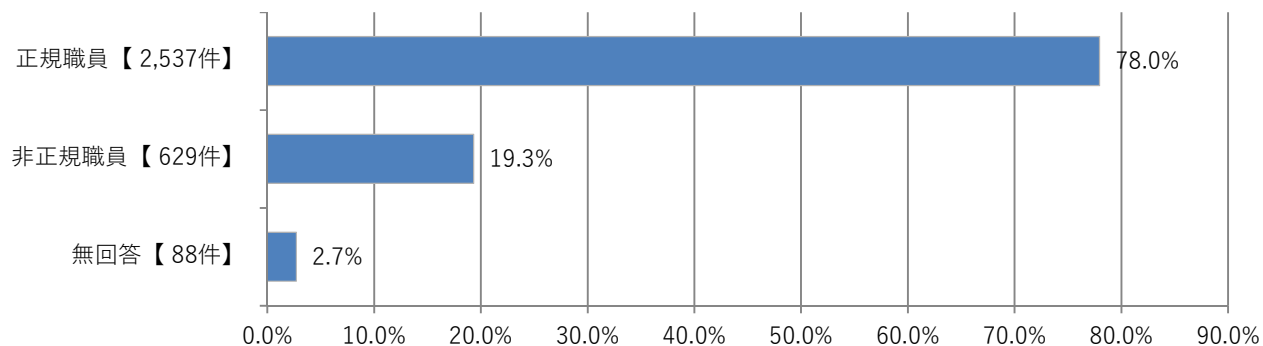
図表 0-1-1 (N=3,254)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が78.0%、「非正規職員」が19.3%となっている。

図表 0-1-2 (N=3,254)

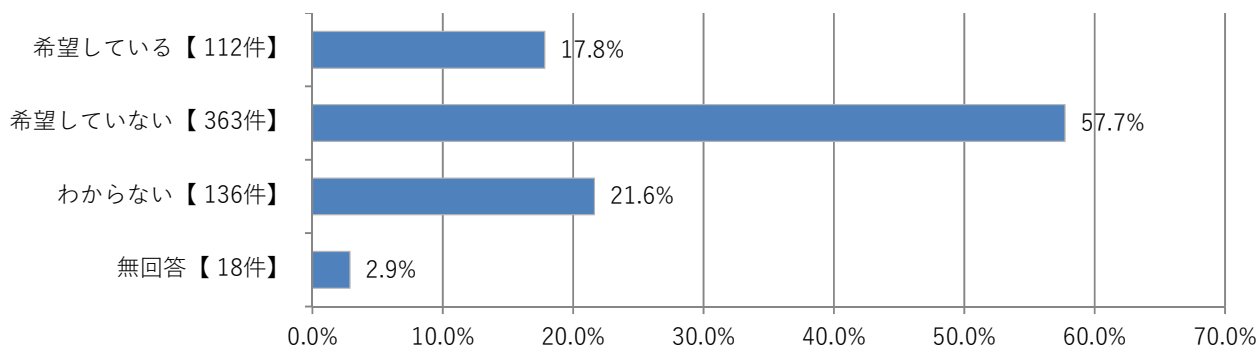


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望している」が17.8%、「希望していない」が57.7%、「わからない」が21.6%となっている。

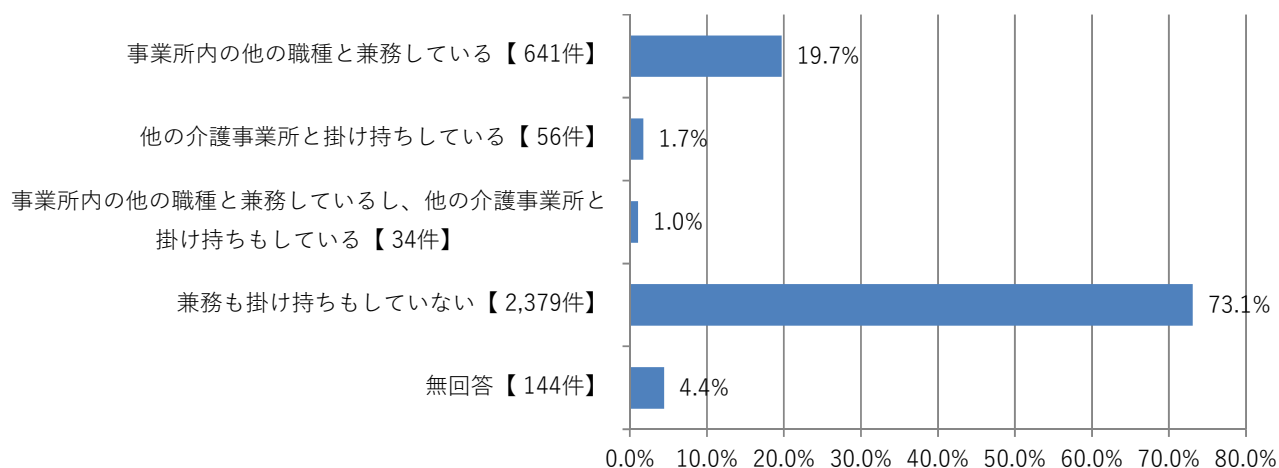
図表 0-1-3（N=629）



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が73.1%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が19.7%、「他の事業所と掛け持ちしている」が1.7%、「事業所内の他の職種と兼務しているし、他の介護事業所と掛け持ちもしている」が1.0%となっている。

図表 0-1-4（N=629）



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が11.6年となっており、「正規職員」が11.6年、「非正規職員」が12.0年となっている。

図表 0-1-5（N=3,254）

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
全体（年）	3,254	11.6	11.6	12.0	11.2

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が6.1年、「正規職員」が6.3年、「非正規職員」が5.2年となっている。

図表 0-1-6（N=3,254）

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
全体（年）	3,254	6.1	6.3	5.2	5.7

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.9日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が4.2日となっている。

図表 0-2-1 (N=3,254)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
全体	3,254	4.9	5.0	4.2	4.8
訪問介護員	344	4.7	5.0	4.1	4.5
サービス提供責任者	210	5.0	5.1	4.8	5.3
看護職員	369	4.7	5.1	3.9	4.9
介護職員	1,272	4.8	5.0	4.2	4.5
生活相談員	172	5.0	5.0	4.9	5.0
介護支援専門員	582	5.0	5.1	4.0	5.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	126	5.0	5.0	4.0	-
その他	151	5.1	5.1	4.6	5.1
無回答	28	4.6	5.7	3.3	4.7

その他内訳

福祉用具関連	66
事務関連	14
柔道整復師	14
社会福祉士	9
機能訓練関連	8
管理者	5
保健師	5
計画作成	3
グループホームお手伝い	1
経営者	1
支援相談員	1
鍼灸師	1
ソーシャルワーカー	1
調理	1
包括支援センター	1
不明	20

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が38.1時間、「正規職員」が40.9時間、「非正規職員」が27.2時間となっている。

図表 0-2-2（N=3,254）

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
全体	3,254	38.1	40.9	27.2	38.1
訪問介護員	344	32.2	39.5	20.2	27.5
サービス提供責任者	210	39.7	41.0	30.4	37.4
看護職員	369	35.0	40.3	22.9	40.6
介護職員	1272	38.4	40.3	32.2	34.5
生活相談員	172	40.9	41.3	32.4	43.2
介護支援専門員	582	40.6	42.0	26.4	40.3
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	126	39.9	41.5	22.3	-
その他	151	40.9	42.3	27.8	47.1
無回答	28	37.0	46.3	20.2	38.1

その他内訳

福祉用具関連	66
事務関連	14
柔道整復師	14
社会福祉士	9
機能訓練関連	8
管理者	5
保健師	5
計画作成	3
グループホームお手伝い	1
経営者	1
支援相談員	1
鍼灸師	1
ソーシャルワーカー	1
調理	1
包括支援センター	1
不明	20

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.1時間、「正規職員」が2.4時間、「非正規職員」が0.9時間となっている。

図表 0-2-3（N=3,254）

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
全体	3,254	2.1	2.4	0.9	2.4
訪問介護員	344	1.4	2.0	0.3	1.5
サービス提供責任者	210	2.3	2.3	1.1	6.8
看護職員	369	1.7	2.2	0.7	2.1
介護職員	1272	2.0	2.3	0.9	1.5
生活相談員	172	2.8	2.8	1.3	4.2
介護支援専門員	582	2.7	2.8	1.3	2.9
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	126	1.9	2.0	0.8	-
その他	151	3.6	3.6	3.5	3.5
無回答	28	1.3	4.3	0.0	0.9

その他内訳

福祉用具関連	66
事務関連	14
柔道整復師	14
社会福祉士	9
機能訓練関連	8
管理者	5
保健師	5
計画作成	3
グループホームお手伝い	1
経営者	1
支援相談員	1
鍼灸師	1
ソーシャルワーカー	1
調理	1
包括支援センター	1
不明	20

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が77.7%と最も多く、次いで、「時給」が16.0%、「日給」、「その他」が1.2%となっている。

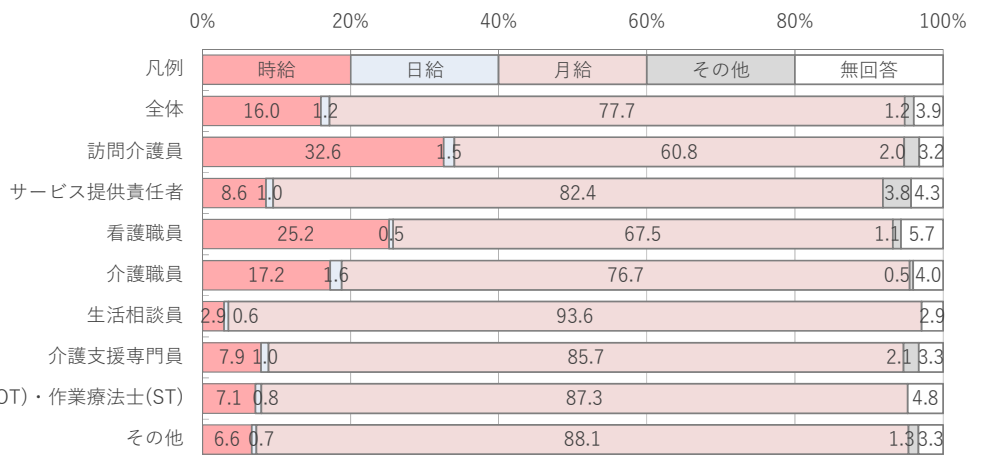
時給の平均は1,089円、日給の平均は7,898円となっている。

図表 0-2-4（N=3,254）

	対象者数	(件)					平均値	
		時給	日給	月給	その他	無回答	時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
全体	3,254	520	38	2,528	40	128	1,089	7,898
訪問介護員	344	112	5	209	7	11	1,084	6,783
サービス提供責任者	210	18	2	173	8	9	962	8,300
看護職員	369	93	2	249	4	21	1,375	8,760
介護職員	1,272	219	20	976	6	51	968	7,657
生活相談員	172	5	1	161	0	5	1,053	-
介護支援専門員	582	46	6	499	12	19	1,139	8,977
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	126	9	1	110	0	6	1,293	9,500
その他	151	10	1	133	2	5	936	-

その他内訳

福祉用具関連	66
事務関連	14
柔道整復師	14
社会福祉士	9
機能訓練関連	8
管理者	5
保健師	5
計画作成	3
グループホームお手伝い	1
経営者	1
支援相談員	1
鍼灸師	1
ソーシャルワーカー	1
調理	1
包括支援センター	1
不明	20



問2（5）1か月当たりの税込み月収 ※通勤手当・残業代・賞与は除く

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が207,864円、「時給」が111,679円、「日給」が156,529円、「その他」が181,685円となっている。

図表 0-2-5 (N=3,254)

	時給			日給			月給		その他		無回答	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円/時間)	平均稼働時間 (時間/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/日)	平均稼働日数 (日/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)
全体	520	111,679	103	40	156,529	21	2,528	207,864	40	181,685	126	155,375
訪問介護員	112	87,069	80	5	160,988	20	209	191,166	7	110,587	11	101,900
サービス提供責任者	18	104,433	109	2	250,000	22	173	208,798	8	253,400	9	110,000
看護職員	93	124,575	91	2	128,120	20	249	248,169	4	220,000	21	196,667
介護職員	219	119,039	123	22	158,688	21	976	195,199	6	142,600	49	199,600
生活相談員	5	149,000	141	1	-	22	161	195,813	0	-	5	-
介護支援専門員	46	114,252	100	6	128,300	22	499	214,693	12	206,833	19	146,667
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	9	111,639	86	1	200,000	22	110	249,388	0	-	6	220,000
その他	10	88,504	95	1	-	22	133	208,173	2	165,000	5	102,000

その他内訳

福祉用具関連	2	-	-	0	-	-	60	-	1	-	3	-
事務関連	6	-	-	0	-	-	8	-	0	-	0	-
柔道整復師	0	-	-	0	-	-	14	-	0	-	0	-
社会福祉士	0	-	-	0	-	-	9	-	0	-	0	-
機能訓練関連	0	-	-	0	-	-	7	-	0	-	1	-
管理者	0	-	-	0	-	-	4	-	0	-	1	-
保健師	0	-	-	0	-	-	5	-	0	-	0	-
計画作成	0	-	-	0	-	-	3	-	0	-	0	-
グループホームお手伝い	1	-	-	0	-	-	0	-	0	-	0	-
経営者	0	-	-	0	-	-	1	-	0	-	0	-
支援相談員	0	-	-	0	-	-	1	-	0	-	0	-
鍼灸師	0	-	-	0	-	-	1	-	0	-	0	-
ソーシャルワーカー	0	-	-	0	-	-	1	-	0	-	0	-
調理	0	-	-	0	-	-	1	-	0	-	0	-
包括支援センター	0	-	-	0	-	-	1	-	0	-	0	-
不明	1	-	-	1	-	-	17	-	1	-	0	-

問2（6）賞与の状況

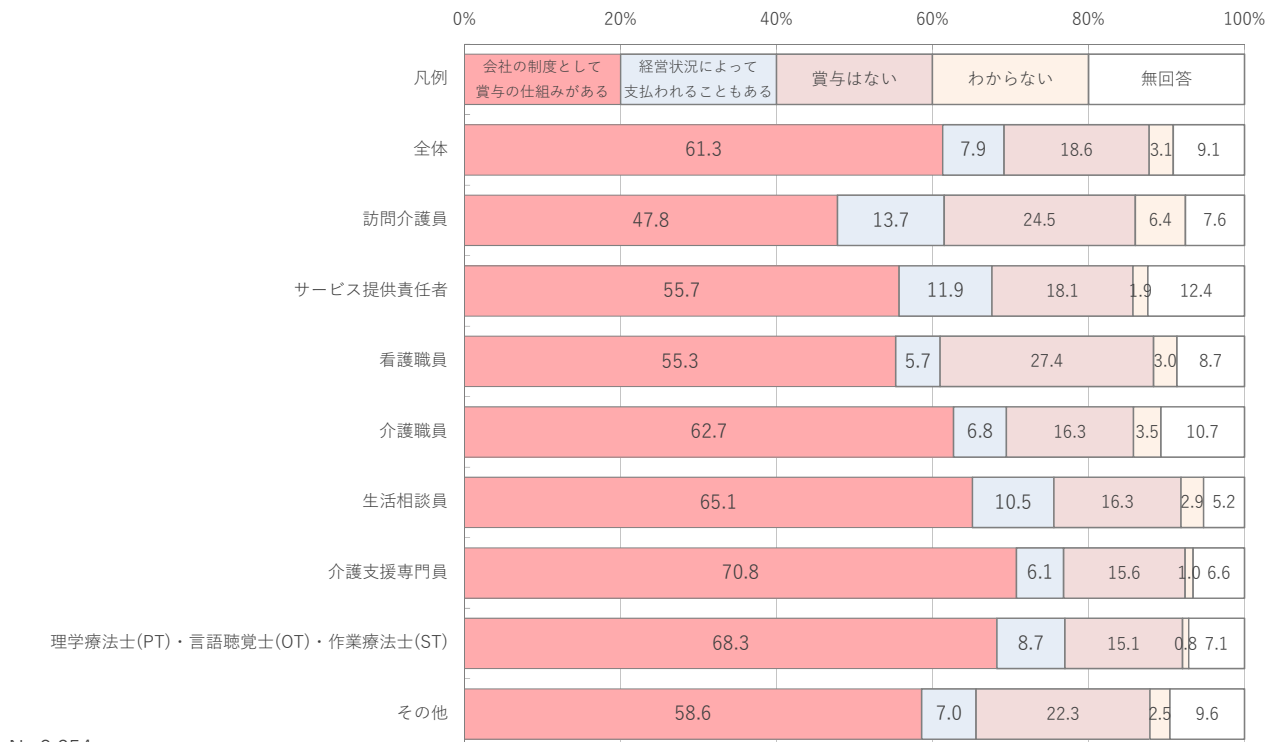
賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 61.3%と最も多く、次いで、「賞与はない」が 18.6%、「経営状況によって支払われることもある」が 7.9%となっている。

図表 0-2-6 (N=3,254)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
全体	3,254	1,995	256	606	100	297	100.0	61.3	7.9	18.6	3.1	9.1
訪問介護員	344	165	47	84	22	26	100.0	48.0	13.7	24.4	6.4	7.6
サービス提供責任者	210	117	25	38	4	26	100.0	55.7	11.9	18.1	1.9	12.4
看護職員	369	204	21	101	11	32	100.0	55.3	5.7	27.4	3.0	8.7
介護職員	1272	797	86	208	45	136	100.0	62.7	6.8	16.3	3.5	10.7
生活相談員	172	112	18	28	5	9	100.0	65.1	10.5	16.3	2.9	5.2
介護支援専門員	582	412	35	91	6	38	100.0	70.8	6.0	15.6	1.0	6.6
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	126	86	11	19	1	9	100.0	68.3	8.7	15.1	0.8	7.1
その他	151	88	11	33	4	15	100.0	58.3	7.3	21.9	2.6	9.9

その他内訳

福祉用具関連	66
事務関連	14
柔道整復師	14
社会福祉士	9
機能訓練関連	8
管理者	5
保健師	5
計画作成	3
グループホームお手伝い	1
経営者	1
支援相談員	1
鍼灸師	1
ソーシャルワーカー	1
調理	1
包括支援センター	1
不明	20



問2（7）賞与の金額 ※平成31年1月～令和元年12月までの年間の合計金額

賞与の金額は、全体平均で 334,552 円となっている。「正規職員」の平均は 358,403 円、「非正規職員」の平均は 121,039 円となっている。

職種別にみると、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が 527,618 円で最も高く、次いで、「その他」が 430,239 円、「看護職員」が 398,854 円、「介護支援専門員」が 387,380 円となっている。

図表 0-2-7 (N=3,254)

	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
全体	3,254	69.2	18.6	3.1	9.1	2,251	334,552	全体	3,254	2,251	606	100	297	2,251
正規職員	2,537	78.2	11.5	2.3	8.0	1,983	358,403	正規職員	2,537	1,983	291	59	204	1,983
非正規職員	629	36.7	47.9	5.2	10.2	231	121,039	非正規職員	629	231	301	33	64	231
無回答	88	42.0	15.9	9.1	33.0	37	390,521	無回答	88	37	14	8	29	37
訪問介護員	344	61.6	24.4	6.4	7.6	212	222,572	訪問介護員	344	212	84	22	26	212
サービス提供責任者	210	67.6	18.1	1.9	12.4	142	341,302	サービス提供責任者	210	142	38	4	26	142
看護職員	369	61.0	27.4	3.0	8.7	225	398,854	看護職員	369	225	101	11	32	225
介護職員	1,272	69.4	16.4	3.5	10.7	883	285,984	介護職員	1,272	883	208	45	136	883
生活相談員	172	75.6	16.3	2.9	5.2	130	327,919	生活相談員	172	130	28	5	9	130
介護支援専門員	582	76.8	15.6	1.0	6.5	447	387,380	介護支援専門員	582	447	91	6	38	447
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	126	77.0	15.1	0.8	7.1	97	527,618	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	126	97	19	1	9	97
その他	151	65.6	21.9	2.6	9.9	99	430,239	その他	151	99	33	4	15	99

その他内訳

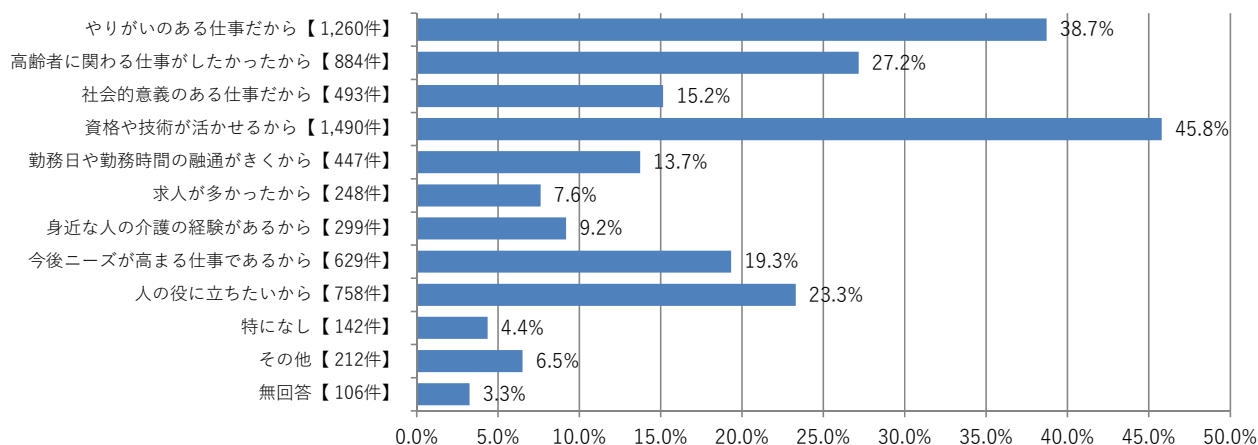
福祉用具関連	66
事務関連	14
柔道整復師	14
社会福祉士	9
機能訓練関連	8
管理者	5
保健師	5
計画作成	3
グループホームお手伝い	1
経営者	1
支援相談員	1
鍼灸師	1
ソーシャルワーカー	1
調理	1
包括支援センター	1
不明	20

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が45.8%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が38.7%、「高齢者に関わる仕事をしたかったから」が27.2%、「人の役に立ちたいから」が23.3%となっている。

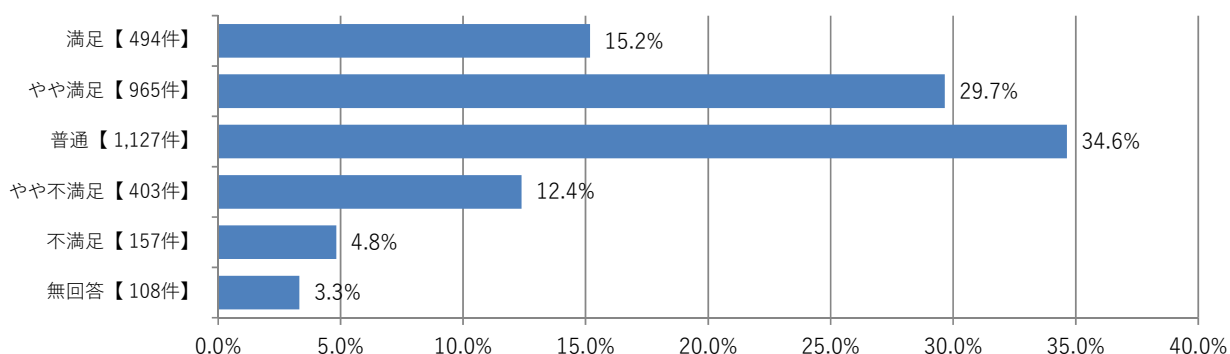
図表 0-3-1 (N=3,254)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が34.6%と最も多く、次いで、「やや満足」が29.7%、「満足」が15.2%、「やや不満足」が12.4%、「不満足」が4.8%となっている。

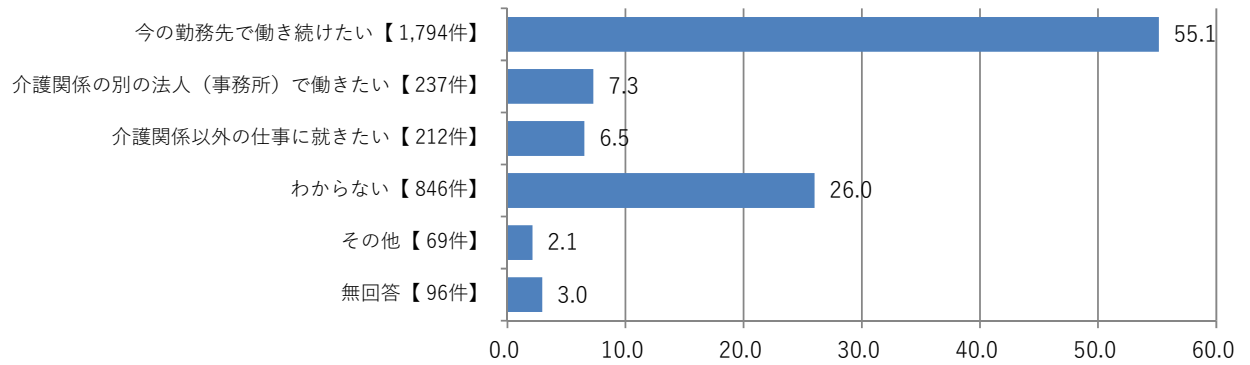
図表 0-3-2 (N=3,254)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が 55.1%、「わからない」が 26.0%、「介護関係の別の法人で働きたい」が 7.3%、「介護関係以外の仕事に就きたい」が 6.5%となっている。

図表 0-3-3 (N=3,254)

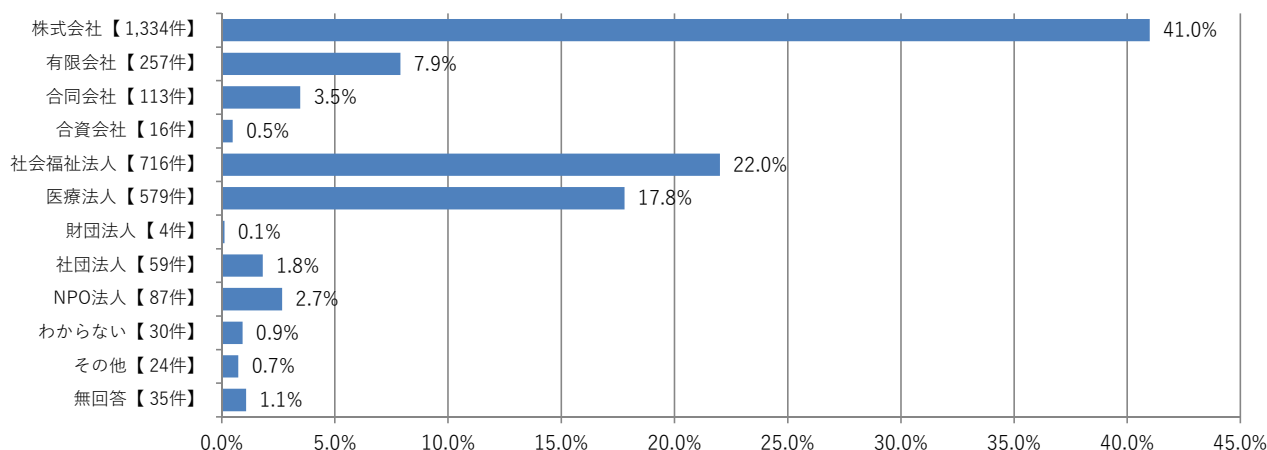


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が41.0%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が22.0%、「医療法人」が17.8%となっている。

図表 0-4-1 (N=3,254)

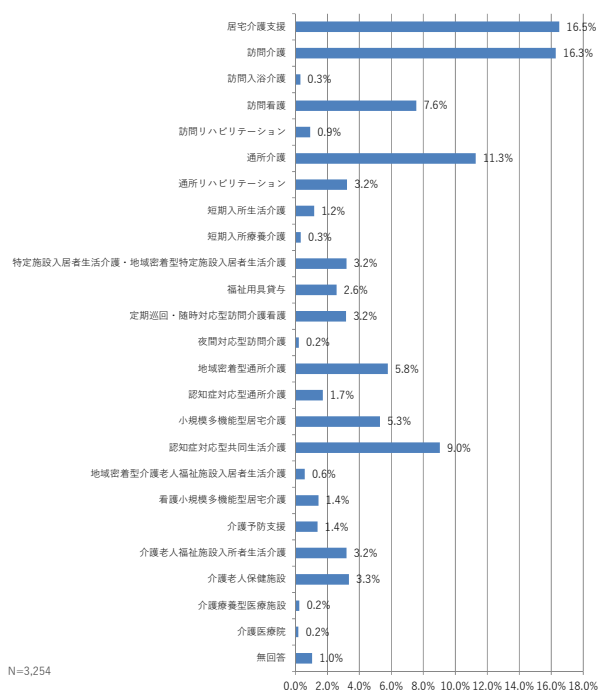


問4（2）あなたが働いている事業所のサービス種別について

働いている事業所のサービス種別は、「居宅介護支援」が16.5%と最も多く、次いで、「訪問介護」が16.3%、「通所介護」が11.3%、「認知症対応型共同生活介護」が9.0%、「訪問看護」が7.6%と続いている。

図表 0-4-2 (N=3,254)

項目	件数 (件)	比率 (%)
居宅介護支援	537	16.5%
訪問介護	530	16.3%
訪問入浴介護	10	0.3%
訪問看護	246	7.6%
訪問リハビリテーション	30	0.9%
通所介護	367	11.3%
通所リハビリテーション	105	3.2%
短期入所生活介護	38	1.2%
短期入所療養介護	11	0.3%
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	3.2%
福祉用具貸与	84	2.6%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	3.2%
夜間対応型訪問介護	7	0.2%
地域密着型通所介護	188	5.8%
認知症対応型通所介護	56	1.7%
小規模多機能型居宅介護	172	5.3%
認知症対応型共同生活介護	294	9.0%
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	19	0.6%
看護小規模多機能型居宅介護	47	1.4%
介護予防支援	45	1.4%
介護老人福祉施設入所者生活介護	104	3.2%
介護老人保健施設	109	3.3%
介護療養型医療施設	8	0.2%
介護医療院	6	0.2%
無回答	34	1.0%
合計	3,254	100.0%

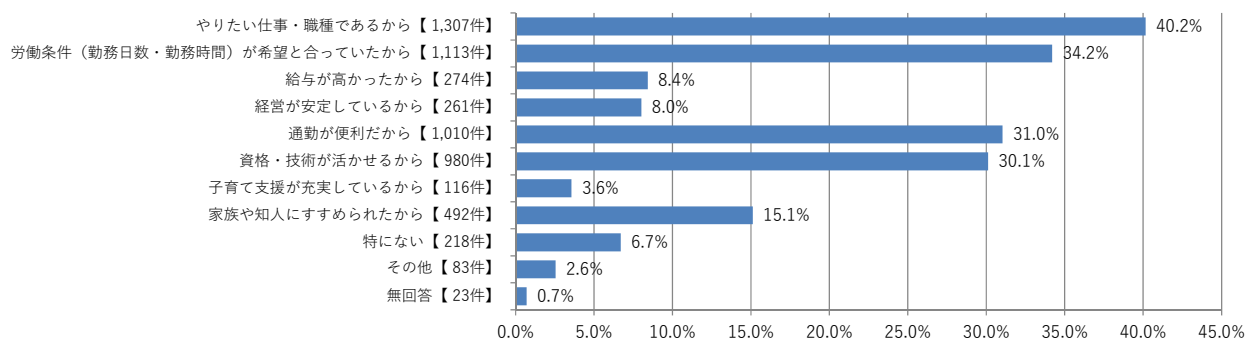


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が40.2%と最も多く、次いで、「労働条件が希望と合っていたから」が34.2%、「通勤が便利だから」が31.0%、「資格・技術が活かせるから」が30.1%となっている。

図表 0-5-1 (N=3,254)



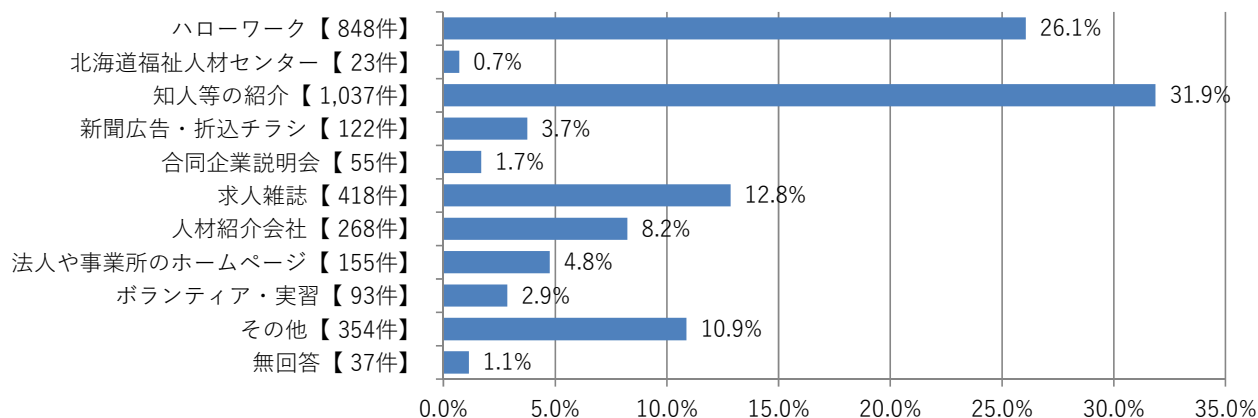
その他の内容
倒産後の引き継がれた会社だから
実習に行きそのまま就職
体力的な理由
仲間と立ち上げた
ヘッドハンティング
新設だったため
スキルアップができるから

※そのほかの回答は 447～448 ページに記載

問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が 31.9%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が 26.1%、「求人雑誌」が 12.8%となっている。

図表 0-5-2 (N=3,254)



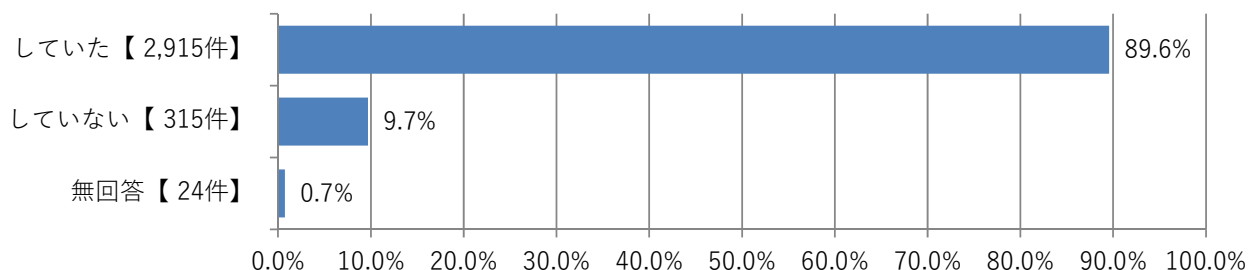
その他の内容
学校の求人
インターネットの求人
事業譲渡
看護協会
専門学校に求人があったため

※そのほかの回答は 449～452 ページに記載

問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていました」が 89.6%、「仕事をしていない」が 9.7%となっている。

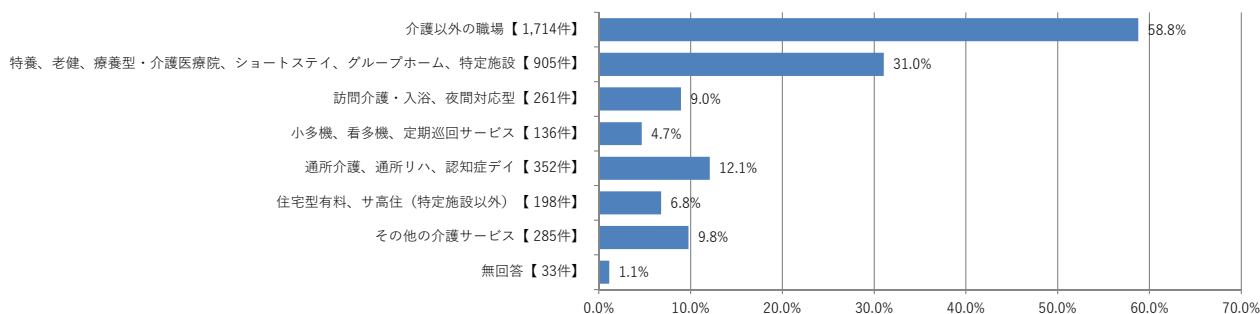
図表 0-5-3 (N=3,254)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 【複数回答可】

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が 58.8%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が 31.0%、「通所介護、通所リハ、認知症デイ」が 12.1%となっている。

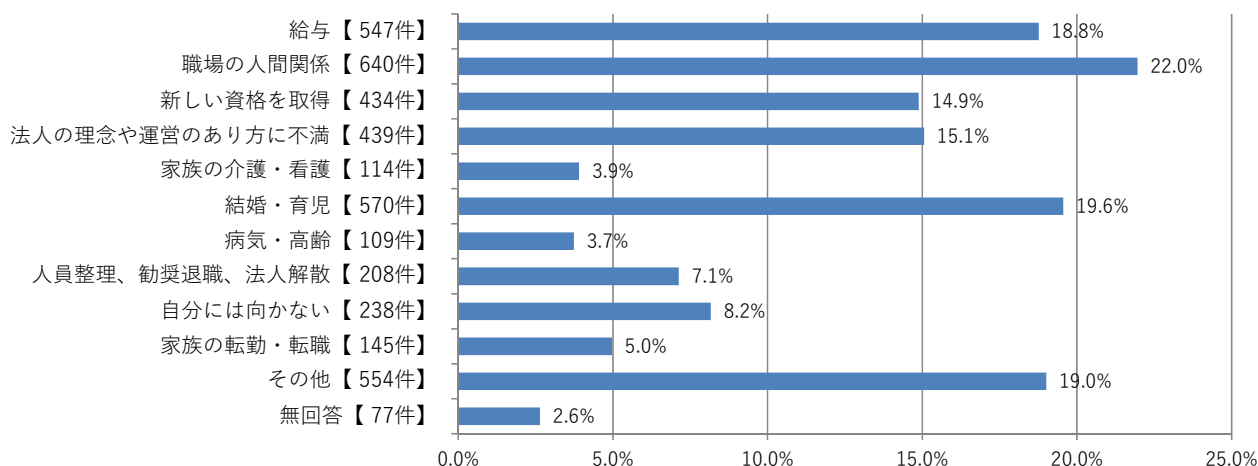
図表 0-5-4 (N=2,915)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 【複数回答可】

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が 22.0%と最も多く、次いで、「結婚・育児」が 19.6%、「その他」が 19.0%、「給与」が 18.8%と続いている。

図表 0-5-5 (N=2,915)



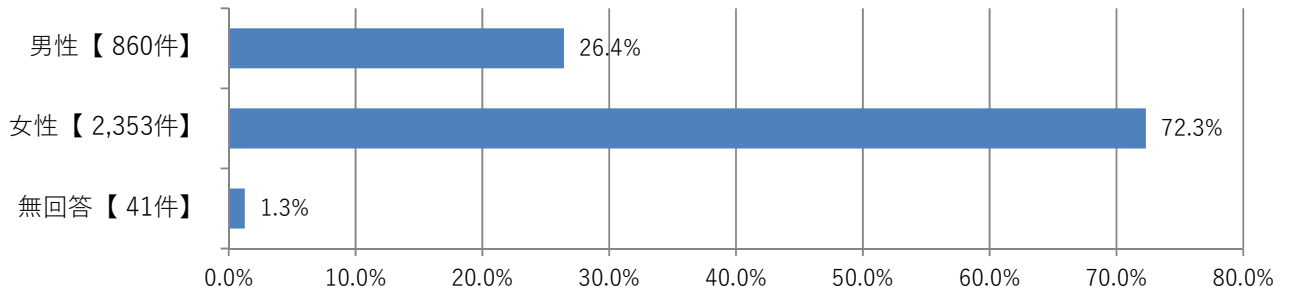
その他の内容
新しい居宅立ち上げの誘いをうけたから。
一度介護じゃない事をしたかった
過酷な勤務シフト
個人的な理由により
定年退職
再度サービス提供責任者の仕事を希望

※そのほかの回答は 453～459 ページに記載

問5（6）性別

性別は、「男性」が26.4%、「女性」が72.3%となっている。

図表 0-5-6 (N=3,254)



問5（7）年齢

平均年齢は、46.0歳となっている。

図表 0-5-7 (N=3,254)

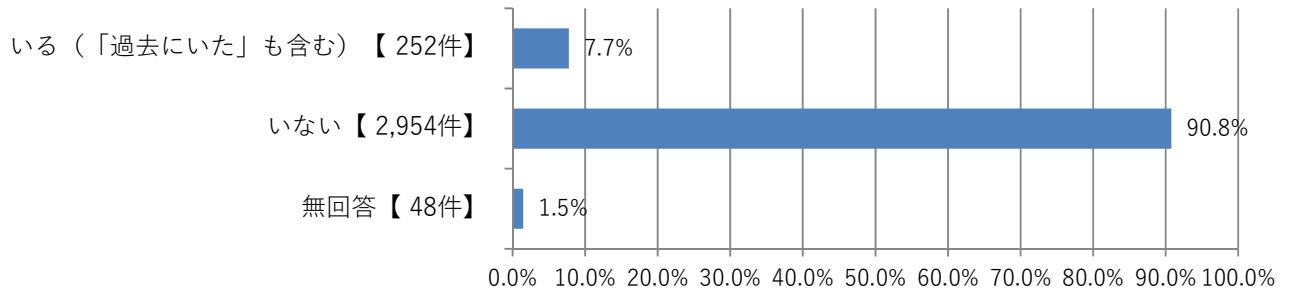
	対象者数	平均年齢 (歳)
全体	3,254	46.0

問6 外国人介護職員について

問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が90.8%、「いる（過去にいた）」が7.7%となっている。

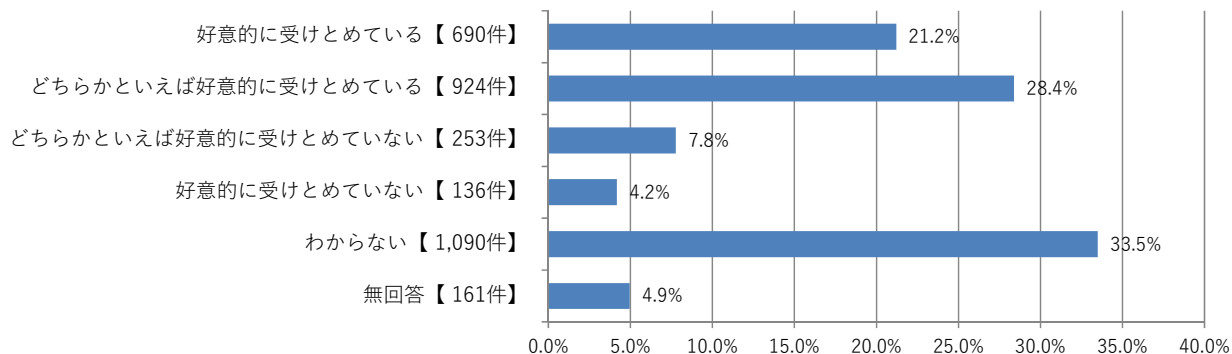
図表 0-6-1（N=3,254）



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が33.5%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が28.4%、「好意的に受けとめている」が21.2%となっている。

図表 0-6-2（N=3,254）



<その理由>

1. 好意的に受けとめている
とにかくマンパワーが不足しています。どんなに手厚く対応したいと思っても個人にかかる負担が大きすぎます。介護現場もそうですが居宅も同様です。
人員不足のなか外国人が介護の仕事をしてくれるというのは日本を支える上で今後必要不可欠だと思う為。
自分自身のスキルアップにもつながる。

2. どちらかといえば好意的に受けとめている
人材不足だと思うので、介護技術があれば外国人でも良いと思う
利用者さんの理解があれば問題ないと思う。
・働き手の人員不足や今後のニーズとして期待できると思ったため。・国や文化の違いを共有すると楽しそうだから。

3. どちらかといえば好意的に受けとめていない
自国で就職していない方等いるのでそちらの問題が先だと思う
日本語のニュアンスのとらえ方が難しく行きがちになってしまうと思われるため
細かいコミュニケーションが求められる現場であるため、業務時間内でコミュニケーションを図る自信がない。

4. 好意的に受けとめていない
言葉の壁があるのでムリだと思う
国が違えば文化、風習が違うのでまず私たちがその国を理解すべき。
外国人より日本人を採用してほしい。

5. わからない
一緒に働いた経験がないのでわからない
同じ人間なので特別何かを感じることはありません
言葉が通じるかどうか不安がある。

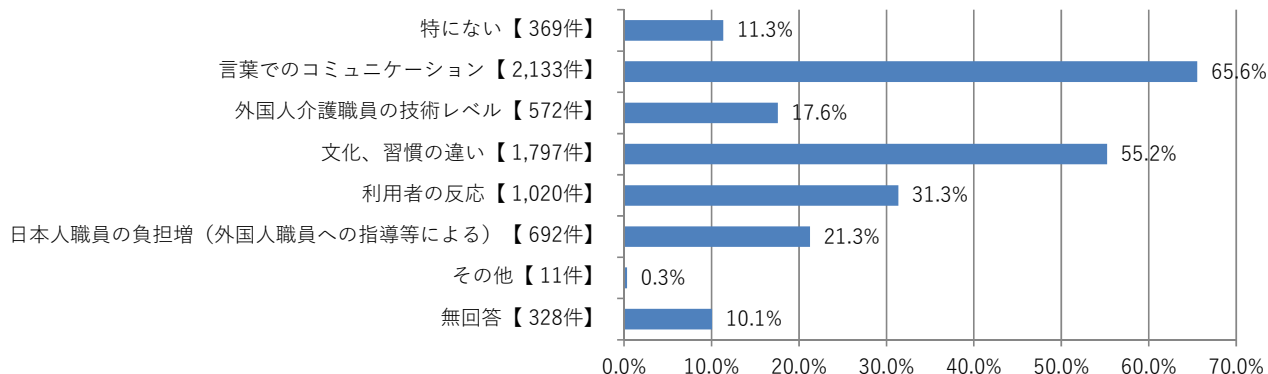
※そのほかの回答は 460～485 ページに記載

問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が65.6%と最も多く、「文化、習慣の違い」が55.2%、「利用者の反応」が31.3%、「日本人職員の負担増」が21.3%、「外国人介護職員の技術レベル」が17.6%となっている。

図表 0-6-3 (N=3,254)

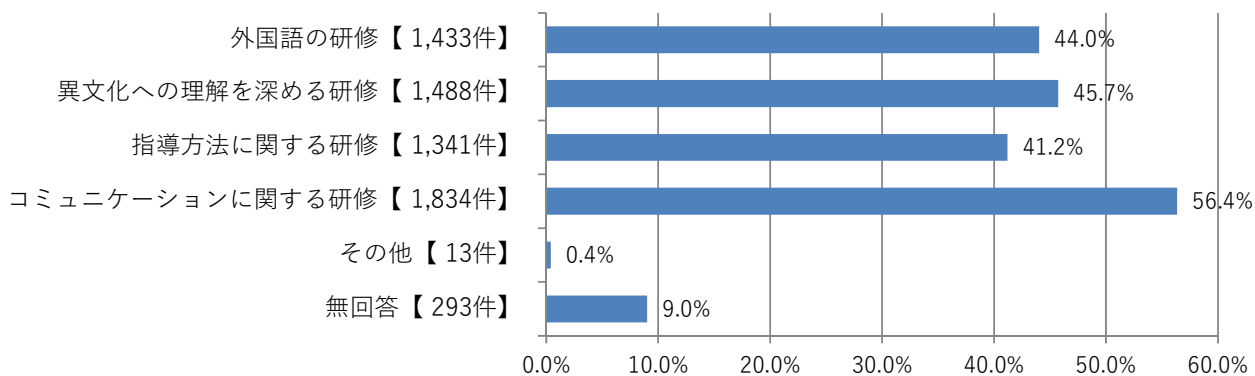


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が56.4%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」が45.7%、「外国語の研修」が44.0%、「指導方法に関する研修」が41.2%となっている。

図表 0-6-4 (N=3,254)



①居宅介護支援

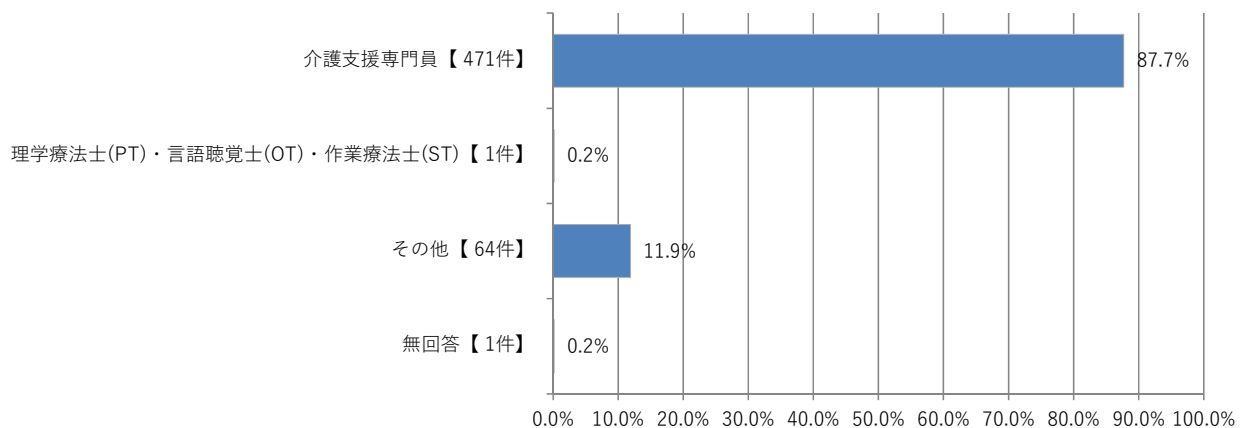
回答者数 537

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護支援専門員」が87.7%、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が0.2%、「その他」が11.9%となっている。

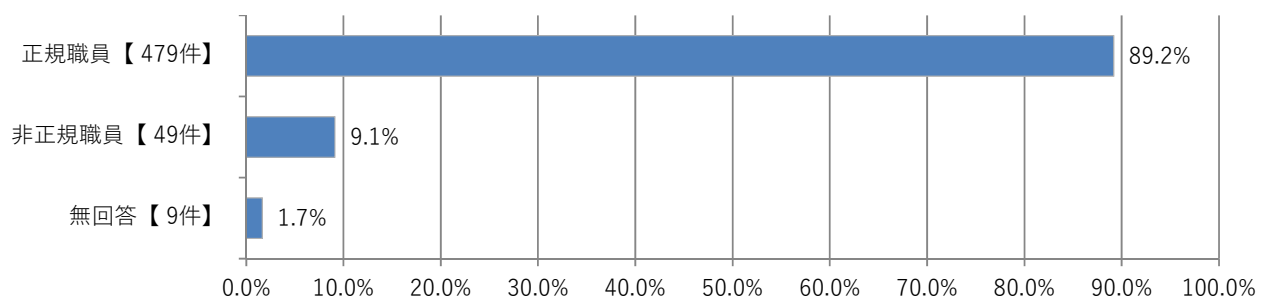
図表 1-1-1 (N=537)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が89.2%、「非正規職員」が9.1%となっている。

図表 1-1-2 (N=537)

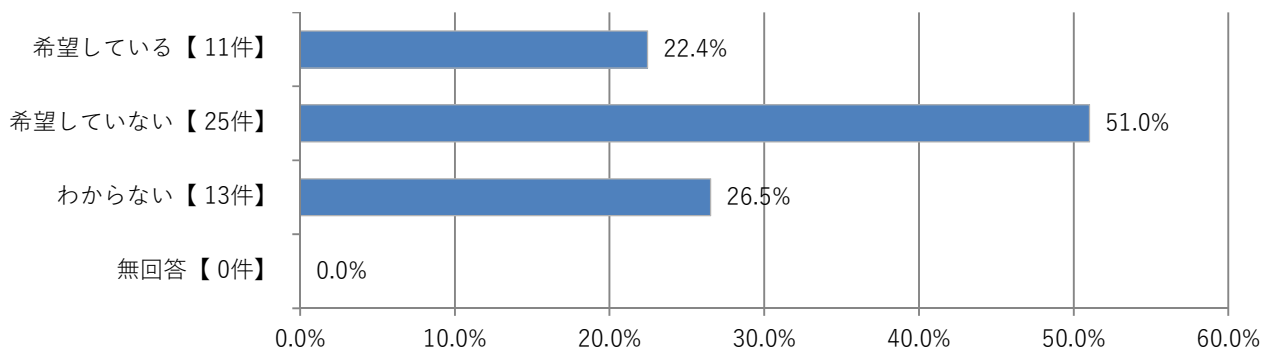


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が51.0%、「わからない」が26.5%、「希望している」が22.4%となっている。

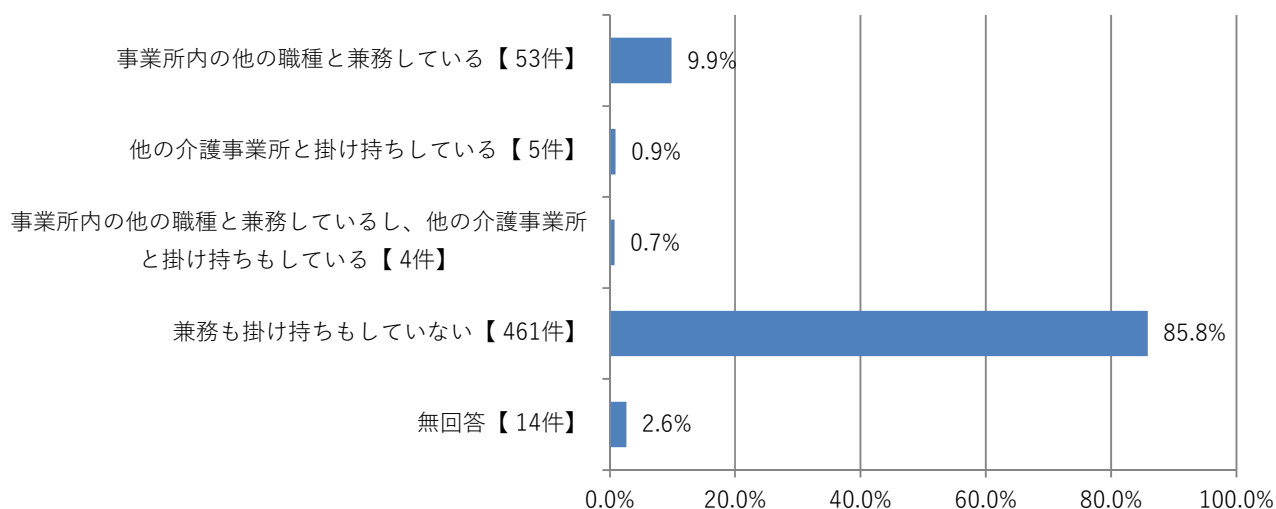
図表 1-1-3 (N=49)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が85.8%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が9.9%となっている。

図表 1-1-4 (N=537)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が8.9年となっており、「正規職員」が8.8年、「非正規職員」が10.0年となっている。

図表 1-1-5 (N=537)

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
居宅介護支援 (年)	537	8.9	8.8	10.0	10.8

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が6.5年、「正規職員」が6.6年、「非正規職員」が5.3年となっている。

図表 1-1-6 (N=537)

	対象者数	平均勤続年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
居宅介護支援 (年)	537	6.5	6.6	5.3	8.1

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が5.0日、「正規職員」が5.1日、「非正規職員」が4.2日となっている。

図表 1-2-1 (N=537)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
居宅介護支援	537	5.0	5.1	4.2	5.0
介護支援専門員	471	5.0	5.1	4.1	5.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	1	5.0	5.0	-	-
その他	64	5.0	5.1	4.4	5.1

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が40.5時間、「正規職員」が41.7時間、「非正規職員」が27.3時間となっている。

図表 1-2-2 (N=537)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
居宅介護支援	537	40.5	41.7	27.3	42.4
介護支援専門員	471	40.7	41.7	27.1	42.9
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	1	35.0	35.0	-	-
その他	64	39.1	41.7	27.9	41.0

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.6時間、「正規職員」が2.7時間、「非正規職員」が1.4時間となっている。

図表 1-2-3 (N=537)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
居宅介護支援	537	2.6	2.7	1.4	3.6
介護支援専門員	471	2.7	2.7	1.5	3.8
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	1	0.0	0.0	-	-
その他	64	2.3	2.6	1.1	2.0

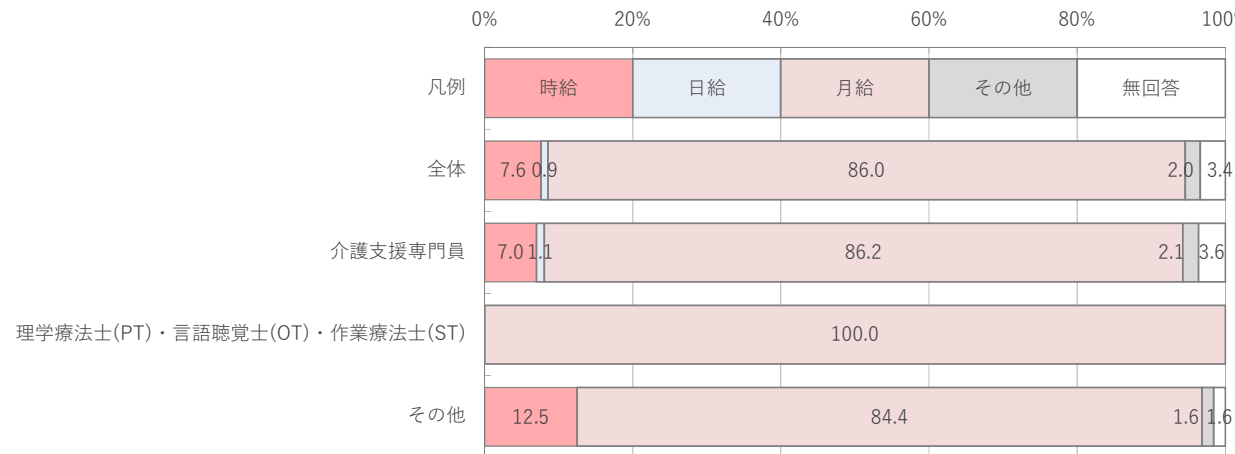
問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が86.0%と最も多く、次いで、「時給」が7.6%、「その他」が2.0%、「日給」が0.9%となっている。

時給の平均は、1,106円、日給の平均は、8,977円となっている。

図表 1-2-4 (N=537)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円/時間)	日給 (円/日)
居宅介護支援	537	41	5	462	11	18	1,106	8,977
介護支援専門員	471	33	5	406	10	17	1,130	8,977
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	1	0	0	1	0	0	-	-
その他	64	8	0	54	1	1	1,013	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が211,169円、「時給」が117,718円、「日給」が110,375円、「その他」が191,438円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護支援専門員」が213,600円と最も高くなっている。

図表 1-2-5 (N=537)

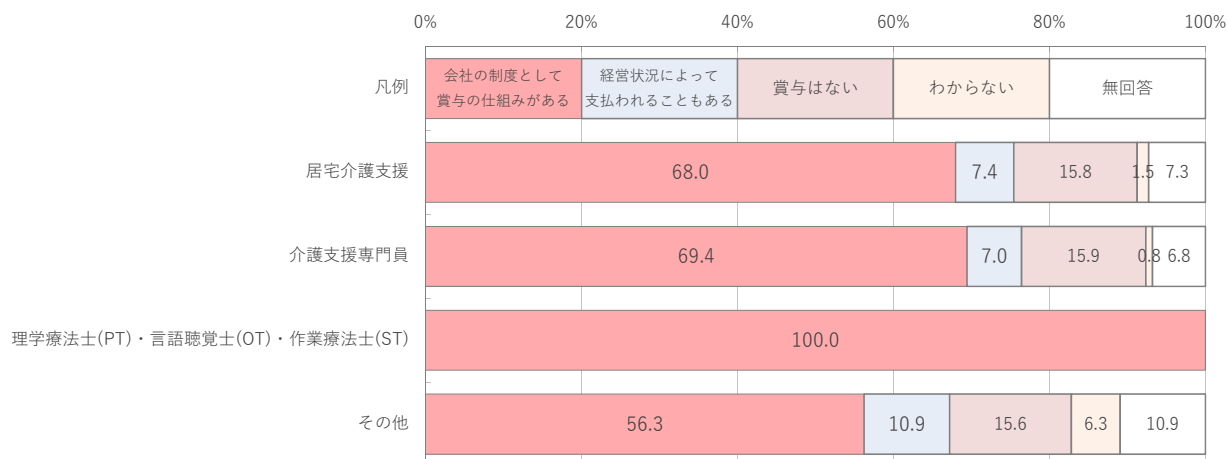
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円/時間)	平均稼働時間 (時間/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/日)	平均稼働日数 (日/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)
居宅介護支援	41	117,718	106	5	110,375	22	462	211,169	11	191,438
介護支援専門員	33	111,881	99	5	110,375	22	406	213,600	10	204,500
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	1	150,000	0	-
その他	8	143,571	142	0	-	-	54	195,425	1	100,000

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が68.0%と最も多く、次いで、「賞与はない」が15.8%、「経営状況によって支払われることもある」が7.4%となっている。

図表 1-2-6 (N=537)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
居宅介護支援	537	365	40	85	8	39	100.0	68.0	7.4	15.8	1.5	7.3
介護支援専門員	471	327	33	75	4	32	100.0	69.4	7.0	15.9	0.8	6.8
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	1	1	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	64	36	7	10	4	7	100.0	56.3	10.9	15.6	6.3	10.9



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 383,757 円となっている。「正規職員」の平均は 392,873 円、「非正規職員」の平均は 98,583 円となっている。

職種別にみると、「介護支援専門員」が 389,015 円で最も高く、次いで、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が 350,000 円、「その他」が 342,589 円となっている。

図表 1-2-7 (N=537)

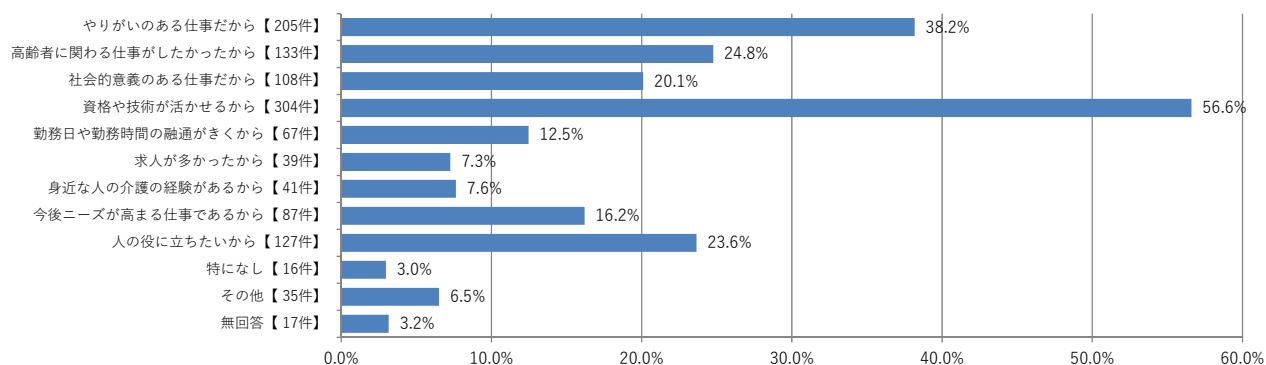
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
居宅介護支援	537	75.4	15.8	1.5	7.3	405	383,757	居宅介護支援	537	405	85	8	39	405
正規職員	479	81.2	10.9	1.0	6.9	389	392,873	正規職員	479	389	52	5	33	389
非正規職員	49	24.5	61.2	4.1	10.2	12	98,583	非正規職員	49	12	30	2	5	12
無回答	9	44.4	33.3	11.1	11.1	4	355,000	無回答	9	4	3	1	1	4
介護支援専門員	471	76.4	15.9	0.8	6.8	360	389,015	介護支援専門員	471	360	75	4	32	360
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	350,000	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	1	1	0	0	0	1
その他	64	67.2	15.6	6.3	10.9	43	342,589	その他	64	43	10	4	7	43

問3 仕事についての考え方

問3（１）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が 56.6%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が 38.2%、「高齢者に関わる仕事をしたかったから」が 24.8%、「人の役に立ちたいから」が 23.6%となっている。

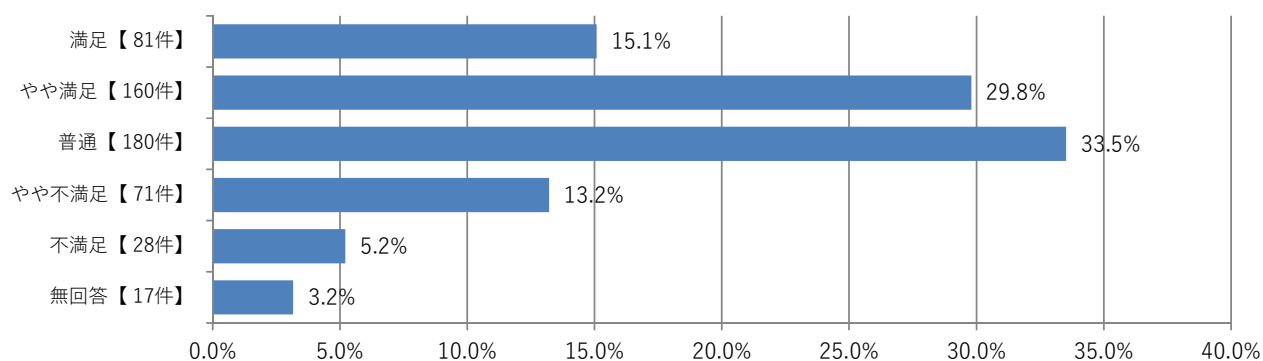
図表 1-3-1 (N=537)



問3（２）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が 33.5%と最も多く、次いで、「やや満足」が 29.8%、「満足」が 15.1%、「やや不満足」が 13.2%、「不満足」が 5.2%となっている。

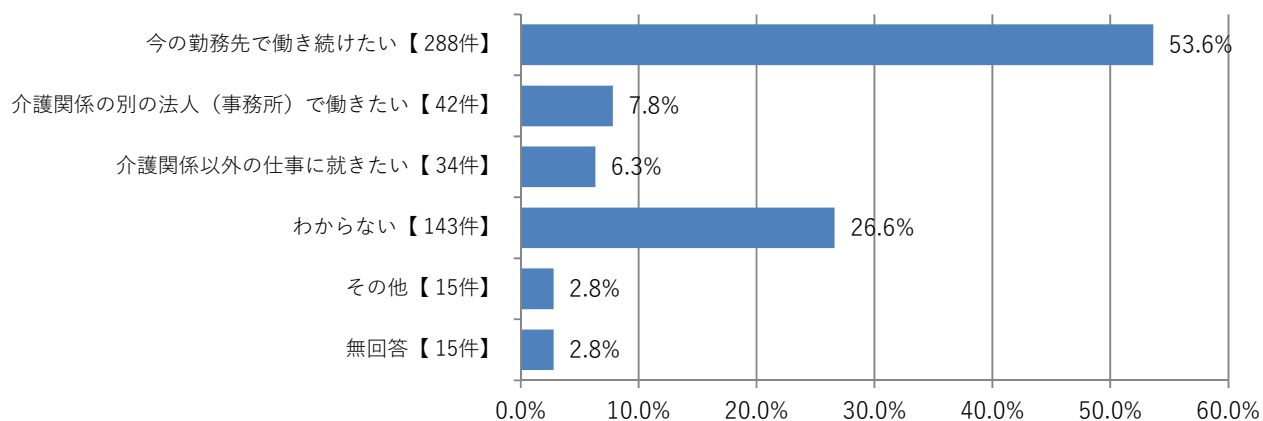
図表 1-3-2 (N=537)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が 53.6%、「わからない」が 26.6%、「介護関係の別の法人で働きたい」が 7.8%、「介護関係以外の仕事に就きたい」が 6.3%となっている。

図表 1-3-3 (N=537)

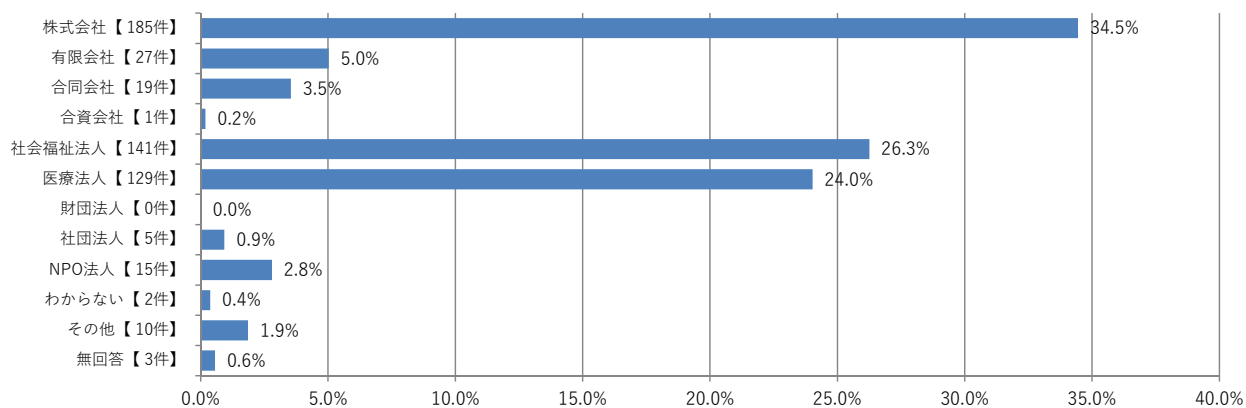


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が34.5%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が26.3%、「医療法人」が24.0%となっている。

図表 1-4-1 (N=537)

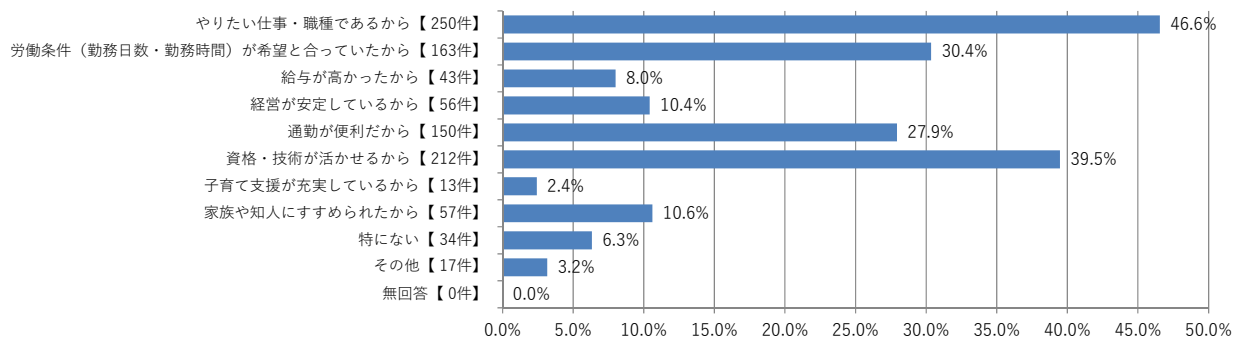


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が46.6%と最も多く、次いで、「資格・技術が活かせるから」が39.5%、「労働条件が希望と合っていたから」が30.4%、「通勤が便利だから」が27.9%となっている。

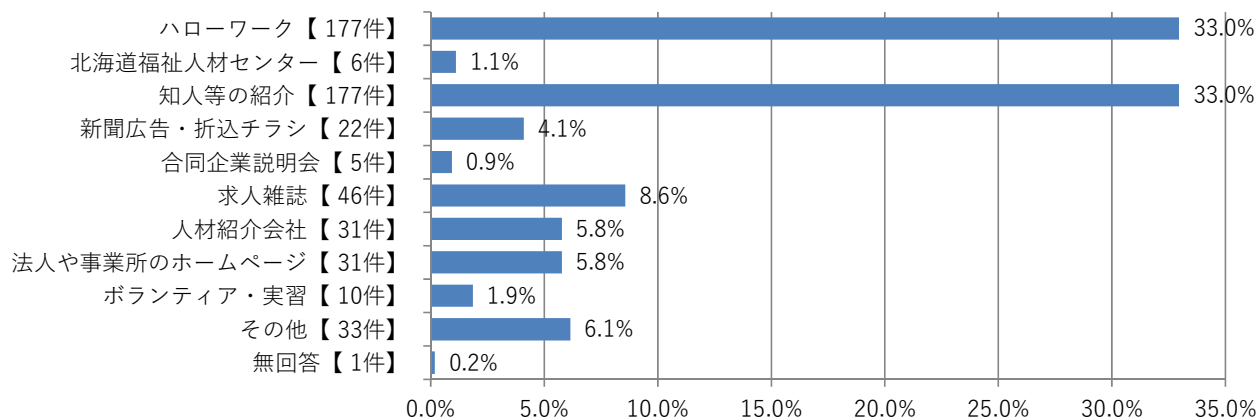
図表 1-5-1 (N=537)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「ハローワーク」、「知人等の紹介」が33.0%と最も多く、次いで、「求人雑誌」が8.6%となっている。

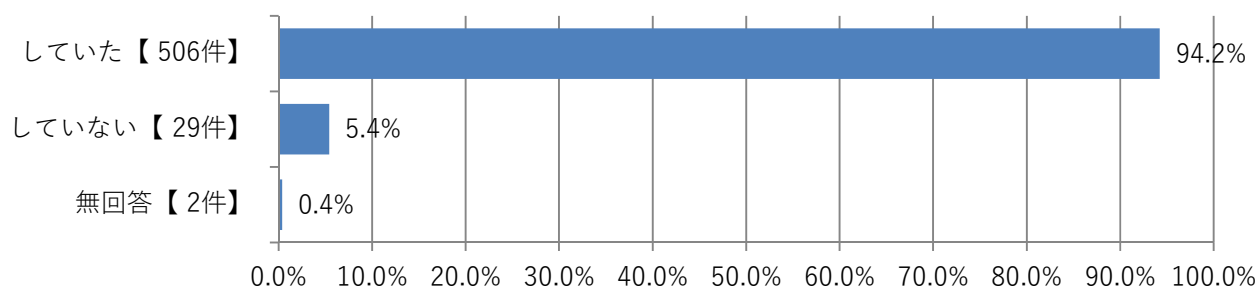
図表 1-5-2 (N=537)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が94.2%、「仕事をしていない」が5.4%となっている。

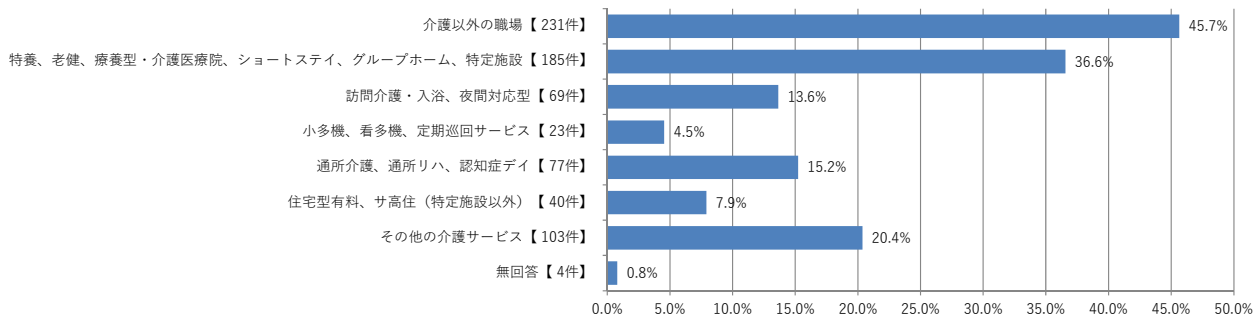
図表 1-5-3 (N=537)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が45.7%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が36.6%、「その他の介護サービス」が20.4%、「通所介護、通所リハ、認知症デイ」が15.2%、「訪問介護・入浴、夜間対応型」が13.6%となっている。

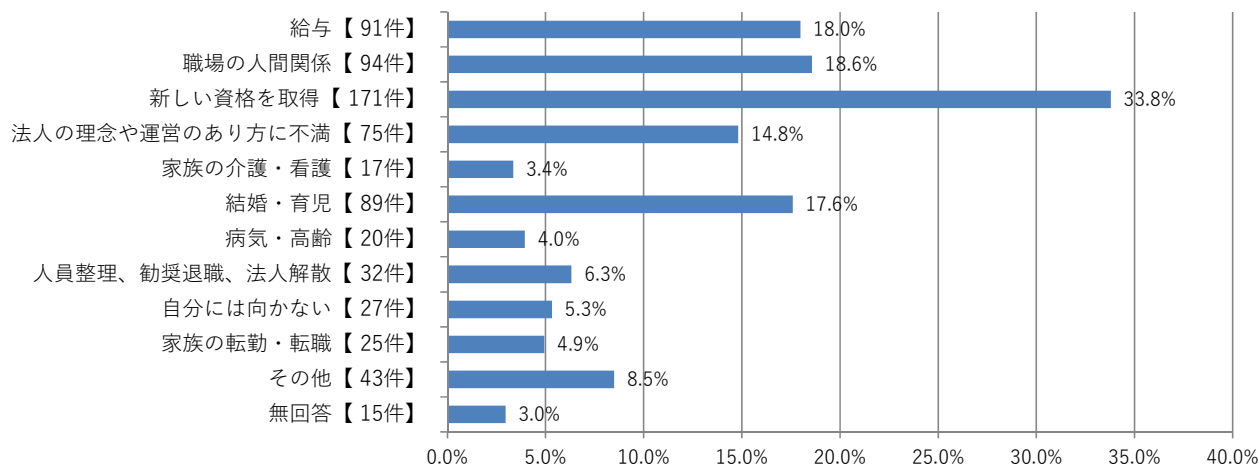
図表 1-5-4 (N=506)



問5（5）（4）の仕事辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「新しい資格を取得」が33.8%と最も多く、次いで、「職場の人間関係」が18.6%、「給与」が18.0%、「結婚・育児」が17.6%と続いている。

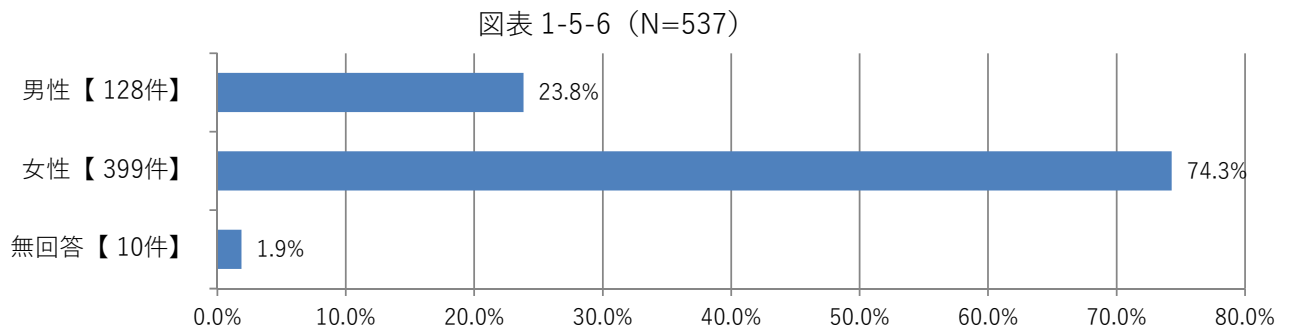
図表 1-5-5 (N=506)



その他の内容
定年退職
スキルアップの為
体力の限界
雇用期間終了の為
通勤が大変

問5（6）性別

性別は、「男性」が23.8%、「女性」が74.3%となっている。



問5（7）年齢

平均年齢は、48.6歳となっている。

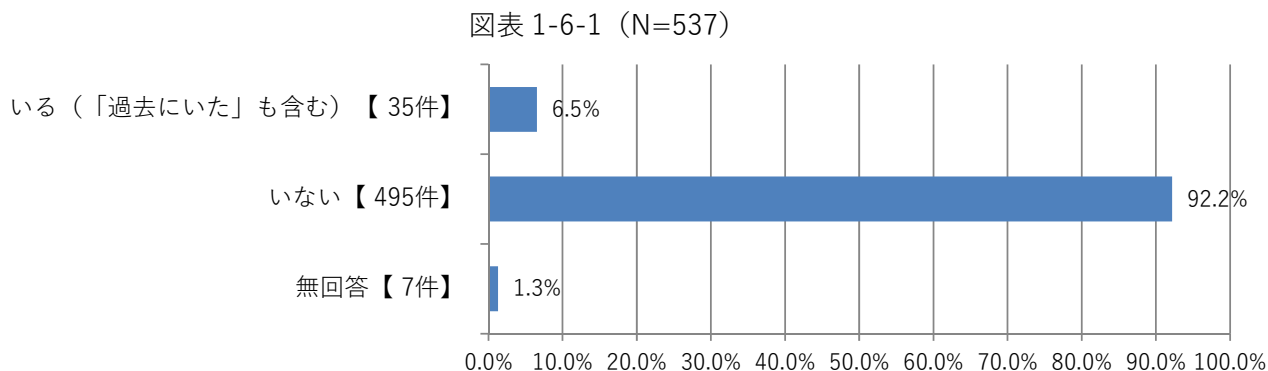
図表 1-5-7 (N=537)

	対象者数	平均年齢（歳）
居宅介護支援	537	48.6

問6 外国人介護職員について

問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

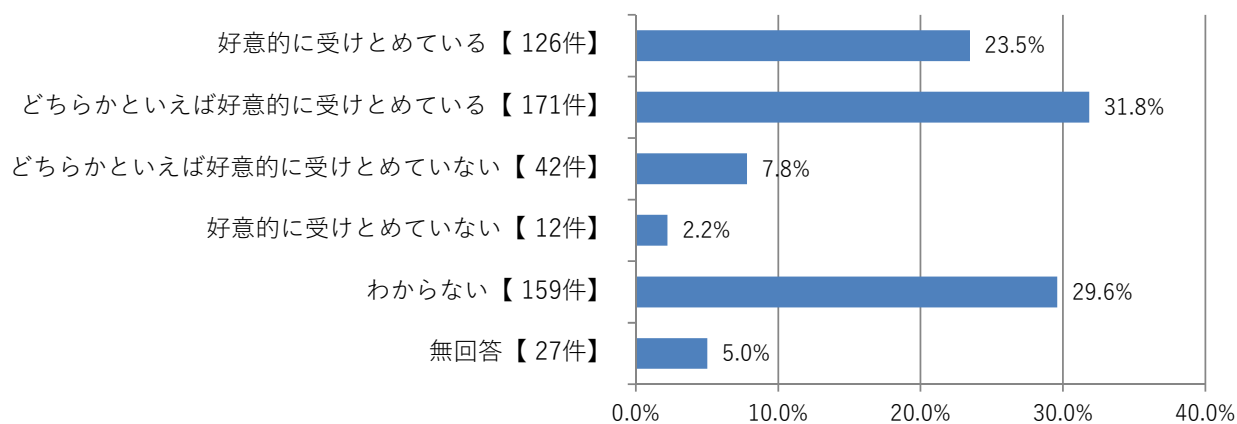
外国人介護職員については、「いない」が92.2%、「いる（過去にいた）」が6.5%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が31.8%と最も多く、次いで、「わからない」が29.6%、「好意的に受けとめている」が23.5%となっている。

図表 1-6-2 (N=537)

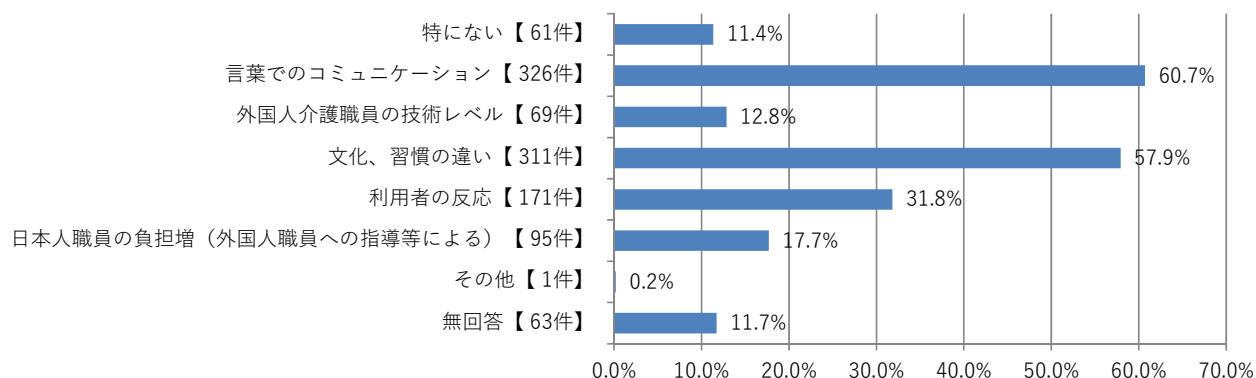


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

[複数回答可]

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が60.7%と最も多く、「文化、習慣の違い」が57.9%、「利用者の反応」が31.8%、「日本人職員の負担増」が17.7%、「外国人介護職員の技術レベル」が12.8%となっている。

図表 1-6-3 (N=537)

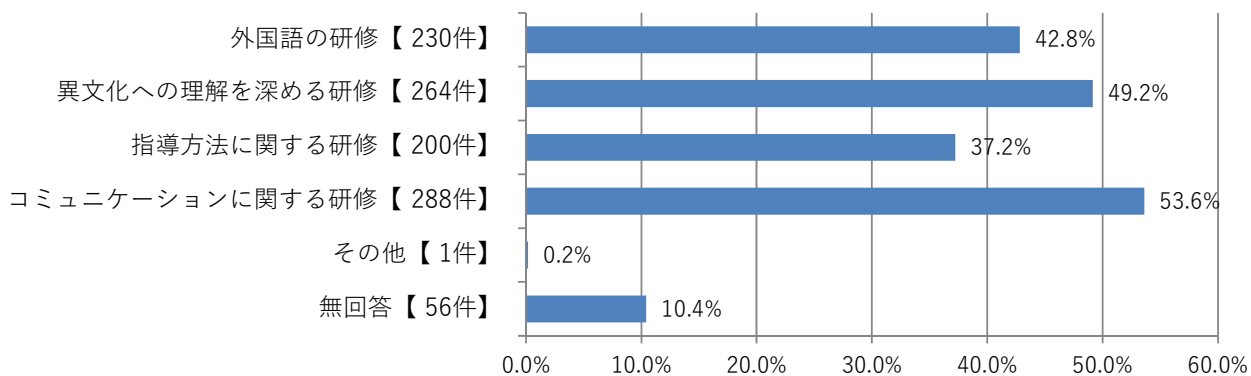


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

[複数回答可]

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が53.6%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」が49.2%、「外国語の研修」が42.8%、「指導方法に関する研修」が37.2%となっている。

図表 1-6-4 (N=537)



②訪問介護

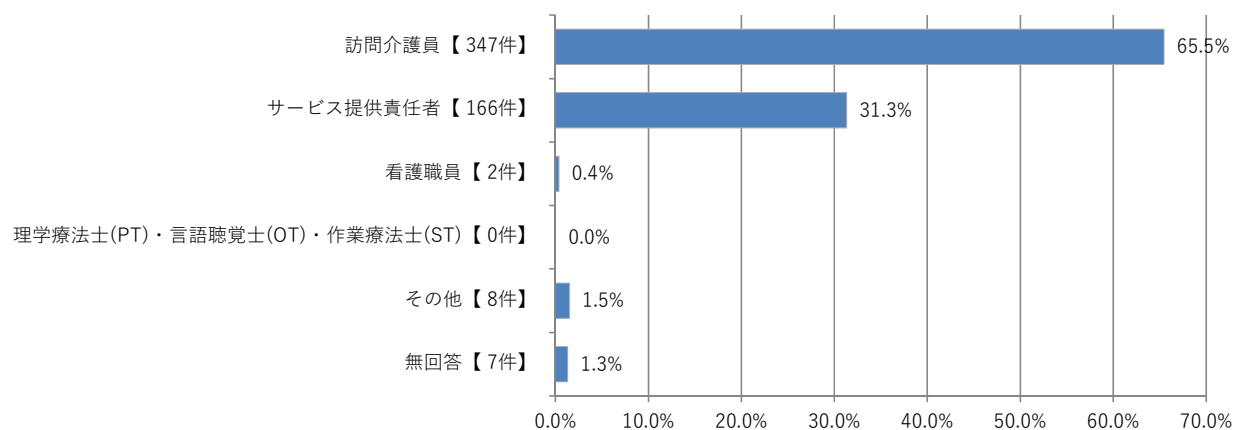
回答者数 530

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「訪問介護員」が 65.5%と最も多く、次いで、「サービス提供責任者」が 31.3%、「その他」が 1.5%となっている。

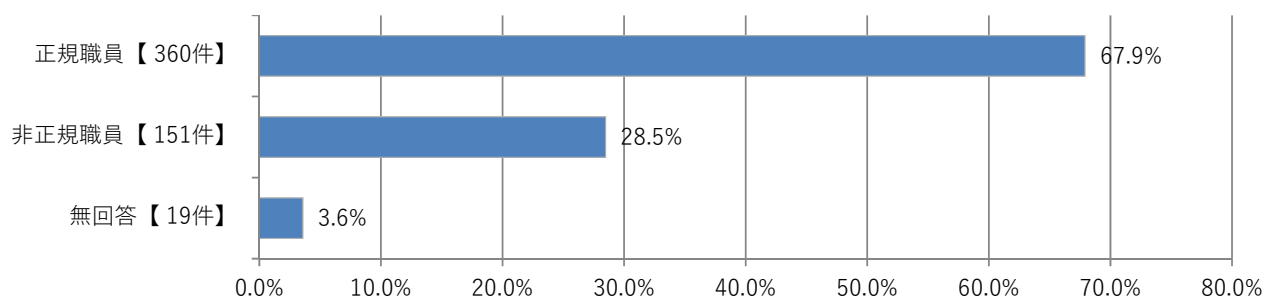
図表 2-1-1 (N=530)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が 67.9%、「非正規職員」が 28.5%となっている。

図表 2-1-2 (N=530)

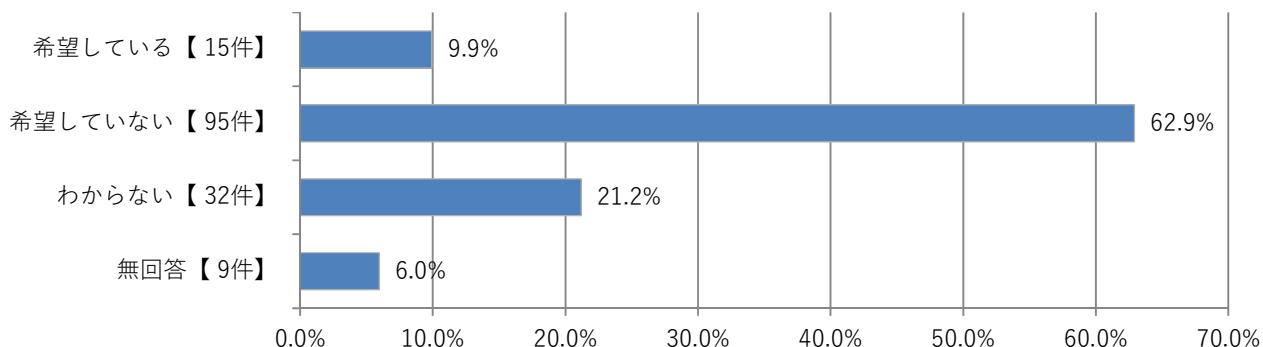


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が62.9%、「わからない」が21.2%、「希望している」が9.9%となっている。

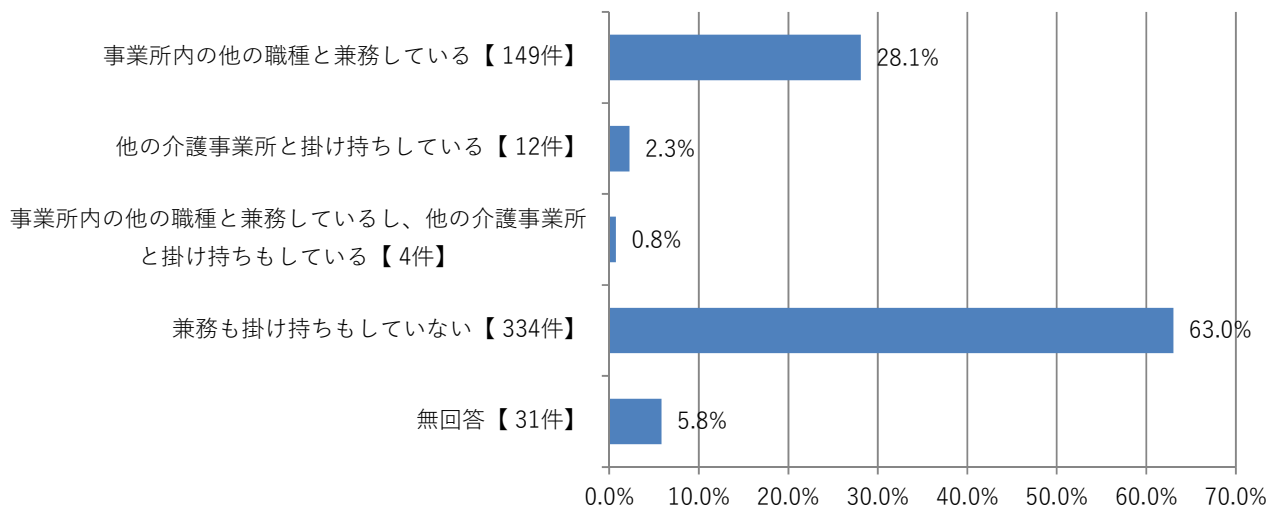
図表 2-1-3 (N=151)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が63.0%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が28.1%となっている。

図表 2-1-4 (N=530)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が10.8年となっており、「正規職員」が10.6年、「非正規職員」が11.0年となっている。

図表 2-1-5 (N=530)

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問介護 (年)	530	10.8	10.6	11.0	12.5

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が5.9年、「正規職員」が5.9年、「非正規職員」が6.1年となっている。

図表 2-1-6 (N=530)

	対象者数	平均勤続年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問介護 (年)	530	5.9	5.9	6.1	5.3

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.8日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が4.2日となっている。

図表 2-2-1 (N=530)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問介護	530	4.8	5.0	4.2	4.7
訪問介護員	347	4.7	5.0	4.1	4.8
サービス提供責任者	166	5.0	5.1	4.7	5.1
看護職員	2	4.5	-	4.5	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	8	4.3	5.2	3.6	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が34.5時間、「正規職員」が39.9時間、「非正規職員」が21.9時間となっている。

図表 2-2-2 (N=530)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問介護	530	34.5	39.9	21.9	32.2
訪問介護員	347	32.4	39.2	20.5	32.0
サービス提供責任者	166	39.2	40.9	28.7	35.3
看護職員	2	28.0	-	28.0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	8	31.0	42.5	22.4	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が1.8時間、「正規職員」が2.2時間、「非正規職員」が0.4時間となっている。

図表 2-2-3 (N=530)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問介護	530	1.8	2.2	0.4	3.2
訪問介護員	347	1.5	2.2	0.2	1.2
サービス提供責任者	166	2.3	2.2	1.2	7.6
看護職員	2	0.0	-	0.0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	8	0.8	2.5	0.0	-

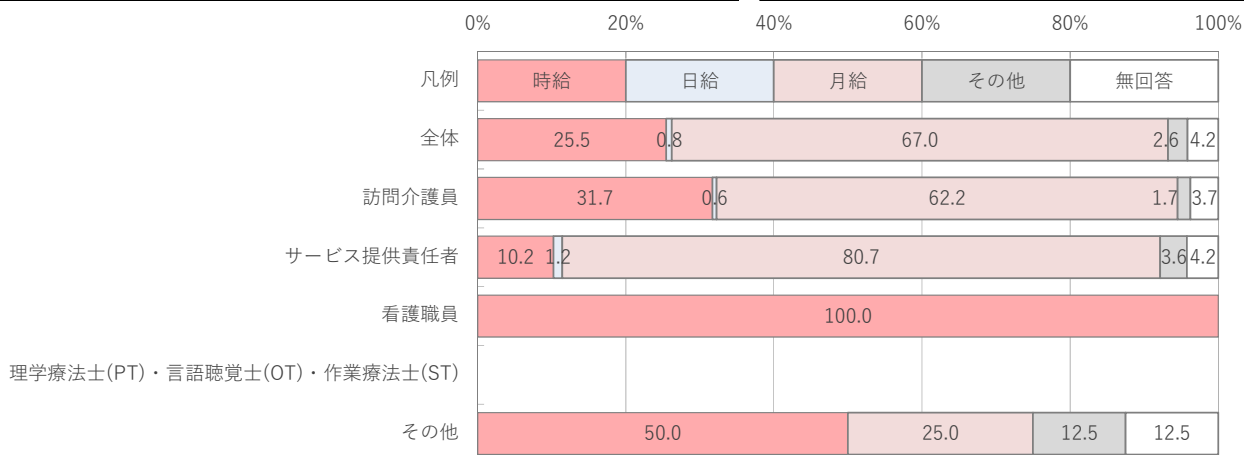
問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が67.0%と最も多く、次いで、「時給」が25.5%、「その他」が2.6%、「日給」が0.8%となっている。

時給の平均は、1,071円、日給の平均は、7,650円となっている。

図表 2-2-4 (N=530)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	(件)		
							時給	日給	
訪問介護	530	135	4	355	14	22	訪問介護	1,071	7,650
訪問介護員	347	110	2	216	6	13	訪問介護員	1,087	7,000
サービス提供責任者	166	17	2	134	6	7	サービス提供責任者	966	8,300
看護職員	2	2	0	0	0	0	看護職員	1,250	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	-	-
その他	8	4	0	2	1	1	その他	908	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が197,541円、「時給」が88,846円、「日給」が210,000円、「その他」が161,593円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「訪問介護員」が190,875円、「サービス提供責任者」が207,110円となっている。

図表 2-2-5 (N=530)

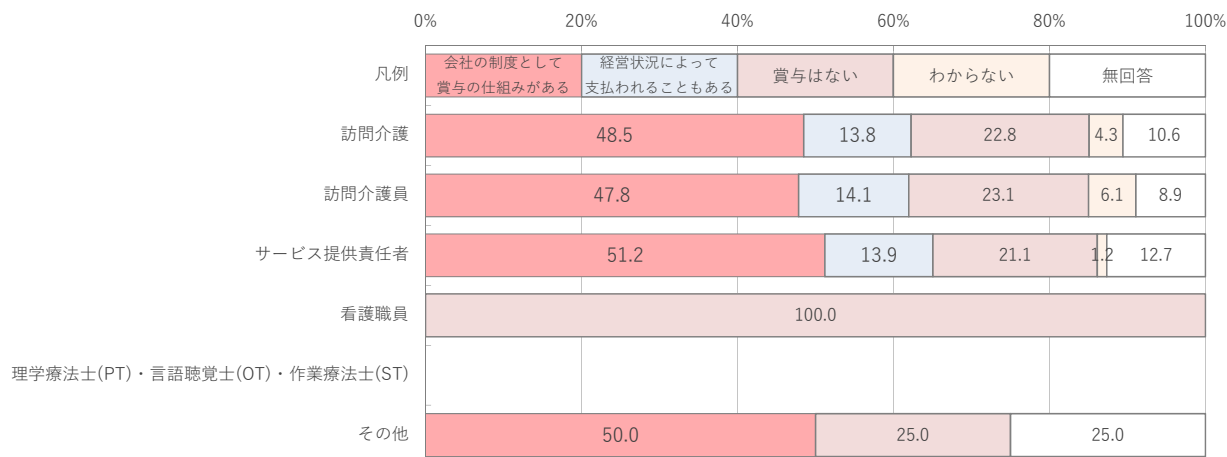
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
訪問介護	135	88,846	83	4	210,000	21	355	197,541	14	161,593
訪問介護員	110	86,721	80	2	170,000	20	216	190,875	6	82,852
サービス提供責任者	17	102,929	107	2	250,000	22	134	207,110	6	273,000
看護職員	2	120,000	96	0	-	-	0	-	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	4	85,180	94	0	-	-	2	195,000	1	180,000

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が48.5%と最も多く、次いで、「賞与はない」が22.8%、「経営状況によって支払われることもある」が13.8%となっている。

図表 2-2-6 (N=530)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
訪問介護	530	257	73	121	23	56	100.0	48.5	13.8	22.8	4.3	10.6
訪問介護員	347	166	49	80	21	31	100.0	47.8	14.1	23.1	6.1	8.9
サービス提供責任者	166	85	23	35	2	21	100.0	51.2	13.9	21.1	1.2	12.7
看護職員	2	0	0	2	0	0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	8	4	0	2	0	2	100.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 260,338 円となっている。「正規職員」の平均は 298,618 円、「非正規職員」の平均は 96,059 円となっている。

職種別にみると、「サービス提供責任者」が 343,125 円で最も高く、次いで、「訪問介護員」が 221,461 円、「その他」が 200,000 円となっている。

図表 2-2-7 (N=530)

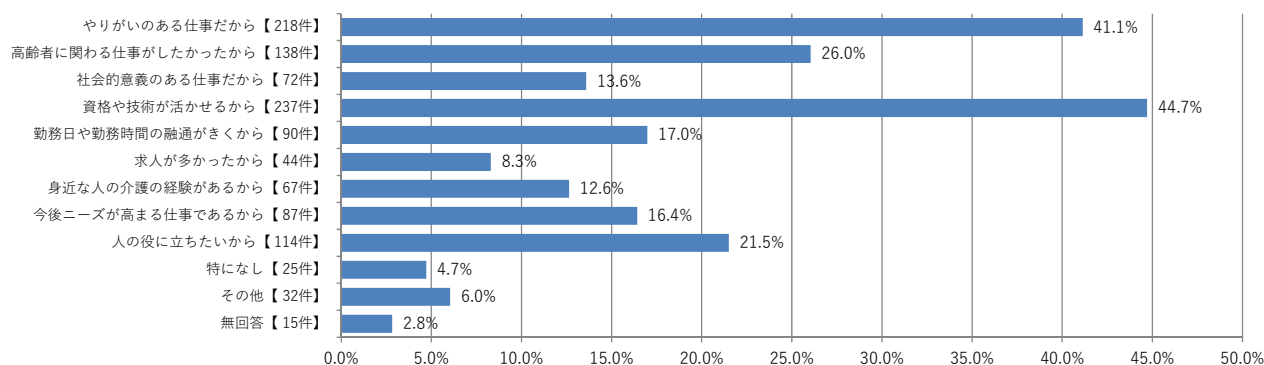
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
訪問介護	530	62.3	22.8	4.3	10.6	330	260,338	訪問介護	530	330	121	23	56	330
正規職員	360	72.8	15.3	2.8	9.2	262	298,618	正規職員	360	262	55	10	33	262
非正規職員	151	39.1	41.7	7.3	11.9	59	96,059	非正規職員	151	59	63	11	18	59
無回答	19	47.4	15.8	10.5	26.3	9	222,920	無回答	19	9	3	2	5	9
訪問介護員	347	62.0	23.1	6.1	8.9	215	221,461	訪問介護員	347	215	80	21	31	215
サービス提供責任者	166	65.1	21.1	1.2	12.7	108	343,125	サービス提供責任者	166	108	35	2	21	108
看護職員	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0	-	看護職員	2	0	2	0	0	0
理学療法士(P.T)・言語聴覚士(O.T)・作業療法士(S.T)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(P.T)・言語聴覚士(O.T)・作業療法士(S.T)	0	0	0	0	0	0
その他	8	50.0	25.0	0.0	25.0	4	200,000	その他	8	4	2	0	2	4

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が44.7%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が41.1%、「高齢者に関わる仕事をしたかったから」が26.0%、「人の役に立ちたいから」が21.5%となっている。

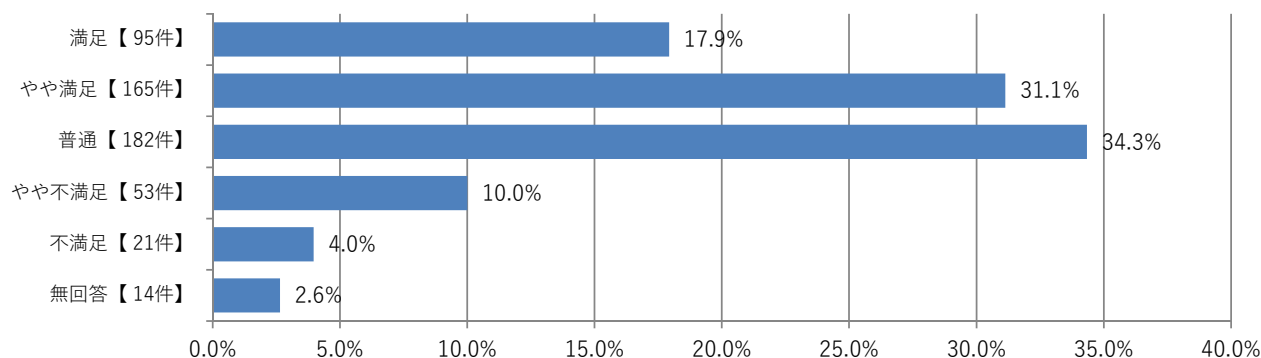
図表 2-3-1 (N=530)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が34.3%と最も多く、次いで、「やや満足」が31.1%、「満足」が17.9%、「やや不満足」が10.0%、「不満足」が4.0%となっている。

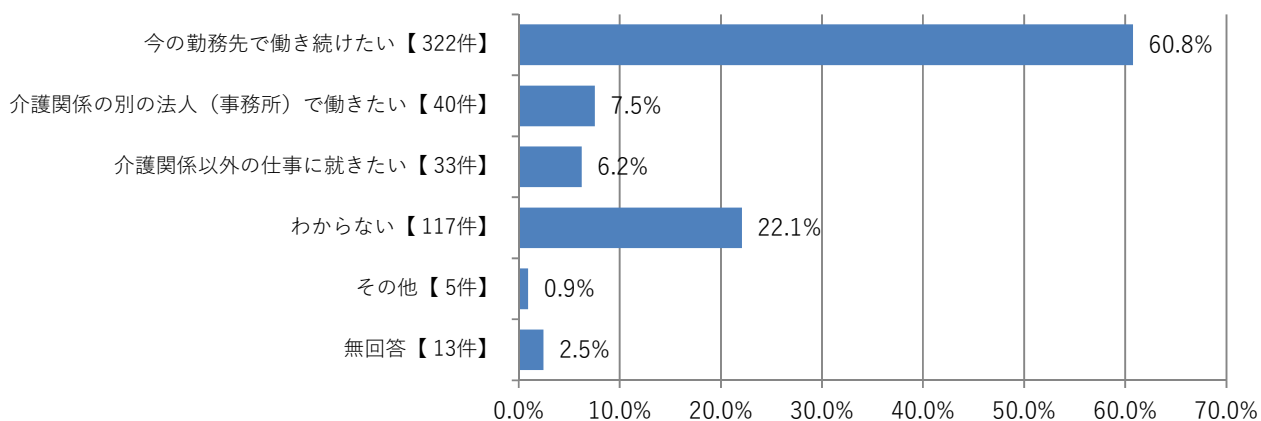
図表 2-3-2 (N=530)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が 60.8%、「わからない」が 22.1%、「介護関係の別の法人で働きたい」が 7.5%、「介護関係以外の仕事に就きたい」が 6.2%となっている。

図表 2-3-3 (N=530)

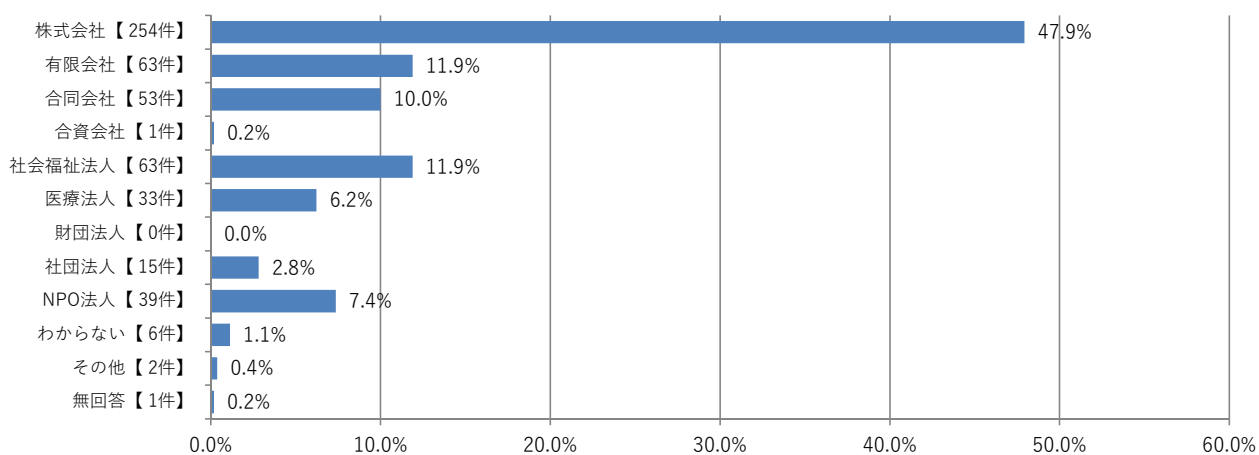


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が47.9%と最も多く、次いで、「有限会社」と「社会福祉法人」が11.9%となっている。

図表 2-4-1 (N=530)

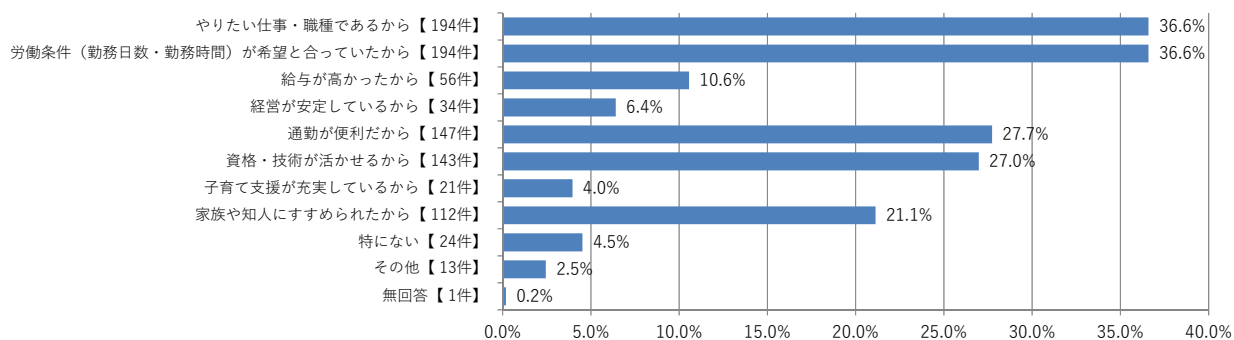


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」、「労働条件が希望と合っていたから」が36.6%と最も多く、次いで、「通勤が便利だから」が27.7%、「資格・技術が活かせるから」が27.0%となっている。

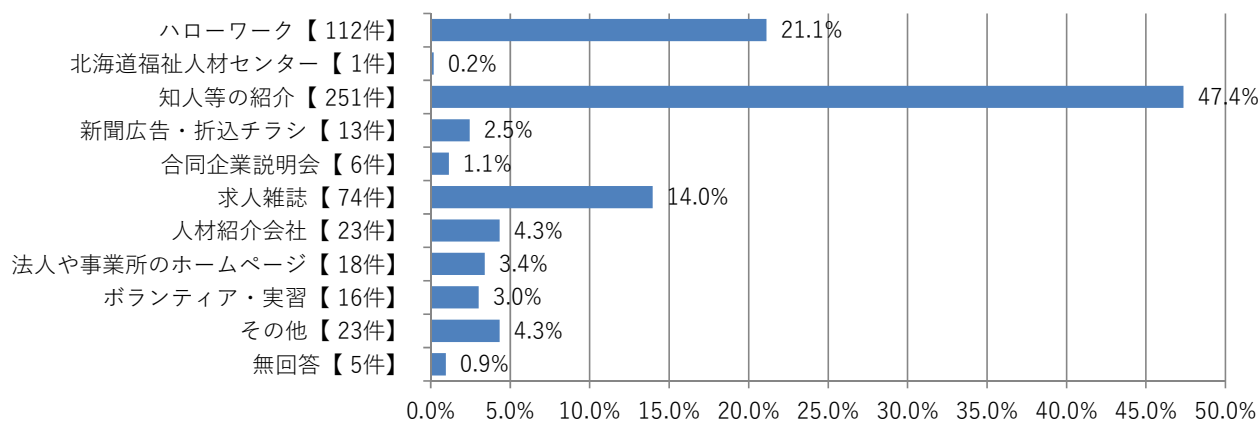
図表 2-5-1 (N=530)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が47.4%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が21.1%、「求人雑誌」が14.0%となっている。

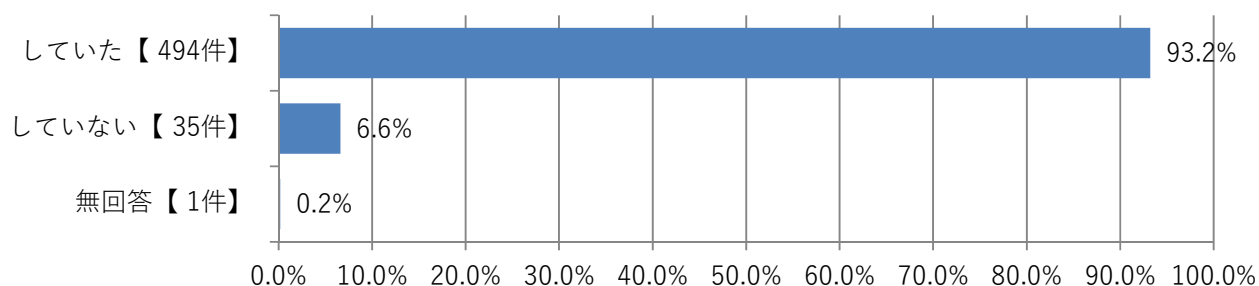
図表 2-5-2 (N=530)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が93.2%、「仕事をしていない」が6.6%となっている。

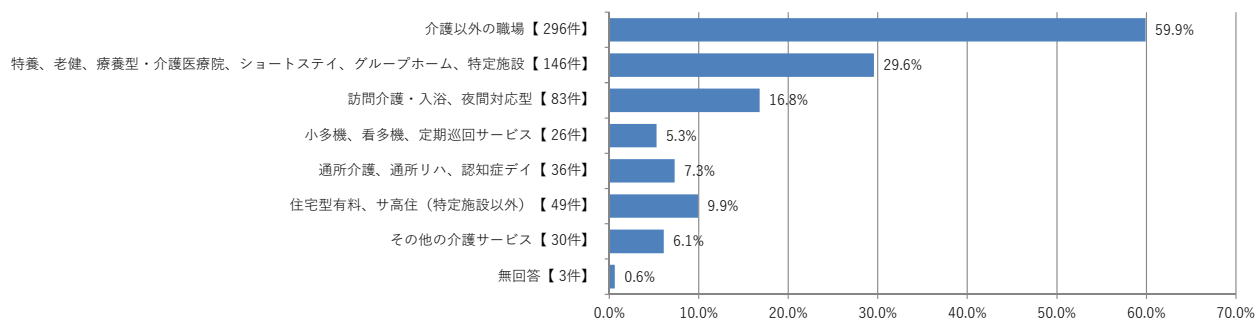
図表 2-5-3 (N=530)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が59.9%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が29.6%、「訪問介護・入浴、夜間対応型」が13.6%となっている。

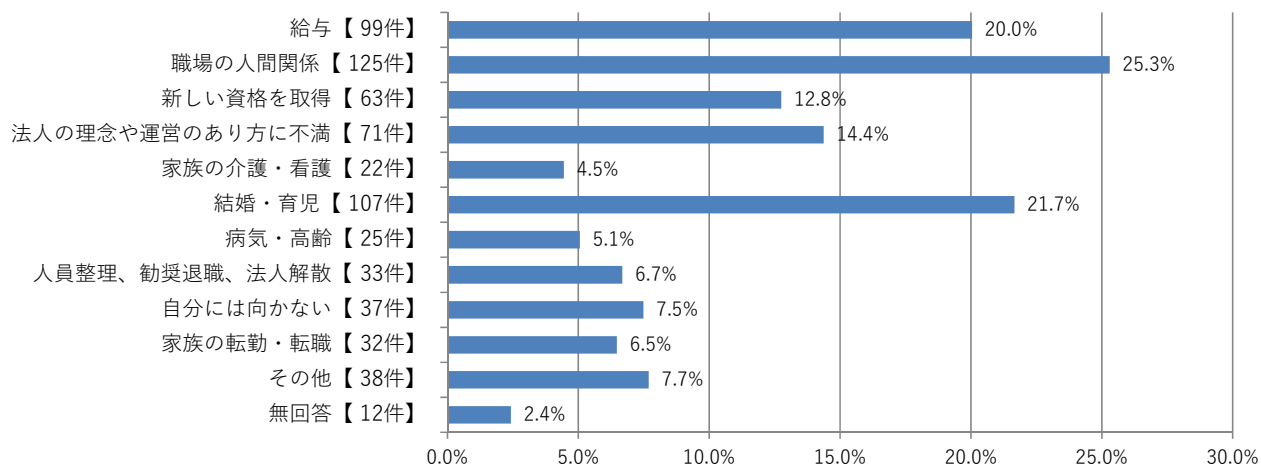
図表 2-5-4 (N=494)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が25.3%と最も多く、次いで、「結婚・育児」が21.7%、「給与」が20.0%と続いている。

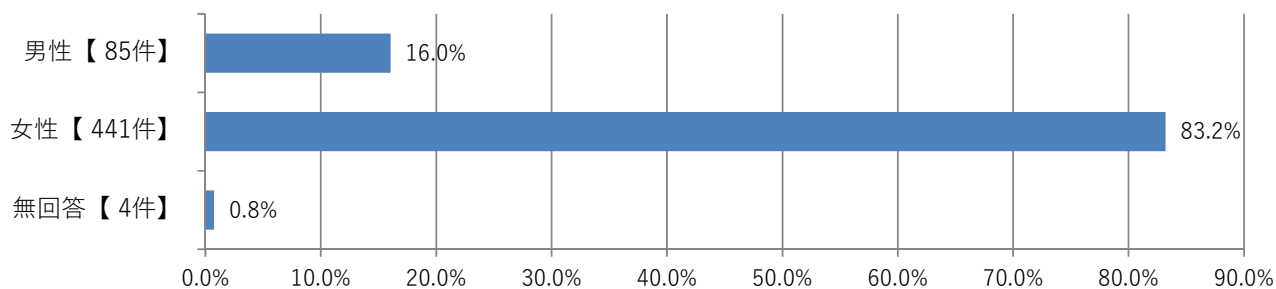
図表 2-5-5 (N=494)



問5（6）性別

性別は、「男性」が16.0%、「女性」が83.2%となっている。

図表 2-5-6 (N=530)



問5（7）年齢

平均年齢は、48.5歳となっている。

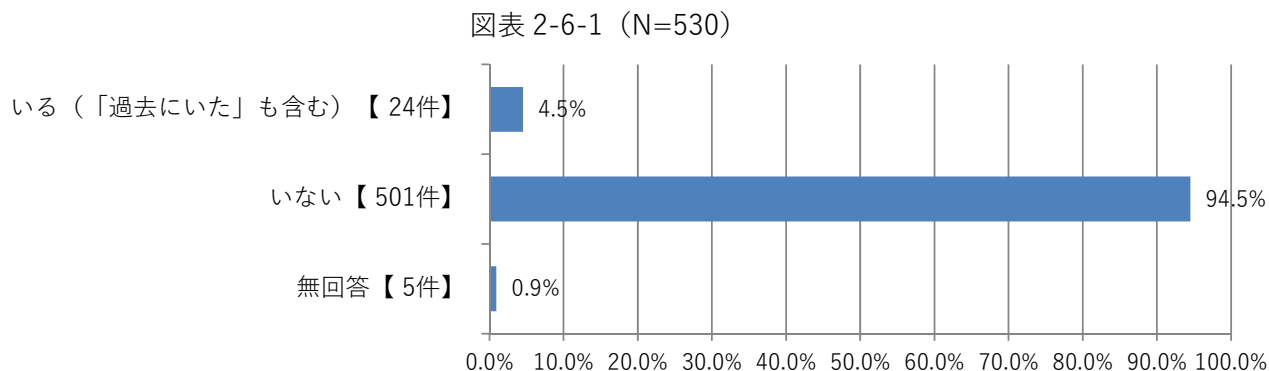
図表 2-5-7 (N=530)

	対象者数	平均年齢（歳）
訪問介護	530	48.5

問6 外国人介護職員について

問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

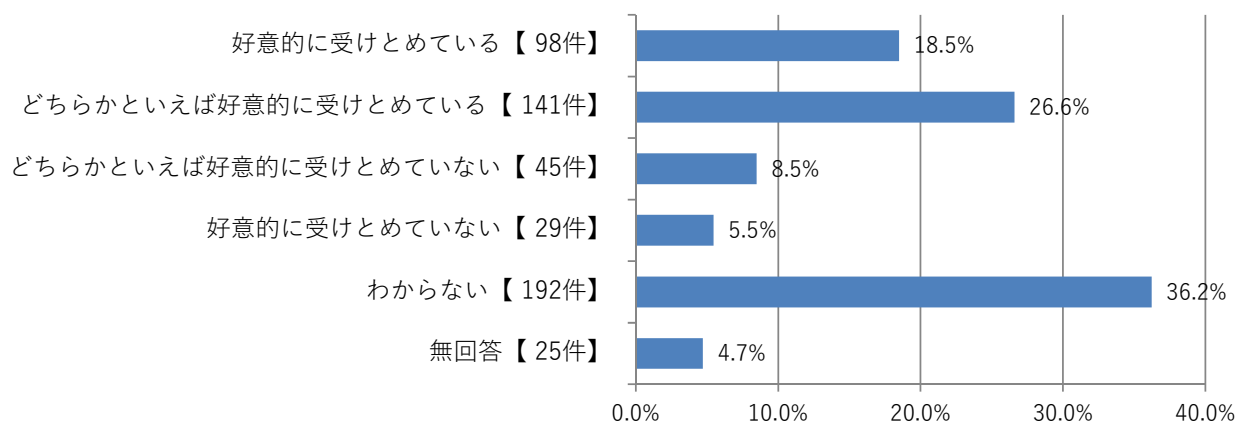
外国人介護職員については、「いない」が94.5%、「いる（過去にいた）」が4.5%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が36.2%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が26.6%、「好意的に受けとめている」が18.5%となっている。

図表 2-6-2 (N=530)

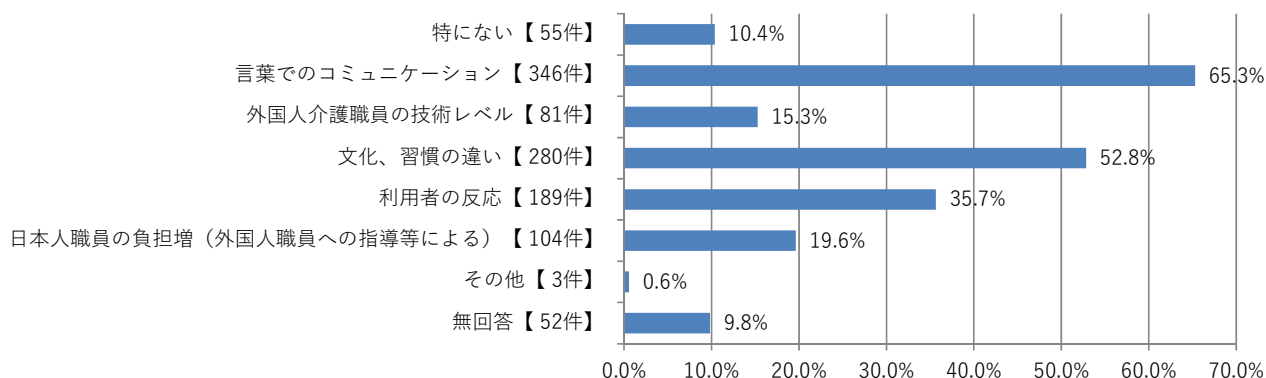


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が65.3%と最も多く、「文化、習慣の違い」が52.8%、「利用者の反応」が35.7%、「日本人職員の負担増」が19.6%、「外国人介護職員の技術レベル」が15.3%となっている。

図表 2-6-3 (N=530)

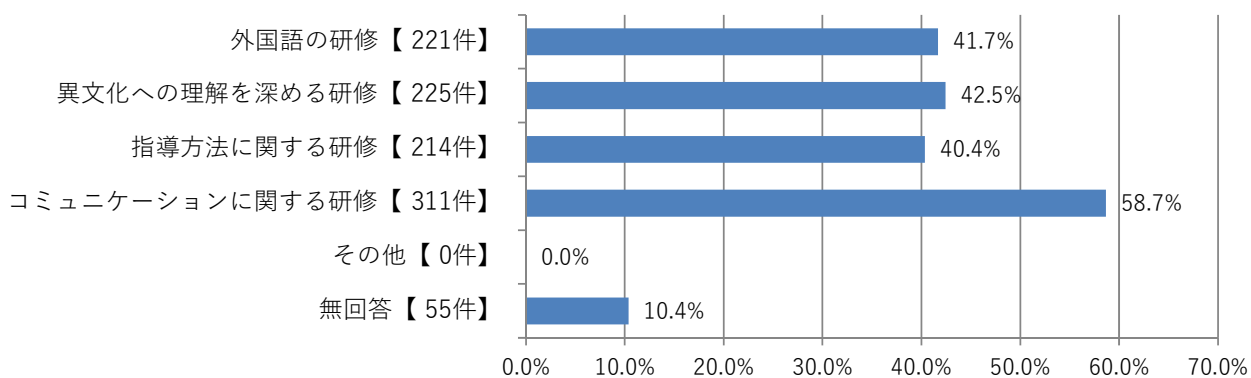


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が58.7%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」が42.5%、「外国語の研修」が41.7%、「指導方法に関する研修」が40.4%となっている。

図表 2-6-4 (N=530)



③訪問入浴介護

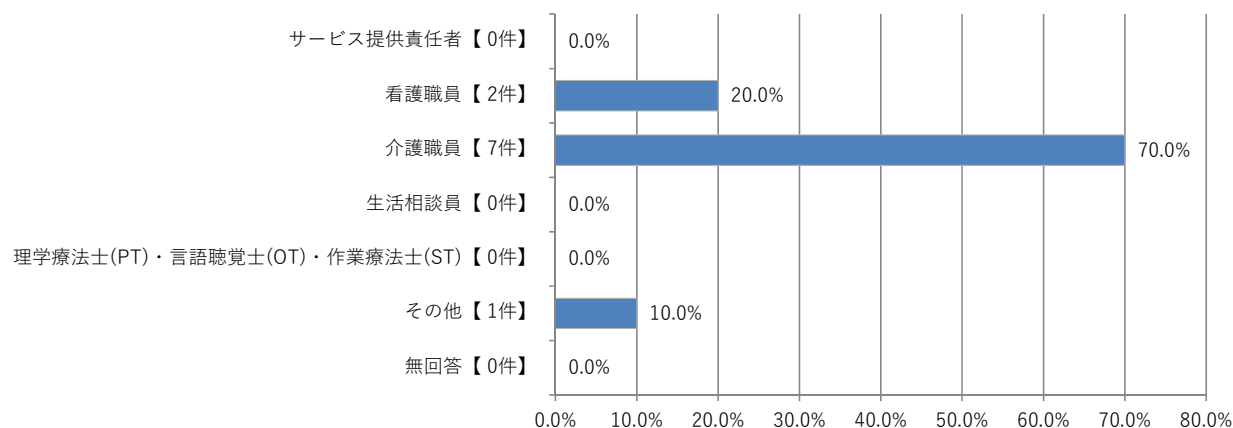
回答者数 10

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が70.0%と最も多く、次いで、「看護職員」が20.0%となっている。

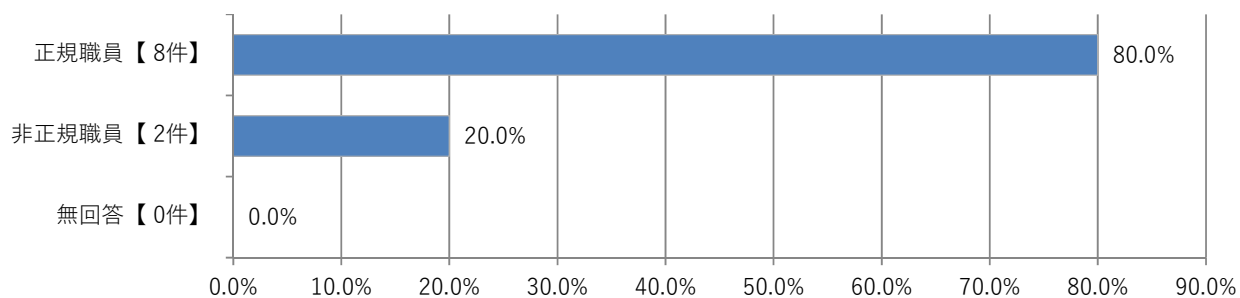
図表 3-1-1 (N=10)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が80.0%、「非正規職員」が20.0%となっている。

図表 3-1-2 (N=10)

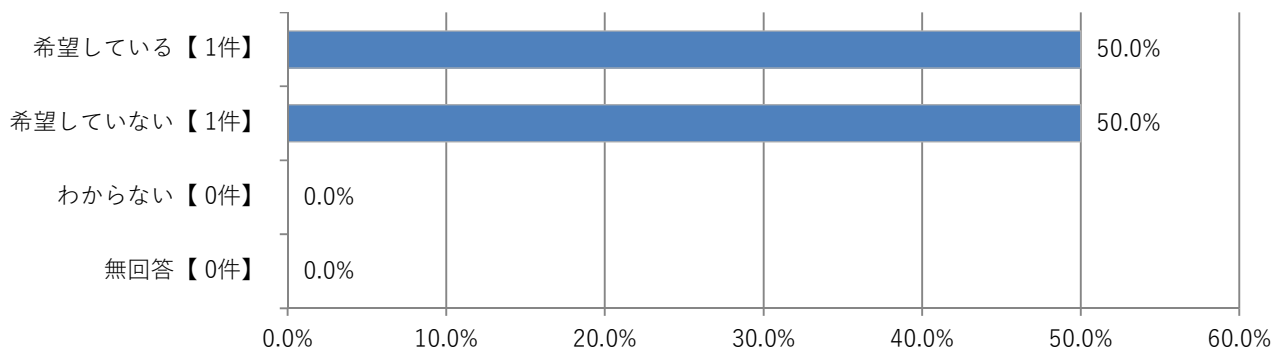


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望している」、「希望していない」ともに50.0%となっている。

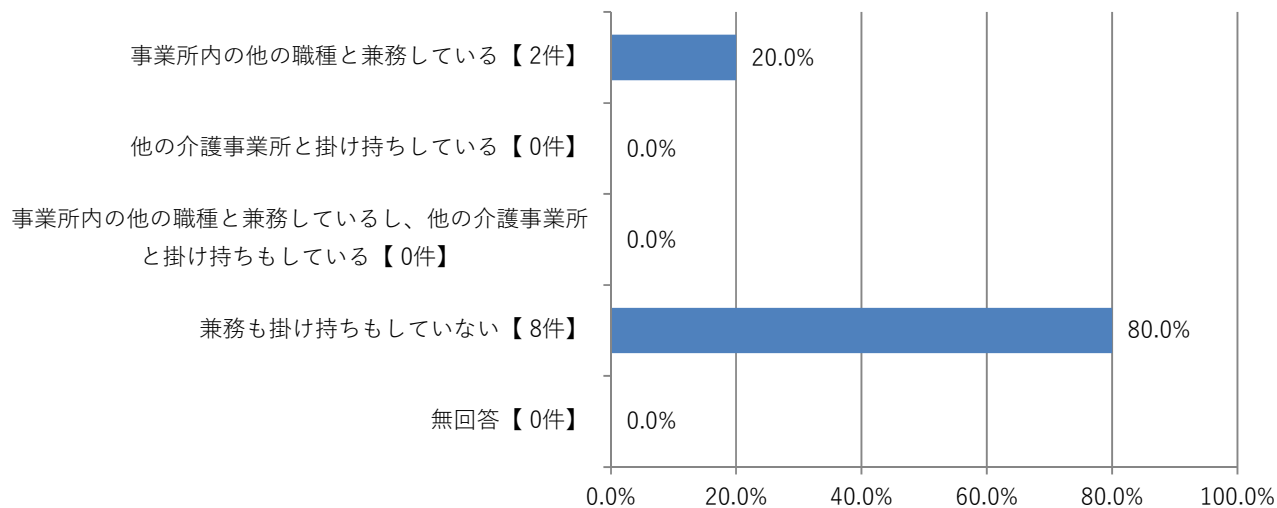
図表 3-1-3 (N=2)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が80.0%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が20.0%となっている。

図表 3-1-4 (N=10)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が16.7年となっており、「正規職員」が18.0年、「非正規職員」が11.7年となっている。

図表 3-1-5 (N=10)

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問入浴介護 (年)	10	16.7	18.0	11.7	-

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が9.6年、「正規職員」が10.3年、「非正規職員」が6.6年となっている。

図表 3-1-6 (N=10)

	対象者数	平均勤続年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問入浴介護 (年)	10	9.6	10.3	6.6	-

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.8日、「正規職員」が4.7日、「非正規職員」が5.5日となっている。

図表 3-2-1 (N=10)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問入浴介護	10	4.8	4.7	5.5	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	2	5.0	5.0	-	-
介護職員	7	5.3	5.2	5.5	-
生活相談員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	1.5	1.5	-	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が40.8時間、「正規職員」が39.3時間、「非正規職員」が46.8時間となっている。

図表 3-2-2 (N=10)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問入浴介護	10	40.8	39.3	46.8	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	2	40.0	40.0	-	-
介護職員	7	45.5	45.0	46.8	-
生活相談員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	9.0	9.0	-	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が3.6時間、「正規職員」が4.1時間、「非正規職員」が1.8時間となっている。

図表 3-2-3 (N=10)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問入浴介護	10	3.6	4.1	1.8	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	2	0.3	0.3	-	-
介護職員	7	4.5	5.6	1.8	-
生活相談員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	4.0	4.0	-	-

問2（4）給与の支払形態

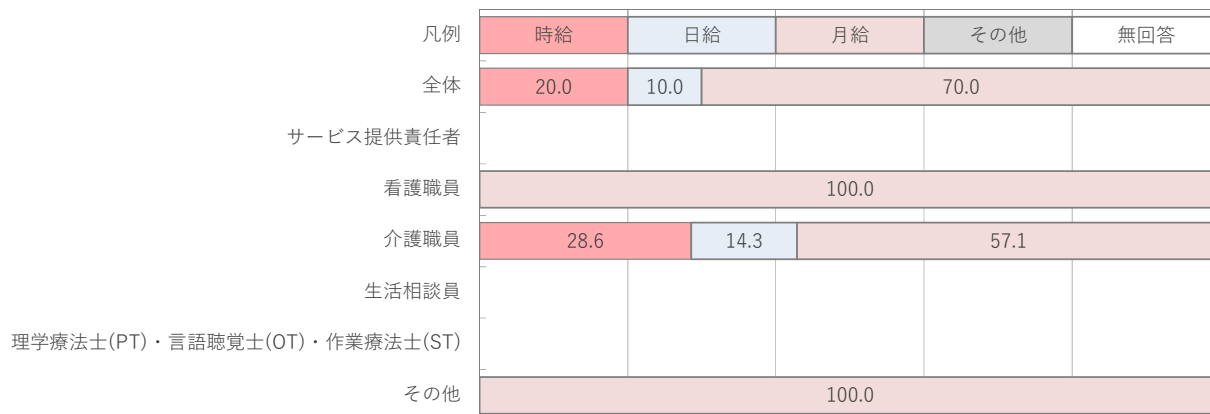
給与の支払形態は、「月給」が70.0%と最も多く、次いで、「時給」が20.0%、「日給」が10.0%となっている。

時給の平均は、1,115円となっている。

図表 3-2-4 (N=10)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
訪問入浴介護	10	2	1	7	0	0	1,115	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	2	0	0	2	0	0	-	-
介護職員	7	2	1	4	0	0	1,115	-
生活相談員	0	0	0	0	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	1	0	0	1	0	0	-	-

0% 20% 40% 60% 80% 100%



問2 (5) 1 か月当たりの税込み月収

1 か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が 221,000 円、「時給」が 230,000 円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「看護職員」が 300,000 円、「介護職員」が 191,750 円となっている。

図表 3-2-5 (N=10)

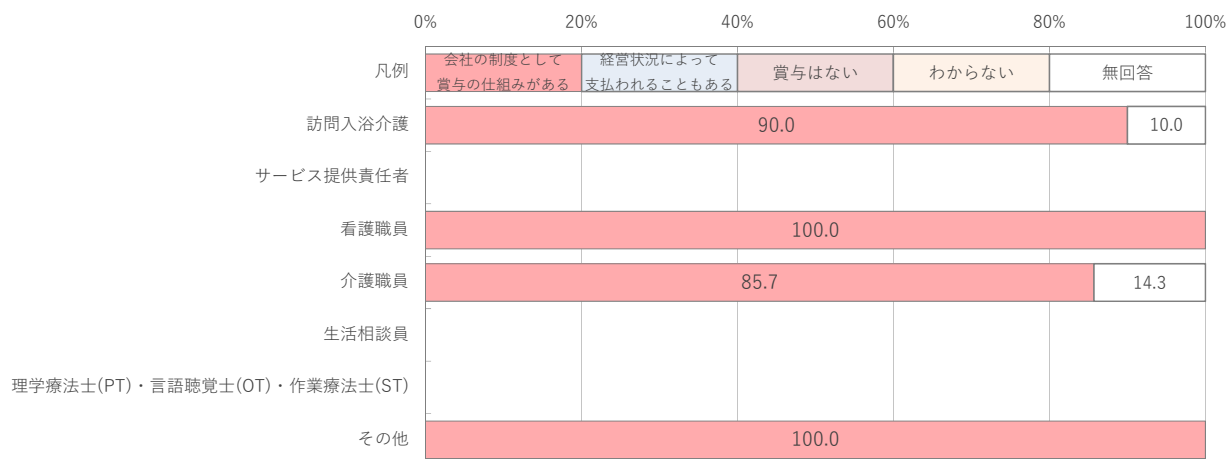
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
訪問入浴介護	2	230,000	206	1	-	21	7	221,000	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	0	-	-	0	-	-	2	300,000	0	-
介護職員	2	230,000	206	1	-	23	4	191,750	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	1	180,000	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が90.0%と最も多くなっている。

図表 3-2-6 (N=10)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社の制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社の制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
訪問入浴介護	10	9	0	0	0	1	100.0	90.0	0.0	0.0	0.0	10.0
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	2	2	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護職員	7	6	0	0	0	1	100.0	85.7	0.0	0.0	0.0	14.3
生活相談員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	1	1	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 234,000 円となっている。「正規職員」の平均は 238,250 円、「非正規職員」の平均は 200,000 円となっている。

職種別にみると、「介護職員」が 247,667 円、「看護職員」が 235,000 円、「その他」が 150,000 円となっている。

図表 3-2-7 (N=10)

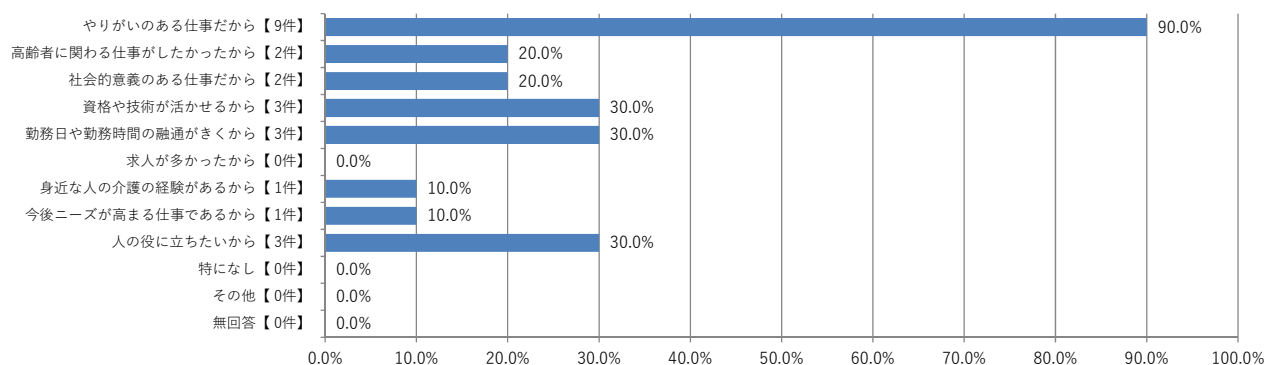
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		(件)					
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答				対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
訪問入浴介護	10	90.0	0.0	0.0	10.0	9	234,000	訪問入浴介護	10	9	0	0	1	9
正規職員	8	100.0	0.0	0.0	0.0	8	238,250	正規職員	8	8	0	0	0	8
非正規職員	2	50.0	0.0	0.0	50.0	1	200,000	非正規職員	2	1	0	0	1	1
無回答	0	-	-	-	-	0	-	無回答	0	0	0	0	0	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	2	100.0	0.0	0.0	0.0	2	235,000	看護職員	2	2	0	0	0	2
介護職員	7	85.7	0.0	0.0	14.3	6	247,667	介護職員	7	6	0	0	1	6
生活相談員	0	-	-	-	-	0	-	生活相談員	0	0	0	0	0	0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	150,000	その他	1	1	0	0	0	1

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「やりがいのある仕事だから」が90.0%と最も多く、次いで、「資格や技術が活かせるから」、「勤務日や勤務時間の融通がきくから」、「人の役に立ちたいから」が30.0%となっている。

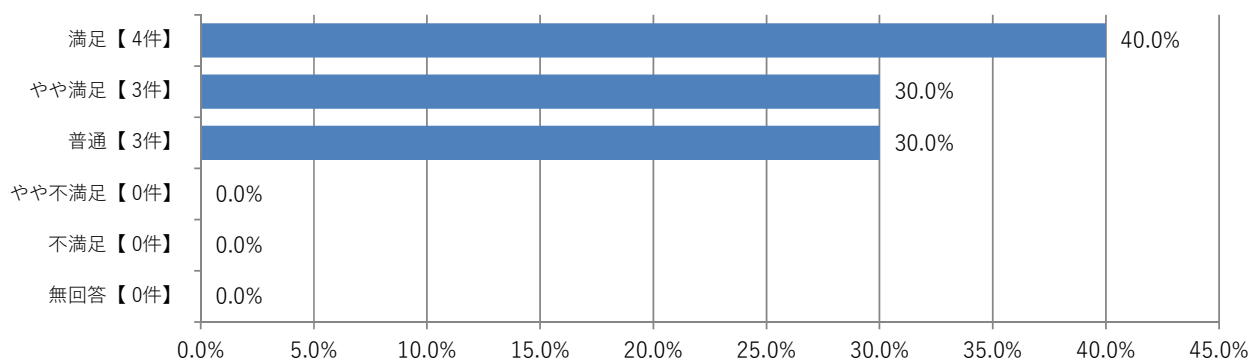
図表 3-3-1 (N=10)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「満足」が40.0%と最も多く、次いで、「やや満足」と「普通」が30.0%となっている。

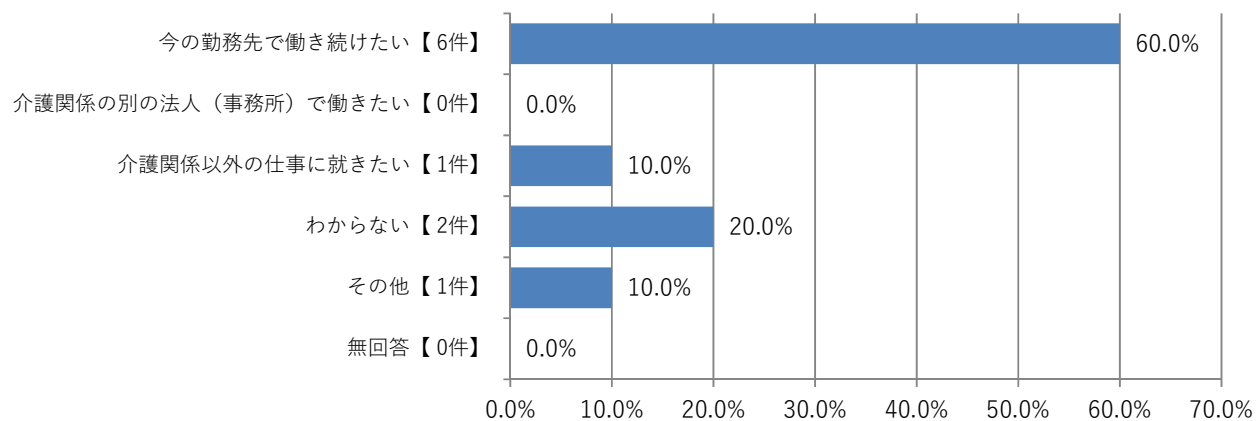
図表 3-3-2 (N=10)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働きたい」が60.0%、「わからない」が20.0%となっている。

図表 3-3-3 (N=10)

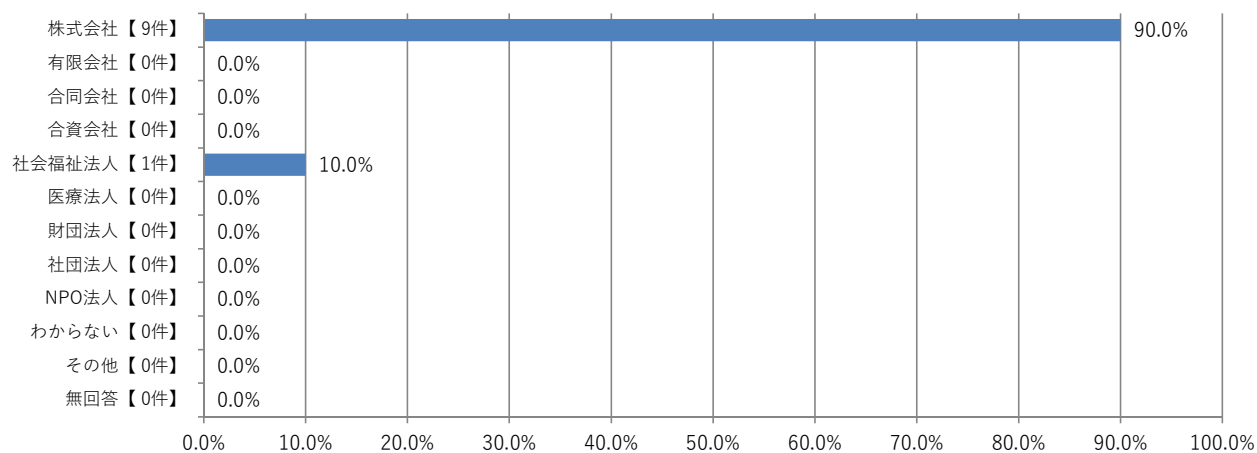


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が90.0%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が10.0%となっている。

図表 3-4-1 (N=10)

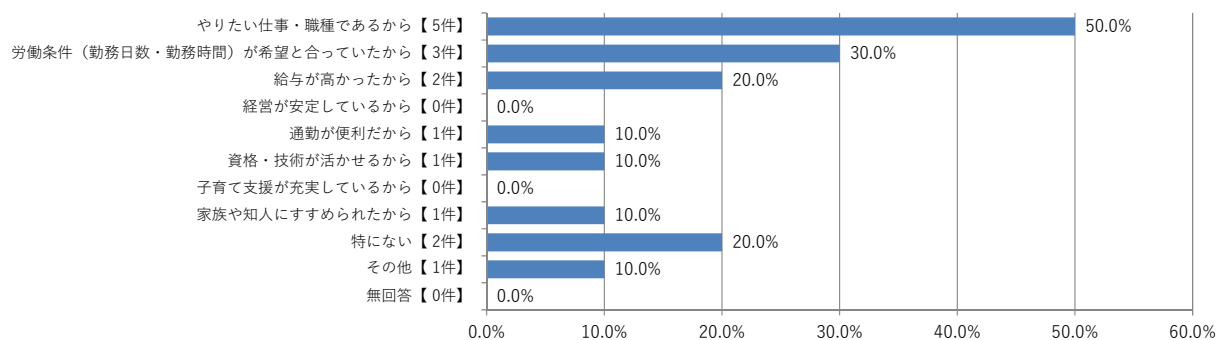


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が50.0%と最も多く、次いで、「労働条件が希望と合っていたから」が30.0%、「給与が高かったから」と「その他」が20.0%となっている。

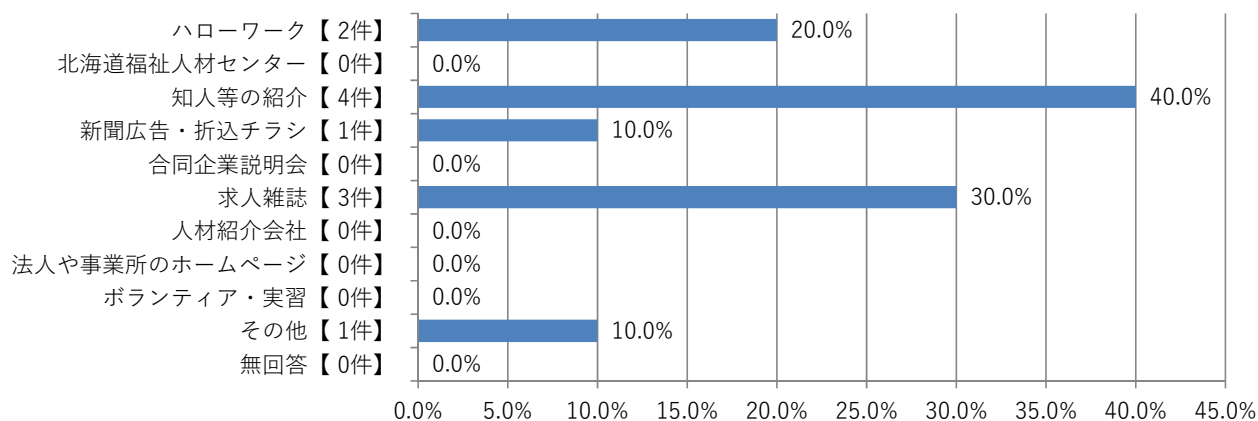
図表 3-5-1 (N=10)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が40.0%と最も多く、次いで、「求人雑誌」が30.0%、「ハローワーク」が20.0%となっている。

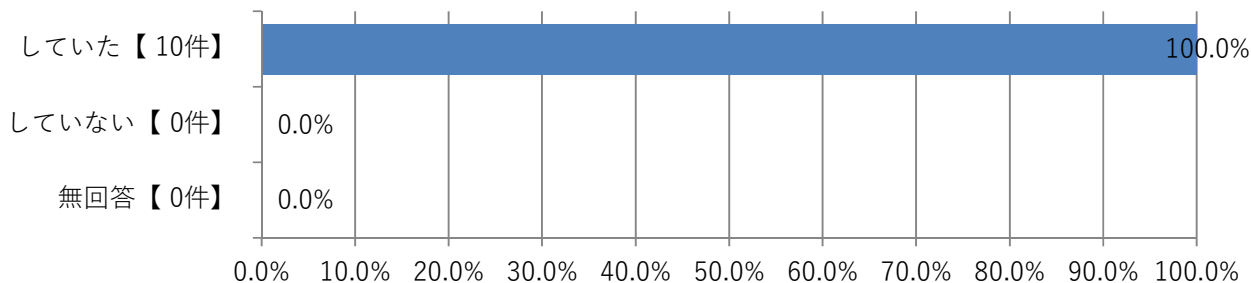
図表 3-5-2 (N=10)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が100%となっている。

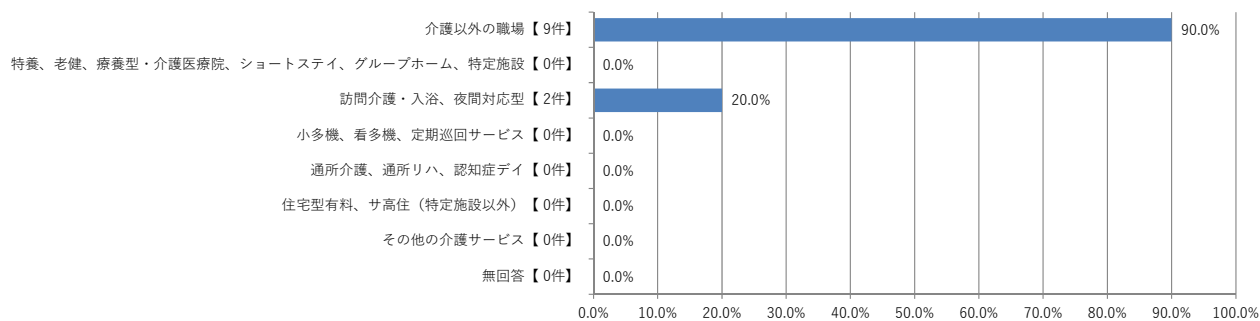
図表 3-5-3 (N=10)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が90.0%と最も多く、次いで、「訪問介護・入浴、夜間対応型」が20.0%となっている。

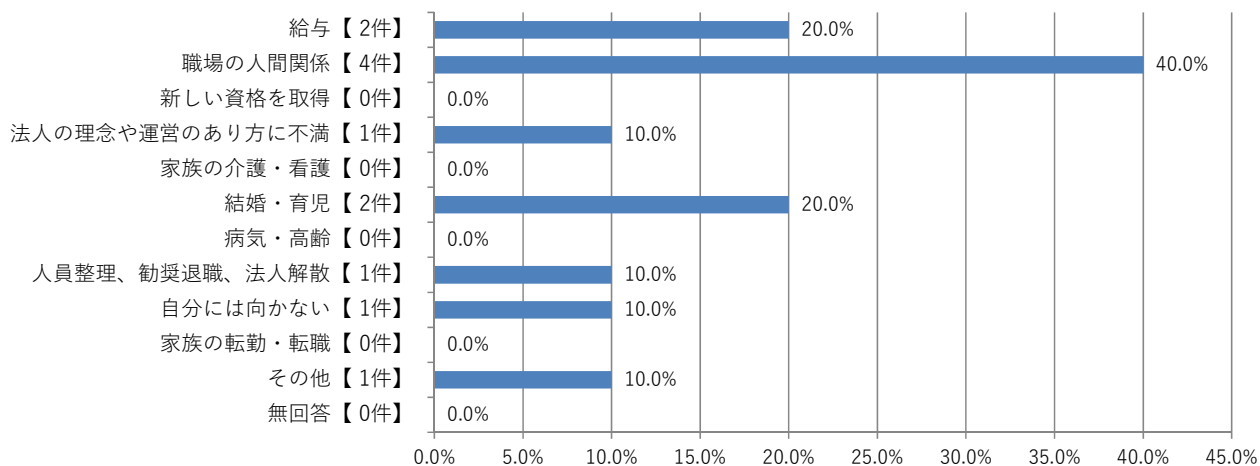
図表 3-5-4 (N=10)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が40.0%と最も多く、次いで、「給与」と「結婚・育児」と「その他」が20.0%と続いている。

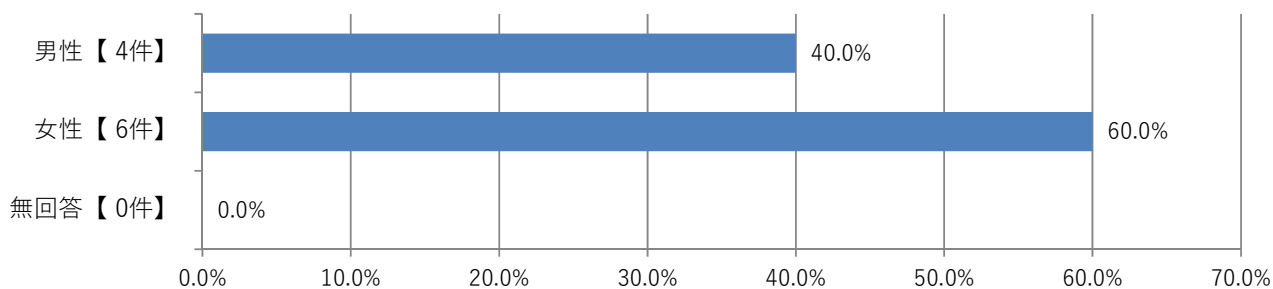
図表 3-5-5 (N=10)



問5（6）性別

性別は、「男性」が40.0%、「女性」が60.0%となっている。

図表 3-5-6 (N=10)



問5（7）年齢

平均年齢は、46.1歳となっている。

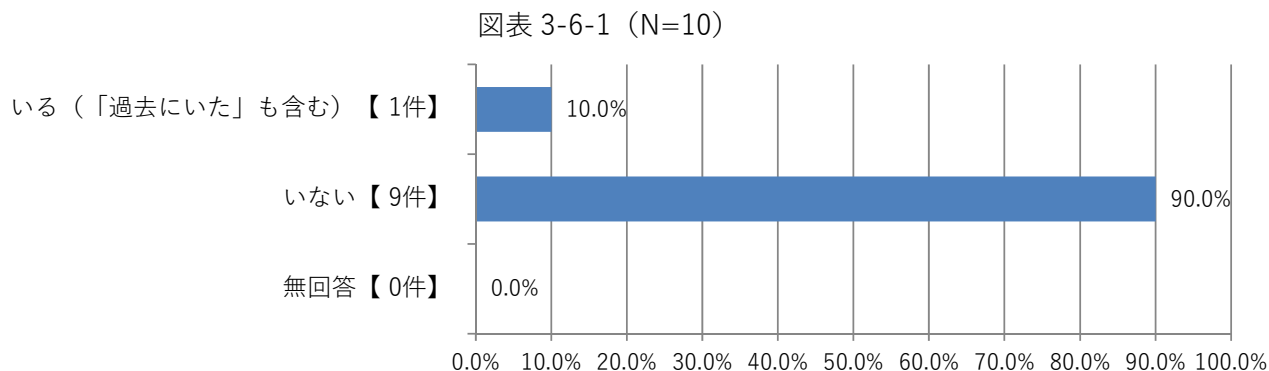
図表 3-5-7 (N=10)

	対象者数	平均年齢（歳）
訪問入浴介護	10	46.1

問6 外国人介護職員について

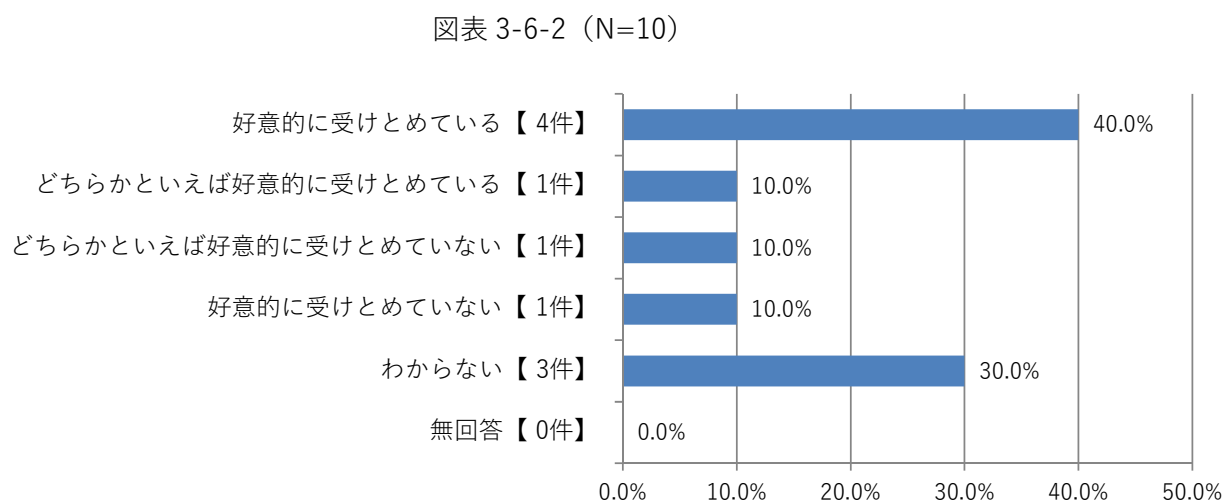
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が90.0%、「いる（過去にいた）」が10.0%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「好意的に受けとめている」が40.0%と最も多く、次いで、「わからない」が30.0%、「どちらかといえば好意的に受けとめている」、「どちらかといえば好意的に受けとめていない」、「好意的に受けとめていない」が10.0%となっている。

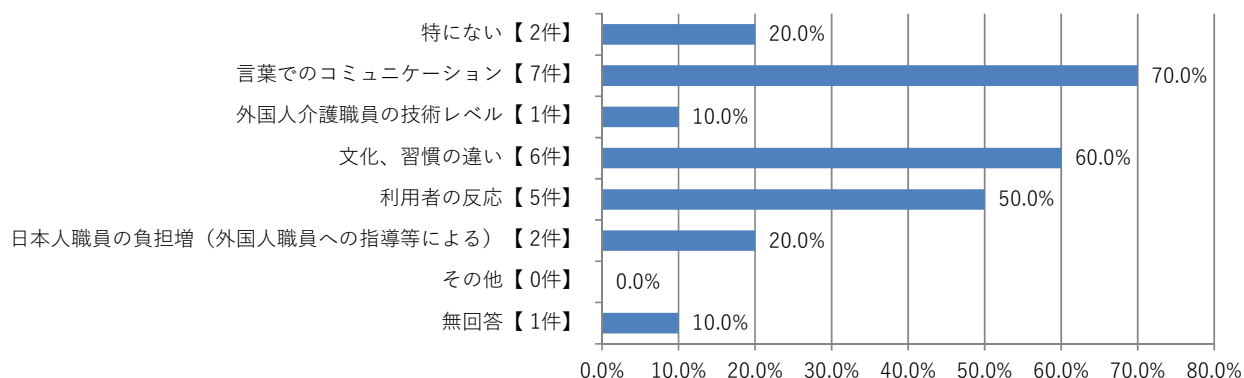


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が70.0%と最も多く、「文化、習慣の違い」が60.0%、「利用者の反応」が50.0%、「日本人職員の負担増」、「特にない」が20.0%となっている。

図表 3-6-3 (N=10)

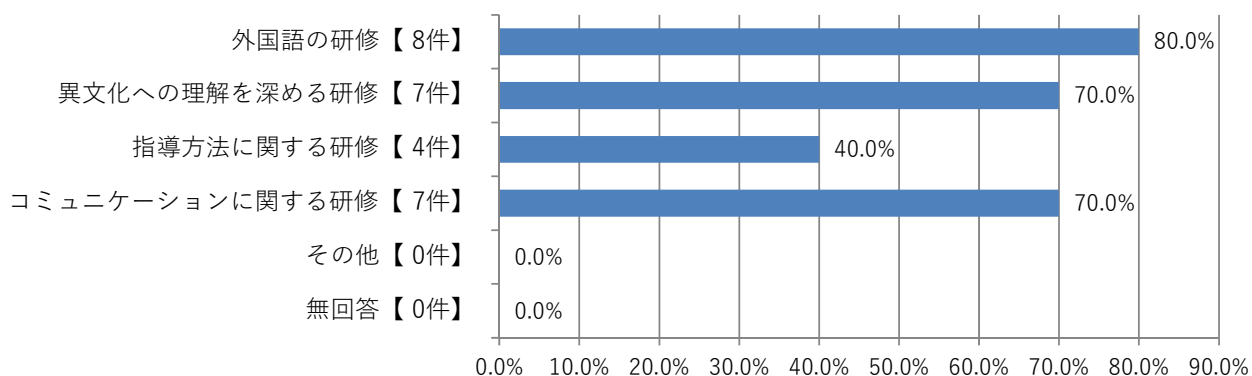


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「外国語の研修」が80.0%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」、「コミュニケーションに関する研修」が70.0%、「指導方法に関する研修」が40.0%となっている。

図表 3-6-4 (N=10)



④訪問看護

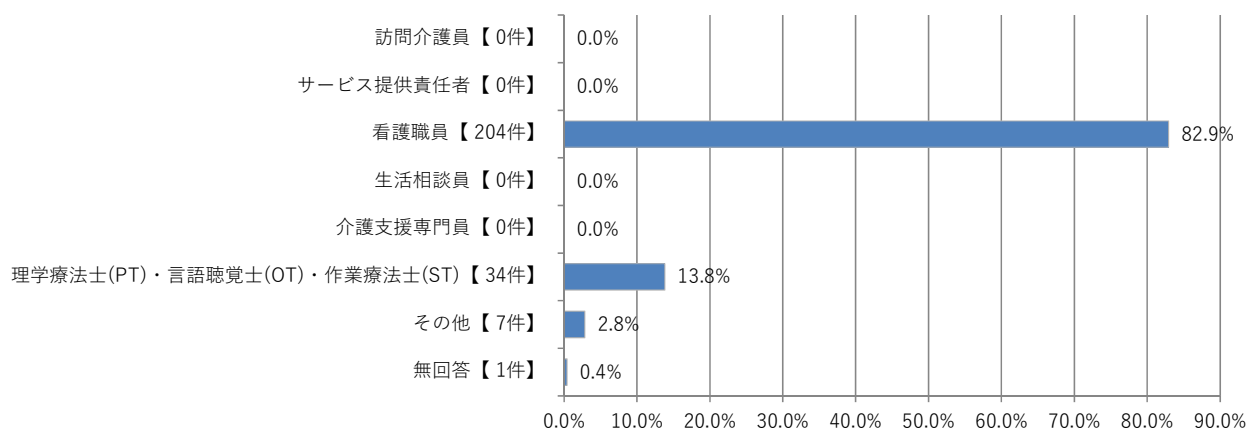
回答者数 246

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「看護職員」が82.9%と最も多く、次いで、「理学療法士（PT）・言語聴覚士（OT）・作業療法士（ST）」が13.8%となっている。

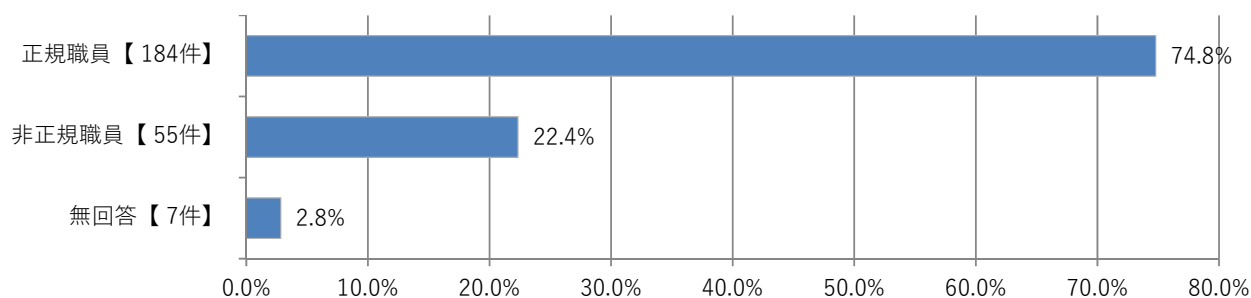
図表 4-1-1 (N=246)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が74.8%、「非正規職員」が22.4%となっている。

図表 4-1-2 (N=246)

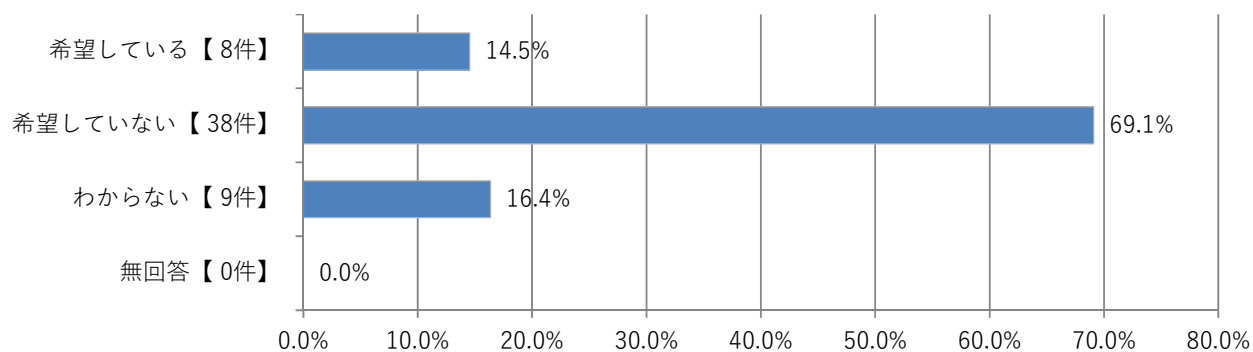


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が69.1%と最も多く、次いで、「わからない」が16.4%、「希望している」が14.5%となっている。

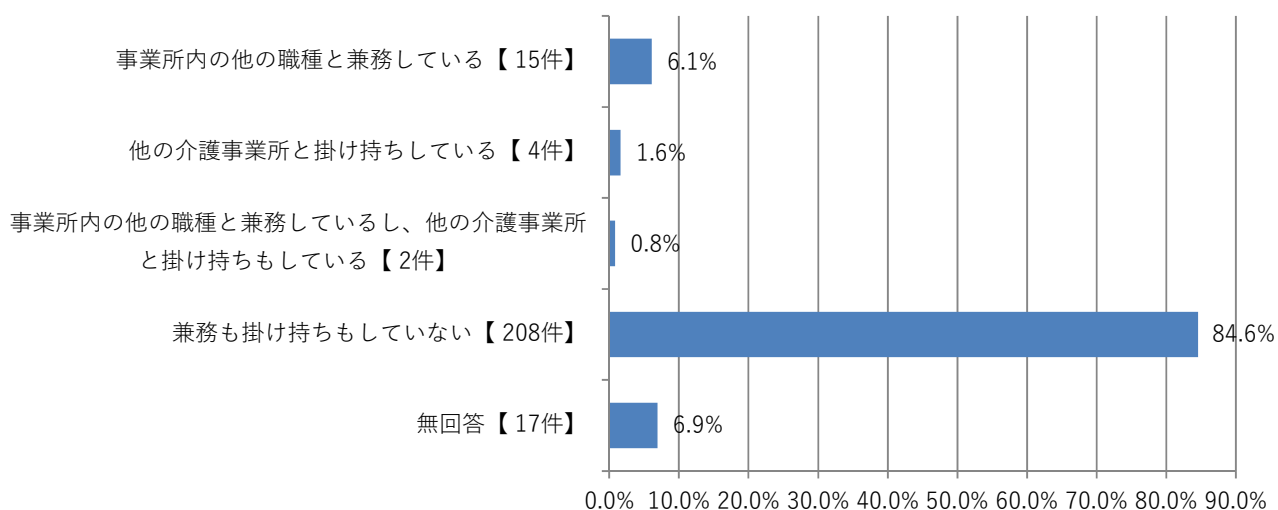
図表 4-1-3 (N=55)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が84.6%と最も多くなっている。

図表 4-1-4 (N=246)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が20.2年となっており、「正規職員」が20.2年、「非正規職員」が20.0年となっている。

図表 4-1-5 (N=246)

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問看護 (年)	246	20.2	20.2	20.0	21.6

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が5.2年、「正規職員」が5.6年、「非正規職員」が4.2年となっている。

図表 4-1-6 (N=246)

	対象者数	平均勤続年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問看護 (年)	246	5.2	5.6	4.2	3.2

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.9日、「正規職員」が5.1日、「非正規職員」が4.2日となっている。

図表 4-2-1 (N=246)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問看護	246	4.9	5.1	4.2	4.9
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	204	4.9	5.1	4.2	4.9
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	34	5.1	5.1	5.0	-
その他	7	5.1	5.2	5.0	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が36.4時間、「正規職員」が40.3時間、「非正規職員」が23.3時間となっている。

図表 4-2-2 (N=246)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問看護	246	36.4	40.3	23.3	40.9
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	204	35.4	40.0	22.8	40.6
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	34	40.7	41.4	20.0	-
その他	7	41.9	43.2	38.5	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.0時間、「正規職員」が2.3時間、「非正規職員」が1.1時間となっている。

図表 4-2-3 (N=246)

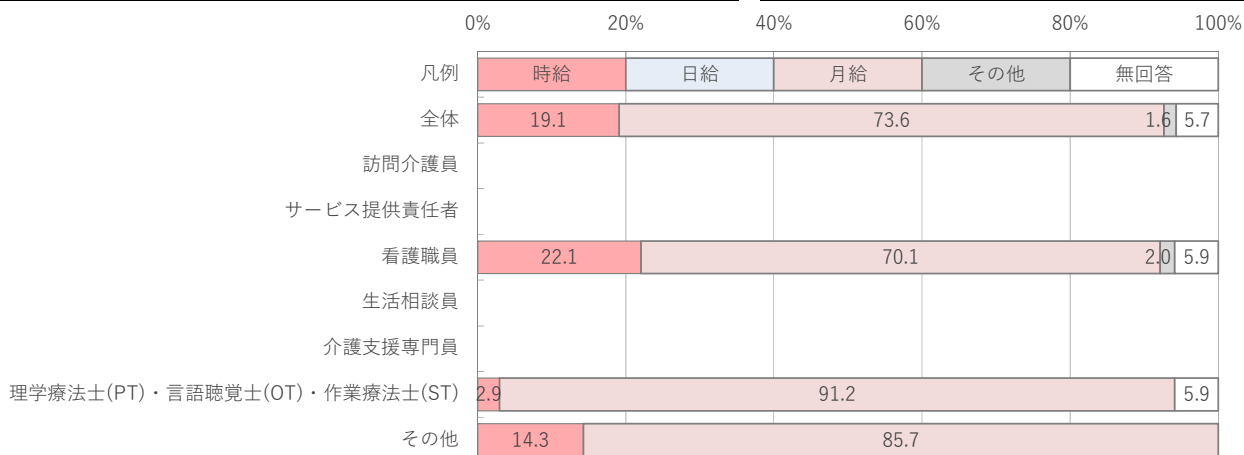
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問看護	246	2.0	2.3	1.1	2.1
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	204	2.0	2.3	1.1	2.1
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	34	2.4	2.5	0.0	-
その他	7	1.5	1.6	1.3	-

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が73.6%と最も多く、次いで、「時給」が19.1%となっている。
時給の平均は、1,445円となっている。

図表 4-2-4 (N=246)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
訪問看護	246	47	0	181	4	14	1,445	-
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	204	45	0	143	4	12	1,454	-
生活相談員	0	0	0	0	0	0	-	-
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	34	1	0	31	0	2	1,550	-
その他	7	1	0	6	0	0	900	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が258,480円、「時給」が129,464円、「その他」が220,000円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「看護職員」で259,633円と最も高くなっている。

図表 4-2-5 (N=246)

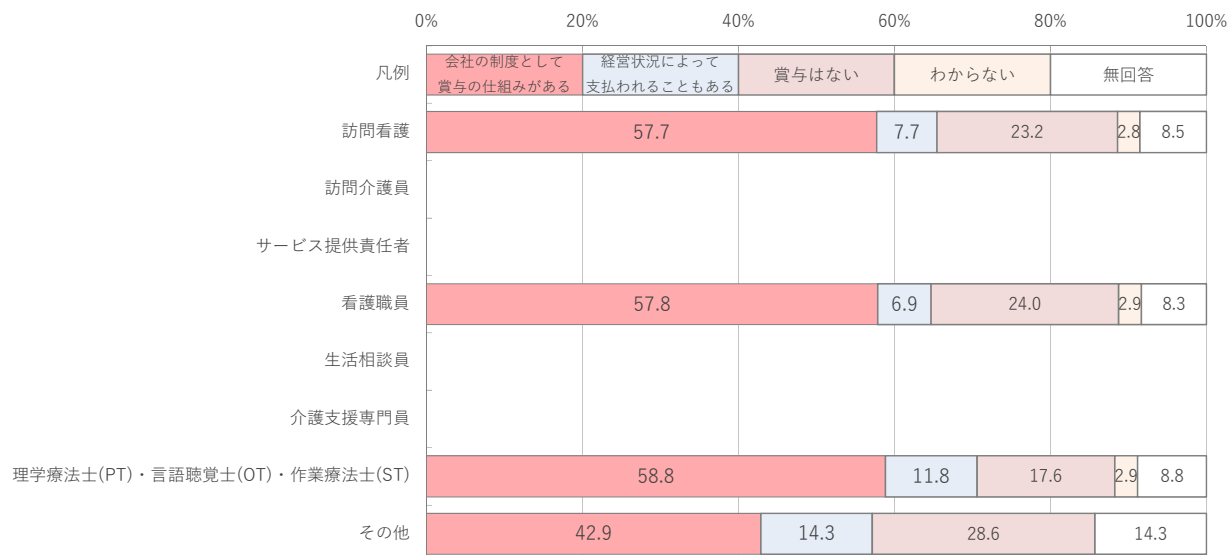
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
訪問看護	47	129,464	90	0	-	-	181	258,480	4	220,000
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	45	130,258	90	0	-	-	143	259,633	4	220,000
生活相談員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	1	124,000	80	0	-	-	31	256,413	0	-
その他	1	100,000	111	0	-	-	6	250,817	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 57.7%と最も多く、次いで、「賞与はない」が 23.2%となっている。

図表 4-2-6 (N=246)

	(件)						(%)						
	対象者数	会社が ある	会社 の制 度と して 賞 与 の 仕 組 み が あ る	経 営 状 況 に よ っ て 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答	対象者数	会社が ある	会社 の制 度と して 賞 与 の 仕 組 み が あ る	経 営 状 況 に よ っ て 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い
訪問看護	246	142	19	57	7	21	訪問看護	100.0	57.7	7.7	23.2	2.8	8.5
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	訪問介護員	0.0	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	サービス提供責任者	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	204	118	14	49	6	17	看護職員	100.0	57.8	6.9	24.0	2.9	8.3
生活相談員	0	0	0	0	0	0	生活相談員	0.0	-	-	-	-	-
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	介護支援専門員	0.0	-	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	34	20	4	6	1	3	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	100.0	58.8	11.8	17.6	2.9	8.8
その他	7	3	1	2	0	1	その他	100.0	42.9	14.3	28.6	0.0	14.3



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 415,273 円となっている。「正規職員」の平均は 448,654 円、「非正規職員」の平均は 168,213 円となっている。

職種別にみると、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が 520,316 円で最も高く、次いで、「看護職員」が 400,162 円、「その他」が 200,000 円となっている。

図表 4-2-7 (N=246)

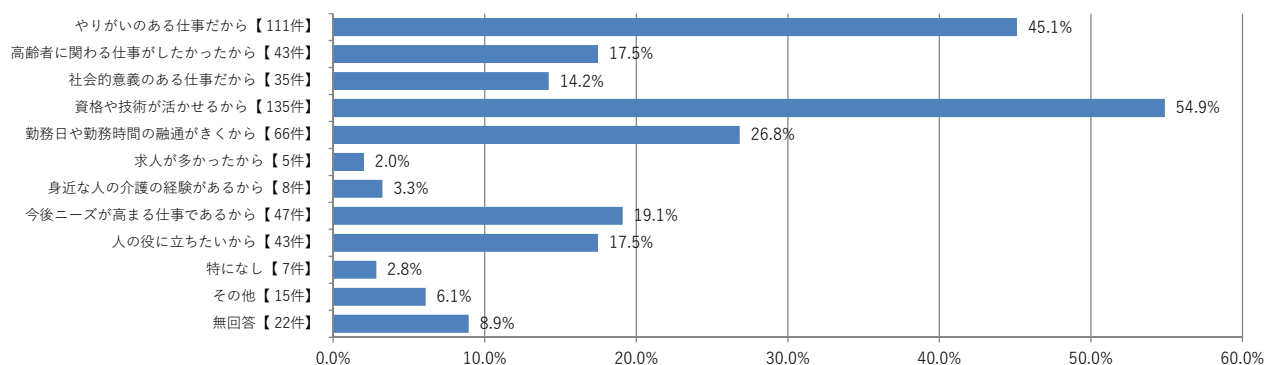
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
訪問看護	246	65.4	23.2	2.8	8.5	161	415,273	訪問看護	246	161	57	7	21	161
正規職員	184	75.5	13.6	2.7	8.2	139	448,654	正規職員	184	139	25	5	15	139
非正規職員	55	34.5	58.2	1.8	5.5	19	168,213	非正規職員	55	19	32	1	3	19
無回答	7	42.9	0.0	14.3	42.9	3	433,333	無回答	7	3	0	1	3	3
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	204	64.7	24.0	2.9	8.3	132	400,162	看護職員	204	132	49	6	17	132
生活相談員	0	-	-	-	-	0	-	生活相談員	0	0	0	0	0	0
介護支援専門員	0	-	-	-	-	0	-	介護支援専門員	0	0	0	0	0	0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	34	70.6	17.6	2.9	8.8	24	520,316	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	34	24	6	1	3	24
その他	7	57.1	28.6	0.0	14.3	4	200,000	その他	7	4	2	0	1	4

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が54.9%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が45.1%、「勤務日や勤務時間の融通がきくから」が26.8%となっている。

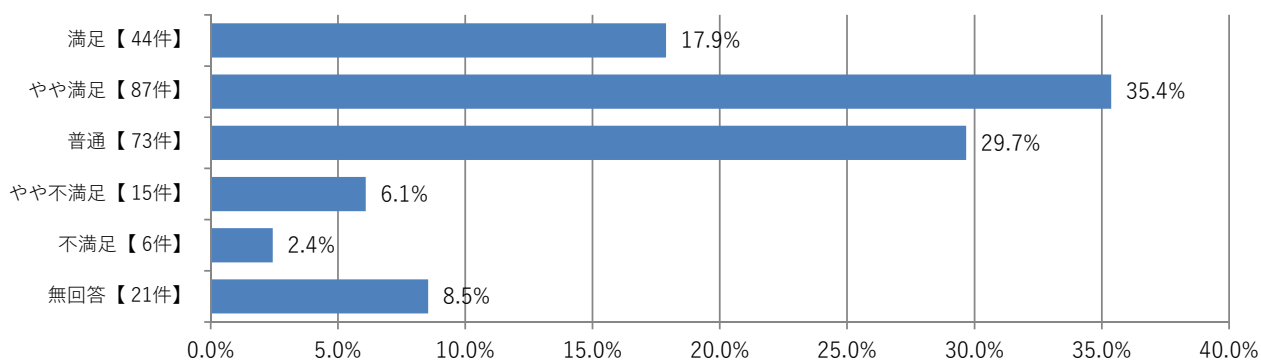
図表 4-3-1 (N=246)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「やや満足」が35.4%と最も多く、次いで、「普通」が29.7%、「満足」が17.9%となっている。

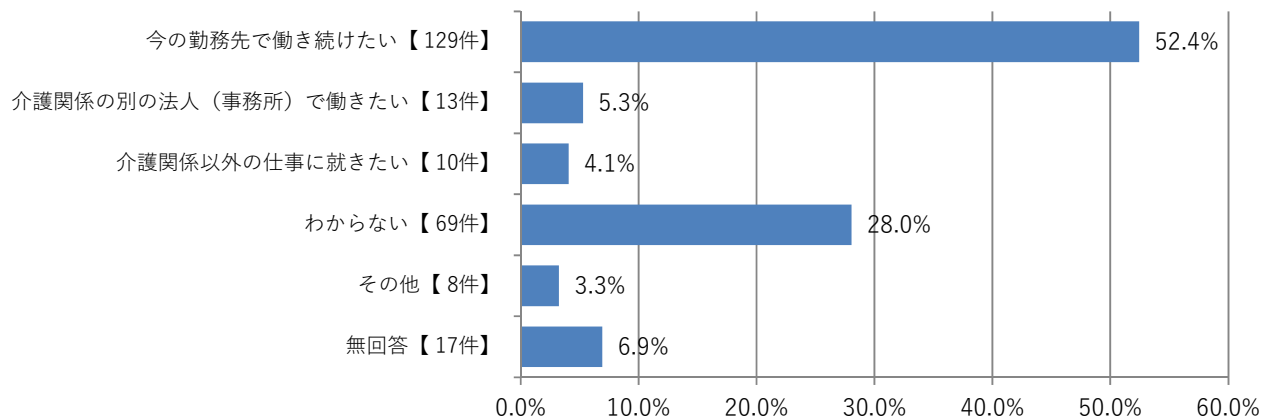
図表 4-3-2 (N=246)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働きたい」が52.4%、「わからない」が28.0%となっている。

図表 4-3-3 (N=246)

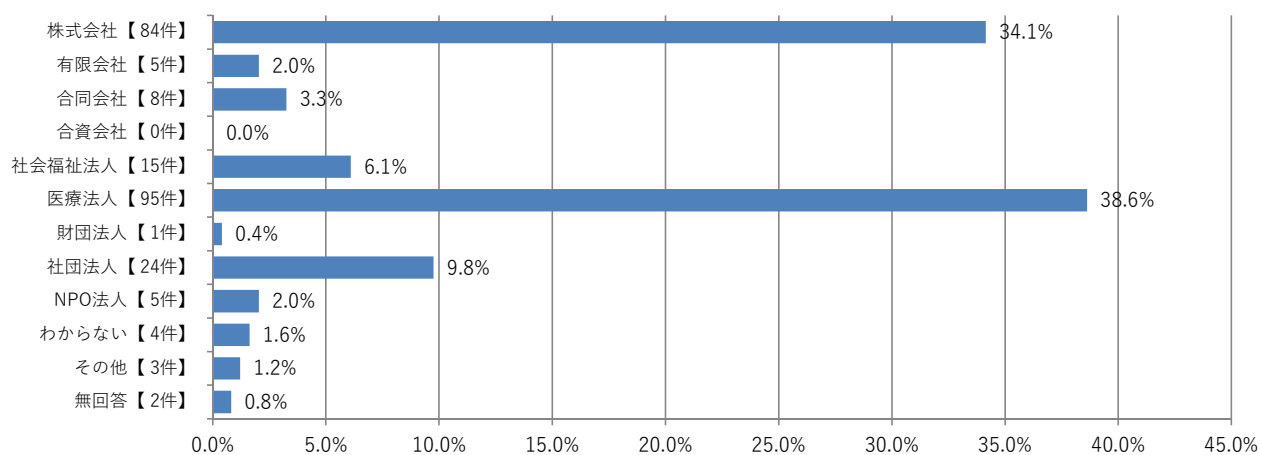


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「医療法人」が38.6%と最も多く、次いで、「株式会社」が34.1%、「社団法人」が9.8%となっている。

図表 4-4-1 (N=246)

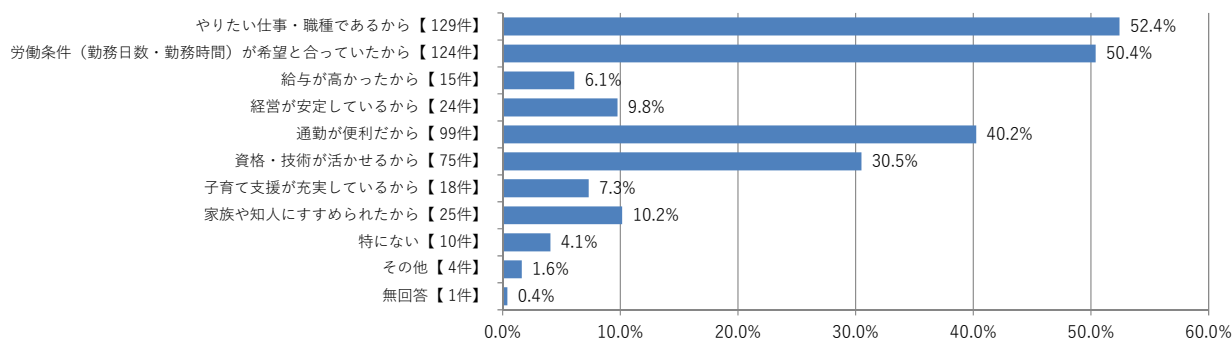


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が52.4%と最も多く、次いで、「労働条件（勤務日数・勤務時間）が希望と合っていたから」が50.4%、「通勤が便利だから」が40.2%、「資格・技術を活かせるから」が30.5%となっている。

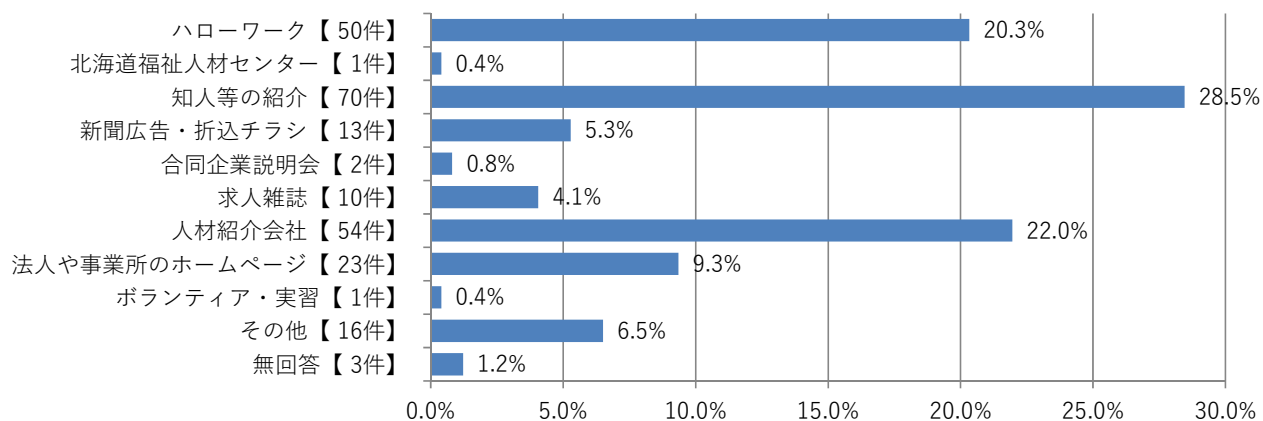
図表 4-5-1 (N=246)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が28.5%と最も多く、次いで、「人材紹介会社」が22.0%、「ハローワーク」が20.3%となっている。

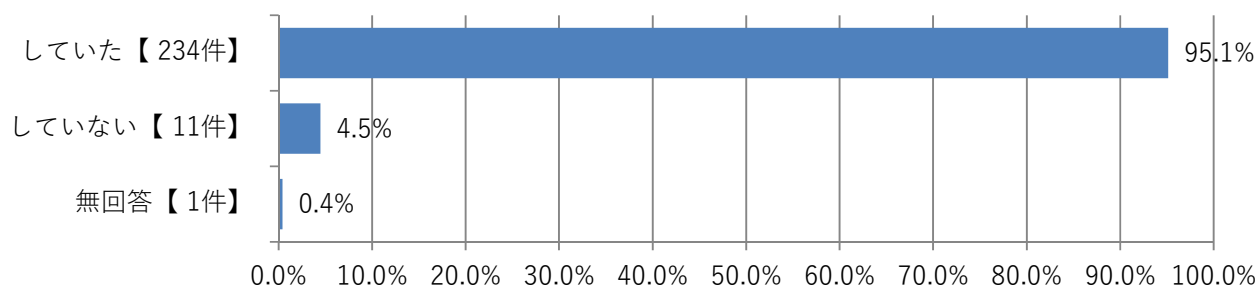
図表 4-5-2 (N=246)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が95.1%、「仕事をしていない」が4.5%となっている。

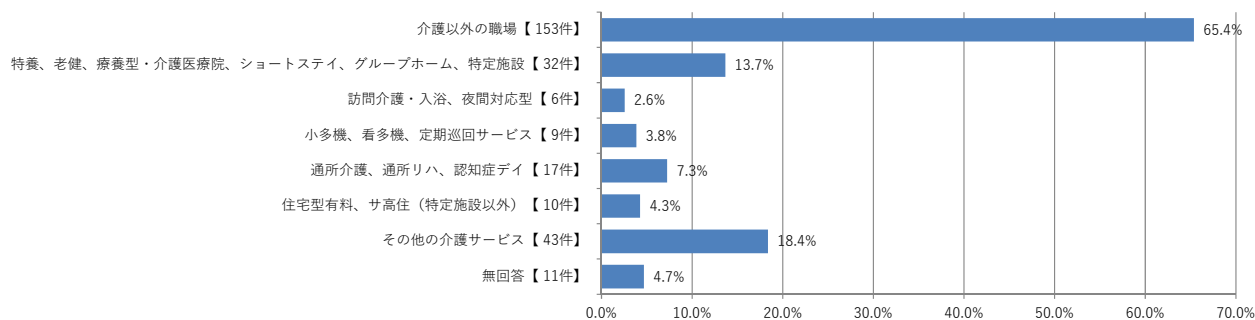
図表 4-5-3 (N=246)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が65.4%と最も多く、次いで、「その他の介護サービス」が18.4%となっている。

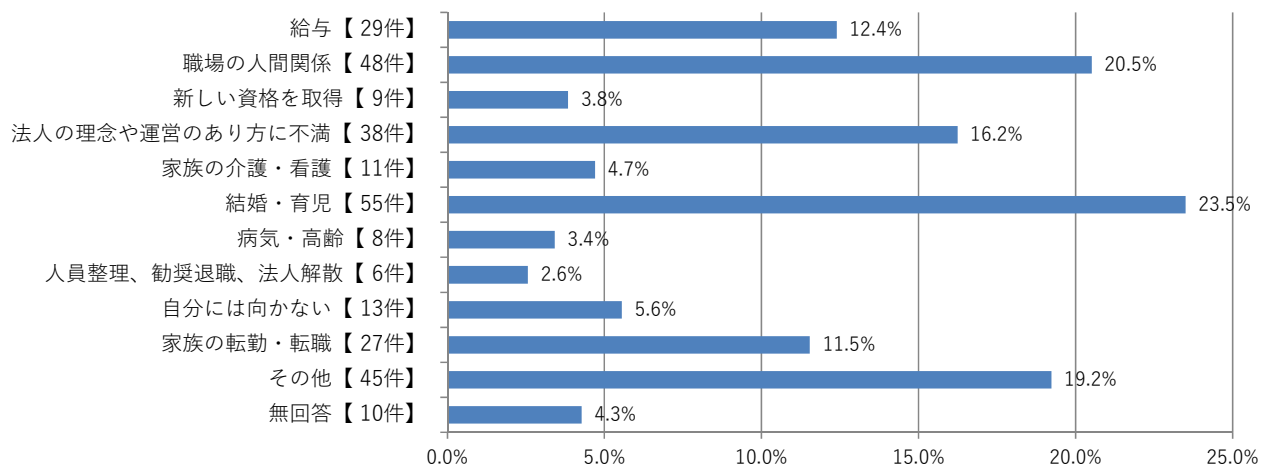
図表 4-5-4 (N=234)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「結婚・育児」が23.5%と最も多く、次いで、「職場の人間関係」が20.5%、「その他」が19.2%と続いている。

図表 4-5-5 (N=234)

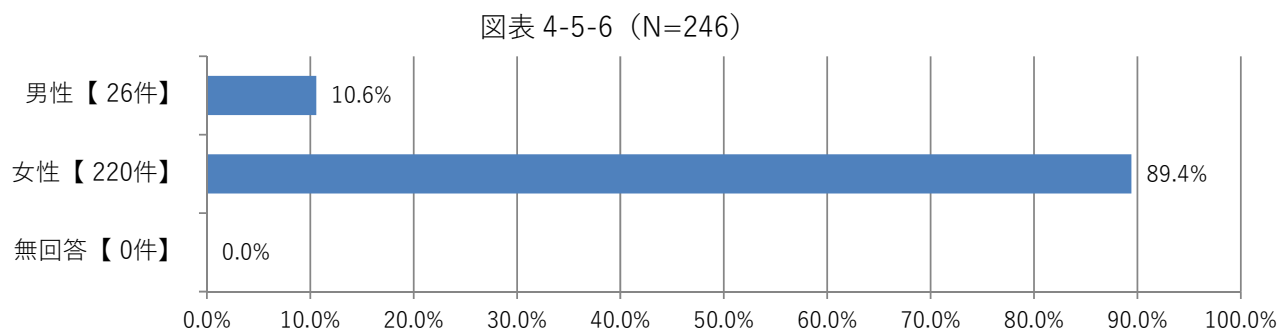


その他の内容
定年退職
労働条件
残業が多い、夜勤が辛い
キャリアアップのため
体力がもたず

※そのほかの回答は 454～455 ページに記載

問5（6）性別

性別は、「男性」が10.6%、「女性」が89.4%となっている。



問5（7）年齢

平均年齢は、46.7歳となっている。

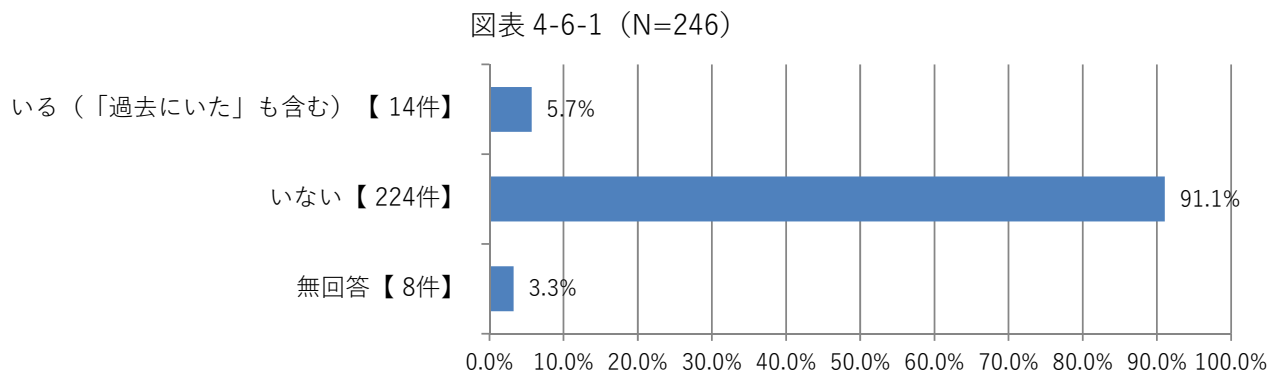
図表 4-5-7 (N=246)

	対象者数	平均年齢（歳）
訪問看護	246	46.7

問6 外国人介護職員について

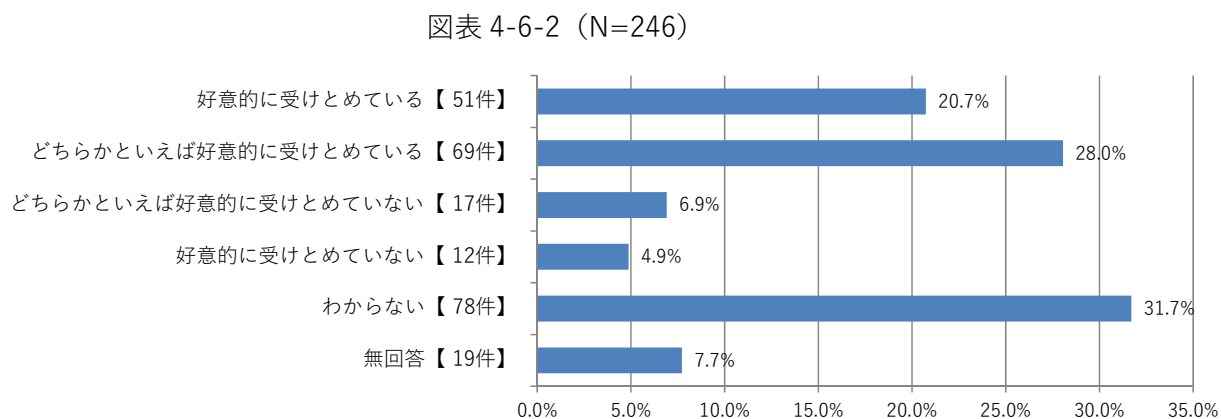
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が91.1%、「いる（過去にいた）」が5.7%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が31.7%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が28.0%、「好意的に受けとめている」が20.7%となっている。

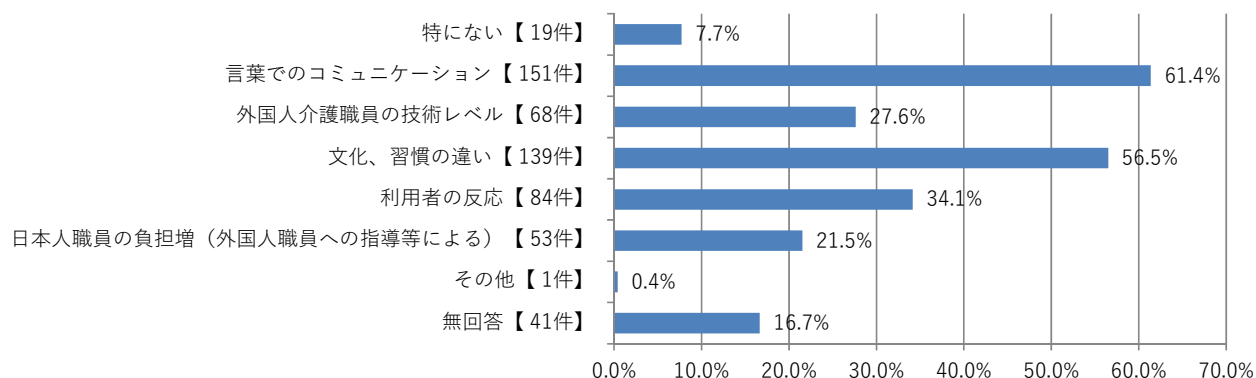


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が61.4%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が56.5%、「利用者の反応」が34.1%、「日本人職員の負担増」が27.6%となっている。

図表 4-6-3 (N=246)

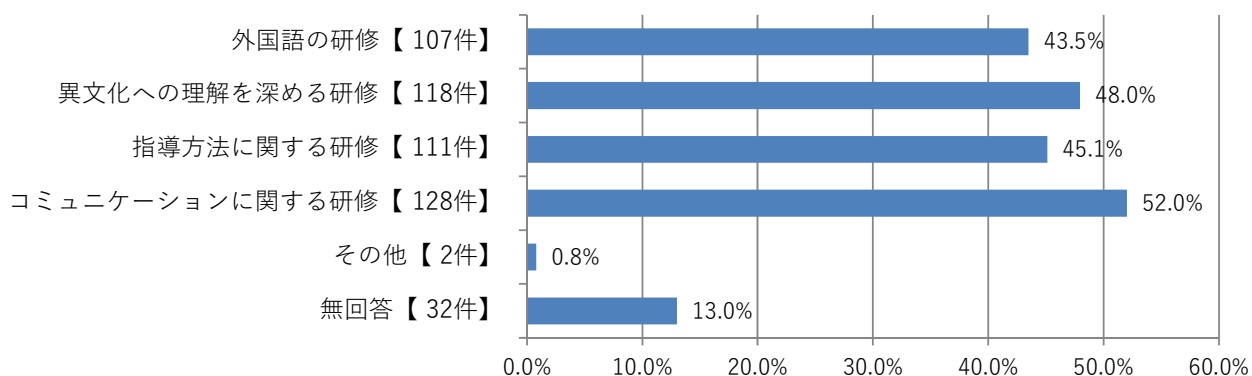


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が52.0%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」が48.0%、「指導方法に関する研修」が45.1%、「外国語の研修」が43.5%となっている。

図表 4-6-4 (N=246)



⑤訪問リハビリテーション

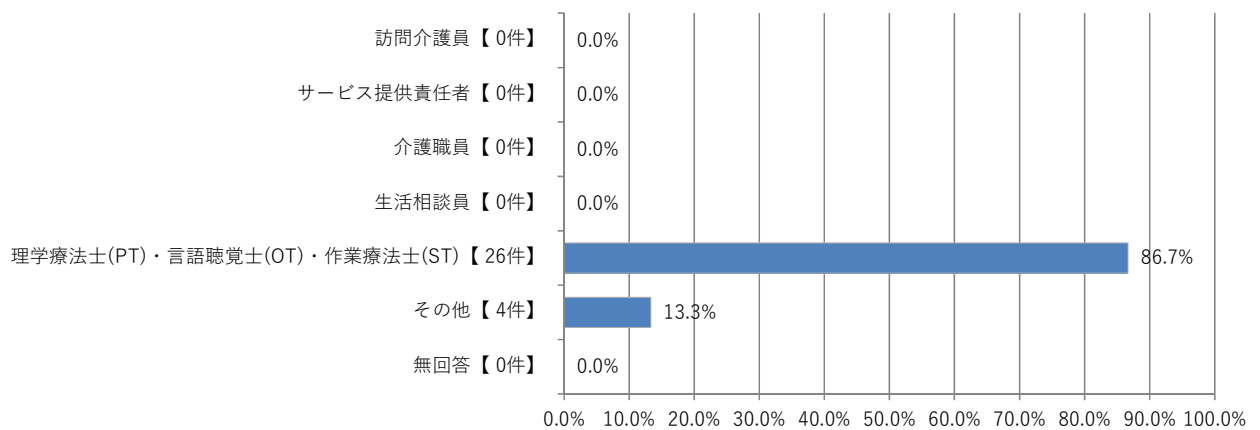
回答者数 30

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「理学療法士（PT）・言語聴覚士（OT）・作業療法士（ST）」が86.7%と最も多く、次いで、「その他」が13.3%となっている。

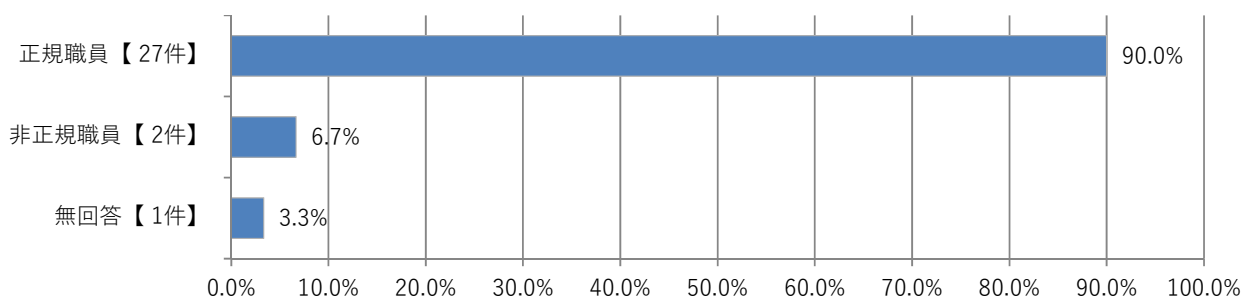
図表 5-1-1 (N=30)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が90.0%、「非正規職員」が6.7%となっている。

図表 5-1-2 (N=30)

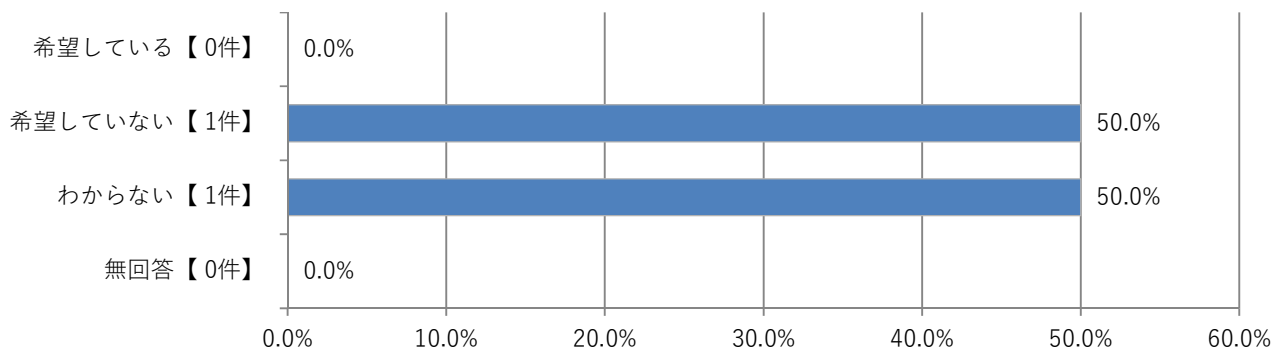


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」と「わからない」が50.0%となっている。

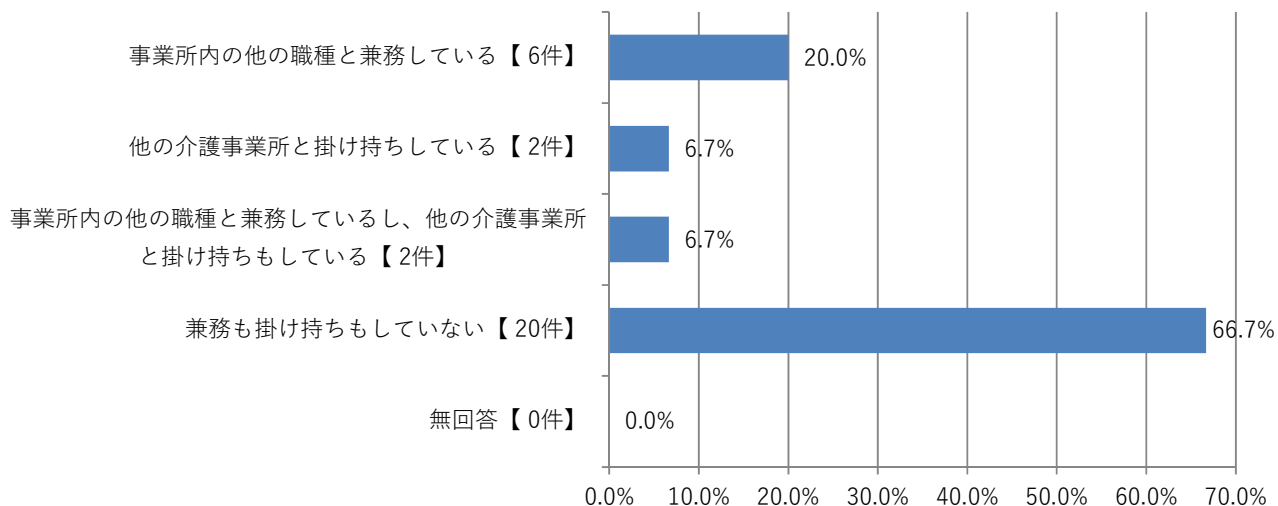
図表 5-1-3 (N=2)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が66.7%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が20.0%となっている。

図表 5-1-4 (N=30)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が14.0年となっており、「正規職員」が13.0年、「非正規職員」が28.3年となっている。

図表 5-1-5 (N=30)

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問リハビリテーション (年)	30	14.0	13.0	28.3	10.0

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が6.0年、「正規職員」が6.3年、「非正規職員」が3.5年となっている。

図表 5-1-6 (N=30)

	対象者数	平均勤続年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問リハビリテーション (年)	30	6.0	6.3	3.5	2.8

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が5.0日、「正規職員」が5.1日、「非正規職員」が3.5日となっている。

図表 5-2-1 (N=30)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問リハビリテーション	30	5.0	5.1	3.5	5.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
介護職員	0	-	-	-	-
生活相談員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	26	5.0	5.1	3.5	-
その他	4	5.0	5.0	-	5.0

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が42.2時間、「正規職員」が43.0時間、「非正規職員」が30.3時間となっている。

図表 5-2-2 (N=30)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問リハビリテーション	30	42.2	43.0	30.3	45.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
介護職員	0	-	-	-	-
生活相談員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	26	42.1	43.1	30.3	-
その他	4	42.3	41.0	-	45.0

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が1.6時間、「正規職員」が1.5時間、「非正規職員」が3.0時間となっている。

図表 5-2-3 (N=30)

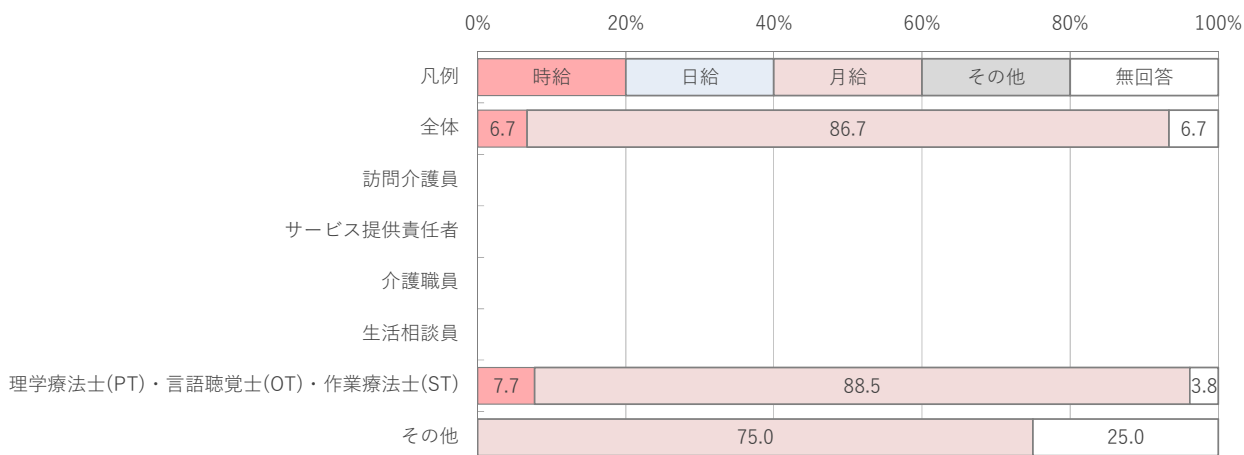
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
訪問リハビリテーション	30	1.6	1.5	3.0	3.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
介護職員	0	-	-	-	-
生活相談員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	26	1.6	1.5	3.0	-
その他	4	1.7	1.0	-	3.0

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が86.7%と最も多く、次いで、「時給」が6.7%となっている。
時給の平均は、1,500円となっている。

図表 5-2-4 (N=30)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
訪問リハビリテーション	30	2	0	26	0	2	1,500	-
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
介護職員	0	0	0	0	0	0	-	-
生活相談員	0	0	0	0	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	26	2	0	23	0	1	1,500	-
その他	4	0	0	3	0	1	-	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が259,717円、「時給」が180,000円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が262,555円と最も高くなっている。

図表 5-2-5 (N=30)

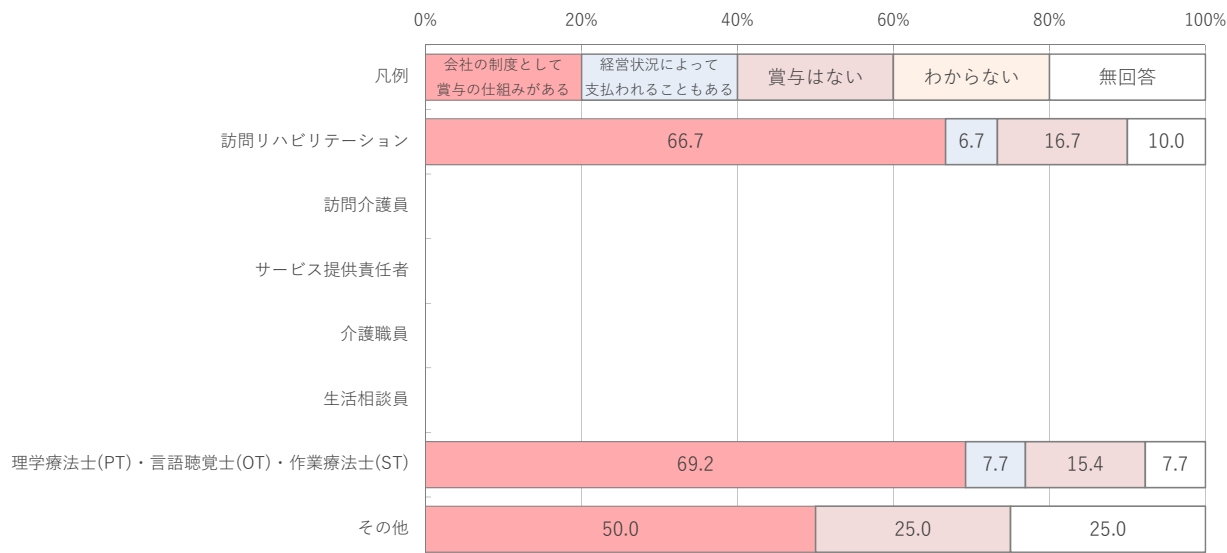
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
訪問リハビリテーション	2	180,000	120	0	-	-	26	259,717	0	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護職員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	2	180,000	120	0	-	-	23	262,555	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	3	228,500	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が66.7%と最も多く、次いで、「賞与はない」が16.7%となっている。

図表 5-2-6 (N=30)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社の制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社の制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
訪問リハビリテーション	30	20	2	5	0	3	100.0	66.7	6.7	16.7	0.0	10.0
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
介護職員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
生活相談員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	26	18	2	4	0	2	100.0	69.2	7.7	15.4	0.0	7.7
その他	4	2	0	1	0	1	100.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 604,172 円となっている。「正規職員」の平均は 604,172 円となっている。

職種別にみると、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が 652,750 円で最も高く、「その他」が 118,397 円となっている。

図表 5-2-7 (N=30)

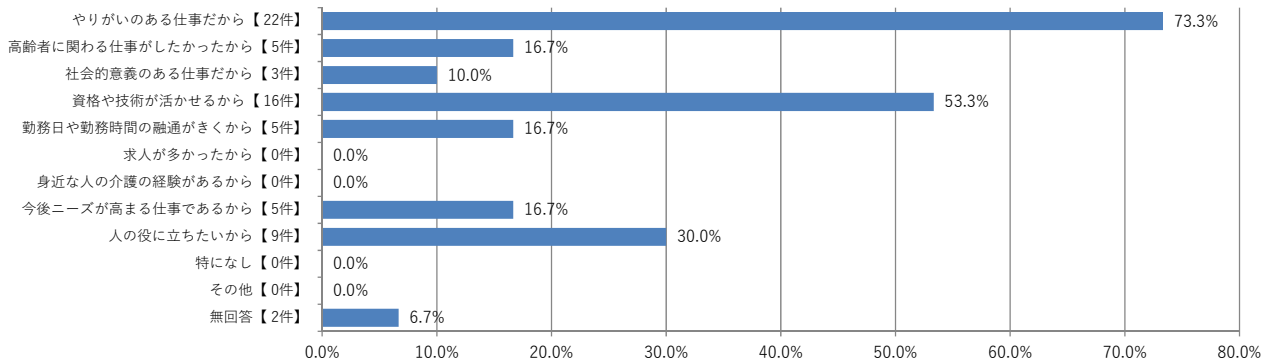
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		(件)					
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答				対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
訪問リハビリテーション	30	73.3	16.7	0.0	10.0	22	604,172	訪問リハビリテーション	30	22	5	0	3	22
正規職員	27	81.5	7.4	0.0	11.1	22	604,172	正規職員	27	22	2	0	3	22
非正規職員	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0	-	非正規職員	2	0	2	0	0	0
無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0	-	無回答	1	0	1	0	0	0
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
介護職員	0	-	-	-	-	0	-	介護職員	0	0	0	0	0	0
生活相談員	0	-	-	-	-	0	-	生活相談員	0	0	0	0	0	0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	26	76.9	15.4	0.0	7.7	20	652,750	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	26	20	4	0	2	20
その他	4	50.0	25.0	0.0	25.0	2	118,397	その他	4	2	1	0	1	2

問3 仕事についての考え方

問3（１）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「やりがいのある仕事だから」が73.3%と最も多く、次いで、「資格や技術が活かせるから」が53.3%、「人の役に立ちたいから」が30.0%となっている。

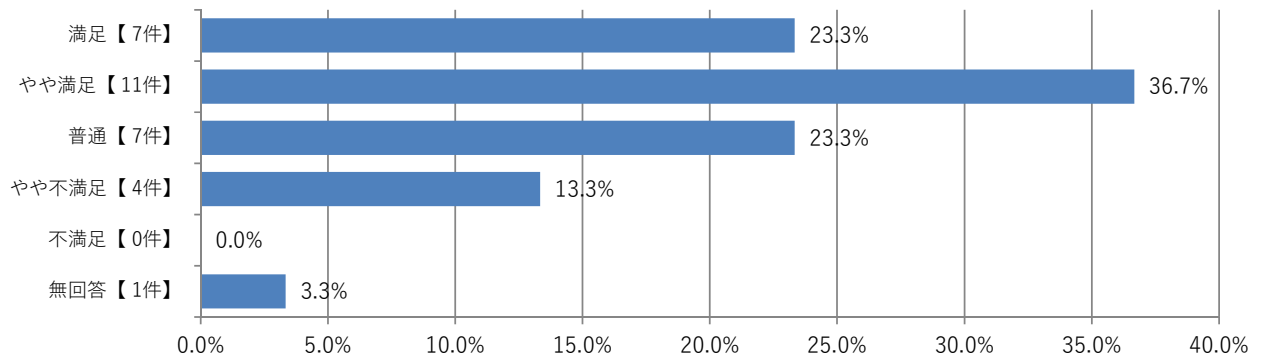
図表 5-3-1 (N=30)



問3（２）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「やや満足」が36.7%と最も多く、次いで、「満足」と「普通」が23.3%、「やや不満足」が13.3%となっている。

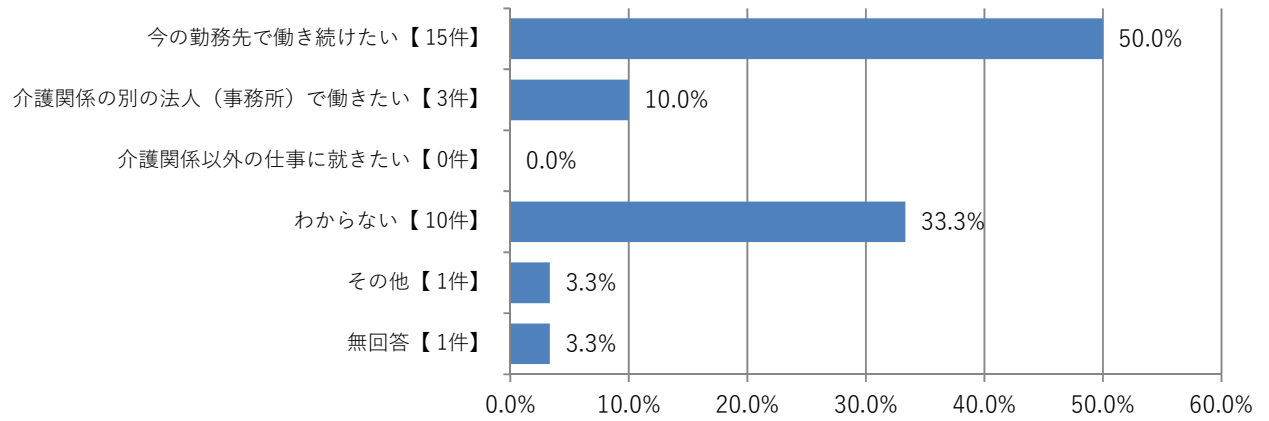
図表 5-3-2 (N=30)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働きたい」が50.0%、「わからない」が33.3%となっている。

図表 5-3-3 (N=30)

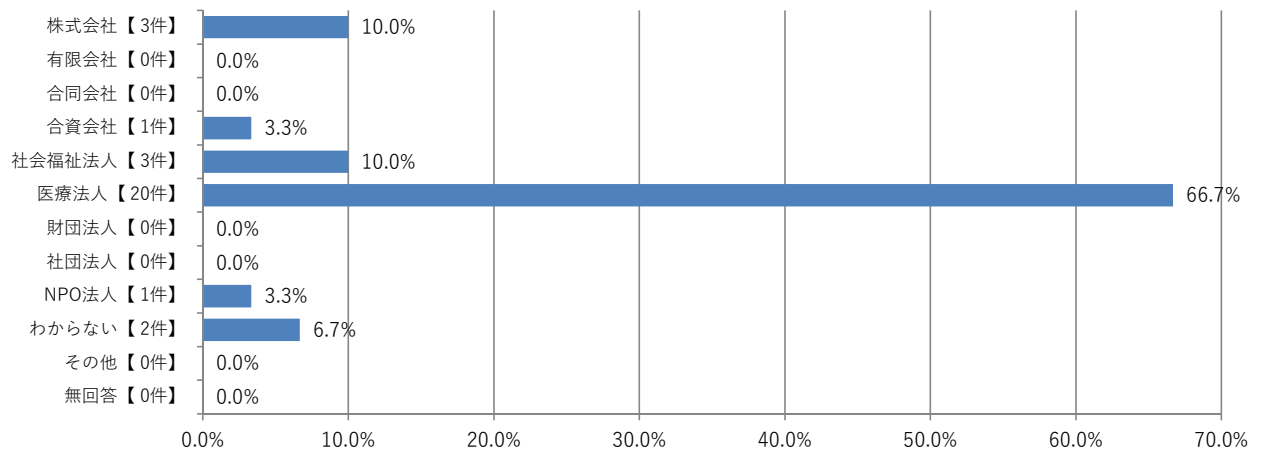


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「医療法人」が66.7%と最も多く、次いで、「株式会社」と「社会福祉法人」が10.0%となっている。

図表 5-4-1 (N=30)

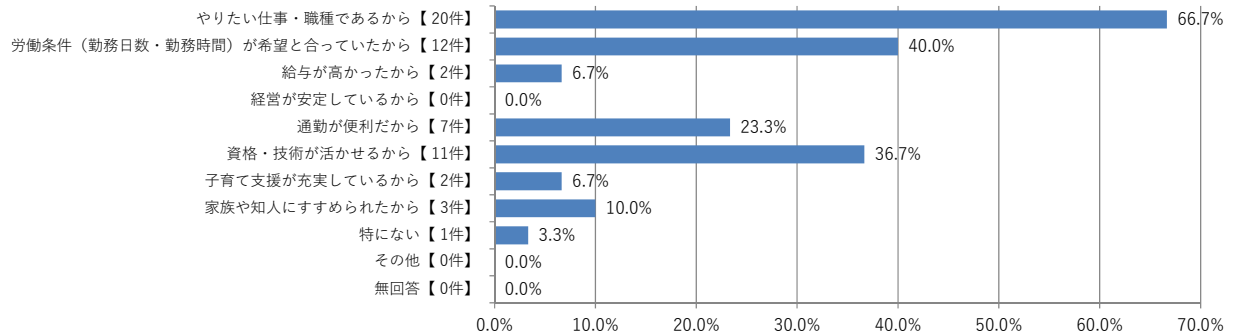


問5 あなた自身の仕事について

問5（１）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が66.7%と最も多く、次いで、「労働条件が希望と合っていたから」が40.0%、「資格・技術が活かせるから」が36.7%、「通勤が便利だから」が23.3%となっている。

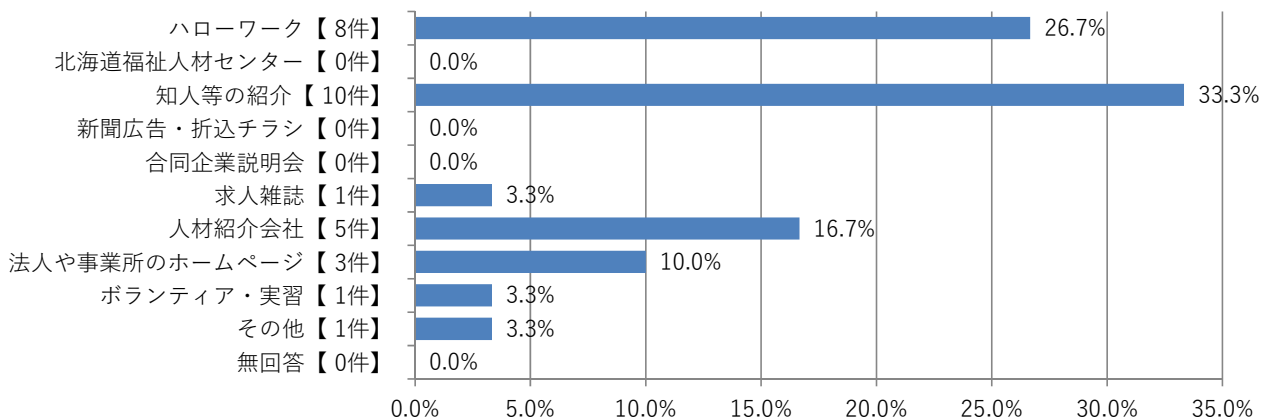
図表 5-5-1 (N=30)



問5（２）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が33.3%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が26.7%、「人材紹介会社」が16.7%となっている。

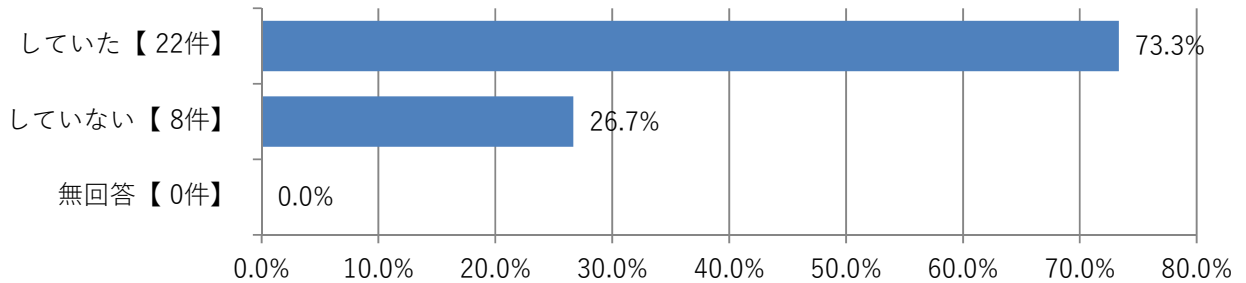
図表 5-5-2 (N=30)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が73.3%、「仕事をしていない」が26.7%となっている。

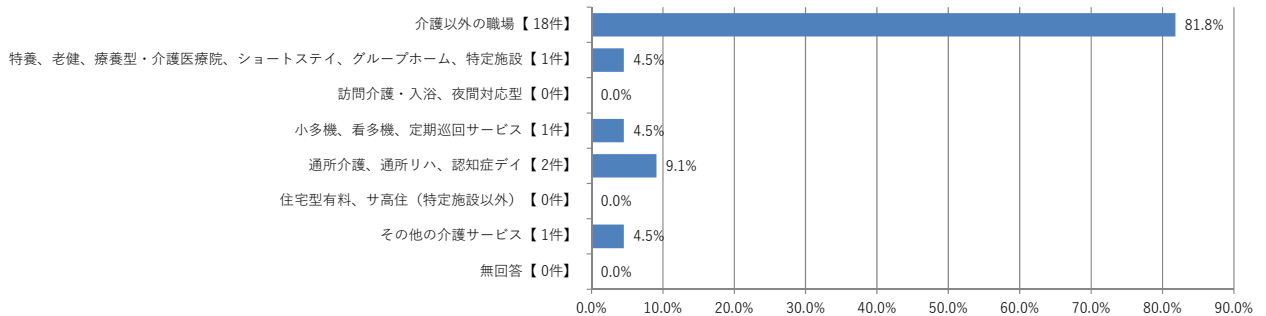
図表 5-5-3 (N=30)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が81.8%と最も多くなっている。

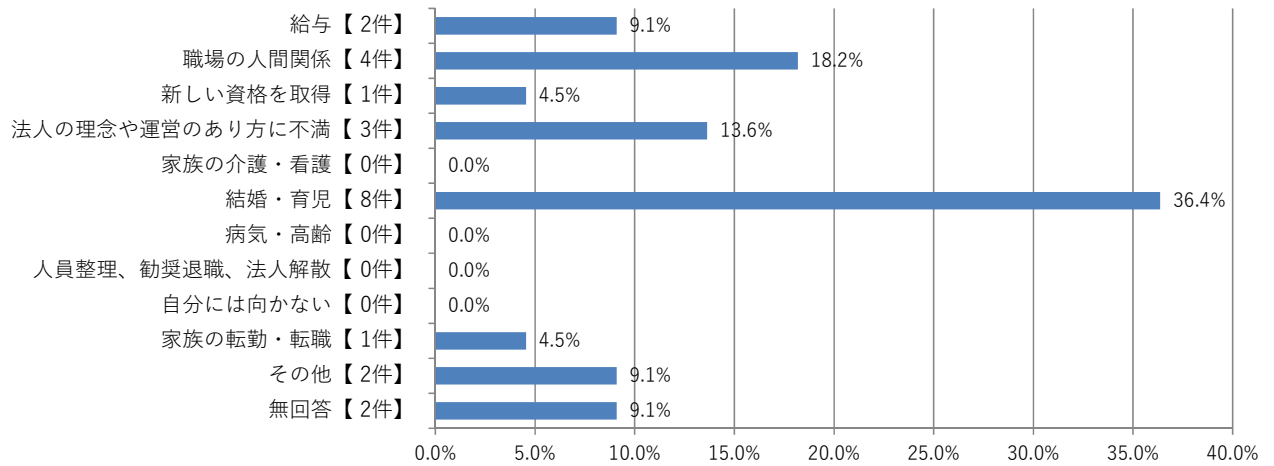
図表 5-5-4 (N=22)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「結婚・育児」が36.4%と最も多く、次いで、「職場の人間関係」が18.2%、「法人の理念や運営のあり方に不満」が13.6%と続いている。

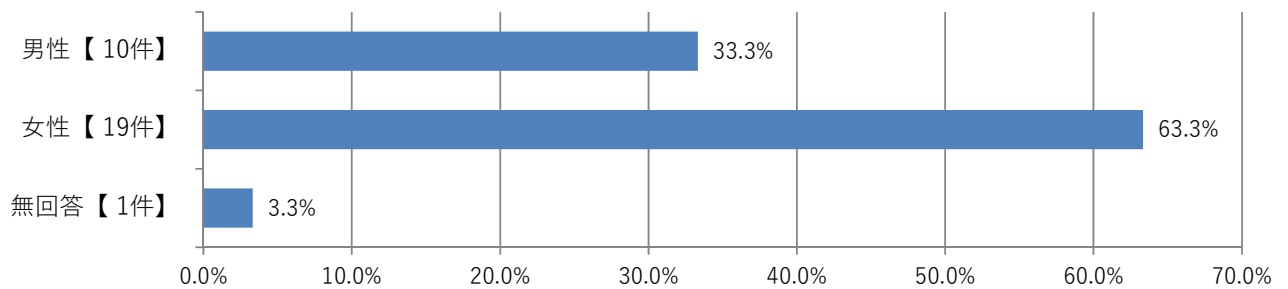
図表 5-5-5 (N=22)



問5（6）性別

性別は、「男性」が63.3%、「女性」が33.3%となっている。

図表 5-5-6 (N=30)



問5（7）年齢

平均年齢は、38.9歳となっている。

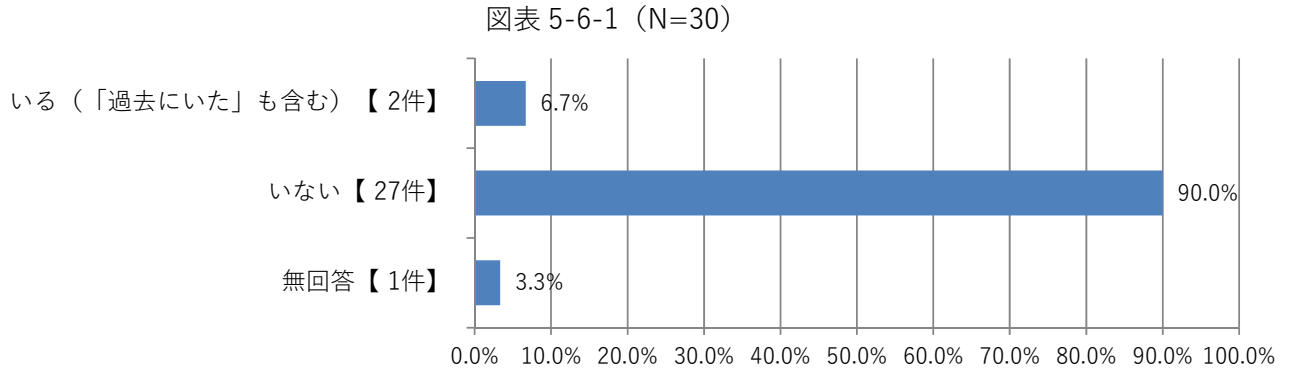
図表 5-5-7 (N=30)

	対象者数	平均年齢（歳）
訪問リハビリテーション	30	38.9

問6 外国人介護職員について

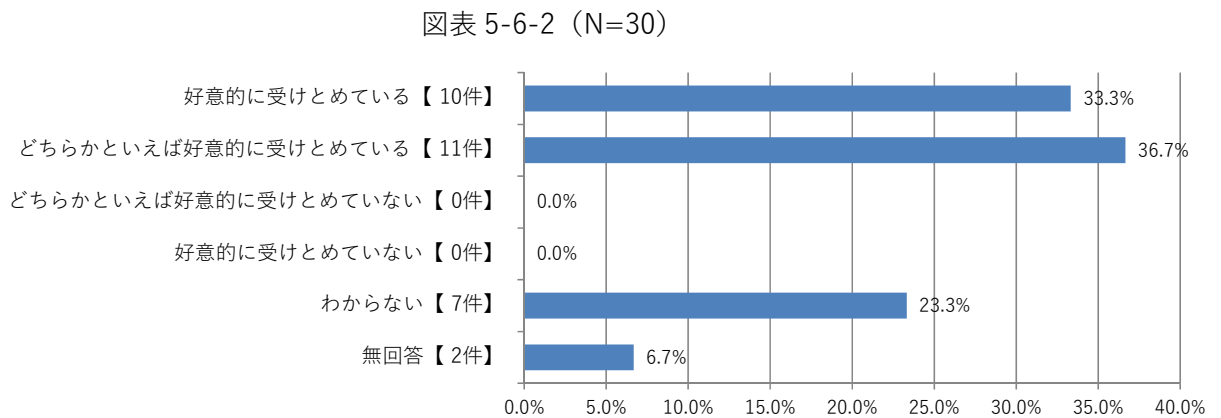
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が90.0%、「いる（過去にいた）」が6.7%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が36.7%と最も多く、次いで、「好意的に受けとめている」が33.3%、「わからない」が23.3%となっている。

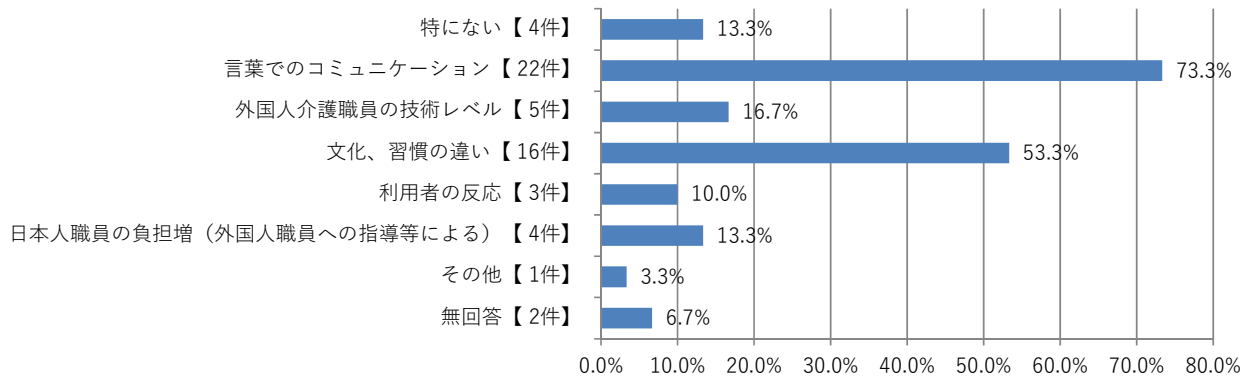


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

[複数回答可]

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が73.3%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が53.3%となっている。

図表 5-6-3 (N=30)

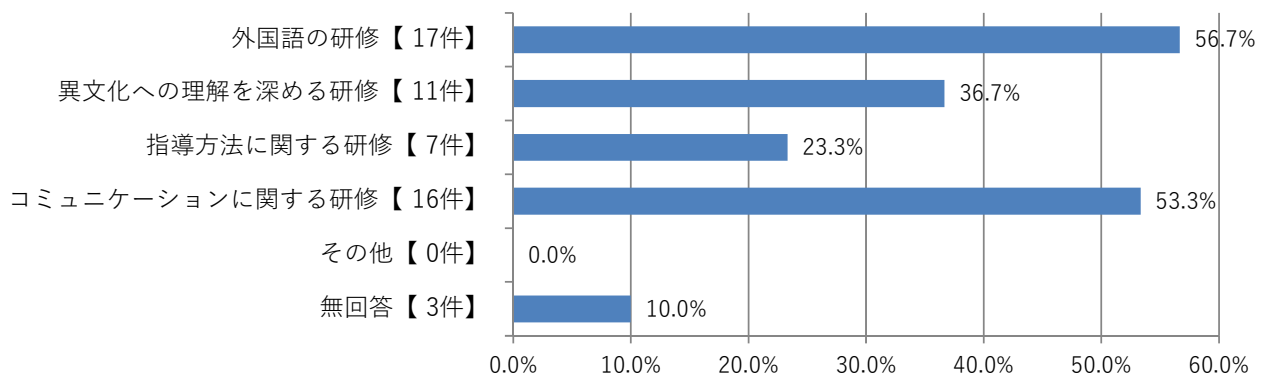


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

[複数回答可]

支援策は、「外国語の研修」が56.7%と最も多く、次いで、「コミュニケーションに関する研修」が53.3%、「異文化への理解を深める研修」が36.7%、「指導方法に関する研修」が23.3%となっている。

図表 5-6-4 (N=30)



⑥通所介護

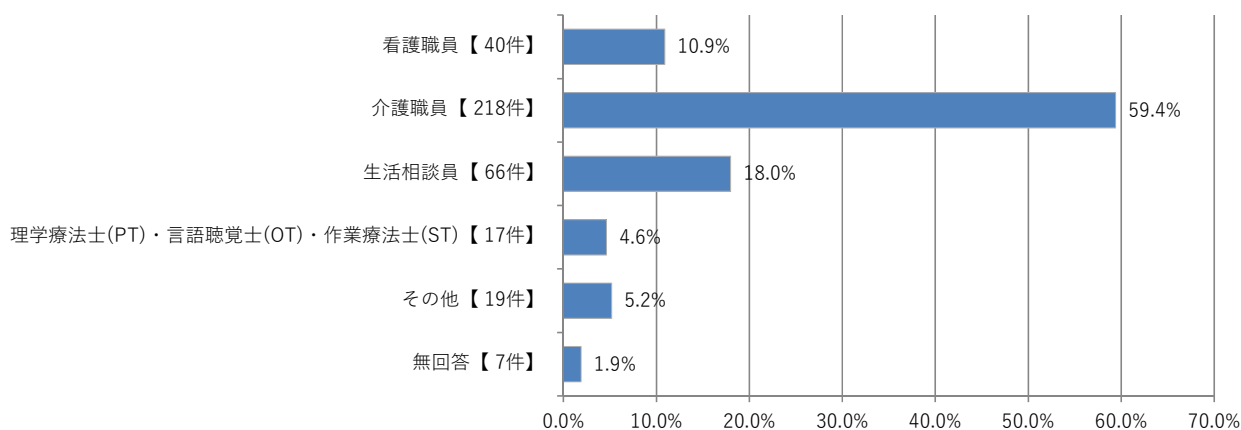
回答者数 367

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が59.4%と最も多く、次いで、「生活相談員」が18.0%、「看護職員」が10.9%となっている。

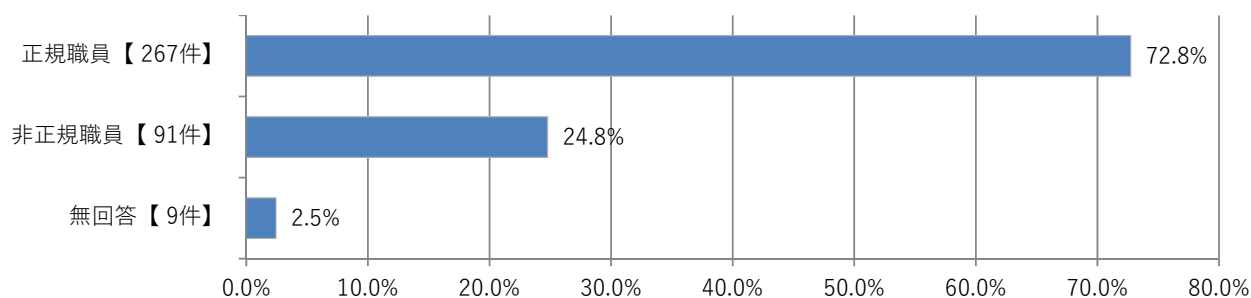
図表 6-1-1 (N=367)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が72.8%、「非正規職員」が24.8%となっている。

図表 6-1-2 (N=367)

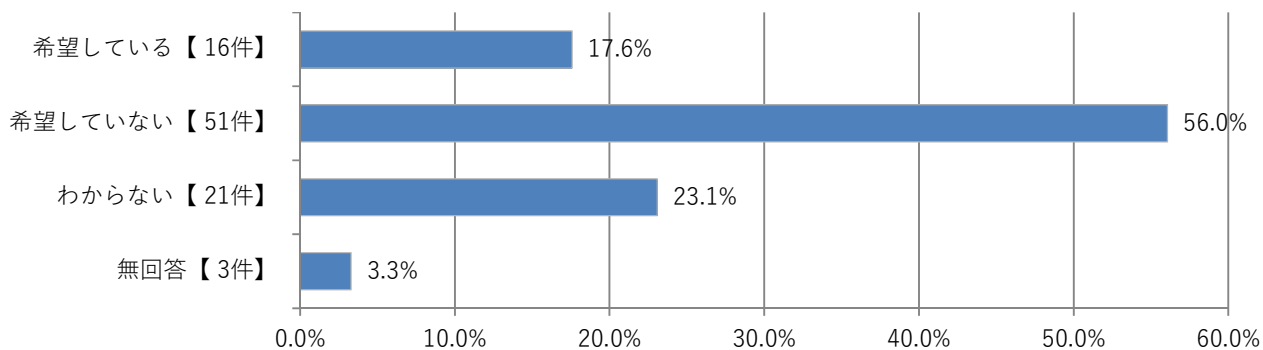


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が56.0%と最も多く、次いで、「わからない」が23.1%、「希望している」が17.6%となっている。

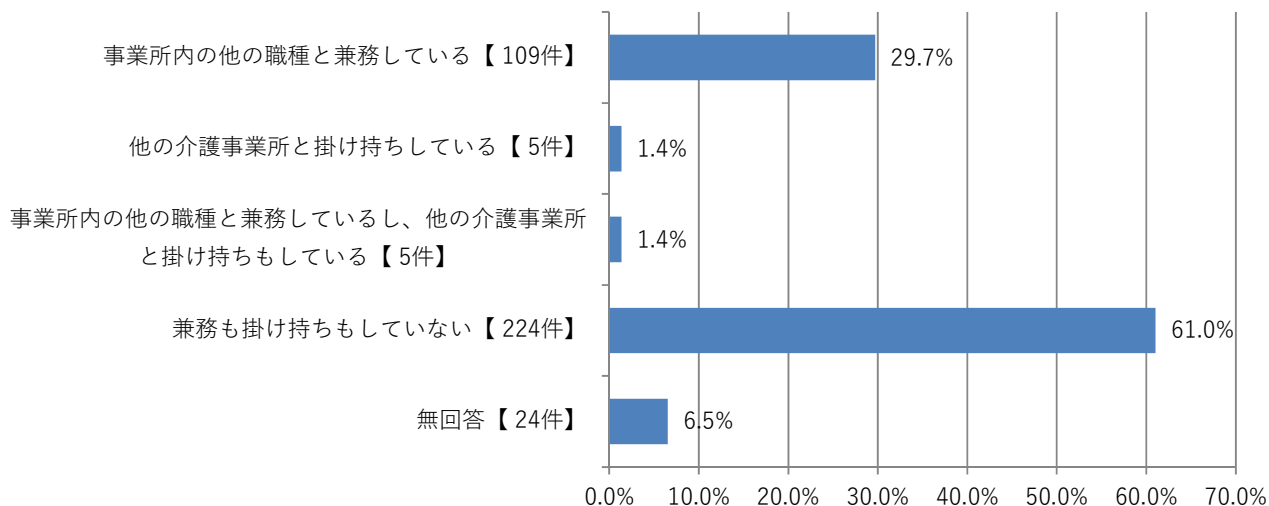
図表 6-1-3 (N=91)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が61.0%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が29.7%となっている。

図表 6-1-4 (N=367)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が11.7年となっており、「正規職員」が11.5年、「非正規職員」が12.4年となっている。

図表 6-1-5 (N=367)

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
通所介護 (年)	367	11.7	11.5	12.4	9.1

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が5.5年、「正規職員」が5.6年、「非正規職員」が5.4年となっている。

図表 6-1-6 (N=367)

	対象者数	平均勤続年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
通所介護 (年)	367	5.5	5.6	5.4	5.8

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.7日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が4.0日となっている。

職種別では、「生活相談員」が5.1日と最も多くなっている。

図表 6-2-1 (N=367)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
通所介護	367	4.7	5.0	4.0	4.7
看護職員	40	4.2	5.1	3.3	-
介護職員	218	4.7	5.0	4.1	5.0
生活相談員	66	5.1	5.1	5.0	5.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	17	4.9	4.9	4.5	-
その他	19	5.0	5.0	5.1	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が37.7時間、「正規職員」が41.1時間、「非正規職員」が27.6時間となっている。

職種別では「生活相談員」が42.4時間と最も多くなっている。

図表 6-2-2 (N=367)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
通所介護	367	37.7	41.1	27.6	41.8
看護職員	40	30.1	41.9	18.9	-
介護職員	218	37.5	40.4	31.0	37.1
生活相談員	66	42.4	42.4	40.0	45.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	17	39.1	41.0	25.0	-
その他	19	38.8	42.3	11.0	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.5時間、「正規職員」が3.0時間、「非正規職員」が1.0時間となっている。

職種別では、「生活相談員」が3.8時間と最も多くなっている。

図表 6-2-3 (N=367)

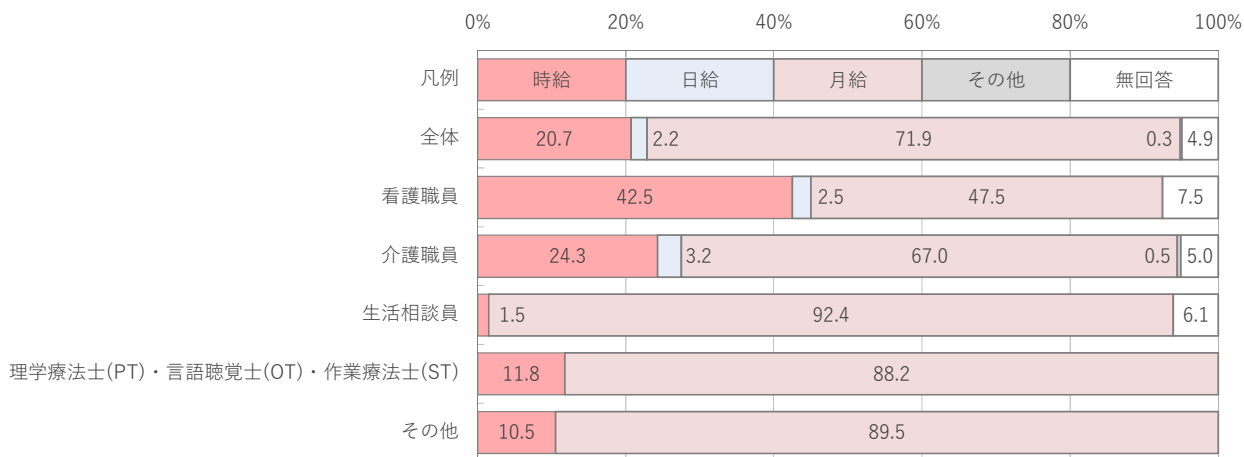
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
通所介護	367	2.5	3.0	1.0	1.8
看護職員	40	1.3	2.3	0.3	-
介護職員	218	2.6	3.1	1.3	2.1
生活相談員	66	3.8	3.8	0.0	5.6
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	17	1.1	1.3	0.0	-
その他	19	1.8	2.0	0.0	-

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が71.9%と最も多く、次いで、「時給」が20.7%となっている。
 時給の平均は、1,033円、日給の平均は7,231円となっている。

図表 6-2-4 (N=367)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
通所介護	367	76	8	264	1	18	1,033	7,231
看護職員	40	17	1	19	0	3	1,309	8,560
介護職員	218	53	7	146	1	11	945	6,965
生活相談員	66	1	0	61	0	4	970	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	17	2	0	15	0	0	1,315	-
その他	19	2	0	17	0	0	861	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が190,574円、「時給」が106,746円、「日給」が133,129円、「その他」が150,000円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護職員」が183,373円、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が252,171円となっている。

図表 6-2-5 (N=76)

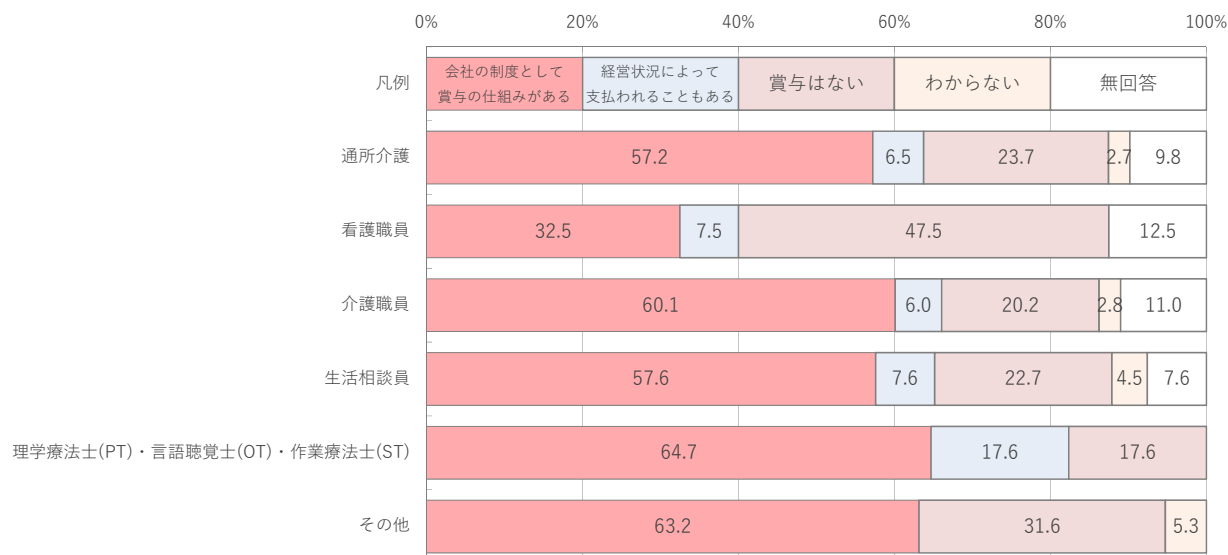
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
通所介護	76	106,746	103	8	133,129	21	264	190,574	1	150,000
看護職員	17	101,644	78	1	77,040	18	19	209,824	0	-
介護職員	53	110,465	117	7	142,477	21	146	183,953	1	150,000
生活相談員	1	130,000	134	0	-	-	61	188,373	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	2	132,000	100	0	-	-	15	252,171	0	-
その他	2	33,754	39	0	-	-	17	189,185	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 57.2%と最も多く、次いで、「賞与はない」が 23.7%となっている。

図表 6-2-6 (N=367)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
通所介護	367	210	24	87	10	36	100.0	57.2	6.5	23.7	2.7	9.8
看護職員	40	13	3	19	0	5	100.0	32.5	7.5	47.5	0.0	12.5
介護職員	218	131	13	44	6	24	100.0	60.1	6.0	20.2	2.8	11.0
生活相談員	66	38	5	15	3	5	100.0	57.6	7.6	22.7	4.5	7.6
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	17	11	3	3	0	0	100.0	64.7	17.6	17.6	0.0	0.0
その他	19	12	0	6	1	0	100.0	63.2	0.0	31.6	5.3	0.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 297,481 円となっている。「正規職員」の平均は 317,459 円、「非正規職員」の平均は 150,630 円となっている。

職種別にみると、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が 417,936 円で最も高くなっている。

図表 6-2-7 (N=367)

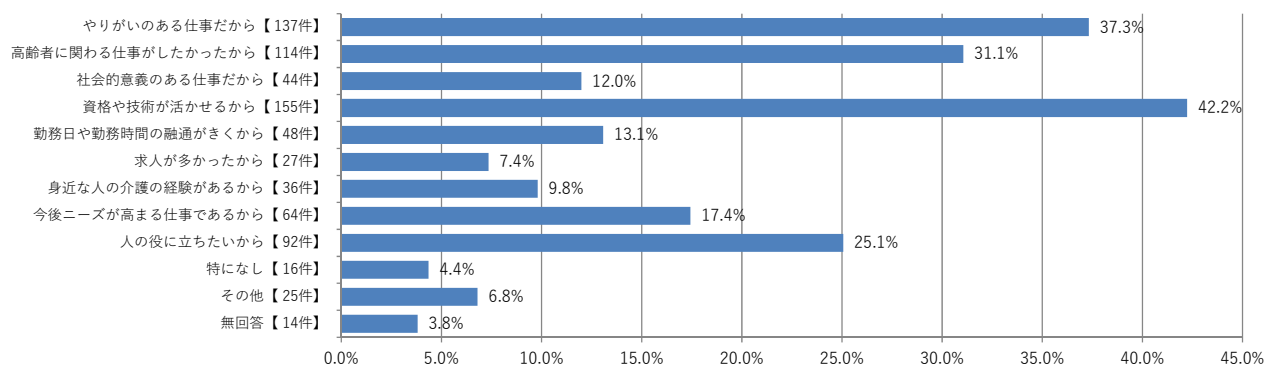
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
通所介護	367	63.8	23.7	2.7	9.8	234	297,481	通所介護	367	234	87	10	36	234
正規職員	267	74.5	15.0	2.2	8.2	199	317,459	正規職員	267	199	40	6	22	199
非正規職員	91	31.9	51.6	4.4	12.1	29	150,630	非正規職員	91	29	47	4	11	29
無回答	9	66.7	0.0	0.0	33.3	6	344,667	無回答	9	6	0	0	3	6
看護職員	40	40.0	47.5	0.0	12.5	16	296,000	看護職員	40	16	19	0	5	16
介護職員	218	66.1	20.2	2.8	11.0	144	280,939	介護職員	218	144	44	6	24	144
生活相談員	66	65.2	22.7	4.5	7.6	43	305,642	生活相談員	66	43	15	3	5	43
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	17	82.4	17.6	0.0	0.0	14	417,936	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	17	14	3	0	0	14
その他	19	63.2	31.6	5.3	0.0	12	313,971	その他	19	12	6	1	0	12

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が42.2%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が37.3%、「高齢者に関わる仕事をしたかったから」が31.1%、「人の役に立ちたいから」が25.1%となっている。

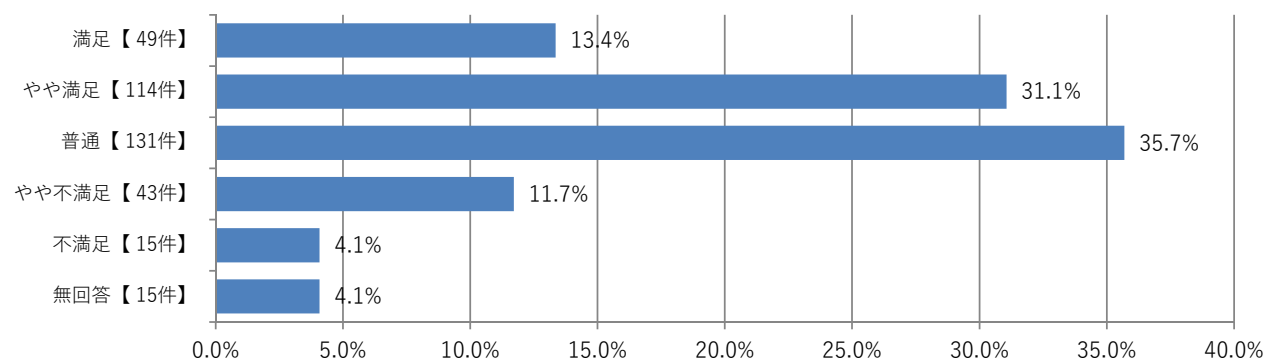
図表 6-3-1 (N=367)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が35.7%と最も多く、次いで、「やや満足」が31.1%、「満足」が13.4%、「やや不満足」が11.7%となっている。

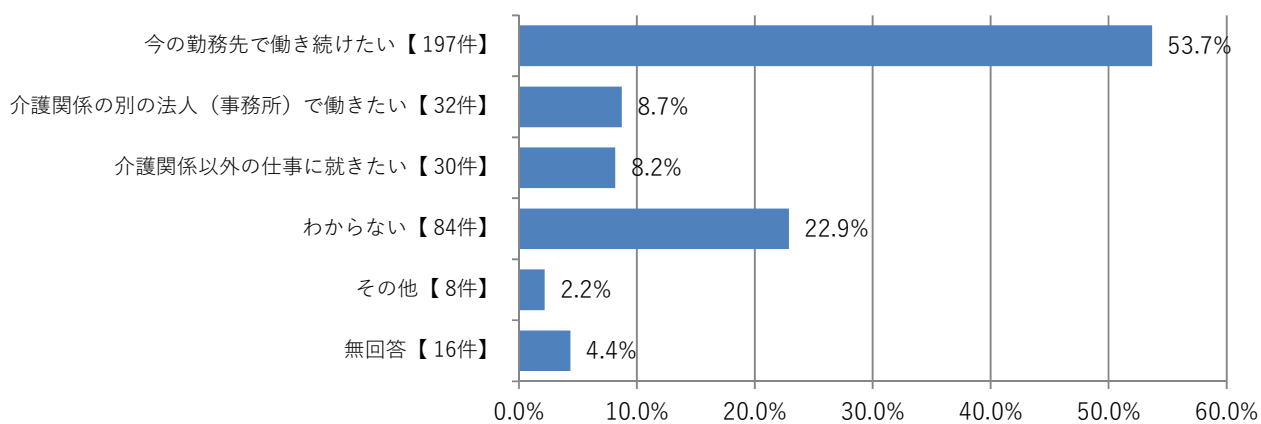
図表 6-3-2 (N=367)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が53.7%、「わからない」が22.9%となっている。

図表 6-3-3 (N=367)

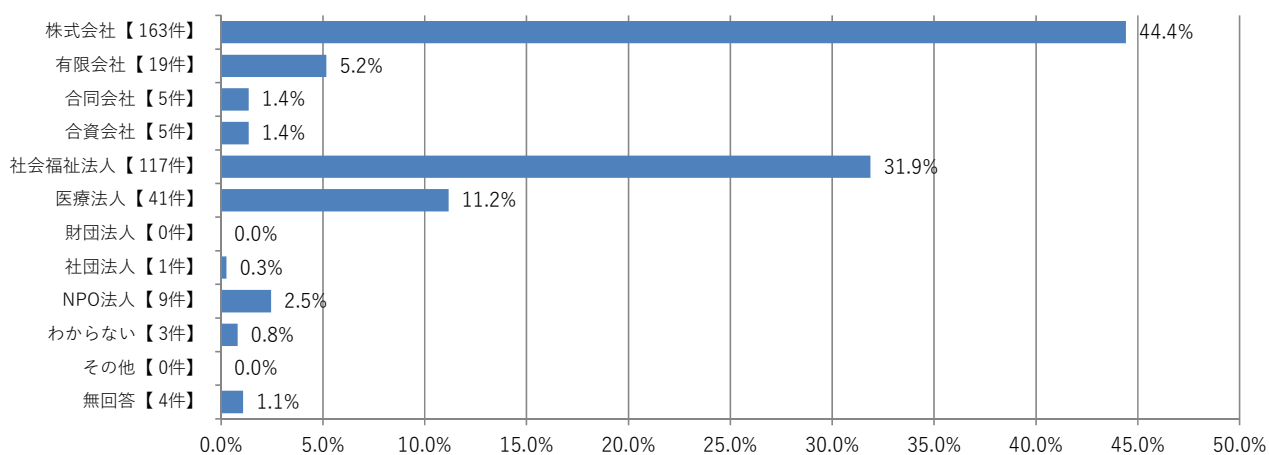


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が44.4%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が31.9%、「医療法人」が11.2%となっている。

図表 6-4-1 (N=367)

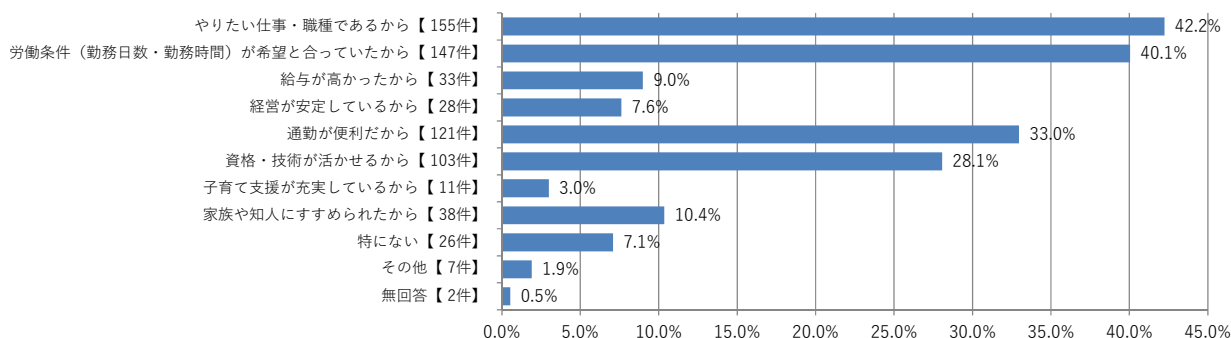


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が42.2%と最も多く、次いで、「労働条件（勤務日数・勤務時間）が希望と合っていたから」が40.1%、「通勤が便利だから」が33.0%、「資格・技術が活かせるから」が28.1%となっている。

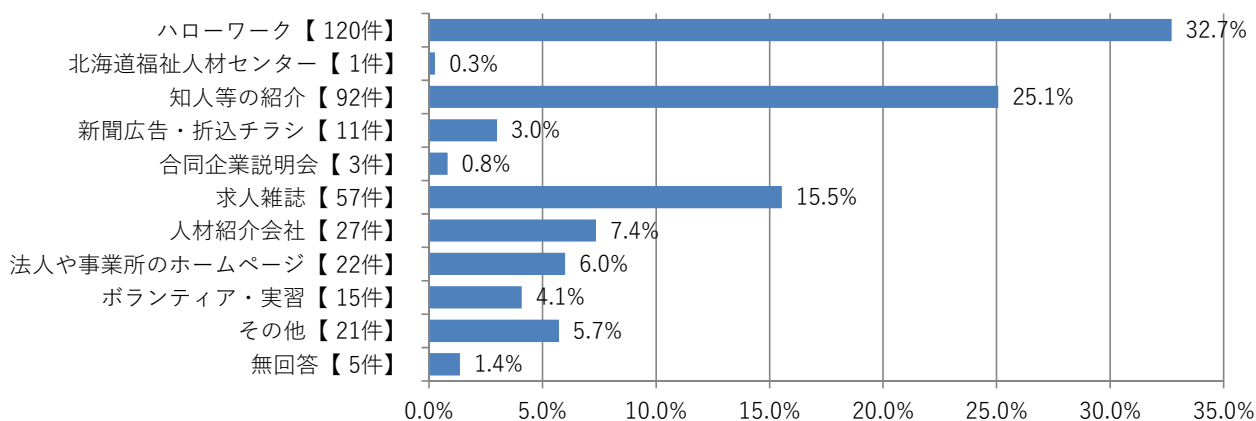
図表 6-5-1 (N=367)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「ハローワーク」が32.7%と最も多く、次いで、「知人等の紹介」が25.1%、「求人雑誌」が15.5%となっている。

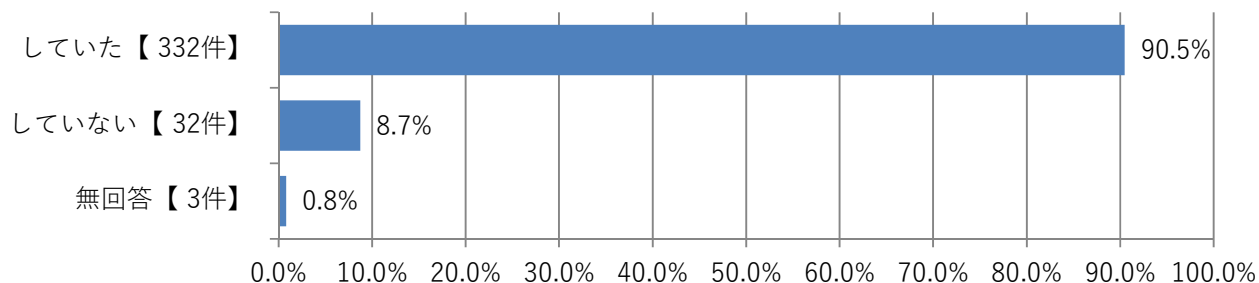
図表 6-5-2 (N=367)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしてきた」が90.5%、「仕事をしていない」が8.7%となっている。

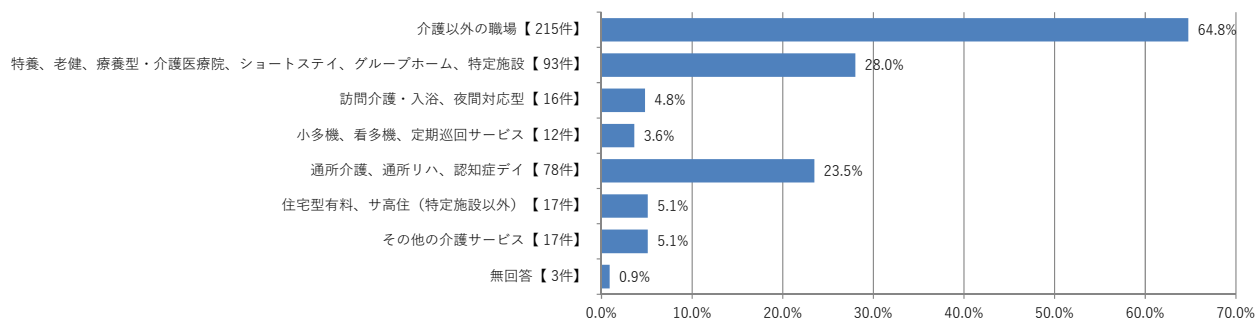
図表 6-5-3 (N=367)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が64.8%と最も多くなっている。

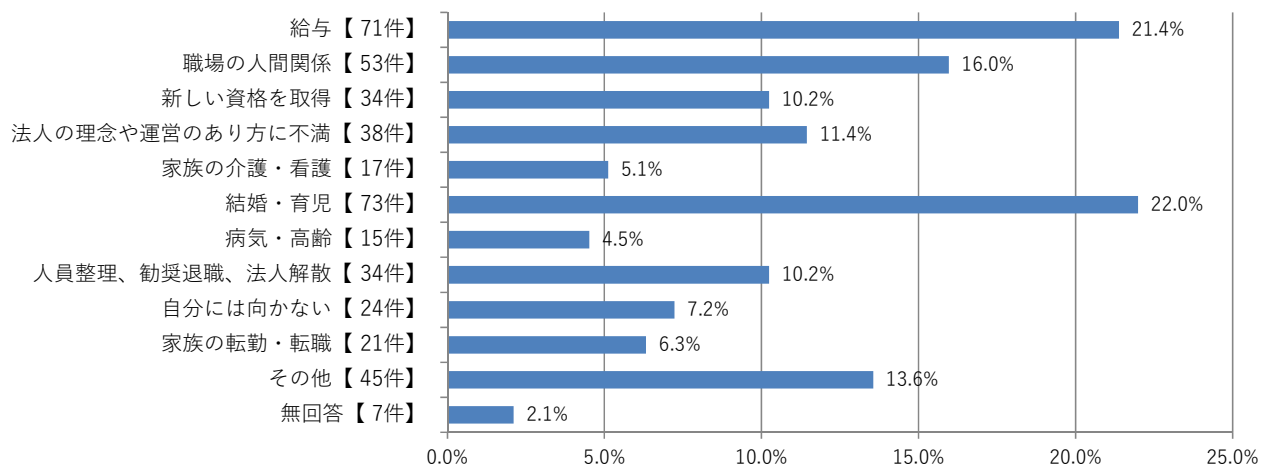
図表 6-5-4 (N=332)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「結婚・育児」が22.0%と最も多く、次いで、「給与」が21.4%、「職場の人間関係」が16.0%と続いている。

図表 6-5-5 (N=332)



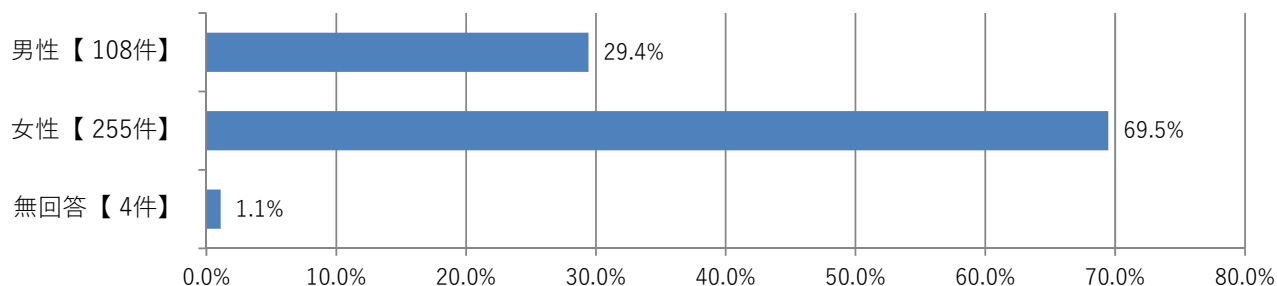
その他の内容
定年退職
通勤が困難
体力がきつくなった
契約期間満了
高齢者、老人介護をやりたいかった。

※そのほかの回答は 455～456 ページに記載

問5（6）性別

性別は、「男性」が29.4%、「女性」が69.5%となっている。

図表 6-5-6 (N=367)



問5（7）年齢

平均年齢は、44.2歳となっている。

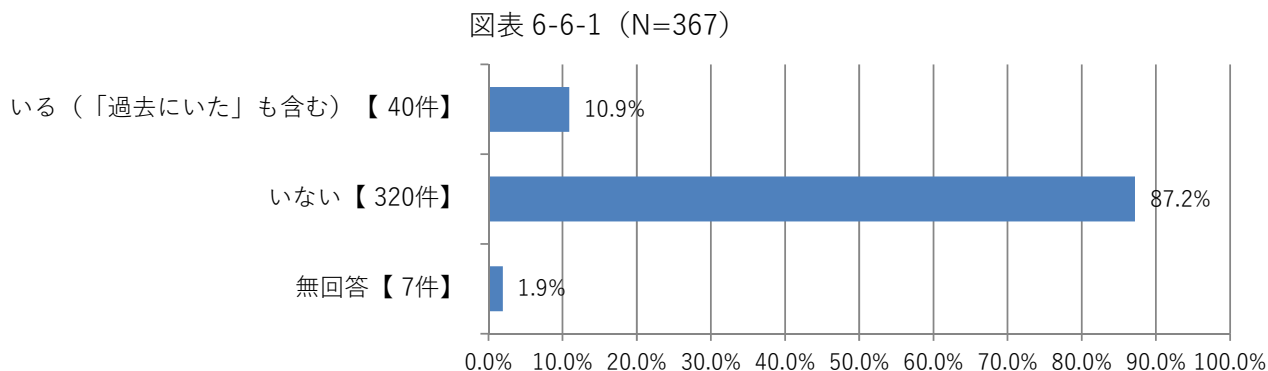
図表 6-5-7 (N=367)

	対象者数	平均年齢（歳）
通所介護	367	44.2

問6 外国人介護職員について

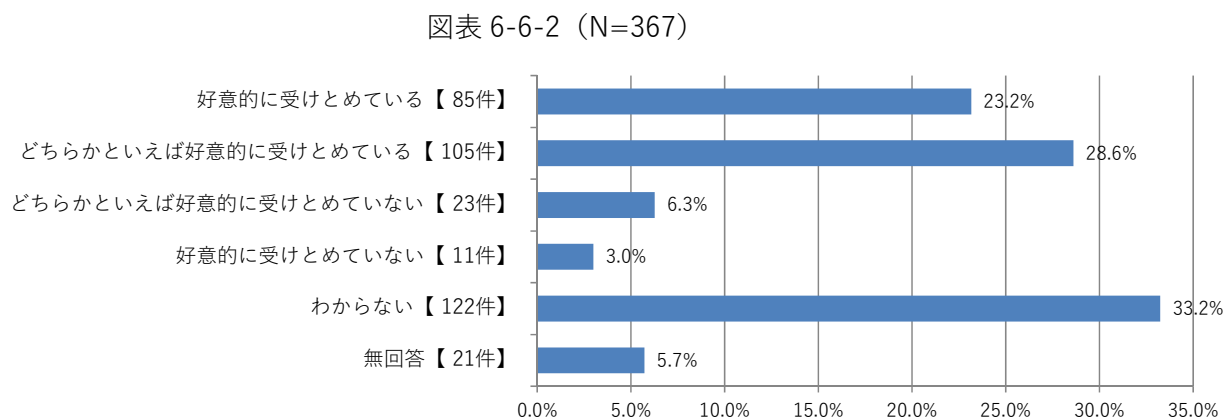
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が87.2%、「いる（過去にいた）」が10.9%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が33.2%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が28.6%、「好意的に受けとめている」が23.2%となっている。

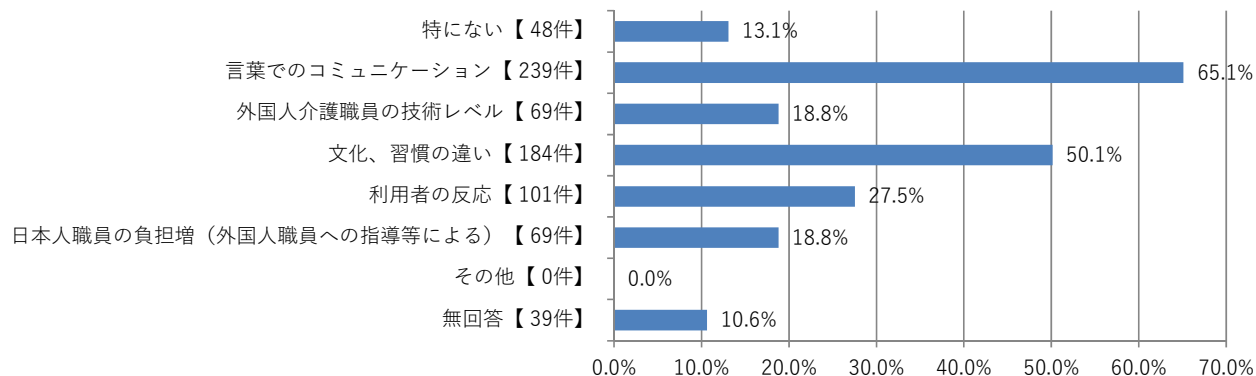


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

[複数回答可]

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が65.1%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が50.1%、「利用者の反応」が27.5%となっている。

図表 6-6-3 (N=367)

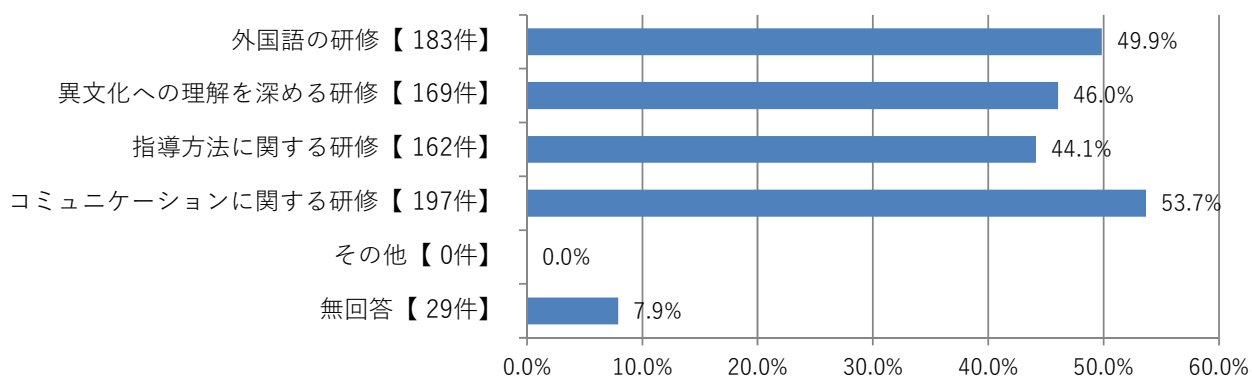


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

[複数回答可]

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が53.7%と最も多く、次いで、「外国語の研修」が49.9%、「異文化への理解を深める研修」が46.0%、「指導方法に関する研修」が44.1%となっている。

図表 6-6-4 (N=367)



⑦通所リハビリテーション

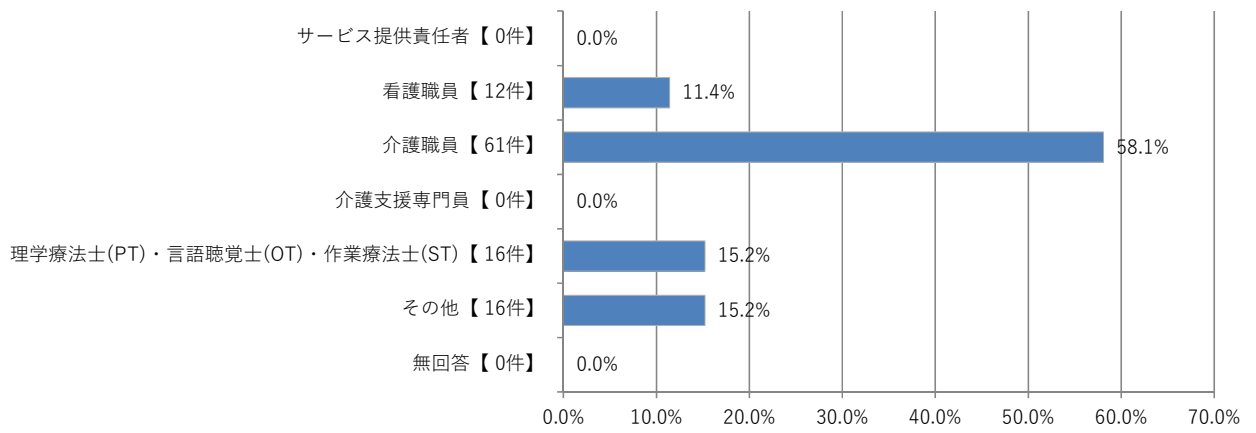
回答者数 105

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が58.1%と最も多く、次いで、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」、「その他」が15.2%、「看護職員」が11.4%となっている。

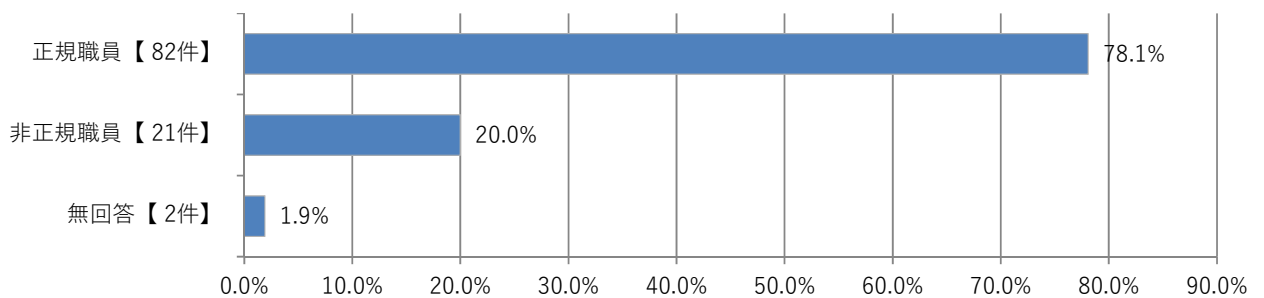
図表 7-1-1 (N=105)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が78.1%、「非正規職員」が20.0%となっている。

図表 7-1-2 (N=105)

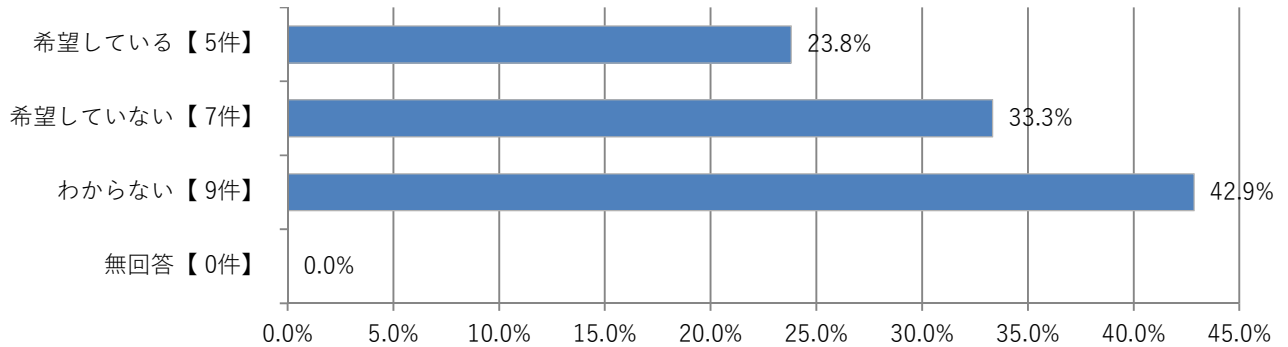


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

＜（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ＞

今後、正規職員になることについては、「わからない」が42.9%と最も多く、次いで、「希望していない」が33.3%、「希望している」が23.8%となっている。

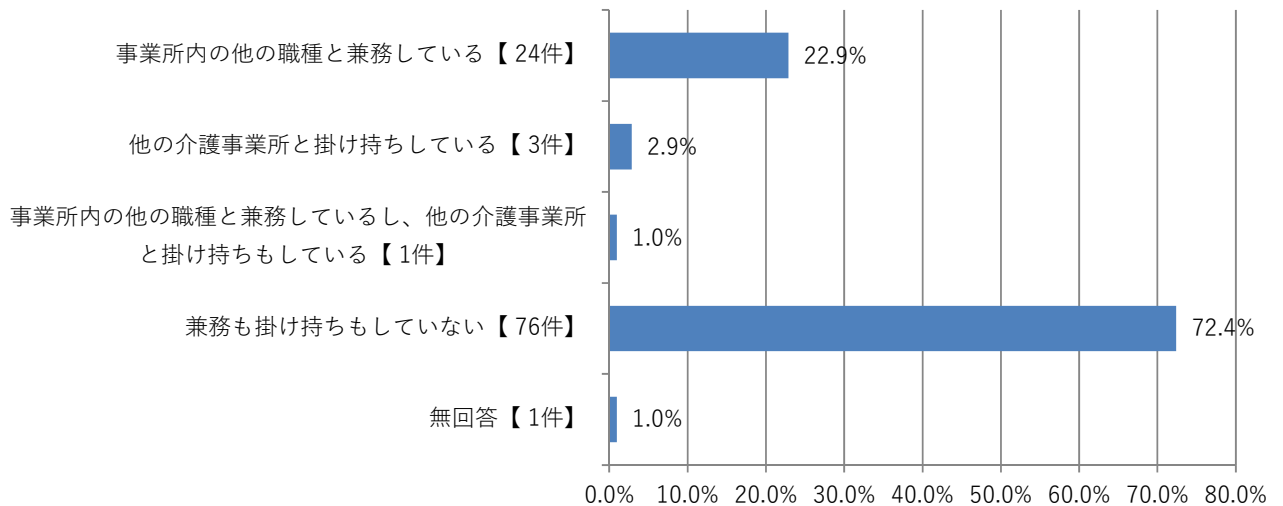
図表 7-1-3 (N=21)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が72.4%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が22.9%となっている。

図表 7-1-4 (N=105)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が11.7年となっており、「正規職員」が11.8年、「非正規職員」が11.1年となっている。

図表 7-1-5 (N=105)

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
通所リハビリテーション (年)	105	11.7	11.8	11.1	14.5

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が6.6年、「正規職員」が7.3年、「非正規職員」が3.3年となっている。

図表 7-1-6 (N=105)

	対象者数	平均勤続年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
通所リハビリテーション (年)	105	6.6	7.3	3.3	10.8

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.8日、「正規職員」が5.1日、「非正規職員」が4.0日となっている。

職種別では、「その他」が5.2日と最も多くなっている。

図表 7-2-1 (N=105)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
通所リハビリテーション	105	4.8	5.1	4.0	4.5
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	12	4.5	5.0	4.1	-
介護職員	61	4.8	5.0	3.8	4.5
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	16	4.8	5.1	3.8	-
その他	16	5.2	5.3	5.0	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が39.4時間、「正規職員」が44.1時間、「非正規職員」が22.3時間となっている。

職種別では「その他」が44.0時間と最も多くなっている。

図表 7-2-2 (N=105)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
通所リハビリテーション	105	39.4	44.1	22.3	32.8
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	12	35.2	47.1	23.3	-
介護職員	61	39.6	43.5	22.7	32.8
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	16	37.2	44.0	14.7	-
その他	16	44.0	44.7	35.0	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.9時間、「正規職員」が3.5時間、「非正規職員」が0.3時間となっている。

職種別では、「その他」が3.5時間と最も多くなっている。

図表 7-2-3 (N=105)

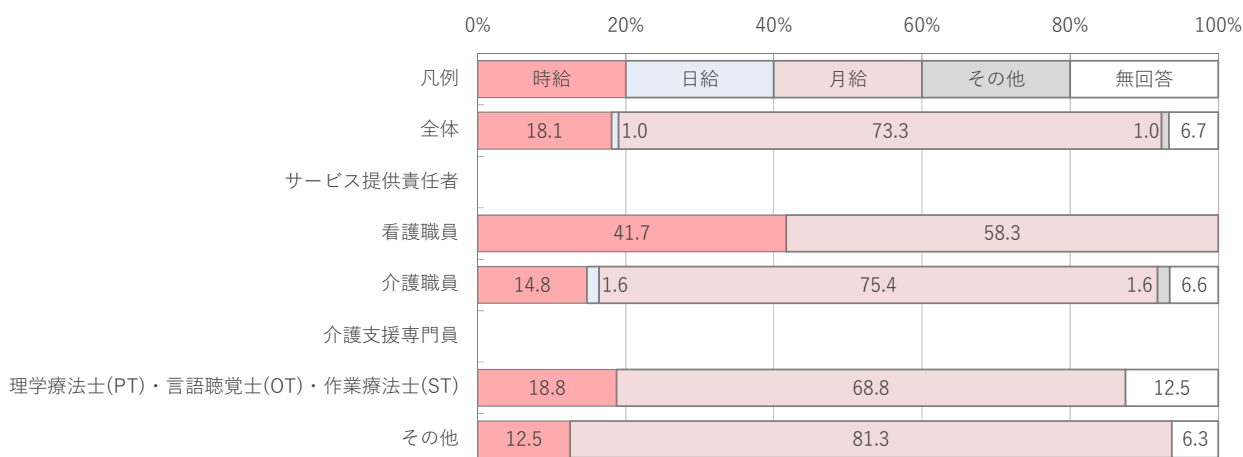
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
通所リハビリテーション	105	2.9	3.5	0.3	2.3
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	12	1.6	2.5	0.3	-
介護職員	61	2.8	3.4	0.4	2.3
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	16	3.2	4.1	0.0	-
その他	16	3.5	3.8	0.0	-

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が73.3%と最も多く、次いで、「時給」が18.1%となっている。
 時給の平均は、1,143円、日給の平均は8,100円となっている。

図表 7-2-4 (N=105)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
通所リハビリテーション	105	19	1	77	1	7	1,143	8,100
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	12	5	0	7	0	0	1,410	-
介護職員	61	9	1	46	1	4	1,006	8,100
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	16	3	0	11	0	2	1,200	-
その他	16	2	0	13	0	1	935	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が202,574円、「時給」が95,394円、「日給」が131,400円、「その他」が150,000円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護職員」が191,611円、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が235,091円となっている。

図表 7-2-5 (N=105)

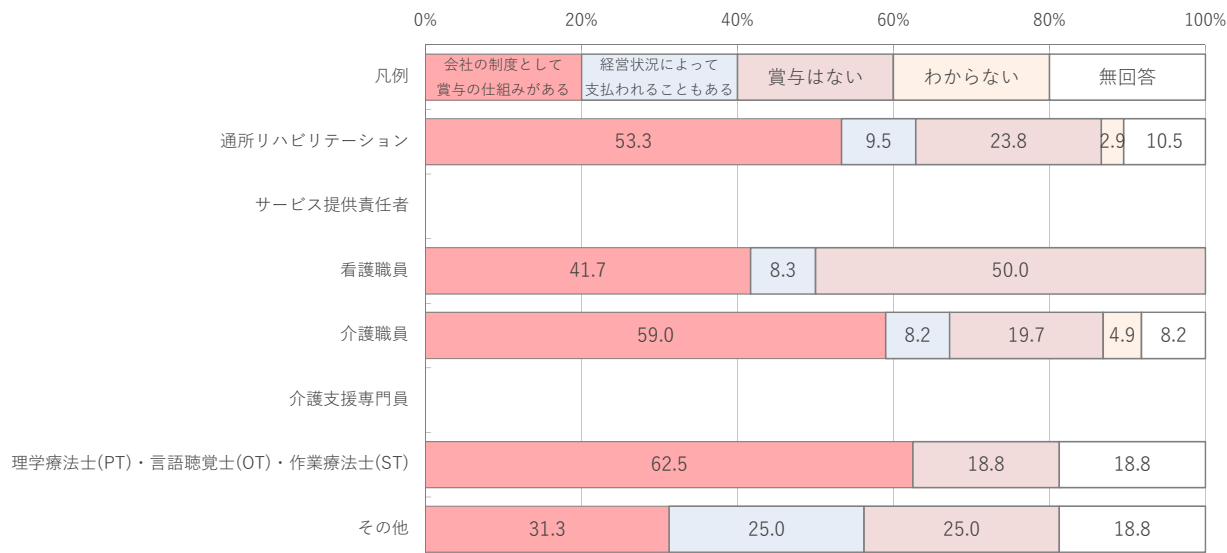
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
通所リハビリテーション	19	95,394	83	1	131,400	21	77	202,574	1	150,000
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	5	135,100	96	0	-	-	7	203,333	0	-
介護職員	9	84,800	84	1	131,400	21	46	191,611	1	150,000
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	3	76,400	64	0	-	-	11	235,091	0	-
その他	2	67,000	72	0	-	-	13	211,667	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 53.3%と最も多く、次いで、「賞与はない」が 23.8%となっている。

図表 7-2-6 (N=105)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が ある 制度として 賞与の仕 組	経営状況 によつて 支払われ ることも ある	賞与は ない	わから ない	無回 答	対象者数	会社が ある 制度として 賞与の仕 組	経営状況 によつて 支払われ ることも ある	賞与は ない	わから ない	無回 答
通所リハビリテーション	105	56	10	25	3	11	100.0	53.3	9.5	23.8	2.9	10.5
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	12	5	1	6	0	0	100.0	41.7	8.3	50.0	0.0	0.0
介護職員	61	36	5	12	3	5	100.0	59.0	8.2	19.7	4.9	8.2
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	16	10	0	3	0	3	100.0	62.5	0.0	18.8	0.0	18.8
その他	16	5	4	4	0	3	100.0	31.3	25.0	25.0	0.0	18.8



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 416,231 円となっている。「正規職員」の平均は 438,546 円、「非正規職員」の平均は 115,833 円となっている。

職種別にみると、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が 592,400 円で最も高くなっている。

図表 7-2-7 (N=105)

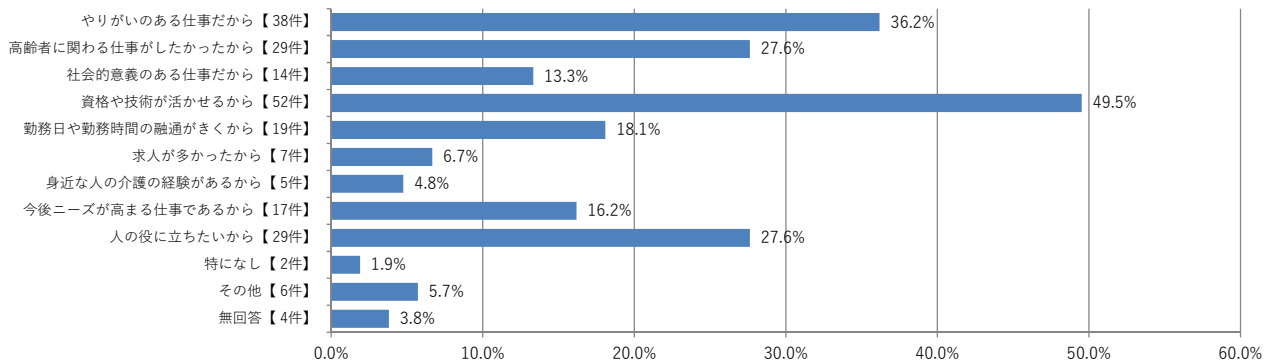
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
通所リハビリテーション	105	62.9	23.8	2.9	10.5	66	416,231	通所リハビリテーション	105	66	25	3	11	66
正規職員	82	72.0	13.4	2.4	12.2	59	438,546	正規職員	82	59	11	2	10	59
非正規職員	21	28.6	61.9	4.8	4.8	6	115,833	非正規職員	21	6	13	1	1	6
無回答	2	50.0	50.0	0.0	0.0	1	902,000	無回答	2	1	1	0	0	1
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	12	50.0	50.0	0.0	0.0	6	432,992	看護職員	12	6	6	0	0	6
介護職員	61	67.2	19.7	4.9	8.2	41	377,300	介護職員	61	41	12	3	5	41
介護支援専門員	0	-	-	-	-	0	-	介護支援専門員	0	0	0	0	0	0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	16	62.5	18.8	0.0	18.8	10	592,400	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	16	10	3	0	3	10
その他	16	56.3	25.0	0.0	18.8	9	386,667	その他	16	9	4	0	3	9

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が49.5%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が36.2%、「高齢者に関わる仕事をしたかったから」と「人の役に立ちたいから」が27.6%となっている。

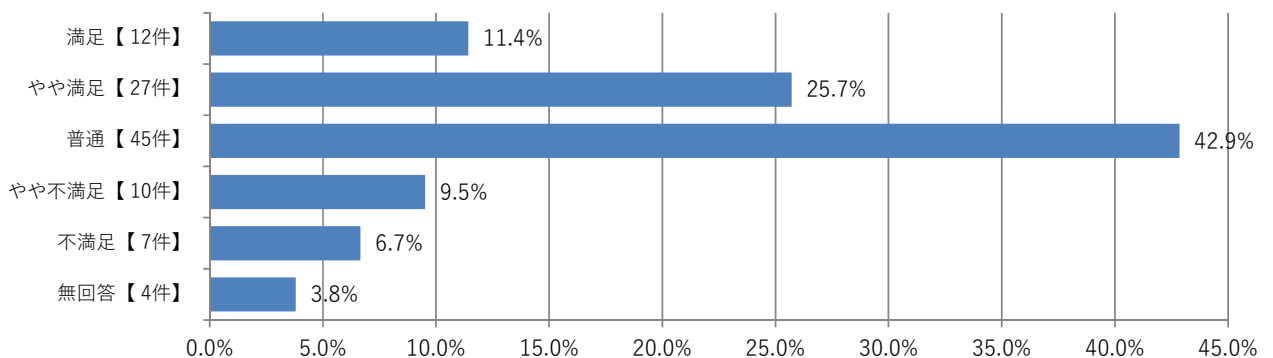
図表 7-3-1 (N=105)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が42.9%と最も多く、次いで、「やや満足」が25.7%、「満足」が11.4%、「やや不満足」が9.5%、「不満足」が6.7%となっている。

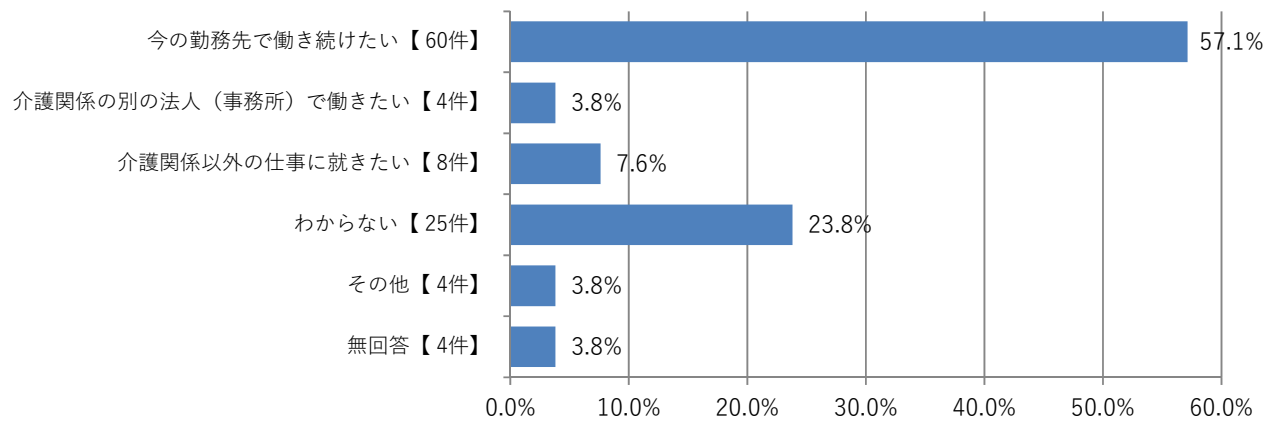
図表 7-3-2 (N=105)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働きたい」が57.1%、「わからない」が23.8%となっている。

図表 7-3-3 (N=105)

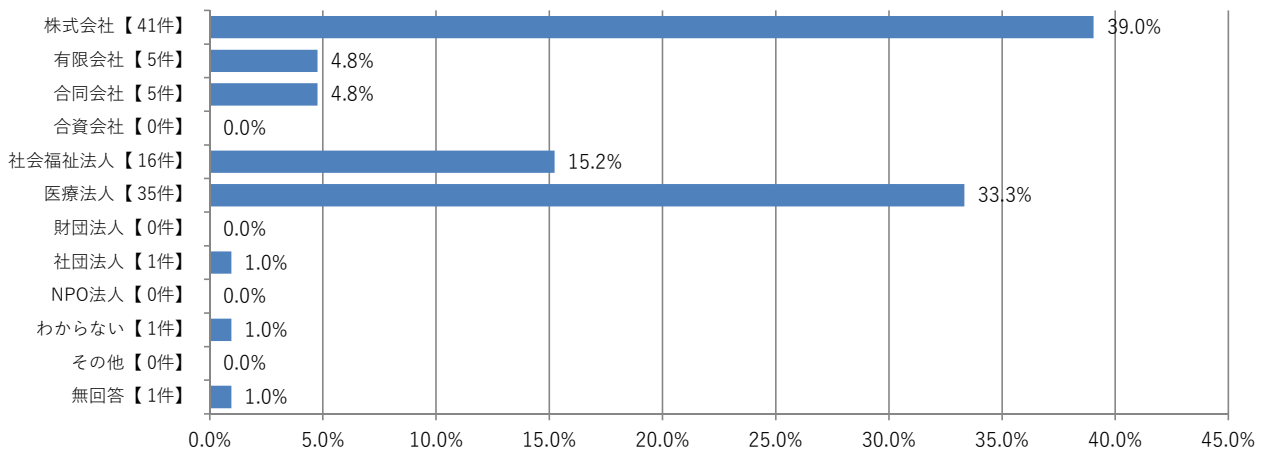


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が39.0%と最も多く、次いで、「医療法人」が33.3%、「社会福祉法人」が15.2%となっている。

図表 7-4-1 (N=105)

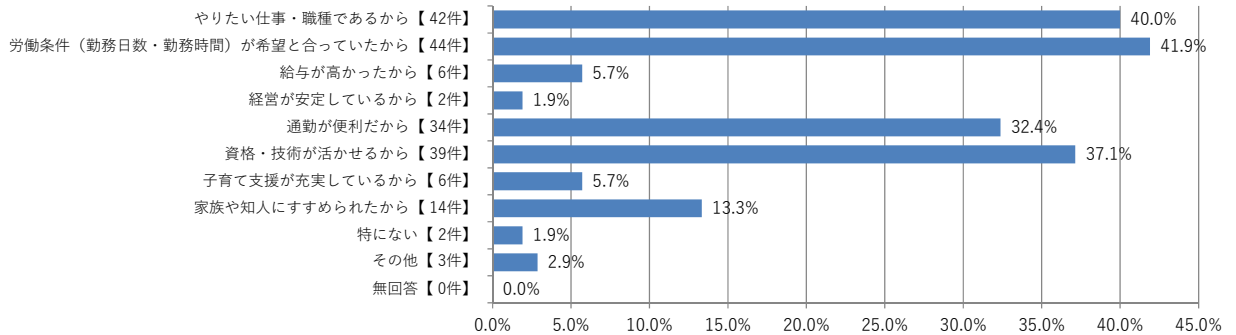


問5 あなた自身の仕事について

問5（１）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「労働条件が希望と合っていたから」が41.9%と最も多く、次いで、「やりたい仕事・職種であるから」が40.0%、「資格・技術が活かせるから」が37.1%、「通勤が便利だから」が32.4%となっている。

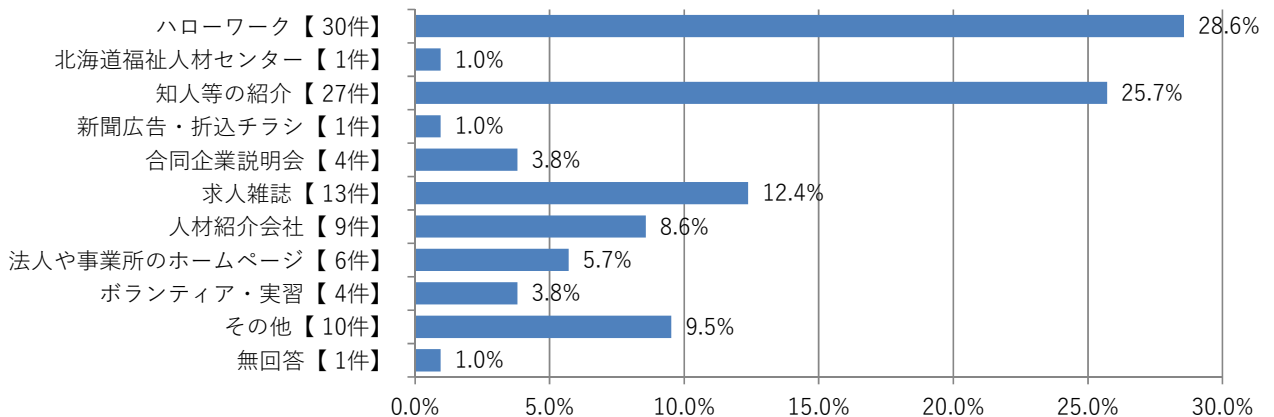
図表 7-5-1 (N=105)



問5（２）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「ハローワーク」が28.6%と最も多く、次いで、「知人等の紹介」が25.7%、「求人雑誌」が12.4%となっている。

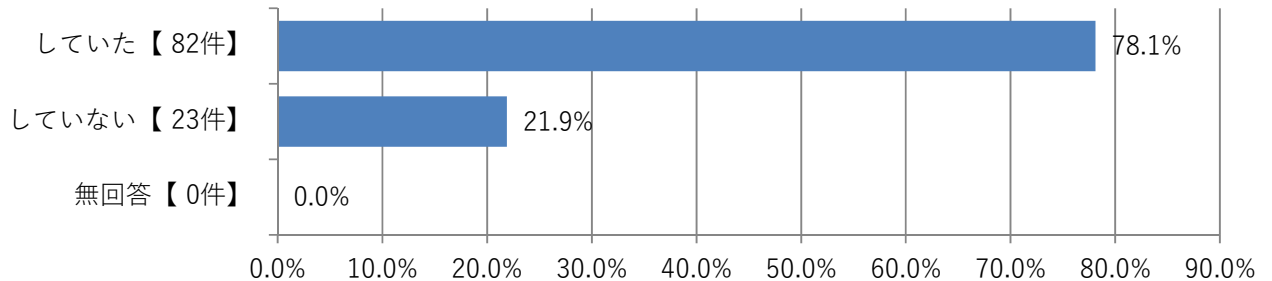
図表 7-5-2 (N=105)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が78.1%、「仕事をしていない」が21.9%となっている。

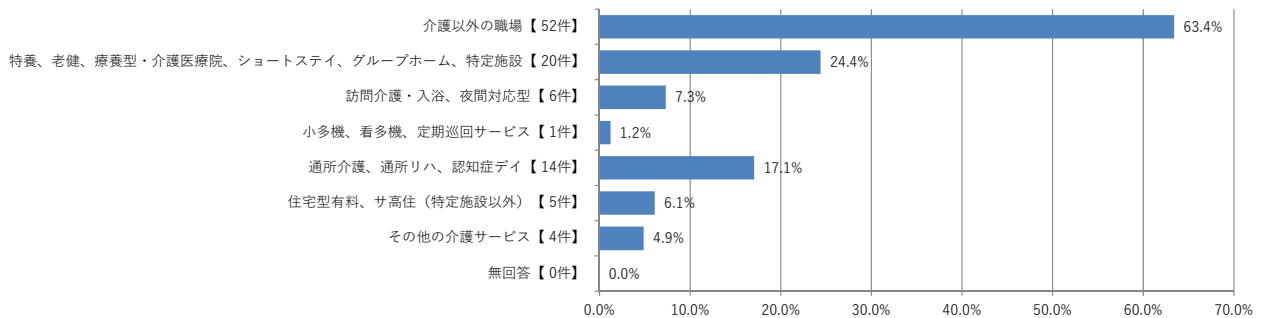
図表 7-5-3 (N=105)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が63.4%と最も多くなっている。

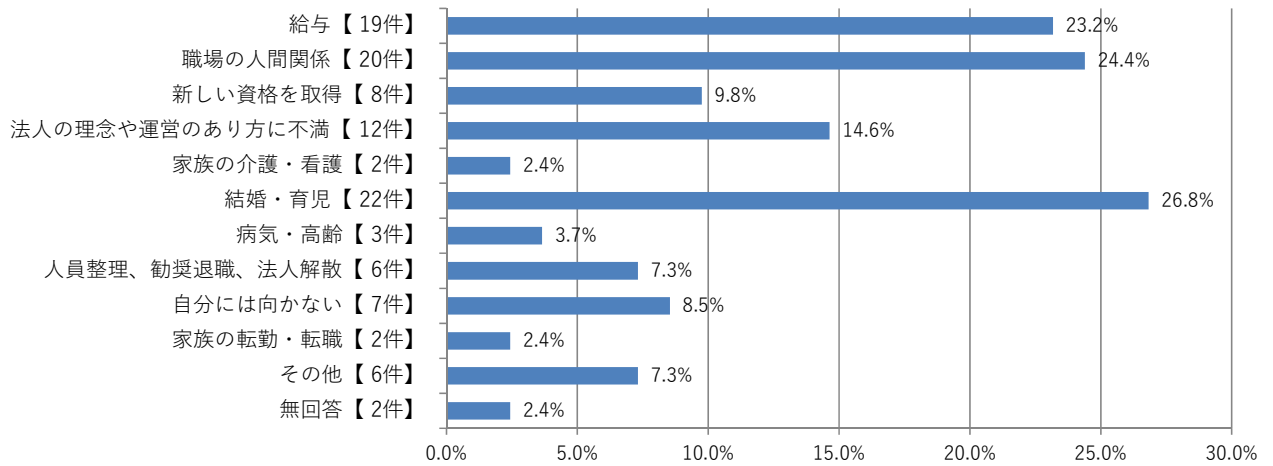
図表 7-5-4 (N=82)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「結婚・育児」が26.8%と最も多く、次いで、「職場の人間関係」が24.4%、「給与」が23.2%と続いている。

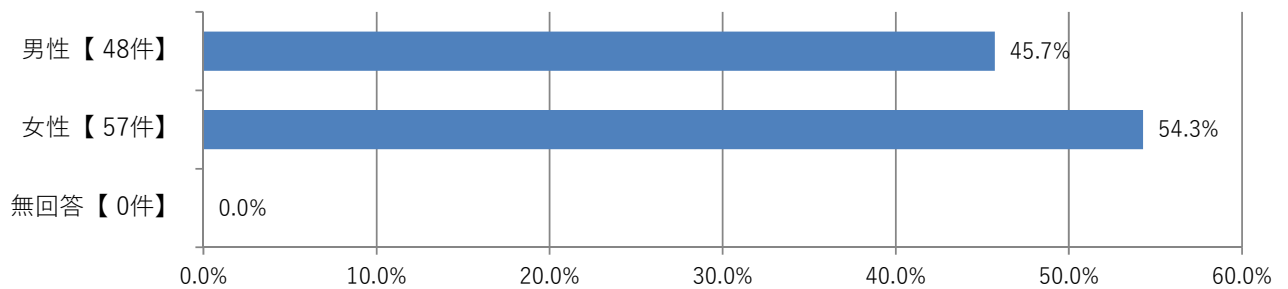
図表 7-5-5 (N=82)



問5（6）性別

性別は、「男性」が45.7%、「女性」が54.3%となっている。

図表 7-5-6 (N=105)



問5（7）年齢

平均年齢は、41.2歳となっている。

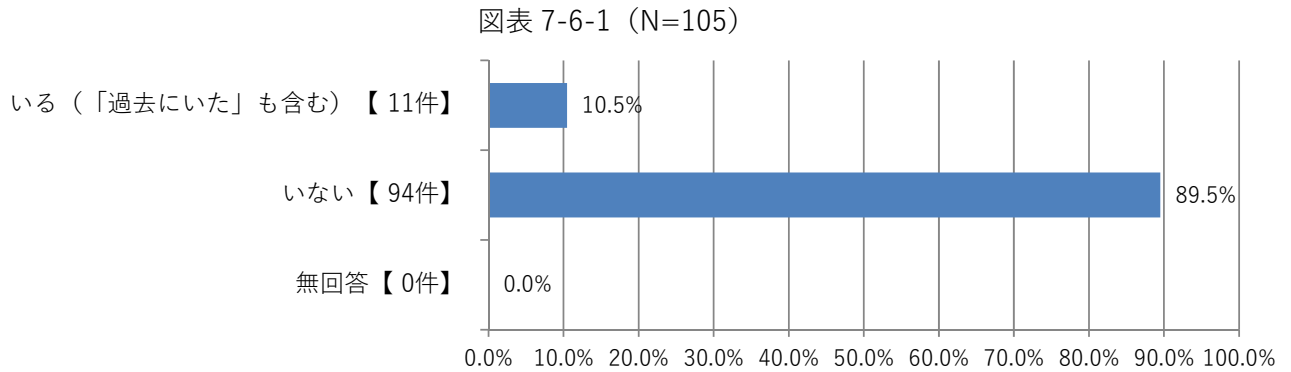
図表 7-5-7 (N=105)

	対象者数	平均年齢（歳）
通所リハビリテーション	105	41.2

問6 外国人介護職員について

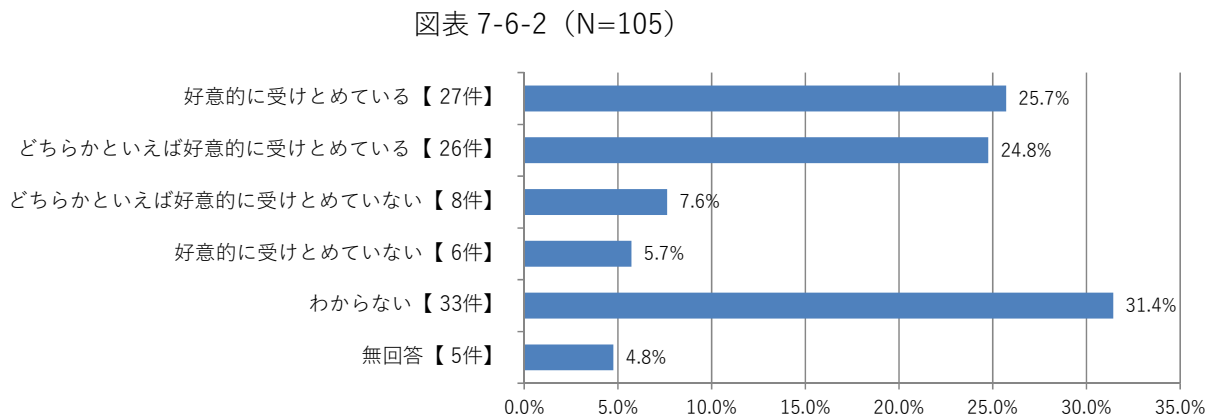
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が89.5%、「いる（過去にいた）」が10.5%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が31.4%と最も多く、次いで、「好意的に受けとめている」が25.7%、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が24.8%となっている。

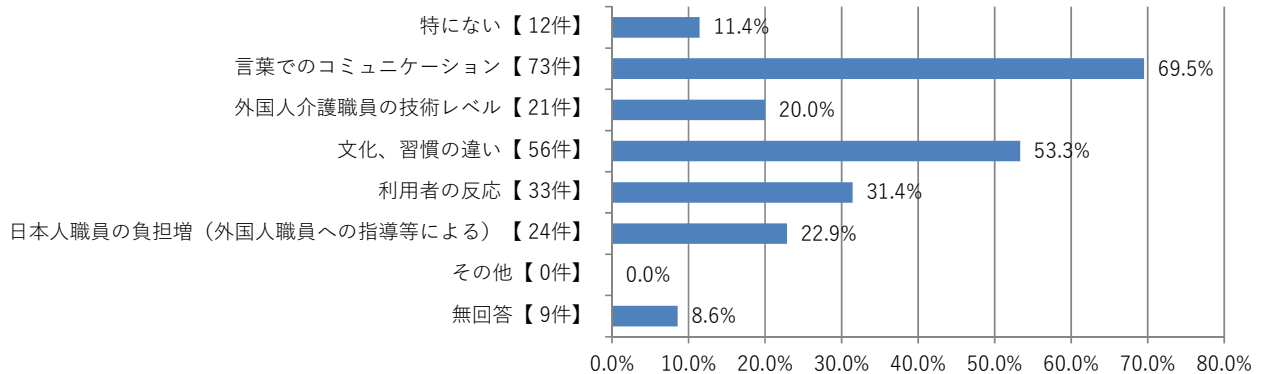


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

[複数回答可]

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が69.5%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が53.3%、「利用者の反応」が31.4%となっている。

図表 7-6-3 (N=105)

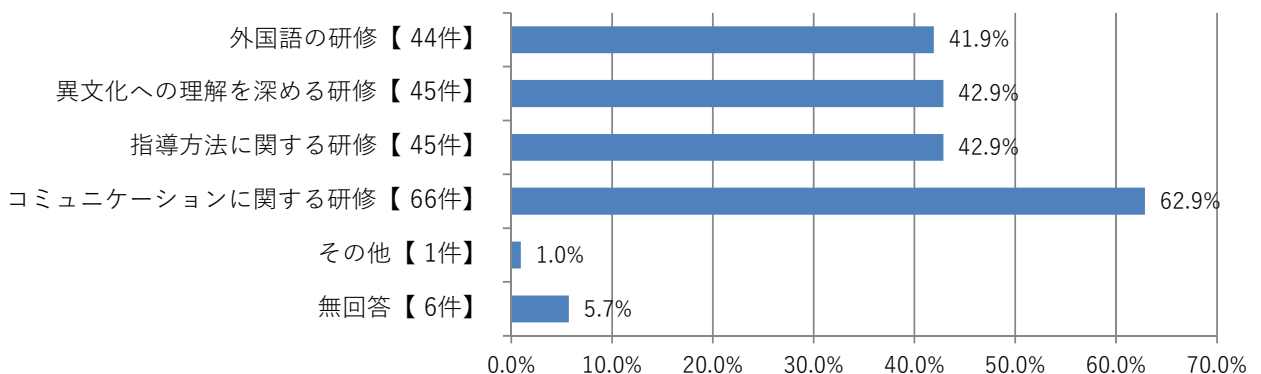


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

[複数回答可]

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が62.9%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」と「指導方法に関する研修」が42.9%、「外国語の研修」が41.9%となっている。

図表 7-6-4 (N=105)



⑧短期入所生活介護

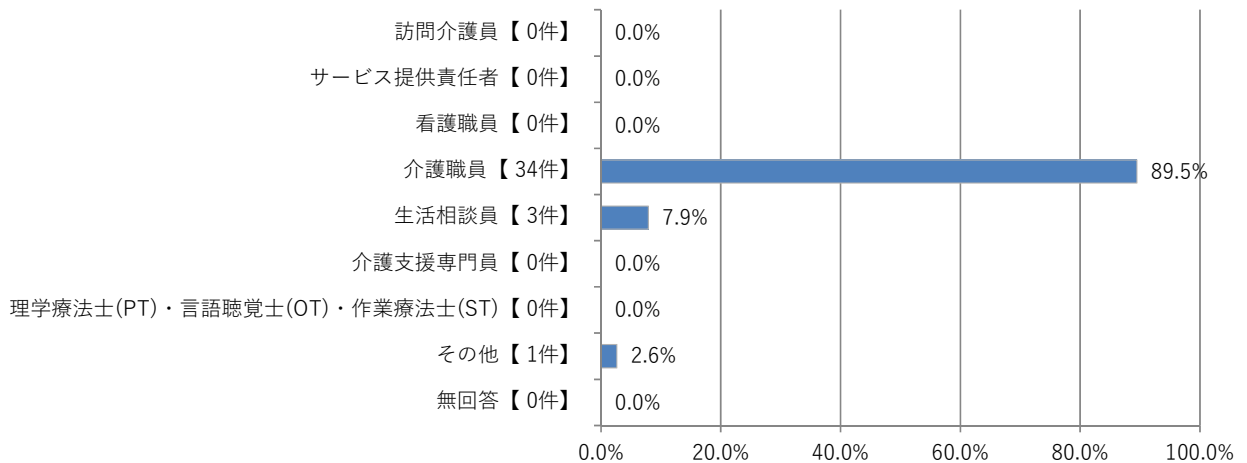
回答者数 38

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が89.5%と最も多く、次いで、「生活相談員」が7.9%となっている。

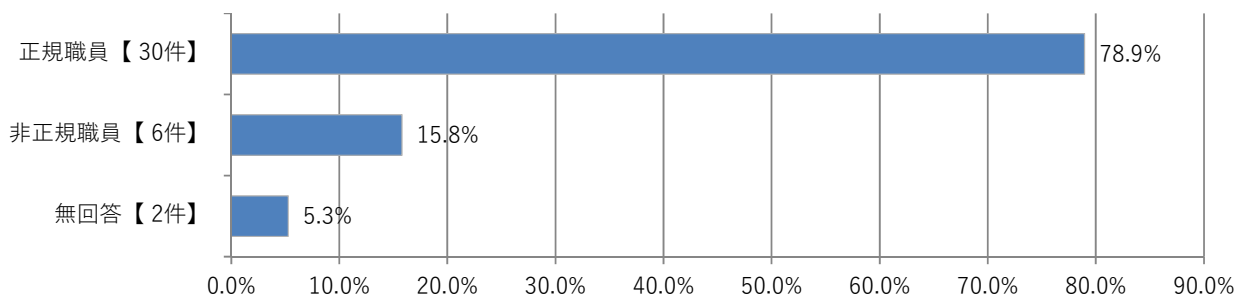
図表 8-1-1 (N=38)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が78.9%、「非正規職員」が15.8%となっている。

図表 8-1-2 (N=38)

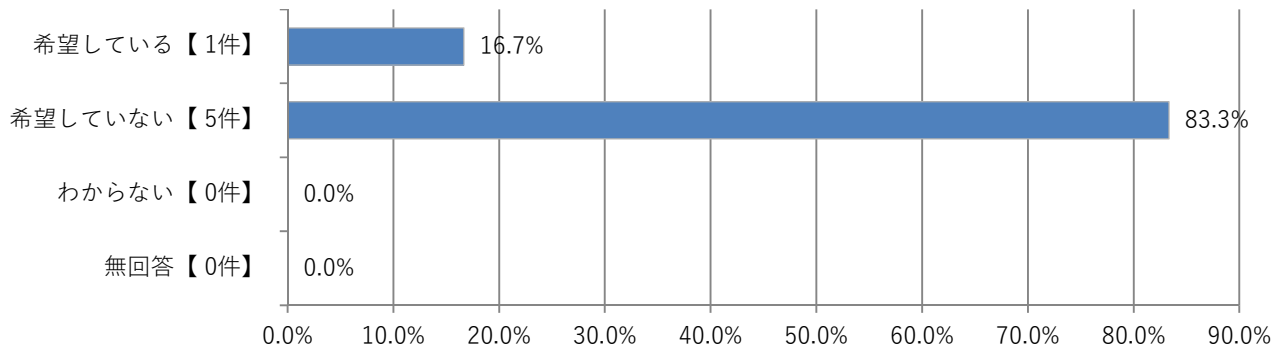


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が83.3%と最も多く、次いで、「希望している」が16.7%となっている。

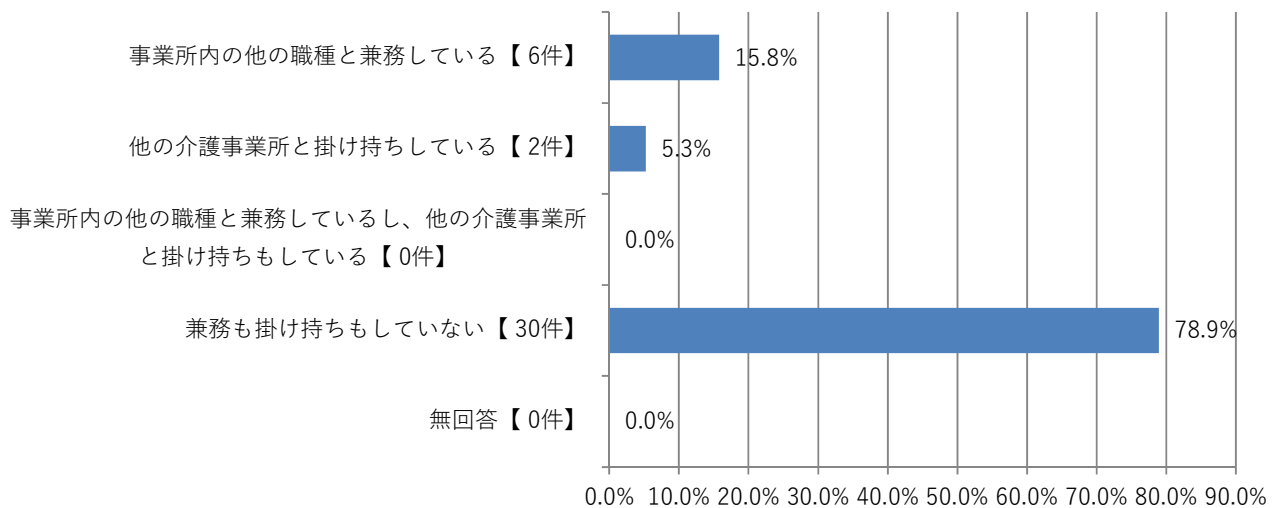
図表 8-1-3 (N=6)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が78.9%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が15.8%となっている。

図表 8-1-4 (N=38)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が13.0年となっており、「正規職員」が12.9年、「非正規職員」が15.1年となっている。

図表 8-1-5 (N=38)

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
短期入所生活介護 (年)	38	13.0	12.9	15.1	7.9

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が9.2年、「正規職員」が7.8年、「非正規職員」が5.7年となっている。

図表 8-1-6 (N=38)

	対象者数	平均勤続年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
短期入所生活介護 (年)	38	9.2	9.7	7.8	5.7

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が5.0日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が5.0日となっている。

職種別では、「生活相談員」が5.2日と最も多くなっている。

図表 8-2-1 (N=38)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
短期入所生活介護	38	5.0	5.0	5.0	5.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	0	-	-	-	-
介護職員	34	5.0	5.0	5.0	5.0
生活相談員	3	5.2	5.3	-	5.0
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	5.0	-	5.0	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が39.3時間、「正規職員」が40.7時間、「非正規職員」が32.0時間となっている。

職種別では「介護職員」が41.4時間と最も多くなっている。

図表 8-2-2 (N=38)

	対象者数	平均労働時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
短期入所生活介護	38	39.3	40.7	32.0	44.5
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	0	-	-	-	-
介護職員	34	41.4	42.4	36.8	-
生活相談員	3	28.2	20.0	-	44.5
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	8.0	-	8.0	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.1時間、「正規職員」が2.0時間、「非正規職員」が2.1時間となっている。

職種別では、「生活相談員」が2.3時間と最も多くなっている。

図表 8-2-3 (N=38)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
短期入所生活介護	38	2.1	2.0	2.1	7.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	0	-	-	-	-
介護職員	34	2.2	2.1	2.6	-
生活相談員	3	2.3	0.0	-	7.0
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	0.0	-	0.0	-

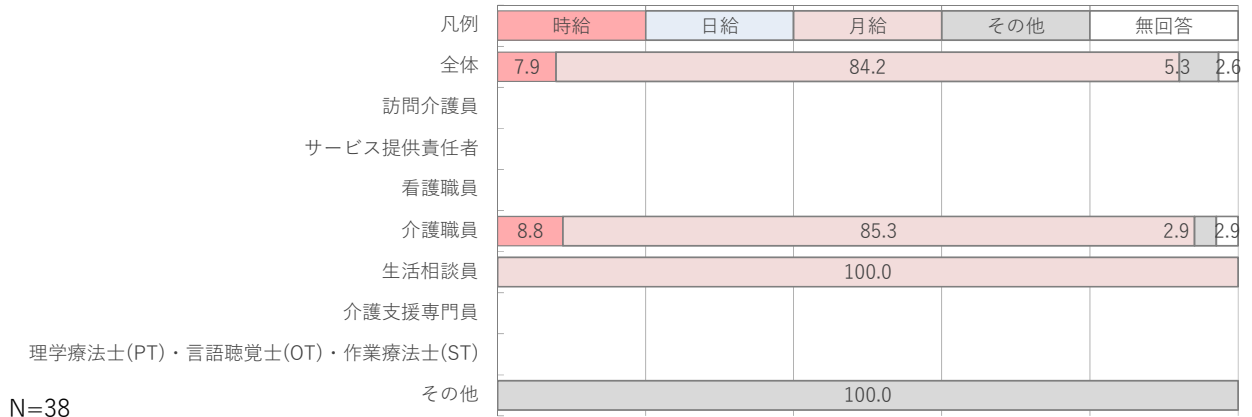
問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が84.2%と最も多く、次いで、「時給」が7.9%となっている。
時給の平均は、988円となっている。

図表 8-2-4 (N=38)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
短期入所生活介護	38	3	0	32	2	1	988	-
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	0	0	0	0	0	0	-	-
介護職員	34	3	0	29	1	1	988	-
生活相談員	3	0	0	3	0	0	-	-
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	-	-
理学療法士(P.T)・言語聴覚士(O.T)・作業療法士(S.T)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	1	0	0	0	1	0	-	-

0% 20% 40% 60% 80% 100%



問2 (5) 1 か月当たりの税込み月収

1 か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が 206,363 円、「時給」が 110,667 円、「その他」が 215,000 円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護職員」が 205,782 円となっている。

図表 8-2-5 (N=38)

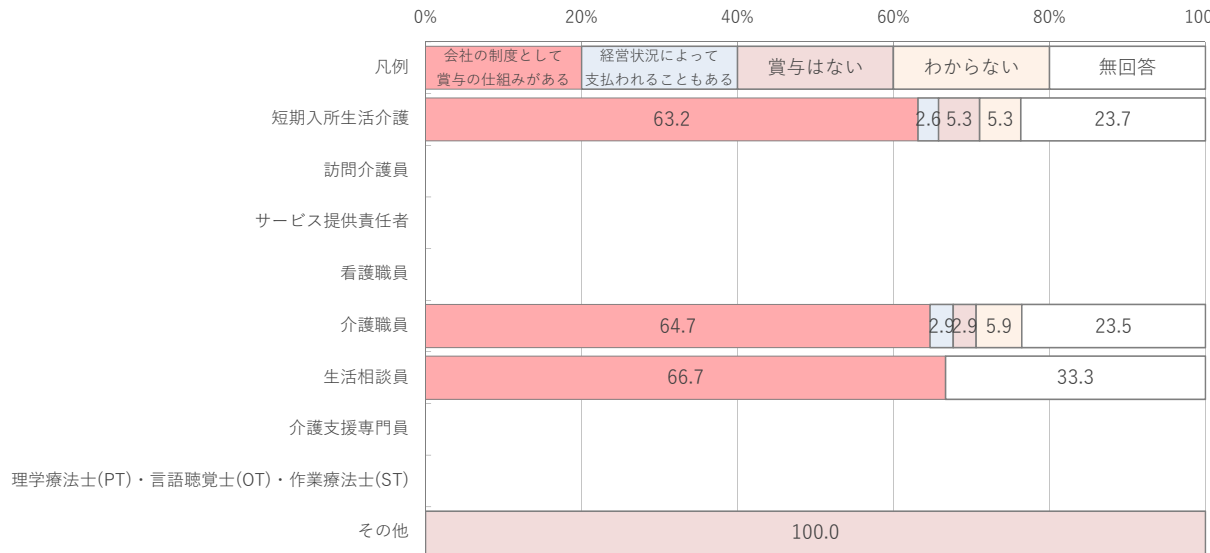
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
短期入所生活介護	3	110,667	112	0	-	-	32	206,363	2	215,000
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護職員	3	110,667	112	0	-	-	29	205,782	1	250,000
生活相談員	0	-	-	0	-	-	3	211,200	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	0	-	1	180,000

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が63.2%と最も多く、次いで、「賞与はない」、「わからない」が5.3%となっている。

図表 8-2-6 (N=38)

	(件)					(%)						
	対象者数	会社の制度として賞与がある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社の制度として賞与がある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
短期入所生活介護	38	24	1	2	2	9	100.0	63.2	2.6	5.3	5.3	23.7
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
介護職員	34	22	1	1	2	8	100.0	64.7	2.9	2.9	5.9	23.5
生活相談員	3	2	0	0	0	1	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	1	0	0	1	0	0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0



問2 (7) 賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 329,539 円となっている。「正規職員」の平均は 380,070 円、「非正規職員」の平均は 64,250 円となっている。

職種別にみると、「生活相談員」が 400,000 円で最も高くなっている。

図表 8-2-7 (N=38)

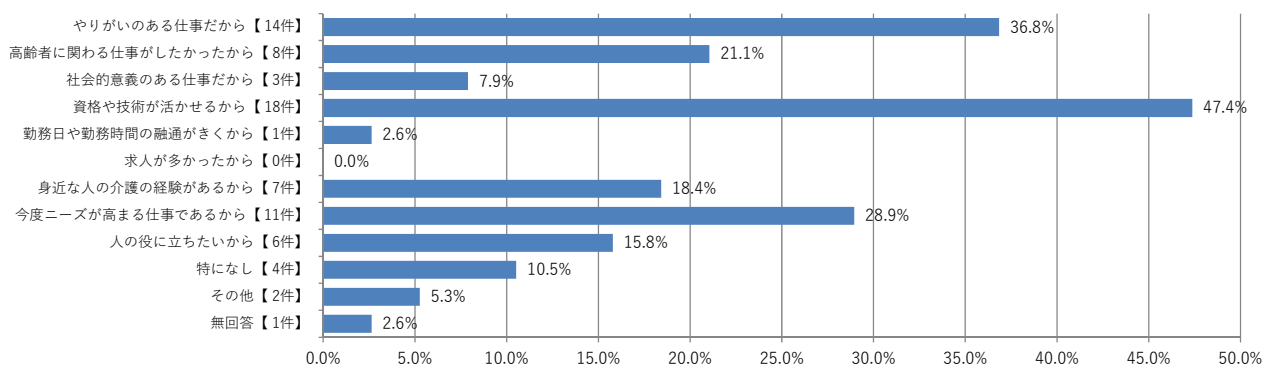
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)	(件)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答										
短期入所生活介護	38	65.8	5.3	5.3	23.7	25	329,539	短期入所生活介護	38	25	2	2	9	25	
正規職員	30	70.0	0.0	6.7	23.3	21	380,070	正規職員	30	21	0	2	7	21	
非正規職員	6	66.7	33.3	0.0	0.0	4	64,250	非正規職員	6	4	2	0	0	4	
無回答	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0	-	無回答	2	0	0	0	2	0	
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0	
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	
看護職員	0	-	-	-	-	0	-	看護職員	0	0	0	0	0	0	
介護職員	34	67.6	2.9	5.9	23.5	23	323,412	介護職員	34	23	1	2	8	23	
生活相談員	3	66.7	0.0	0.0	33.3	2	400,000	生活相談員	3	2	0	0	1	2	
介護支援専門員	0	-	-	-	-	0	-	介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	
その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0	-	その他	1	0	1	0	0	0	

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が47.4%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が36.8%、「今後ニーズが高まる仕事であるから」が28.9%となっている。

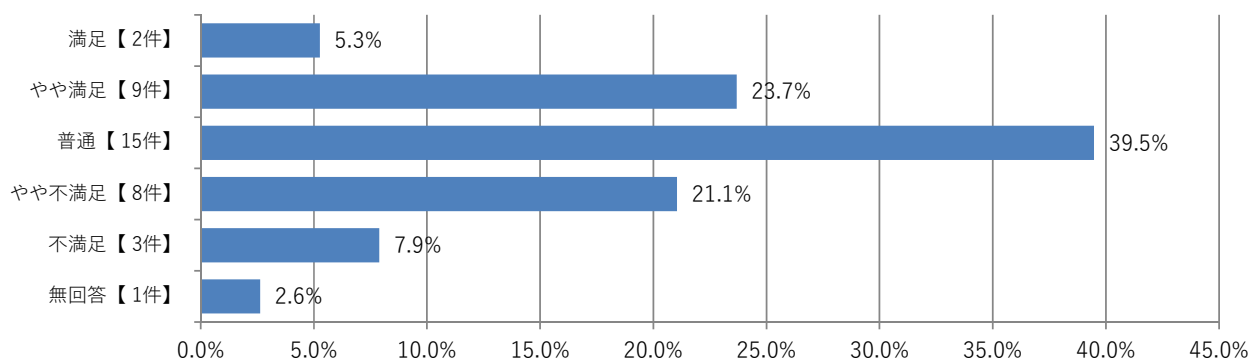
図表 8-3-1 (N=38)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が39.5%と最も多く、次いで、「やや満足」が23.7%、「やや不満足」が21.1%、「不満足」が7.9%、「満足」が5.3%となっている。

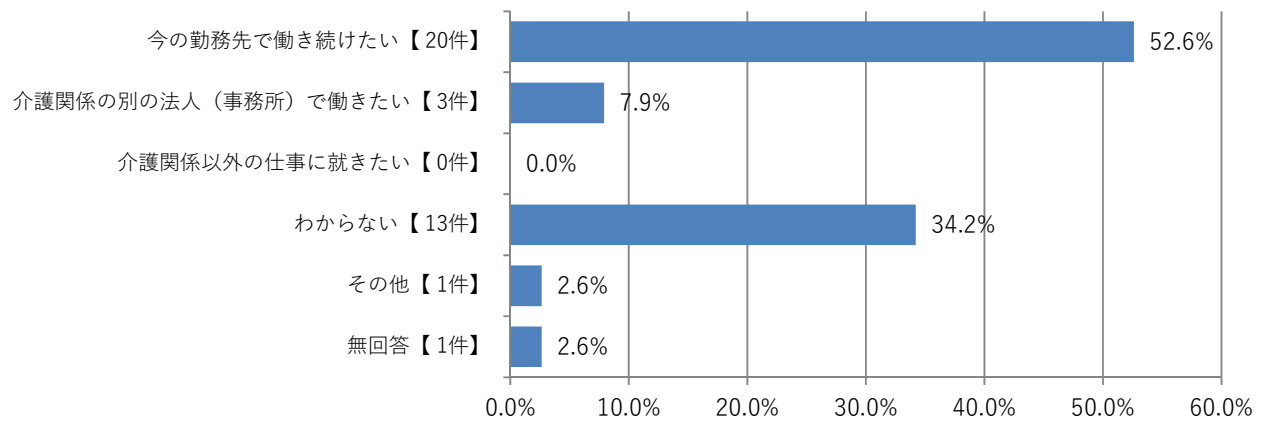
図表 8-3-2 (N=38)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が52.6%、「わからない」が34.2%となっている。

図表 8-3-3 (N=38)

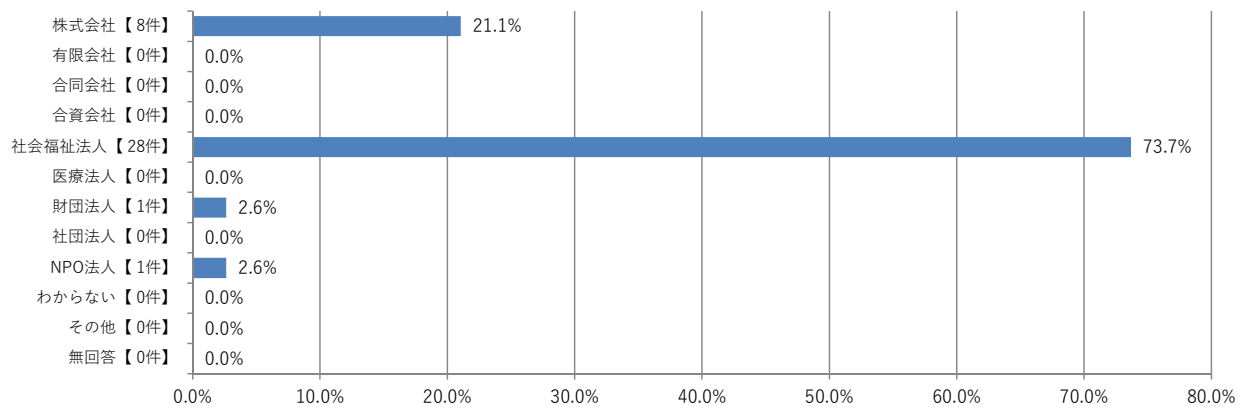


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「社会福祉法人」が73.7%と最も多く、次いで、「株式会社」が21.1%となっている。

図表 8-4-1 (N=38)

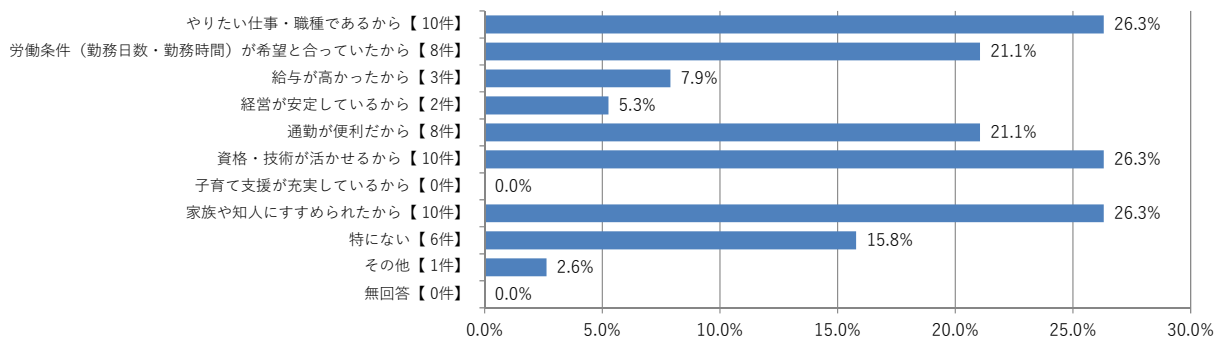


問5 あなた自身の仕事について

問5（１）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」と「資格・技術が活かせるから」、「家族や知人にすすめられたから」が 26.3%と最も多く、次いで、「労働条件が希望と合っていたから」、「通勤が便利だから」が 21.1%となっている。

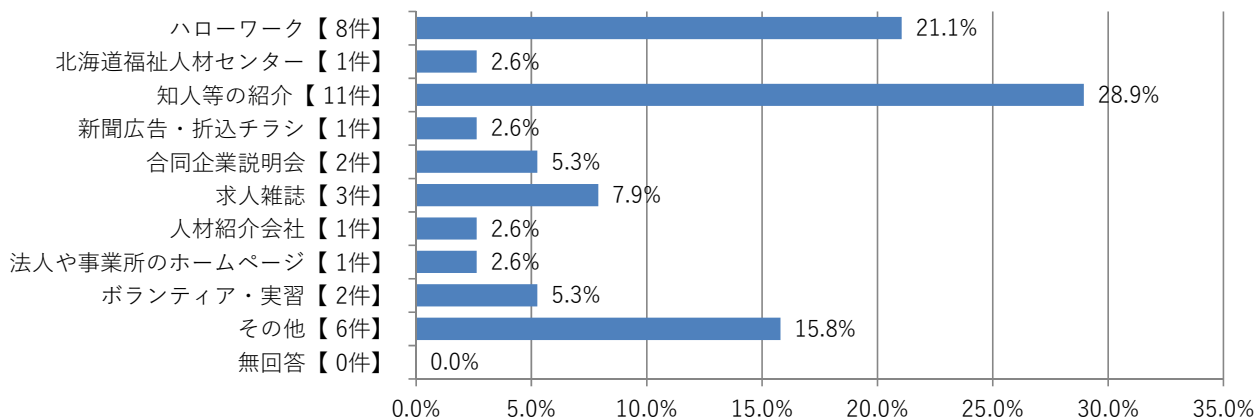
図表 8-5-1 (N=38)



問5（２）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が 28.9%と最も多く、次いで、「ハローワーク」、「その他」が 21.1%となっている。

図表 8-5-2 (N=38)

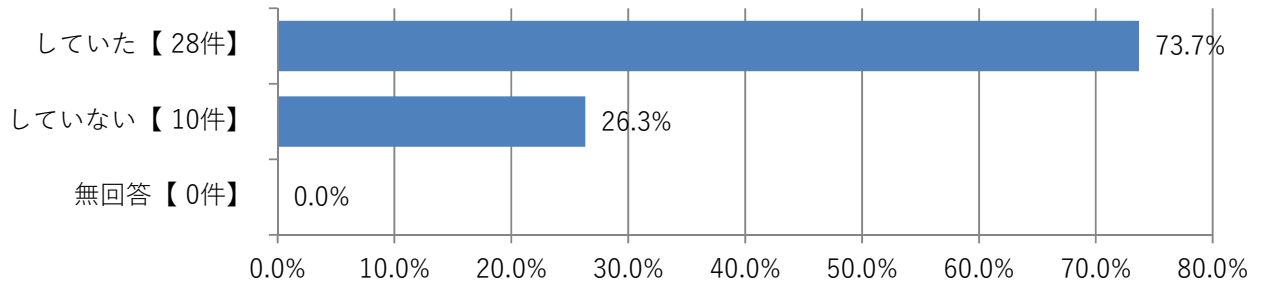


その他の内容
学校の求人
学校卒業で求人
ジョブメドレー
移籍

問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が73.7%、「仕事をしていない」が26.3%となっている。

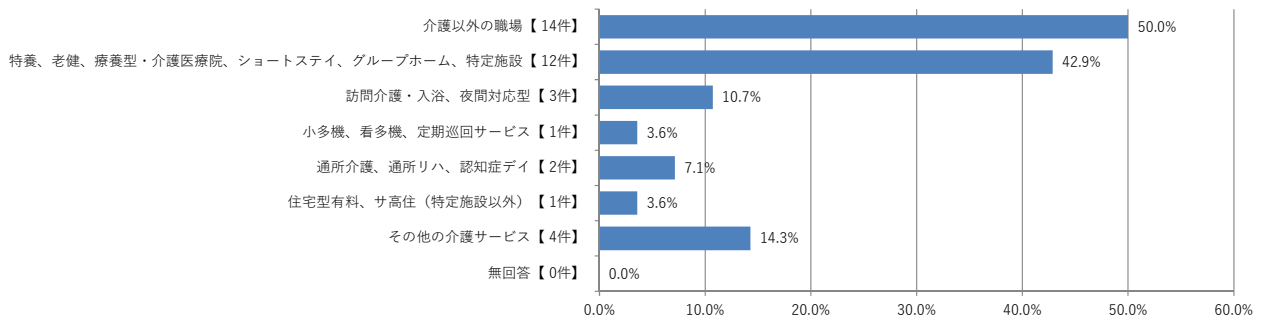
図表 8-5-3 (N=38)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が50.0%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が42.9%となっている。

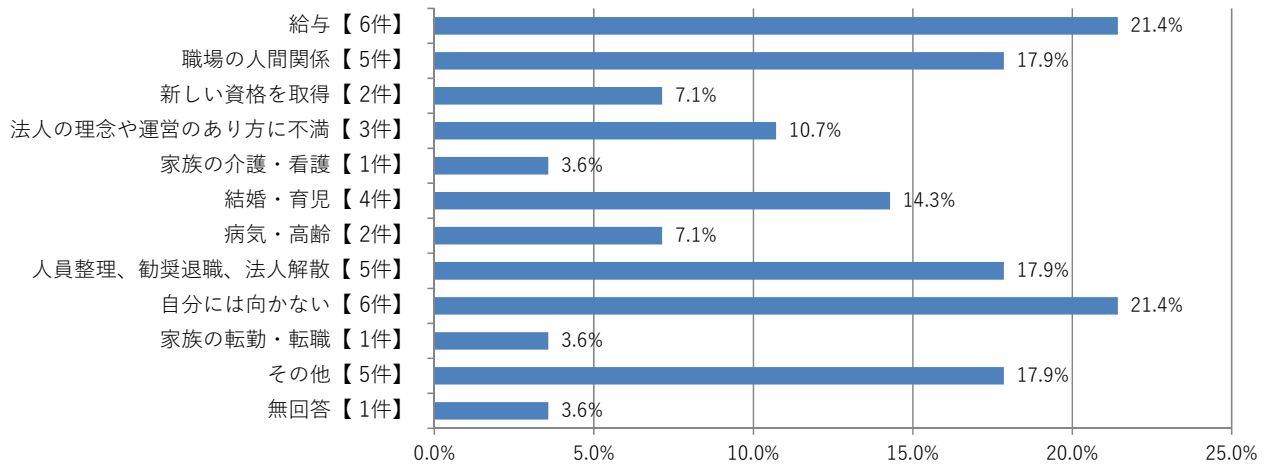
図表 8-5-4 (N=28)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「給与」、「自分には向かない」が 21.4%と最も多く、次いで、「職場の人間関係」、「人員整理、勧奨退職、法人解散」、「その他」が 17.9%と続いている。

図表 8-5-5 (N=28)

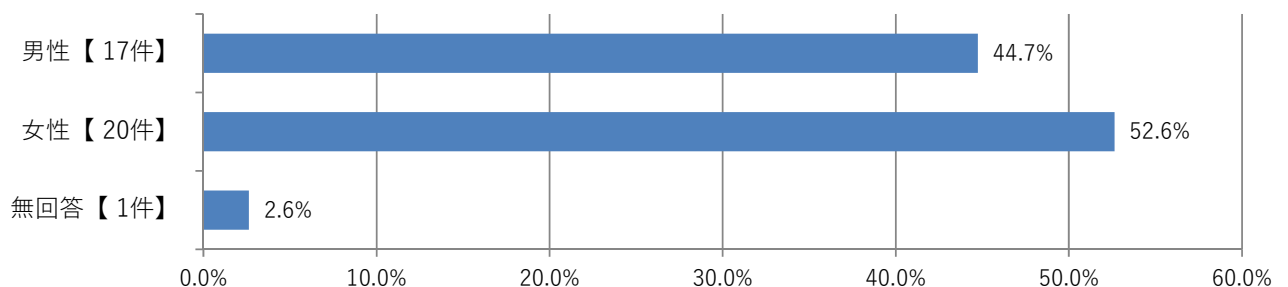


その他の内容
学校をやめたから
体力的
地元近辺に戻りたかった
就職の為
体力の限界

問5（6）性別

性別は、「男性」が 44.7%、「女性」が 52.6%となっている。

図表 8-5-6 (N=38)



問5（7）年齢

平均年齢は、42.9歳となっている。

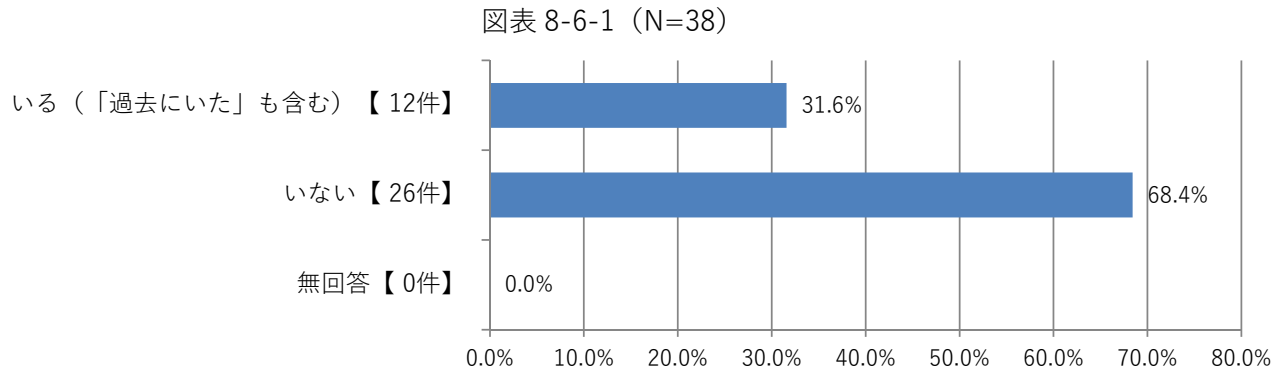
図表 8-5-7 (N=38)

	対象者数	平均年齢（歳）
短期入所生活介護	38	42.9

問6 外国人介護職員について

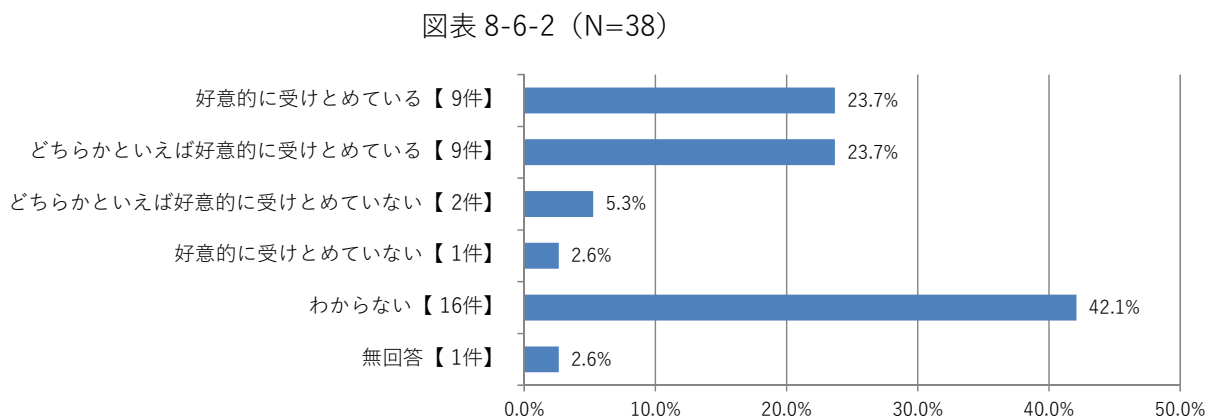
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が68.4%、「いる（過去にいた）」が31.6%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が42.1%と最も多く、次いで、「好意的に受けとめている」、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が23.7%となっている。

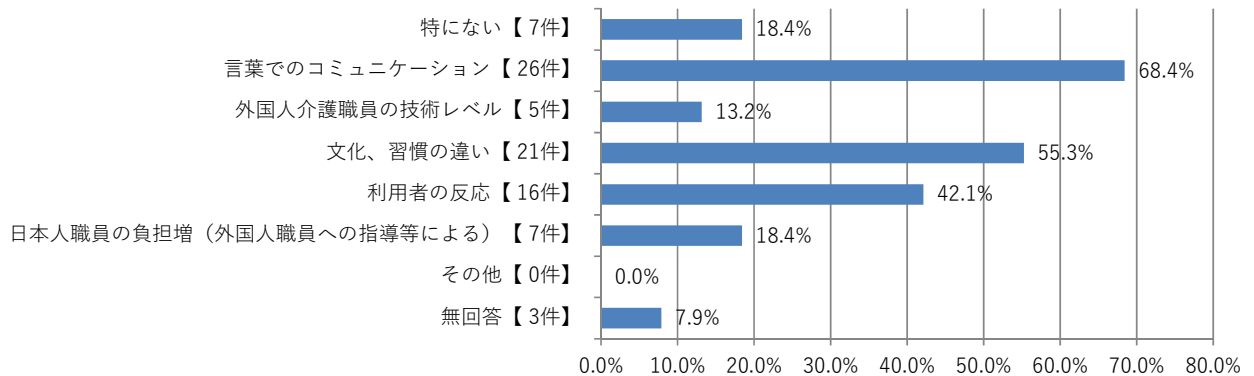


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

[複数回答可]

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が68.4%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が55.3%、「利用者の反応」が42.1%となっている。

図表 8-6-3 (N=38)

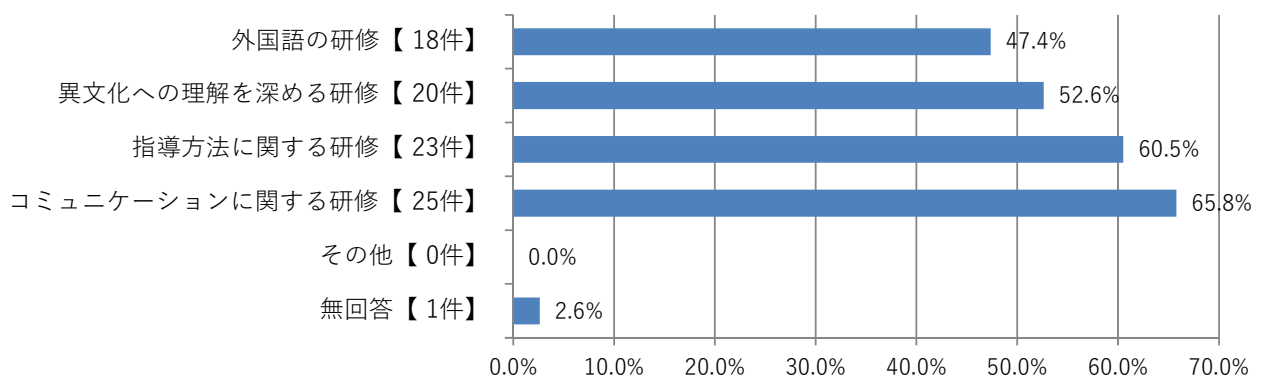


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

[複数回答可]

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が65.8%と最も多く、次いで、「指導方法に関する研修」が60.5%、「異文化への理解を深める研修」が52.6%、「外国語の研修」が47.4%となっている。

図表 8-6-4 (N=38)



⑨短期入所療養介護

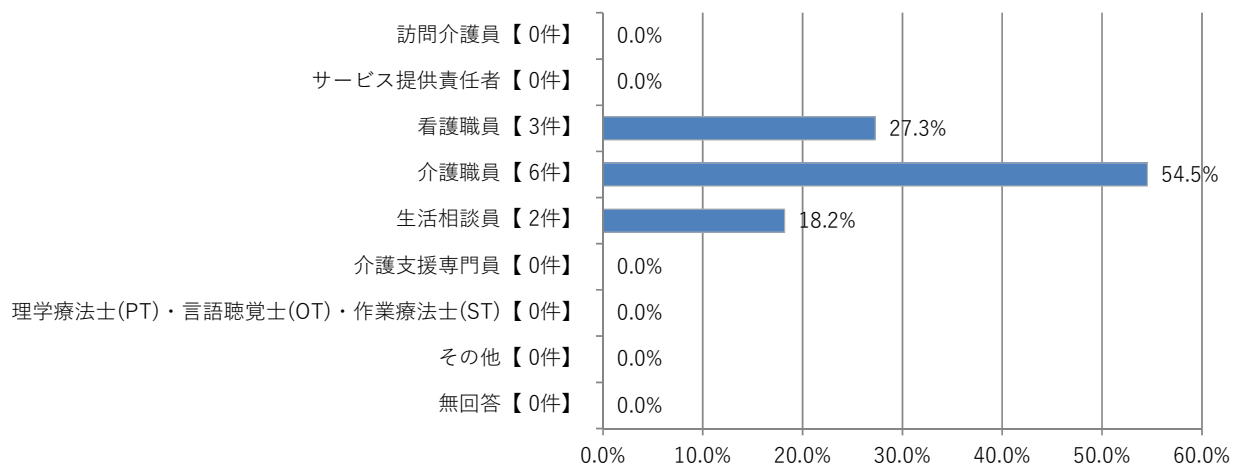
回答者数 11

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が54.5%と最も多く、次いで、「看護職員」が27.3%、「生活相談員」が18.2%となっている。

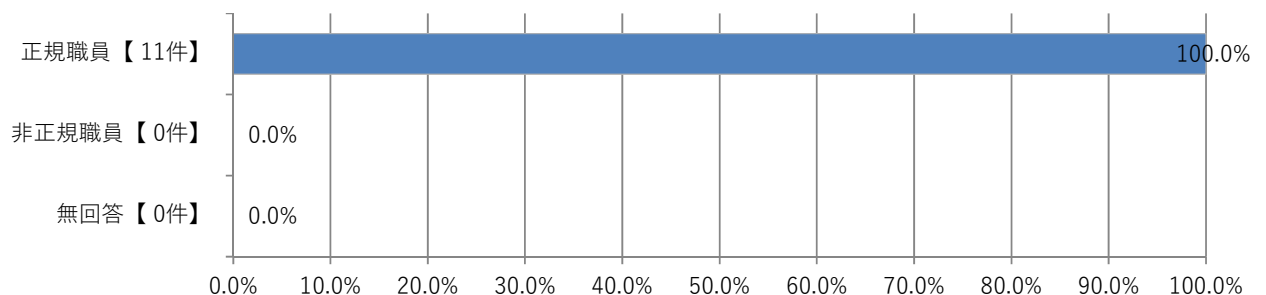
図表 9-1-1 (N=11)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が100%となっている。

図表 9-1-2 (N=11)



問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

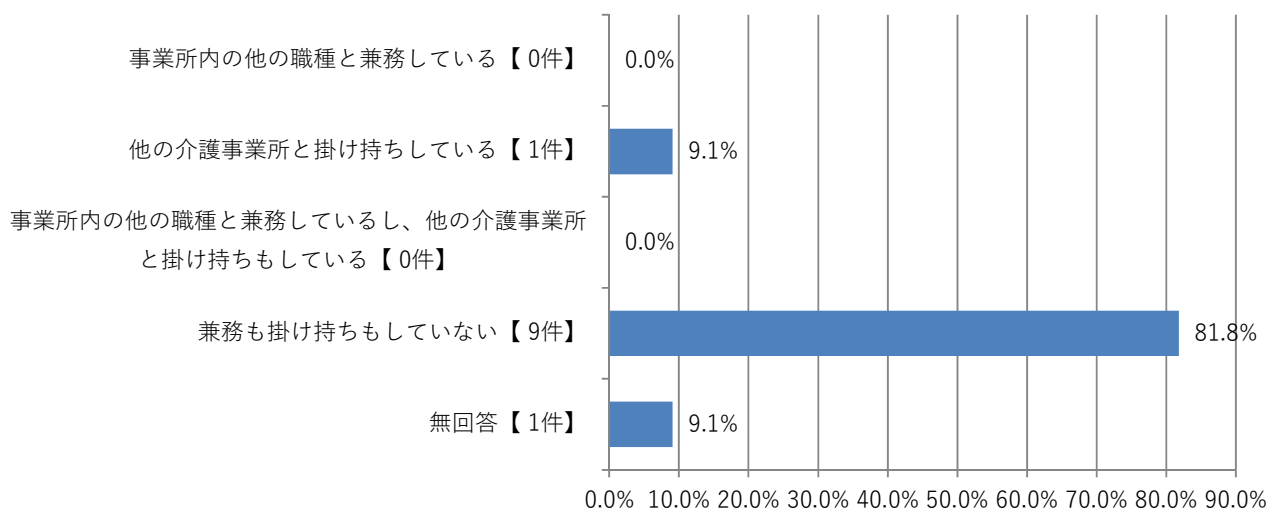
<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

回答対象なし

問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が81.8%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が9.1%になっている。

図表 9-1-3 (N=11)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が15.1年となっており、「正規職員」が15.1年となっている。

図表 9-1-4 (N=11)

	対象者数	平均経験年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
短期入所療養介護 (年)	11	15.1	15.1	-	-

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が7.7年、「正規職員」が7.7年となっている。

図表 9-1-5 (N=11)

	対象者数	平均勤続年数			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
短期入所療養介護 (年)	11	7.7	7.7	-	-

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が5.0日、「正規職員」が5.0日となっている。

職種別では、「看護職員」と「生活相談員」が5.0日と最も多くなっている。

図表 9-2-1 (N=11)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
短期入所療養介護	11	5.0	5.0	-	-
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	3	5.0	5.0	-	-
介護職員	6	4.9	4.9	-	-
生活相談員	2	5.0	5.0	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が39.6時間、「正規職員」が39.6時間となっている。

職種別では「介護職員」と「生活相談員」が40.5時間と最も多くなっている。

図表 9-2-2 (N=11)

	対象者数	平均労働時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
短期入所療養介護	11	39.6	39.6	-	-
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	3	37.7	37.7	-	-
介護職員	6	40.5	40.5	-	-
生活相談員	2	40.5	40.5	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が1.4時間、「正規職員」が1.4時間となっている。

職種別では、「看護職員」が2.0時間と最も多くなっている。

図表 9-2-3 (N=11)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
短期入所療養介護	11	1.4	1.4	-	-
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	3	2.0	2.0	-	-
介護職員	6	0.9	0.9	-	-
生活相談員	2	1.8	1.8	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が100%となっている。

図表 9-2-4 (N=11)

	対象者数	(件)					平均値	
		時給	日給	月給	その他	無回答	時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
短期入所療養介護	11	0	0	11	0	0	-	-
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	3	0	0	3	0	0	-	-
介護職員	6	0	0	6	0	0	-	-
生活相談員	2	0	0	2	0	0	-	-
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	0	0	0	0	0	0	-	-

0% 20% 40% 60% 80% 100%

凡例	時給	日給	月給	その他	無回答
全体	100.0				
訪問介護員					
サービス提供責任者					
看護職員	100.0				
介護職員	100.0				
生活相談員	100.0				
介護支援専門員					
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)					
その他					

問2 (5) 1 か月当たりの税込み月収

1 か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が 209,590 円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「看護職員」が 266,667 円、「介護職員」が 191,180 円となっている。

図表 9-2-5 (N=11)

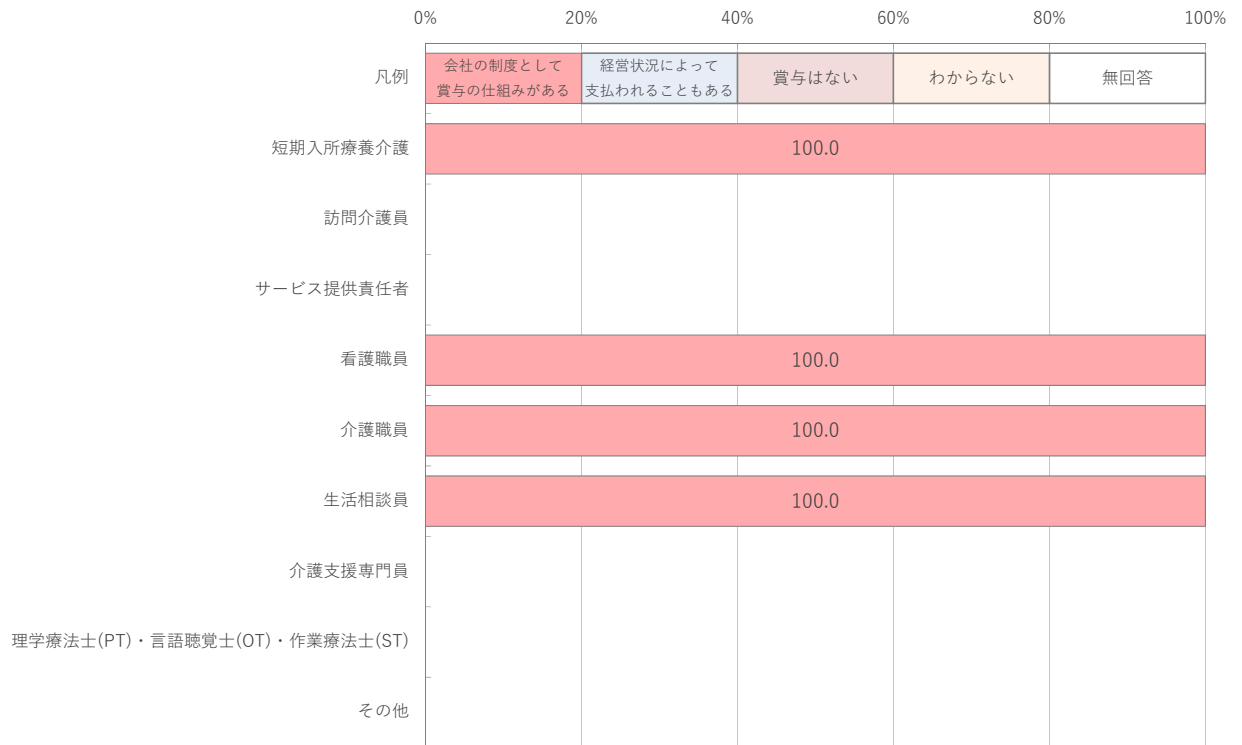
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
短期入所療養介護	0	-	-	0	-	-	11	209,590	0	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	0	-	-	0	-	-	3	266,667	0	-
介護職員	0	-	-	0	-	-	6	191,180	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	2	170,000	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が100%となっている。

図表 9-2-6 (N=11)

	(件)					(%)						
	対象者数	会社の制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社の制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
短期入所療養介護	11	11	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	3	3	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護職員	6	6	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活相談員	2	2	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 578,964 円となっている。「正規職員」の平均は 578,964 円となっている。

職種別にみると、「看護職員」が 660,000 円で最も高くなっている。

図表 9-2-7 (N=11)

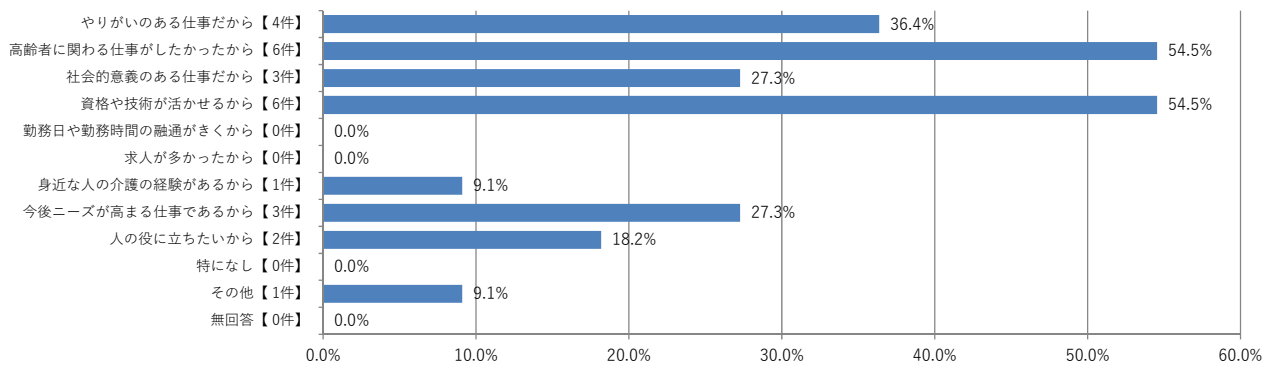
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
短期入所療養介護	11	100.0	0.0	0.0	0.0	11	578,964	短期入所療養介護	11	11	0	0	0	11
正規職員	11	100.0	0.0	0.0	0.0	11	578,964	正規職員	11	11	0	0	0	11
非正規職員	0	-	-	-	-	0	-	非正規職員	0	0	0	0	0	0
無回答	0	-	-	-	-	0	-	無回答	0	0	0	0	0	0
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	3	100.0	0.0	0.0	0.0	3	660,000	看護職員	3	3	0	0	0	3
介護職員	6	100.0	0.0	0.0	0.0	6	516,433	介護職員	6	6	0	0	0	6
生活相談員	2	100.0	0.0	0.0	0.0	2	645,000	生活相談員	2	2	0	0	0	2
介護支援専門員	0	-	-	-	-	0	-	介護支援専門員	0	0	0	0	0	0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	0	-	-	-	-	0	-	その他	0	0	0	0	0	0

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「高齢者に関わる仕事がしたかったから」と「資格や技術が活かせるから」が54.5%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が36.4%、「社会的意義のある仕事だから」、「今後ニーズが高まる仕事であるから」が27.3%となっている。

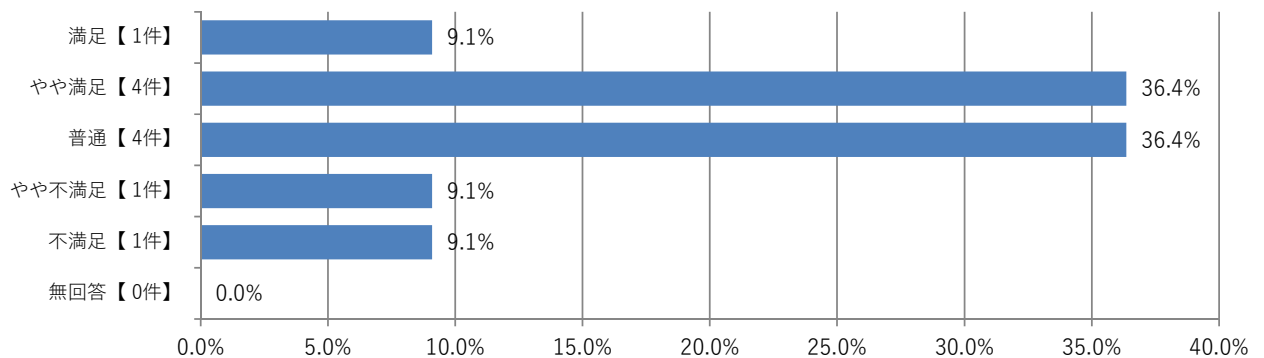
図表 9-3-1 (N=11)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「やや満足」と「普通」が36.4%と最も多くなっている。

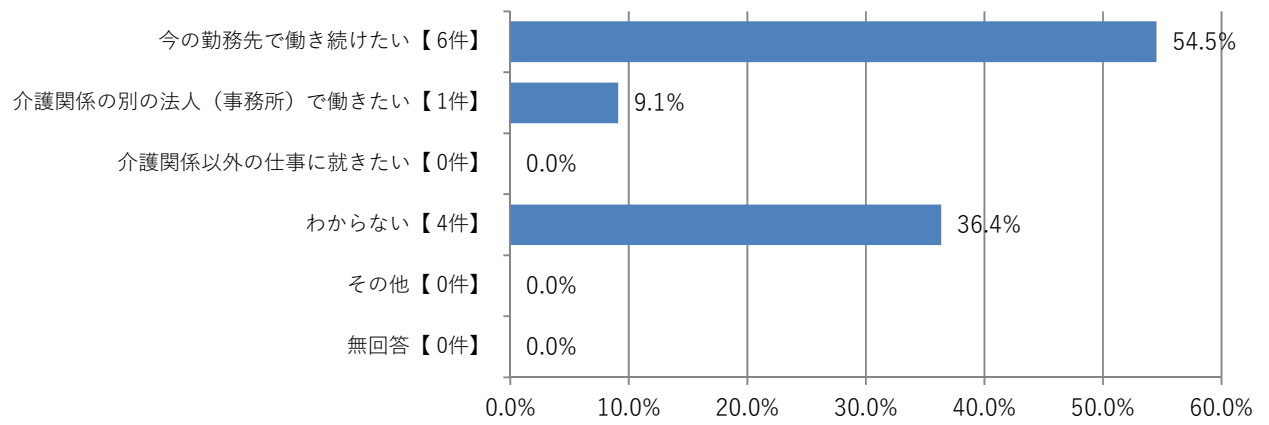
図表 9-3-2 (N=11)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働きたい」が54.5%、「わからない」が36.4%となっている。

図表 9-3-3 (N=11)

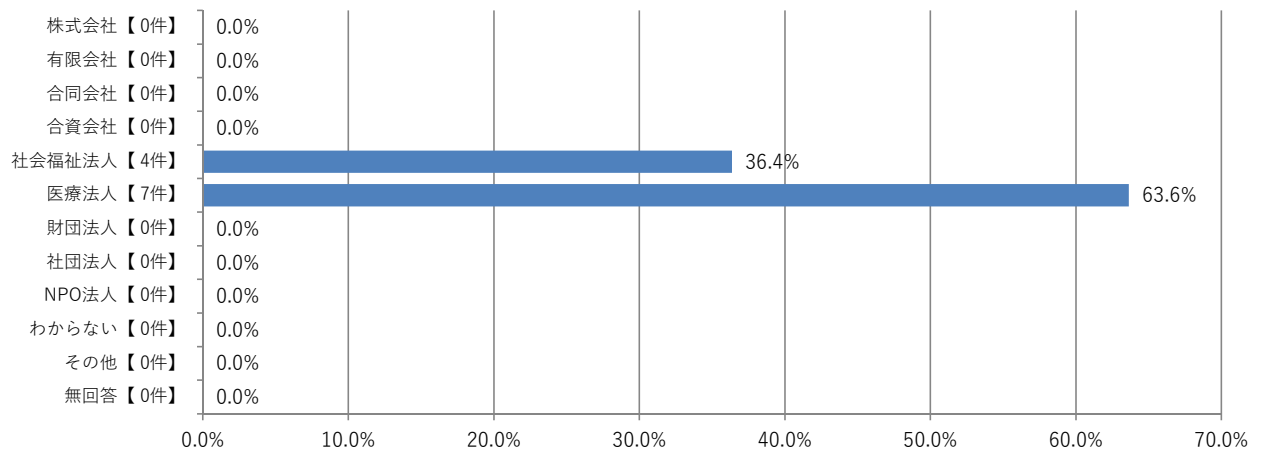


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「医療法人」が63.6%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が36.4%となっている。

図表 9-4-1 (N=11)

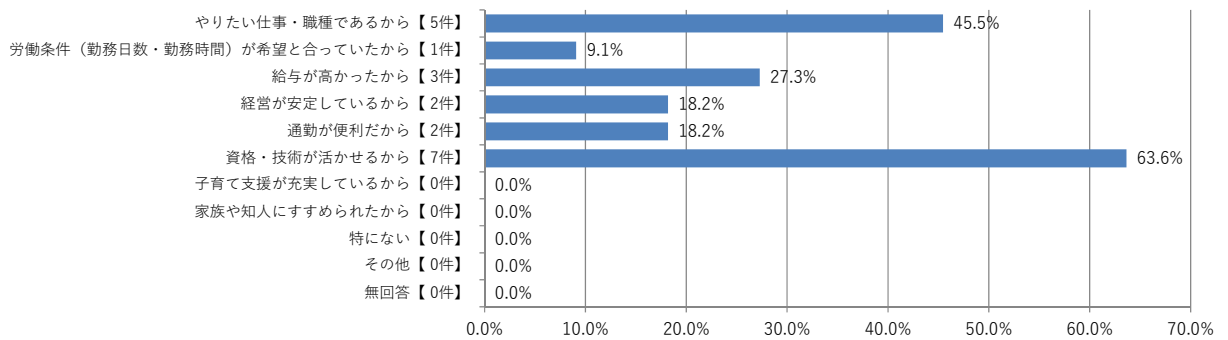


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「資格・技術が活かせるから」が63.6%と最も多く、次いで、「やりたい仕事・職種であるから」が45.5%、「給与が高かったから」が27.3%となっている。

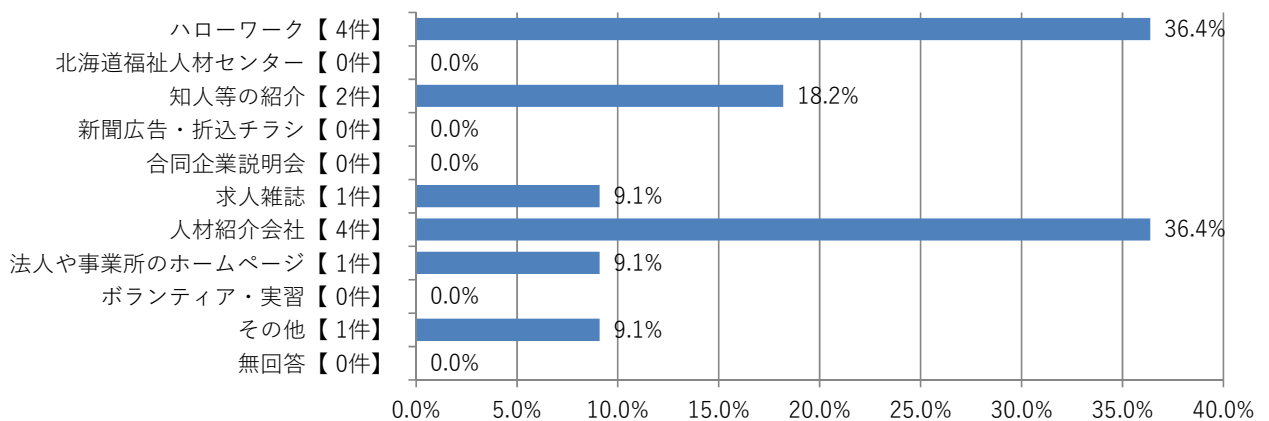
図表 9-5-1 (N=11)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「ハローワーク」と「人材紹介会社」が36.4%と最も多く、次いで、「知人等の紹介」が18.2%となっている。

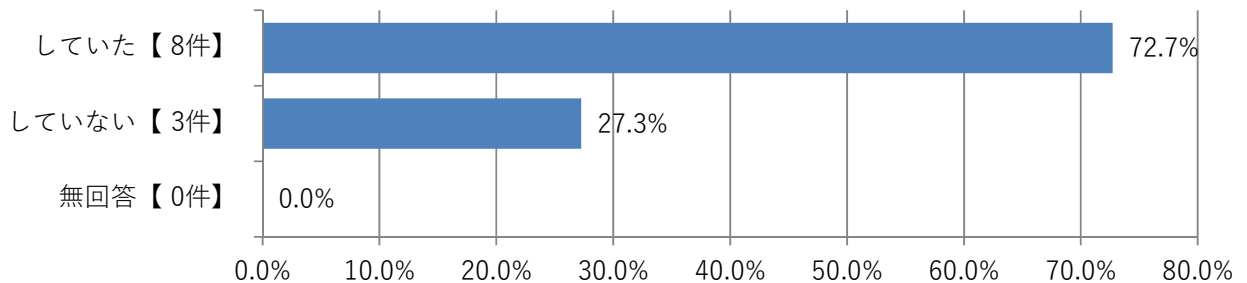
図表 9-5-2 (N=11)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が72.7%、「仕事をしていない」が27.3%となっている。

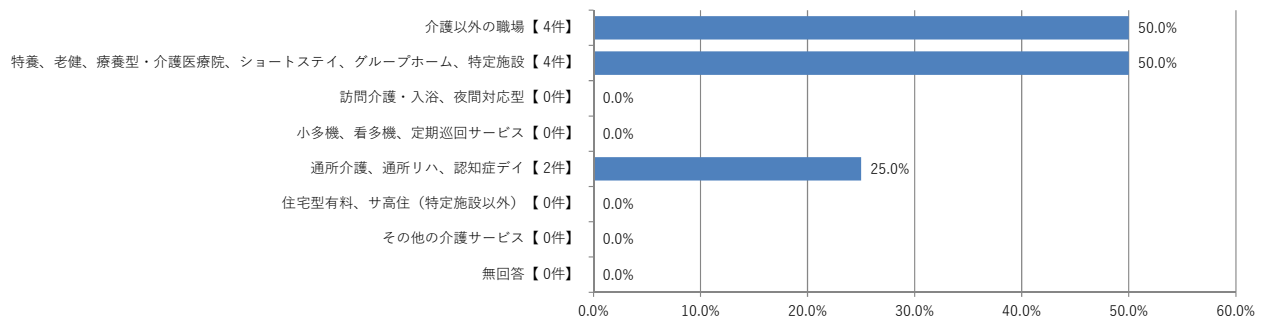
図表 9-5-3 (N=11)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」と「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が50.0%と最も多く、次いで、「通所介護、通所リハ、認知症デイ」が25.0%となっている。

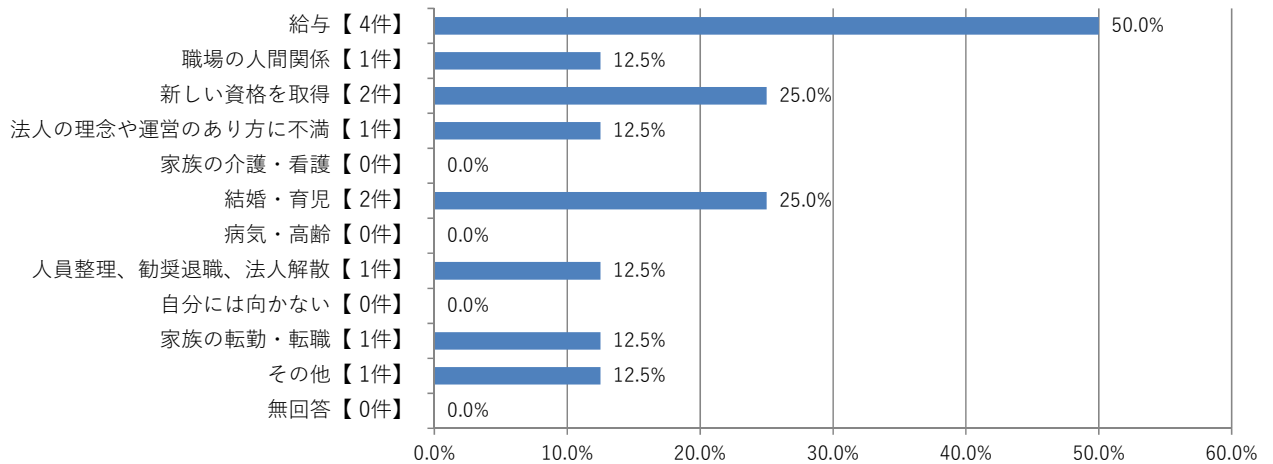
図表 9-5-4 (N=8)



問5（5）（4）の仕事辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「給与」が50.0%と最も多く、次いで、「新しい資格を取得」、「結婚・育児」が25.0%となっている。

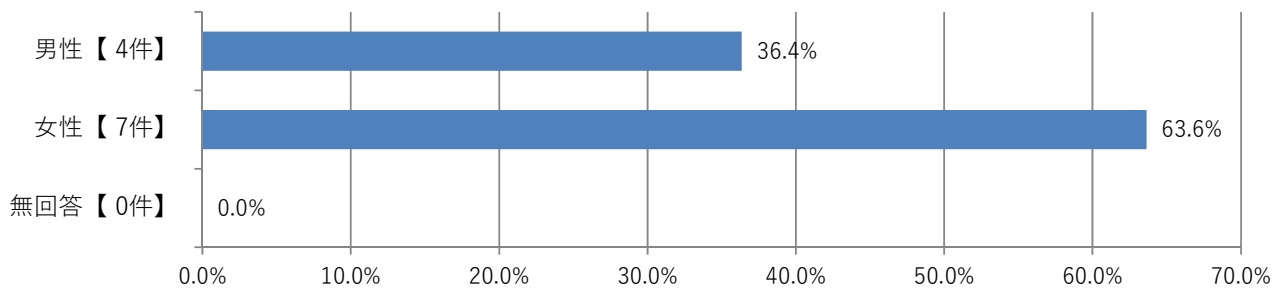
図表 9-5-5 (N=8)



問5（6）性別

性別は、「男性」が36.4%、「女性」が63.6%となっている。

図表 9-5-6 (N=11)



問5（7）年齢

平均年齢は、39.5歳となっている。

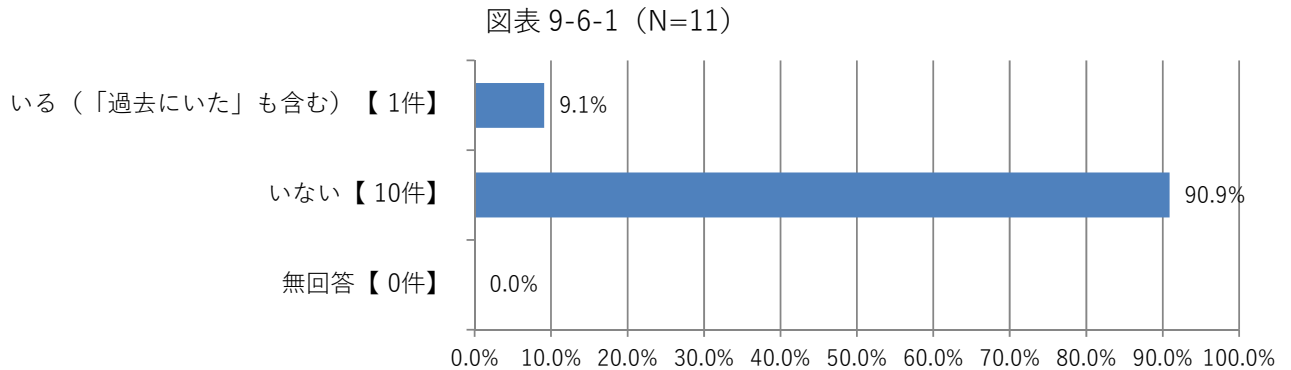
図表 9-5-7 (N=11)

	対象者数	平均年齢（歳）
短期入所療養介護	11	39.5

問6 外国人介護職員について

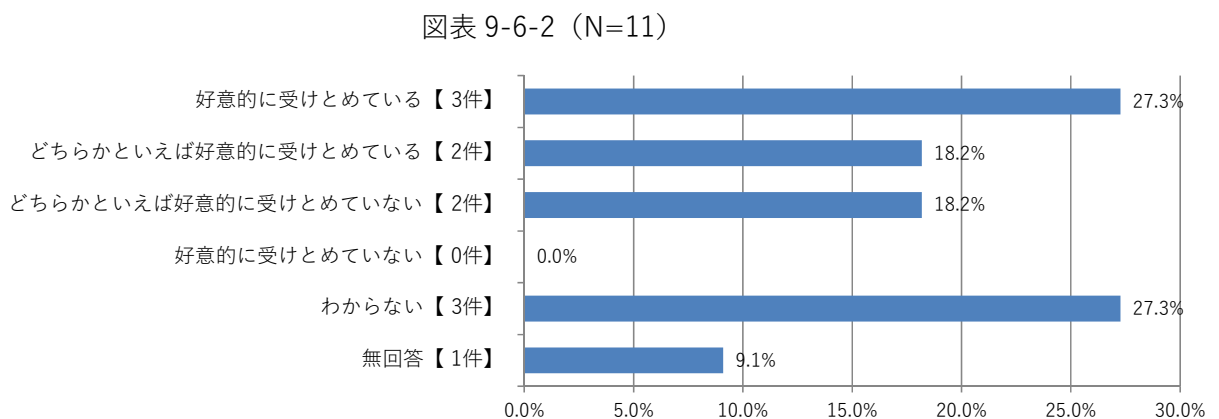
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が90.9%、「いる（過去にいた）」が9.1%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「好意的に受けとめている」と「わからない」が27.3%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」、「どちらかといえば好意的に受けとめていない」が18.2%となっている。

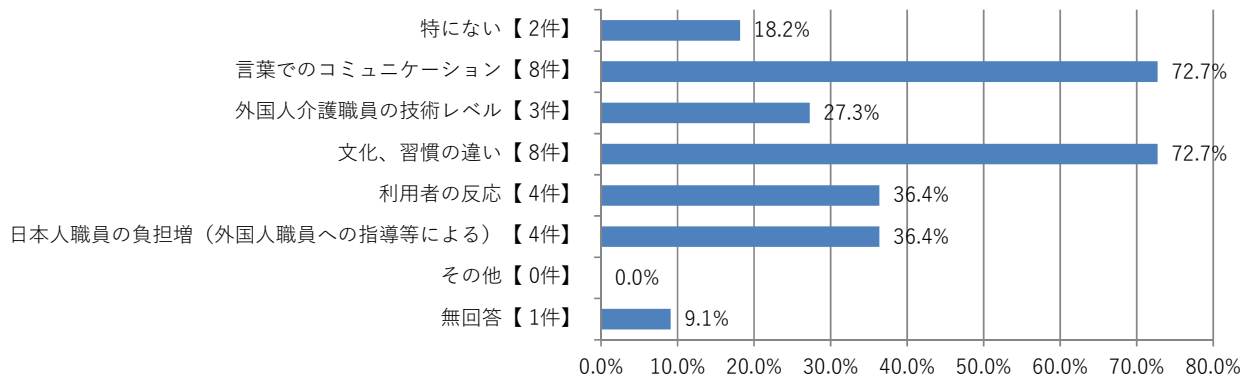


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」と「文化、習慣の違い」が72.7%と最も多く、次いで、「利用者の反応」、「日本人職員の負担増」が36.4%となっている。

図表 9-6-3 (N=11)

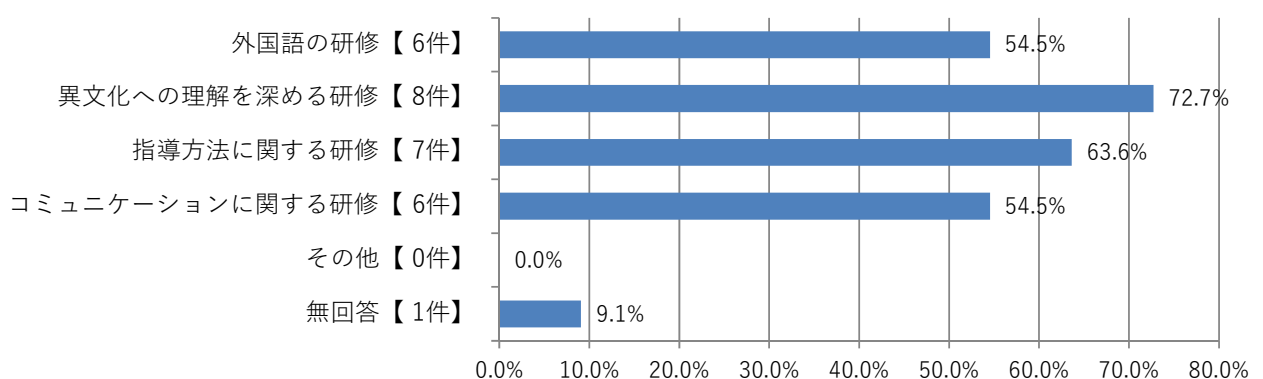


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「異文化への理解を深める研修」が72.7%と最も多く、次いで、「指導方法に関する研修」が63.6%、「外国語の研修」、「コミュニケーションに関する研修」が54.5%となっている。

図表 9-6-4 (N=11)



⑩特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護

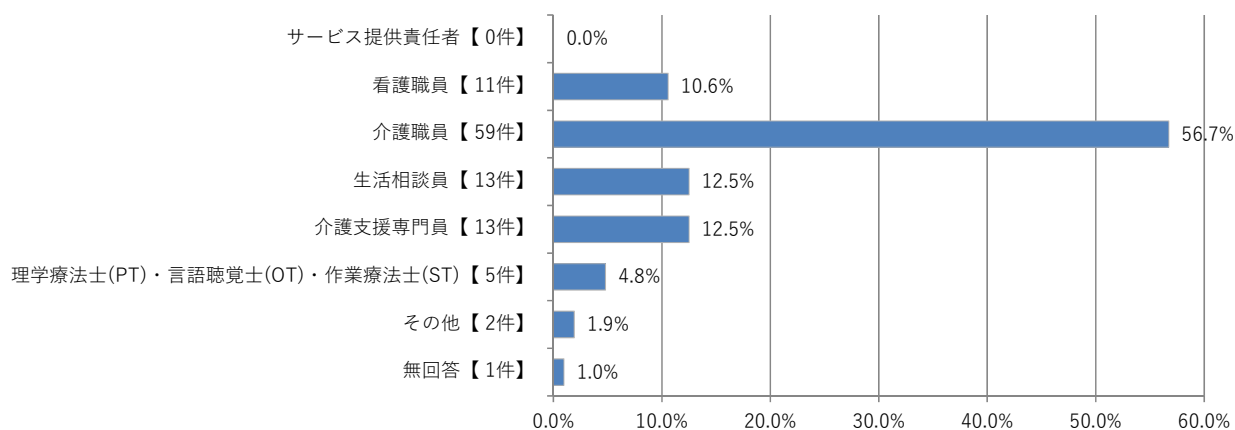
回答者数 104

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が56.7%と最も多く、次いで、「生活相談員」、「介護支援専門員」が12.5%、「看護職員」が10.6%となっている。

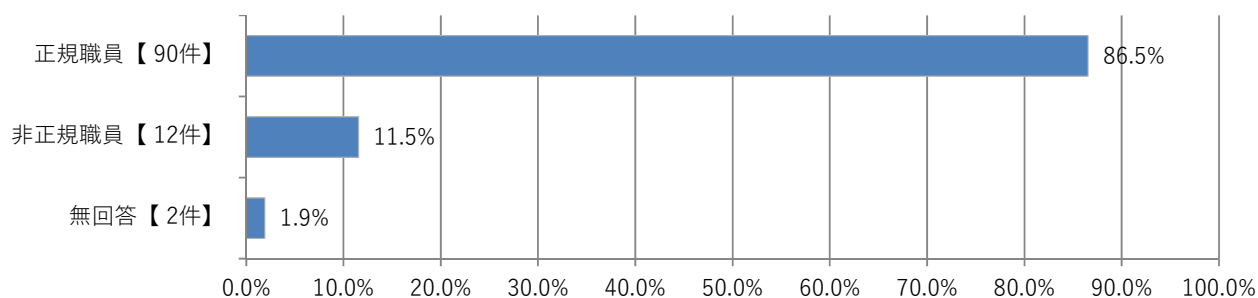
図表 10-1-1 (N=104)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が86.5%、「非正規職員」が11.5%となっている。

図表 10-1-2 (N=104)

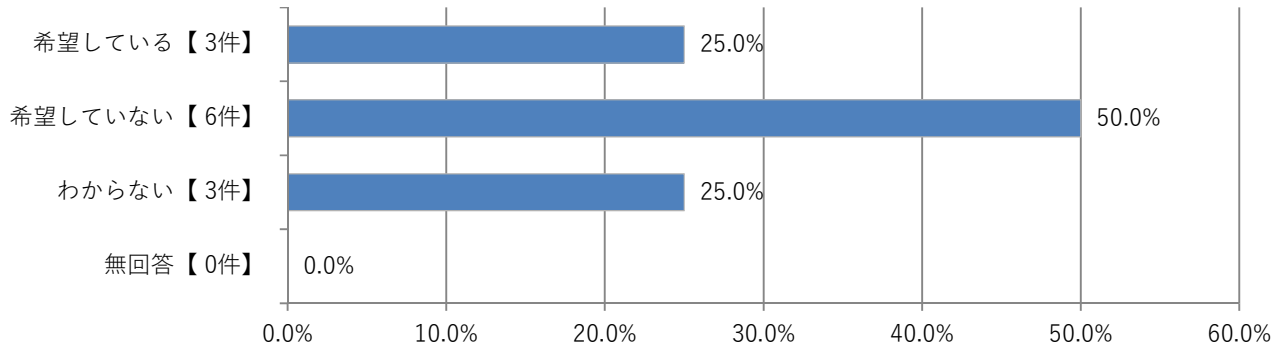


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が50.0%、「希望している」と「わからない」が25.0%となっている。

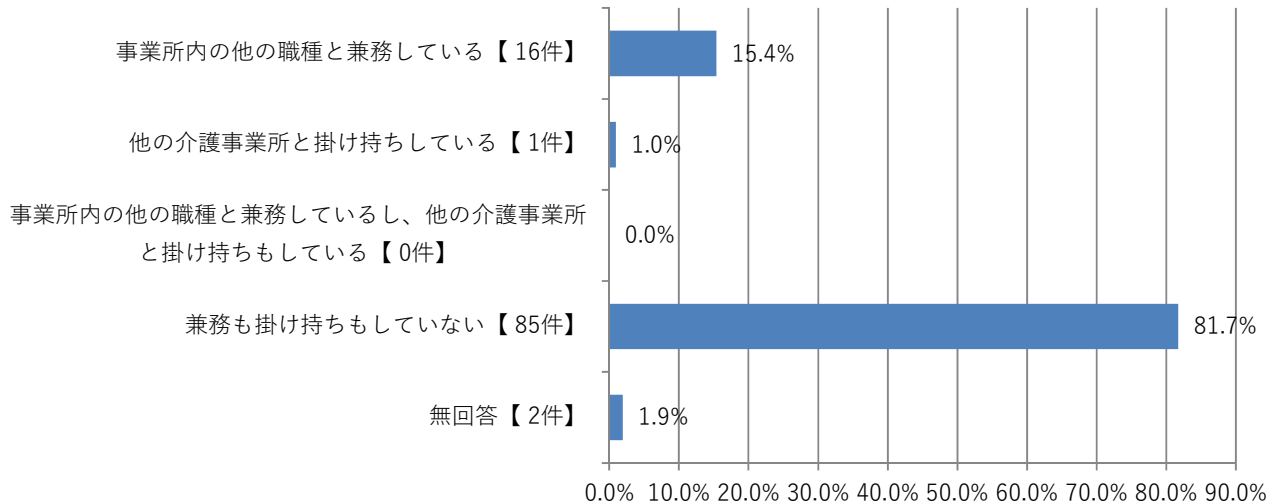
図表 10-1-3 (N=12)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が81.7%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が15.4%となっている。

図表 10-1-4 (N=104)



【⑩特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護】

問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が12.3年となっており、「正規職員」が12.1年、「非正規職員」が12.0年となっている。

図表 10-1-5 (N=104)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	12.3	12.1	12.0	25.5

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が6.7年、「正規職員」が6.7年、「非正規職員」が7.4年となっている。

図表 10-1-6 (N=104)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	6.7	6.7	7.4	3.1

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が5.0日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が4.9日となっている。

職種別では、「看護職員」と「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が5.2日と最も多くなっている。

図表 10-2-1 (N=104)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	5.0	5.0	4.9	4.0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	11	5.2	5.2	-	-
介護職員	59	4.9	5.0	4.9	3.0
生活相談員	13	5.1	5.1	5.0	-
介護支援専門員	13	4.9	5.0	4.0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	5	5.2	5.1	5.5	-
その他	2	5.0	5.0	5.0	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が39.6時間、「正規職員」が40.0時間、「非正規職員」が39.4時間となっている。

職種別では「その他」が45.0時間、「看護職員」が42.2時間となっている。

図表 10-2-2 (N=104)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	39.6	40.0	39.4	26.0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	11	42.2	42.2	-	-
介護職員	59	39.0	39.2	39.7	22.0
生活相談員	13	38.7	38.7	39.0	-
介護支援専門員	13	41.3	41.8	35.0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	5	39.8	39.6	40.5	-
その他	2	45.0	50.0	40.0	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.3時間、「正規職員」が2.5時間、「非正規職員」が1.4時間となっている。

職種別では、「その他」が5.0時間、「介護支援専門員」が3.0時間となっている。

図表 10-2-3 (N=104)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	2.3	2.5	1.4	0.0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	11	2.3	2.3	-	-
介護職員	59	2.5	2.6	1.8	-
生活相談員	13	1.3	1.4	0.5	-
介護支援専門員	13	3.0	3.2	1.0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	5	1.1	0.8	2.0	-
その他	2	5.0	10.0	0.0	-

【⑩特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護】

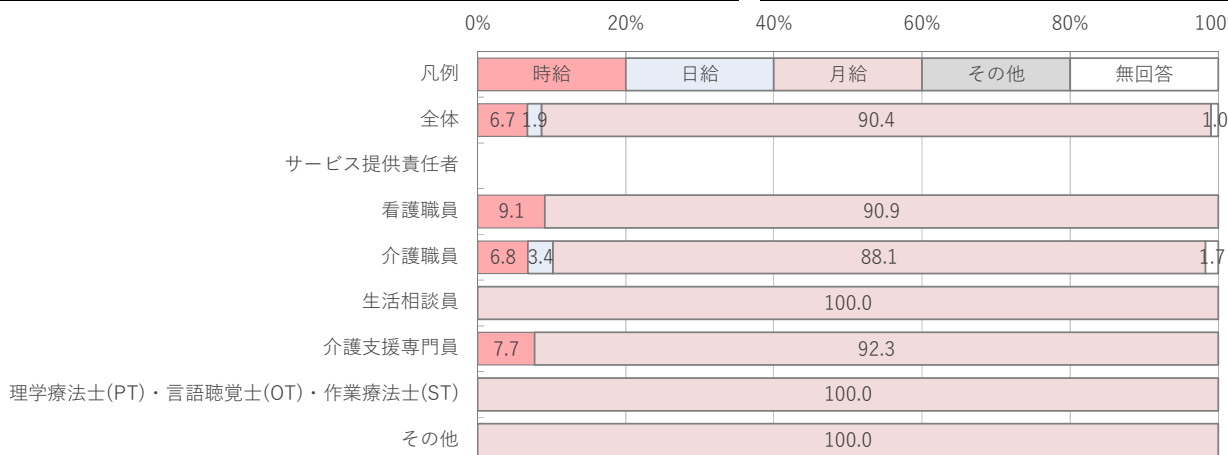
問2（４）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が90.4%、「時給」が6.7%、「日給」が1.9%となっている。

時給の平均は、1,187円、日給の平均は6,475円となっている。

図表 10-2-4 (N=104)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円/時間)	日給 (円/日)
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	7	2	94	0	1	1,187	6,475
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	11	1	0	10	0	0	2,000	-
介護職員	59	4	2	52	0	1	949	6,475
生活相談員	13	0	0	13	0	0	-	-
介護支援専門員	13	1	0	12	0	0	1,310	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	5	0	0	5	0	0	-	-
その他	2	0	0	2	0	0	-	-



【⑩特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護】

問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が215,032円、「時給」が141,029円、「日給」が112,500円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護職員」が207,624円となっている。

図表 10-2-5 (N=104)

	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	7	141,029	119	2	112,500	22	94	215,032	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	1	260,000	130	0	-	-	10	223,100	0	-
介護職員	4	111,800	118	2	112,500	21	52	207,624	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	13	202,962	0	-
介護支援専門員	1	150,000	115	0	-	-	12	247,624	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	5	237,700	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	2	195,000	0	-

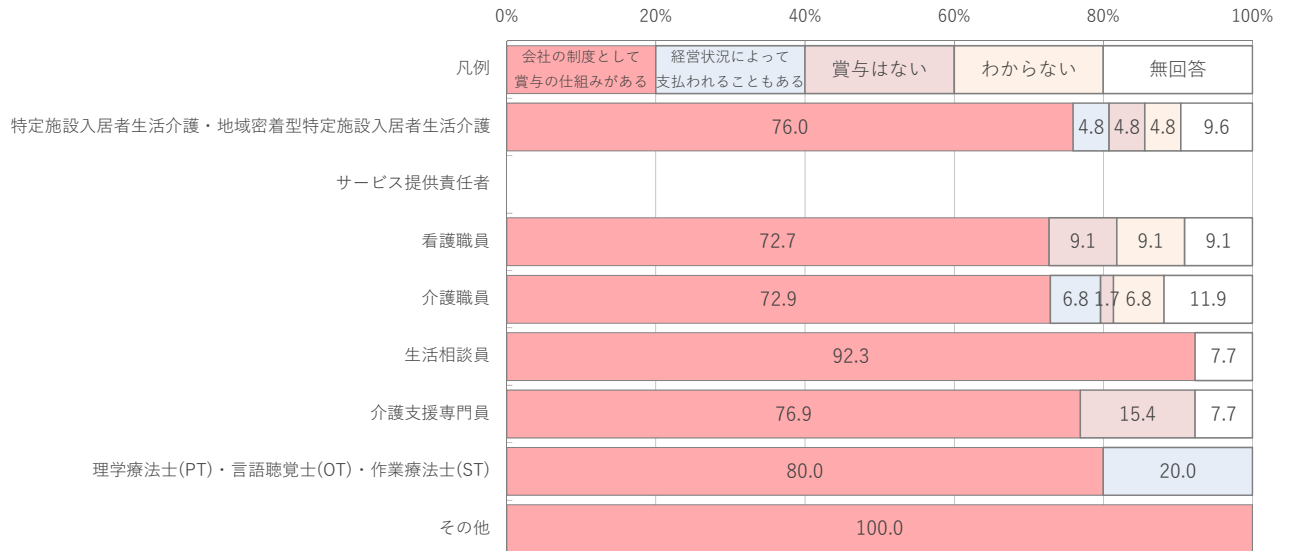
【⑩特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護】

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が76.0%となっている。

図表 10-2-6 (N=104)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社が賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	79	5	5	5	10	100.0	76.0	4.8	4.8	4.8	9.6
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	11	8	0	1	1	1	100.0	72.7	0.0	9.1	9.1	9.1
介護職員	59	43	4	1	4	7	100.0	72.9	6.8	1.7	6.8	11.9
生活相談員	13	12	0	0	0	1	100.0	92.3	0.0	0.0	0.0	7.7
介護支援専門員	13	10	0	2	0	1	100.0	76.9	0.0	15.4	0.0	7.7
理学療法士(P.T)・言語聴覚士(O.T)・作業療法士(S.T)	5	4	1	0	0	0	100.0	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	2	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



【⑩特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護】

問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 303,678 円となっている。「正規職員」の平均は 321,730 円、「非正規職員」の平均が 155,250 円となっている。

職種別にみると、「看護職員」が 387,000 円で最も高くなっている。

図表 10-2-7 (N=104)

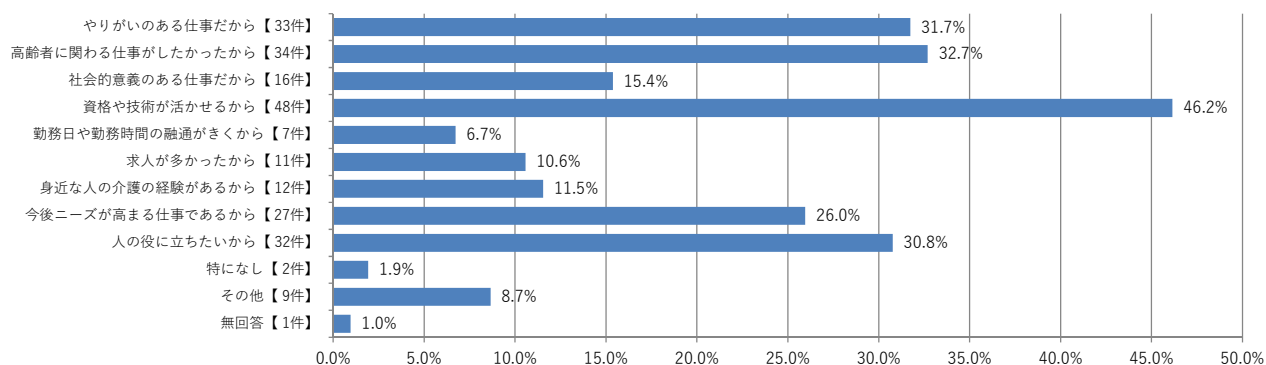
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	80.8	4.8	4.8	9.6	84	303,678	特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	84	5	5	10	84
正規職員	90	83.3	3.3	5.6	7.8	75	321,730	正規職員	90	75	3	5	7	75
非正規職員	12	75.0	8.3	0.0	16.7	9	155,250	非正規職員	12	9	1	0	2	9
無回答	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0	-	無回答	2	0	1	0	1	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	11	72.7	9.1	9.1	9.1	8	387,000	看護職員	11	8	1	1	1	8
介護職員	59	79.7	1.7	6.8	11.9	47	289,631	介護職員	59	47	1	4	7	47
生活相談員	13	92.3	0.0	0.0	7.7	12	334,073	生活相談員	13	12	0	0	1	12
介護支援専門員	13	76.9	15.4	0.0	7.7	10	298,740	介護支援専門員	13	10	2	0	1	10
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	5	100.0	0.0	0.0	0.0	5	236,000	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	5	5	0	0	0	5
その他	2	100.0	0.0	0.0	0.0	2	305,000	その他	2	2	0	0	0	2
	0	-	-	-	-	0	-		0	0	0	0	0	0

問3 仕事についての考え方

問3（１）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が46.2%と最も多く、次いで、「高齢者に関わる仕事がしたかったから」が32.7%、「やりがいのある仕事だから」が31.7%、「人の役に立ちたいから」が30.8%、「今後ニーズが高まる仕事であるから」が26.0%となっている。

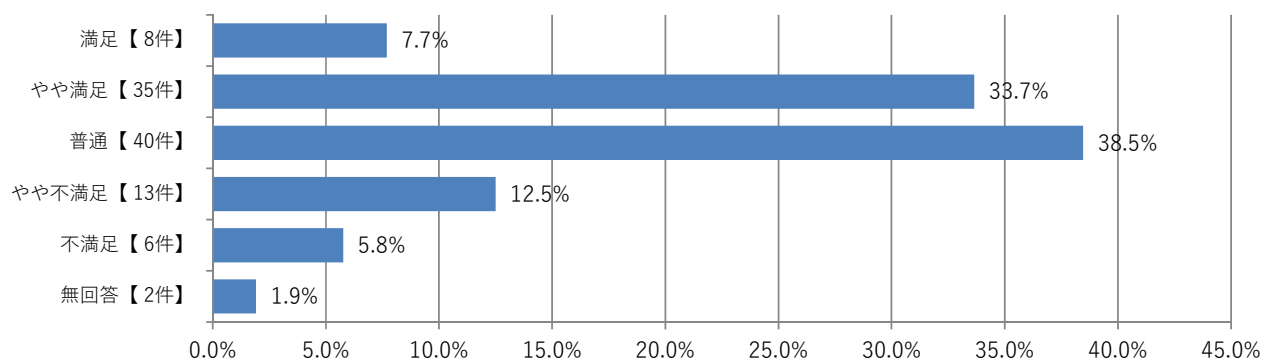
図表 10-3-1 (N=104)



問3（２）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が38.5%と最も多く、次いで、「やや満足」が33.7%、「やや不満足」が12.5%、「満足」が7.7%、「不満足」が5.8%となっている。

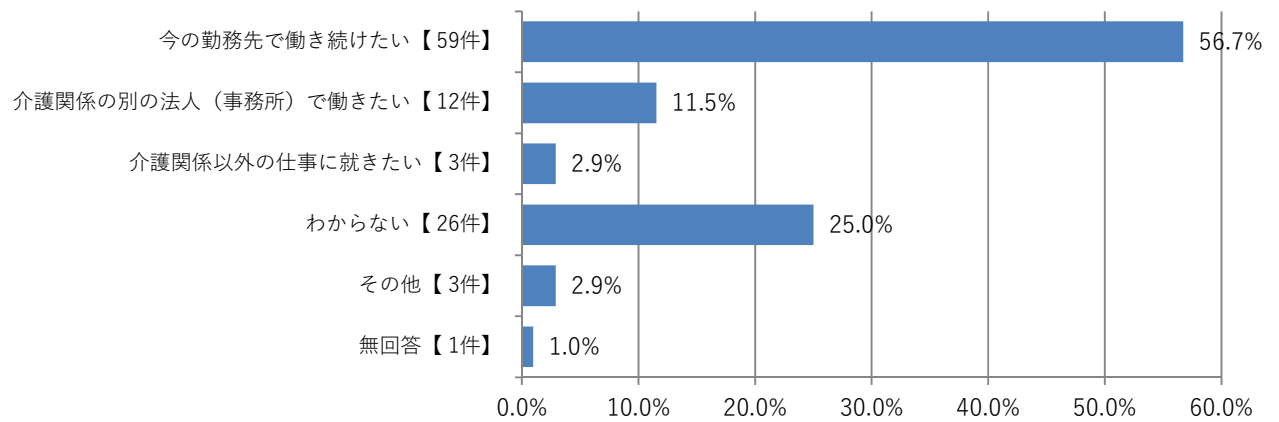
図表 10-3-2 (N=104)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働きたい」が56.7%、「わからない」が25.0%となっている。

図表 10-3-3 (N=104)

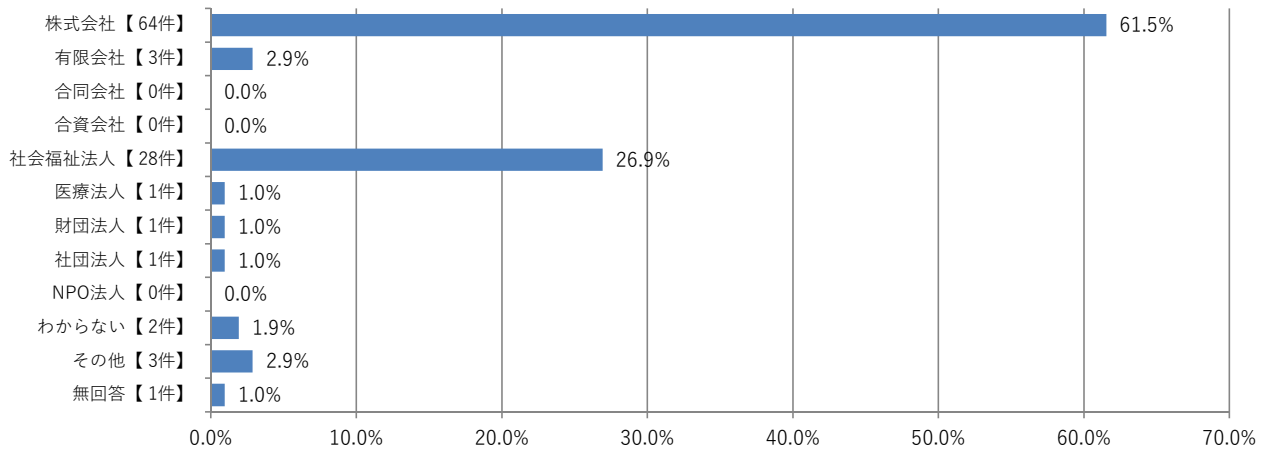


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が61.5%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が26.9%となっている。

図表 10-4-1 (N=104)

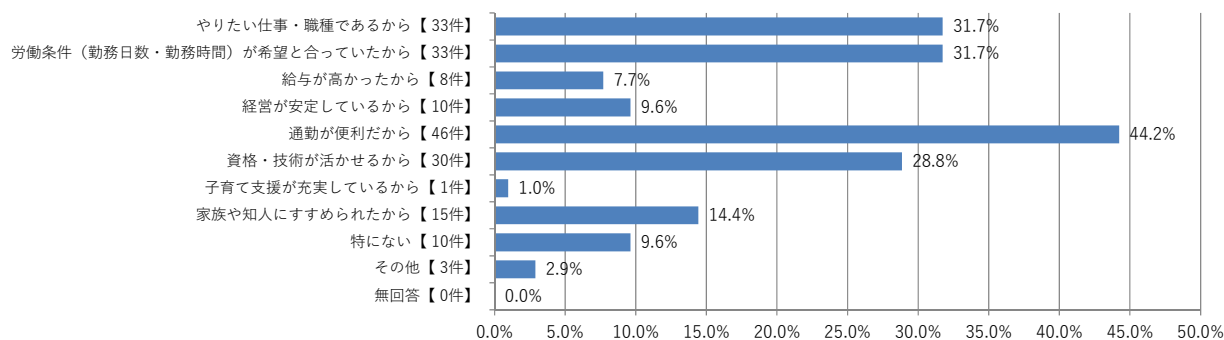


問5 あなた自身の仕事について

問5（１）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「通勤が便利だから」が 44.2%と最も多く、次いで、「やりたい仕事・職種であるから」、「労働条件が希望と合っていたから」が 31.7%、「資格・技術が活かせるから」が 28.8%となっている。

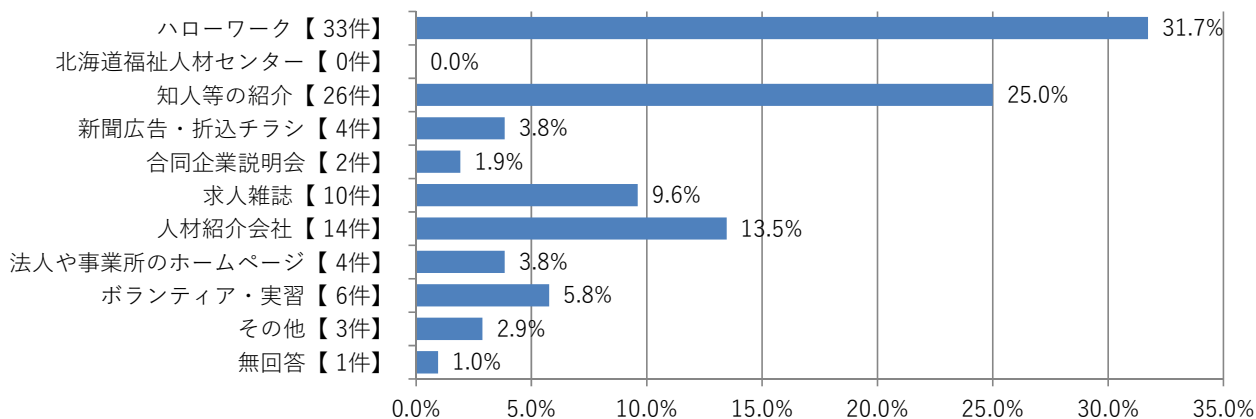
図表 10-5-1 (N=104)



問5（２）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「ハローワーク」が 31.7%と最も多く、次いで、「知人等の紹介」が 25.0%、「人材紹介会社」が 13.5%となっている。

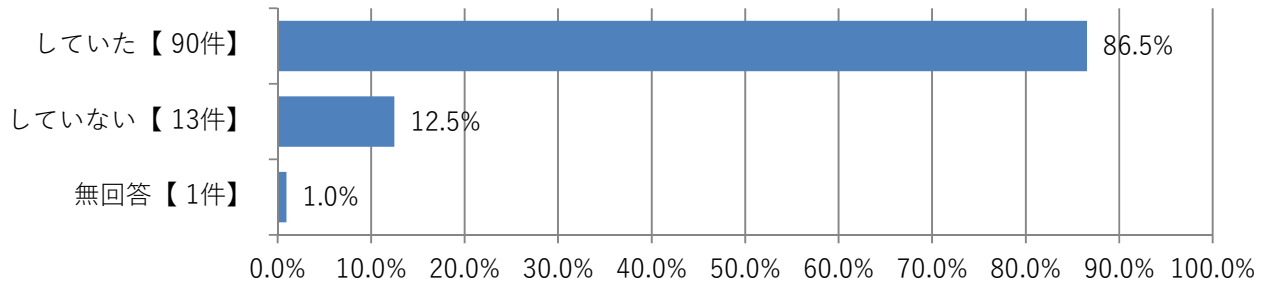
図表 10-5-2 (N=104)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が 86.5%、「仕事をしていない」が 12.5%となっている。

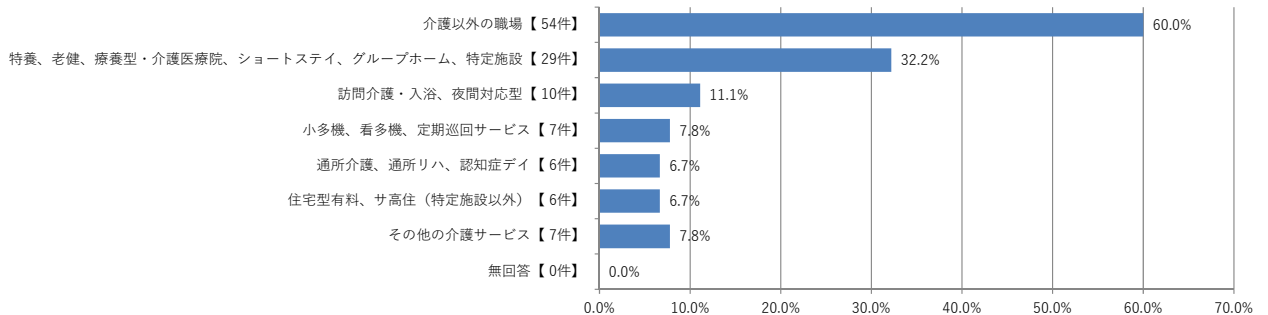
図表 10-5-3 (N=104)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が 60.0%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が 32.2%となっている。

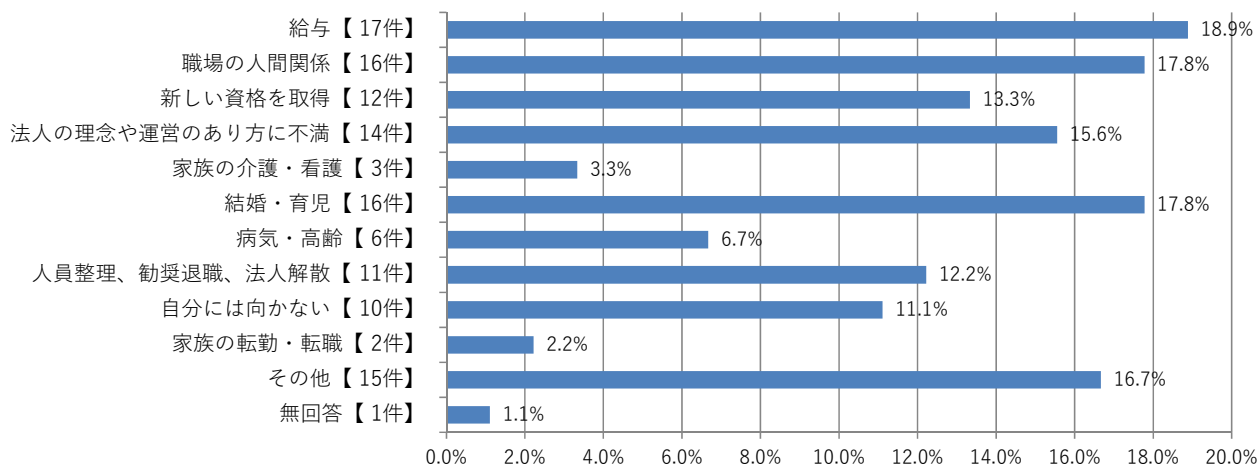
図表 10-5-4 (N=90)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「給与」が18.9%と最も多く、次いで、「職場の人間関係」、「結婚・育児」が17.8%、「その他」が16.7%、「法人の理念や運営のあり方に不満」が15.6%となっている。

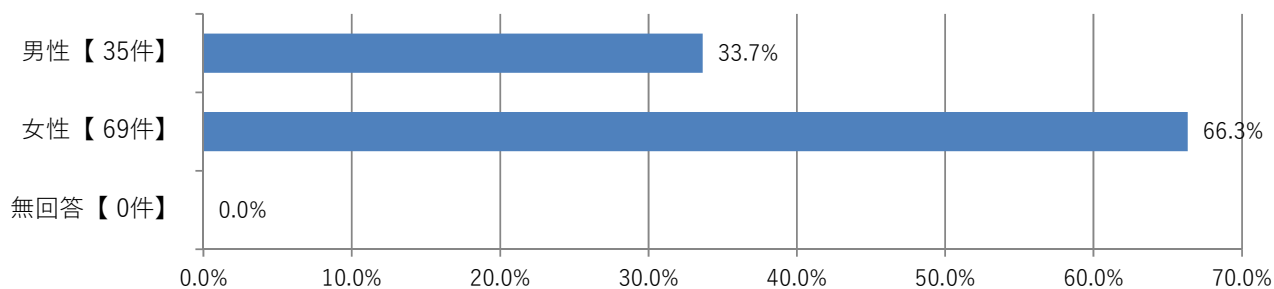
図表 10-5-5 (N=90)



問5（6）性別

性別は、「男性」が33.7%、「女性」が66.3%となっている。

図表 10-5-6 (N=104)



問5（7）年齢

平均年齢は、46.3歳となっている。

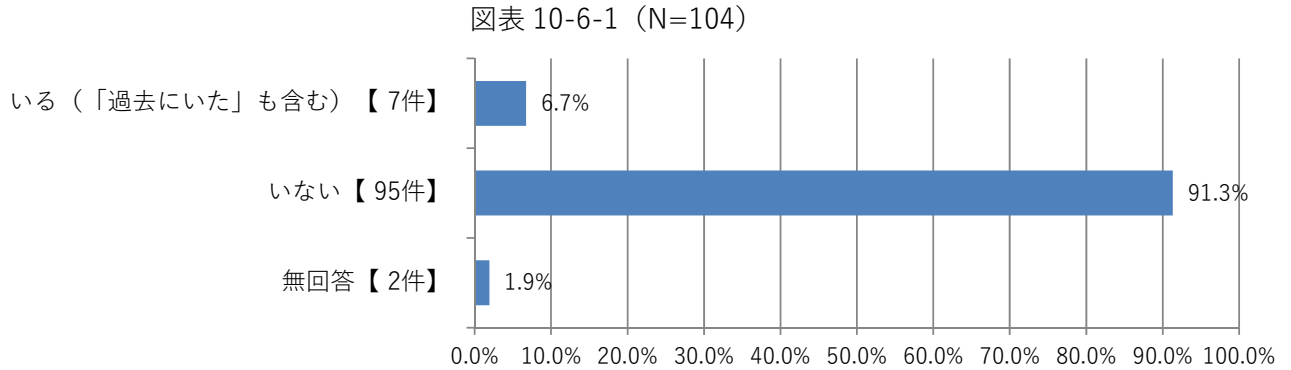
図表 10-5-7 (N=104)

	対象者数	平均年齢（歳）
特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護	104	46.3

問6 外国人介護職員について

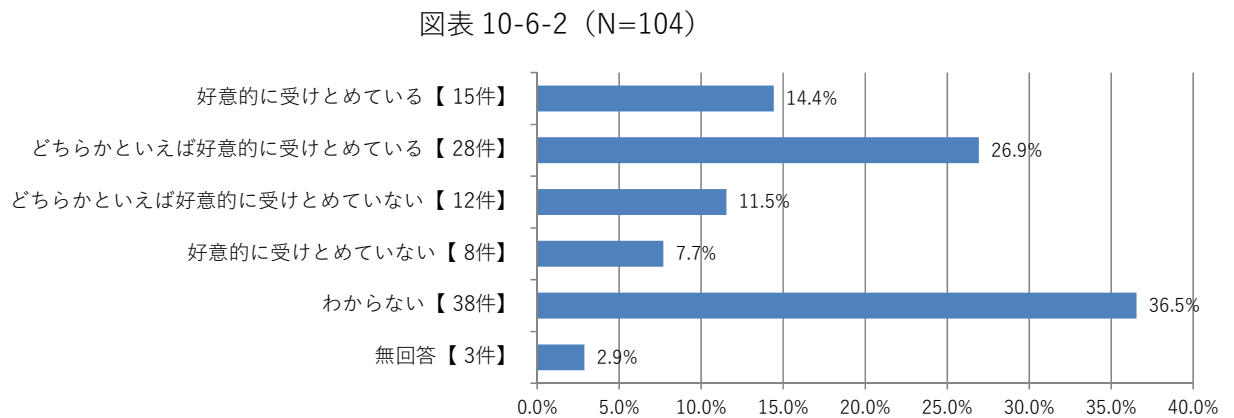
問6（１）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が91.3%、「いる（過去にいた）」が6.7%となっている。



問6（２）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が36.5%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が26.9%、「好意的に受けとめている」が14.4%となっている。

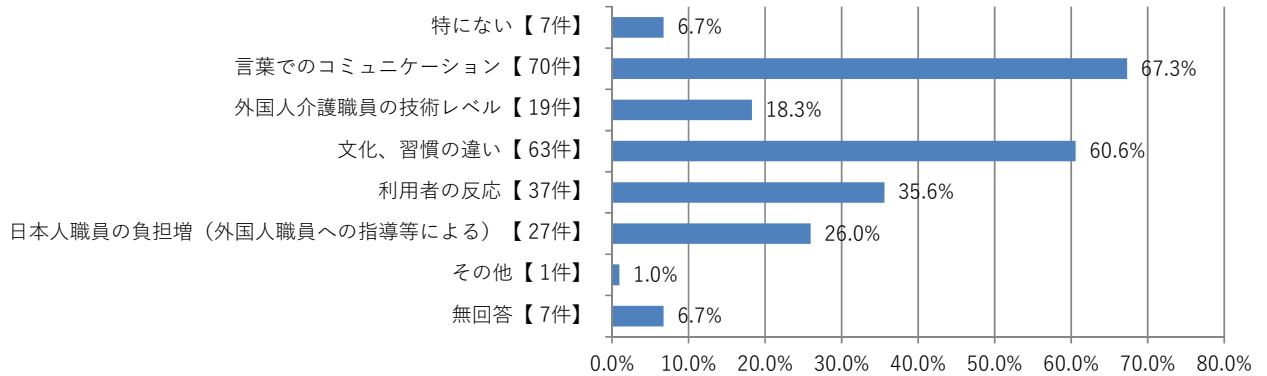


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が67.3%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が60.6%、「利用者の反応」が35.6%、「日本人職員の負担増」が26.0%となっている。

図表 10-6-3 (N=104)

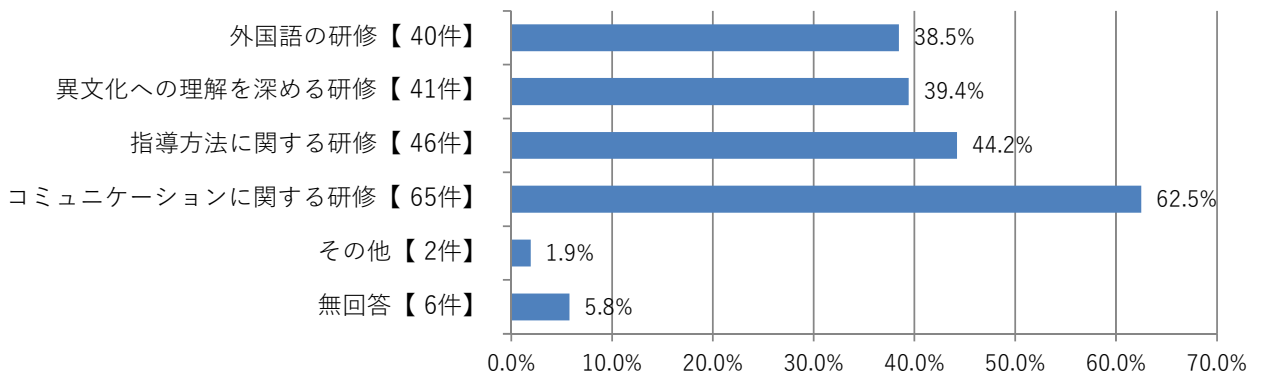


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が62.5%と最も多く、次いで、「指導方法に関する研修」が44.2%、「異文化への理解を深める研修」が39.4%、「外国語の研修」が38.5%となっている。

図表 10-6-4 (N=104)



⑪福祉用具貸与

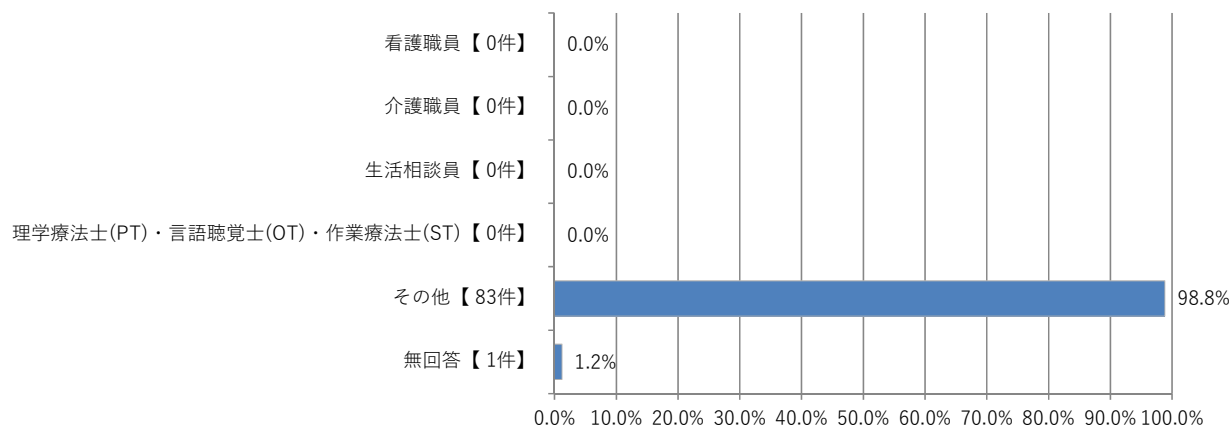
回答者数 84

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「その他」が98.8%と最も多くなっている。

図表 11-1-1 (N=84)

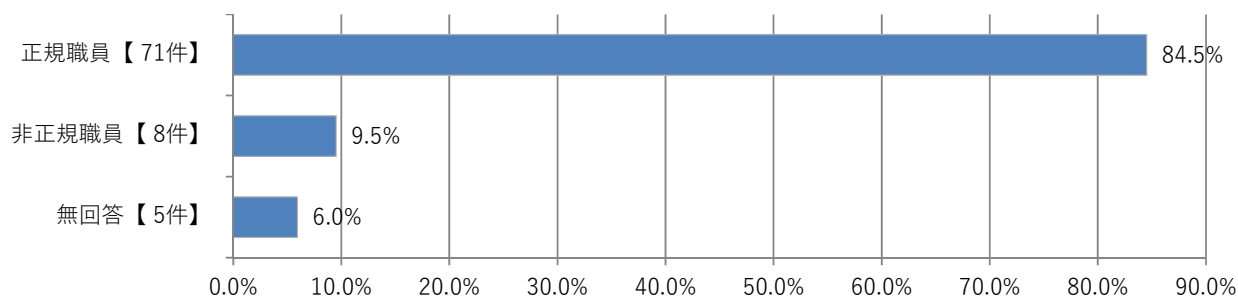


その他の内容
福祉用具貸与
福祉用具貸与
福祉用具業者
福祉用具専門相談員

問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が84.5%、「非正規職員」が9.5%となっている。

図表 11-1-2 (N=84)

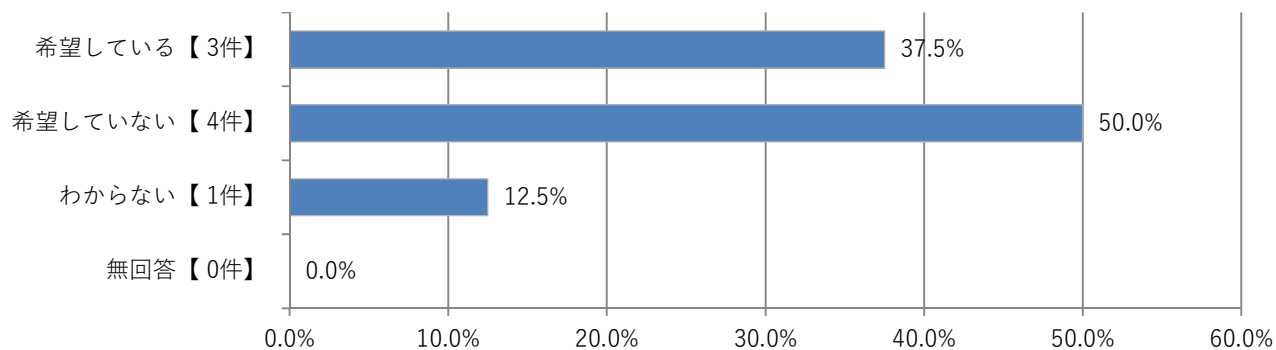


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が50.0%、「希望している」が37.5%となっている。

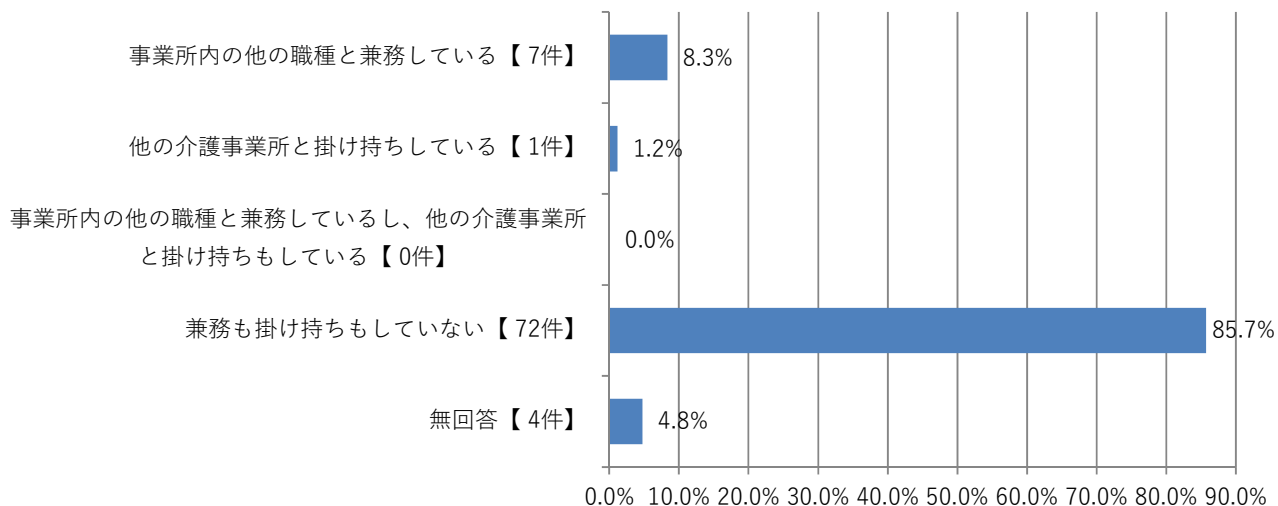
図表 11-1-3 (N=8)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が85.7%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が8.3%となっている。

図表 11-1-4 (N=84)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が8.2年となっており、「正規職員」が8.0年、「非正規職員」が10.8年となっている。

図表 11-1-5 (N=84)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
福祉用具貸与	84	8.2	8.0	10.8	5.7

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が6.6年、「正規職員」が7.0年、「非正規職員」が3.6年となっている。

図表 11-1-6 (N=84)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
福祉用具貸与	84	6.6	7.0	3.6	4.9

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が5.0日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が4.9日となっている。

職種別では、「その他」が5.0日となっている。

図表 11-2-1 (N=84)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
福祉用具貸与	84	5.0	5.0	4.9	5.0
看護職員	0	-	-	-	-
介護職員	0	-	-	-	-
生活相談員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	83	5.0	5.0	4.9	5.1

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が42.1時間、「正規職員」が43.0時間、「非正規職員」が31.6時間となっている。

職種別では「その他」が42.0時間と最も多くなっている。

図表 11-2-2 (N=84)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
福祉用具貸与	84	42.1	43.0	31.6	46.2
看護職員	0	-	-	-	-
介護職員	0	-	-	-	-
生活相談員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	83	42.0	43.0	31.6	46.9

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が3.1時間、「正規職員」が3.0時間、「非正規職員」が4.3時間となっている。

職種別では、「その他」が3.1時間となっている。

図表 11-2-3 (N=84)

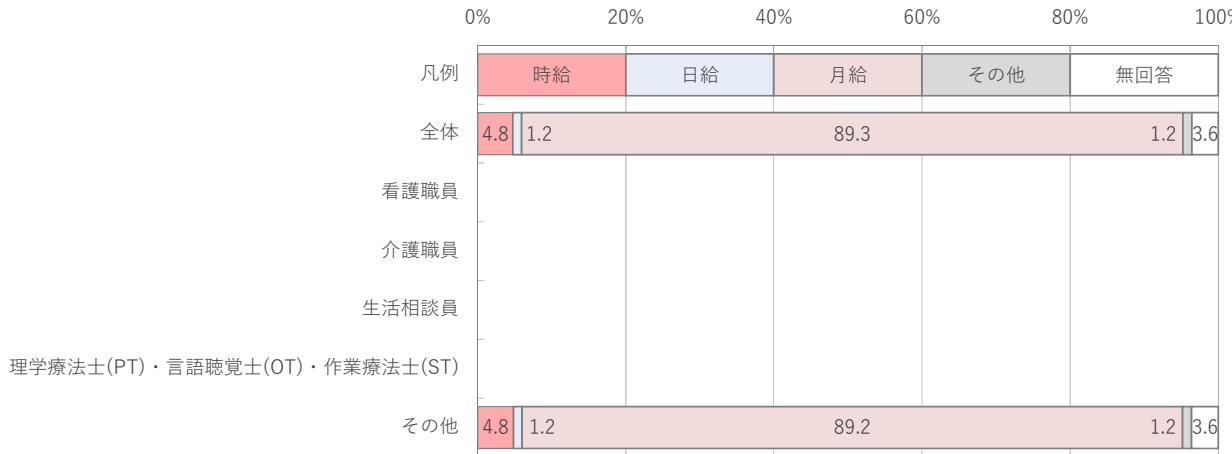
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
福祉用具貸与	84	3.1	3.0	4.3	3.3
看護職員	0	-	-	-	-
介護職員	0	-	-	-	-
生活相談員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	83	3.1	3.0	4.3	3.4

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が89.3%、「時給」が4.8%、「日給」が1.2%となっている。
時給の平均は、1,021円となっている。

図表 11-2-4 (N=84)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円/時間)	日給 (円/日)
福祉用具貸与	84	4	1	75	1	3	1,021	-
看護職員	0	0	0	0	0	0	-	-
介護職員	0	0	0	0	0	0	-	-
生活相談員	0	0	0	0	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	83	4	1	74	1	3	1,021	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が214,385円、「時給」が114,250円、「その他」が150,000円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「その他」が213,579円と最も高くなっている。

図表 11-2-5 (N=84)

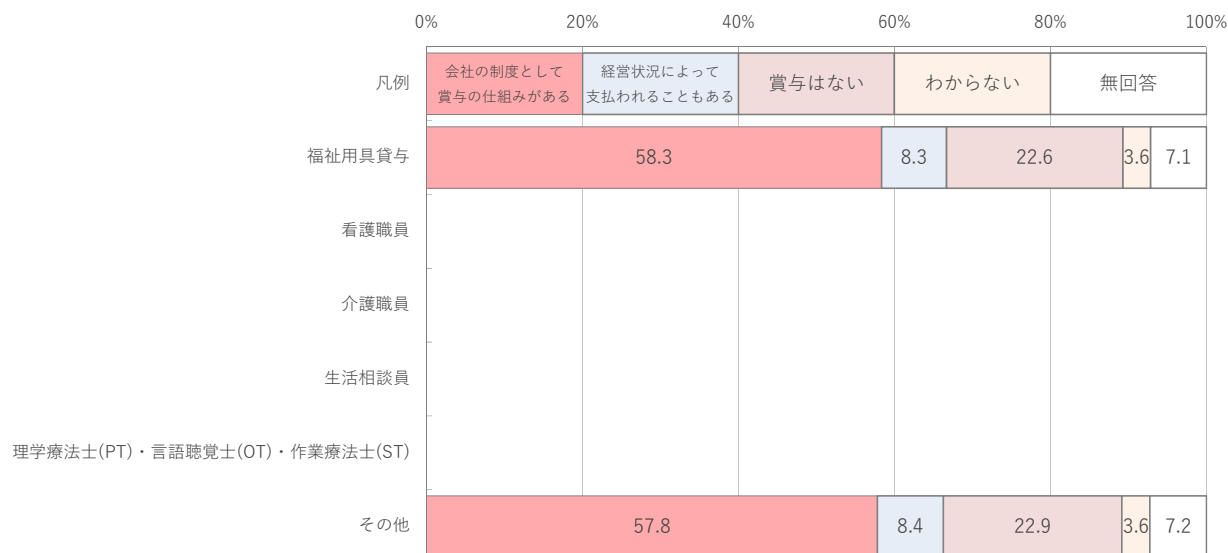
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
福祉用具貸与	4	114,250	112	1	-	22	75	214,385	1	150,000
看護職員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護職員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	4	114,250	112	1	-	22	74	213,579	1	150,000

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 58.3%、「賞与はない」が 22.6%、「経営状況によって支払われることもある」が 8.3%となっている。

図表 11-2-6 (N=84)

	(件)					(%)						
	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
福祉用具貸与	84	49	7	19	3	6	100.0	58.3	8.3	22.6	3.6	7.1
看護職員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
介護職員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
生活相談員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	83	48	7	19	3	6	100.0	57.8	8.4	22.9	3.6	7.2



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 433,545 円となっている。「正規職員」の平均は 411,125 円となっている。

職種別にみると、「その他」が 428,700 円となっている。

図表 11-2-7 (N=84)

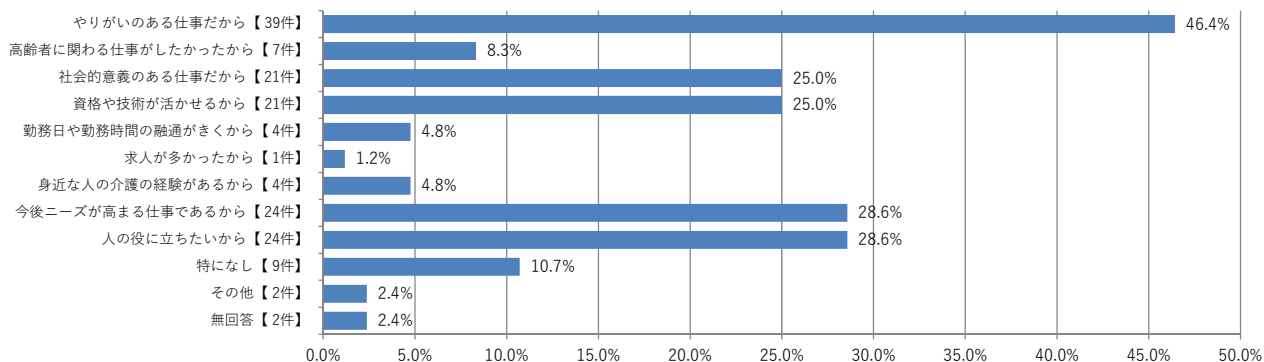
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)	(件)						
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答			対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)	
福祉用具貸与	84	66.7	22.6	3.6	7.1	56	433,545	福祉用具貸与	84	56	19	3	6	56
正規職員	71	73.2	18.3	1.4	7.0	52	411,125	正規職員	71	52	13	1	5	52
非正規職員	8	25.0	50.0	25.0	0.0	2	500,000	非正規職員	8	2	4	2	0	2
無回答	5	40.0	40.0	0.0	20.0	2	950,000	無回答	5	2	2	0	1	2
看護職員	0	-	-	-	-	0	-	看護職員	0	0	0	0	0	0
介護職員	0	-	-	-	-	0	-	介護職員	0	0	0	0	0	0
生活相談員	0	-	-	-	-	0	-	生活相談員	0	0	0	0	0	0
理学療法士 (PT)・言語聴覚士 (OT)・作業療法士 (ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士 (PT)・言語聴覚士 (OT)・作業療法士 (ST)	0	0	0	0	0	0
その他	83	66.3	22.9	3.6	7.2	55	428,700	その他	83	55	19	3	6	55

問3 仕事についての考え方

問3（１）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「やりがいのある仕事だから」が 31.7%と最も多く、次いで、「今後ニーズが高まる仕事であるから」、「人の役に立ちたいから」が 28.6%、「社会的意義のある仕事だから」、「資格や技術が活かせるから」が 25.0%となっている。

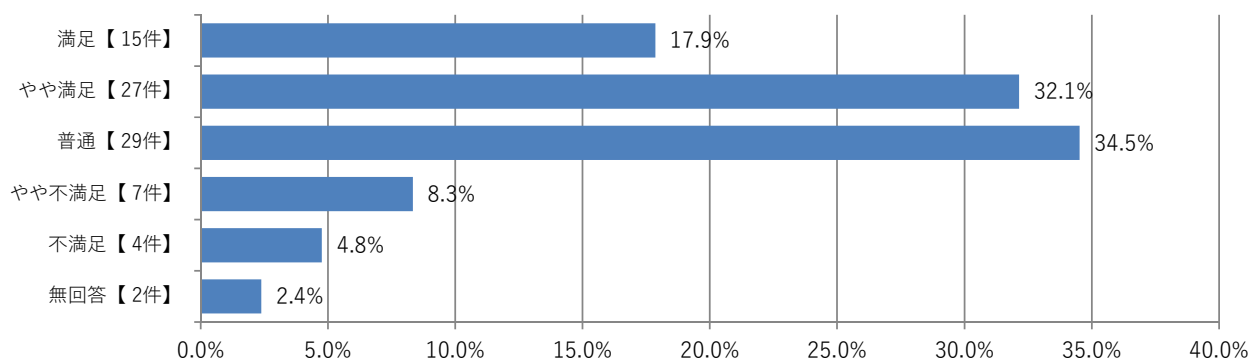
図表 11-3-1 (N=84)



問3（２）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が 34.5%と最も多く、次いで、「やや満足」が 32.1%、「満足」が 17.9%、「やや不満足」が 8.3%、「不満足」が 4.8%となっている。

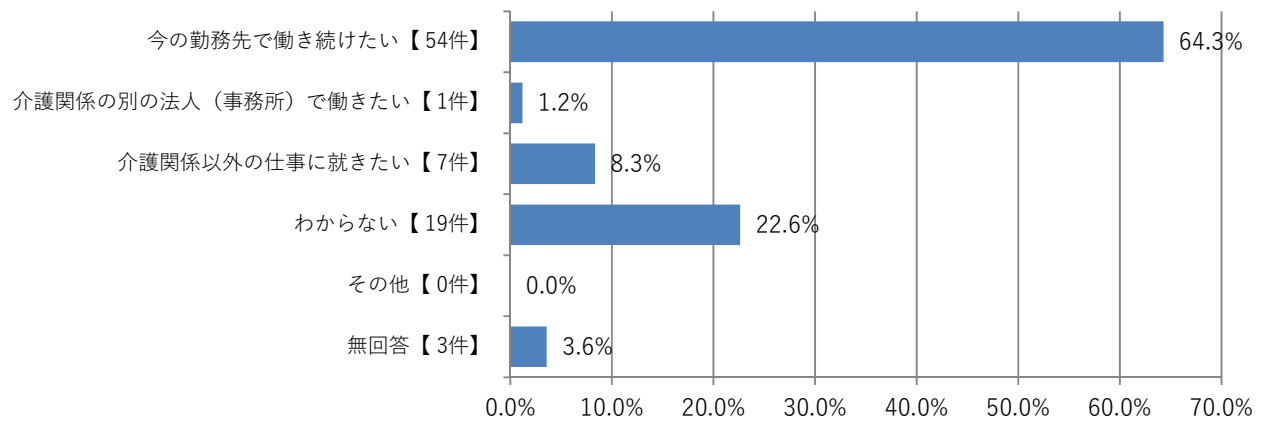
図表 11-3-2 (N=84)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が64.3%、「わからない」が22.6%となっている。

図表 11-3-3 (N=84)

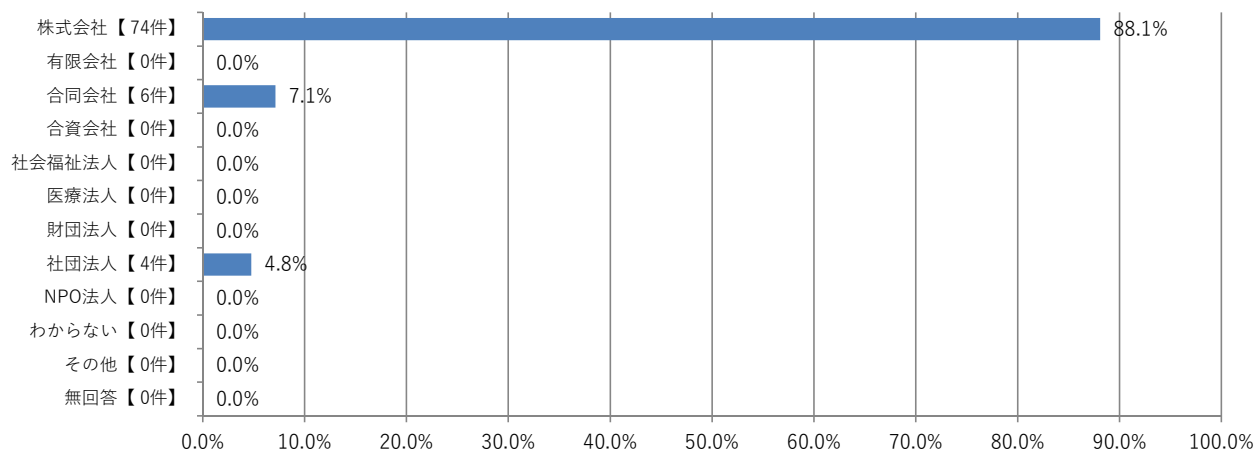


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が88.1%と最も多くなっている。

図表 11-4-1 (N=84)

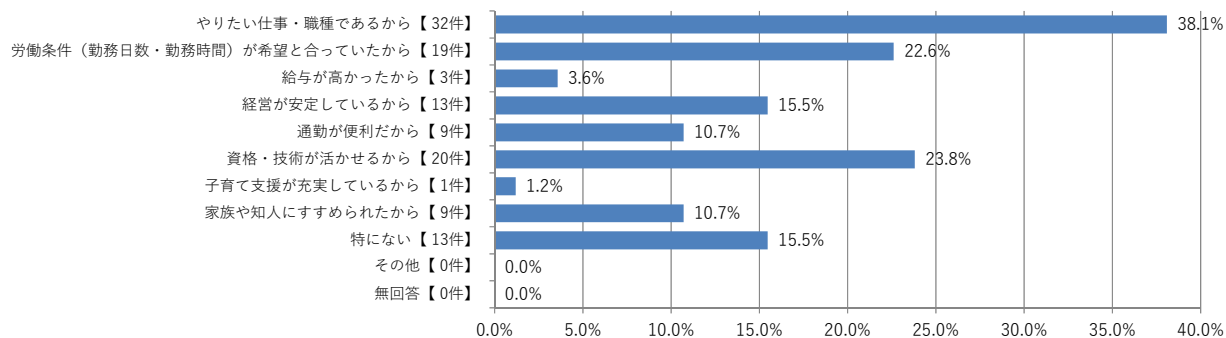


問5 あなた自身の仕事について

問5（１）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が38.1%と最も多く、次いで、「資格・技術が活かせるから」が23.8%、「労働条件が希望と合っていたから」が22.6%となっている。

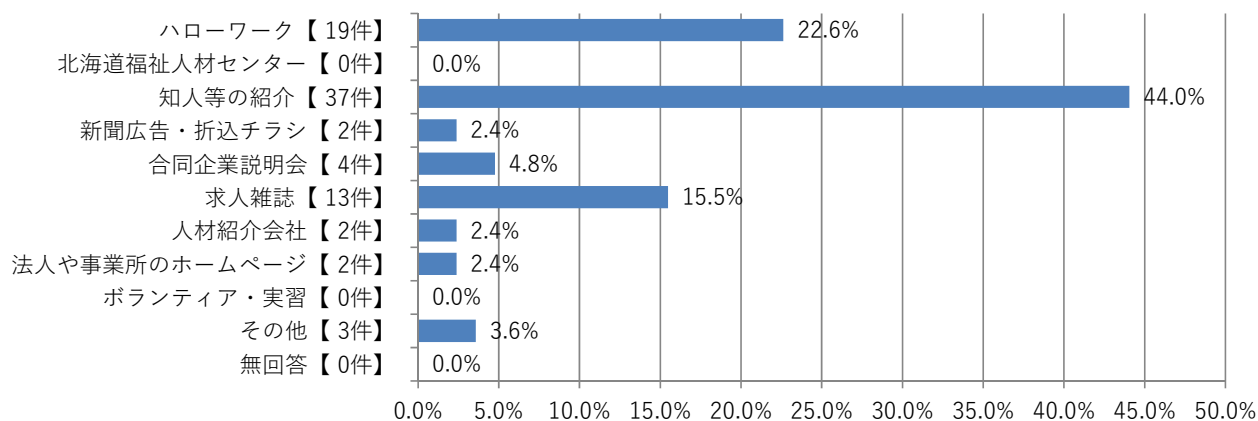
図表 11-5-1 (N=84)



問5（２）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が44.0%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が22.6%、「求人雑誌」が15.5%となっている。

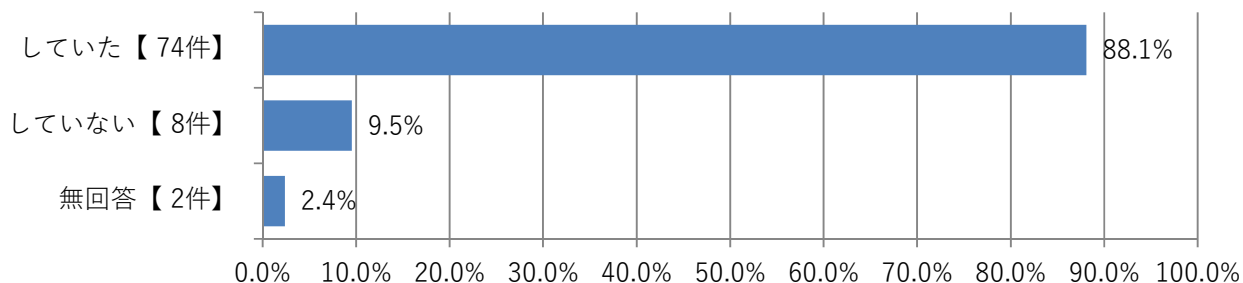
図表 11-5-2 (N=84)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしてきた」が88.1%、「仕事をしていない」が9.5%となっている。

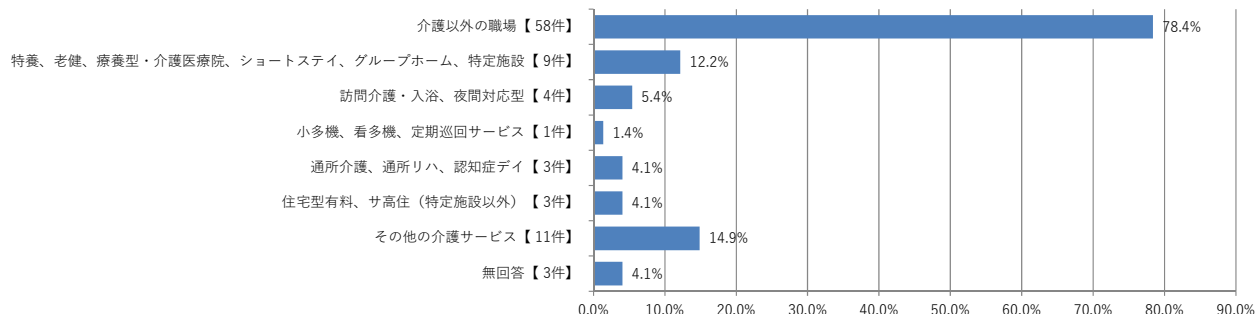
図表 11-5-3 (N=84)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が78.4%と最も多く、次いで、「その他の介護サービス」が14.9%となっている。

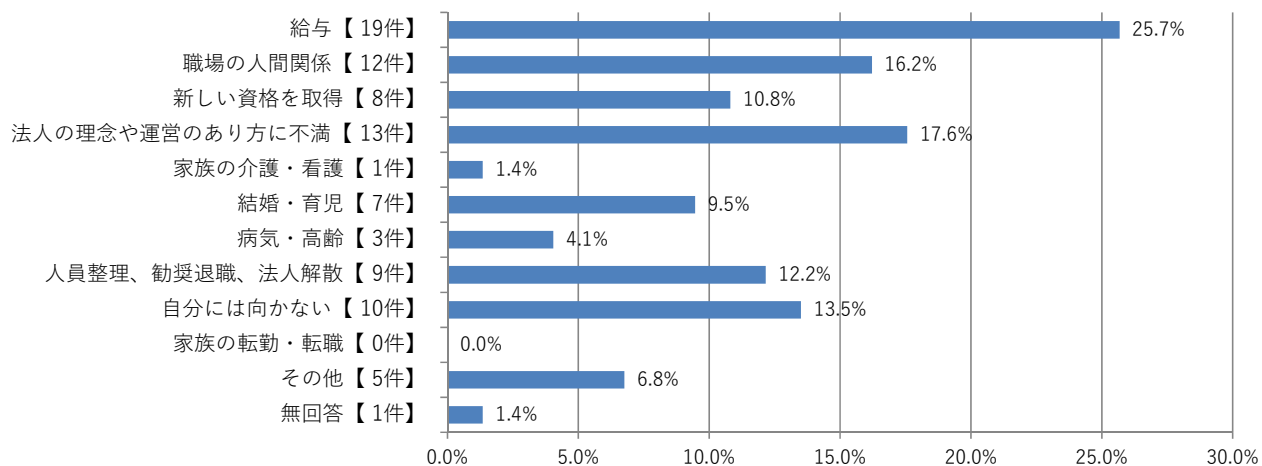
図表 11-5-4 (N=74)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「給与」が25.7%と最も多く、次いで、「法人の理念や運営のあり方に不満」が17.6%、「職場の人間関係」が16.2%、「自分には向かない」が13.5%となっている。

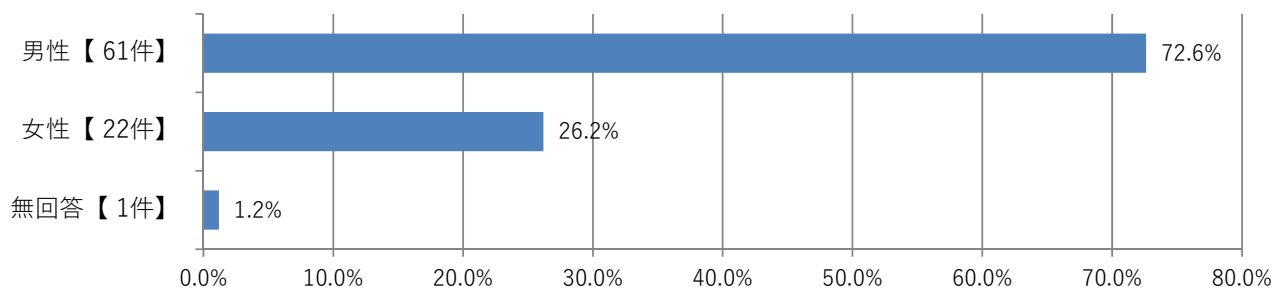
図表 11-5-5 (N=74)



問5（6）性別

性別は、「男性」が72.6%、「女性」が26.2%となっている。

図表 11-5-6 (N=84)



問5（7）年齢

平均年齢は、39.4歳となっている。

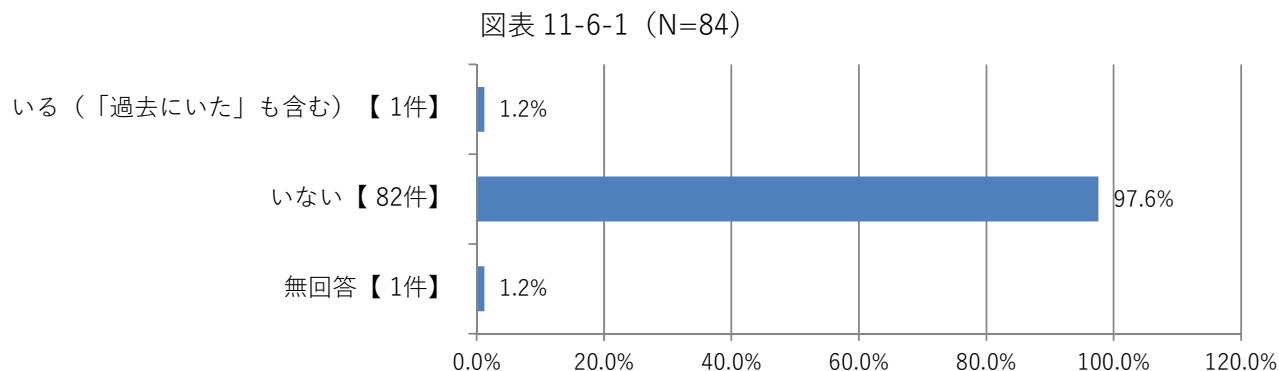
図表 11-5-7 (N=84)

	対象者数	平均年齢（歳）
福祉用具貸与	84	39.4

問6 外国人介護職員について

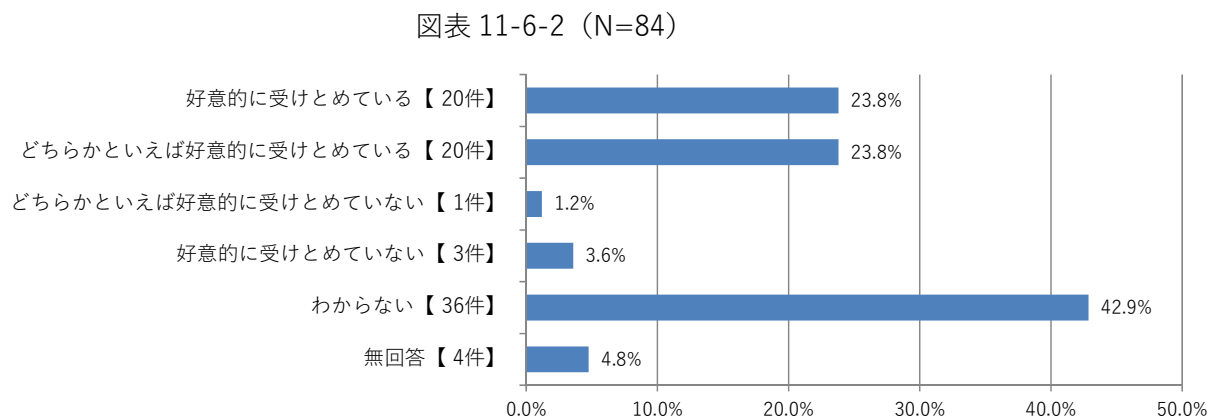
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が97.6%、「いる（過去にいた）」が1.2%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が42.9%と最も多く、次いで、「好意的に受けとめている」、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が23.8%となっている。

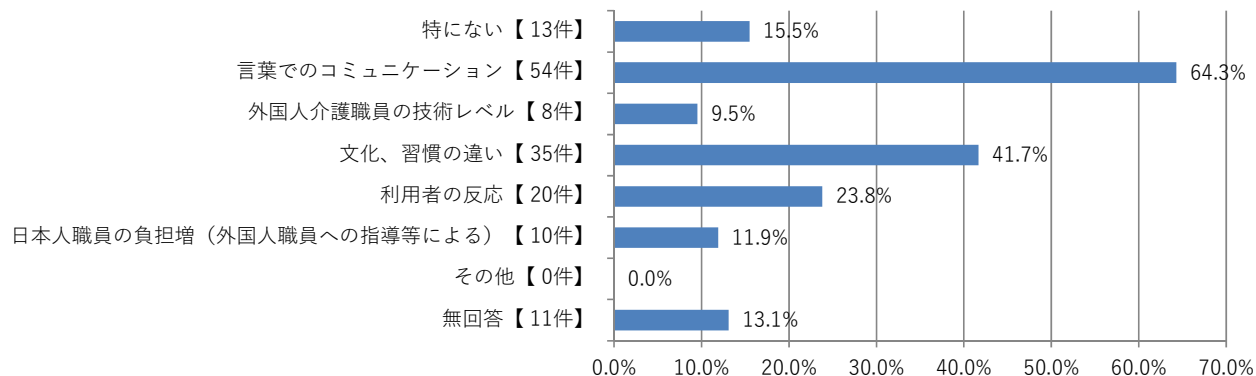


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

[複数回答可]

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が64.3%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が41.7%、「利用者の反応」が23.8%となっている。

図表 11-6-3 (N=84)

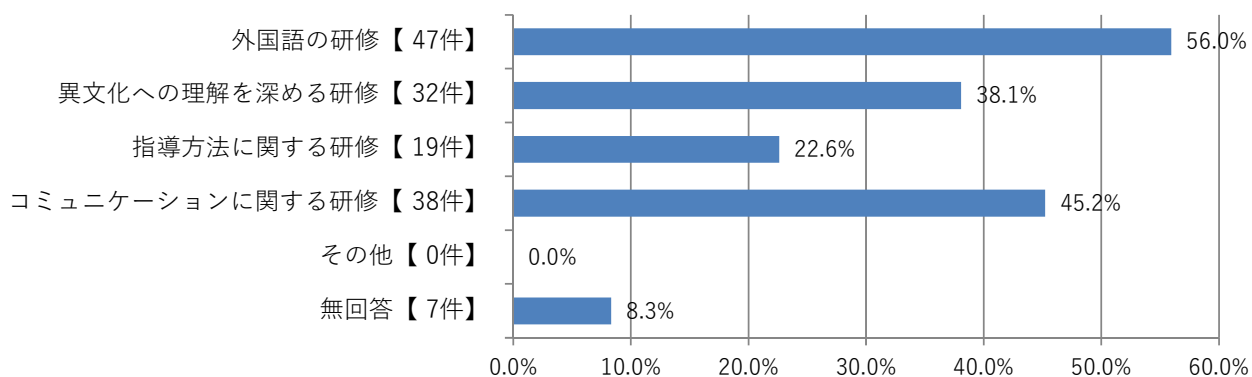


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

[複数回答可]

支援策は、「外国語の研修」が56.0%と最も多く、次いで、「コミュニケーションに関する研修」が45.2%、「異文化への理解を深める研修」が38.1%となっている。

図表 11-6-4 (N=84)



⑫定期巡回・随時対応型訪問介護看護

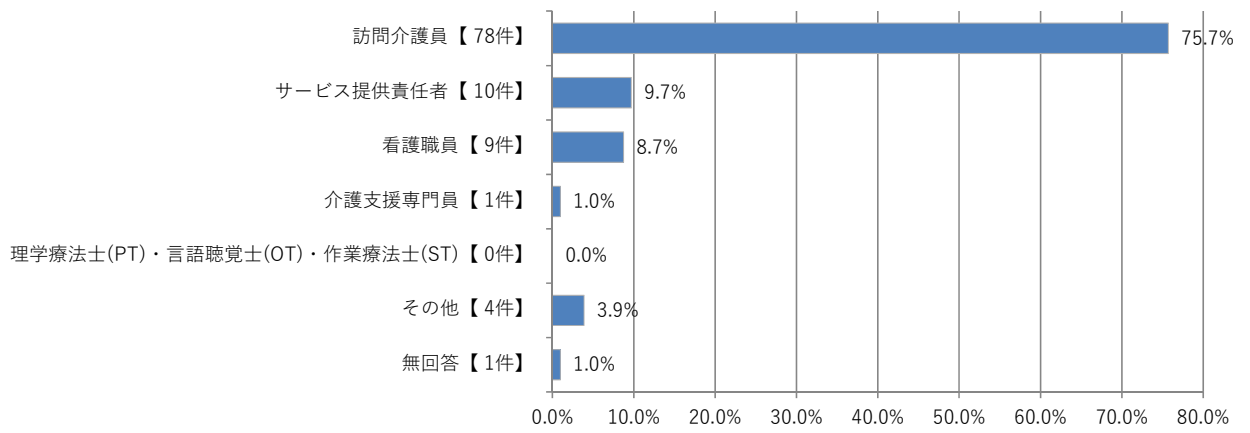
回答者数 103

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「訪問介護員」が75.7%と最も多く、次いで、「サービス提供責任者」が9.7%、「看護職員」が8.7%となっている。

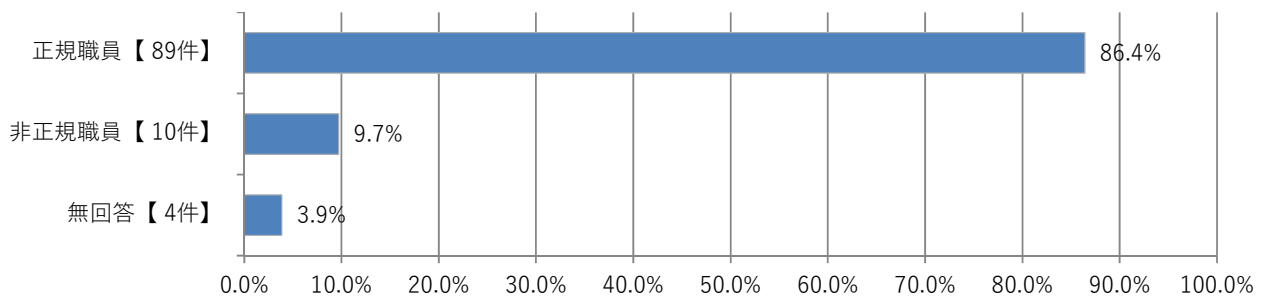
図表 12-1-1 (N=103)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が86.4%、「非正規職員」が9.7%となっている。

図表 12-1-2 (N=103)

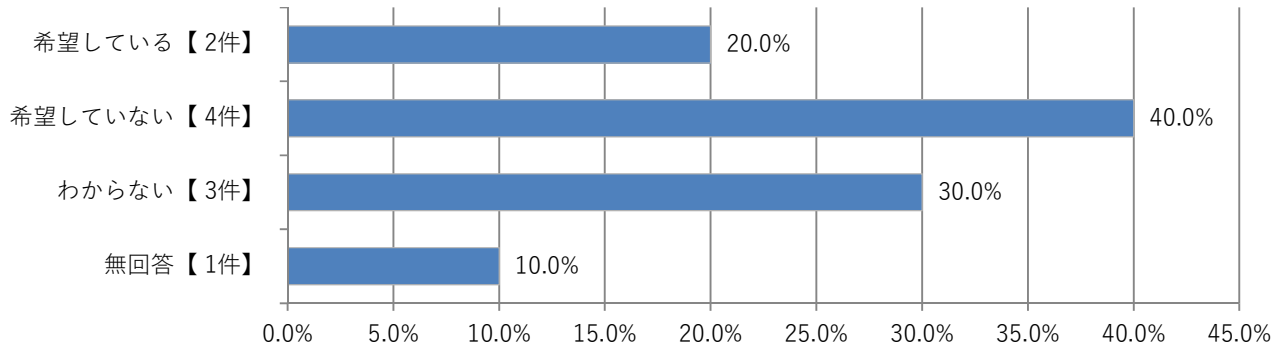


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が40.0%、「わからない」が30.0%、「希望している」が20.0%となっている。

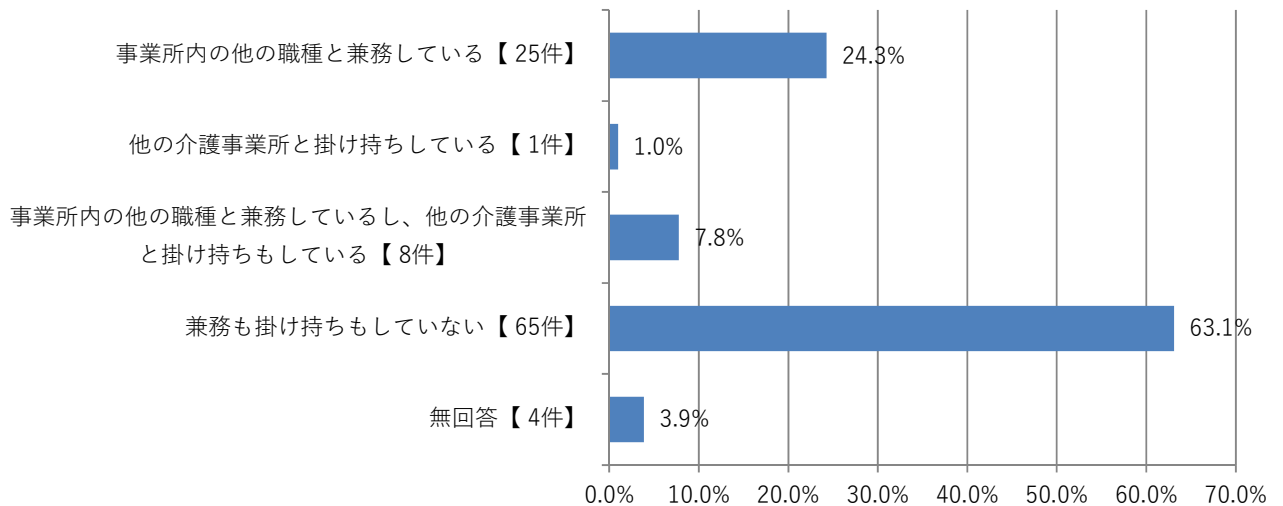
図表 12-1-3 (N=10)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が63.1%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が24.3%となっている。

図表 12-1-4 (N=103)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が13.5年となっており、「正規職員」が13.5年、「非正規職員」が12.6年となっている。

図表 12-1-5 (N=103)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	13.5	13.5	12.6	14.8

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が3.2年、「正規職員」が2.8年、「非正規職員」が5.0年となっている。

図表 12-1-6 (N=103)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	3.2	2.8	5.0	7.8

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.8日、「正規職員」が4.9日、「非正規職員」が4.6日となっている。

職種別では、「介護支援専門員」「その他」が5.0日となっている。

図表 12-2-1 (N=103)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	4.8	4.9	4.6	3.5
訪問介護員	78	4.7	4.8	4.6	3.0
サービス提供責任者	10	4.9	4.8	5.0	-
看護職員	9	4.9	5.0	4.0	-
介護支援専門員	1	5.0	5.0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	4	5.0	5.0	-	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が37.8時間、「正規職員」が39.0時間、「非正規職員」が30.9時間となっている。

職種別では「看護職員」が42.5時間と最も多くなっている。

図表 12-2-2 (N=103)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	37.8	39.0	30.9	30.3
訪問介護員	78	36.6	38.1	28.9	26.3
サービス提供責任者	10	40.7	39.7	50.0	-
看護職員	9	42.5	44.4	28.0	-
介護支援専門員	1	40.0	40.0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	4	40.4	40.4	-	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が1.2時間、「正規職員」が1.3時間、「非正規職員」が0.4時間となっている。

職種別では、「その他」が2.2時間、「サービス提供責任者」が2.1時間となっている。

図表 12-2-3 (N=103)

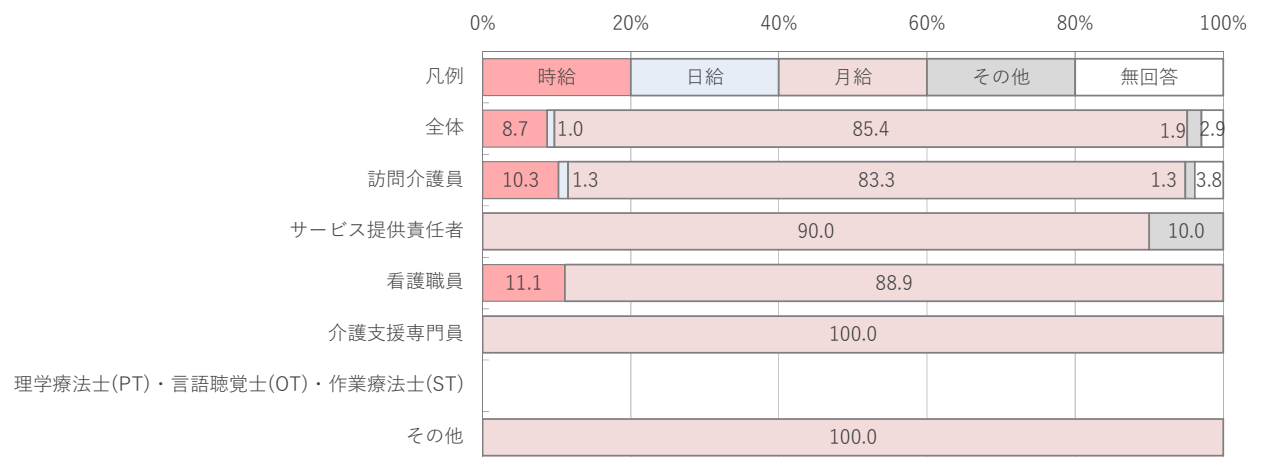
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	1.2	1.3	0.4	1.2
訪問介護員	78	1.0	1.1	0.4	1.5
サービス提供責任者	10	2.1	2.3	0.5	-
看護職員	9	1.5	1.7	0.0	-
介護支援専門員	1	0.0	0.0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	4	2.2	2.2	-	-

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が85.4%、「時給」が8.7%、「日給」が1.0%となっている。
 時給の平均は、1,055円となっている。

図表 12-2-4 (N=103)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円/時間)	日給 (円/日)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	9	1	88	2	3	1,055	-
訪問介護員	78	8	1	65	1	3	1,024	-
サービス提供責任者	10	0	0	9	1	0	-	-
看護職員	9	1	0	8	0	0	1,300	-
介護支援専門員	1	0	0	1	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	4	0	0	4	0	0	-	-



問2 (5) 1 か月当たりの税込み月収

1 か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が 211,889 円、「時給」が 112,718 円、「日給」が 244,600 円、「その他」が 177,500 円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「訪問介護員」が 204,109 円となっている。

図表 12-2-5 (N=103)

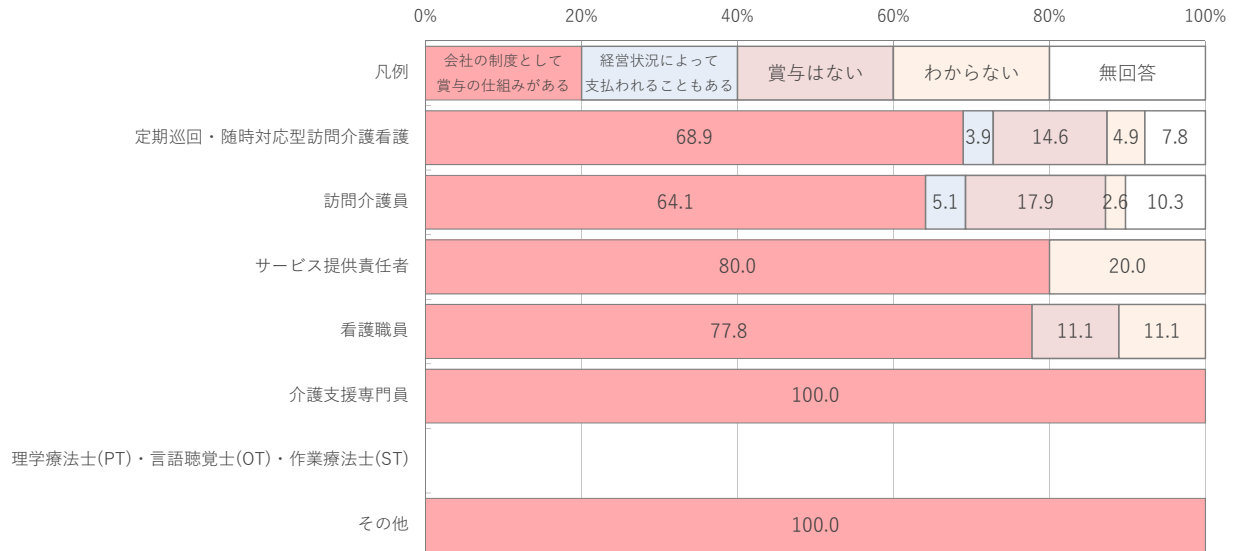
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	9	112,718	107	1	244,600	21	88	211,889	2	177,500
訪問介護員	8	110,558	108	1	244,600	21	65	204,109	1	180,000
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	9	219,375	1	175,000
看護職員	1	130,000	100	0	-	-	8	256,250	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	1	240,000	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	4	210,000	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 68.9%、「賞与はない」が 14.6%、「わからない」が 4.9%、「経営状況によって支払われることもある」が 3.9%となっている。

図表 12-2-6 (N=103)

	(件)					(%)						
	対象者数	会社が ある	経営 状況 によ って 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答	対象者数	会社が ある	経営 状況 によ って 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	71	4	15	5	8	100.0	68.9	3.9	14.6	4.9	7.8
訪問介護員	78	50	4	14	2	8	100.0	64.1	5.1	17.9	2.6	10.3
サービス提供責任者	10	8	0	0	2	0	100.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0
看護職員	9	7	0	1	1	0	100.0	77.8	0.0	11.1	11.1	0.0
介護支援専門員	1	1	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	4	4	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 234,666 円となっている。「正規職員」の平均は 227,427 円、「非正規職員」の平均は 73,333 円となっている。

職種別にみると、「介護支援専門員」が 336,000 円となっている。

図表 12-2-7 (N=103)

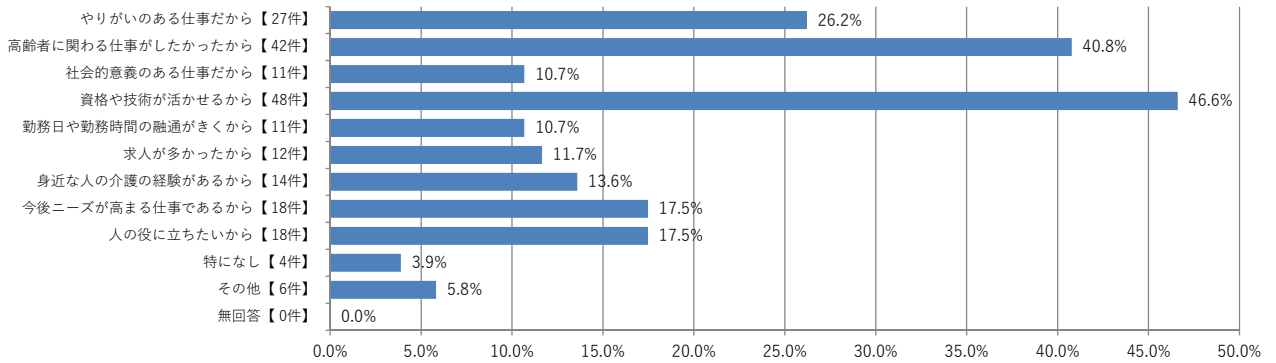
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	72.8	14.6	4.9	7.8	75	234,666	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	75	15	5	8	75
正規職員	89	78.7	11.2	4.5	5.6	70	227,427	正規職員	89	70	10	4	5	70
非正規職員	10	30.0	50.0	10.0	10.0	3	73,333	非正規職員	10	3	5	1	1	3
無回答	4	50.0	0.0	0.0	50.0	2	730,000	無回答	4	2	0	0	2	2
訪問介護員	78	69.2	17.9	2.6	10.3	54	235,999	訪問介護員	78	54	14	2	8	54
サービス提供責任者	10	80.0	0.0	20.0	0.0	8	242,500	サービス提供責任者	10	8	0	2	0	8
看護職員	9	77.8	11.1	11.1	0.0	7	75,714	看護職員	9	7	1	1	0	7
介護支援専門員	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	336,000	介護支援専門員	1	1	0	0	0	1
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	4	100.0	0.0	0.0	0.0	4	262,500	その他	4	4	0	0	0	4

問3 仕事についての考え方

問3（１）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が46.6%と最も多く、次いで、「高齢者に関わる仕事がしたかったから」が40.8%、「やりがいのある仕事だから」が26.2%となっている。

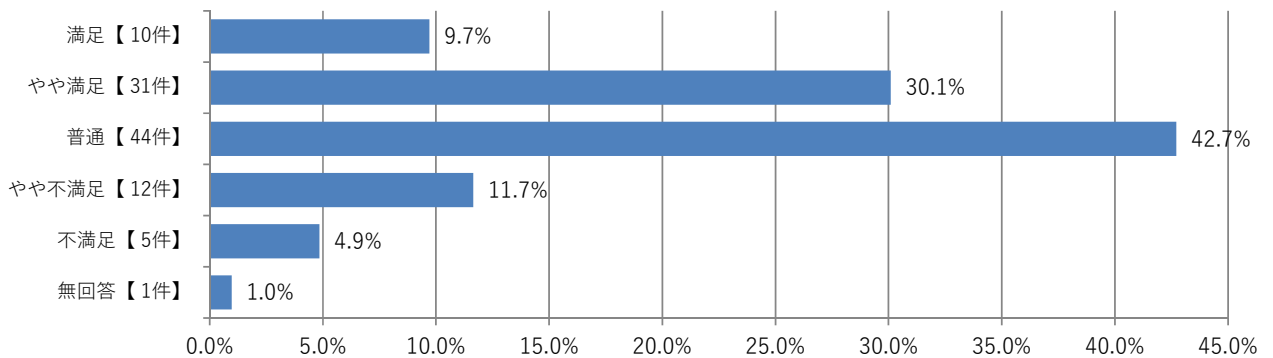
図表 12-3-1 (N=103)



問3（２）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が42.7%と最も多く、次いで、「やや満足」が30.1%、「やや不満足」が11.7%、「満足」が9.7%、「不満足」が4.9%となっている。

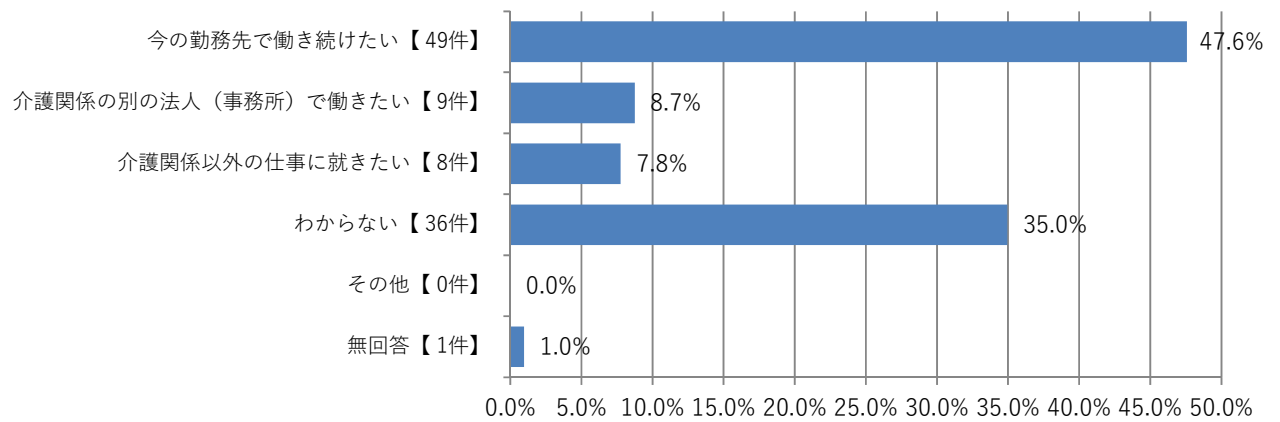
図表 12-3-2 (N=103)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働きたい」が47.6%、「わからない」が35.0%となっている。

図表 12-3-3 (N=103)

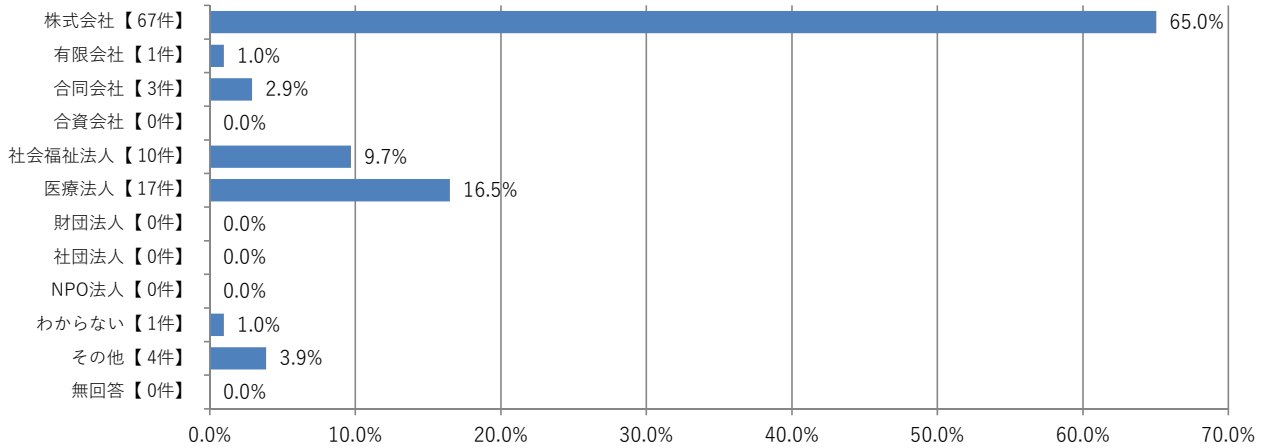


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が65.0%と最も多くなっている。

図表 12-4-1 (N=103)

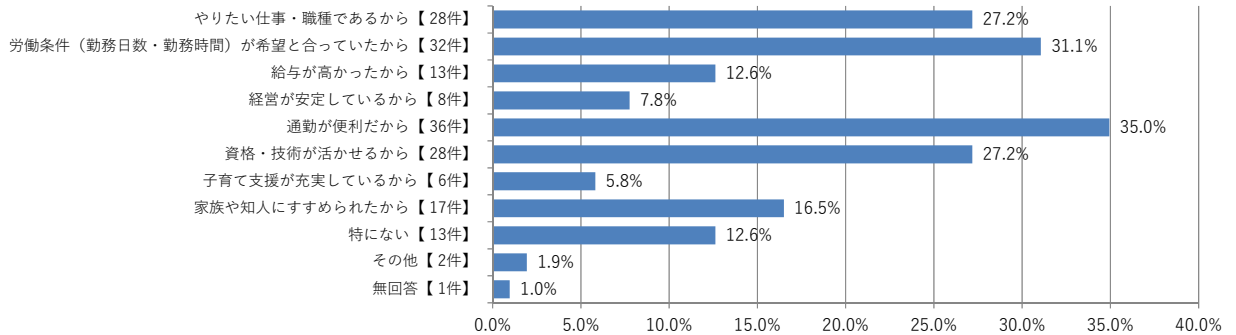


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「通勤が便利だから」が 35.0%と最も多く、次いで、「労働条件が希望と合っていたから」が 31.1%、「やりたい仕事・職種であるから」、「資格・技術が活かせるから」が 27.2%となっている。

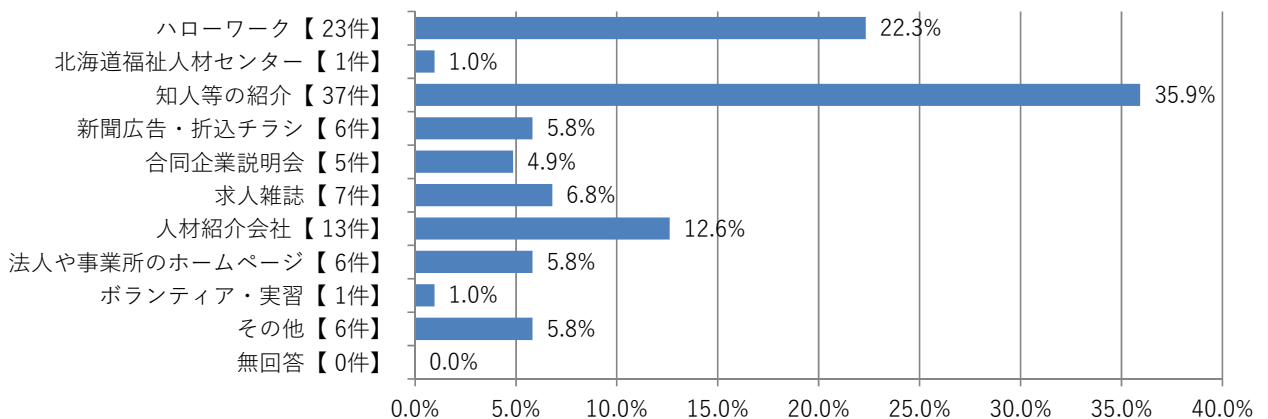
図表 12-5-1 (N=103)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が 35.9%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が 22.3%、「人材紹介会社」が 12.6%となっている。

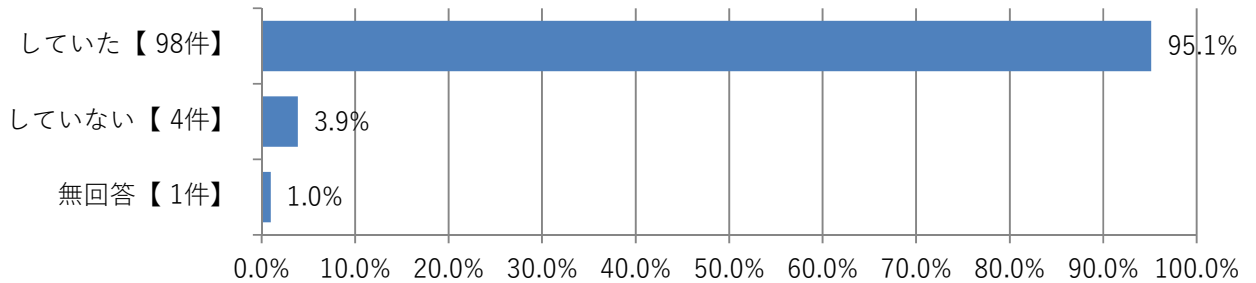
図表 12-5-2 (N=103)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が95.1%、「仕事をしていない」が3.9%となっている。

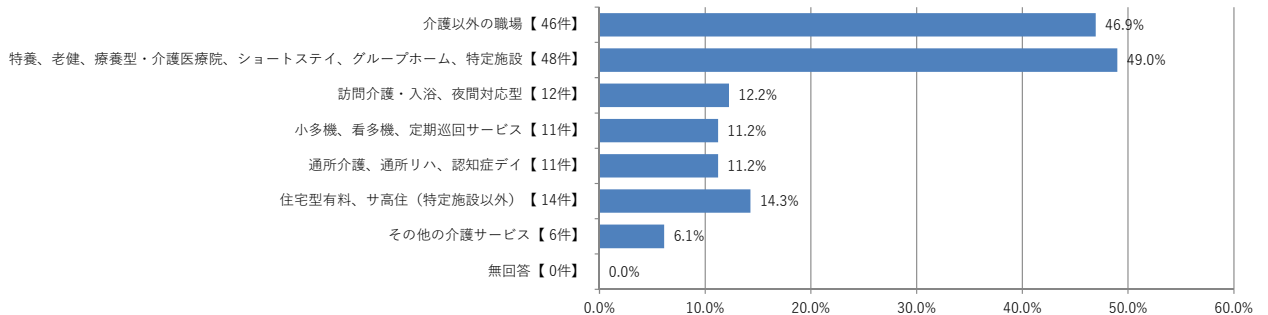
図表 12-5-3 (N=103)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が49.0%と最も多く、次いで、「介護以外の仕事」が46.9%となっている。

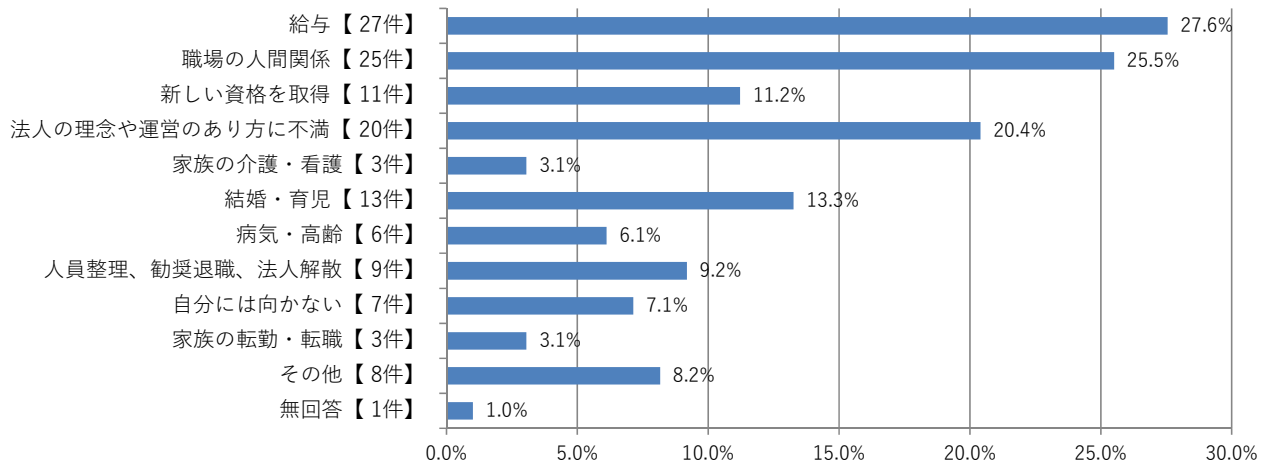
図表 12-5-4 (N=98)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「給与」が27.6%と最も多く、次いで、「職場の人間関係」が25.5%、「法人の理念や運営のあり方に不満」が20.4%となっている。

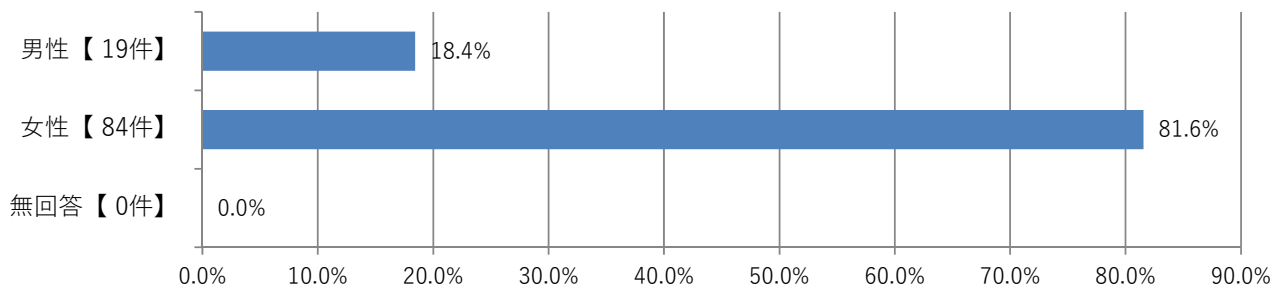
図表 12-5-5 (N=98)



問5（6）性別

性別は、「男性」が18.4%、「女性」が81.6%となっている。

図表 12-5-6 (N=103)



問5（7）年齢

平均年齢は、44.2歳となっている。

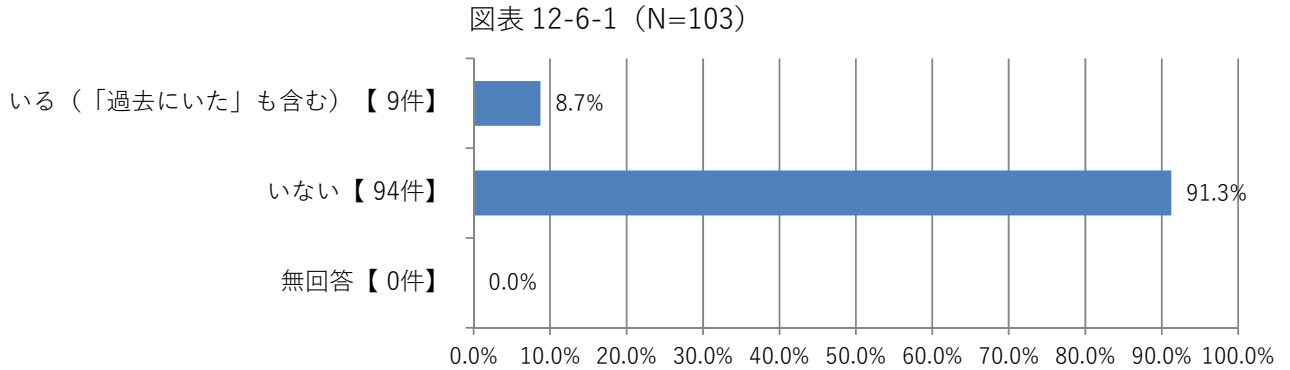
図表 12-5-7 (N=103)

	対象者数	平均年齢（歳）
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	103	44.2

問6 外国人介護職員について

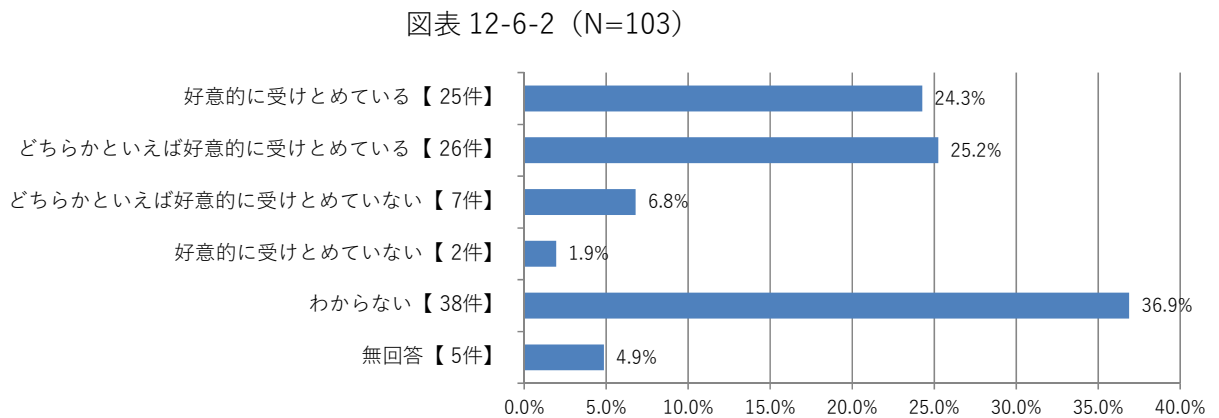
問6（１）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が91.3%、「いる（過去にいた）」が8.7%となっている。



問6（２）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が36.9%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が25.2%、「好意的に受けとめている」が24.3%となっている。

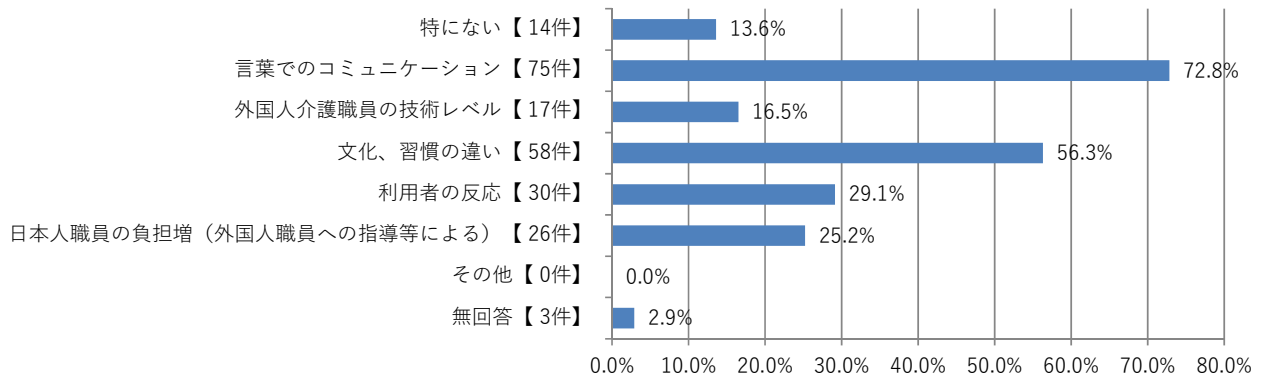


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

[複数回答可]

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が72.8%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が56.3%、「利用者の反応」が29.1%となっている。

図表 12-6-3 (N=103)

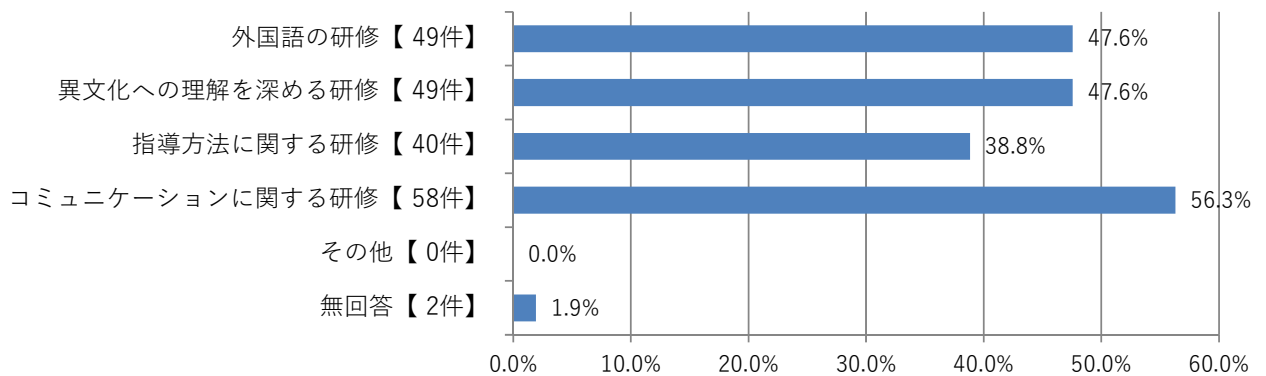


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

[複数回答可]

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が56.3%と最も多く、次いで、「外国語の研修」、「異文化への理解を深める研修」が47.6%、「指導方法に関する研修」が38.8%となっている。

図表 12-6-4 (N=103)



⑬夜間対応型訪問介護

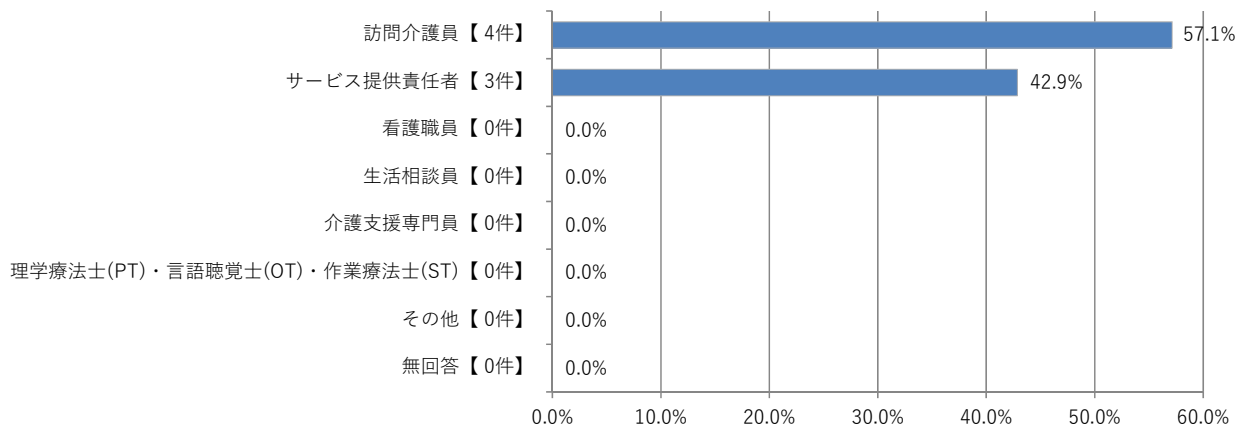
回答者数 7

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「訪問介護員」が57.1%と最も多く、次いで、「サービス提供責任者」が42.9%となっている。

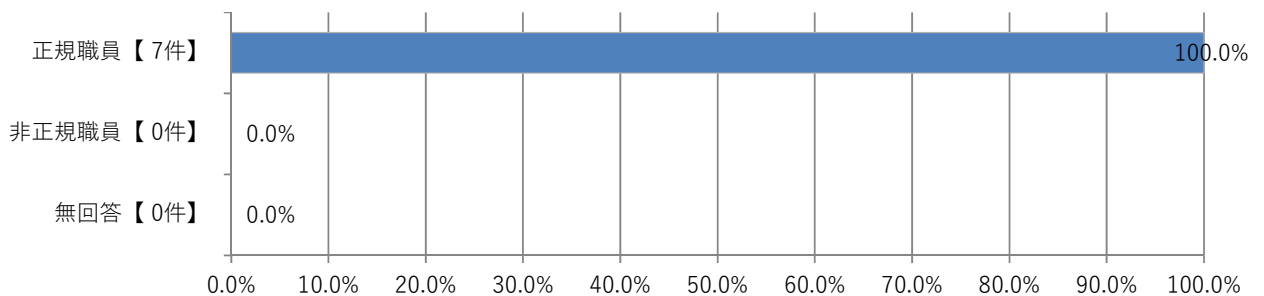
図表 13-1-1 (N=7)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が100%となっている。

図表 13-1-2 (N=7)



問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

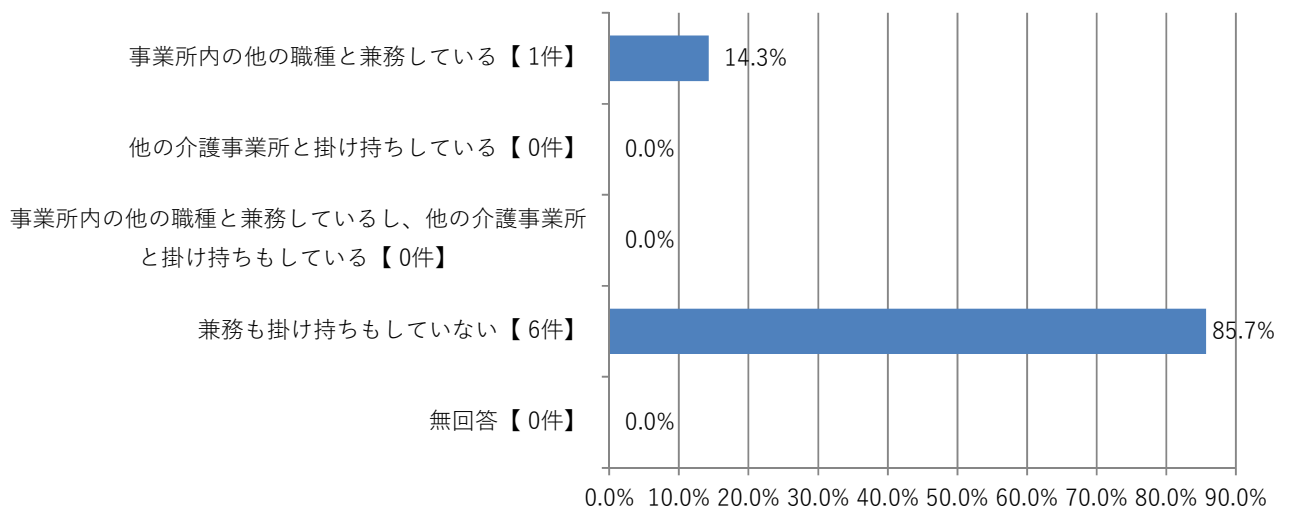
<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

回答対象なし

問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が85.7%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が14.3%になっている。

図表 13-1-3 (N=7)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が11.3年となっており、「正規職員」が11.3年となっている。

図表 13-1-4 (N=7)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
夜間対応型訪問介護	7	11.3	11.3	-	-

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が6.1年、「正規職員」が6.1年となっている。

図表 13-1-5 (N=7)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
夜間対応型訪問介護	7	6.1	6.1	-	-

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.8日、「正規職員」が4.8日となっている。

職種別では、「訪問介護員」が4.6日、「サービス提供責任者」が5.0日となっている。

図表 13-2-1 (N=7)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
夜間対応型訪問介護	7	4.8	4.8	-	-
訪問介護員	4	4.6	4.6	-	-
サービス提供責任者	3	5.0	5.0	-	-
看護職員	0	-	-	-	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が45.2時間、「正規職員」が45.2時間となっている。

職種別では「訪問介護員」が47.3時間となっている。

図表 13-2-2 (N=7)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
夜間対応型訪問介護	7	45.2	45.2	-	-
訪問介護員	4	47.3	47.3	-	-
サービス提供責任者	3	42.4	42.4	-	-
看護職員	0	-	-	-	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.3時間、「正規職員」が2.3時間となっている。

職種別では、「訪問介護員」が2.4時間となっている。

図表 13-2-3 (N=7)

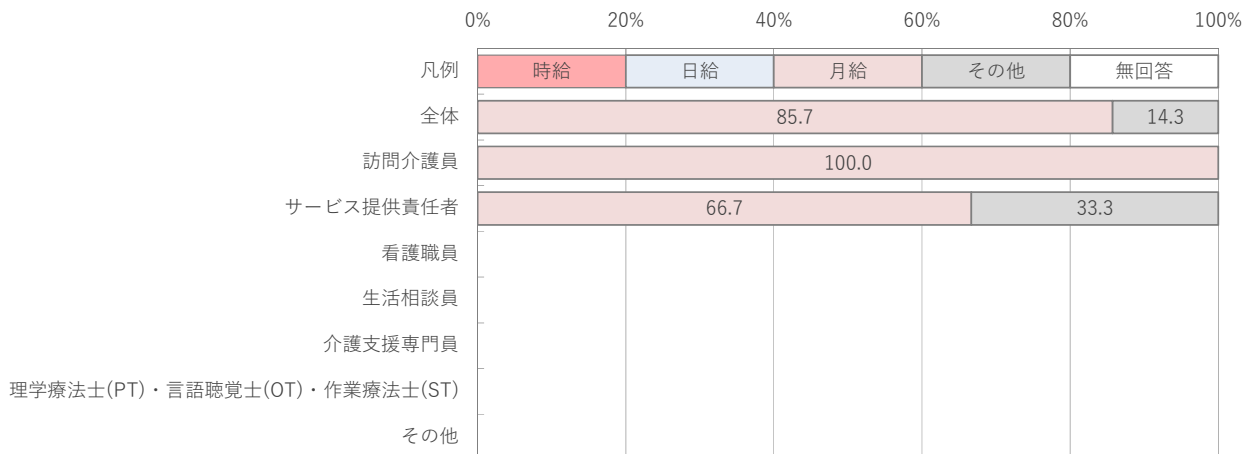
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
夜間対応型訪問介護	7	2.3	2.3	-	-
訪問介護員	4	2.4	2.4	-	-
サービス提供責任者	3	2.3	2.3	-	-
看護職員	0	-	-	-	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が85.7%、「その他」が14.3%となっている。

図表 13-2-4 (N=7)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円/時間)	日給 (円/日)
夜間対応型訪問介護	7	0	0	6	1	0	-	-
訪問介護員	4	0	0	4	0	0	-	-
サービス提供責任者	3	0	0	2	1	0	-	-
看護職員	0	0	0	0	0	0	-	-
生活相談員	0	0	0	0	0	0	-	-
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	0	0	0	0	0	0	-	-



問2 (5) 1 か月当たりの税込み月収

1 か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が 183,917 円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「訪問介護員」が 185,500 円となっている。

図表 13-2-5 (N=7)

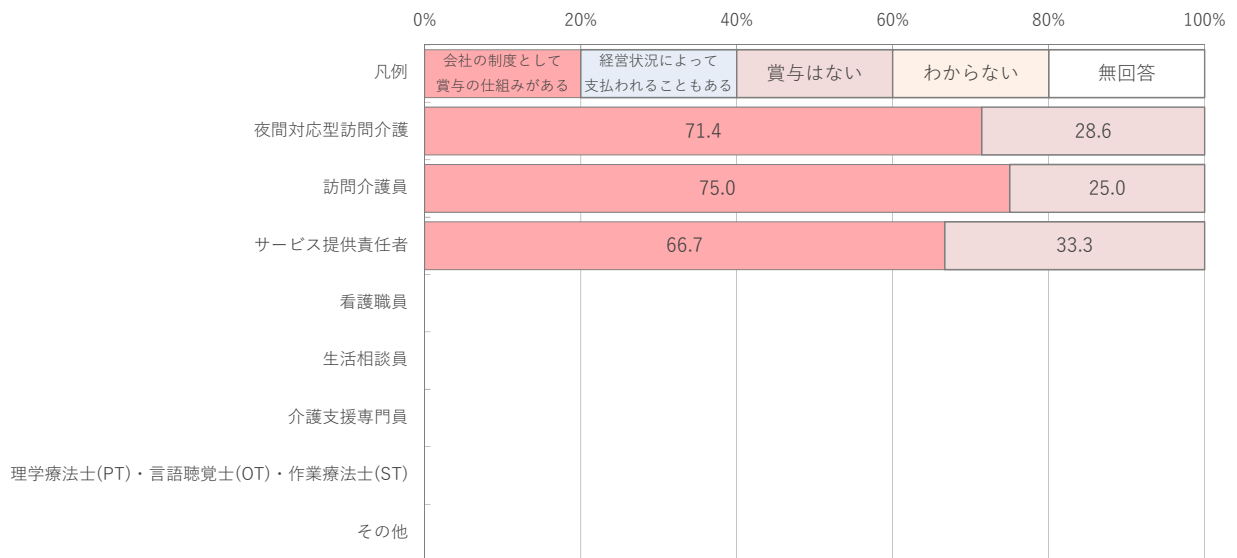
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
夜間対応型訪問介護	0	-	-	0	-	-	6	183,917	1	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	4	185,500	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	2	180,750	1	-
看護職員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が71.4%、「賞与はない」が28.6%となっている。

図表 13-2-6 (N=7)

	(件)						(%)						
	対象者数	会社が ある	会社 の制 度と して 賞 与 の 仕 組 み が あ る	経 営 状 況 に よ っ て 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答	対象者数	会社が ある	会社 の制 度と して 賞 与 の 仕 組 み が あ る	経 営 状 況 に よ っ て 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い
夜間対応型訪問介護	7	5	0	2	0	0	100.0	71.4	0.0	28.6	0.0	0.0	
訪問介護員	4	3	0	1	0	0	100.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
サービス提供責任者	3	2	0	1	0	0	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	
看護職員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	
生活相談員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	
その他	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 353,200 円となっている。「正規職員」の平均は 353,200 円となっている。

職種別にみると、「サービス提供責任者」が 648,000 円となっている。

図表 13-2-7 (N=7)

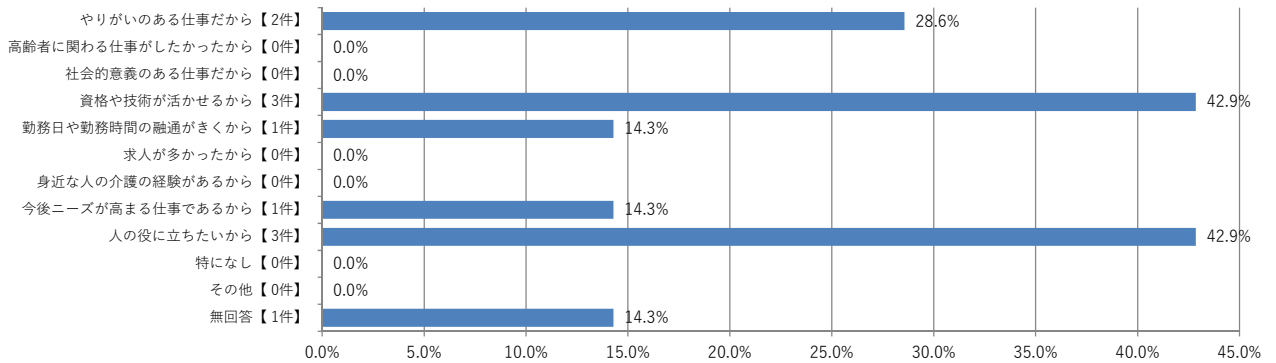
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
夜間対応型訪問介護	7	71.4	28.6	0.0	0.0	5	353,200	夜間対応型訪問介護	7	5	2	0	0	5
正規職員	7	71.4	28.6	0.0	0.0	5	353,200	正規職員	7	5	2	0	0	5
非正規職員	0	-	-	-	-	0	-	非正規職員	0	0	0	0	0	0
無回答	0	-	-	-	-	0	-	無回答	0	0	0	0	0	0
訪問介護員	4	75.0	25.0	0.0	0.0	3	156,667	訪問介護員	4	3	1	0	0	3
サービス提供責任者	3	66.7	33.3	0.0	0.0	2	648,000	サービス提供責任者	3	2	1	0	0	2
看護職員	0	-	-	-	-	0	-	看護職員	0	0	0	0	0	0
生活相談員	0	-	-	-	-	0	-	生活相談員	0	0	0	0	0	0
介護支援専門員	0	-	-	-	-	0	-	介護支援専門員	0	0	0	0	0	0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	0	-	-	-	-	0	-	その他	0	0	0	0	0	0

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」と「人の役に立ちたいから」が42.9%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が28.6%となっている。

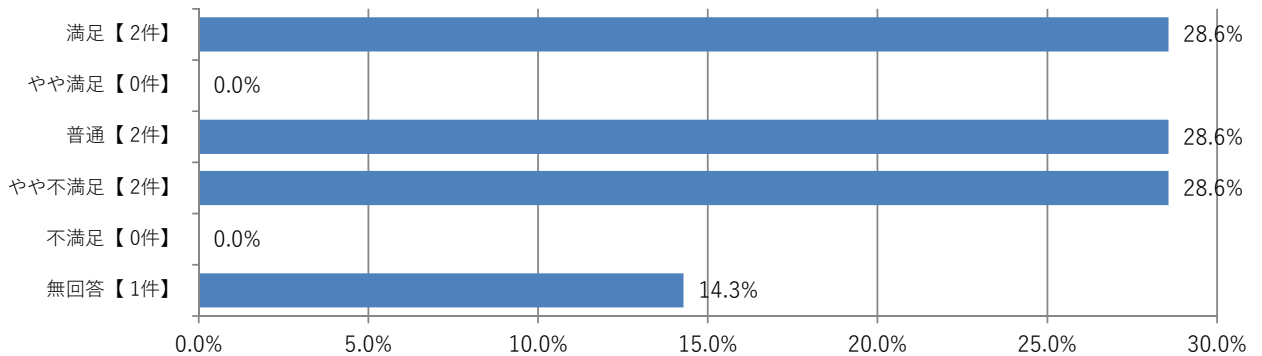
図表 13-3-1 (N=7)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「満足」、「普通」、「やや不満足」が28.6%と最も多くなっている。

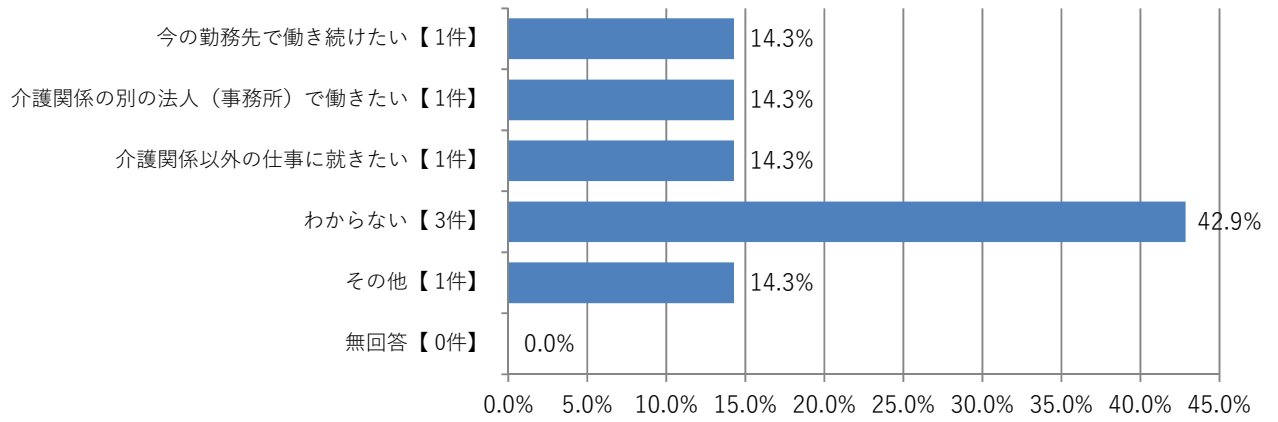
図表 13-3-2 (N=7)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「わからない」が42.9%となっている。

図表 13-3-3 (N=7)

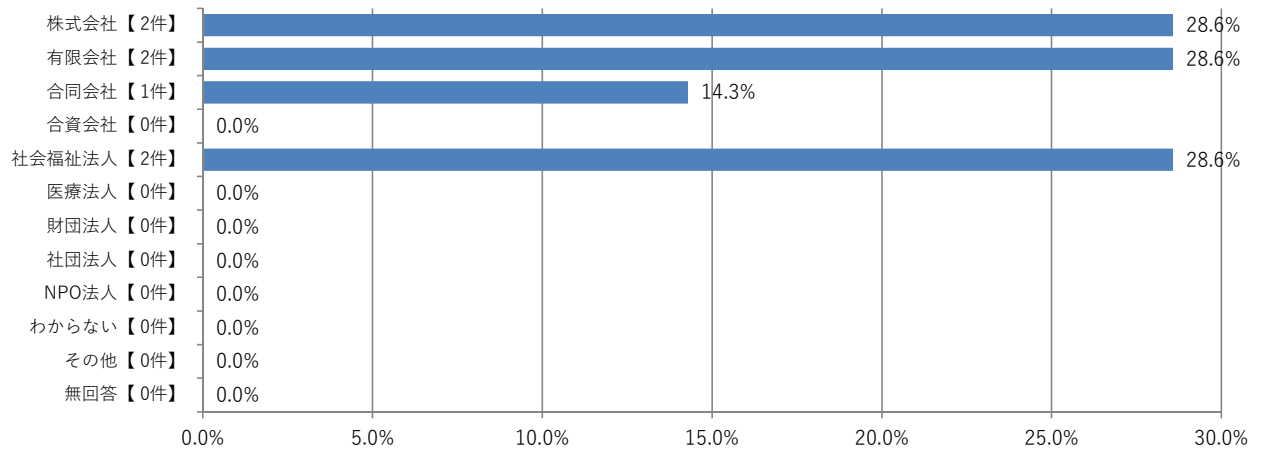


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」、「有限会社」、「社会福祉法人」が28.6%と最も多くなっている。

図表 13-4-1 (N=7)

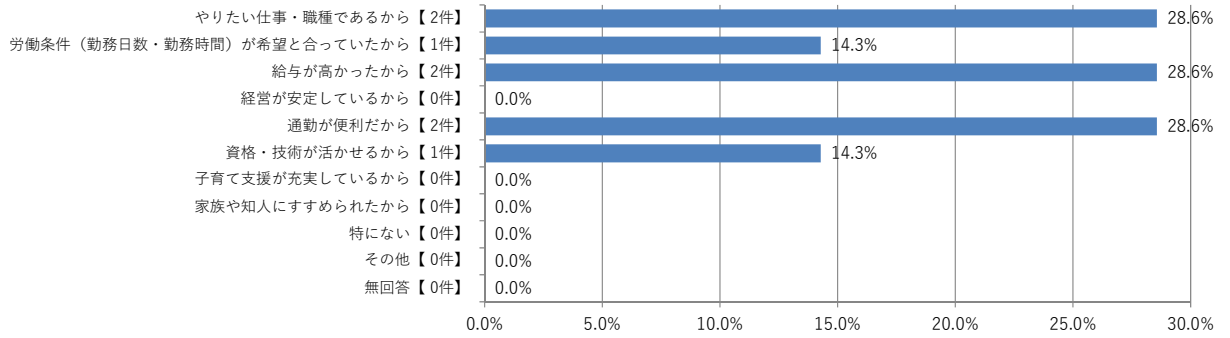


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」、「給与が高かったから」、「通勤が便利だから」が28.6%と最も多くなっている。

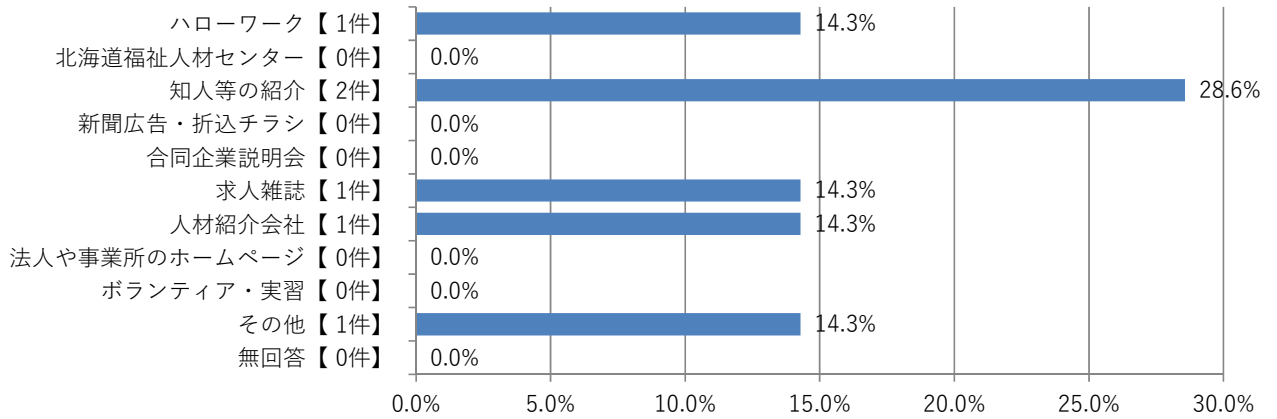
図表 13-5-1 (N=7)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が28.6%と最も多くなっている。

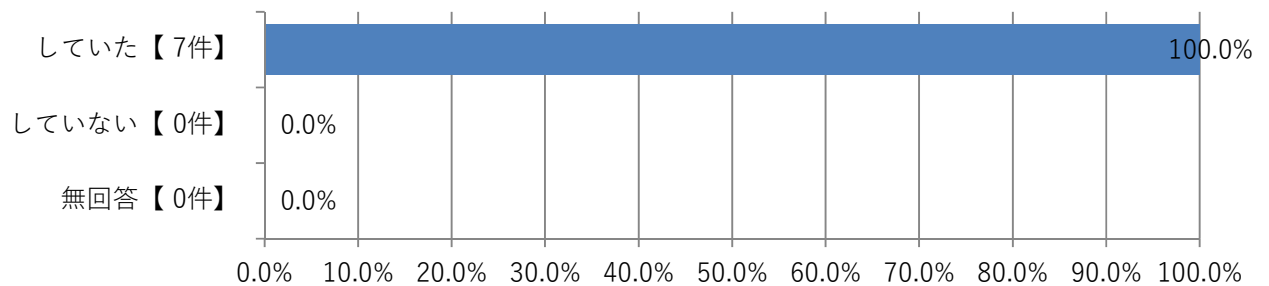
図表 13-5-2 (N=7)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていました」が100%となっている。

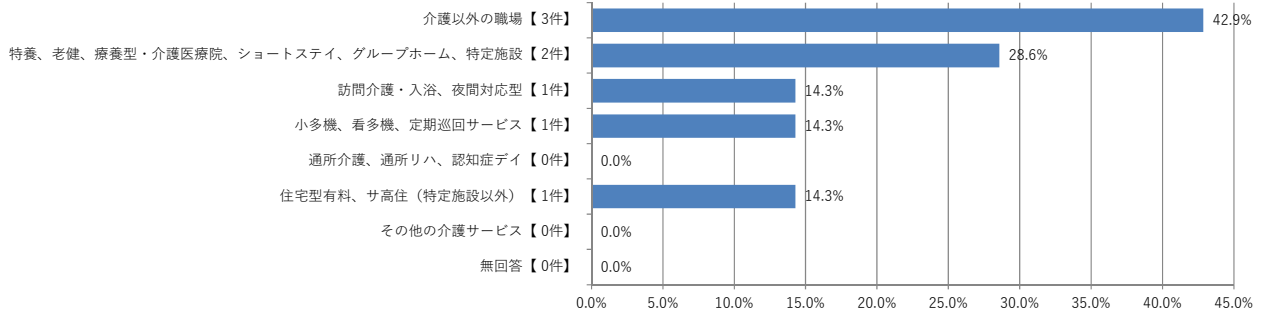
図表 13-5-3 (N=7)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が42.9%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が28.6%となっている。

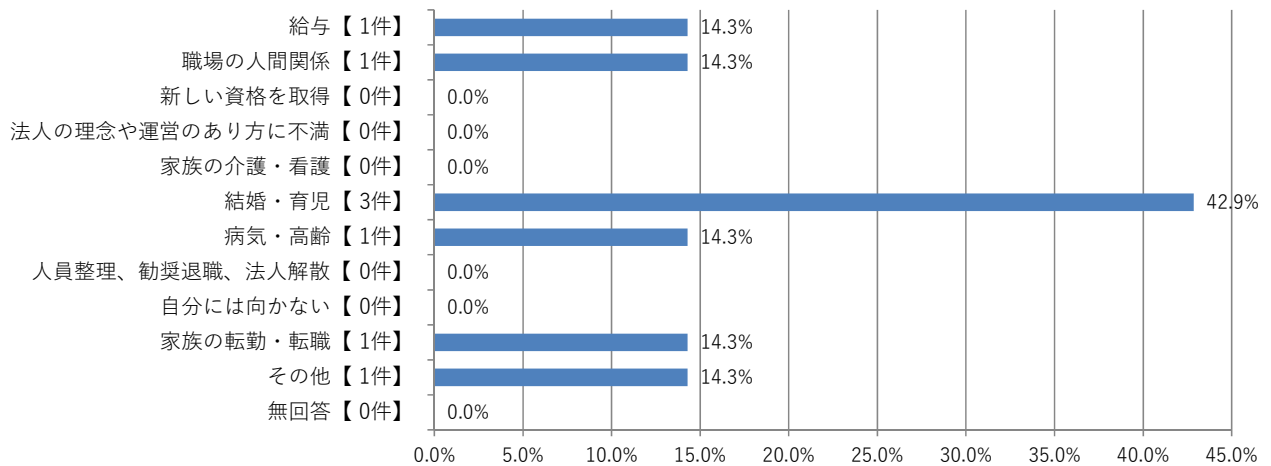
図表 13-5-4 (N=7)



問5（5）（4）の仕事辞めた理由 [複数回答可]

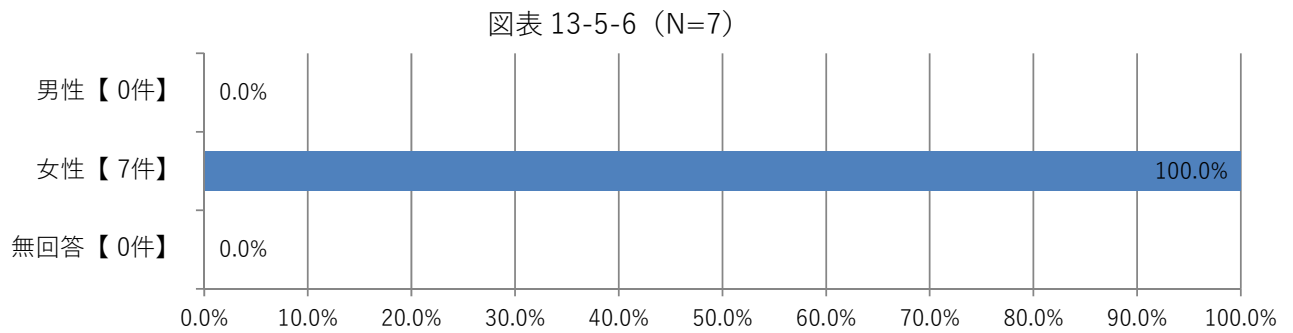
仕事を辞めた理由は、「結婚・育児」が42.9%と最も多くなっている。

図表 13-5-5 (N=7)



問5（6）性別

性別は、「女性」が100%となっている。



問5（7）年齢

平均年齢は、46.7歳となっている。

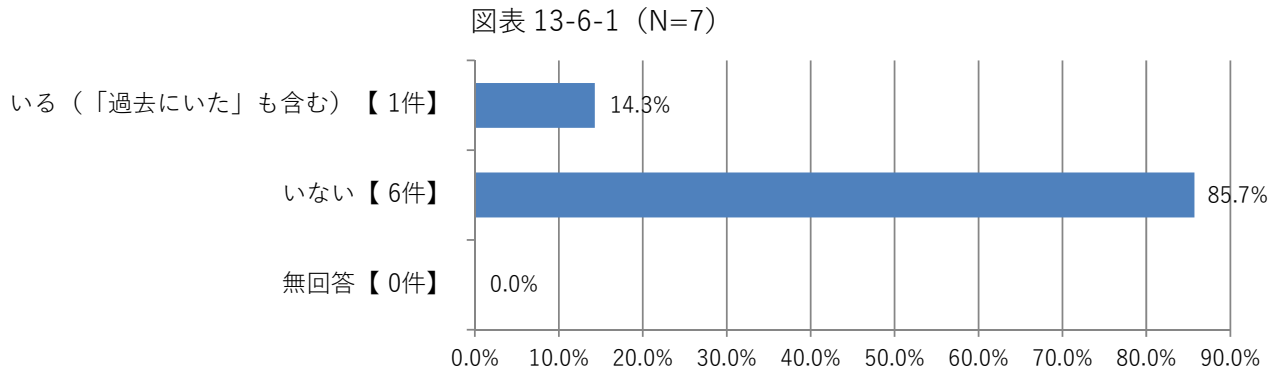
図表 13-5-7 (N=7)

	対象者数	平均年齢（歳）
夜間対応型訪問介護	7	46.7

問6 外国人介護職員について

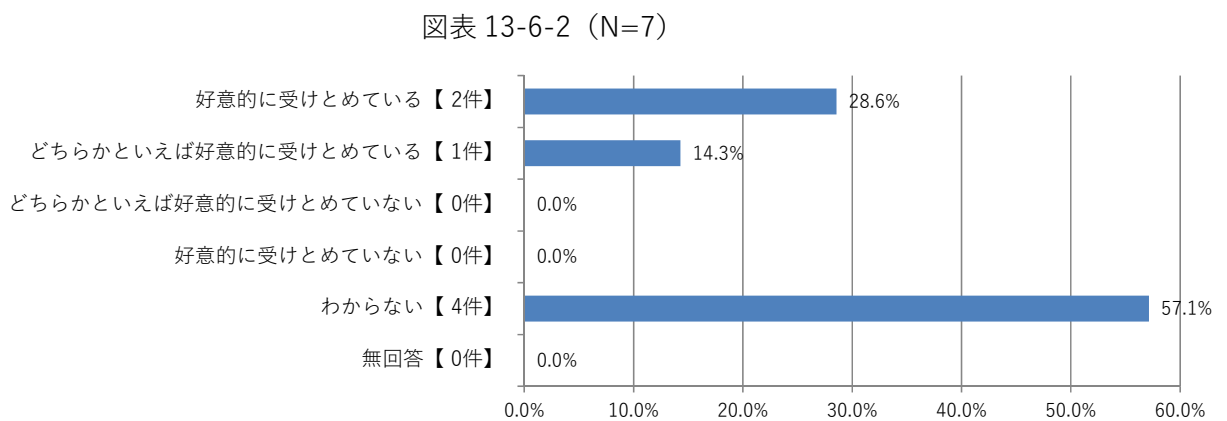
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が85.7%、「いる（過去にいた）」が14.3%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が57.1%と最も多く、次いで、「好意的に受けとめている」が28.6%、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が14.3%となっている。

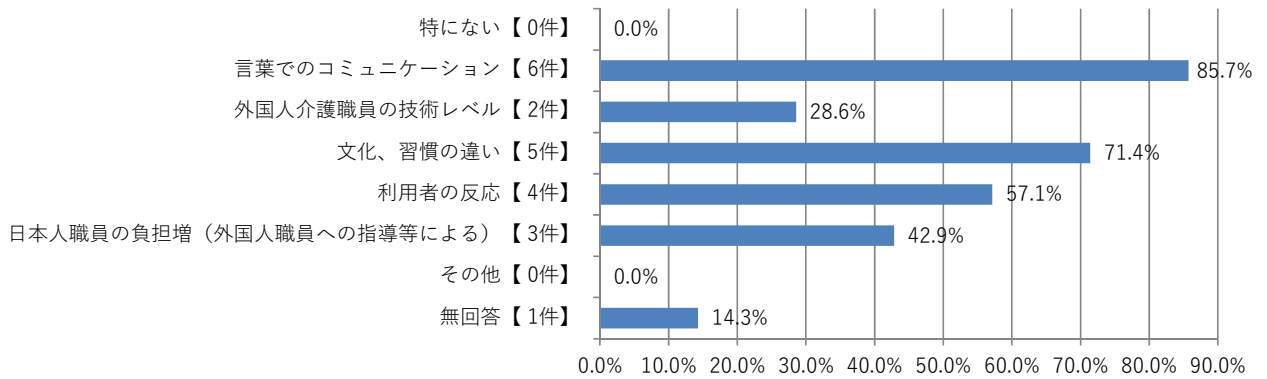


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

[複数回答可]

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が85.7と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が71.4%、「利用者の反応」が57.1%となっている。

図表 13-6-3 (N=7)

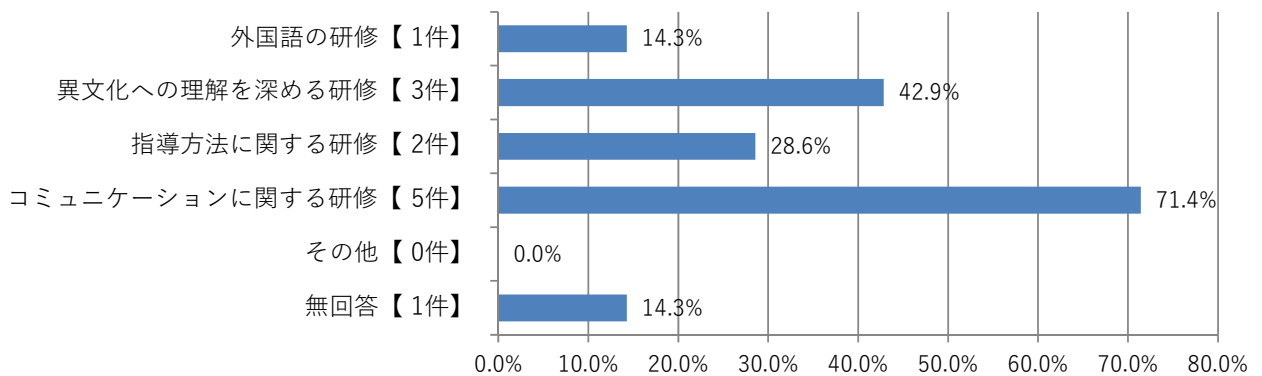


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

[複数回答可]

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が71.4%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」が42.9%、「指導方法に関する研修」が28.6%となっている。

図表 13-6-4 (N=7)



⑭地域密着型通所介護

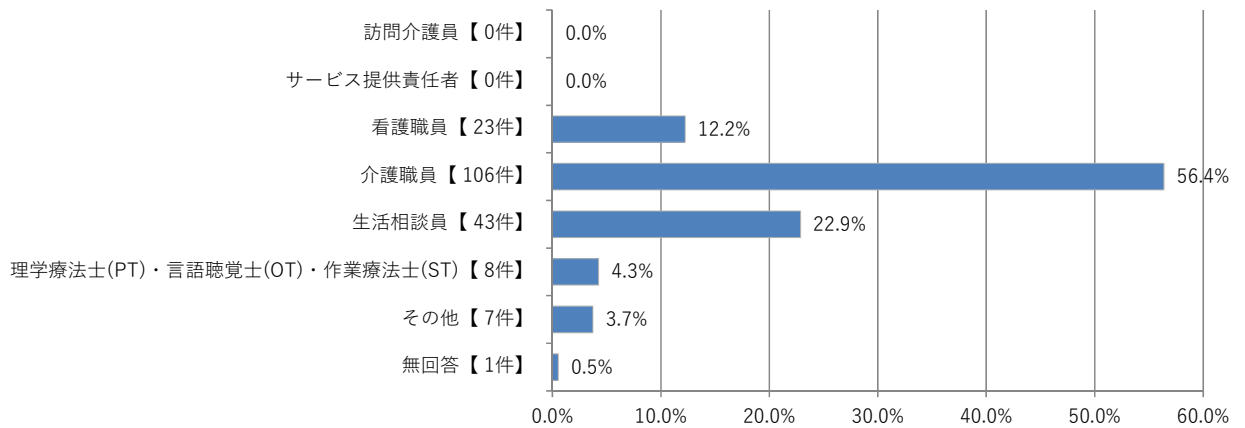
回答者数 188

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が56.4%と最も多く、次いで、「生活相談員」が22.9%となっている。

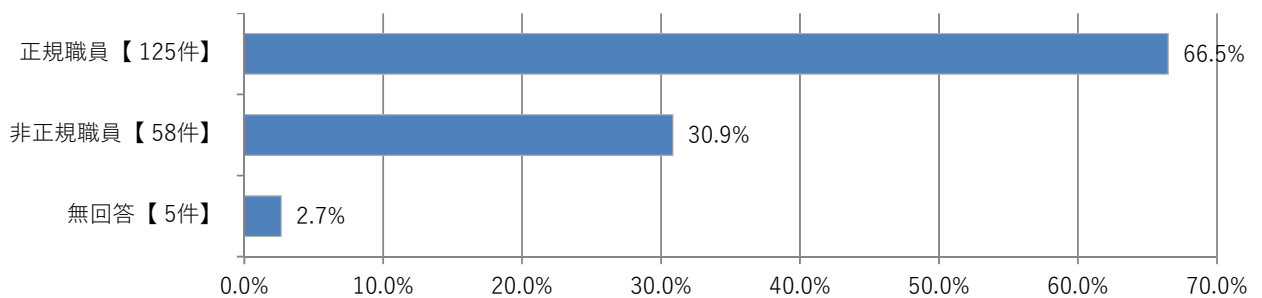
図表 14-1-1 (N=188)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が66.5%、「非正規職員」が30.9%となっている。

図表 14-1-2 (N=188)

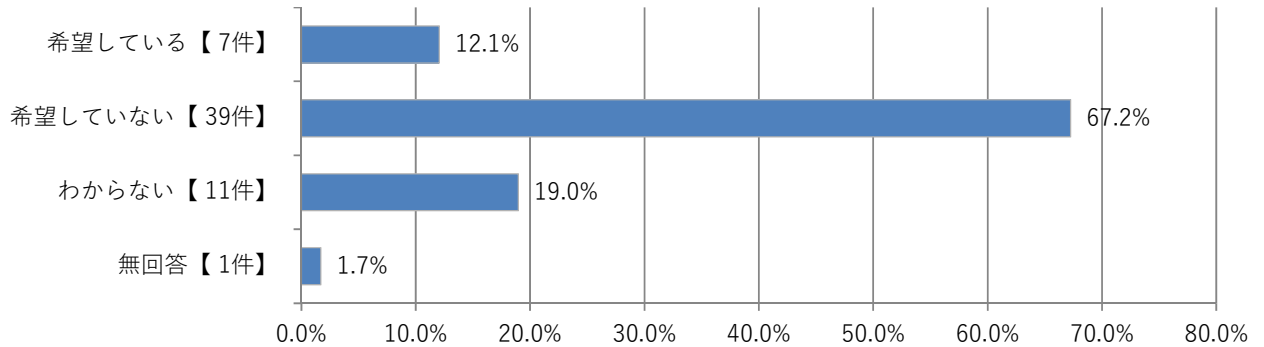


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が67.2%と最も多く、次いで、「わからない」が19.0%、「希望している」が12.1%となっている。

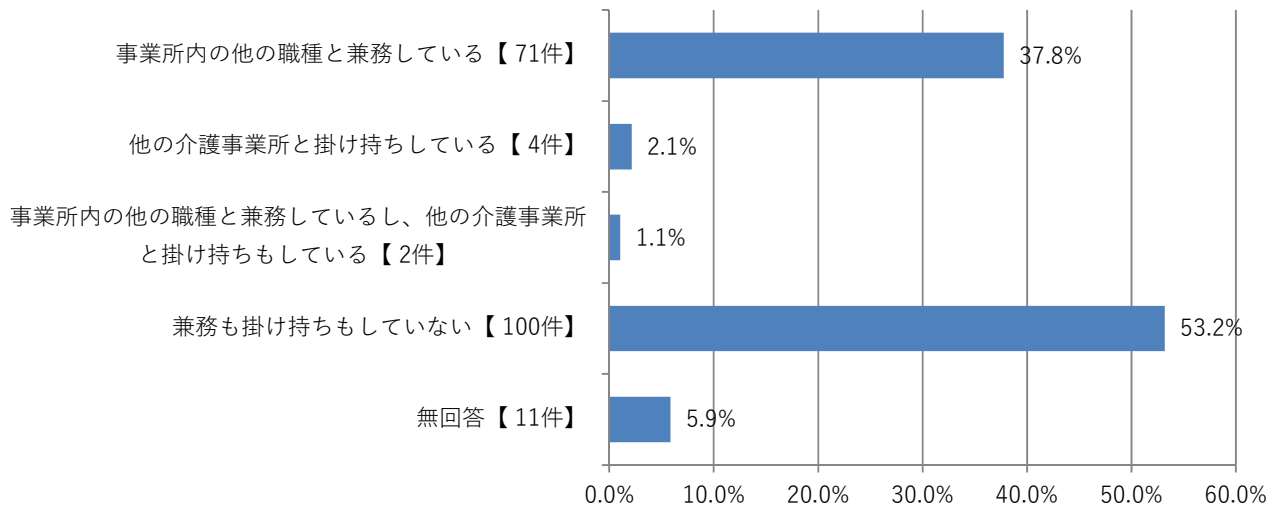
図表 14-1-3 (N=58)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が53.2%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が37.8%となっている。

図表 14-1-4 (N=188)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が9.5年となっており、「正規職員」が8.4年、「非正規職員」が12.1年となっている。

図表 14-1-5 (N=188)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
地域密着型通所介護	188	9.5	8.4	12.1	5.4

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が4.5年、「正規職員」が4.7年、「非正規職員」が4.0年となっている。

図表 14-1-6 (N=188)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
地域密着型通所介護	188	4.5	4.7	4.0	4.0

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.7日、「正規職員」が5.1日、「非正規職員」が3.8日となっている。

職種別では、「生活相談員」が5.0日となっている。

図表 14-2-1 (N=188)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
地域密着型通所介護	188	4.7	5.1	3.8	4.5
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	23	3.9	5.0	3.6	-
介護職員	106	4.7	5.1	3.9	3.0
生活相談員	43	5.0	5.1	4.8	5.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	8	4.6	5.0	2.0	-
その他	7	4.9	5.3	3.0	5.0

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が37.3時間、「正規職員」が42.6時間、「非正規職員」が26.0時間となっている。

職種別では「生活相談員」が42.3時間となっている。

図表 14-2-2 (N=188)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
地域密着型通所介護	188	37.3	42.6	26.0	35.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	23	26.7	39.8	22.8	-
介護職員	106	37.2	42.1	27.6	19.0
生活相談員	43	42.3	43.4	33.3	40.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	8	37.9	42.1	8.0	-
その他	7	40.2	45.7	18.0	35.0

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.0時間、「正規職員」が2.6時間、「非正規職員」が0.6時間となっている。

職種別では、「その他」が8.5時間、「生活相談員」が2.0時間となっている。

図表 14-2-3 (N=188)

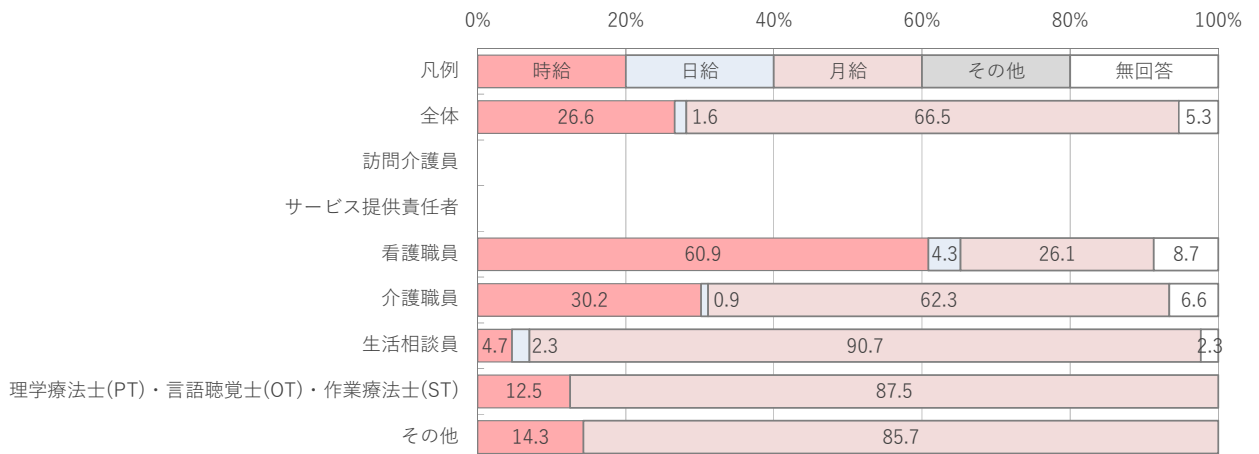
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
地域密着型通所介護	188	2.0	2.6	0.6	0.7
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	23	0.4	0.6	0.3	-
介護職員	106	1.9	2.7	0.4	1.0
生活相談員	43	2.0	2.0	2.0	0.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	8	0.6	0.7	0.0	-
その他	7	8.5	10.8	6.0	0.0

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が66.5%、「時給」が26.6%、「日給」が1.6%となっている。
 時給の平均は、1,019円、日給の平均は9,480円となっている。

図表 14-2-4 (N=188)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円/時間)	日給 (円/日)
地域密着型通所介護	188	50	3	125	0	10	1,019	9,480
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	23	14	1	6	0	2	1,202	8,960
介護職員	106	32	1	66	0	7	934	10,000
生活相談員	43	2	1	39	0	1	973	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	8	1	0	7	0	0	861	-
その他	7	1	0	6	0	0	1,230	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が191,905円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護職員」が176,034円、「生活相談員」が195,410円となっている。

図表 14-2-5 (N=188)

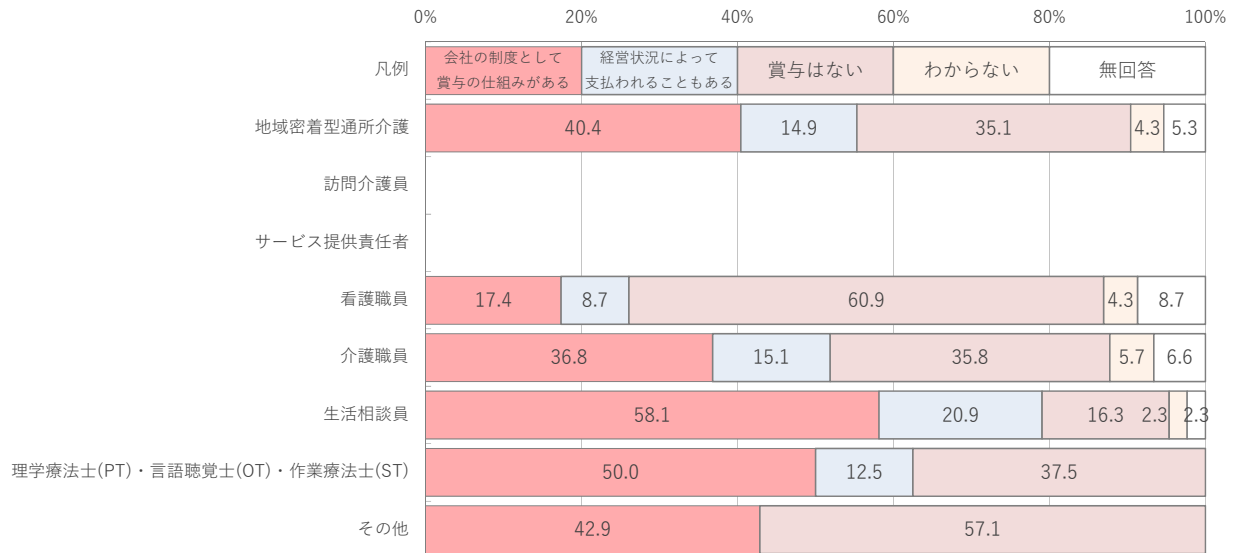
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
地域密着型通所介護	50	101,118	99	3	129,600	20	125	191,905	0	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	14	107,257	89	1	179,200	17	6	227,500	0	-
介護職員	32	100,185	107	1	80,000	20	66	176,034	0	-
生活相談員	2	127,500	131	1	-	22	39	195,410	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	1	27,552	32	0	-	-	7	245,833	0	-
その他	1	63,960	52	0	-	-	6	226,667	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が40.4%、「賞与はない」が35.1%、「経営状況によって支払われることもある」が14.9%となっている。

図表 14-2-6 (N=188)

	(件)						(%)					
	対象者数	組合 社が ある	会 社 の 制 度 と し て 賞 与 の 仕 組 み が あ る	経 営 状 況 に よ っ て 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答	対象者数	組合 社が ある	経 営 状 況 に よ っ て 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い
地域密着型通所介護	188	76	28	66	8	10	100.0	40.4	14.9	35.1	4.3	5.3
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	23	4	2	14	1	2	100.0	17.4	8.7	60.9	4.3	8.7
介護職員	106	39	16	38	6	7	100.0	36.8	15.1	35.8	5.7	6.6
生活相談員	43	25	9	7	1	1	100.0	58.1	20.9	16.3	2.3	2.3
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	8	4	1	3	0	0	100.0	50.0	12.5	37.5	0.0	0.0
その他	7	3	0	4	0	0	100.0	42.9	0.0	57.1	0.0	0.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 179,136 円となっている。「正規職員」の平均は 195,347 円、「非正規職員」の平均は 67,496 円となっている。

職種別にみると、「生活相談員」が 222,765 円となっている。

図表 14-2-7 (N=188)

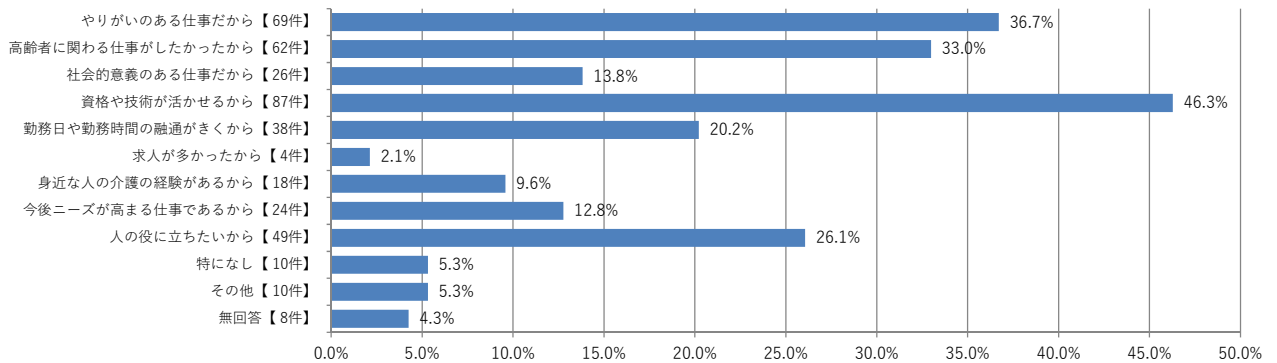
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
地域密着型通所介護	188	55.3	35.1	4.3	5.3	104	179,136	地域密着型通所介護	188	104	66	8	10	104
正規職員	125	69.6	21.6	4.0	4.8	87	195,347	正規職員	125	87	27	5	6	87
非正規職員	58	24.1	65.5	5.2	5.2	14	67,496	非正規職員	58	14	38	3	3	14
無回答	5	60.0	20.0	0.0	20.0	3	230,000	無回答	5	3	1	0	1	3
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	23	26.1	60.9	4.3	8.7	6	52,167	看護職員	23	6	14	1	2	6
介護職員	106	51.9	35.8	5.7	6.6	55	166,603	介護職員	106	55	38	6	7	55
生活相談員	43	79.1	16.3	2.3	2.3	34	222,765	生活相談員	43	34	7	1	1	34
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	8	62.5	37.5	0.0	0.0	5	176,000	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	8	5	3	0	0	5
その他	7	42.9	57.1	0.0	0.0	3	70,000	その他	7	3	4	0	0	3

問3 仕事についての考え方

問3（１）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が46.3%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が36.7%、「高齢者に関わる仕事をしたかったから」が33.0%、「人の役に立ちたいから」が26.1%となっている。

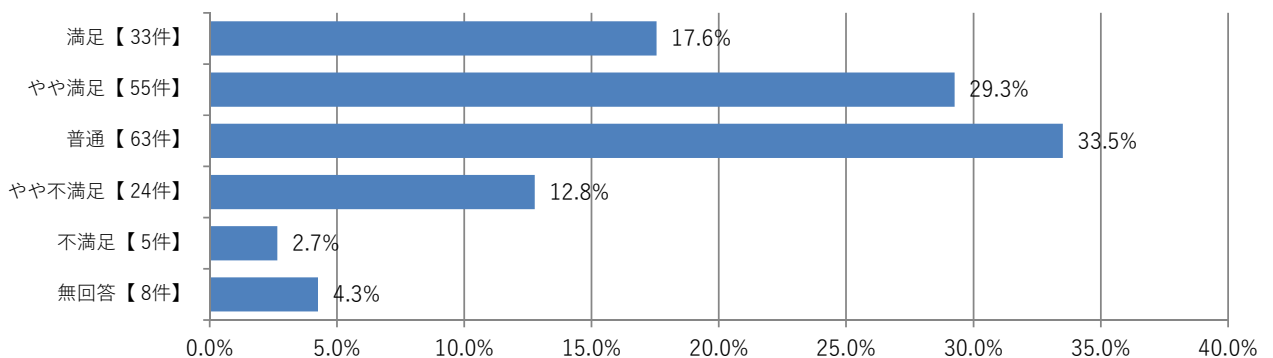
図表 14-3-1 (N=188)



問3（２）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が33.5%と最も多く、次いで、「やや満足」が29.3%、「満足」が17.6%、「やや不満足」が12.8%、「不満足」が2.7%となっている。

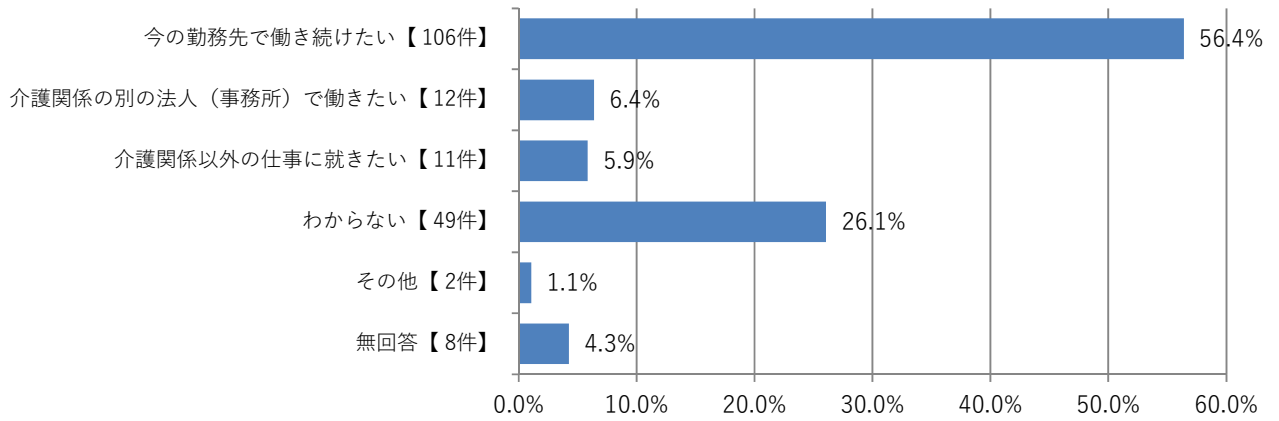
図表 14-3-2 (N=188)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が56.4%と最も多く、次いで、「わからない」が26.1%となっている。

図表 14-3-3 (N=188)

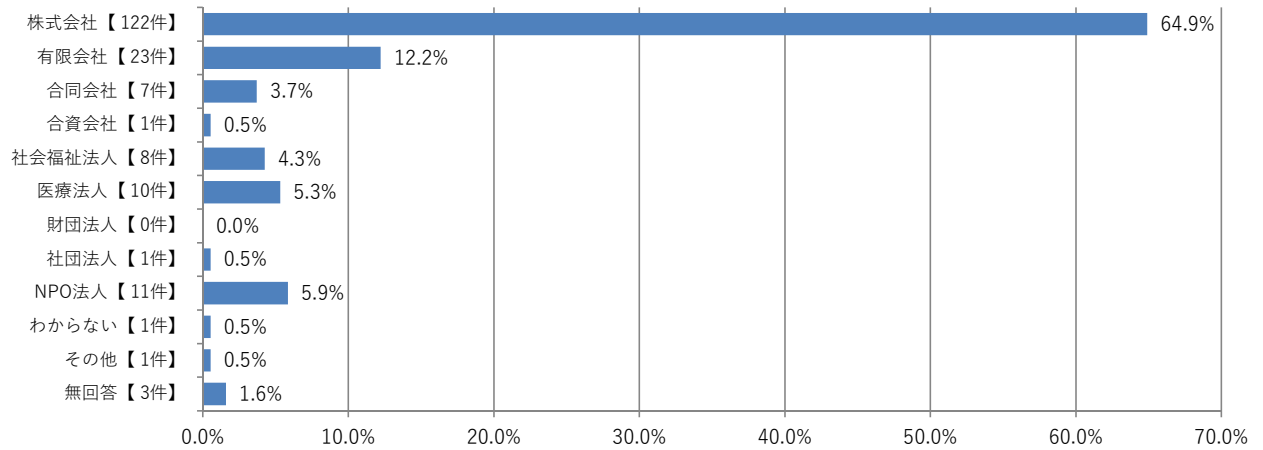


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が64.9%と最も多くなっている。

図表 14-4-1 (N=188)

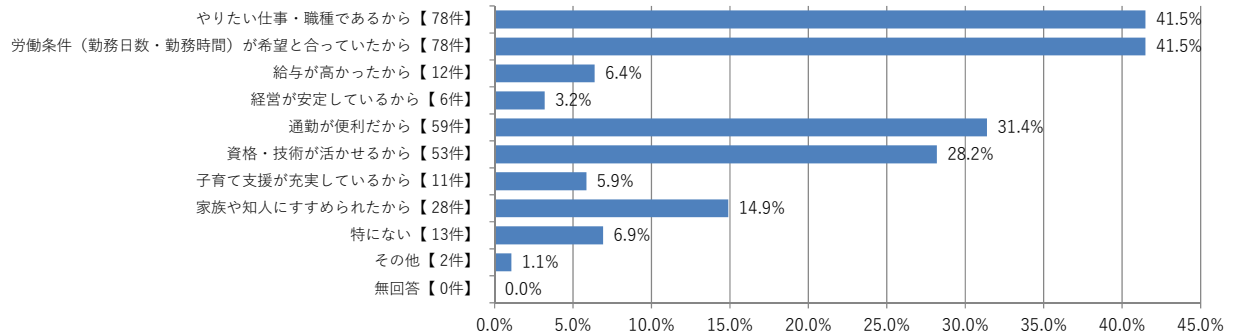


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」、「労働条件が希望と合っていたから」が41.5%と最も多く、次いで、「通勤が便利だから」が31.4%、「資格・技術が活かせるから」が28.2%となっている。

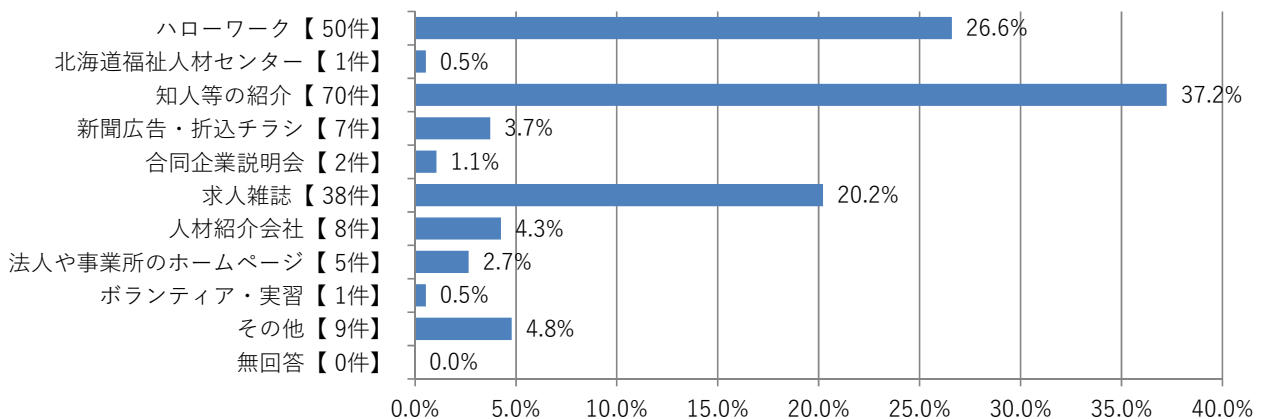
図表 14-5-1 (N=188)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が37.2%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が26.6%、「求人雑誌」が20.2%となっている。

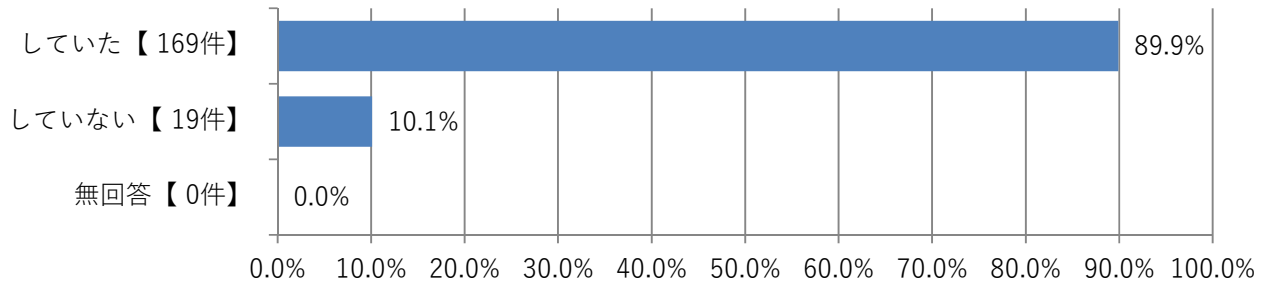
図表 14-5-2 (N=188)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が 89.9%、「仕事をしていない」が 10.1%となっている。

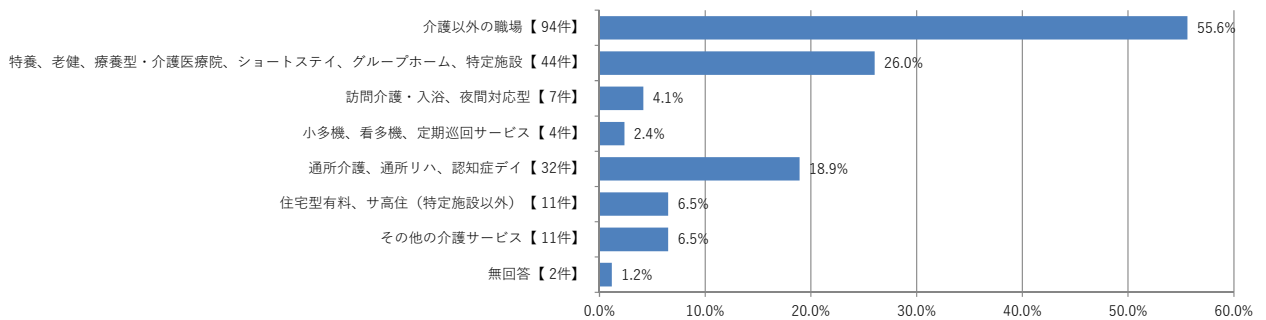
図表 14-5-3 (N=188)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が 55.6%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が 26.0%、「通所介護、通所リハ、認知症デイ」が 18.9%となっている。

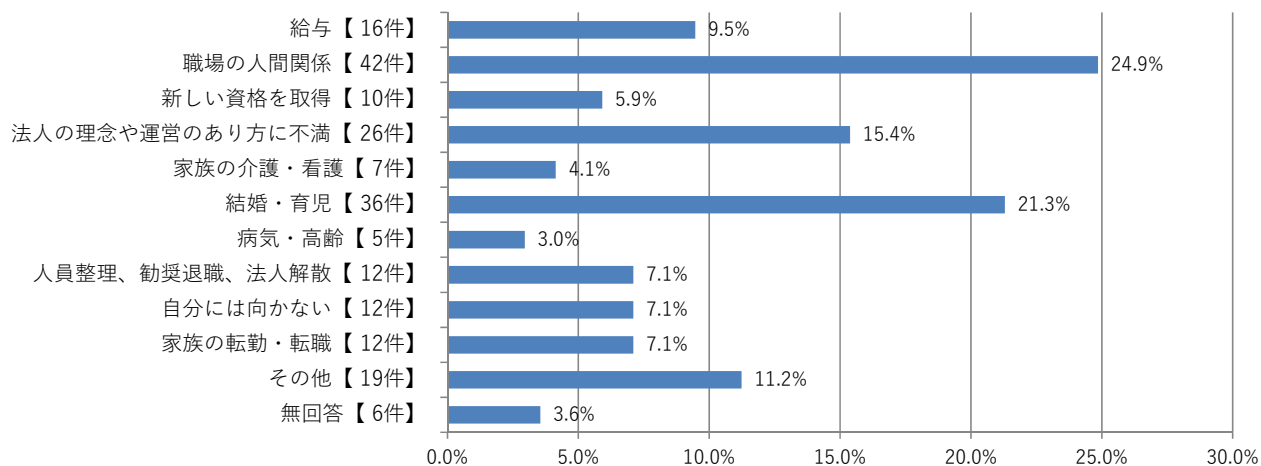
図表 14-5-4 (N=169)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が24.9%と最も多く、次いで、「結婚・育児」が21.3%、「法人の理念や運営のあり方に不満」が15.4%となっている。

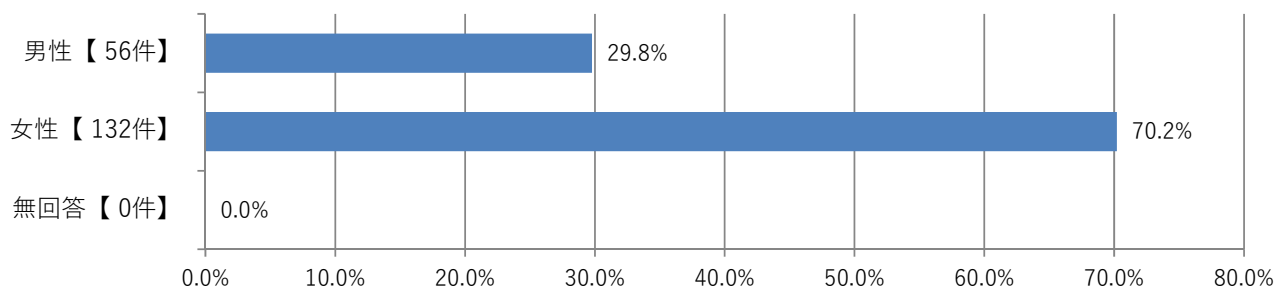
図表 14-5-5 (N=169)



問5（6）性別

性別は、「男性」が29.8%、「女性」が70.2%となっている。

図表 14-5-6 (N=188)



問5（7）年齢

平均年齢は、43.5歳となっている。

図表 14-5-7 (N=188)

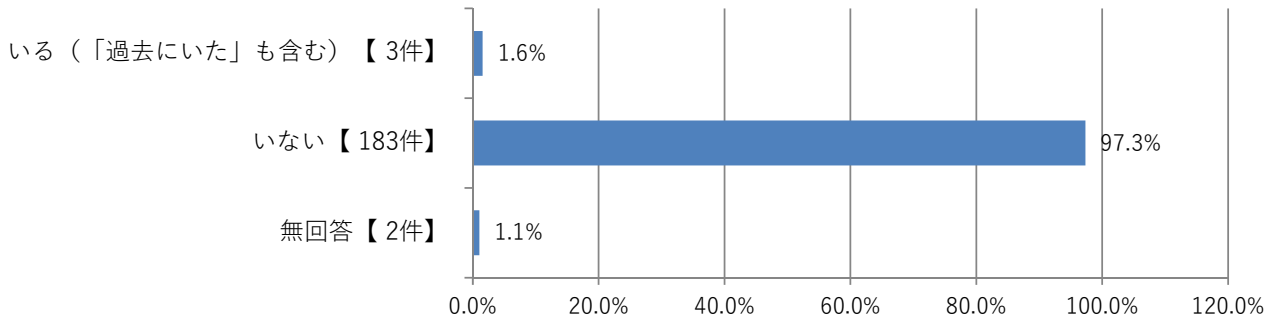
	対象者数	平均年齢（歳）
地域密着型通所介護	188	43.5

問6 外国人介護職員について

問6（１）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が97.3%、「いる（過去にいた）」が1.6%となっている。

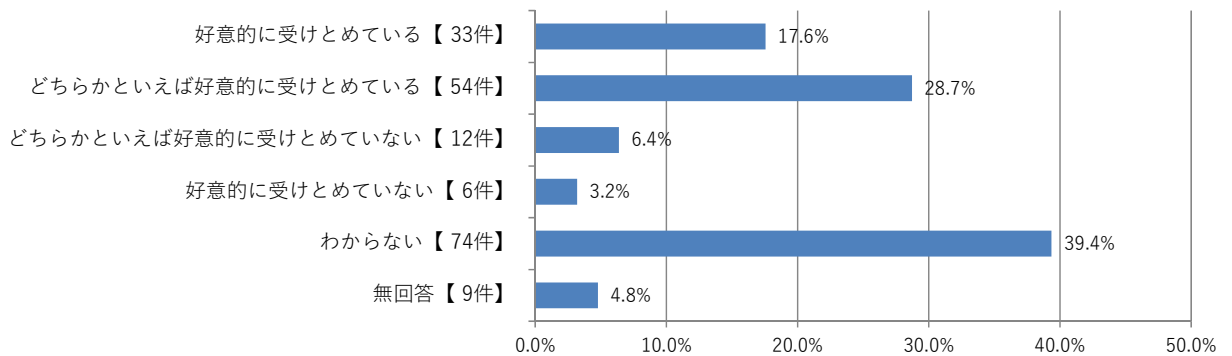
図表 14-6-1 (N=188)



問6（２）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が39.4%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が28.7%、「好意的に受けとめている」が17.6%となっている。

図表 14-6-2 (N=188)

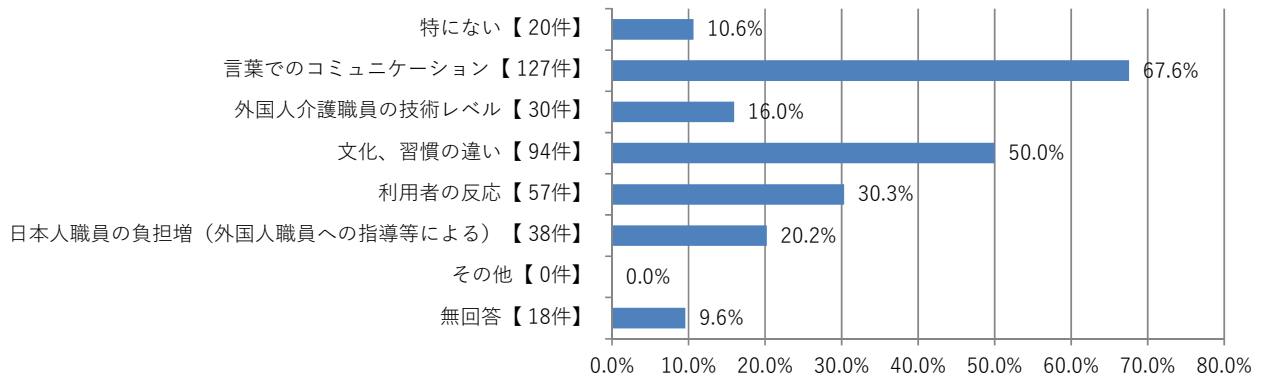


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が67.6%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が50.0%、「利用者の反応」が30.3%となっている。

図表 14-6-3 (N=188)

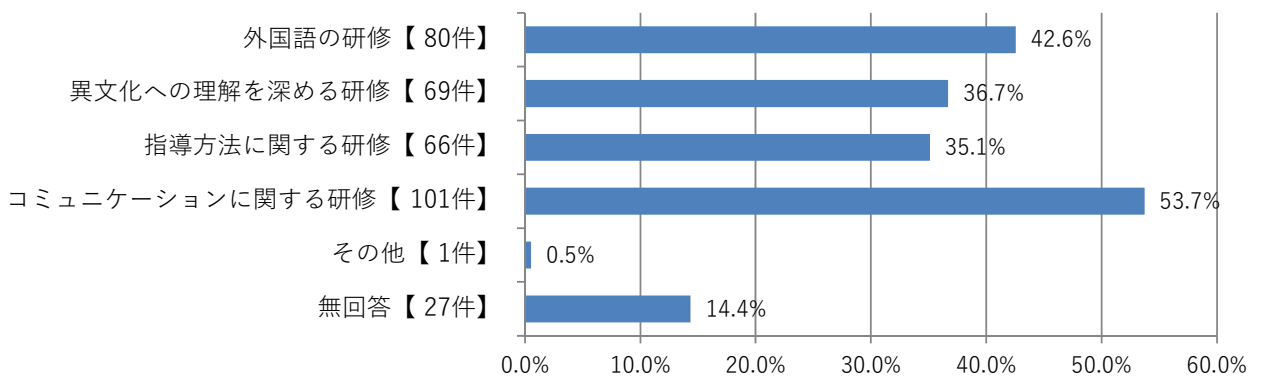


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が53.7%と最も多く、次いで、「外国語の研修」が42.6%、「異文化への理解を深める研修」が36.7%、「指導方法に関する研修」が35.1%となっている。

図表 14-6-4 (N=188)



⑮ 認知症対応型通所介護

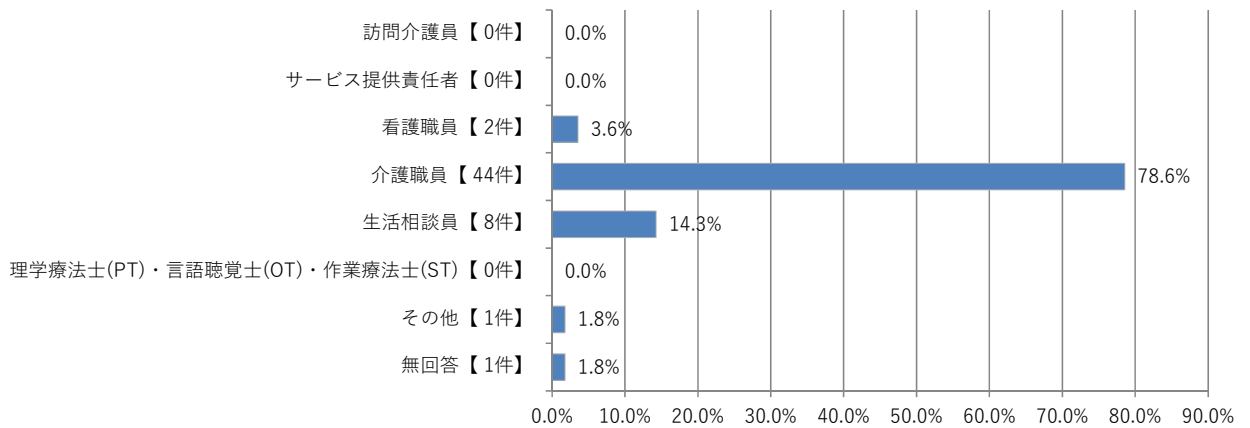
回答者数 56

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が78.6%と最も多く、次いで、「生活相談員」が14.3%となっている。

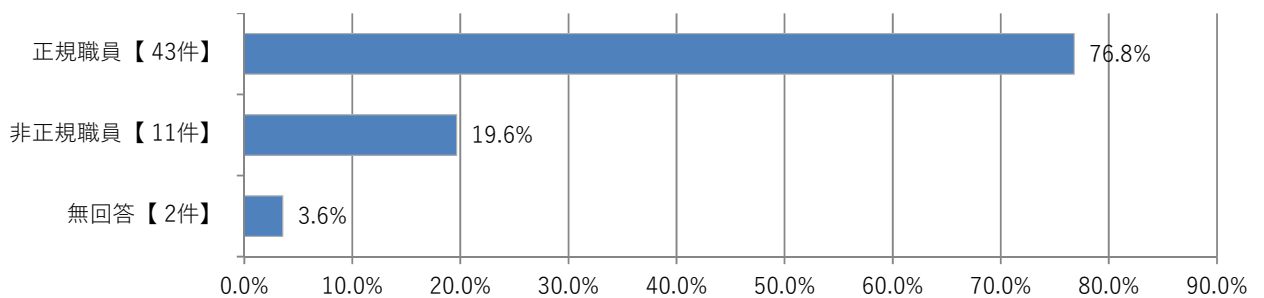
図表 15-1-1 (N=56)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が76.8%、「非正規職員」が19.6%となっている。

図表 15-1-2 (N=56)

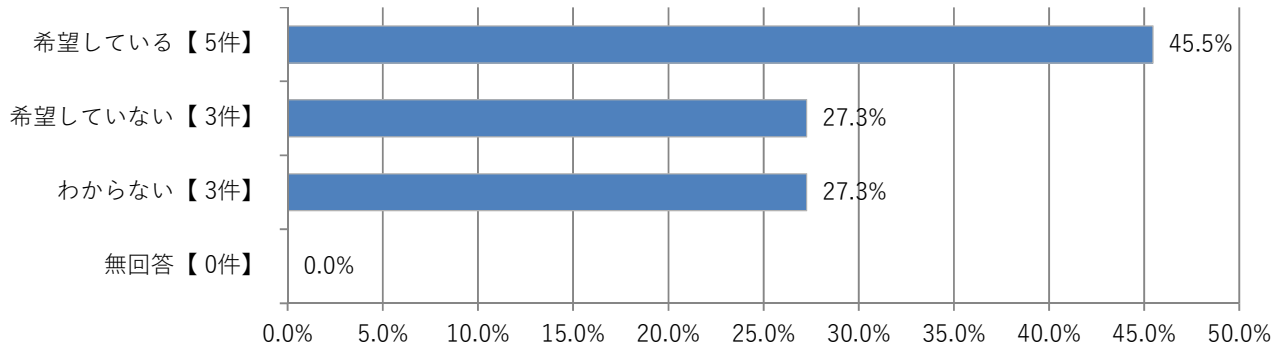


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望している」が45.5%と最も多く、次いで、「希望していない」、「わからない」が27.3%となっている。

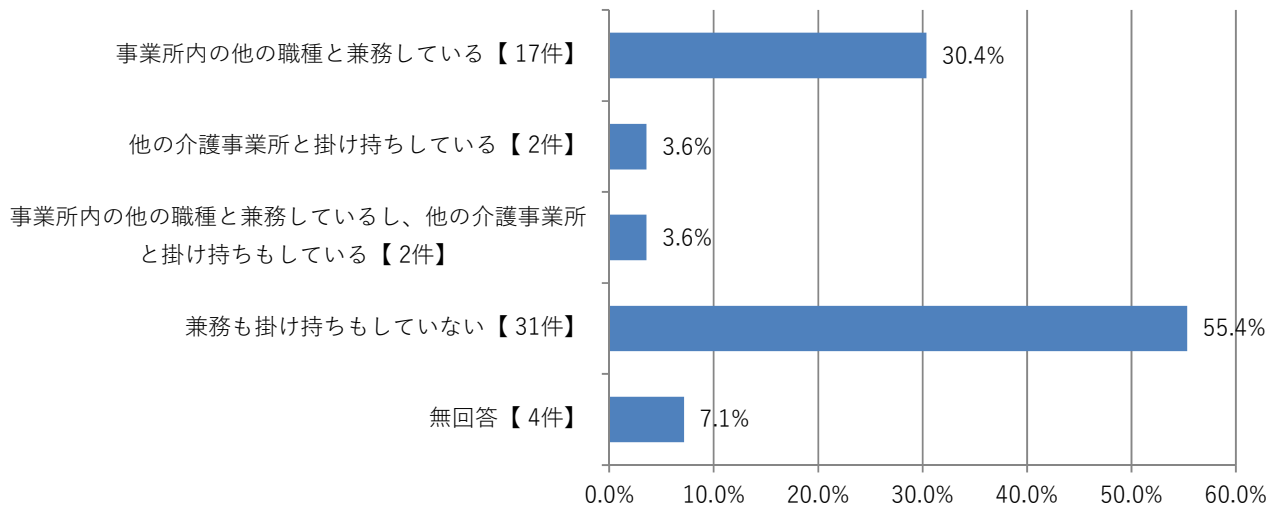
図表 15-1-3 (N=11)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が55.4%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が30.4%となっている。

図表 15-1-4 (N=56)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が11.0年となっており、「正規職員」が11.4年、「非正規職員」が9.3年となっている。

図表 15-1-5 (N=56)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
認知症対応型通所介護	56	11.0	11.4	9.3	11.5

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が6.5年、「正規職員」が6.8年、「非正規職員」が4.7年となっている。

図表 15-1-6 (N=56)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
認知症対応型通所介護	56	6.5	6.8	4.7	9.7

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.8日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が4.0日となっている。

職種別では、「生活相談員」が5.1日となっている。

図表 15-2-1 (N=56)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
認知症対応型通所介護	56	4.8	5.0	4.0	5.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	2	3.5	3.0	4.0	-
介護職員	44	4.8	5.1	4.0	5.0
生活相談員	8	5.1	5.1	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	5.0	5.0	-	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が37.8時間、「正規職員」が39.4時間、「非正規職員」が31.0時間となっている。

職種別では「その他」が40.0時間、「生活相談員」が39.8時間となっている。

図表 15-2-2 (N=56)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
認知症対応型通所介護	56	37.8	39.4	31.0	37.5
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	2	31.3	25.5	37.0	-
介護職員	44	37.6	39.8	30.3	35.0
生活相談員	8	39.8	39.8	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	40.0	40.0	-	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が1.9時間、「正規職員」が2.1時間、「非正規職員」が0.9時間となっている。

職種別では、「生活相談員」が2.4時間となっている。

図表 15-2-3 (N=56)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
認知症対応型通所介護	56	1.9	2.1	0.9	3.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	2	1.5	3.0	0.0	-
介護職員	44	1.9	2.1	1.0	5.0
生活相談員	8	2.4	2.4	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	0.0	0.0	-	-

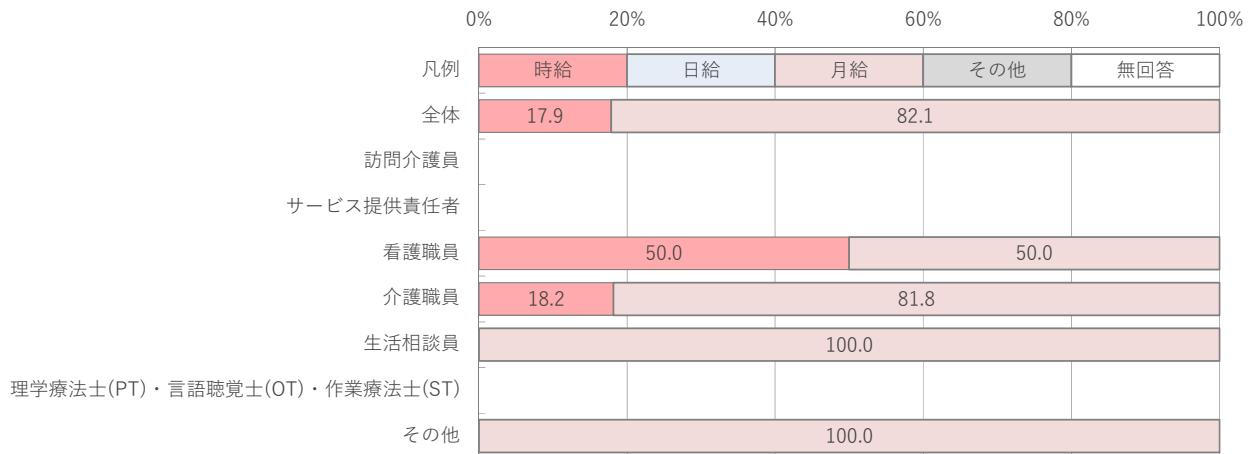
問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が82.1%、「時給」が17.9%となっている。

時給の平均は、1,082円となっている。

図表 15-2-4 (N=56)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
認知症対応型通所介護	56	10	0	46	0	0	1,082	-
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	2	1	0	1	0	0	1,393	-
介護職員	44	8	0	36	0	0	1,040	-
生活相談員	8	0	0	8	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	1	0	0	1	0	0	-	-



問2 (5) 1 か月当たりの税込み月収

1 か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が 193,122 円、「時給」が 132,141 円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護職員」が 194,425 円となっている。

図表 15-2-5 (N=56)

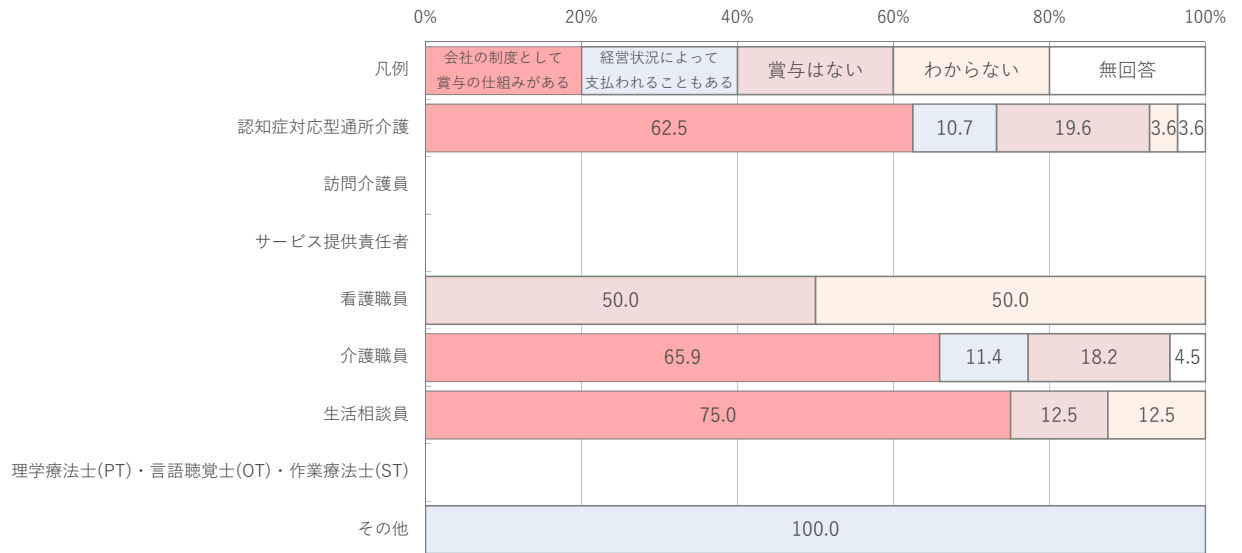
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
認知症対応型通所介護	10	132,141	122	0	-	-	46	193,122	0	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	1	220,000	158	0	-	-	1	110,000	0	-
介護職員	8	115,176	111	0	-	-	36	194,425	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	8	181,071	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	1	315,000	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 62.5%、「賞与はない」が 19.6%、「経営状況によって支払われることもある」が 10.7%となっている。

図表 15-2-6 (N=56)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
認知症対応型通所介護	56	35	6	11	2	2	100.0	62.5	10.7	19.6	3.6	3.6
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	2	0	0	1	1	0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
介護職員	44	29	5	8	0	2	100.0	65.9	11.4	18.2	0.0	4.5
生活相談員	8	6	0	1	1	0	100.0	75.0	0.0	12.5	12.5	0.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	1	0	1	0	0	0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 255,348 円となっている。「正規職員」の平均は 283,294 円、「非正規職員」の平均は 92,333 円となっている。

職種別にみると、「生活相談員」が 385,000 円となっている。

図表 15-2-7 (N=56)

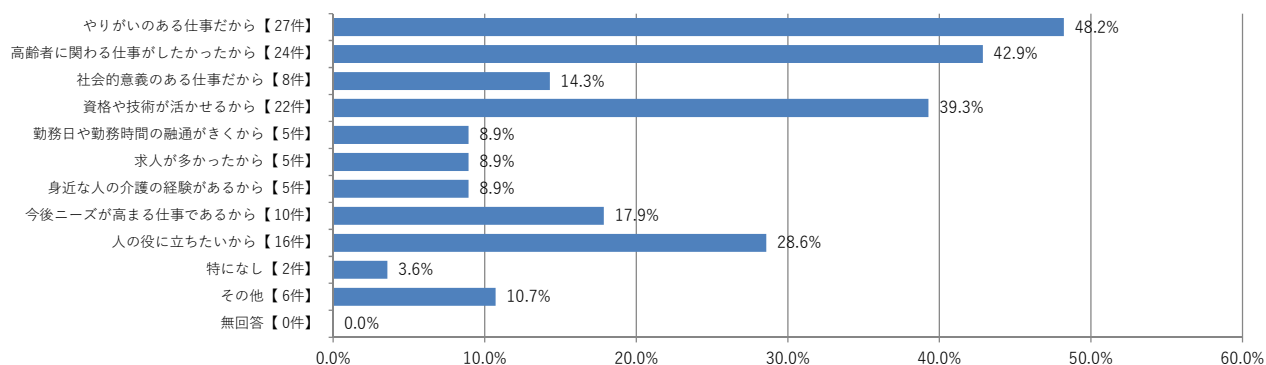
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
認知症対応型通所介護	56	73.2	19.6	3.6	3.6	41	255,348	認知症対応型通所介護	56	41	11	2	2	41
正規職員	43	81.4	11.6	4.7	2.3	35	283,294	正規職員	43	35	5	2	1	35
非正規職員	11	54.5	45.5	0.0	0.0	6	92,333	非正規職員	11	6	5	0	0	6
無回答	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0	-	無回答	2	0	1	0	1	0
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0	-	看護職員	2	0	1	1	0	0
介護職員	44	77.3	18.2	0.0	4.5	34	239,979	介護職員	44	34	8	0	2	34
生活相談員	8	75.0	12.5	12.5	0.0	6	385,000	生活相談員	8	6	1	1	0	6
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	0	その他	1	1	0	0	0	1

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「やりがいのある仕事だから」が48.2%と最も多く、次いで、「高齢者に関わる仕事がしたかったから」が42.9%、「資格や技術が活かせるから」が39.3%、「人の役に立ちたいから」が28.6%となっている。

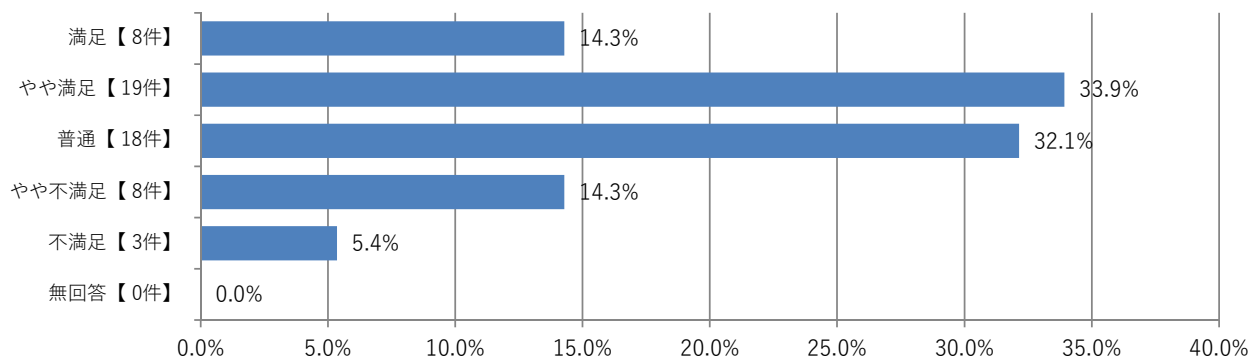
図表 15-3-1 (N=56)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「やや満足」が33.9%と最も多く、次いで、「普通」が32.1%、「満足」、「やや不満足」が14.3%、「不満足」が5.4%となっている。

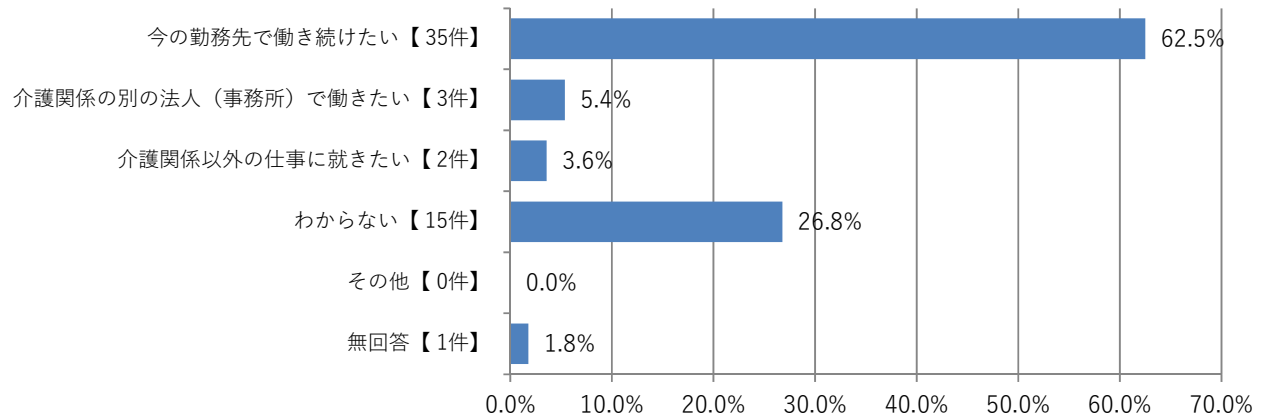
図表 15-3-2 (N=56)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が62.5%と最も多く、次いで、「わからない」が26.8%となっている。

図表 15-3-3 (N=56)

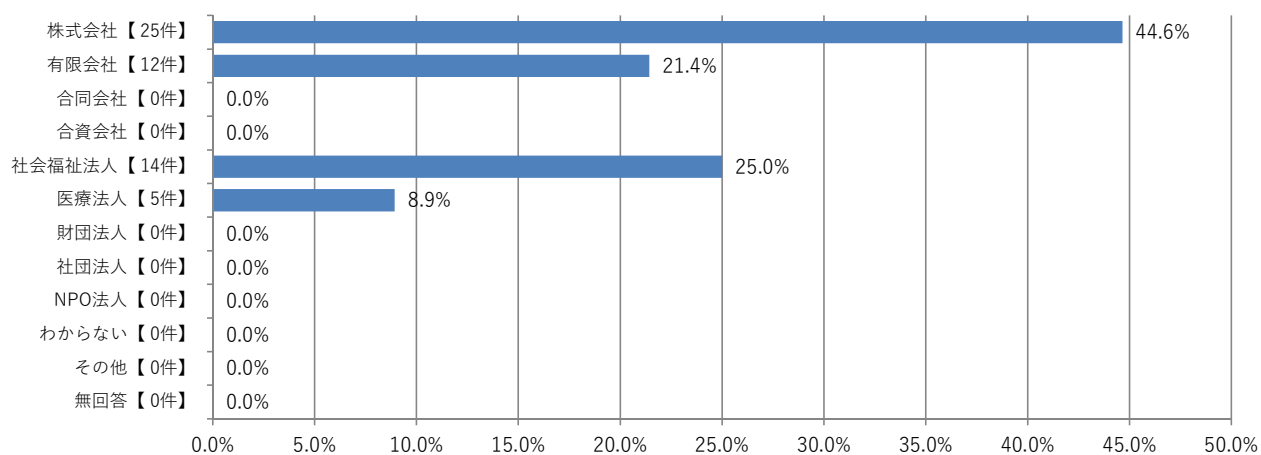


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が44.6%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が25.0%、「有限会社」が21.4%、「医療法人」が8.9%となっている。

図表 15-4-1 (N=56)

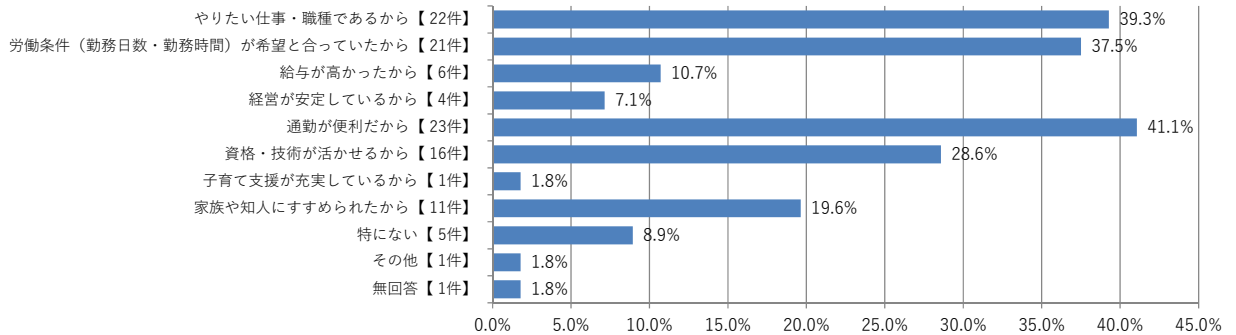


問5 あなた自身の仕事について

問5（１）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「通勤が便利だから」が41.1%と最も多く、次いで、「やりたい仕事・職種であるから」が39.3%、「労働条件が希望と合っていたから」が37.5%、「資格・技術が活かせるから」が28.6%となっている。

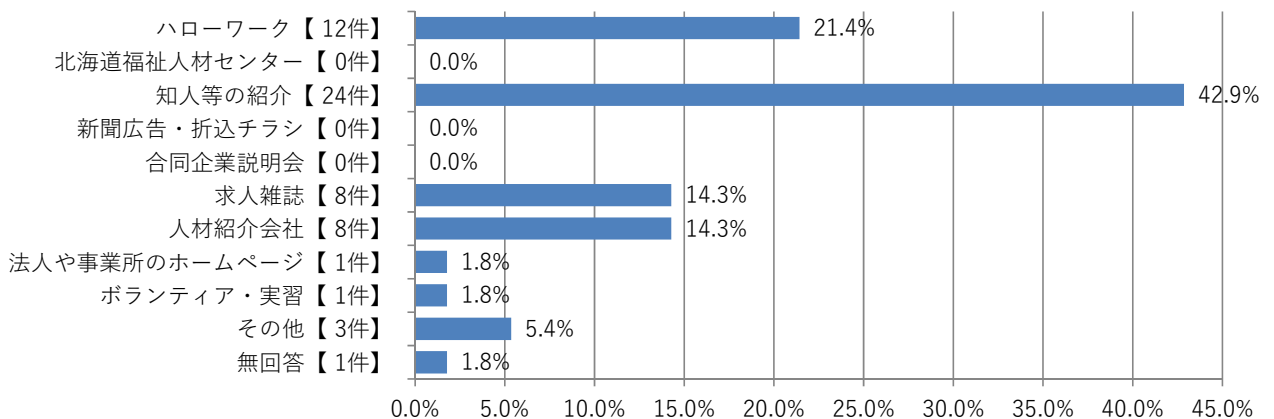
図表 15-5-1 (N=56)



問5（２）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が42.9%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が21.4%、「求人雑誌」、「人材紹介会社」が14.3%となっている。

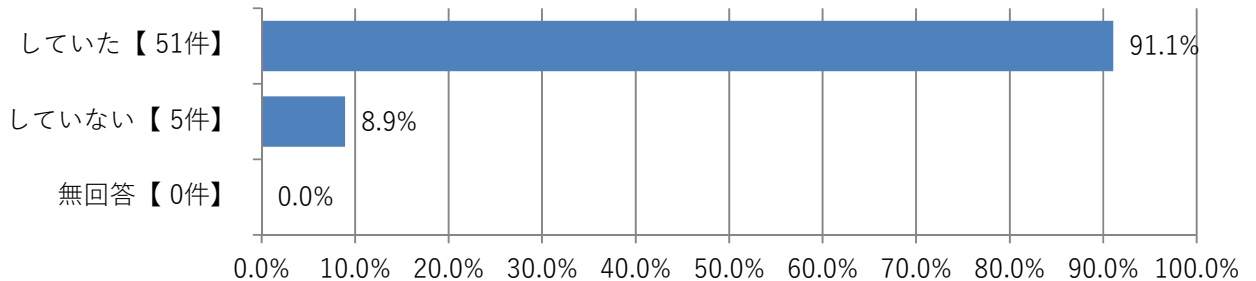
図表 15-5-2 (N=56)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が91.1%、「仕事をしていない」が8.9%となっている。

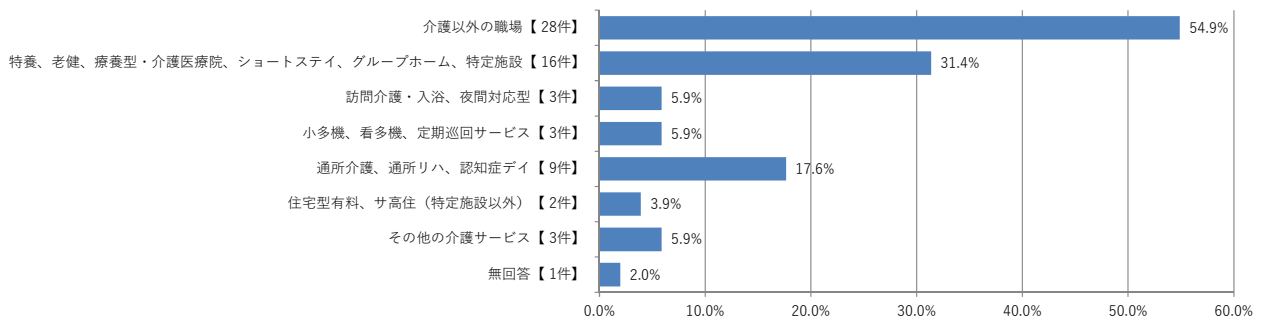
図表 15-5-3 (N=56)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が54.9%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が31.4%、「通所介護、通所リハ、認知症デイ」が17.6%となっている。

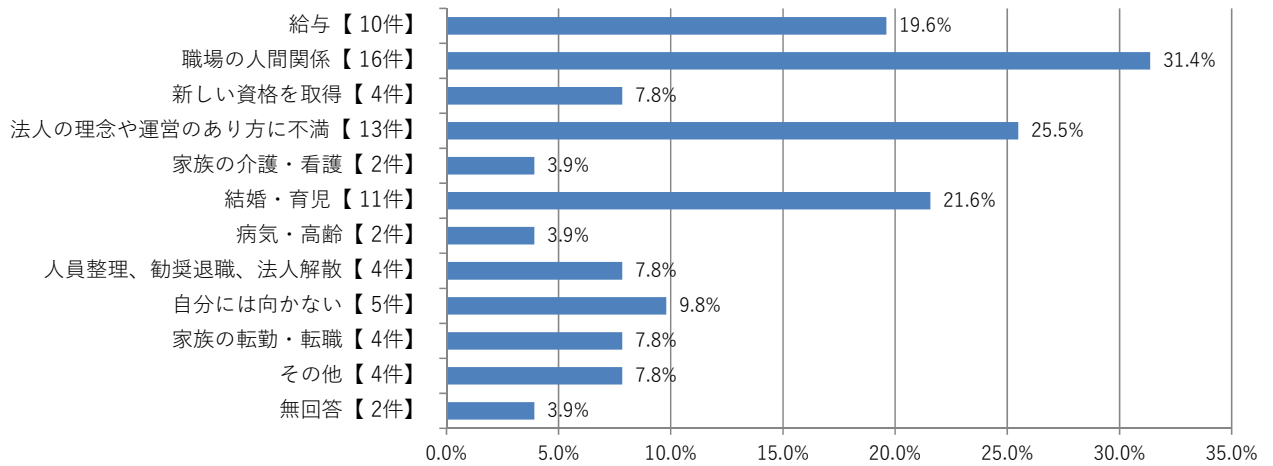
図表 15-5-4 (N=51)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が31.4%と最も多く、次いで、「法人の理念や運営のあり方に不満」が25.5%、「結婚・育児」が21.6%、「給与」が19.6%となっている。

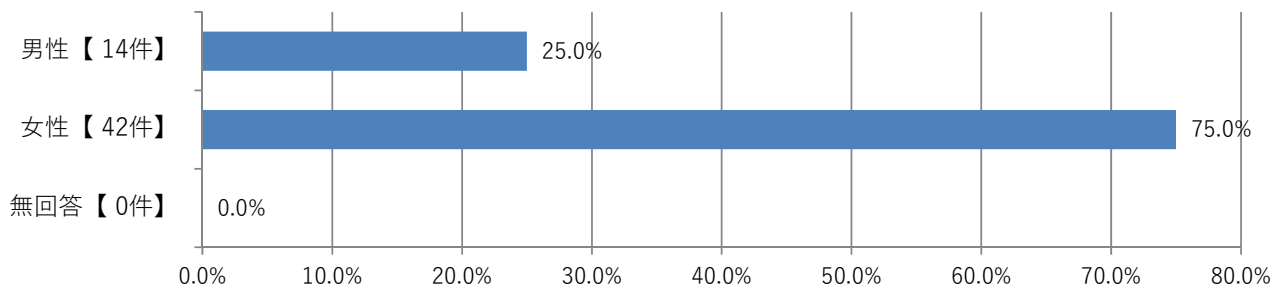
図表 15-5-5 (N=56)



問5（6）性別

性別は、「男性」が25.0%、「女性」が75.0%となっている。

図表 15-5-6 (N=56)



問5（7）年齢

平均年齢は、46.3歳となっている。

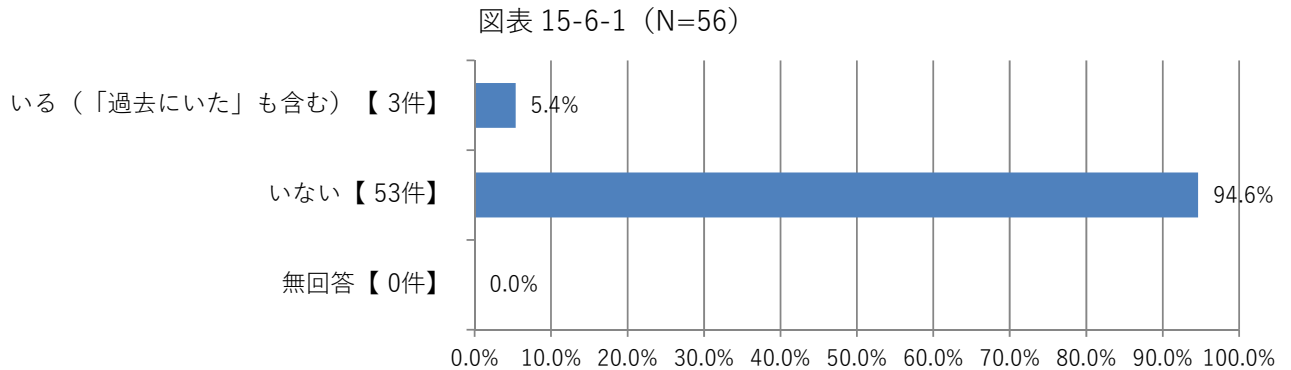
図表 15-5-7 (N=56)

	対象者数	平均年齢（歳）
認知症対応型通所介護	56	46.3

問6 外国人介護職員について

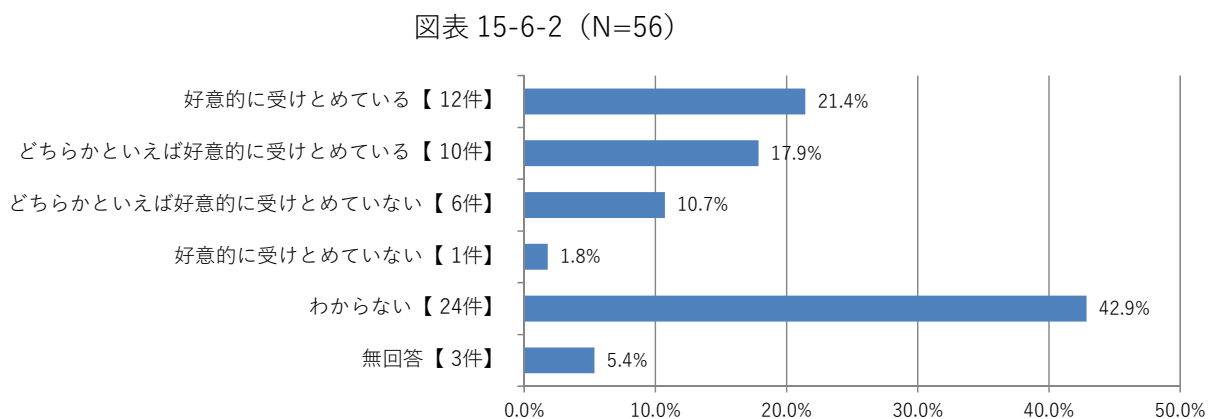
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が94.6%、「いる（過去にいた）」が5.4%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が42.9%と最も多く、次いで、「好意的に受けとめている」が21.4%、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が17.9%、「どちらかといえば好意的に受けとめていない」が10.7%、「好意的に受けとめていない」が1.8%となっている。

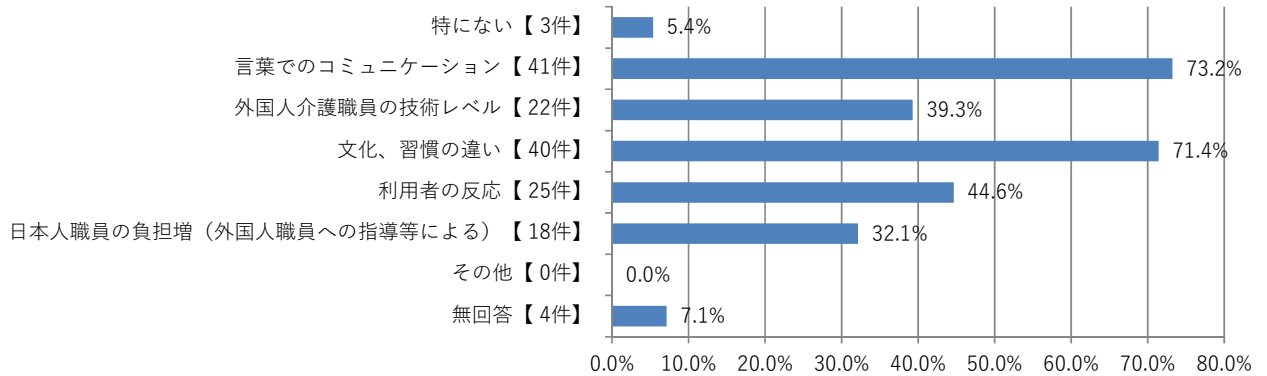


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が73.2%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が71.4%、「利用者の反応」が44.6%、「外国人介護職員の技術レベル」が39.3%、「日本人職員の負担増」が32.1%となっている。

図表 15-6-3 (N=56)

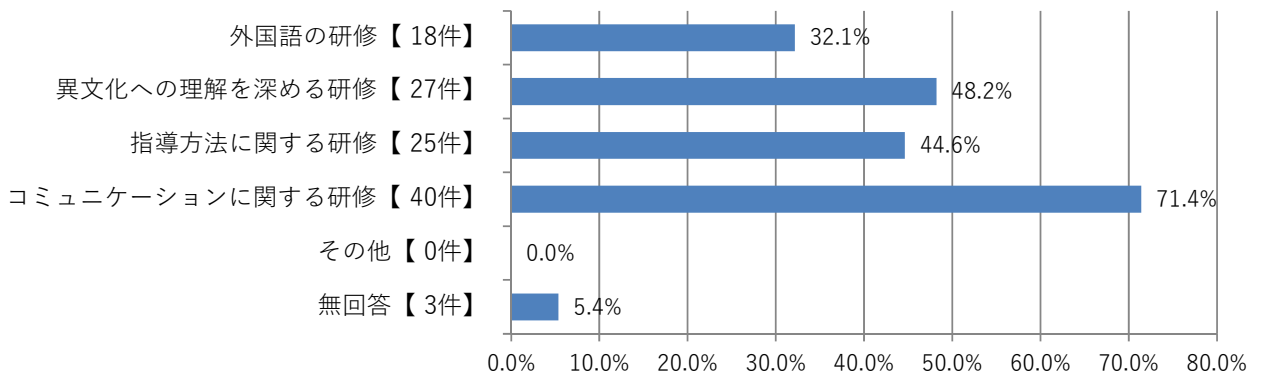


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が71.4%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」が48.2%、「指導方法に関する研修」が44.6%、「外国語の研修」が32.1%となっている。

図表 15-6-4 (N=56)



⑩小規模多機能型居宅介護

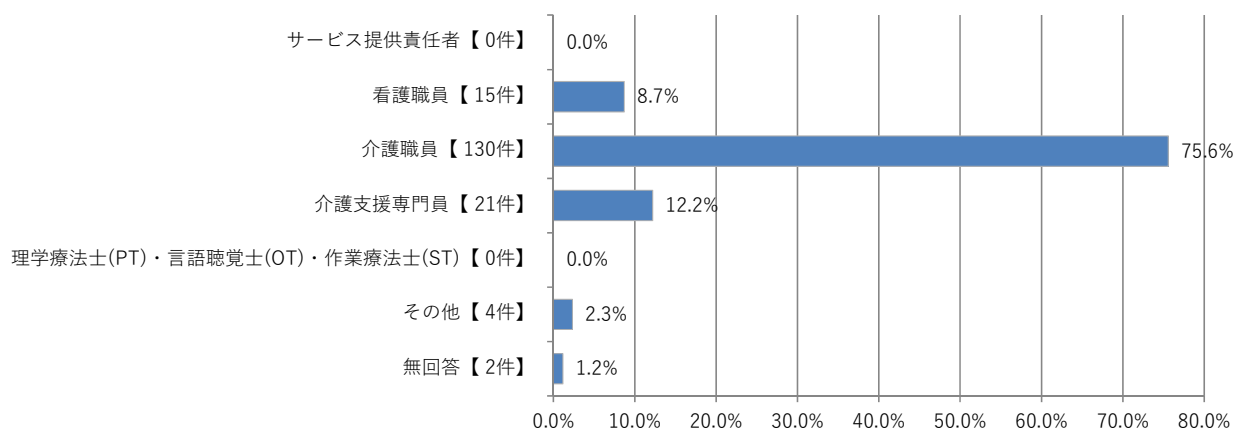
回答者数 172

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が75.6%と最も多く、次いで、「介護支援専門員」が12.2%となっている。

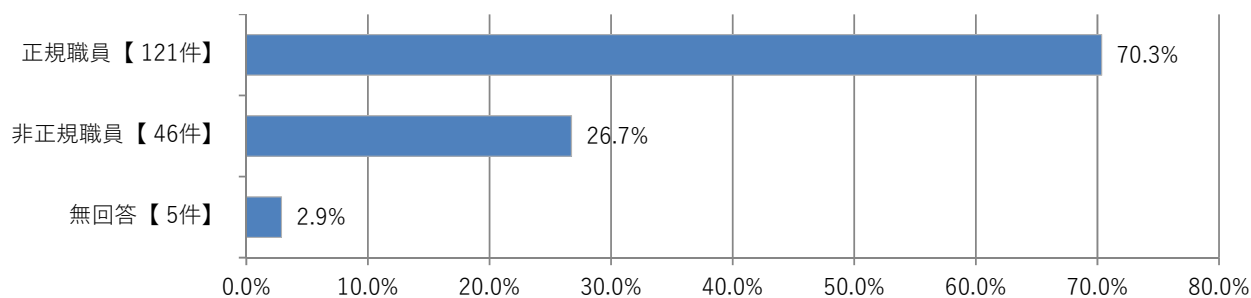
図表 16-1-1 (N=172)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が70.3%、「非正規職員」が26.7%となっている。

図表 16-1-2 (N=172)

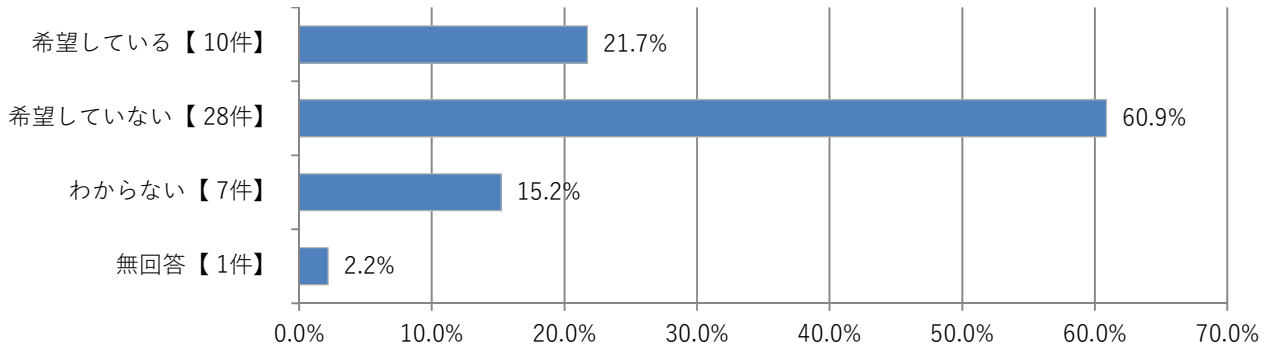


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が60.9%と最も多く、次いで、「希望している」が21.7%、「わからない」が15.2%となっている。

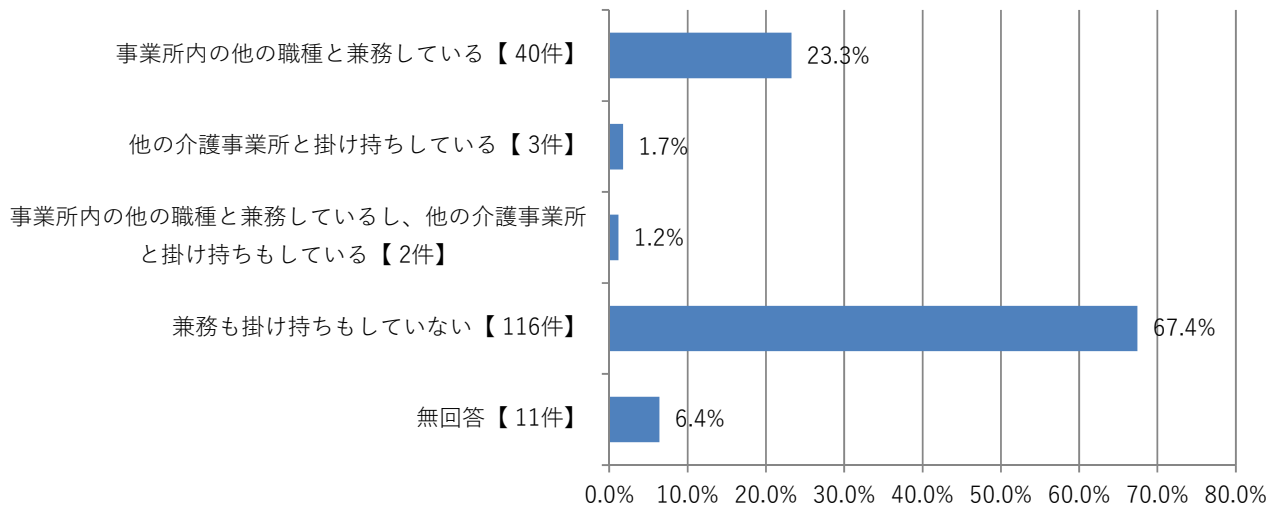
図表 16-1-3 (N=46)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が67.4%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が23.3%となっている。

図表 16-1-4 (N=172)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が10.0年となっており、「正規職員」が10.5年、「非正規職員」が8.8年となっている。

図表 16-1-5 (N=172)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
小規模多機能型居宅介護	172	10.0	10.5	8.8	9.6

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が4.9年、「正規職員」が5.0年、「非正規職員」が5.1年となっている。

図表 16-1-6 (N=172)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
小規模多機能型居宅介護	172	4.9	5.0	5.1	3.2

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.8日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が4.2日となっている。

職種別では、「看護職員」、「介護職員」が4.8日、「その他」が5.0日となっている。

図表 16-2-1 (N=172)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
小規模多機能型居宅介護	172	4.8	5.0	4.2	4.8
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	15	4.8	5.0	4.4	-
介護職員	130	4.8	5.0	4.3	4.7
介護支援専門員	21	4.7	5.1	3.7	5.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	4	5.0	5.0	5.0	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が36.8時間、「正規職員」が39.9時間、「非正規職員」が29.0時間となっている。

職種別では「介護職員」が37.4時間となっている。

図表 16-2-2 (N=172)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
小規模多機能型居宅介護	172	36.8	39.9	29.0	34.8
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	15	35.6	36.5	33.3	-
介護職員	130	37.4	40.1	30.2	38.9
介護支援専門員	21	36.4	42.4	24.8	22.5
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	4	22.5	30.0	0.0	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が1.5時間、「正規職員」が1.8時間、「非正規職員」が0.9時間となっている。

職種別では、「介護職員」が0.9時間、「その他」が8.3時間、「介護支援専門員」が2.8時間となっている。

図表 16-2-3 (N=172)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
小規模多機能型居宅介護	172	1.5	1.8	0.9	0.6
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	15	1.4	1.4	1.4	-
介護職員	130	0.9	1.2	0.3	0.8
介護支援専門員	21	2.8	4.0	0.3	0.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	4	8.3	3.3	23.0	-

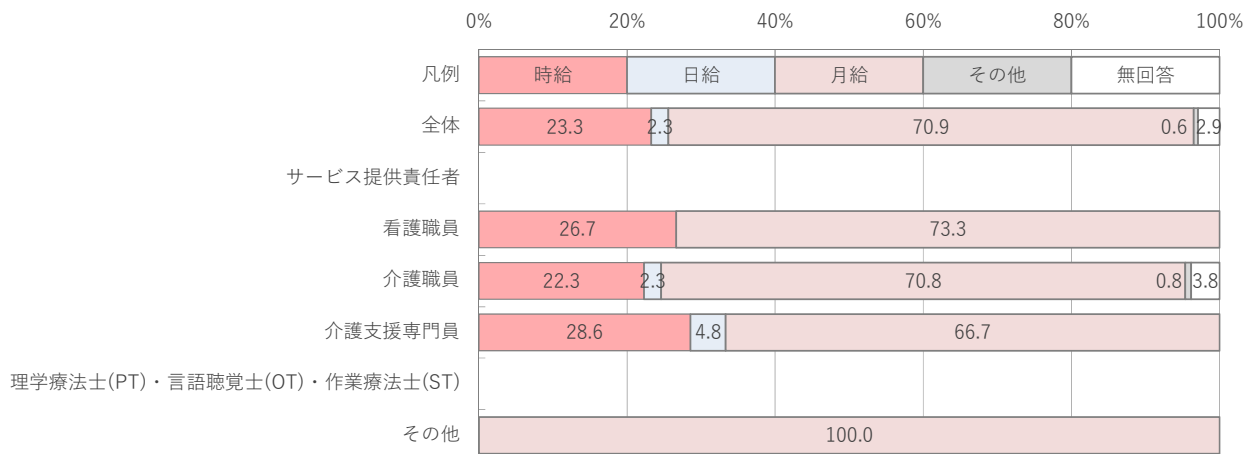
問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が70.9%、「時給」が23.3%、「日給」が2.3%となっている。

時給の平均は、1,032円、日給の平均は8,560円となっている。

図表 16-2-4 (N=172)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円/時間)	日給 (円/日)
小規模多機能型居宅介護	172	40	4	122	1	5	1,032	8,560
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	15	4	0	11	0	0	1,363	-
介護職員	130	29	3	92	1	5	972	8,560
介護支援専門員	21	6	1	14	0	0	1,132	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	4	0	0	4	0	0	-	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が196,856円、「時給」が120,672円、「日給」が192,500円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護職員」が186,567円となっている。

図表 16-2-5 (N=172)

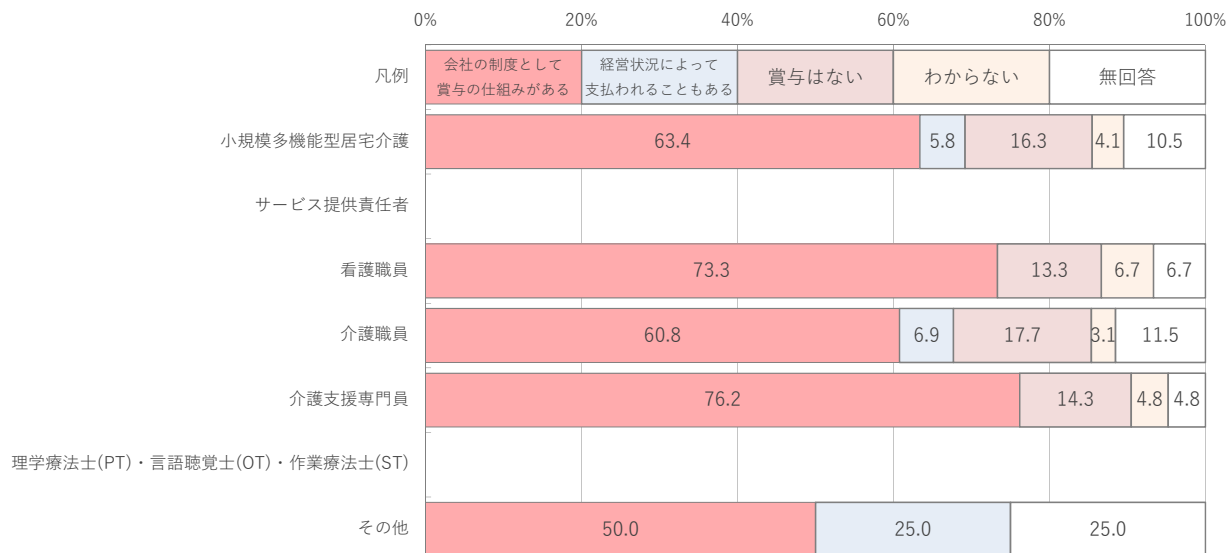
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円/時間)	平均稼働時間 (時間/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/日)	平均稼働日数 (日/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)
小規模多機能型居宅介護	40	120,672	117	4	192,500	21	122	196,856	1	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	4	164,000	120	0	-	-	11	243,636	0	-
介護職員	29	116,042	119	3	190,000	21	92	186,567	1	-
介護支援専門員	6	123,250	109	1	200,000	20	14	224,208	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	4	213,864	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 63.4%、「賞与はない」が 16.3%、「経営状況によって支払われることもある」が 5.8%となっている。

図表 16-2-6 (N=172)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が ある	経営 状況 によ って 支払 われ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答	対象者数	会社が ある	経営 状況 によ って 支払 われ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答
小規模多機能型居宅介護	172	109	10	28	7	18	100.0	63.4	5.8	16.3	4.1	10.5
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	15	11	0	2	1	1	100.0	73.3	0.0	13.3	6.7	6.7
介護職員	130	79	9	23	4	15	100.0	60.8	6.9	17.7	3.1	11.5
介護支援専門員	21	16	0	3	1	1	100.0	76.2	0.0	14.3	4.8	4.8
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	4	2	1	0	0	1	100.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 241,321 円となっている。「正規職員」の平均は 268,374 円、「非正規職員」の平均は 89,250 円となっている。

職種別にみると、「看護職員」が 397,886 円となっている。

図表 16-2-7 (N=172)

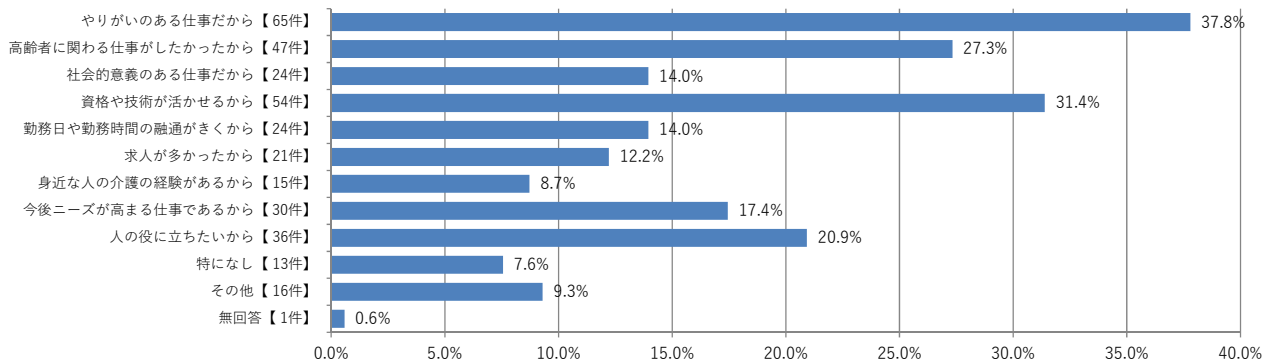
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)	(件)						
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答			対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)	
小規模多機能型居宅介護	172	69.2	16.3	4.1	10.5	119	241,321	小規模多機能型居宅介護	172	119	28	7	18	119
正規職員	121	80.2	8.3	1.7	9.9	97	268,374	正規職員	121	97	10	2	12	97
非正規職員	46	43.5	39.1	6.5	10.9	20	89,250	非正規職員	46	20	18	3	5	20
無回答	5	40.0	0.0	40.0	20.0	2	450,000	無回答	5	2	0	2	1	2
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	15	73.3	13.3	6.7	6.7	11	397,886	看護職員	15	11	2	1	1	11
介護職員	130	67.7	17.7	3.1	11.5	88	218,188	介護職員	130	88	23	4	15	88
介護支援専門員	21	76.2	14.3	4.8	4.8	16	275,000	介護支援専門員	21	16	3	1	1	16
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	4	75.0	0.0	0.0	25.0	3	200,000	その他	4	3	0	0	1	3

問3 仕事についての考え方

問3（１）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「やりがいのある仕事だから」が 37.8%と最も多く、次いで、「資格や技術が活かせるから」が 31.4%、「高齢者に関わる仕事をしたかったから」が 27.3%、「人の役に立ちたいから」が 20.9%となっている。

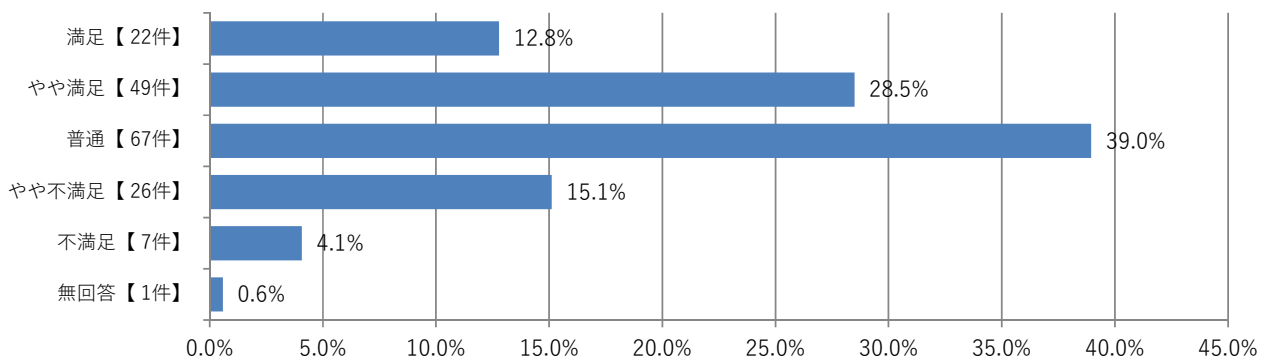
図表 16-3-1 (N=172)



問3（２）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が 39.0%と最も多く、次いで、「やや満足」が 28.5%、「やや不満足」が 15.1%、「満足」が 12.8%、「不満足」が 4.1%となっている。

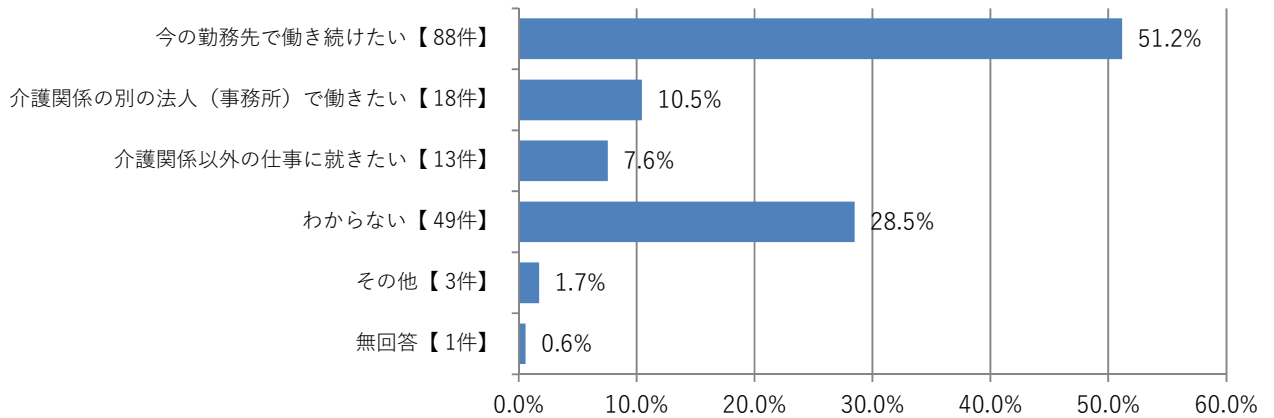
図表 16-3-2 (N=172)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が 51.2%と最も多く、次いで、「わからない」が 28.5%となっている。

図表 16-3-3 (N=172)

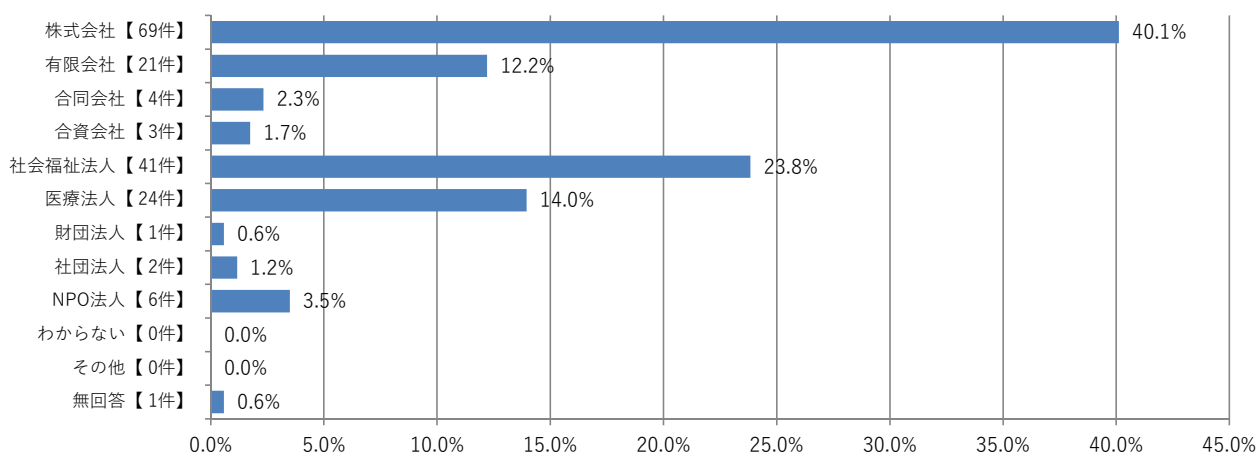


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が40.1%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が23.8%、「医療法人」が14.0%、「有限会社」が12.2%となっている。

図表 16-4-1 (N=172)

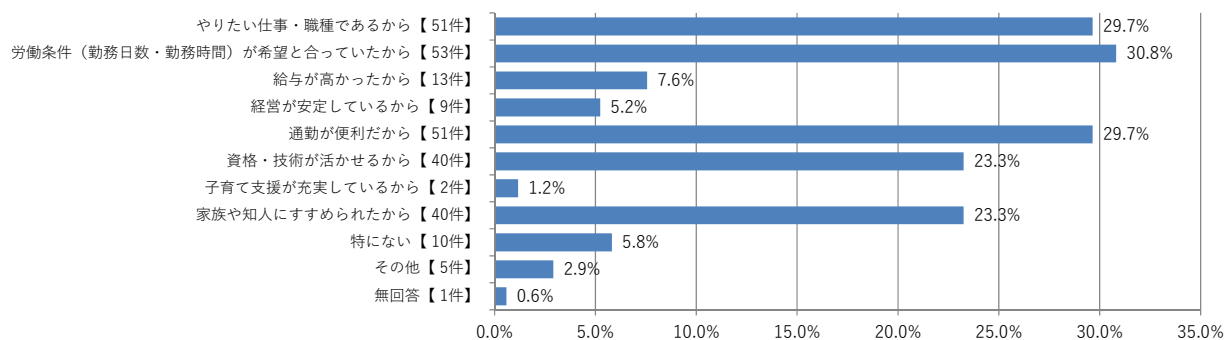


問5 あなた自身の仕事について

問5（１）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「労働条件が希望と合っていたから」が30.8%が最も多く、次いで、「やりたい仕事・職種であるから」、「通勤が便利だから」が29.7%、「資格・技術が活かせるから」、「家族や知人にすすめられたから」が23.3%となっている。

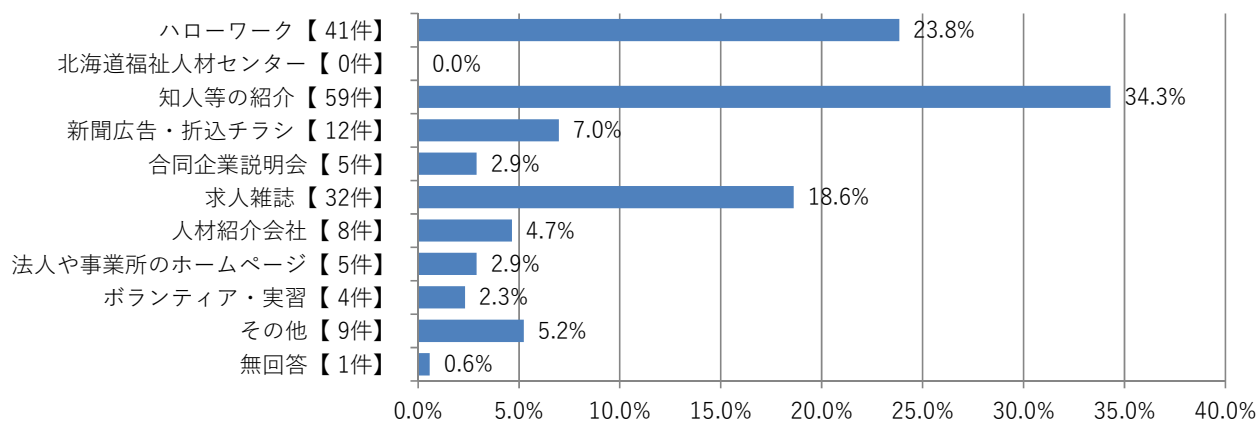
図表 16-5-1 (N=172)



問5（２）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が34.9%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が23.8%、「求人雑誌」が20.9%となっている。

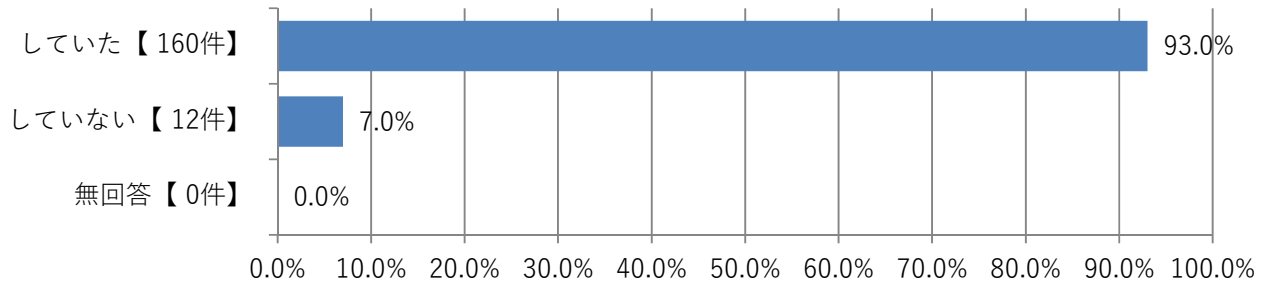
図表 16-5-2 (N=172)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が93.0%、「仕事をしていない」が7.0%となっている。

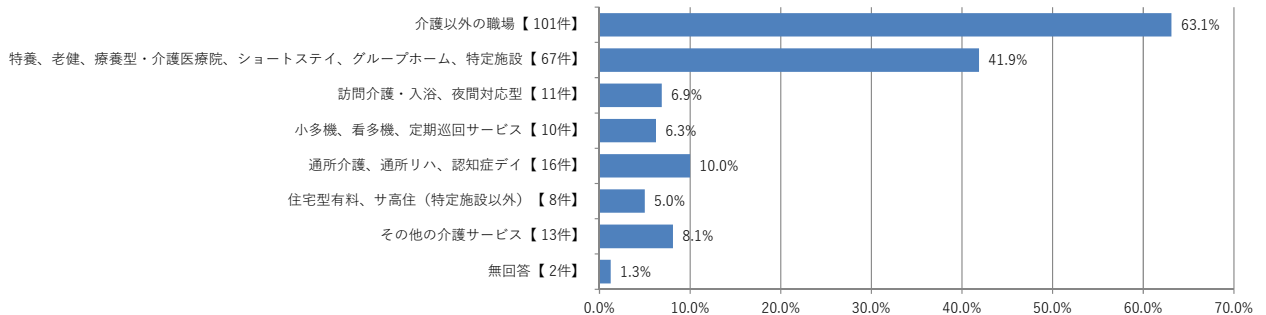
図表 16-5-3 (N=172)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が63.1%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が41.9%となっている。

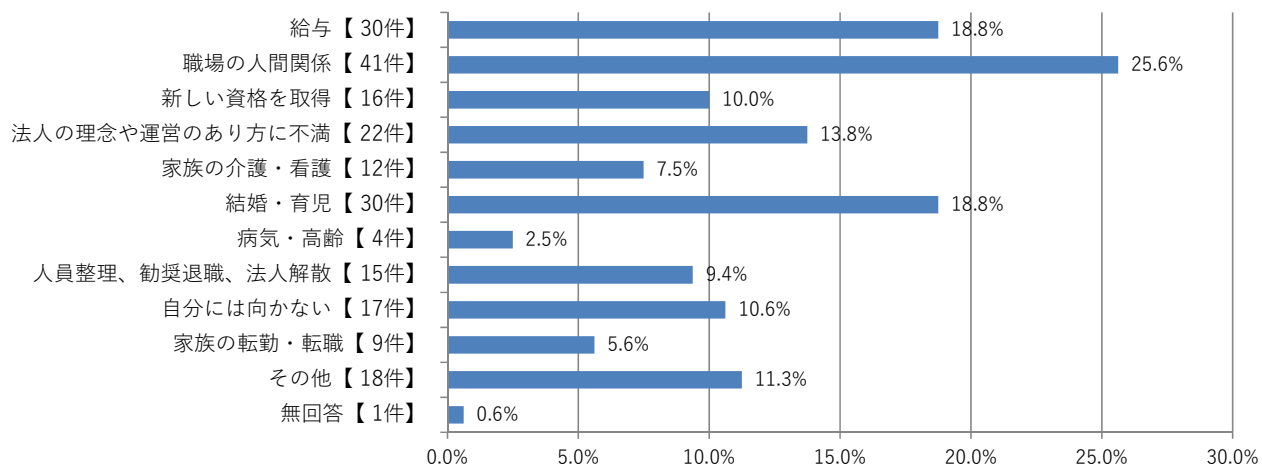
図表 16-5-4 (N=160)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が25.6%と最も多く、次いで、「給与」、「結婚・育児」が18.8%となっている。

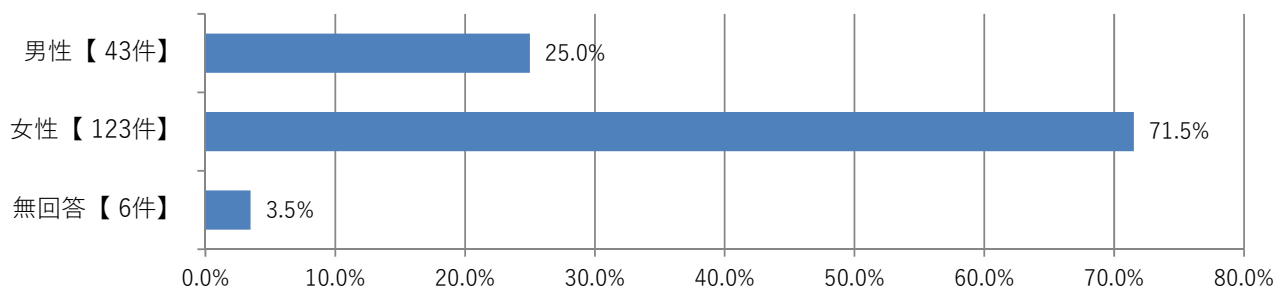
図表 16-5-5 (N=160)



問5（6）性別

性別は、「男性」が25.0%、「女性」が71.5%となっている。

図表 16-5-6 (N=172)



問5（7）年齢

平均年齢は、47.8歳となっている。

図表 16-5-7 (N=172)

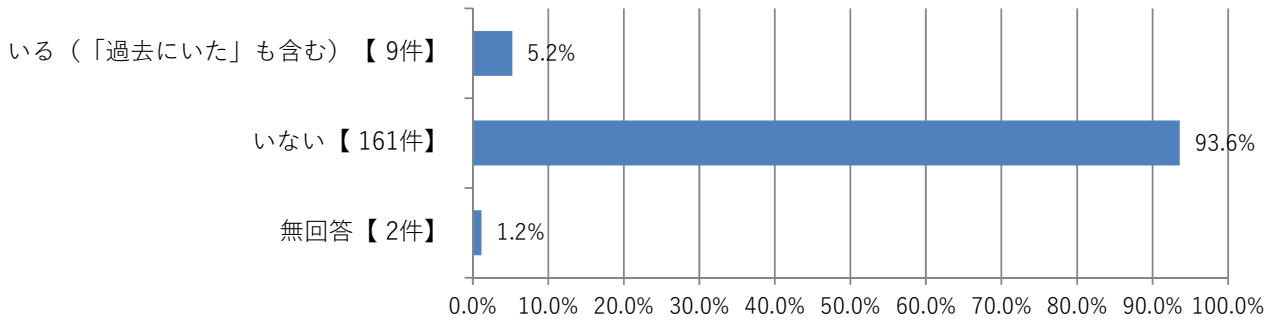
	対象者数	平均年齢（歳）
小規模多機能型居宅介護	172	47.8

問6 外国人介護職員について

問6（１）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が93.6%、「いる（過去にいた）」が5.2%となっている。

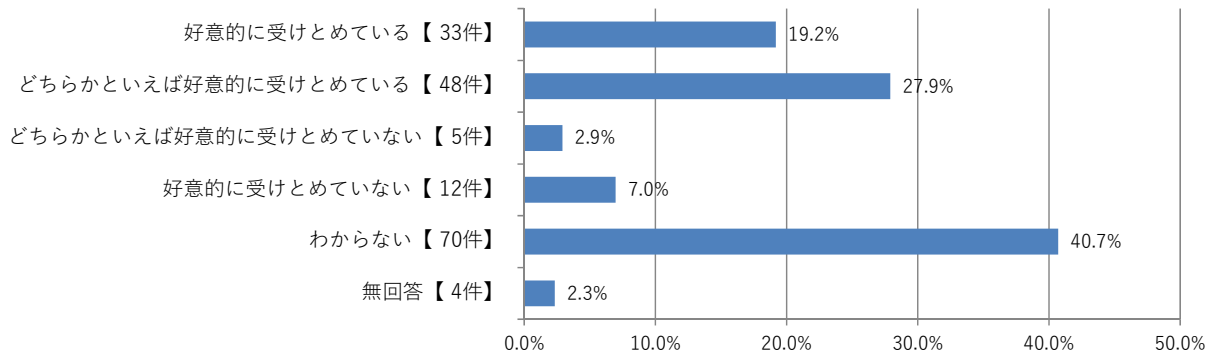
図表 16-6-1 (N=172)



問6（２）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が40.7%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が27.9%、「好意的に受けとめている」が19.2%となっている。

図表 16-6-2 (N=172)

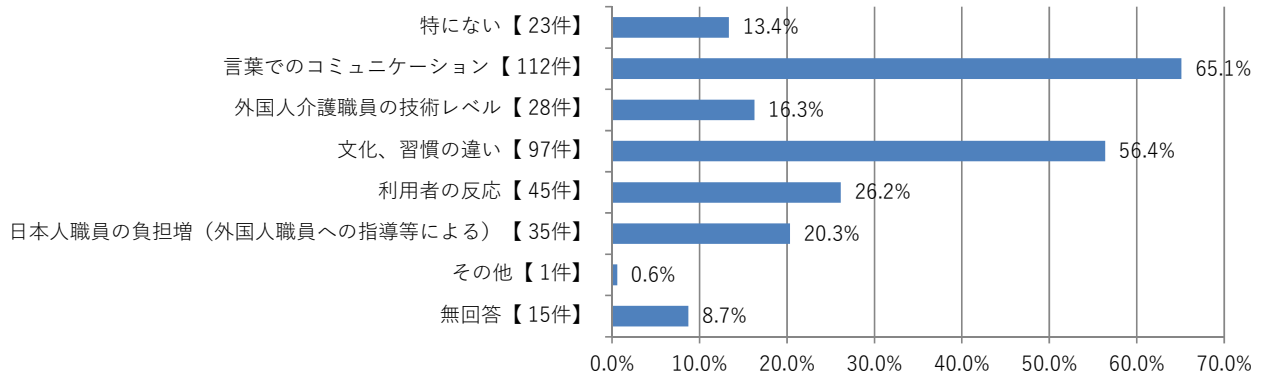


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が65.1%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が56.4%、「利用者の反応」が26.2%、「日本人職員の負担増」が20.3%となっている。

図表 16-6-3 (N=172)

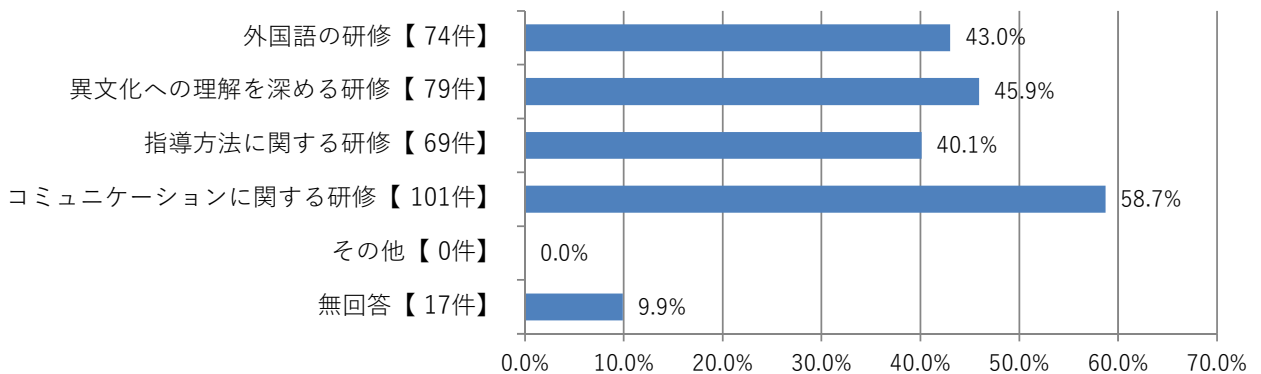


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が58.7%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」が45.9%、「外国語の研修」が43.0%、「指導方法に関する研修」が40.1%となっている。

図表 16-6-4 (N=172)



⑰認知症対応型共同生活介護

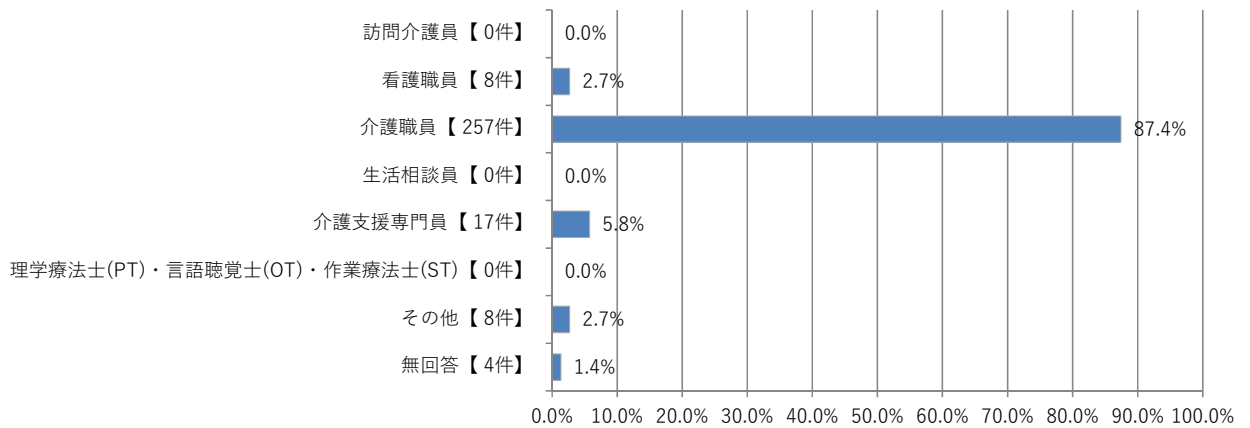
回答者数 294

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が87.4%と最も多くなっている。

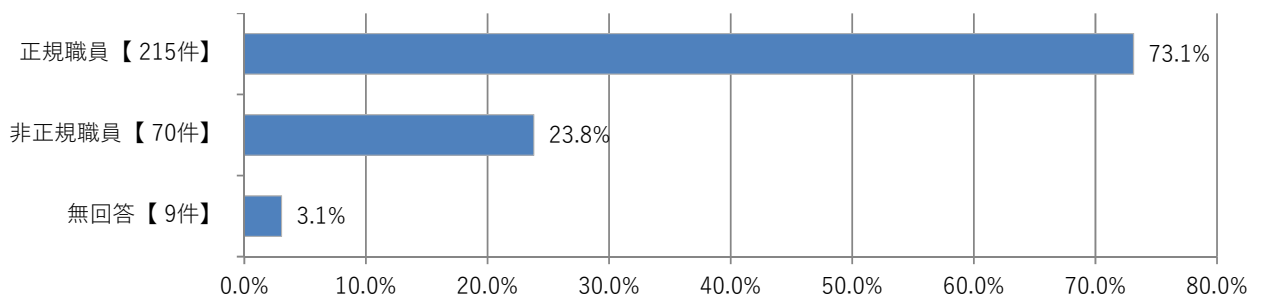
図表 17-1-1 (N=294)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が73.1%、「非正規職員」が23.8%となっている。

図表 17-1-2 (N=294)

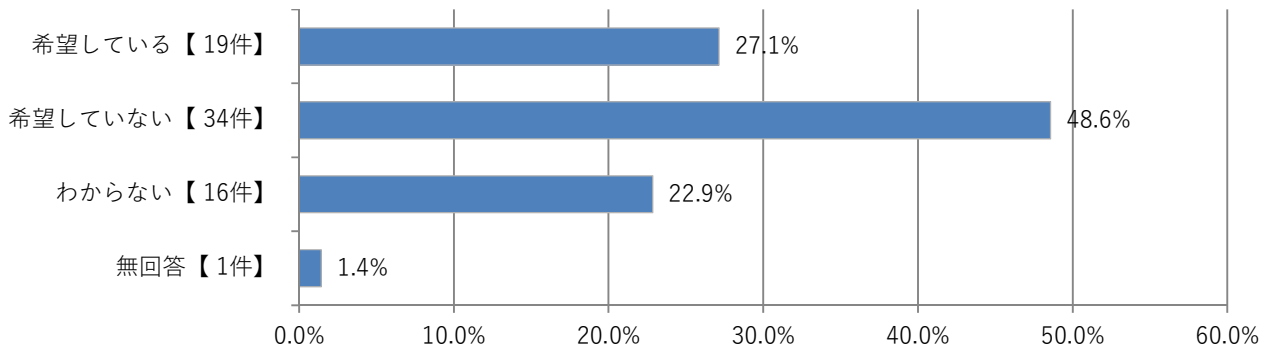


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が48.6%と最も多く、次いで、「希望している」が27.1%、「わからない」が22.9%となっている。

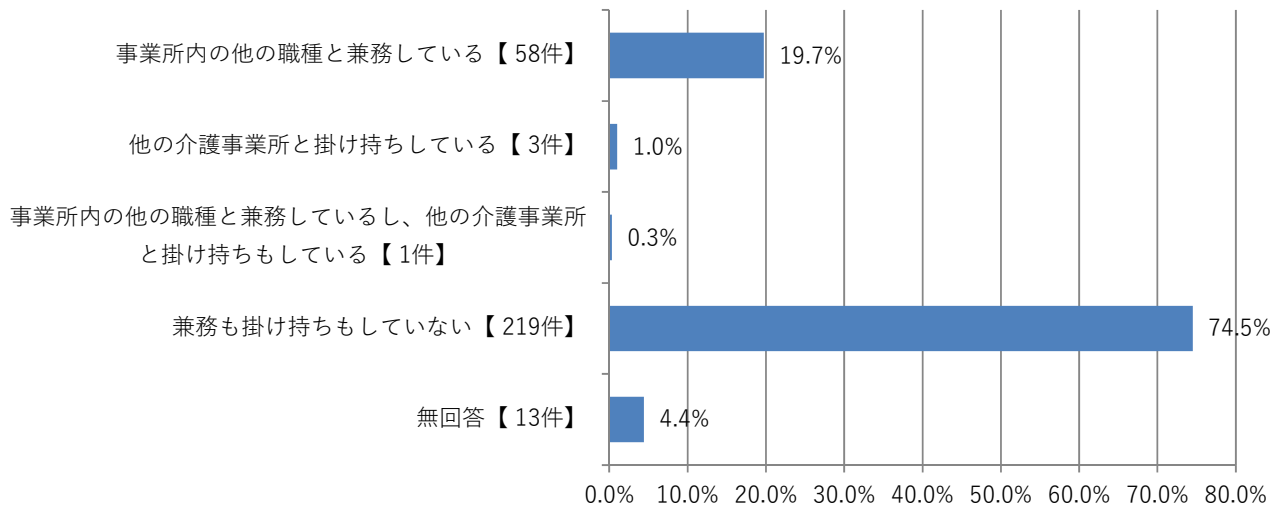
図表 17-1-3 (N=70)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が74.5%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が19.7%となっている。

図表 17-1-4 (N=294)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が10.7年となっており、「正規職員」が11.0年、「非正規職員」が10.3年となっている。

図表 17-1-5 (N=294)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
認知症対応型共同生活介護	294	10.7	11.0	10.3	8.2

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が6.9年、「正規職員」が7.2年、「非正規職員」が5.7年となっている。

図表 17-1-6 (N=294)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
認知症対応型共同生活介護	294	6.9	7.2	5.7	6.6

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.8日、「正規職員」が4.9日、「非正規職員」が4.4日となっている。

職種別では、「介護職員」、「介護支援専門員」が4.8日となっている。

図表 17-2-1 (N=294)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
認知症対応型共同生活介護	294	4.8	4.9	4.4	5.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
看護職員	8	4.4	4.6	3.0	-
介護職員	257	4.8	4.9	4.4	5.0
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	17	4.8	5.0	4.1	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	8	4.7	4.9	4.0	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が38.8時間、「正規職員」が40.1時間、「非正規職員」が34.3時間となっている。

職種別では「介護支援専門員」が39.2時間となっている。

図表 17-2-2 (N=294)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
認知症対応型共同生活介護	294	38.8	40.1	34.3	40.6
訪問介護員	0	-	-	-	-
看護職員	8	35.2	37.6	21.0	-
介護職員	257	38.9	40.1	35.1	40.4
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	17	39.2	40.8	27.2	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	8	36.8	41.1	24.0	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が1.6時間、「正規職員」が1.9時間、「非正規職員」が0.9時間となっている。

職種別では、「その他」が3.3時間、「介護職員」が1.5時間となっている。

図表 17-2-3 (N=294)

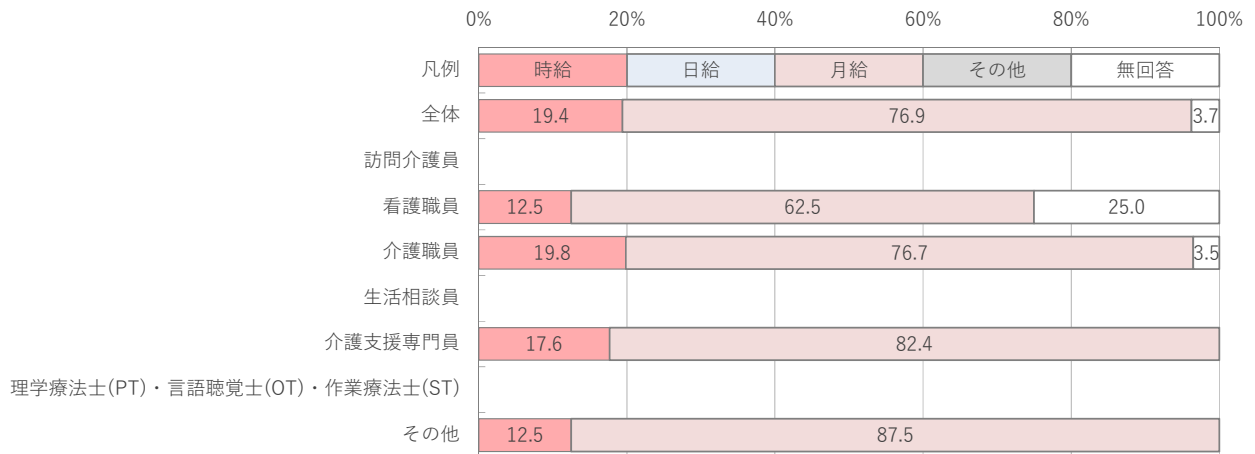
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
認知症対応型共同生活介護	294	1.6	1.9	0.9	1.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
看護職員	8	0.9	1.1	0.0	-
介護職員	257	1.5	1.7	0.9	1.1
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	17	2.3	2.6	0.8	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	8	3.3	4.1	1.0	-

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が76.9%、「時給」が19.4%、「日給」が0.7%となっている。
時給の平均は969円となっている。

図表 17-2-4 (N=294)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
認知症対応型共同生活介護	294	57	0	226	0	11	969	-
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	8	1	0	5	0	2	1,000	-
介護職員	257	51	0	197	0	9	957	-
生活相談員	0	0	0	0	0	0	-	-
介護支援専門員	17	3	0	14	0	0	1,300	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	8	1	0	7	0	0	900	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が194,267円、「時給」が139,687円、「日給」が225,000円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護職員」が192,185円となっている。

図表 17-2-5 (N=294)

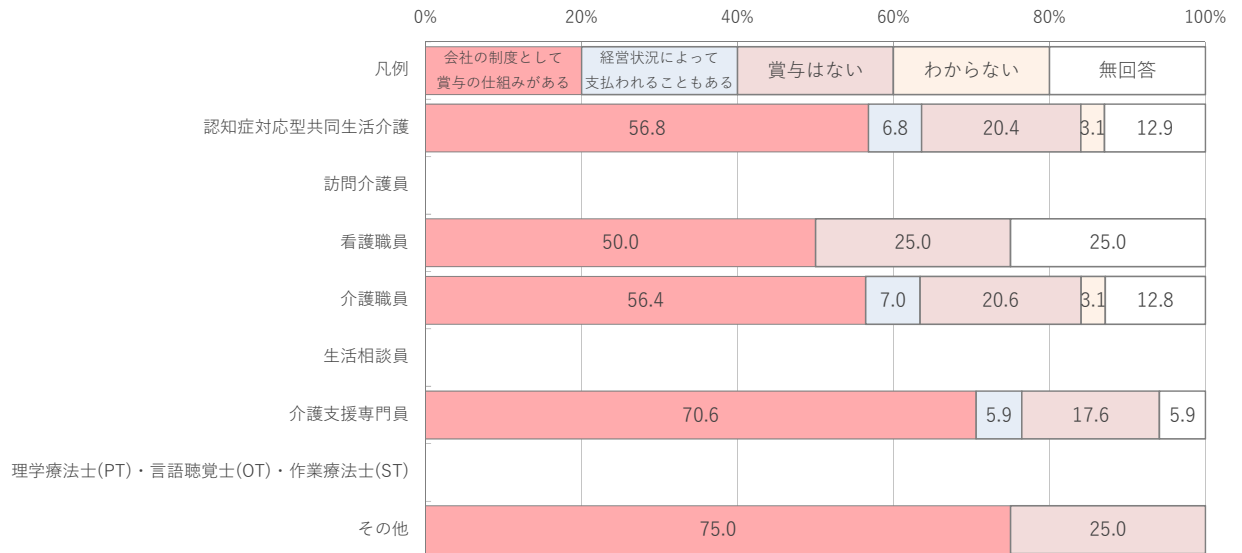
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
認知症対応型共同生活介護	57	139,687	144	2	225,000	21	226	194,267	0	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	1	100,000	100	0	-	-	5	181,770	0	-
介護職員	51	139,734	146	2	225,000	21	197	192,185	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護支援専門員	3	181,933	140	0	-	-	14	217,286	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	1	40,000	44	0	-	-	7	223,000	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 56.8%、「賞与はない」が 20.4%、「経営状況によって支払われることもある」が 6.8%となっている。

図表 17-2-6 (N=294)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
認知症対応型共同生活介護	294	167	20	60	9	38	100.0	56.8	6.8	20.4	3.1	12.9
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	8	4	0	2	0	2	100.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0
介護職員	257	145	18	53	8	33	100.0	56.4	7.0	20.6	3.1	12.8
生活相談員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
介護支援専門員	17	12	1	3	0	1	100.0	70.6	5.9	17.6	0.0	5.9
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	8	6	0	2	0	0	100.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 241,576 円となっている。「正規職員」の平均は 267,210 円、「非正規職員」の平均は 99,990 円となっている。

職種別にみると、「介護支援専門員」が 341,538 円、「その他」が 309,167 円、「介護職員」が 233,617 円となっている。

図表 17-2-7 (N=294)

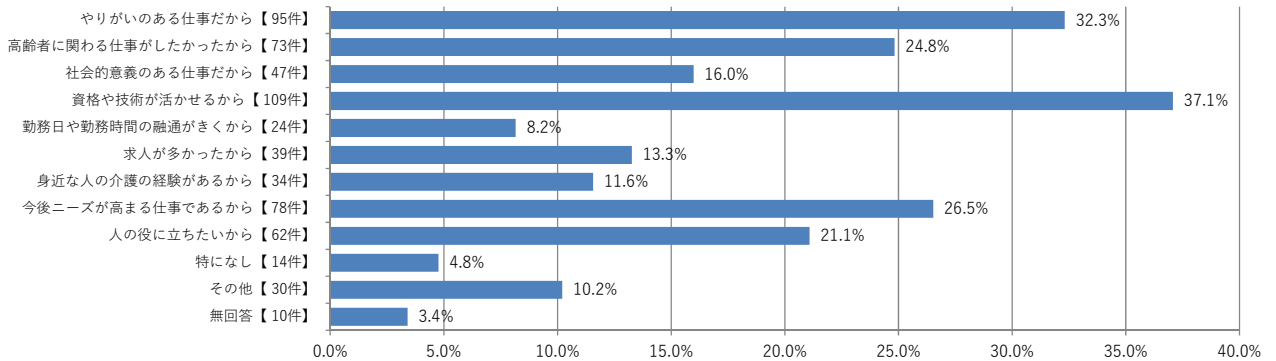
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
認知症対応型共同生活介護	294	63.6	20.4	3.1	12.9	187	241,576	認知症対応型共同生活介護	294	187	60	9	38	187
正規職員	215	73.0	14.0	1.9	11.2	157	267,210	正規職員	215	157	30	4	24	157
非正規職員	70	38.6	41.4	5.7	14.3	27	99,990	非正規職員	70	27	29	4	10	27
無回答	9	33.3	11.1	11.1	44.4	3	174,338	無回答	9	3	1	1	4	3
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
看護職員	8	50.0	25.0	0.0	25.0	4	187,500	看護職員	8	4	2	0	2	4
介護職員	257	63.4	20.6	3.1	12.8	163	233,617	介護職員	257	163	53	8	33	163
生活相談員	0	-	-	-	-	0	-	生活相談員	0	0	0	0	0	0
介護支援専門員	17	76.5	17.6	0.0	5.9	13	341,538	介護支援専門員	17	13	3	0	1	13
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	8	75.0	25.0	0.0	0.0	6	309,167	その他	8	6	2	0	0	6

問3 仕事についての考え方

問3（１）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が 37.1%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が 32.3%、「今後ニーズが高まる仕事であるから」が 26.5%、「高齢者に関わる仕事がしたかったから」が 24.8%、「人の役に立ちたいから」が 21.1%となっている。

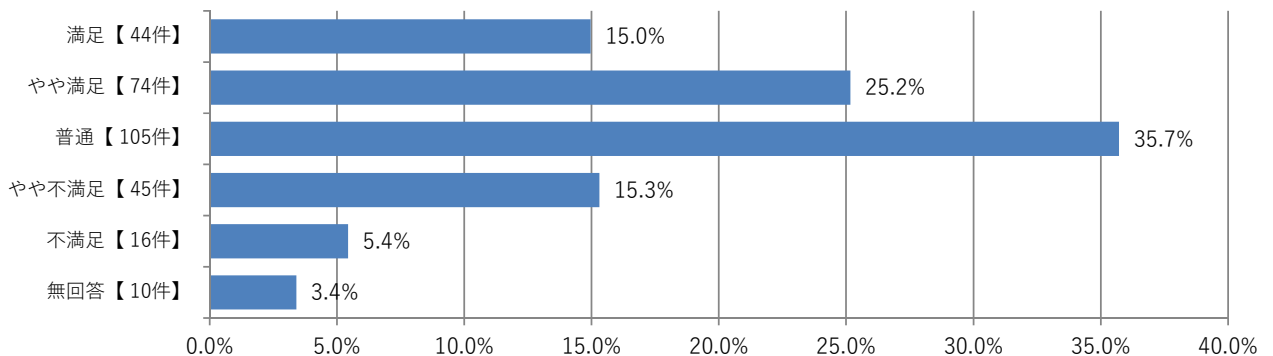
図表 17-3-1 (N=294)



問3（２）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が 35.7%と最も多く、次いで、「やや満足」が 25.2%、「やや不満足」が 15.3%、「満足」が 15.0%、「不満足」が 5.4%となっている。

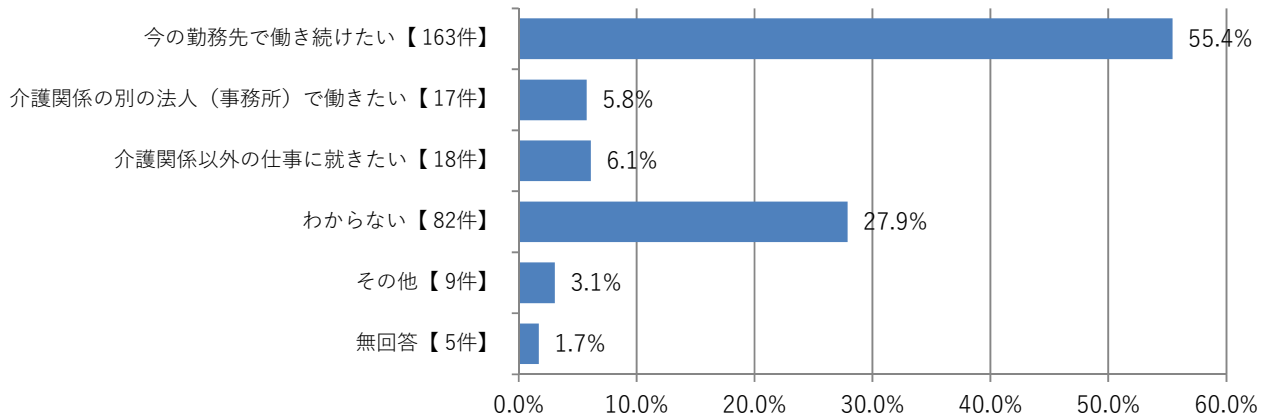
図表 17-3-2 (N=294)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が 55.4%と最も多く、次いで、「わからない」が 27.9%となっている。

図表 17-3-3 (N=294)

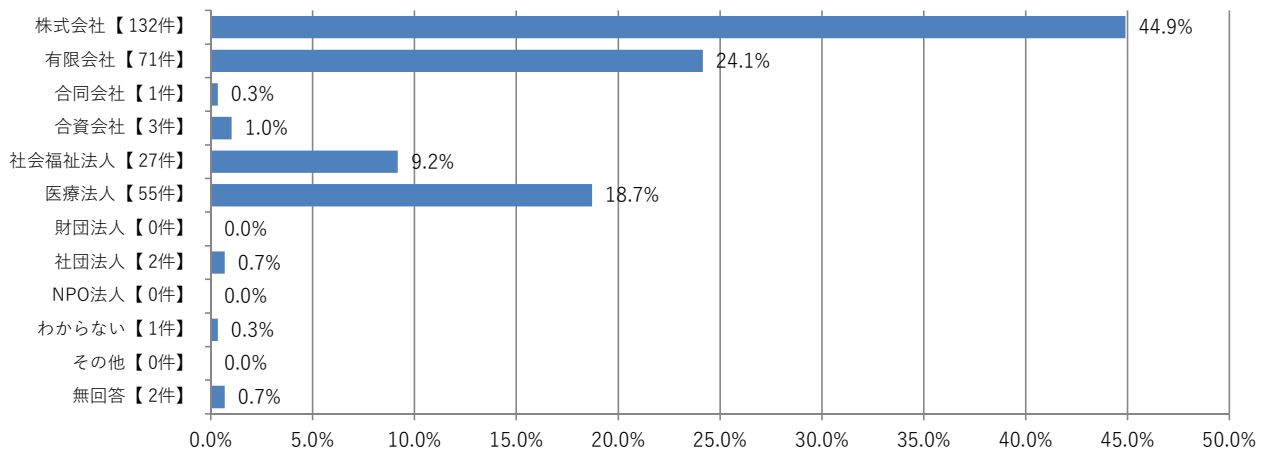


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が44.9%と最も多く、次いで、「有限会社」が24.1%、「医療法人」が18.7%となっている。

図表 17-4-1 (N=294)

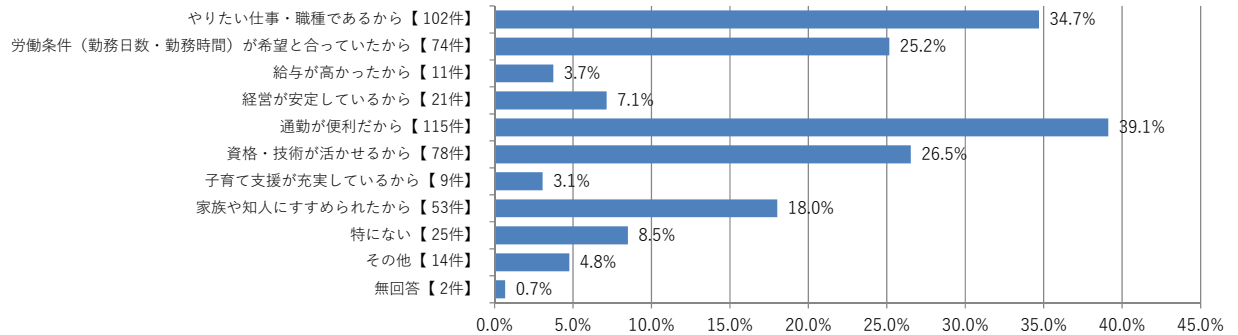


問5 あなた自身の仕事について

問5（１）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「通勤が便利だから」が39.1%が最も多く、次いで、「やりたい仕事・職種であるから」が34.7%、「資格・技術が活かせるから」が26.5%、「労働条件が希望と合っていたから」が25.2%となっている。

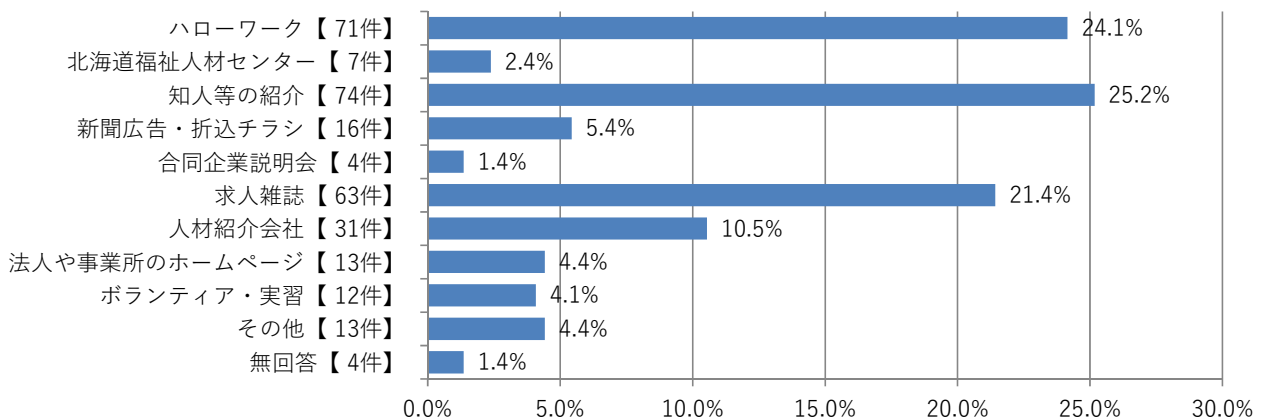
図表 17-5-1 (N=294)



問5（２）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が25.2%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が24.1%、「求人雑誌」が21.4%となっている。

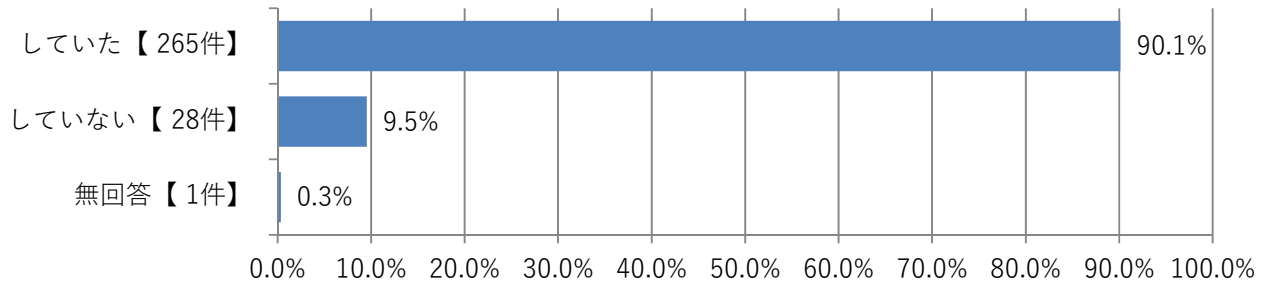
図表 17-5-2 (N=294)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が90.1%、「仕事をしていない」が9.5%となっている。

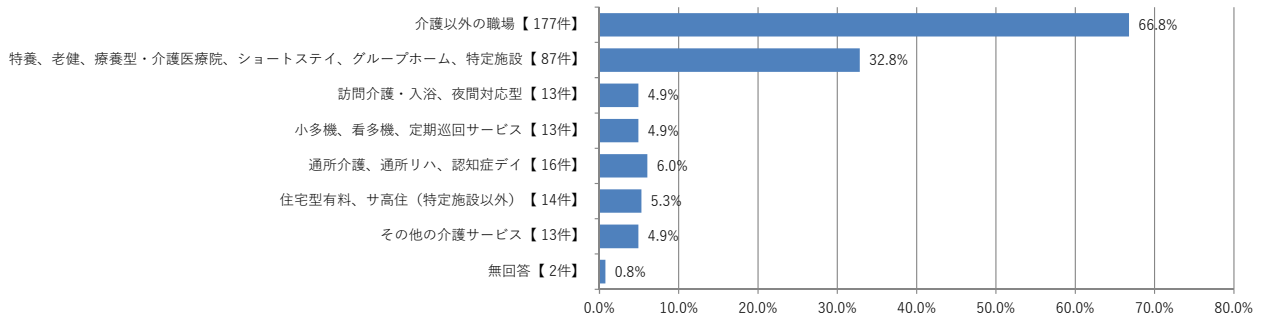
図表 17-5-3 (N=294)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が66.8%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が32.8%となっている。

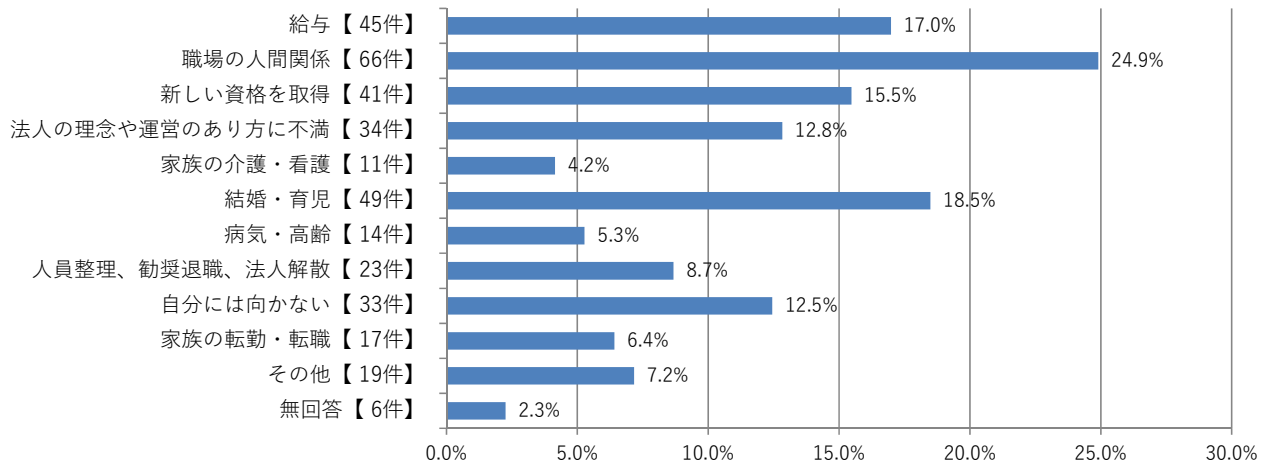
図表 17-5-4 (N=265)



問5（5）（4）の仕事辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が24.9%と最も多く、次いで、「結婚・育児」が18.5%、「給与」が17.0%となっている。

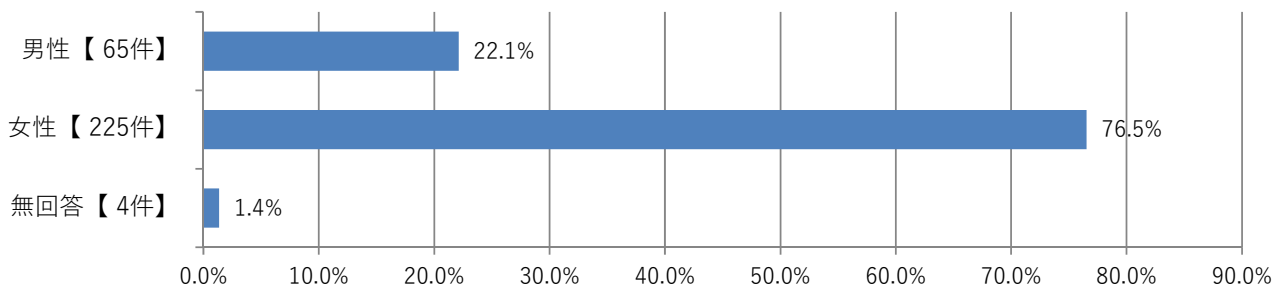
図表 17-5-5 (N=265)



問5（6）性別

性別は、「男性」が22.1%、「女性」が76.5%となっている。

図表 17-5-6 (N=294)



問5（7）年齢

平均年齢は、48.0歳となっている。

図表 17-5-7 (N=294)

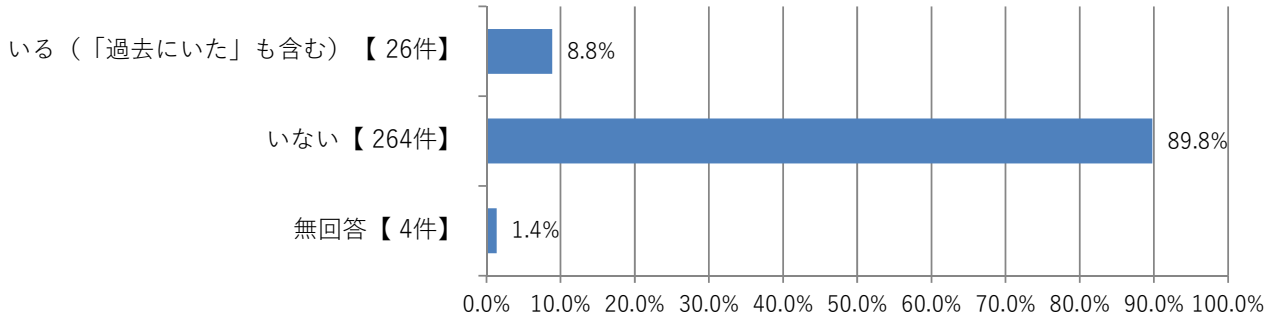
	対象者数	平均年齢（歳）
認知症対応型共同生活介護	294	48.0

問6 外国人介護職員について

問6（１）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が93.6%、「いる（過去にいた）」が5.2%となっている。

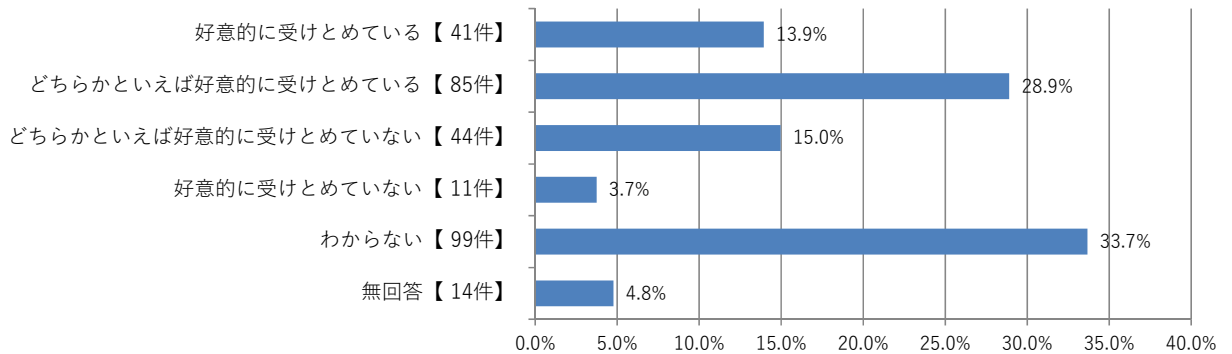
図表 17-6-1 (N=294)



問6（２）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が33.7%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が28.9%、「どちらかといえば好意的に受けとめていない」が15.0%、「好意的に受けとめている」が13.9%となっている。

図表 17-6-2 (N=294)

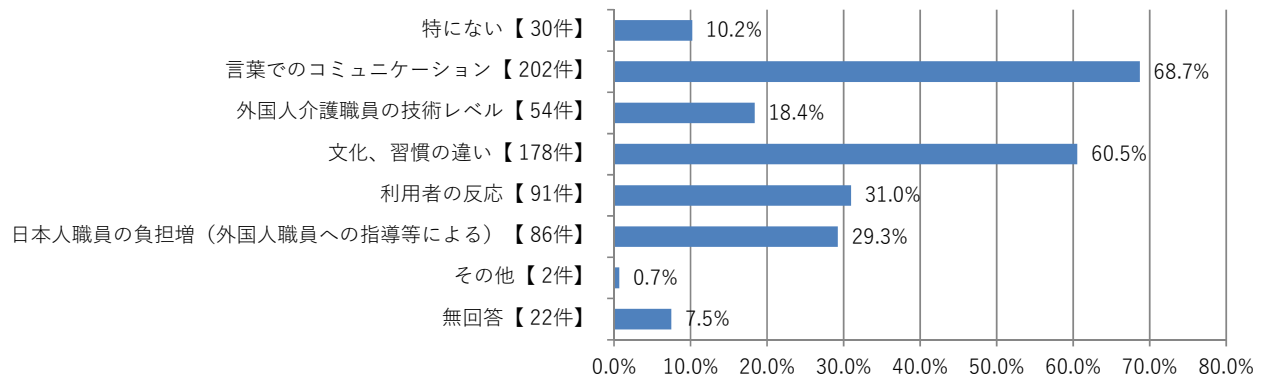


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が68.7%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が60.5%、「利用者の反応」が31.0%、「日本人職員の負担増」が29.3%となっている。

図表 17-6-3 (N=294)

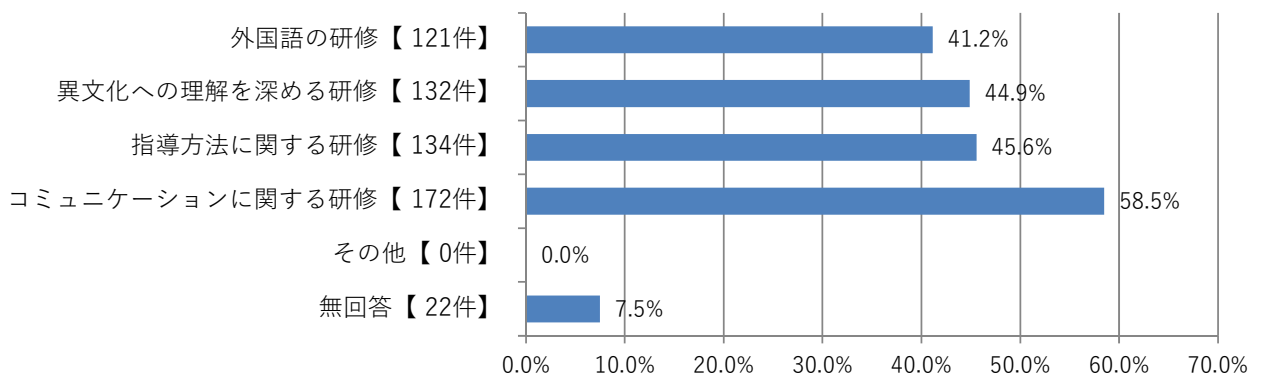


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が58.5%と最も多く、次いで、「指導方法に関する研修」が45.6%、「異文化への理解を深める研修」が44.9%、「外国語の研修」が41.2%となっている。

図表 17-6-4 (N=294)



⑱地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

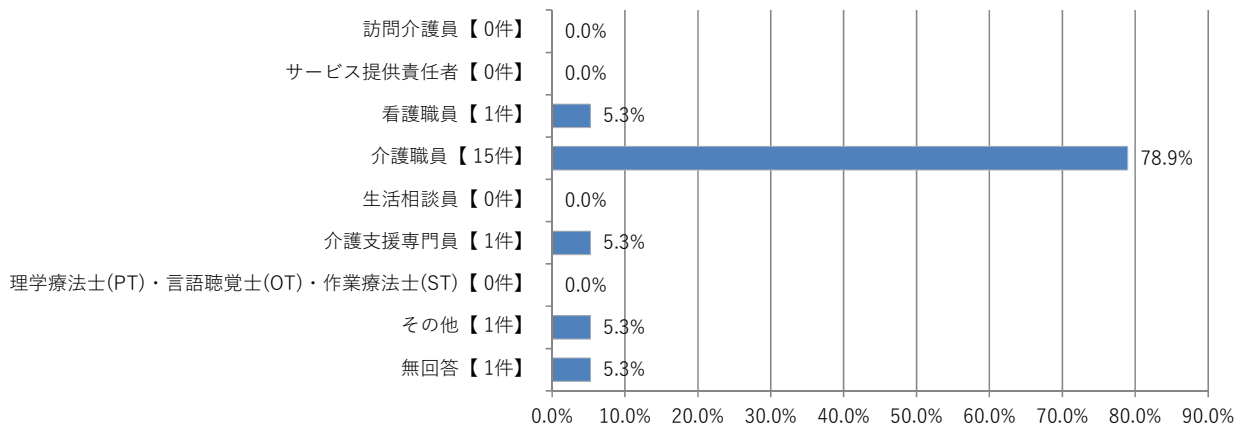
回答者数 19

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が78.9%と最も多くなっている。

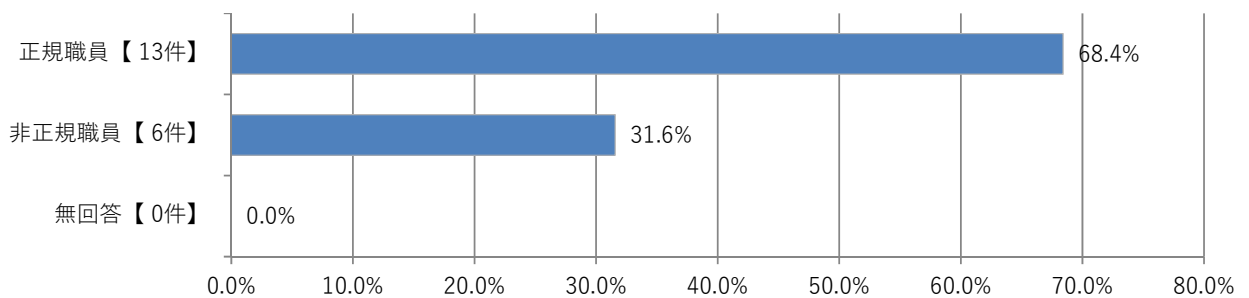
図表 18-1-1 (N=19)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が68.4%、「非正規職員」が31.6%となっている。

図表 18-1-2 (N=19)

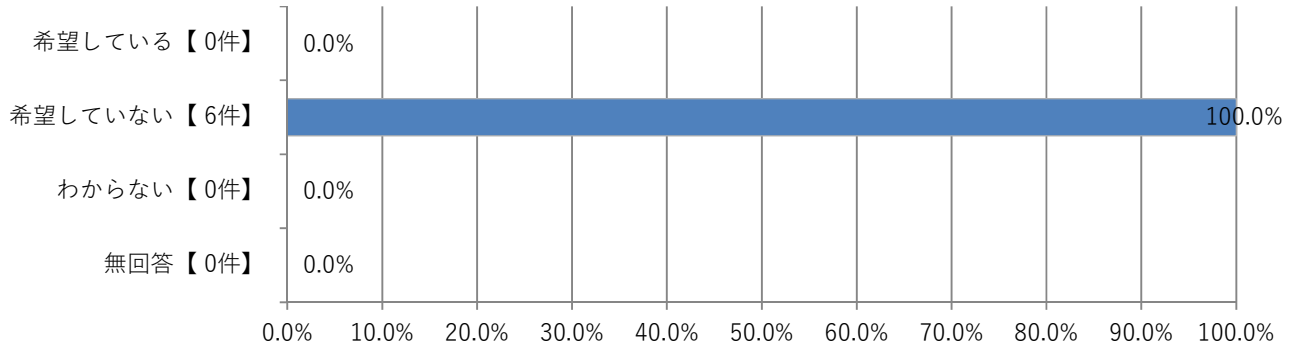


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が100%となっている。

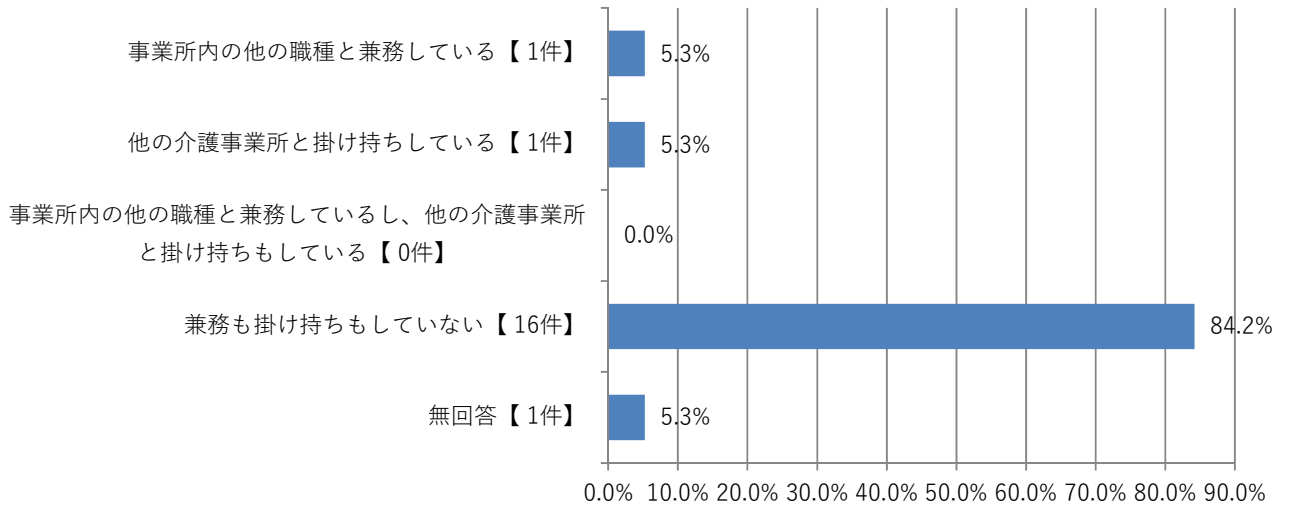
図表 18-1-3 (N=6)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が84.2%と最も多くなっている。

図表 18-1-4 (N=19)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が13.7年となっており、「正規職員」が16.5年、「非正規職員」が6.4年となっている。

図表 18-1-5 (N=19)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19	13.7	16.5	6.4	-

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が4.3年、「正規職員」が5.5年、「非正規職員」が1.2年となっている。

図表 18-1-6 (N=19)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19	4.3	5.5	1.2	-

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.5日、「正規職員」が4.9日、「非正規職員」が3.6日となっている。

職種別では、「看護職員」、「介護支援専門員」、「その他」が5.0日となっている。

図表 18-2-1 (N=19)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19	4.5	4.9	3.6	-
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	1	5.0	5.0	-	-
介護職員	15	4.6	4.9	4.0	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	1	5.0	5.0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	5.0	5.0	-	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が34.3時間、「正規職員」が38.0時間、「非正規職員」が24.3時間となっている。

職種別では「その他」が45.0時間、「介護支援専門員」が40.0時間となっている。

図表 18-2-2 (N=19)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19	34.3	38.0	24.3	-
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	1	-	-	-	-
介護職員	15	34.5	36.9	27.0	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	1	40.0	40.0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	45.0	45.0	-	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が1.5時間、「正規職員」が2.0時間となっている。

職種別では、「介護支援専門員」が2.0時間、「介護職員」が1.6時間となっている。

図表 18-2-3 (N=19)

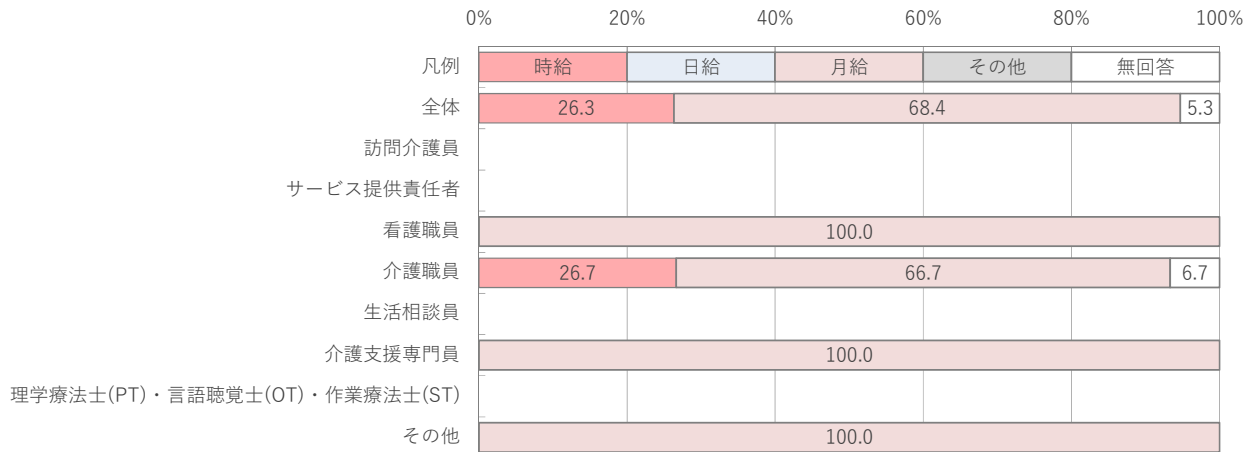
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19	1.5	2.0	0.0	-
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	1	-	-	-	-
介護職員	15	1.6	2.1	0.0	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	1	2.0	2.0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	1	1.0	1.0	-	-

問2（４）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が68.4%、「時給」が26.3%となっている。
 時給の平均は、1,133円となっている。

図表 18-2-4 (N=19)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19	5	0	13	0	1	1,133	-
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	1	0	0	1	0	0	-	-
介護職員	15	4	0	10	0	1	1,166	-
生活相談員	0	0	0	0	0	0	-	-
介護支援専門員	1	0	0	1	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	1	0	0	1	0	0	-	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が208,492円、「時給」が127,400円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護職員」が205,000円となっている。

図表 18-2-5 (N=19)

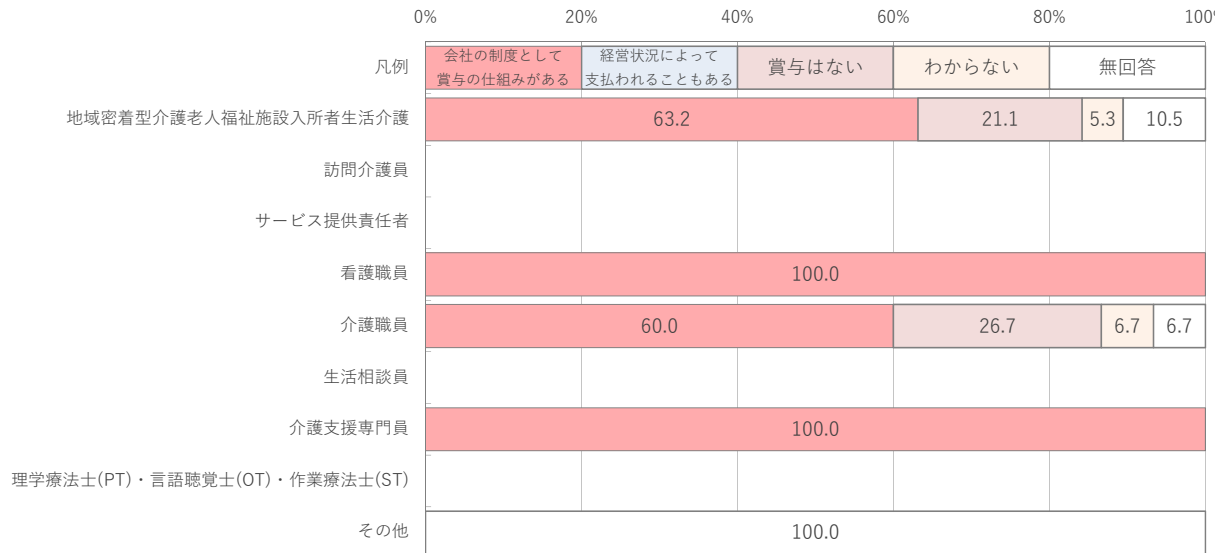
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円/時間)	平均稼働時間 (時間/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/日)	平均稼働日数 (日/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	5	127,400	112	0	-	-	13	208,492	0	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	0	-	-	0	-	-	1	240,400	0	-
介護職員	4	151,250	130	0	-	-	10	205,000	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	1	180,000	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	1	240,000	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 63.2%、「賞与はない」が 21.1%、「わからない」が 5.3%となっている。

図表 18-2-6 (N=19)

	(件)					(%)						
	対象者数	会社の制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社の制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19	12	0	4	1	2	100.0	63.2	0.0	21.1	5.3	10.5
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	1	1	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護職員	15	9	0	4	1	1	100.0	60.0	0.0	26.7	6.7	6.7
生活相談員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
介護支援専門員	1	1	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	1	0	0	0	0	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 357,800 円となっている。「正規職員」の平均は 383,509 円、「非正規職員」の平均は 75,000 円となっている。

職種別にみると、「介護支援専門員」が 450,000 円、「介護職員」が 373,333 円となっている。

図表 18-2-7 (N=19)

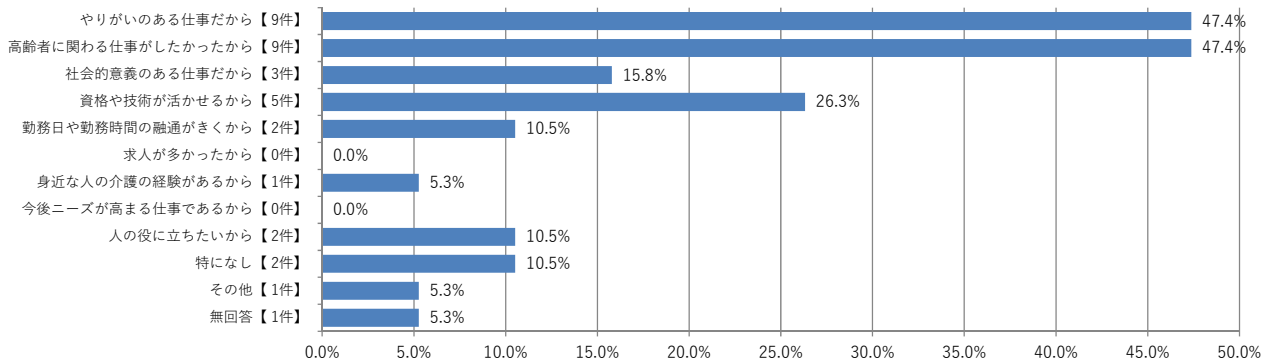
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19	63.2	21.1	5.3	10.5	12	357,800	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	19	12	4	1	2	12
正規職員	13	84.6	0.0	7.7	7.7	11	383,509	正規職員	13	11	0	1	1	11
非正規職員	6	16.7	66.7	0.0	16.7	1	75,000	非正規職員	6	1	4	0	1	1
無回答	0	-	-	-	-	0	-	無回答	0	0	0	0	0	0
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	408,600	看護職員	1	1	0	0	0	1
介護職員	15	60.0	26.7	6.7	6.7	9	373,333	介護職員	15	9	4	1	1	9
生活相談員	0	-	-	-	-	0	-	生活相談員	0	0	0	0	0	0
介護支援専門員	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	450,000	介護支援専門員	1	1	0	0	0	1
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0	-	その他	1	0	0	0	1	0

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「やりがいのある仕事だから」と「高齢者に関わる仕事がしたかったから」が47.4%と最も多く、次いで、「資格や技術が活かせるから」が26.3%となっている。

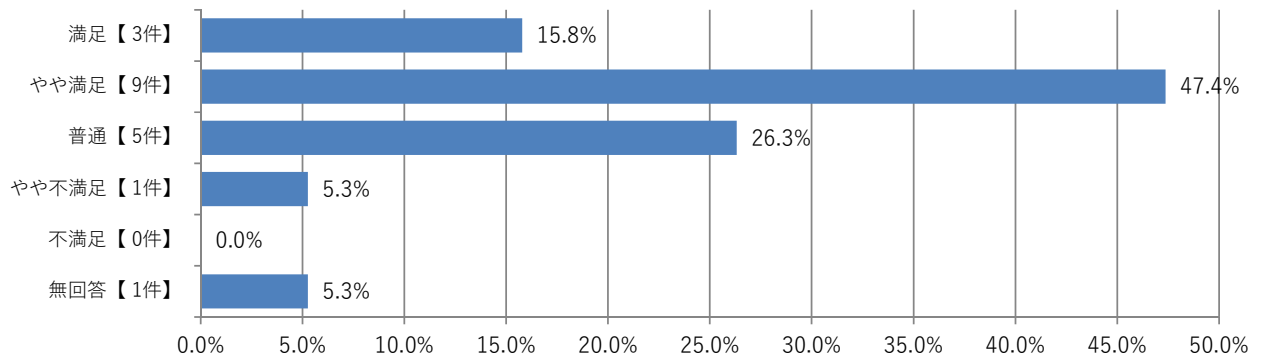
図表 18-3-1 (N=19)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「やや満足」が47.4%と最も多く、次いで、「普通」が26.3%、「満足」が15.8%、「やや不満足」が5.3%となっている。

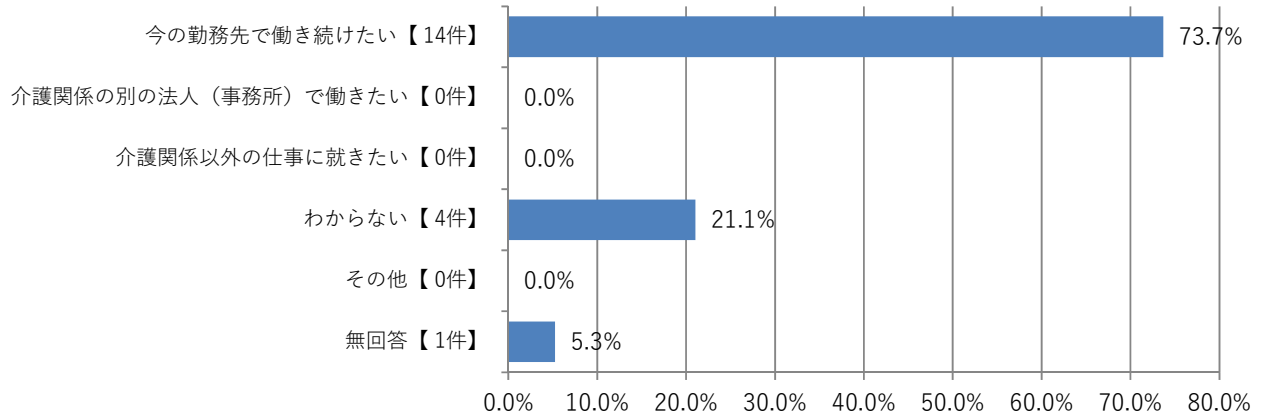
図表 18-3-2 (N=19)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が73.7%と最も多く、次いで、「わからない」が21.1%となっている。

図表 18-3-3 (N=19)

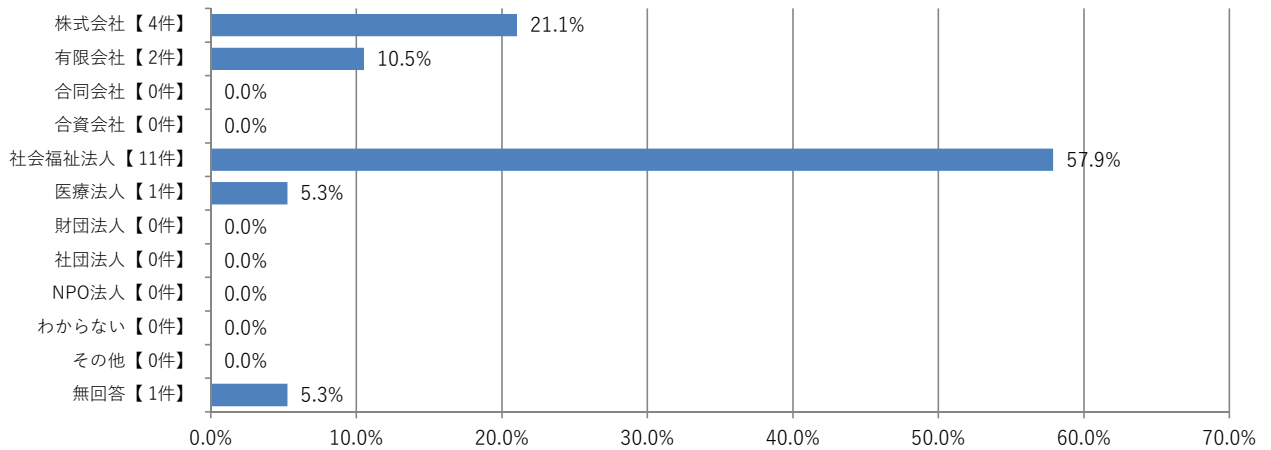


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「社会福祉法人」が 57.9%と最も多く、次いで、「株式会社」が 21.1%となっている。

図表 18-4-1 (N=19)

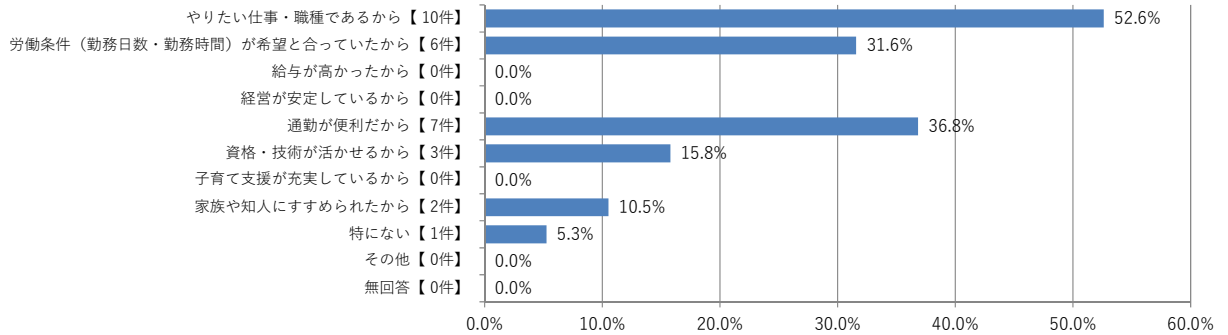


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が52.6%が最も多く、次いで、「通勤が便利だから」が36.8%、「労働条件が希望と合っていたから」が31.6%となっている。

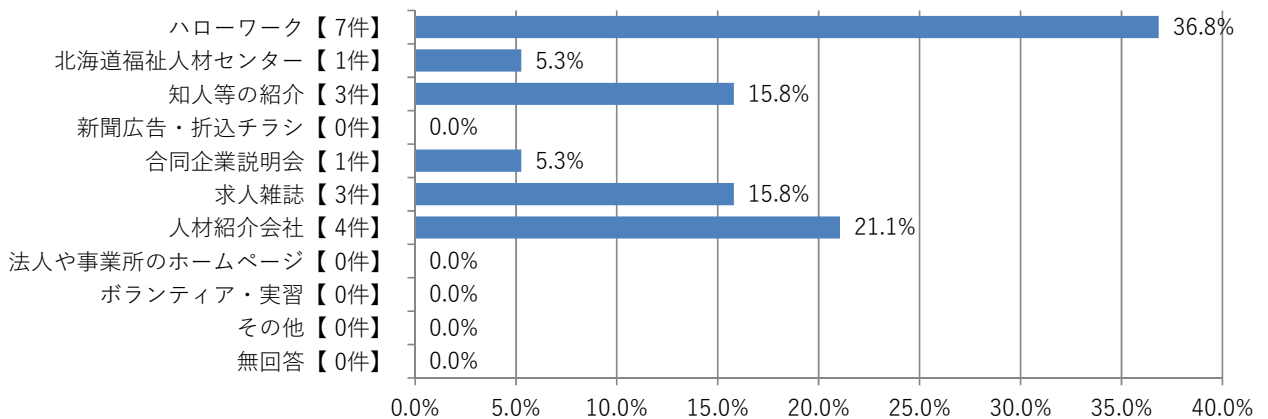
図表 18-5-1 (N=19)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「ハローワーク」が36.8%と最も多く、次いで、「人材紹介会社」が21.1%、「知人等の紹介」、「求人雑誌」が15.8%となっている。

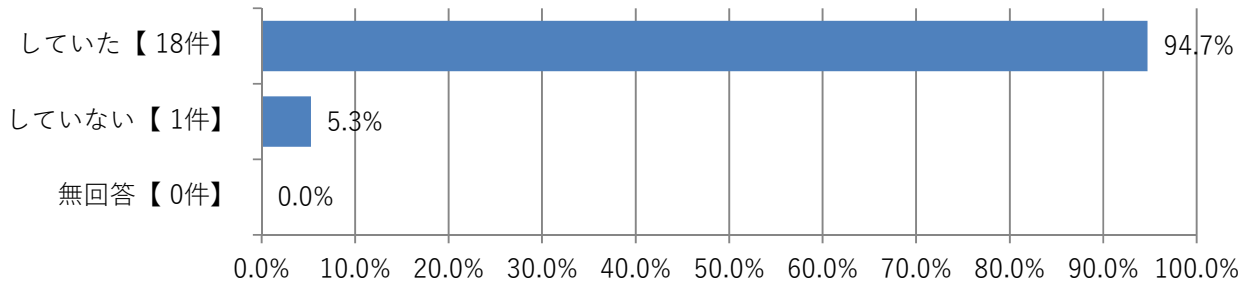
図表 18-5-2 (N=19)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が94.7%、「仕事をしていない」が5.3%となっている。

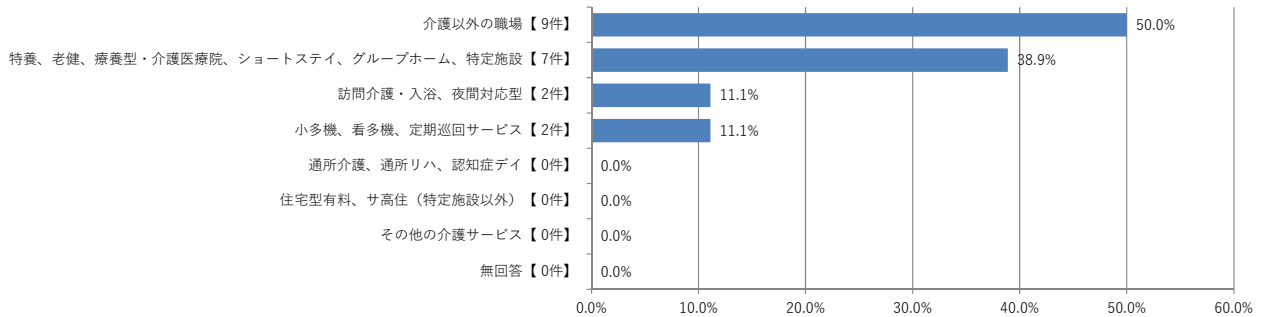
図表 18-5-3 (N=19)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が50.0%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が38.9%となっている。

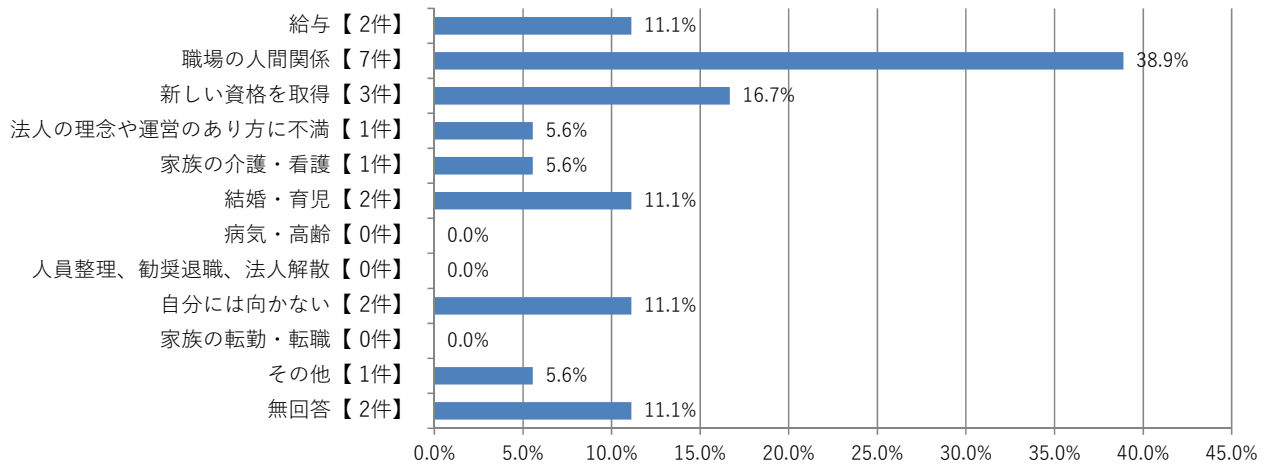
図表 18-5-4 (N=18)



問5（5）（4）の仕事辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が 38.9%と最も多く、次いで、「新しい資格を取得」が 16.7%となっている。

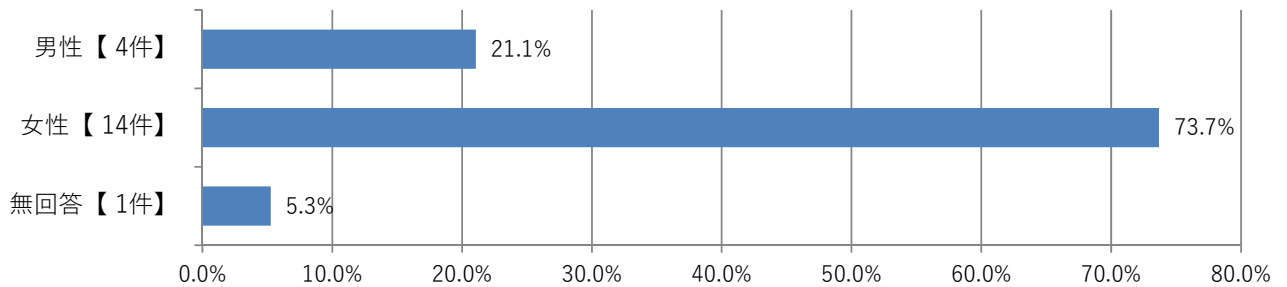
図表 18-5-5 (N=18)



問5（6）性別

性別は、「男性」が 21.1%、「女性」が 73.7%となっている。

図表 18-5-6 (N=19)



問5（7）年齢

平均年齢は、46.6歳となっている。

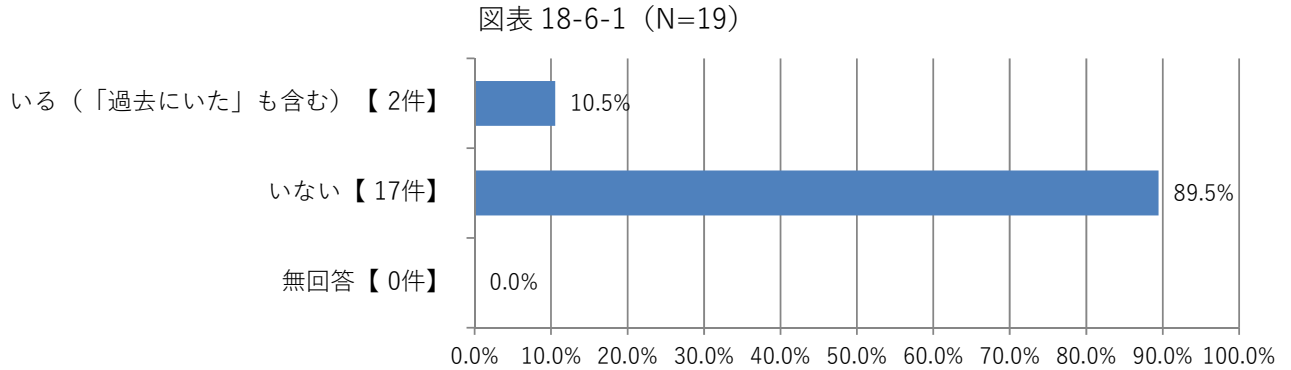
図表 18-5-7 (N=19)

	対象者数	平均年齢（歳）
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	19	46.6

問6 外国人介護職員について

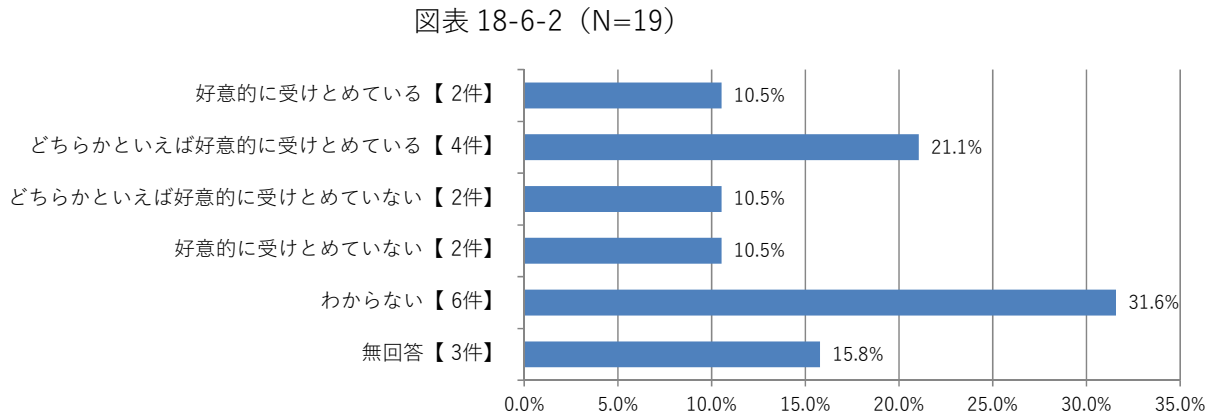
問6（１）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が89.5%、「いる（過去にいた）」が10.5%となっている。



問6（２）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が31.6%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が21.1%となっている。

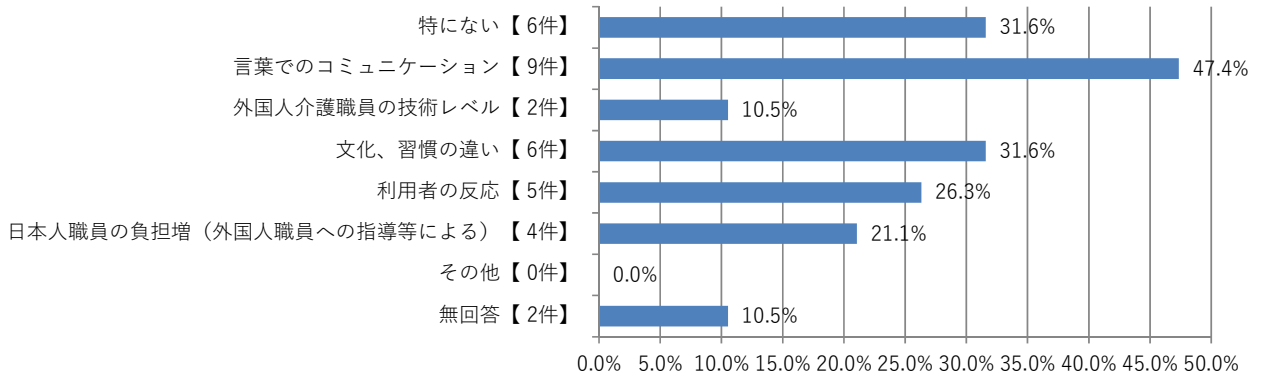


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が47.4%と最も多く、次いで、「特にない」、「文化、習慣の違い」が31.6%、「利用者の反応」が26.3%、「日本人職員の負担増」が21.1%となっている。

図表 18-6-3 (N=19)

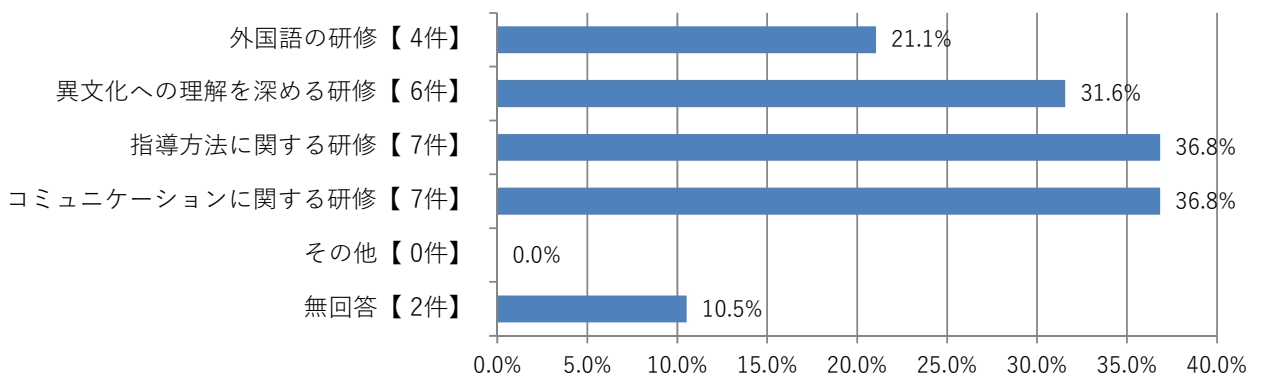


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「指導方法に関する研修」、「コミュニケーションに関する研修」が36.8%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」が31.6%、「外国語の研修」が21.1%となっている。

図表 18-6-4 (N=19)



⑱看護小規模多機能型居宅介護

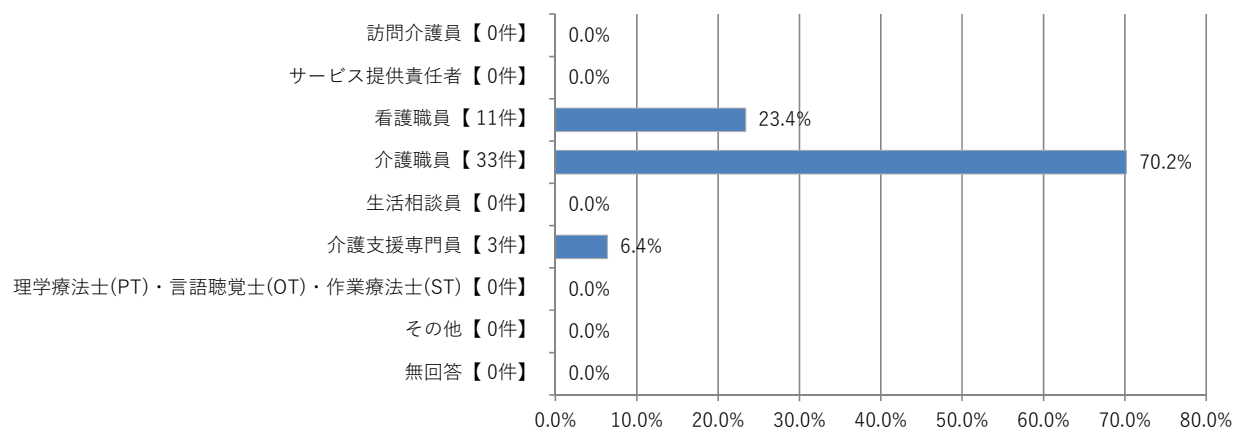
回答者数 47

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が70.2%と最も多く、「看護職員」が23.4%となっている。

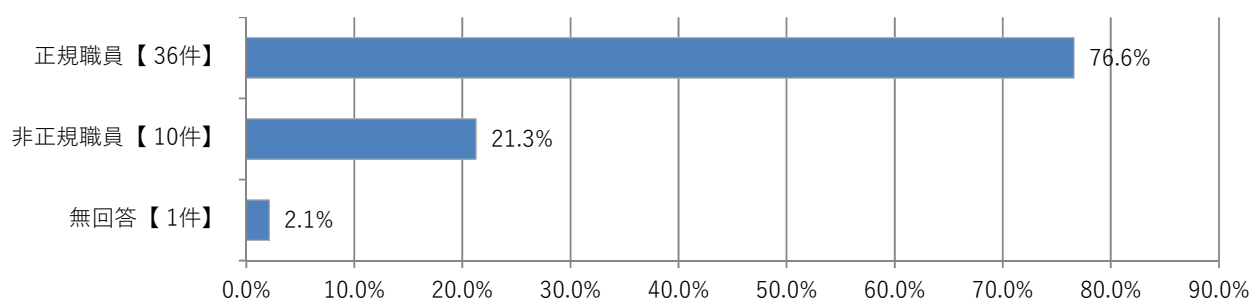
図表 19-1-1 (N=47)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が76.6%、「非正規職員」が21.3%となっている。

図表 19-1-2 (N=47)

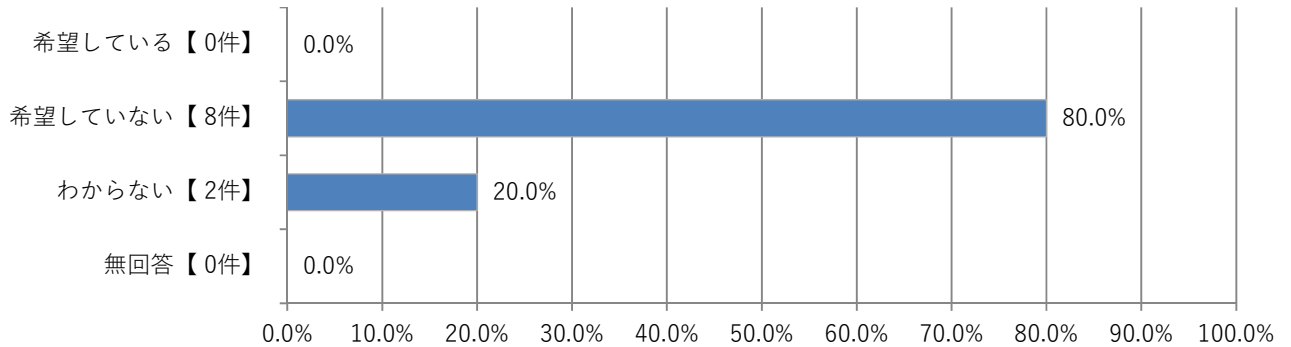


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が80.0%、「わからない」が20.0%となっている。

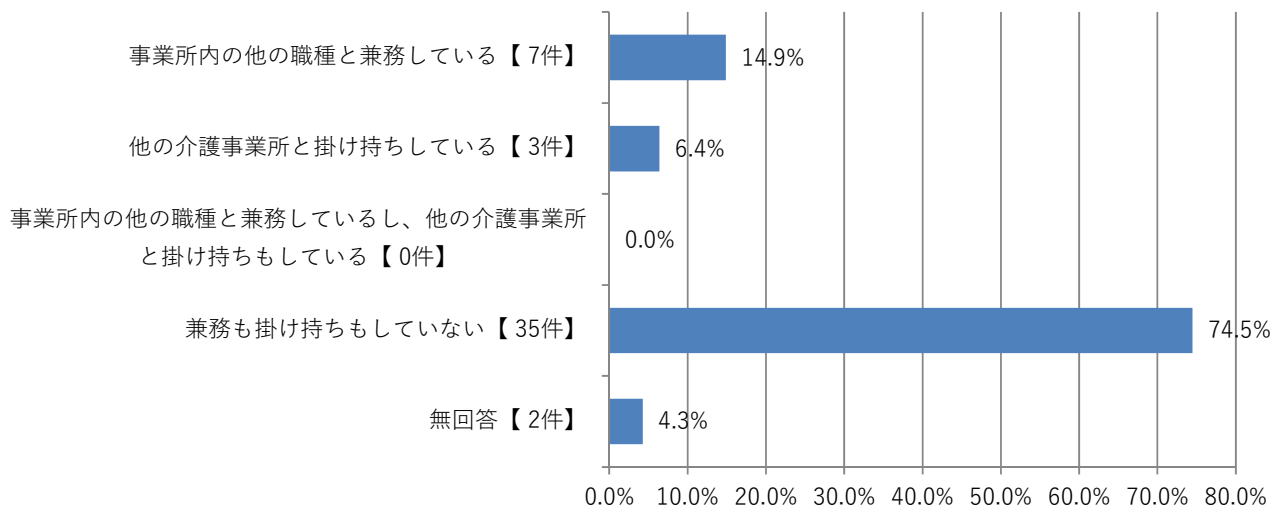
図表 19-1-3 (N=10)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が74.5%と最も多くなっている。

図表 19-1-4 (N=47)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が14.9年となっており、「正規職員」が15.6年、「非正規職員」が13.3年となっている。

図表 19-1-5 (N=47)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
看護小規模多機能型居宅介護	47	14.9	15.6	13.3	5.0

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が5.5年、「正規職員」が6.0年、「非正規職員」が4.1年となっている。

図表 19-1-6 (N=47)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
看護小規模多機能型居宅介護	47	5.5	6.0	4.1	3.0

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.8日、「正規職員」が4.9日、「非正規職員」が4.4日となっている。

職種別では、「介護職員」が4.8日、「介護支援専門員」が5.0日となっている。

図表 19-2-1 (N=47)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
看護小規模多機能型居宅介護	47	4.8	4.9	4.4	5.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	11	4.6	4.8	4.2	-
介護職員	33	4.8	4.9	4.5	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	3	5.0	5.0	-	5.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が38.4時間、「正規職員」が40.5時間、「非正規職員」が30.8時間となっている。

職種別では、「介護職員」が39.2時間、「介護支援専門員」が45.8時間となっている。

図表 19-2-2 (N=47)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
看護小規模多機能型居宅介護	47	38.4	40.5	30.8	42.5
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	11	34.1	38.9	21.3	-
介護職員	33	39.2	40.4	34.9	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	3	45.8	47.5	-	42.5
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が1.4時間、「正規職員」が1.6時間、「非正規職員」が0.7時間となっている。

職種別では、「介護職員」が1.4時間、「介護支援専門員」が3.2時間となっている。

図表 19-2-3 (N=47)

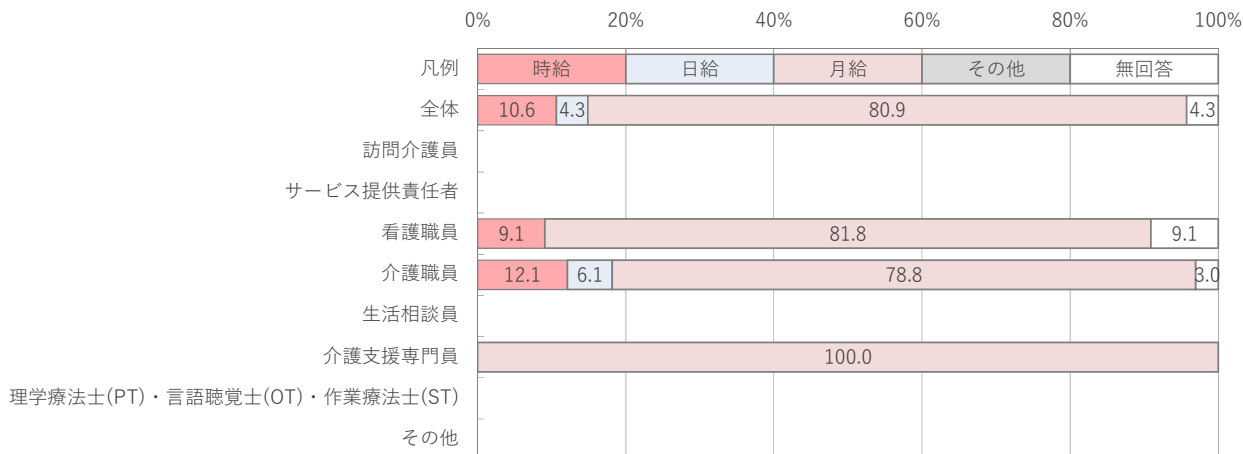
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
看護小規模多機能型居宅介護	47	1.4	1.6	0.7	2.5
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	11	0.9	1.3	0.0	-
介護職員	33	1.4	1.5	1.0	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	3	3.2	3.5	-	2.5
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が80.9%、「時給」が10.6%、「日給」が4.3%となっている。
 時給の平均は、1,017円、日給の平均は7,600円となっている。

図表 19-2-4 (N=47)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
看護小規模多機能型居宅介護	47	5	2	38	0	2	1,017	7,600
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	11	1	0	9	0	1	1,365	-
介護職員	33	4	2	26	0	1	931	7,600
生活相談員	0	0	0	0	0	0	-	-
介護支援専門員	3	0	0	3	0	0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	0	0	0	0	0	0	-	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が217,156円、「時給」が113,750円、「日給」が180,000円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「看護職員」が253,380円、「介護職員」が205,700円となっている。

図表 19-2-5 (N=47)

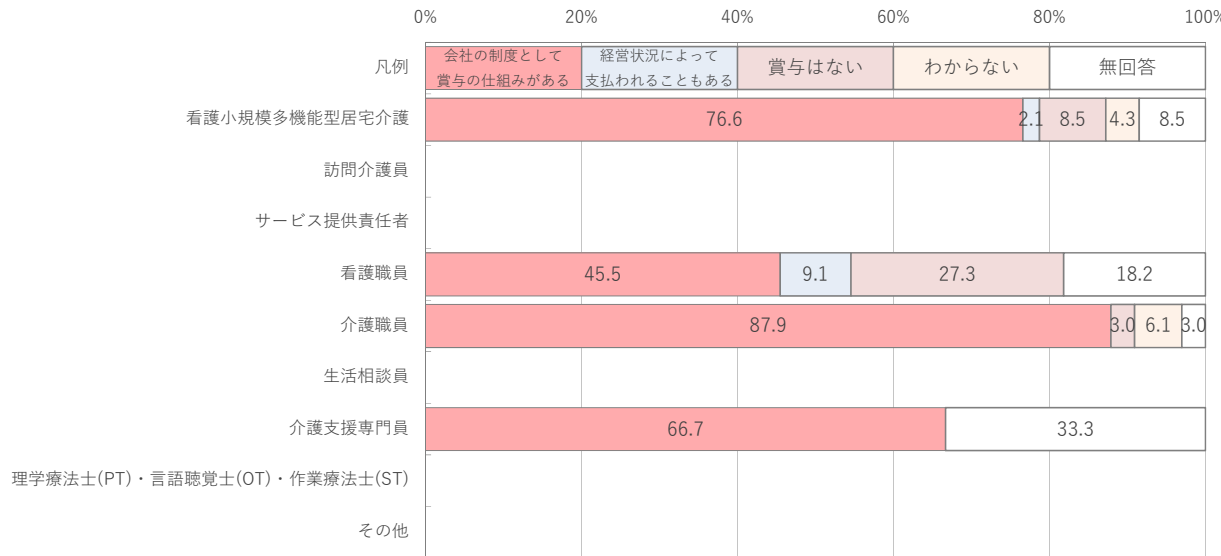
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円/時間)	平均稼働時間 (時間/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/日)	平均稼働日数 (日/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円/月)
看護小規模多機能型居宅介護	5	113,750	112	2	180,000	21	38	217,156	0	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	1	135,000	99	0	-	-	9	253,380	0	-
介護職員	4	106,667	115	2	180,000	21	26	205,700	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	3	250,000	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が76.6%、「賞与はない」が8.5%、「わからない」が4.3%、「経営状況によって支払われることもある」が2.1%となっている。

図表 19-2-6 (N=47)

	(件)					(%)						
	対象者数	会社が ある	経営 状況 によ って 支払 われ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答	対象者数	会社が ある	経営 状況 によ って 支払 われ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答
看護小規模多機能型居宅介護	47	36	1	4	2	4	100.0	76.6	2.1	8.5	4.3	8.5
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	11	5	1	3	0	2	100.0	45.5	9.1	27.3	0.0	18.2
介護職員	33	29	0	1	2	1	100.0	87.9	0.0	3.0	6.1	3.0
生活相談員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
介護支援専門員	3	2	0	0	0	1	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 293,246 円となっている。「正規職員」の平均は 339,337 円、「非正規職員」の平均は 95,714 円となっている。

職種別にみると、「介護支援専門員」が 200,000 円、「介護職員」が 314,831 円となっている。

図表 19-2-7 (N=47)

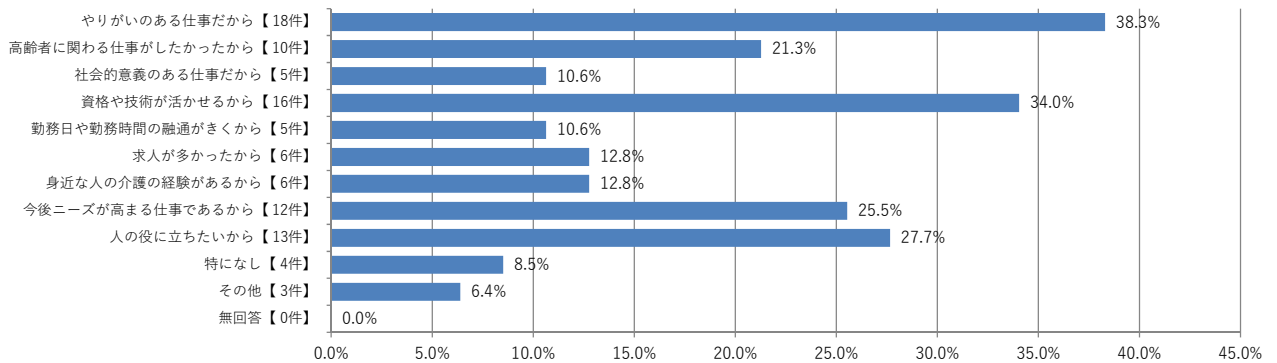
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
看護小規模多機能型居宅介護	47	78.7	8.5	4.3	8.5	37	293,246	看護小規模多機能型居宅介護	47	37	4	2	4	37
正規職員	36	83.3	5.6	5.6	5.6	30	339,337	正規職員	36	30	2	2	2	30
非正規職員	10	70.0	20.0	0.0	10.0	7	95,714	非正規職員	10	7	2	0	1	7
無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0	-	無回答	1	0	0	0	1	0
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	11	54.5	27.3	0.0	18.2	6	220,000	看護職員	11	6	3	0	2	6
介護職員	33	87.9	3.0	6.1	3.0	29	314,831	介護職員	33	29	1	2	1	29
生活相談員	0	-	-	-	-	0	-	生活相談員	0	0	0	0	0	0
介護支援専門員	3	66.7	0.0	0.0	33.3	2	200,000	介護支援専門員	3	2	0	0	1	2
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	0	-	-	-	-	0	-	その他	0	0	0	0	0	0

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「やりがいのある仕事だから」が38.3%と最も多く、次いで、「資格や技術が活かせるから」が34.0%、「人の役に立ちたいから」が27.7%、「今後ニーズが高まる仕事であるから」が25.5%となっている。

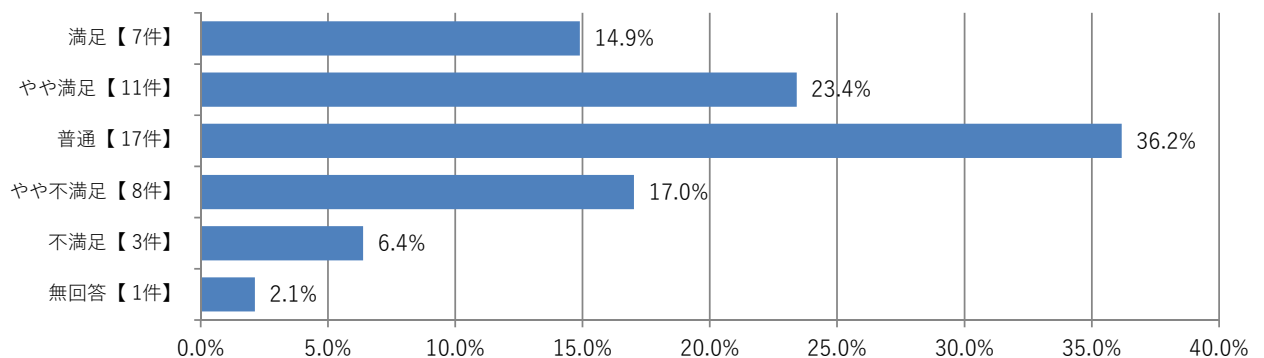
図表 19-3-1 (N=47)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が36.2%と最も多く、次いで、「やや満足」が23.4%、「やや不満足」が17.0%、「満足」が14.9%、「不満足」が6.4%となっている。

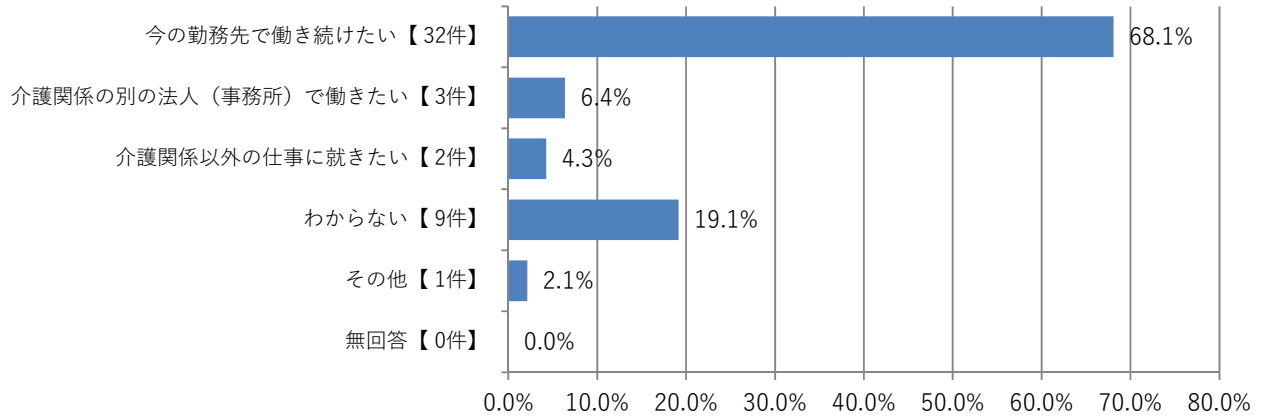
図表 19-3-2 (N=47)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が68.1%と最も多く、次いで、「わからない」が19.1%となっている。

図表 19-3-3 (N=47)

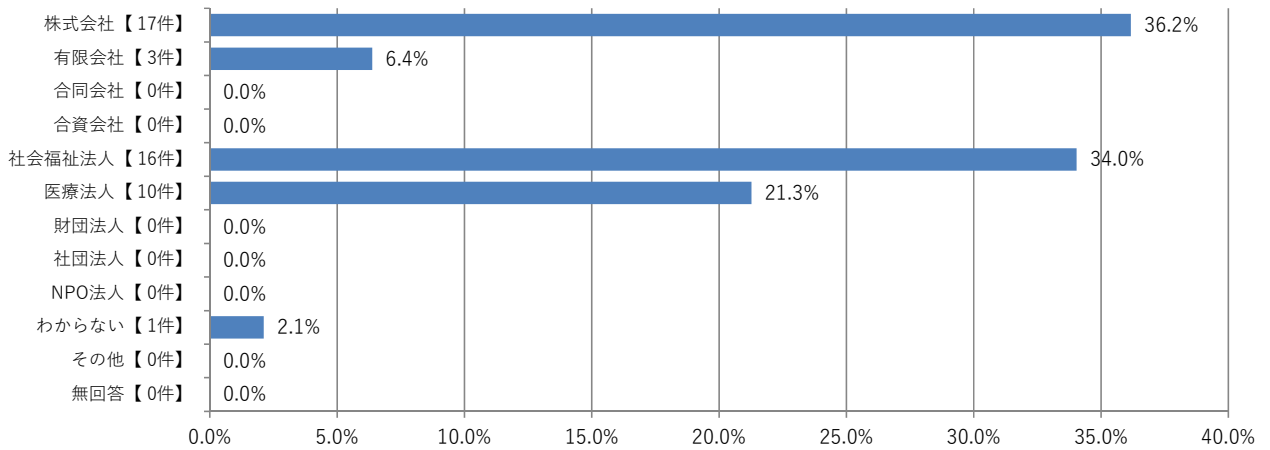


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「株式会社」が36.2%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が34.0%、「医療法人」が21.3%となっている。

図表 19-4-1 (N=47)

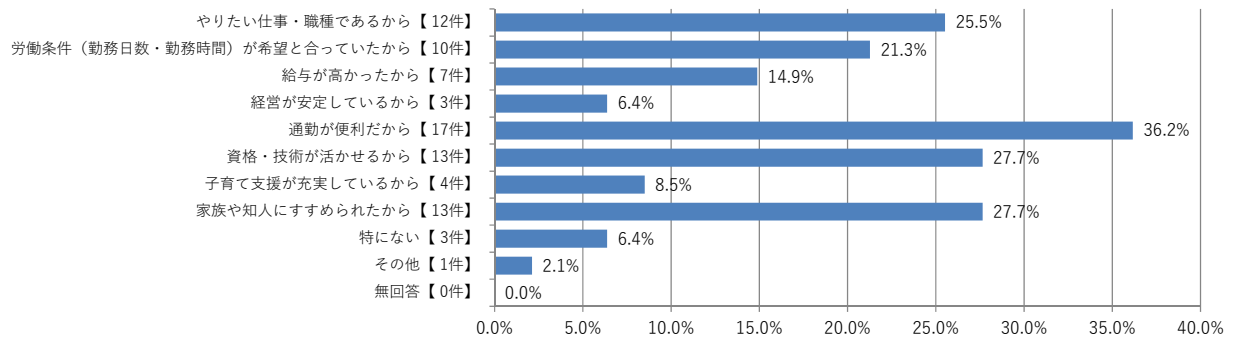


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「通勤が便利だから」が36.2%が最も多く、次いで、「資格・技術が活かせるから」、「家族や知人にすすめられたから」が27.7%、「やりたい仕事・職種であるから」25.5%となっている。

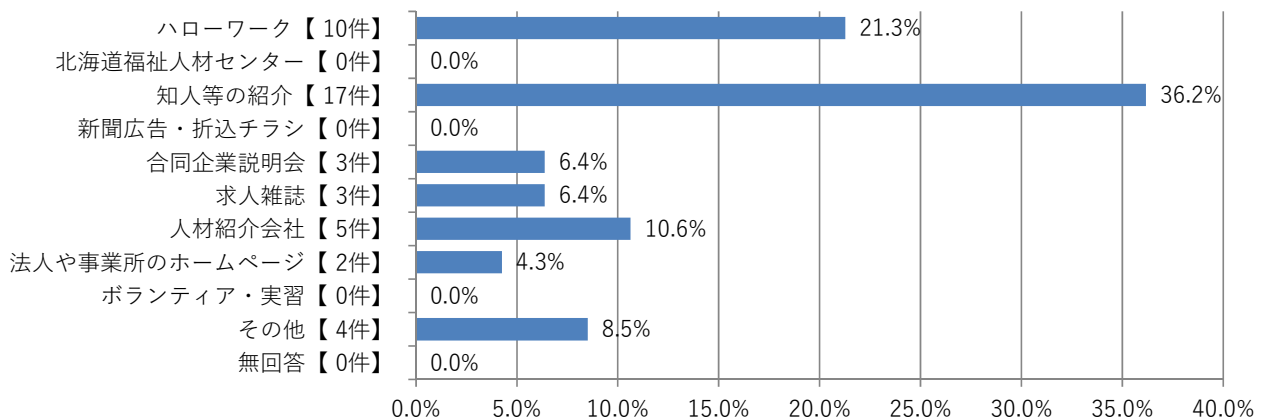
図表 19-5-1 (N=47)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が36.2%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が21.3%、「人材紹介会社」が10.6%となっている。

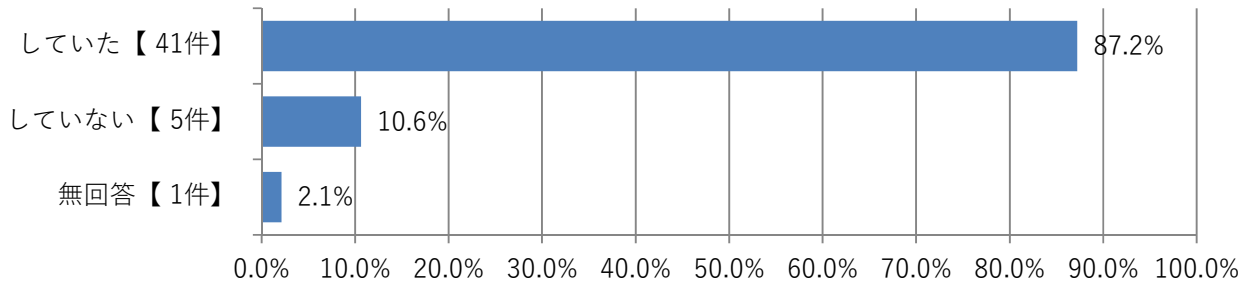
図表 19-5-2 (N=47)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が87.2%、「仕事をしていない」が10.6%となっている。

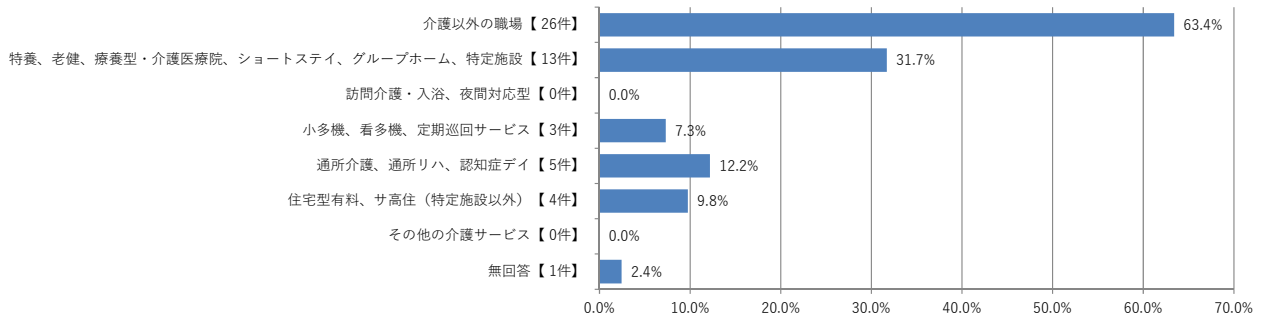
図表 19-5-3 (N=47)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が63.4%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が31.7%となっている。

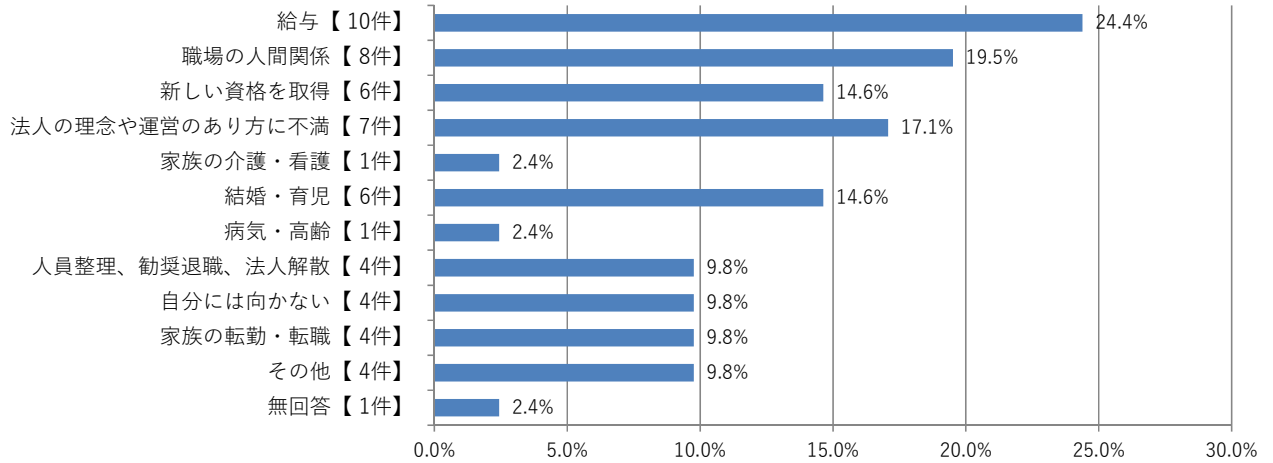
図表 19-5-4 (N=41)



問5（5）（4）の仕事辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「給与」が24.4%と最も多く、次いで、「職場の人間関係」が19.5%、「法人の理念や運営のあり方に不満」が17.1%となっている。

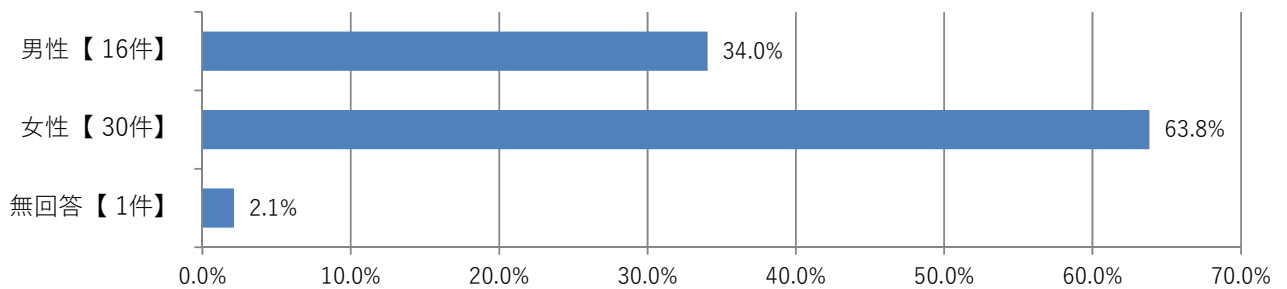
図表 19-5-5 (N=41)



問5（6）性別

性別は、「男性」が34.0%、「女性」が63.8%となっている。

図表 19-5-6 (N=47)



問5（7）年齢

平均年齢は、46.4歳となっている。

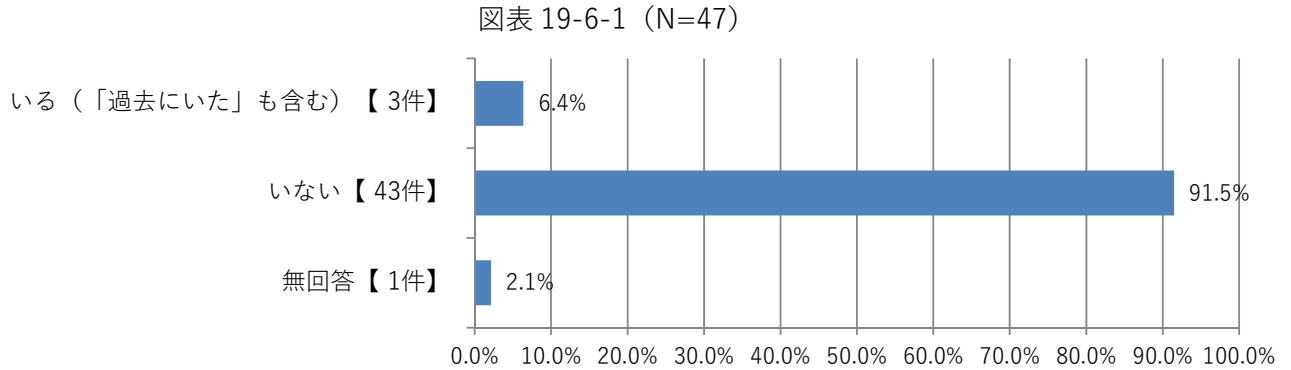
図表 19-5-7 (N=47)

	対象者数	平均年齢（歳）
看護小規模多機能型居宅介護	47	46.4

問6 外国人介護職員について

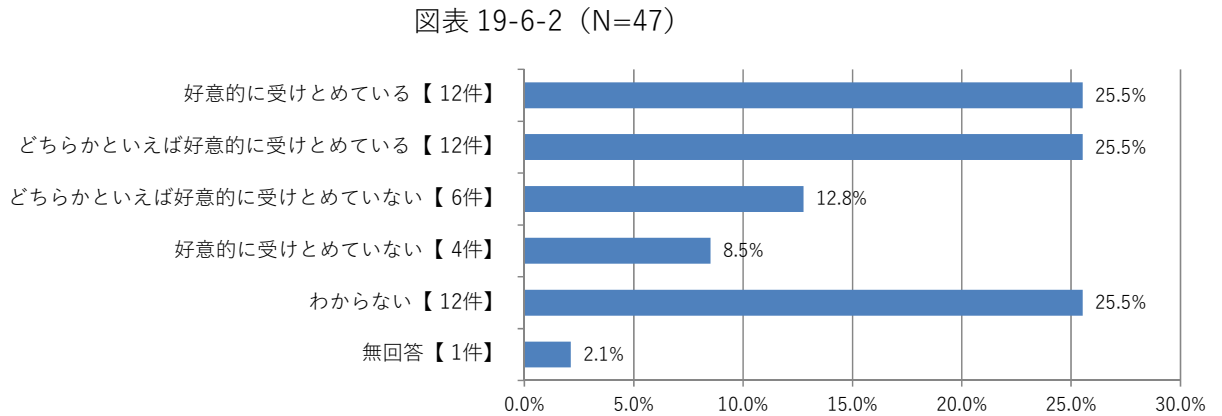
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が91.5%、「いる（過去にいた）」が6.4%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「好意的に受けとめている」、「どちらかといえば好意的に受けとめている」、「どちらかといえば好意的に受けとめていない」、「好意的に受けとめていない」、「わからない」が25.5%と最も多くなっている。

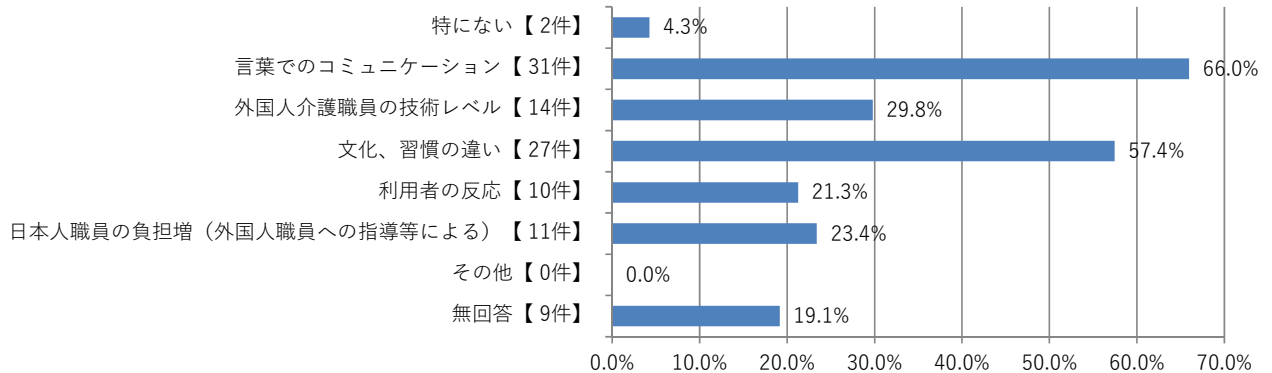


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が66.0%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が57.4%、「外国人介護職員の技術レベル」が29.8%、「日本人職員の負担増」が23.4%、「利用者の反応」が21.3%となっている。

図表 19-6-3 (N=47)

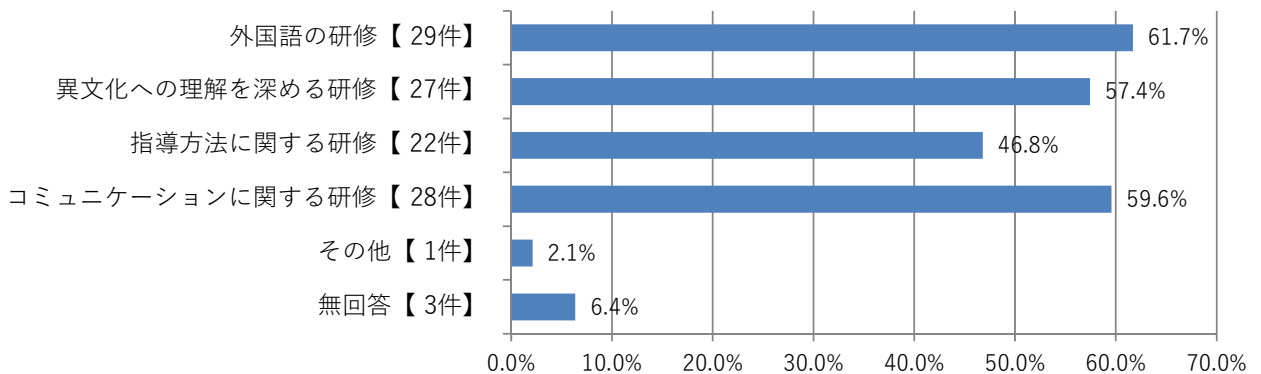


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「外国語の研修」が61.7%と最も多く、次いで、「コミュニケーションに関する研修」が59.6%、「異文化への理解を深める研修」が57.4%、「指導方法に関する研修」が46.8%となっている。

図表 19-6-4 (N=47)



②0 介護予防支援

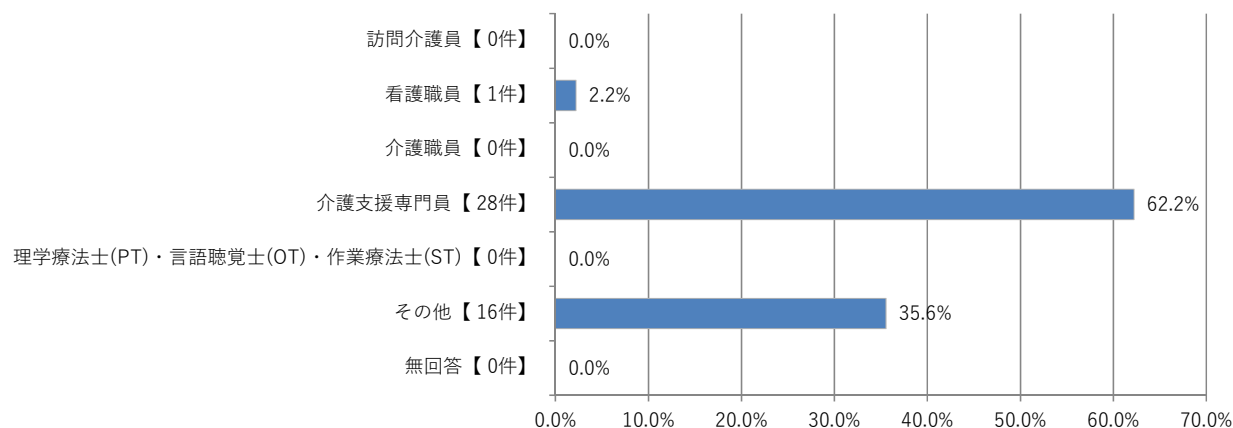
回答者数 45

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護支援専門員」が62.2%と最も多くなっている。

図表 20-1-1 (N=45)

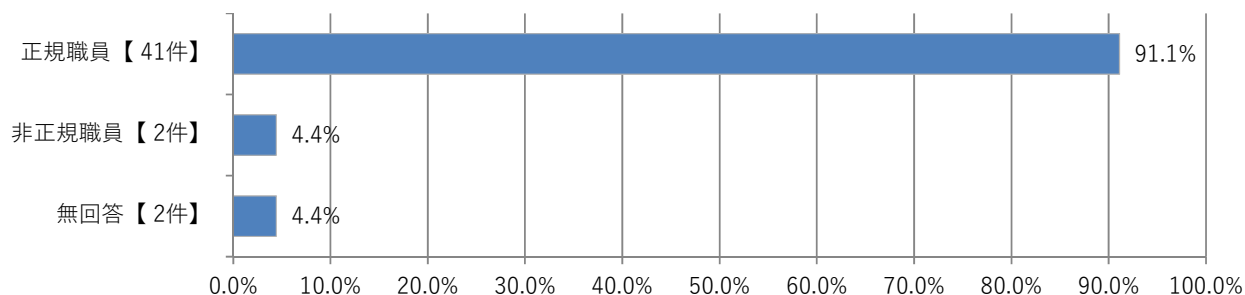


その他の内容
社会福祉士
保健師

問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が91.1%、「非正規職員」が4.4%となっている。

図表 20-1-2 (N=45)

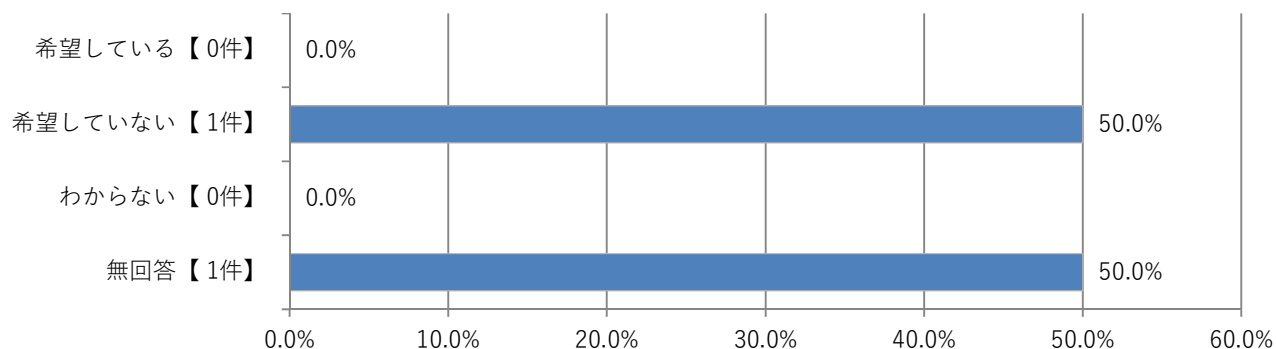


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が50.0%となっている。

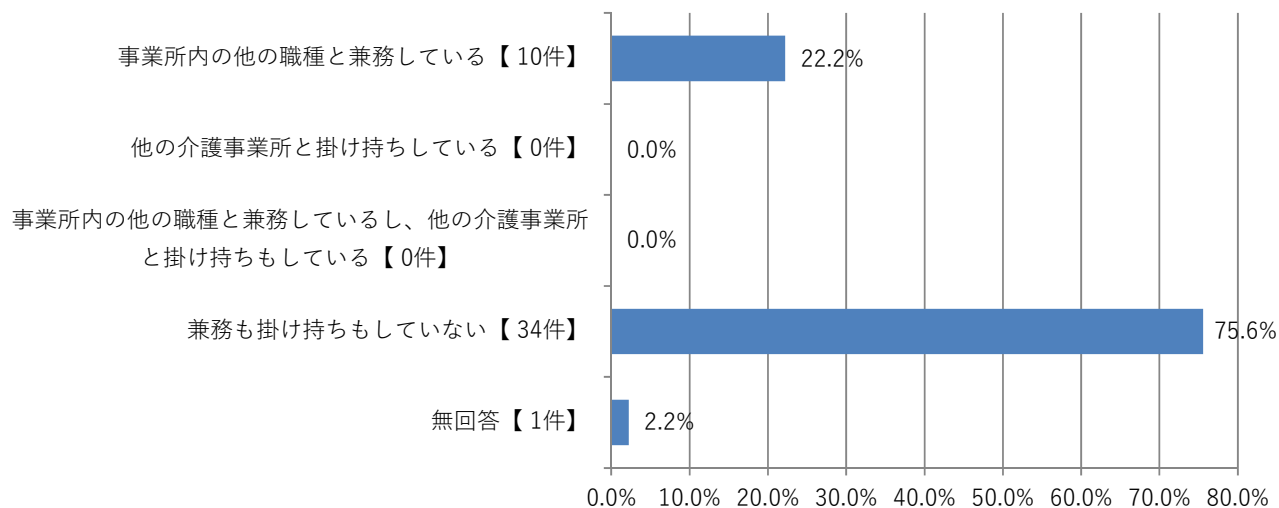
図表 20-1-3 (N=2)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が75.6%と最も多くなっている。

図表 20-1-4 (N=45)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が11.5年となっており、「正規職員」が11.7年、「非正規職員」が14.9年となっている。

図表 20-1-5 (N=45)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護予防支援	45	11.5	11.7	14.9	3.8

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が7.8年、「正規職員」が8.2年、「非正規職員」が5.9年となっている。

図表 20-1-6 (N=45)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護予防支援	45	7.8	8.2	5.9	1.6

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が5.0日、「正規職員」が5.1日、「非正規職員」が4.5日となっている。

職種別では、「介護支援専門員」、「看護職員」が5.0日、「その他」が5.1日となっている。

図表 20-2-1 (N=45)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護予防支援	45	5.0	5.1	4.5	5.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
看護職員	1	5.0	-	5.0	-
介護職員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	28	5.0	5.0	4.0	5.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	16	5.1	5.1	-	5.0

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が43.3時間、「正規職員」が43.5時間、「非正規職員」が38.5時間となっている。

職種別では、「介護支援専門員」が44.6時間となっている。

図表 20-2-2 (N=45)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護予防支援	45	43.3	43.5	38.5	43.8
訪問介護員	0	-	-	-	-
看護職員	1	41.0	-	41.0	-
介護職員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	28	44.6	45.3	36.0	37.5
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	16	41.1	40.4	-	50.0

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が4.0時間、「正規職員」が3.9時間、「非正規職員」が4.0時間となっている。

職種別では、「看護職員」が6.0時間、「介護支援専門員」が3.5時間となっている。

図表 20-2-3 (N=45)

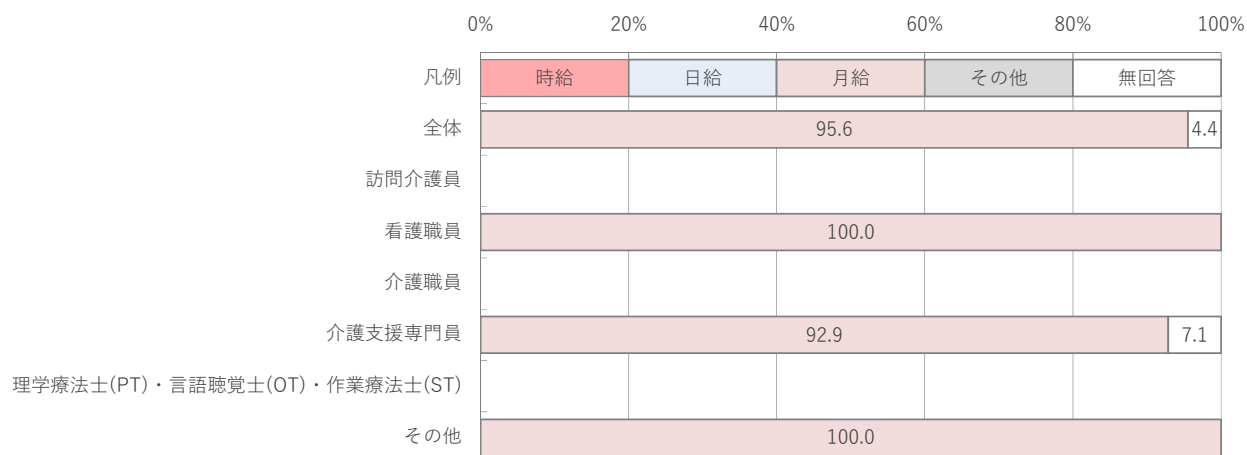
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護予防支援	45	4.0	3.9	4.0	5.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
看護職員	1	6.0	-	6.0	-
介護職員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	28	3.5	3.8	2.0	0.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	16	4.6	4.2	-	10.0

問2（４）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が95.6%となっている。

図表 20-2-4 (N=45)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
介護予防支援	45	0	0	43	0	2	-	-
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	1	0	0	1	0	0	-	-
介護職員	0	0	0	0	0	0	-	-
介護支援専門員	28	0	0	26	0	2	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	-	-
その他	16	0	0	16	0	0	-	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が201,031円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護支援専門員」が203,210円となっている。

図表 20-2-5 (N=45)

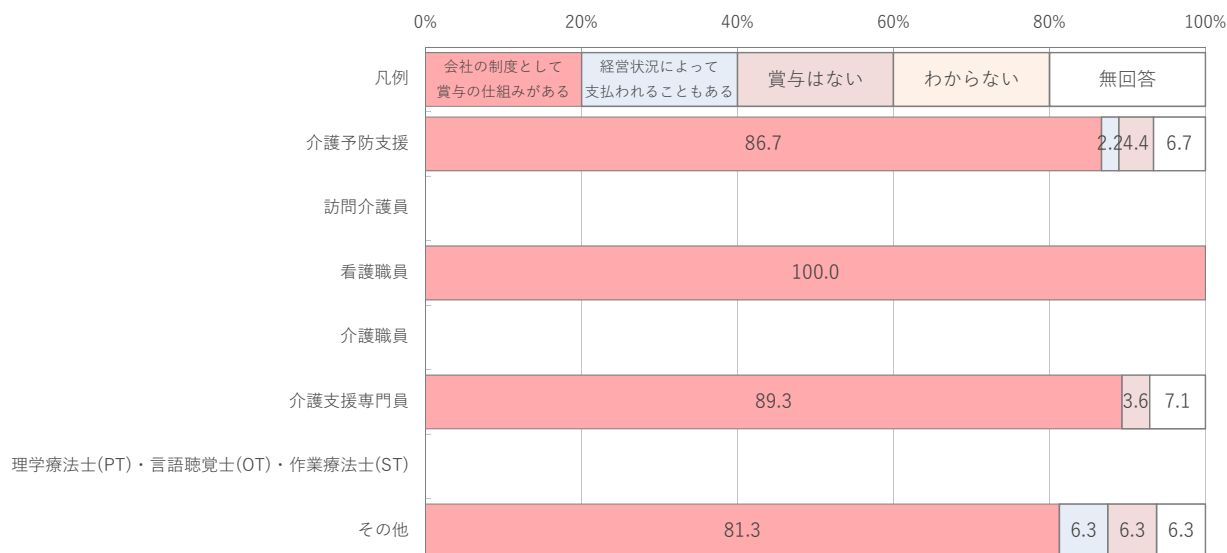
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
介護予防支援	0	-	-	0	-	-	43	201,031	0	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	0	-	-	0	-	-	1	190,000	0	-
介護職員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	26	203,210	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	16	198,278	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が86.7%、「賞与はない」が4.4%、「経営状況によって支払われることもある」が2.2%となっている。

図表 20-2-6 (N=45)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が ある	経営 状況 によ って 支払 われ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答	対象者数	会社が ある	経営 状況 によ って 支払 われ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答
介護予防支援	45	39	1	2	0	3	100.0	86.7	2.2	4.4	0.0	6.7
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	1	1	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護職員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
介護支援専門員	28	25	0	1	0	2	100.0	89.3	0.0	3.6	0.0	7.1
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	16	13	1	1	0	1	100.0	81.3	6.3	6.3	0.0	6.3



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 530,629 円となっている。「正規職員」の平均は 523,113 円、「非正規職員」の平均は 590,000 円となっている。

職種別にみると、「介護支援専門員」が 513,504 円、「その他」が 556,969 円となっている。

図表 20-2-7 (N=45)

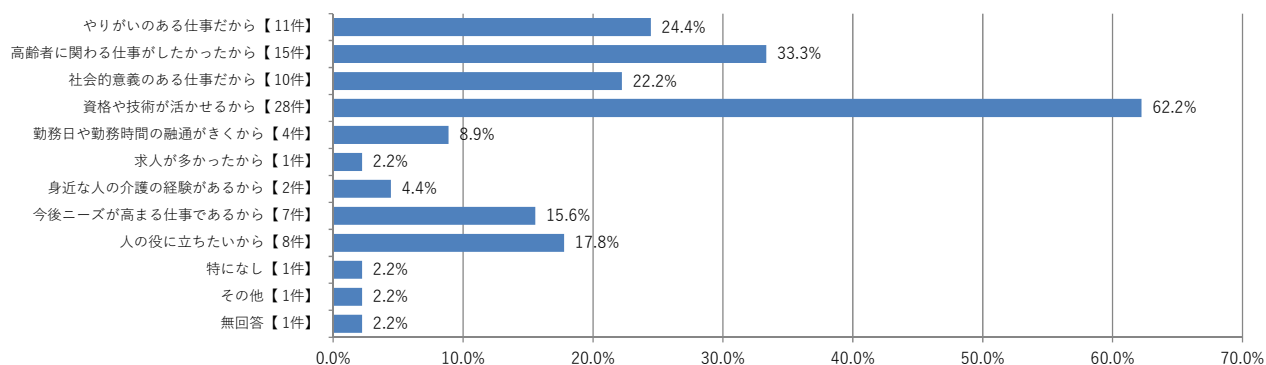
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)	(件)						
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答			対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)	
介護予防支援	45	88.9	4.4	0.0	6.7	40	530,629	介護予防支援	45	40	2	0	3	40
正規職員	41	90.2	2.4	0.0	7.3	37	523,113	正規職員	41	37	1	0	3	37
非正規職員	2	50.0	50.0	0.0	0.0	1	590,000	非正規職員	2	1	1	0	0	1
無回答	2	100.0	0.0	0.0	0.0	2	640,000	無回答	2	2	0	0	0	2
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
看護職員	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	590,000	看護職員	1	1	0	0	0	1
介護職員	0	-	-	-	-	0	-	介護職員	0	0	0	0	0	0
介護支援専門員	28	89.3	3.6	0.0	7.1	25	513,504	介護支援専門員	28	25	1	0	2	25
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	16	87.5	6.3	0.0	6.3	14	556,969	その他	16	14	1	0	1	14

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が62.2%と最も多く、次いで、「高齢者に関わる仕事がしたかったから」が33.3%、「やりがいのある仕事だから」が24.4%となっている。

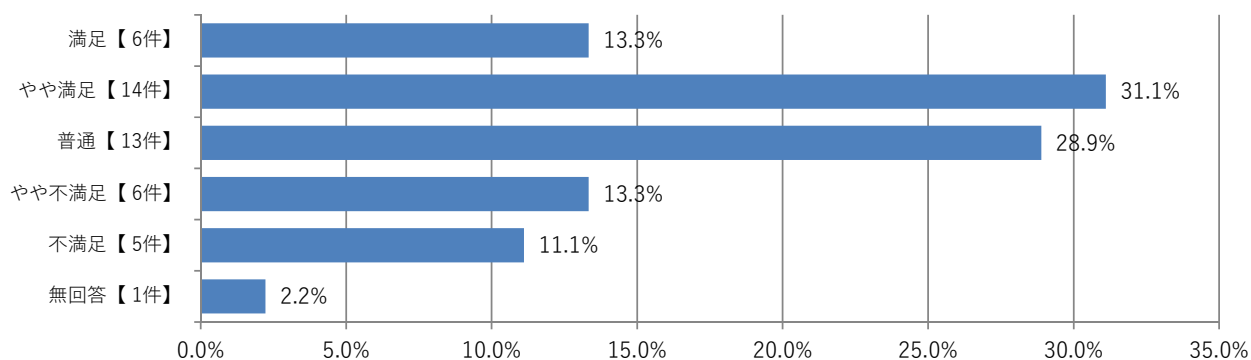
図表 20-3-1 (N=45)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「やや満足」が31.1%と最も多く、次いで、「普通」が28.9%、「満足」、「やや不満足」が13.3%、「不満足」が11.1%となっている。

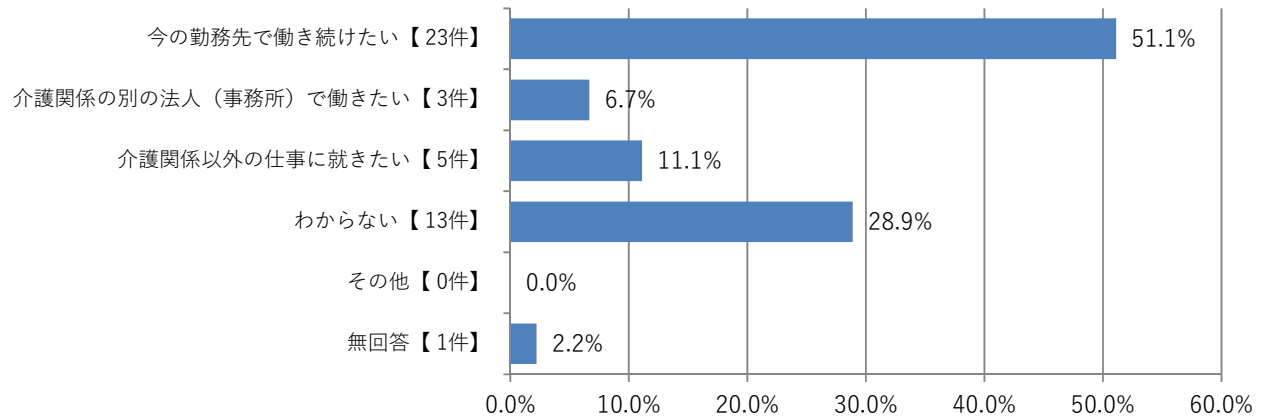
図表 20-3-2 (N=45)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が 51.1%と最も多く、次いで、「わからない」が 28.9%となっている。

図表 20-3-3 (N=45)

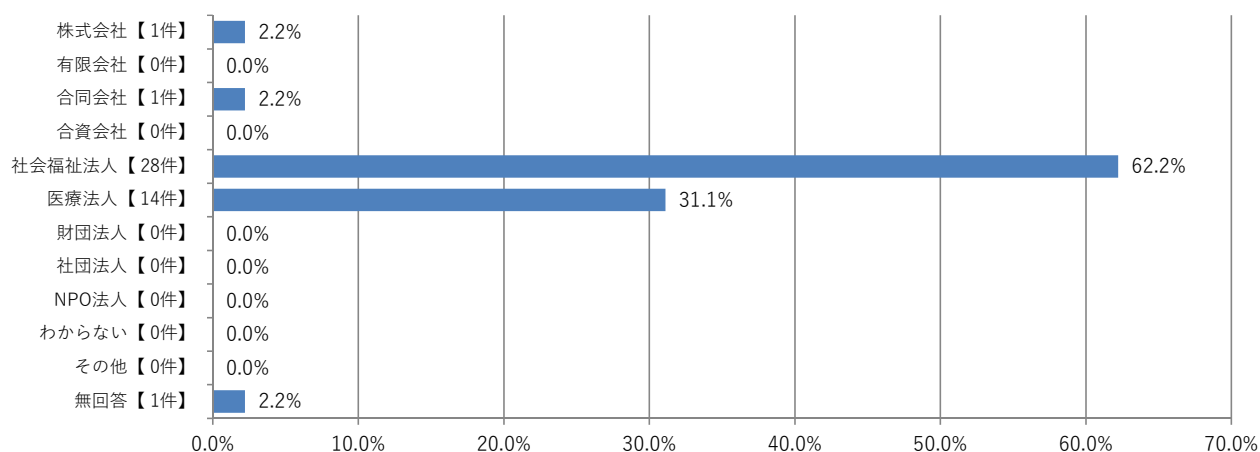


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「社会福祉法人」が 62.2%と最も多く、次いで、「医療法人」が 31.1%となっている。

図表 20-4-1 (N=45)

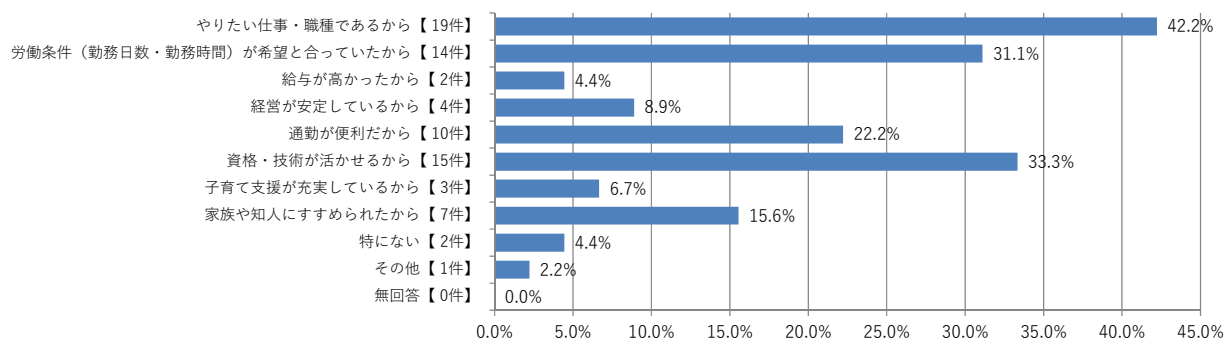


問5 あなた自身の仕事について

問5（１）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が42.2%と最も多く、次いで、「資格・技術が活かせるから」が33.3%、「労働条件が希望と合っていたから」が31.1%、「通勤が便利だから」が22.2%となっている。

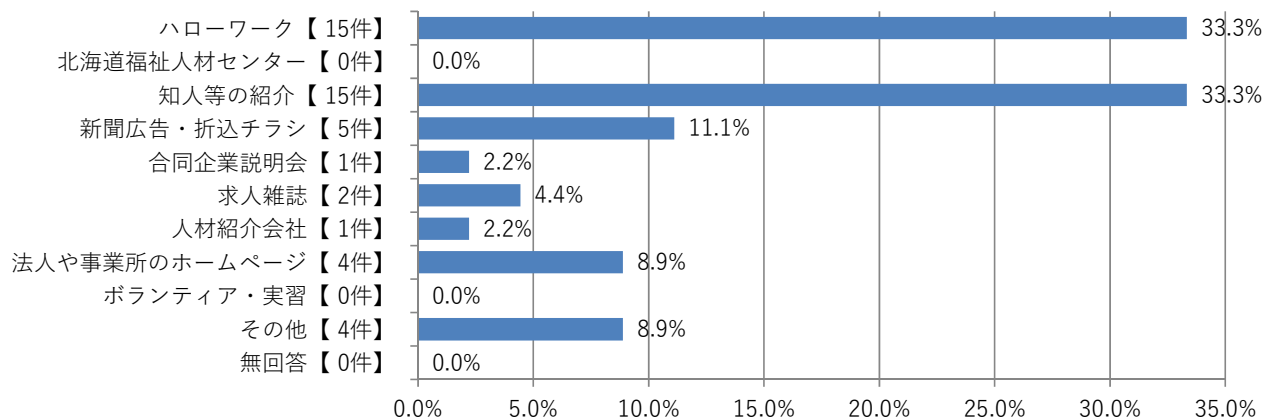
図表 20-5-1 (N=45)



問5（２）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「ハローワーク」、「知人等の紹介」が33.3%と最も多く、次いで、「新聞広告・折込チラシ」が11.1%となっている。

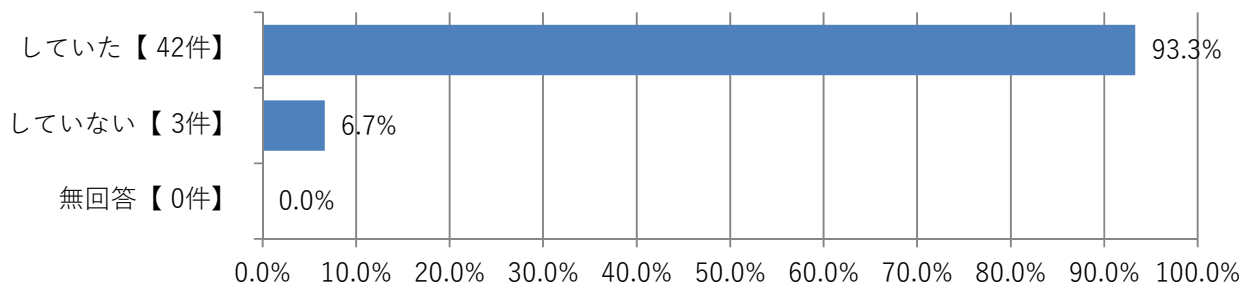
図表 20-5-2 (N=45)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が93.3%、「仕事をしていない」が6.7%となっている。

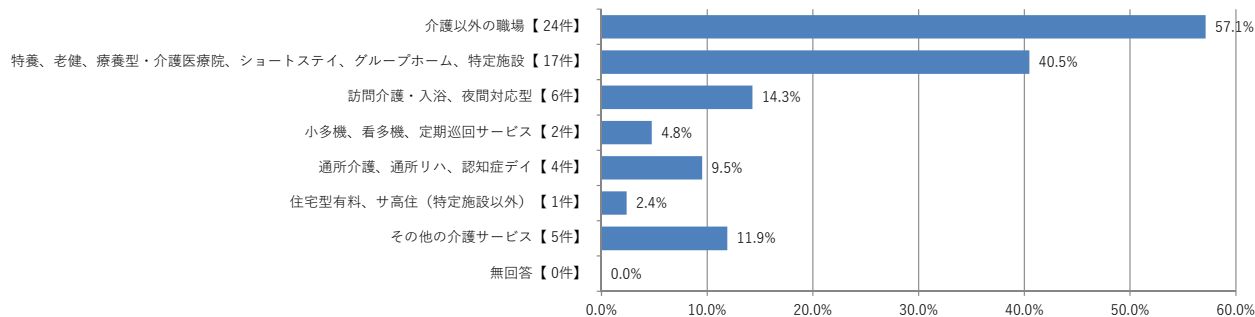
図表 20-5-3 (N=45)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が57.1%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が40.5%となっている。

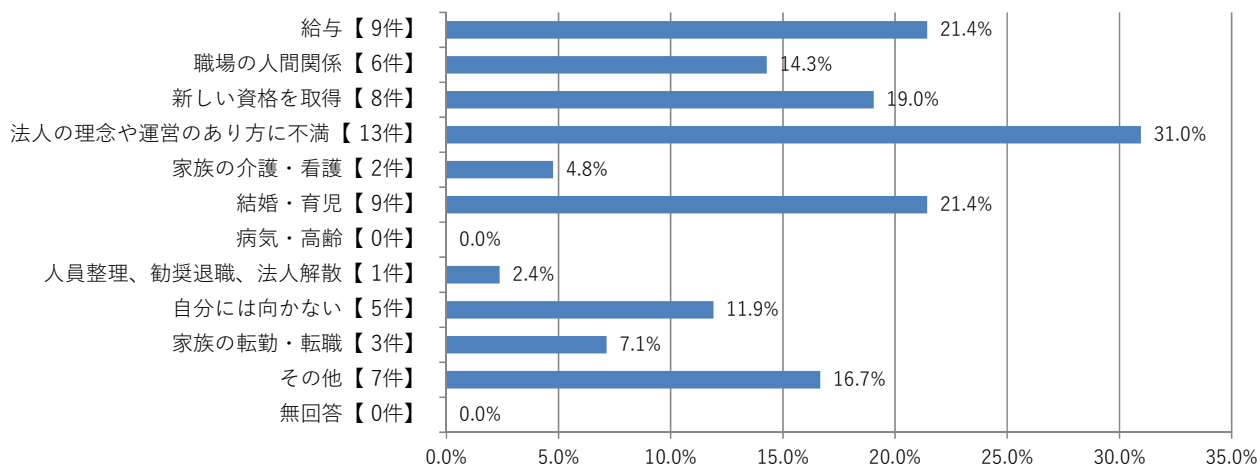
図表 20-5-4 (N=42)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「法人の理念や運営のあり方に不満」が31.0%と最も多く、次いで、「給与」、「結婚・育児」が21.4%となっている。

図表 20-5-5 (N=42)

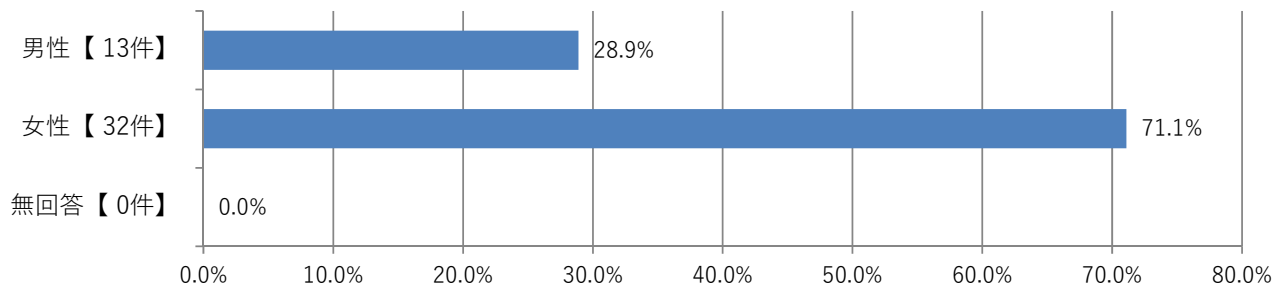


その他の内容
違う仕事がしたいと思った
遠いから
資格を活かしたかったため
残業が多すぎたため

問5（6）性別

性別は、「男性」が28.9%、「女性」が71.1%となっている。

図表 20-5-6 (N=45)



問5（7）年齢

平均年齢は、45.4歳となっている。

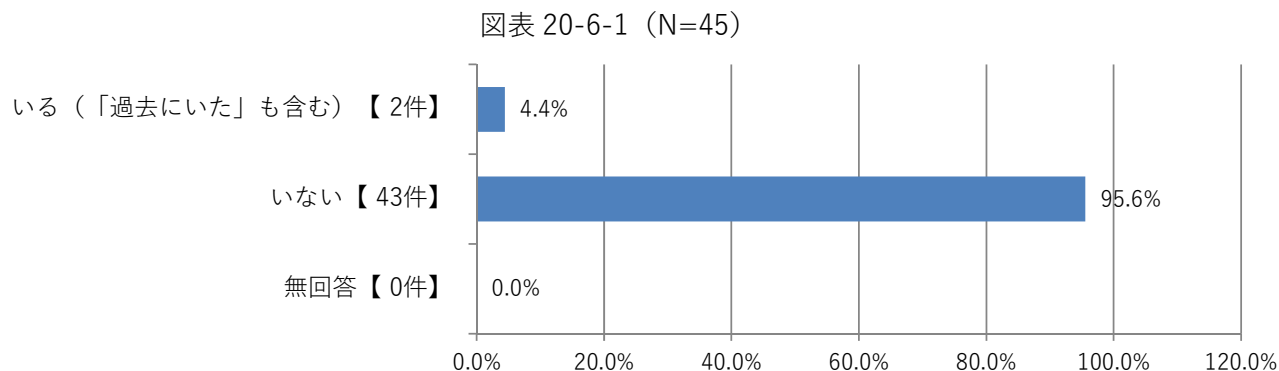
図表 20-5-7（N=45）

	対象者数	平均年齢（歳）
介護予防支援	45	45.4

問6 外国人介護職員について

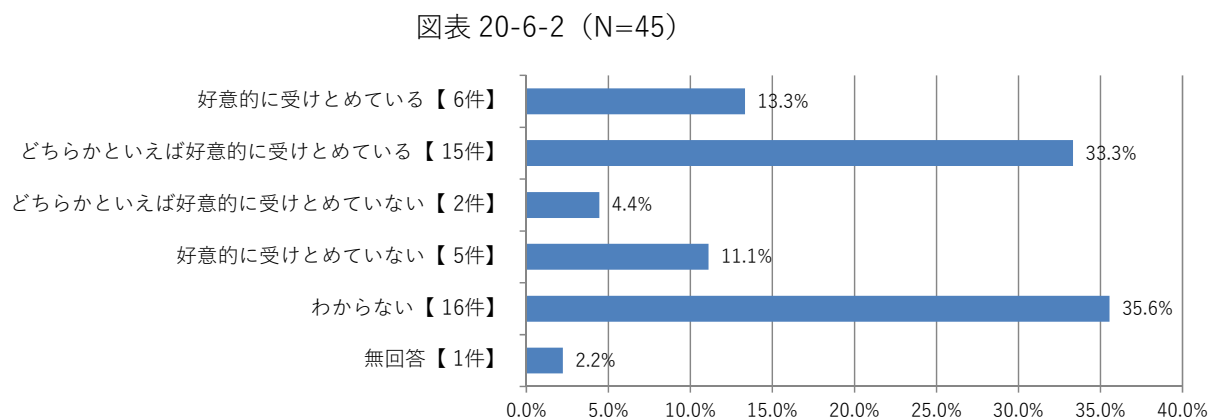
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が95.6%、「いる（過去にいた）」が4.4%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が35.6%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が33.3%、「好意的に受けとめている」が13.3%となっている。

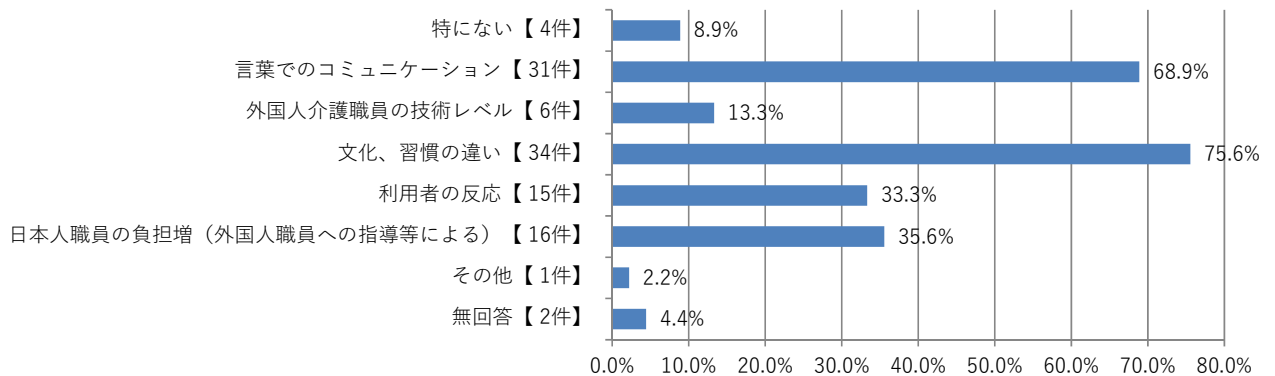


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「文化、習慣の違い」が75.6%と最も多く、次いで、「言葉でのコミュニケーション」が68.9%、「日本人職員の負担増」が35.6%、「利用者の反応」が33.3%となっている。

図表 20-6-3 (N=45)

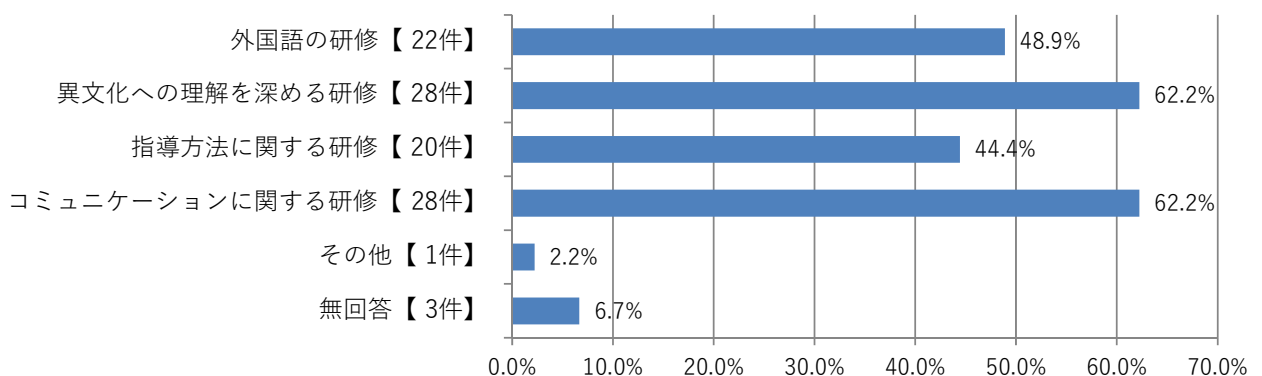


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「異文化への理解を深める研修」、「コミュニケーションに関する研修」が62.2%と最も多く、次いで、「外国語の研修」が48.9%、「指導方法に関する研修」が44.4%となっている。

図表 20-6-4 (N=45)



②介護老人福祉施設入所者生活介護

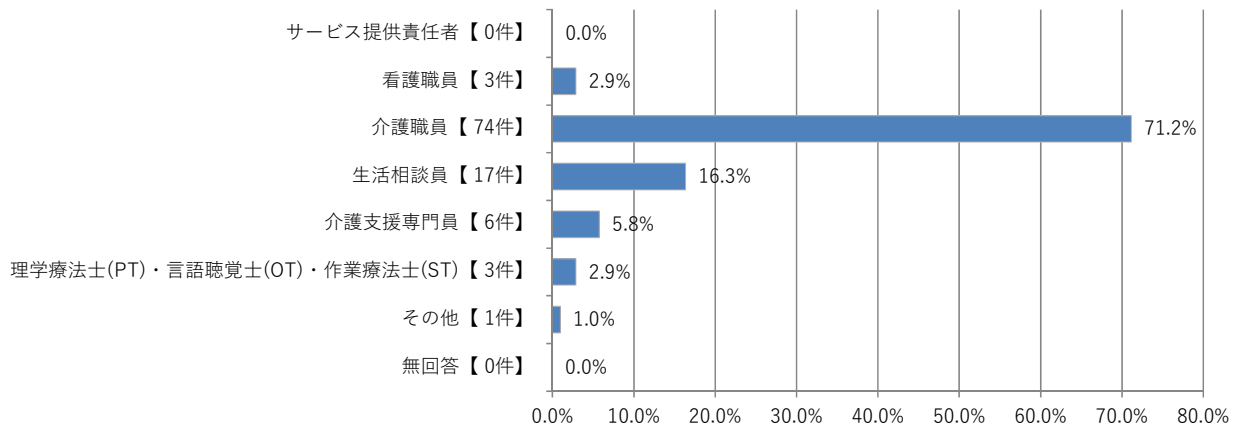
回答者数 104

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が71.2%と最も多くなっている。

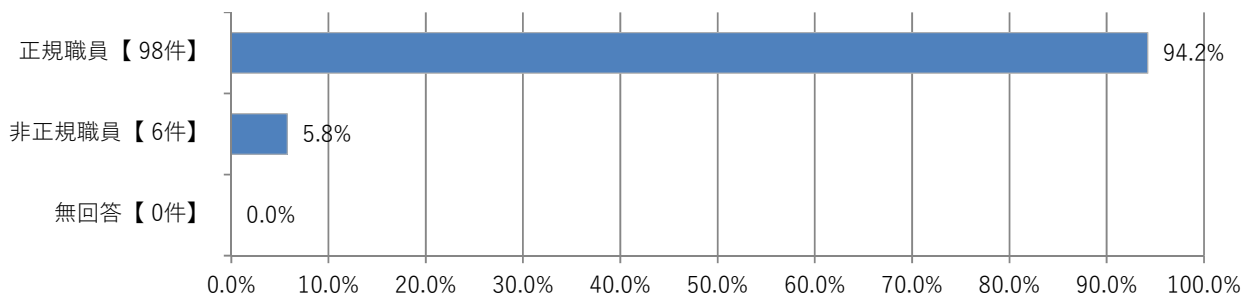
図表 21-1-1 (N=104)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が94.2%、「非正規職員」が5.8%となっている。

図表 21-1-2 (N=104)

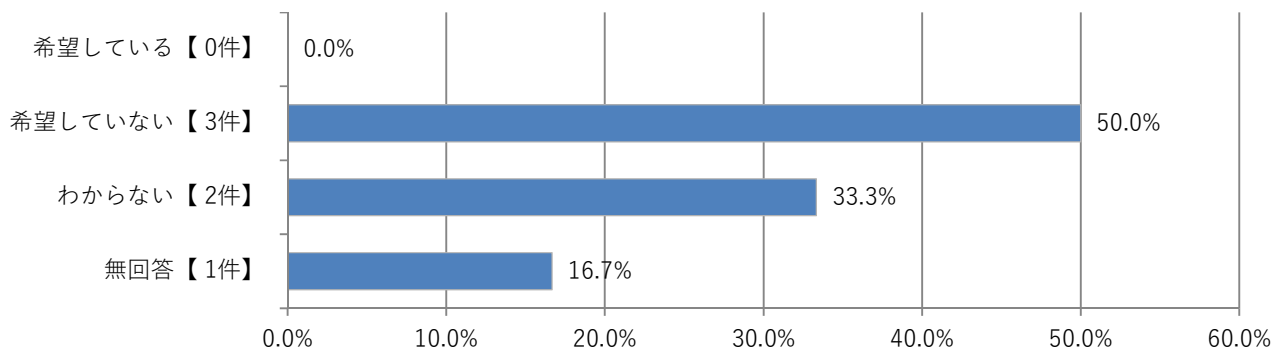


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が50.0%、「わからない」が33.3%となっている。

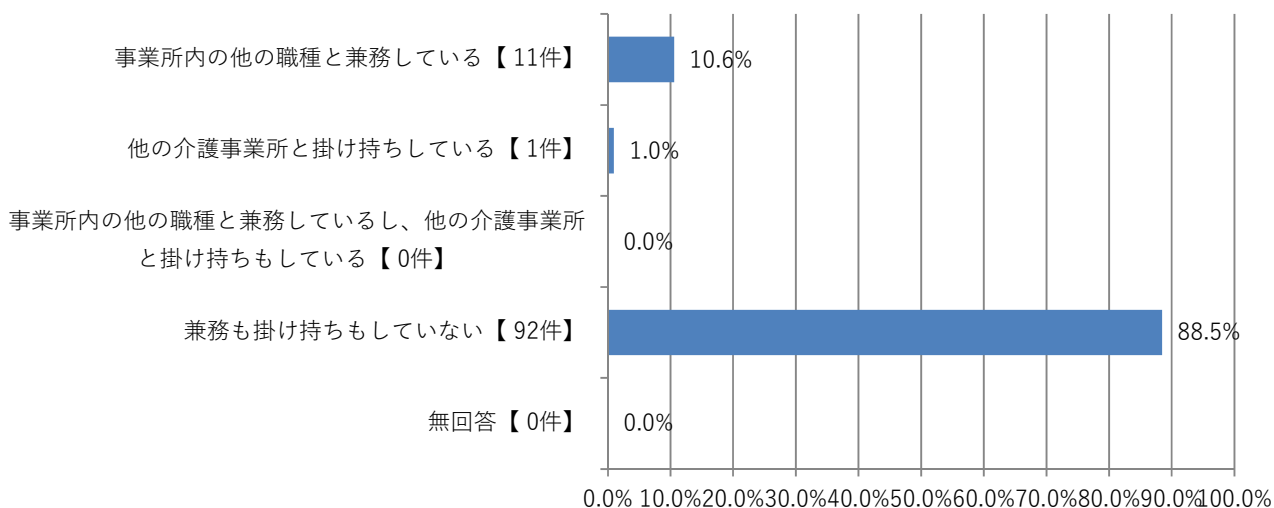
図表 21-1-3 (N=6)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が88.5%と最も多くなっている。

図表 21-1-4 (N=104)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が12.6年となっており、「正規職員」が12.4年、「非正規職員」が16.6年となっている。

図表 21-1-5 (N=104)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護老人福祉施設入所者生活介護	104	12.6	12.4	16.6	-

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が8.2年、「正規職員」が8.5年、「非正規職員」が4.6年となっている。

図表 21-1-6 (N=104)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護老人福祉施設入所者生活介護	104	8.2	8.5	4.6	-

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.9日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が4.3日となっている。

職種別では、「介護支援専門員」が5.3日、「介護職員」が4.9日となっている。

図表 21-2-1 (N=104)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護老人福祉施設入所者生活介護	104	4.9	5.0	4.3	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	3	4.3	5.0	3.0	-
介護職員	74	4.9	4.9	4.4	-
生活相談員	17	5.0	5.0	-	-
介護支援専門員	6	5.3	5.2	5.5	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	3	5.0	5.0	-	-
その他	1	5.0	5.0	-	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が40.9時間、「正規職員」が41.2時間、「非正規職員」が37.0時間となっている。

職種別では、「介護支援専門員」が44.6時間、「介護職員」が40.4時間となっている。

図表 21-2-2 (N=104)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護老人福祉施設入所者生活介護	104	40.9	41.2	37.0	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	3	40.0	49.0	22.0	-
介護職員	74	40.4	40.4	40.3	-
生活相談員	17	41.7	41.7	-	-
介護支援専門員	6	44.6	45.8	38.5	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	3	43.3	43.3	-	-
その他	1	39.0	39.0	-	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.4時間、「正規職員」が2.4時間、「非正規職員」が2.8時間となっている。

職種別では、「介護職員」が1.9時間、「生活相談員」が3.3時間となっている。

図表 21-2-3 (N=104)

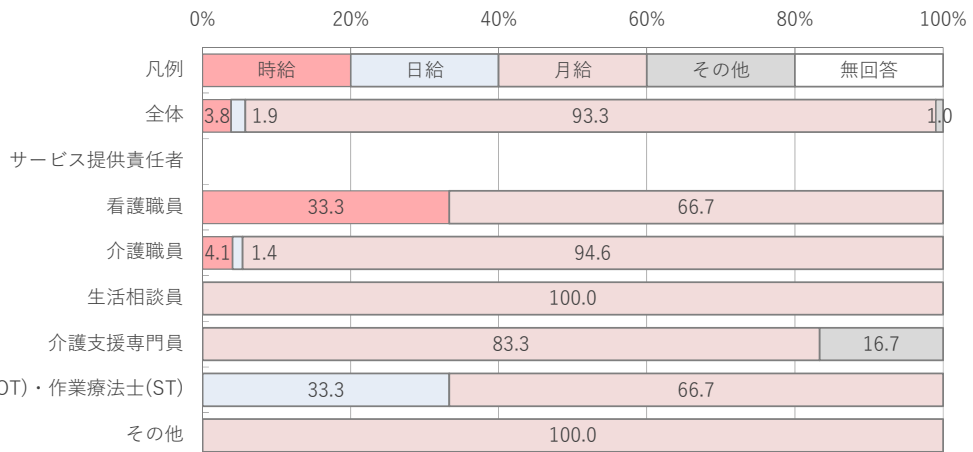
	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護老人福祉施設入所者生活介護	104	2.4	2.4	2.8	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	3	1.7	2.0	1.0	-
介護職員	74	1.9	1.8	4.0	-
生活相談員	17	3.3	3.3	-	-
介護支援専門員	6	4.5	5.4	0.0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	3	2.3	2.3	-	-
その他	1	10.0	10.0	-	-

問2（４）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が93.3%、「時給」が3.8%、「日給」が1.9%となっている。
 時給の平均は、1,123円、日給の平均は8,385円となっている。

図表 21-2-4 (N=104)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
介護老人福祉施設入所者生活介護	104	4	2	97	1	0	1,123	8,385
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	3	1	0	2	0	0	1,200	-
介護職員	74	3	1	70	0	0	1,097	7,270
生活相談員	17	0	0	17	0	0	-	-
介護支援専門員	6	0	0	5	1	0	-	-
理学療法士(P.T)・言語聴覚士(O.T)・作業療法士(S.T)	3	0	1	2	0	0	-	9,500
その他	1	0	0	1	0	0	-	-



問2（5）1か月当たりの税込み月収

1か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が218,258円、「時給」が123,000円、「日給」が200,000円、「その他」が250,000円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の「介護職員」が217,432円、「生活相談員」が210,588円となっている。

図表 21-2-5 (N=104)

	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
介護老人福祉施設入所者生活介護	4	123,000	110	2	200,000	21	97	218,258	1	250,000
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	1	100,000	83	0	-	-	2	250,000	0	-
介護職員	3	134,500	123	1	200,000	21	70	217,432	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	17	210,588	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	5	224,000	1	250,000
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	1	200,000	22	2	230,000	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	1	290,000	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 90.4%、「経営状況によって支払われることもある」、「賞与はない」が 2.9%、「わからない」が 1.0%となっている。

図表 21-2-6 (N=104)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が ある	経営 状況 によ って 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答	対象者数	会社が ある	経営 状況 によ って 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答
介護老人福祉施設入所者生活介護	104	94	3	3	1	3	100.0	90.4	2.9	2.9	1.0	2.9
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	3	3	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護職員	74	66	3	1	1	3	100.0	89.2	4.1	1.4	1.4	4.1
生活相談員	17	16	0	1	0	0	100.0	94.1	0.0	5.9	0.0	0.0
介護支援専門員	6	5	0	1	0	0	100.0	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	3	3	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1	1	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 472,355 円となっている。「正規職員」の平均は 483,600 円、「非正規職員」の平均は 120,000 円となっている。

職種別にみると、「介護職員」が 426,525 円となっている。

図表 21-2-7 (N=104)

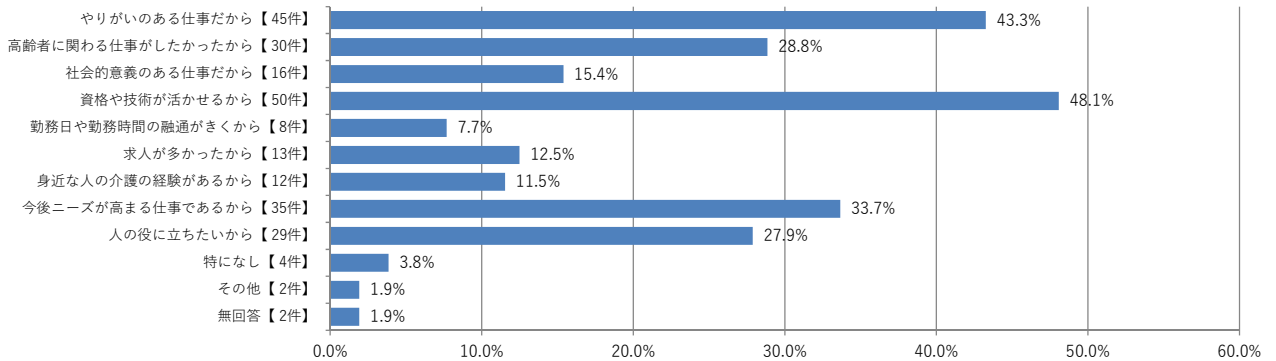
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)	(件)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答										
介護老人福祉施設入所者生活介護	104	93.3	2.9	1.0	2.9	97	472,355	介護老人福祉施設入所者生活介護	104	97	3	1	3	97	
正規職員	98	95.9	1.0	1.0	2.0	94	483,600	正規職員	98	94	1	1	2	94	
非正規職員	6	50.0	33.3	0.0	16.7	3	120,000	非正規職員	6	3	2	0	1	3	
無回答	0	-	-	-	-	0	-	無回答	0	0	0	0	0	0	
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	
看護職員	3	100.0	0.0	0.0	0.0	3	633,333	看護職員	3	3	0	0	0	3	
介護職員	74	93.2	1.4	1.4	4.1	69	426,525	介護職員	74	69	1	1	3	69	
生活相談員	17	94.1	5.9	0.0	0.0	16	572,750	生活相談員	17	16	1	0	0	16	
介護支援専門員	6	83.3	16.7	0.0	0.0	5	644,840	介護支援専門員	6	5	1	0	0	5	
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	3	100.0	0.0	0.0	0.0	3	366,667	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	3	3	0	0	0	3	
その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	1,000,000	その他	1	1	0	0	0	1	

問3 仕事についての考え方

問3（１）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が48.1%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が43.3%、「今後ニーズが高まる仕事であるから」が33.7%、「高齢者に関わる仕事がしたかったから」が28.8%、「人の役に立ちたいから」が27.9%となっている。

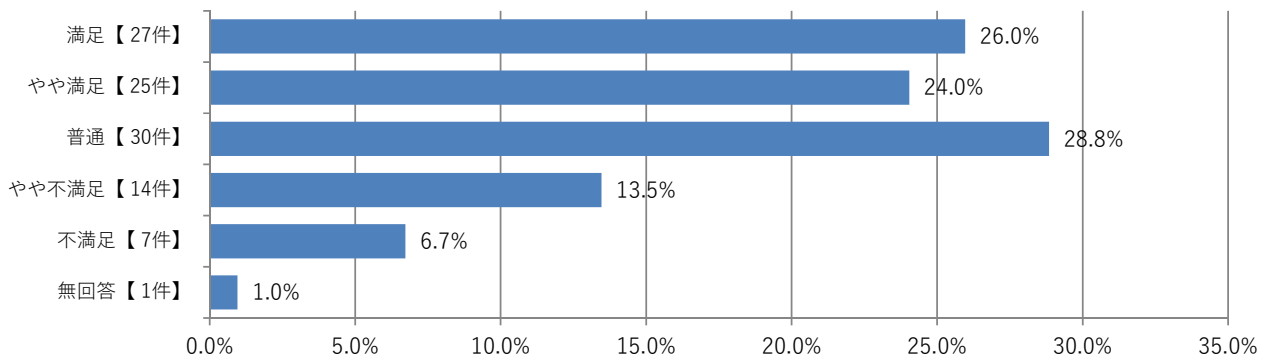
図表 21-3-1 (N=104)



問3（２）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が28.8%と最も多く、次いで、「満足」が26.0%、「やや満足」が24.0%、「やや不満足」が13.5%、「不満足」が6.7%となっている。

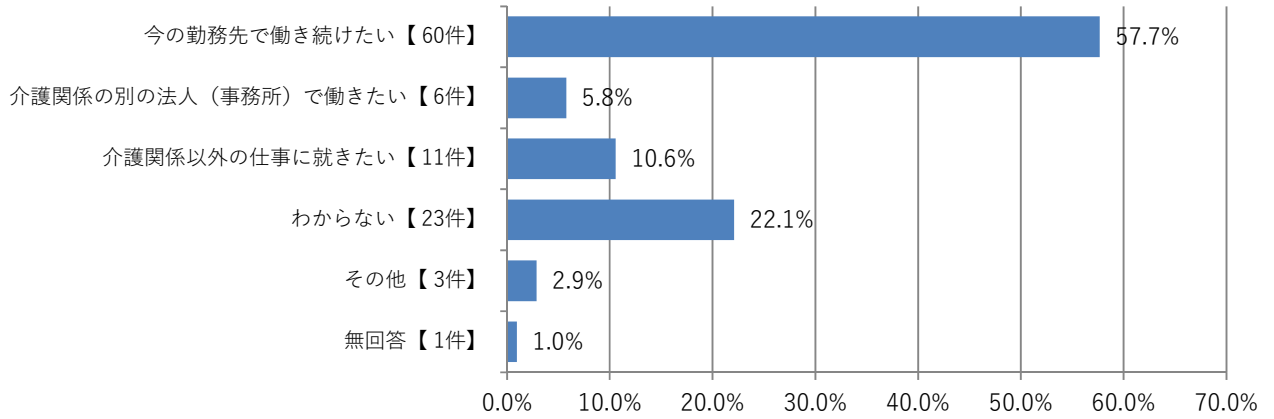
図表 21-3-2 (N=104)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働きたい」が 57.7%と最も多く、次いで、「わからない」が 22.1%となっている。

図表 21-3-3 (N=104)

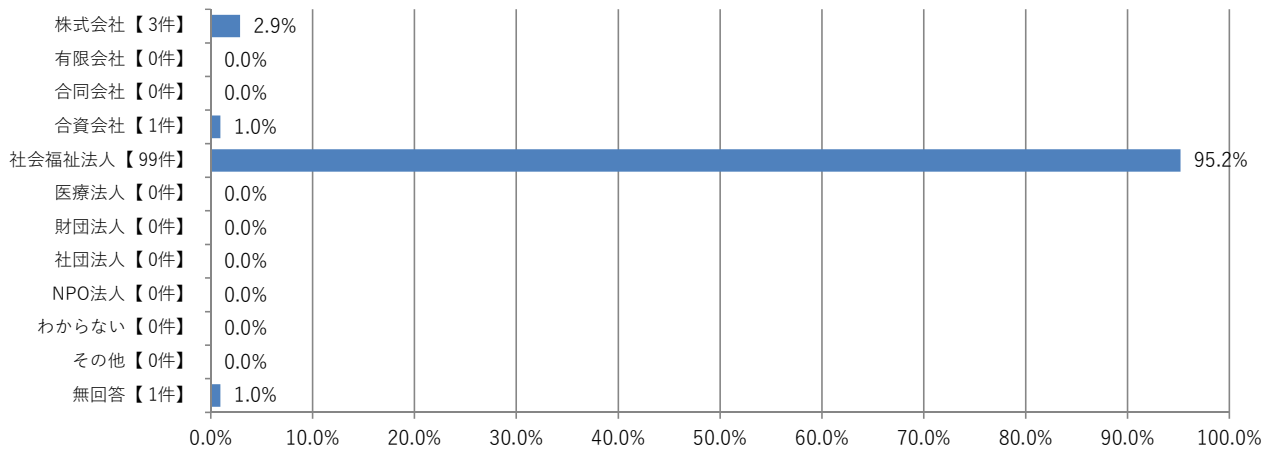


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「社会福祉法人」が95.2%と最も多くとなっている。

図表 21-4-1 (N=104)

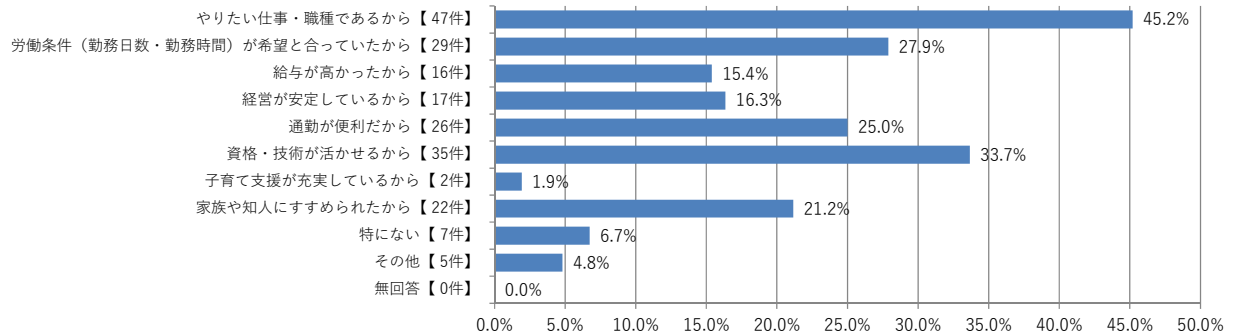


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が45.2%と最も多く、次いで、「資格・技術が活かせるから」が33.7%、「労働条件が希望と合っていたから」が27.9%、「通勤が便利だから」が25.0%となっている。

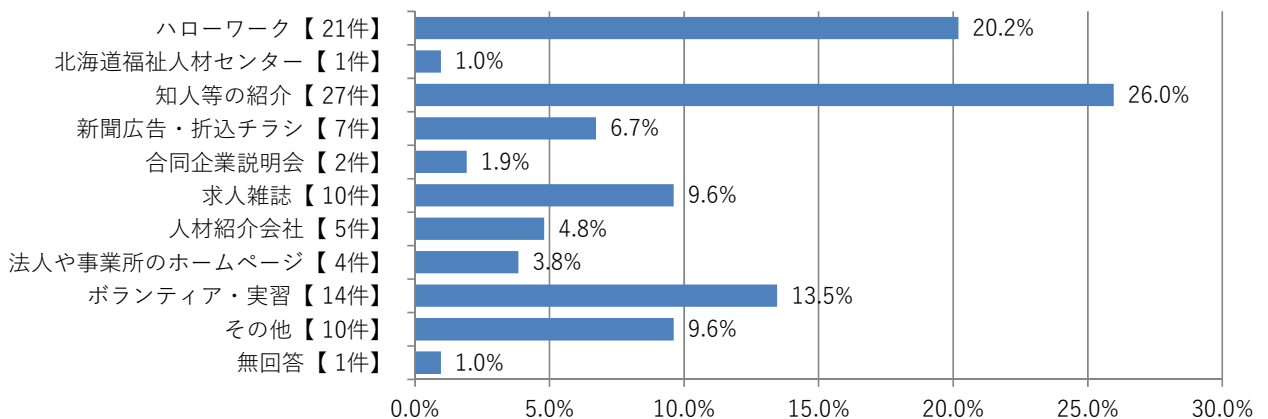
図表 21-5-1 (N=104)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「知人等の紹介」が26.0%と最も多く、次いで、「ハローワーク」が20.2%、「ボランティア・実習」が13.5%となっている。

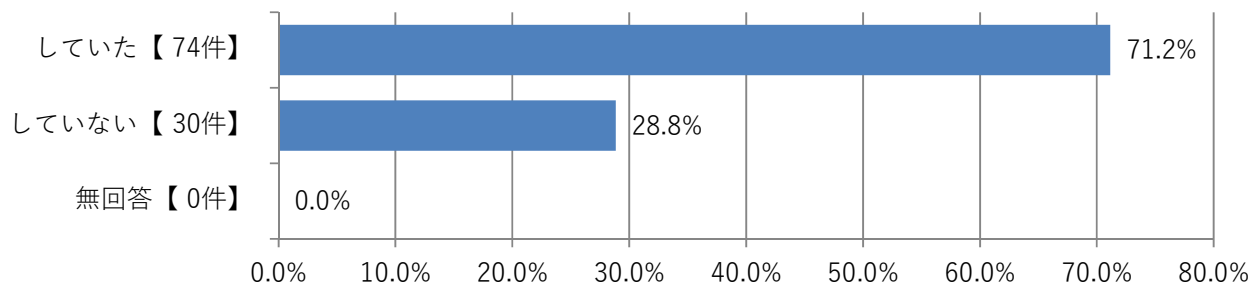
図表 21-5-2 (N=104)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が71.2%、「仕事をしていない」が28.8%となっている。

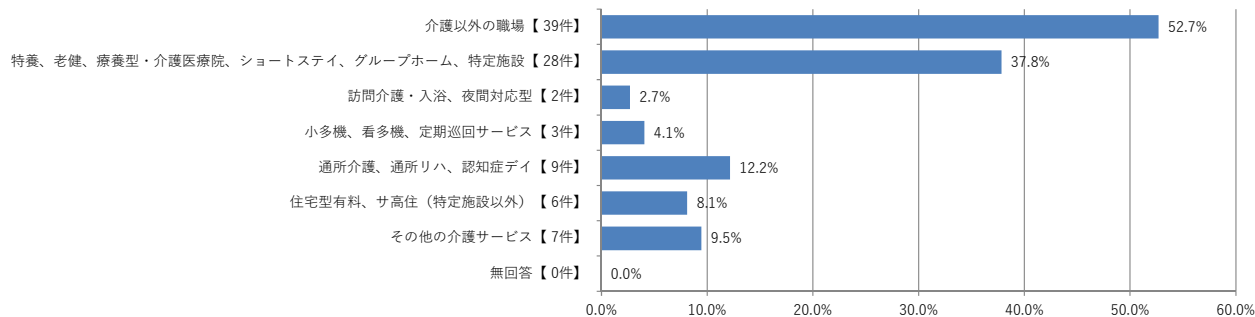
図表 21-5-3 (N=104)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が52.7%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が37.8%となっている。

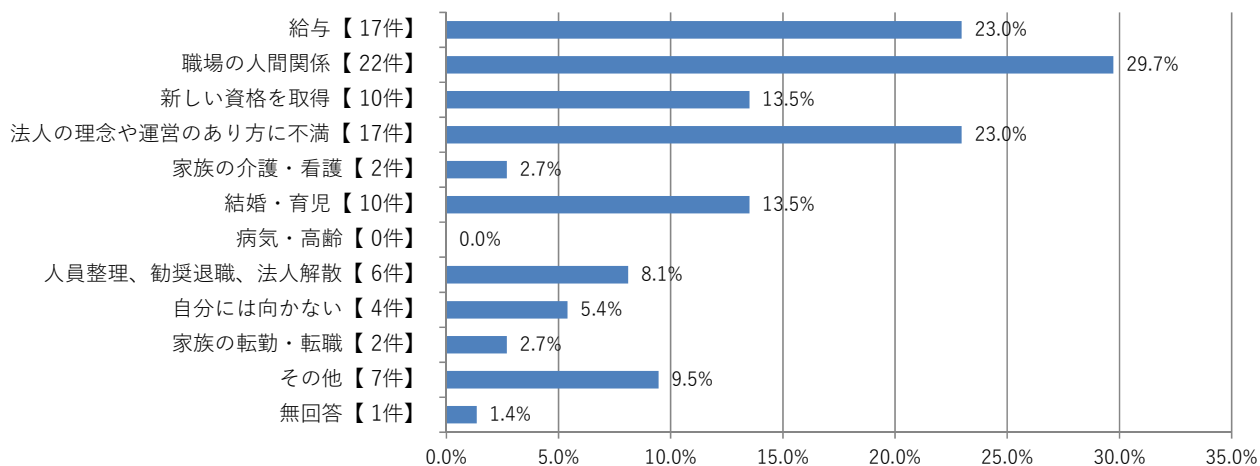
図表 21-5-4 (N=74)



問5（5）（4）の仕事辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が29.7%と最も多く、次いで、「給与」、「法人の理念や運営のあり方に不満」が23.0%となっている。

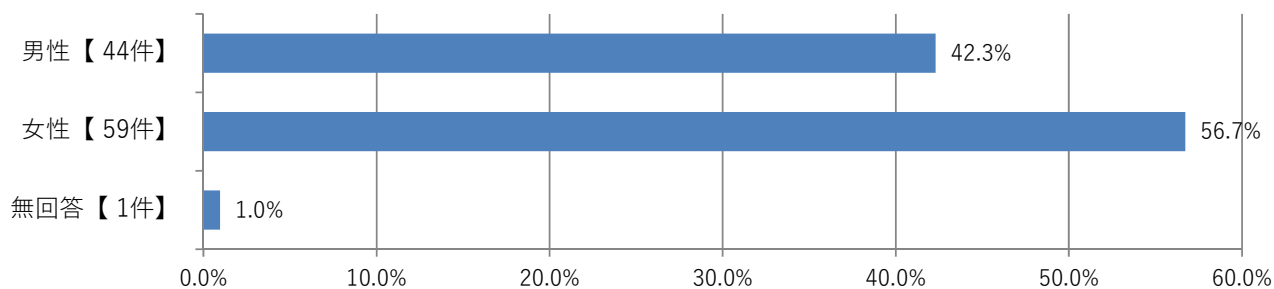
図表 21-5-5 (N=74)



問5（6）性別

性別は、「男性」が42.3%、「女性」が56.7%となっている。

図表 21-5-6 (N=104)



問5（7）年齢

平均年齢は、41.5歳となっている。

図表 21-5-7 (N=104)

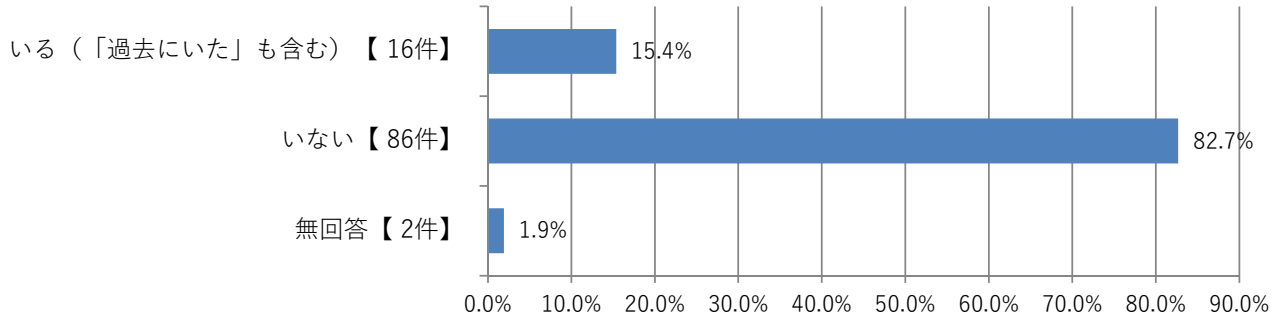
	対象者数	平均年齢（歳）
介護老人福祉施設入所者生活介護	104	41.5

問6 外国人介護職員について

問6（１）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が82.7%、「いる（過去にいた）」が15.4%となっている。

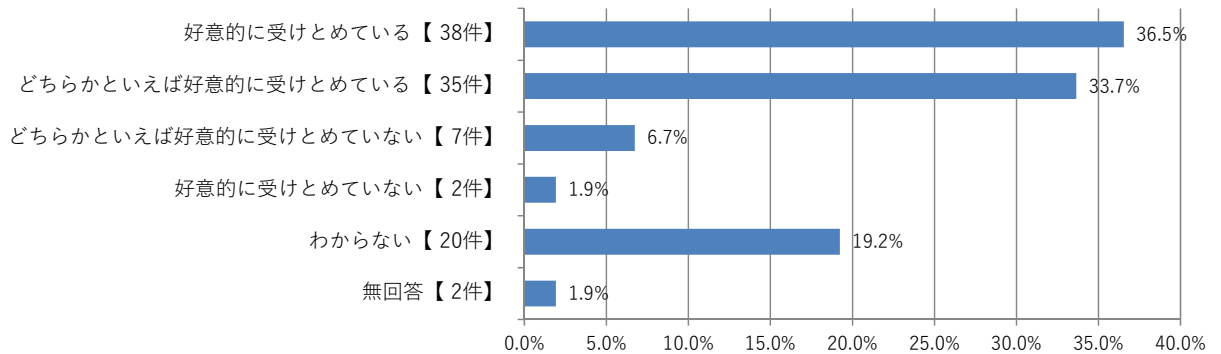
図表 21-6-1 (N=104)



問6（２）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「好意的に受けとめている」が36.5%と最も多く、次いで、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が33.7%、「わからない」が19.2%となっている。

図表 21-6-2 (N=104)

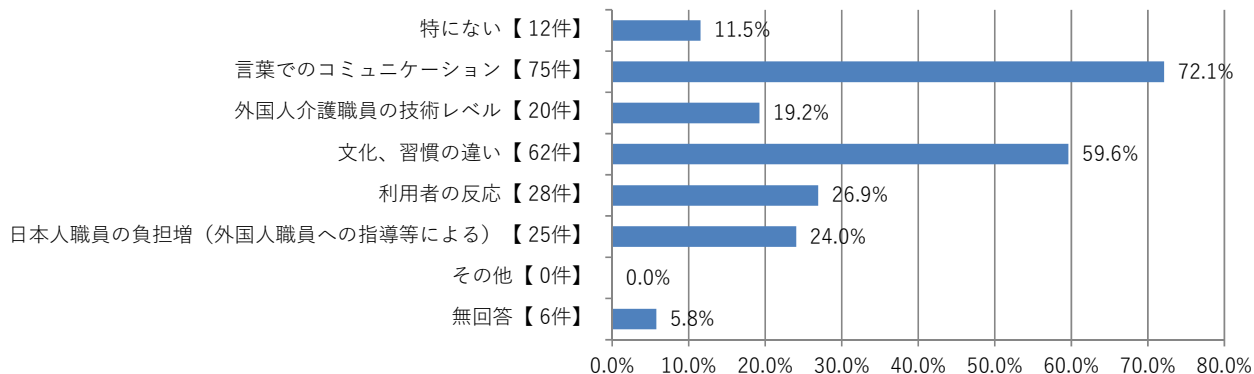


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が72.1%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が59.6%、「利用者の反応」が26.9%、「日本人職員の負担増」が24.0%となっている。

図表 21-6-3 (N=104)

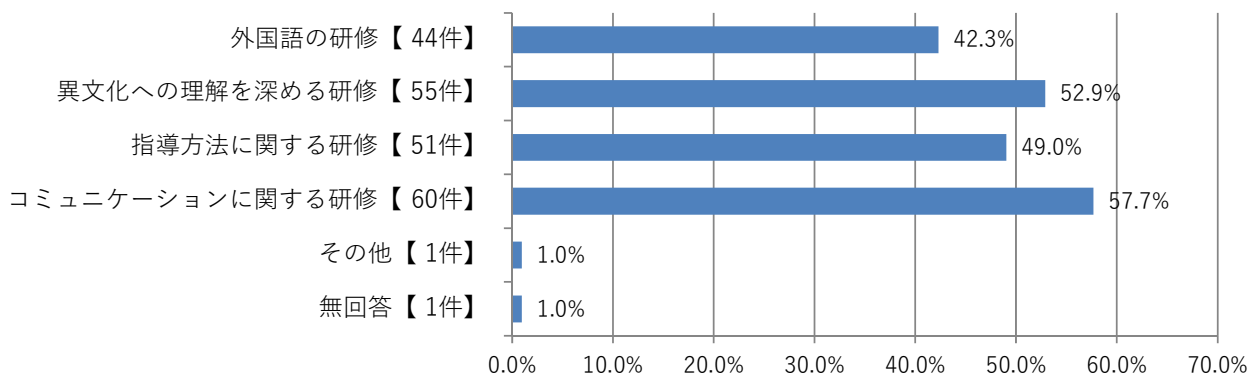


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が57.7%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」が52.9%、「指導方法に関する研修」が49.0%、「外国語の研修」が42.3%となっている。

図表 21-6-4 (N=104)



②介護老人保健施設

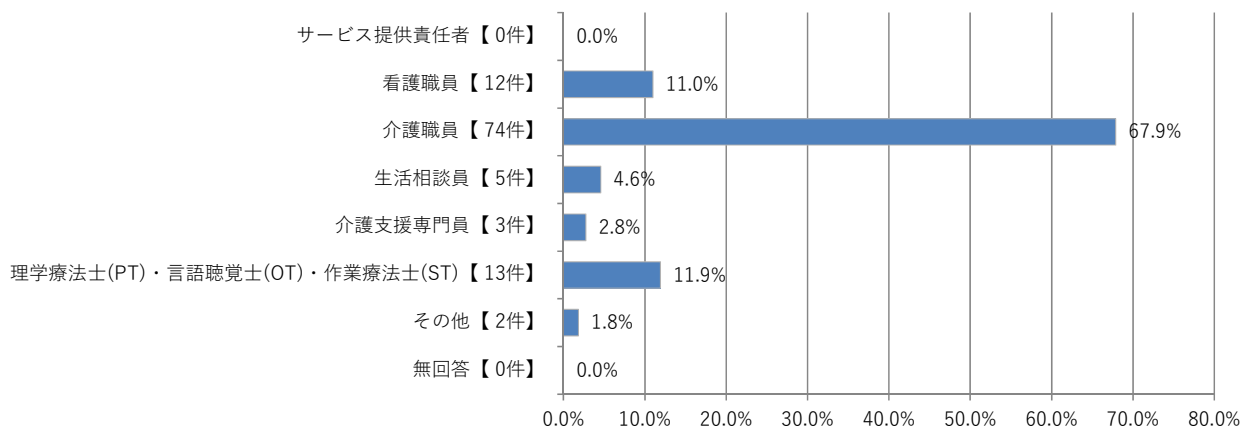
回答者数 109

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が67.9%と最も多く、次いで、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が11.9%、「看護職員」が11.0%となっている。

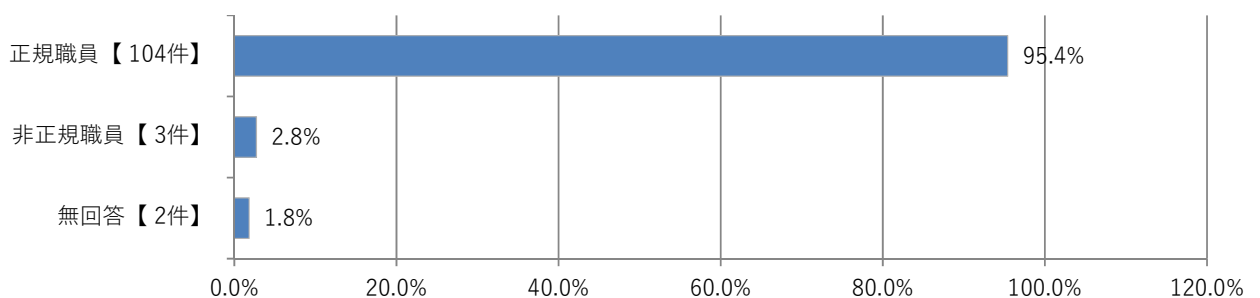
図表 22-1-1 (N=109)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が95.4%、「非正規職員」が2.8%となっている。

図表 22-1-2 (N=109)

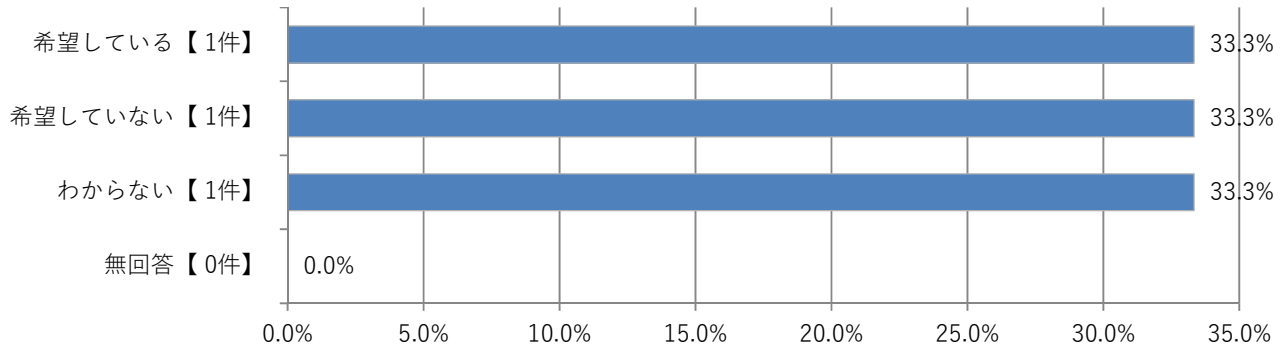


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望している」、「希望していない」、「わからない」が33.3%となっている。

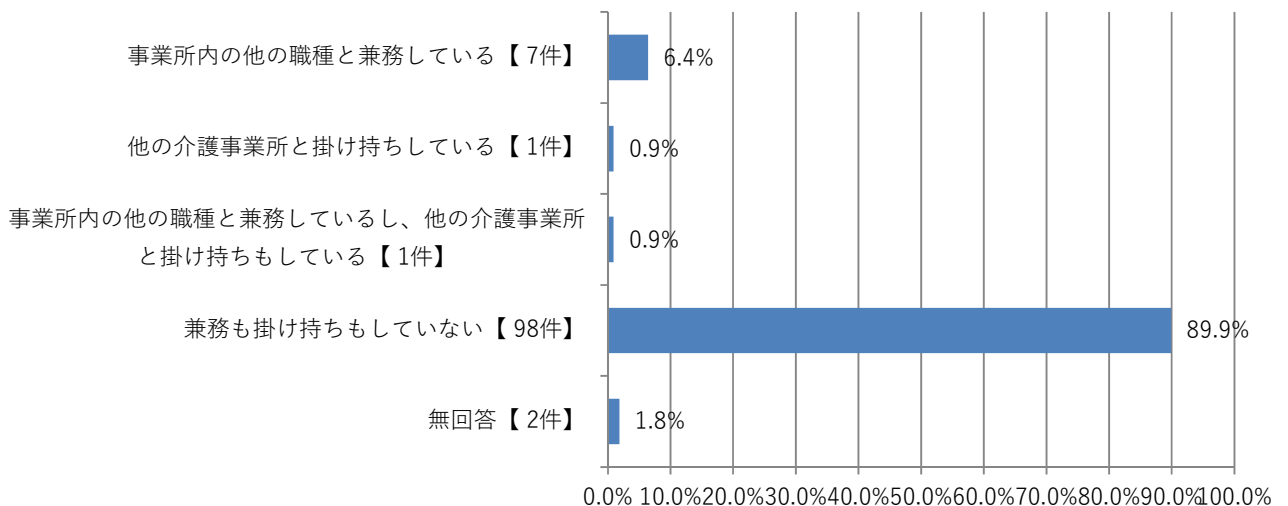
図表 22-1-3 (N=3)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が89.9%と最も多くなっている。

図表 22-1-4 (N=109)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が13.2年となっており、「正規職員」が13.6年、「非正規職員」が7.3年となっている。

図表 22-1-5 (N=109)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護老人保健施設	109	13.2	13.6	7.3	2.0

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が8.5年、「正規職員」が8.8年、「非正規職員」が2.8年となっている。

図表 22-1-6 (N=109)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護老人保健施設	109	8.5	8.8	2.8	2.6

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が5.0日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が5.3日となっている。

職種別では、「その他」が5.5日、「介護職員」が5.0日となっている。

図表 22-2-1 (N=109)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護老人保健施設	109	5.0	5.0	5.3	5.5
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	12	5.0	5.0	-	-
介護職員	74	5.0	5.0	5.3	5.0
生活相談員	5	5.0	5.0	-	-
介護支援専門員	3	5.0	5.0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	13	4.9	4.9	-	-
その他	2	5.5	5.0	-	6.0

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が39.7時間、「正規職員」が39.5時間、「非正規職員」が41.8時間となっている。

職種別では、「介護職員」が39.8時間となっている。

図表 22-2-2 (N=109)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護老人保健施設	109	39.7	39.5	41.8	56.0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	12	42.7	42.7	-	-
介護職員	74	39.8	39.8	41.8	-
生活相談員	5	31.2	31.2	-	-
介護支援専門員	3	40.0	40.0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	13	38.1	38.1	-	-
その他	2	48.0	40.0	-	56.0

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.7時間、「正規職員」が2.8時間、「非正規職員」が1.2時間となっている。

職種別では、「介護職員」が2.6時間、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が1.7時間となっている。

図表 22-2-3 (N=109)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護老人保健施設	109	2.7	2.8	1.2	2.0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	12	3.5	3.5	-	-
介護職員	74	2.6	2.7	1.2	-
生活相談員	5	5.6	5.6	-	-
介護支援専門員	3	0.8	0.8	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	13	1.7	1.7	-	-
その他	2	2.3	2.5	-	2.0

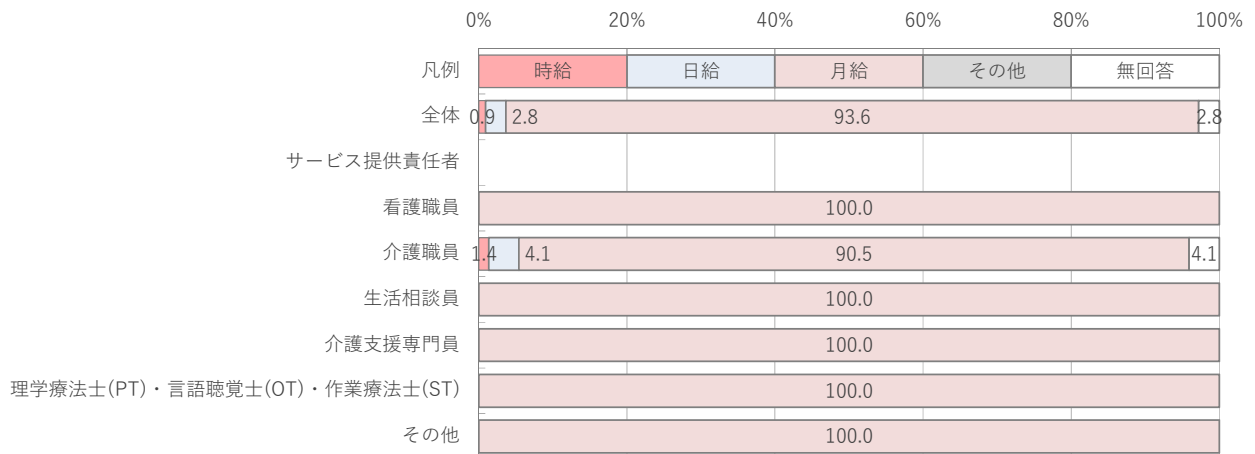
問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が93.6%、「時給」が0.9%、「日給」が2.8%となっている。

時給の平均は、1,034円、日給の平均は7,425円となっている。

図表 22-2-4 (N=109)

	対象者数	時給	日給	月給	その他	無回答	平均値	
							時給 (円 / 時間)	日給 (円 / 日)
介護老人保健施設	109	1	3	102	0	3	1,034	7,425
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	-	-
看護職員	12	0	0	12	0	0	-	-
介護職員	74	1	3	67	0	3	1,034	7,425
生活相談員	5	0	0	5	0	0	-	-
介護支援専門員	3	0	0	3	0	0	-	-
理学療法士(P.T)・言語聴覚士(O.T)・作業療法士(S.T)	13	0	0	13	0	0	-	-
その他	2	0	0	2	0	0	-	-



問2 (5) 1 か月当たりの税込み月収

1 か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が 223,370 円、「時給」が 190,000 円、「日給」が 137,283 円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の、「介護職員」が 212,556 円、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が 239,803 円、「看護職員」が 287,550 円となっている。

図表 22-2-5 (N=109)

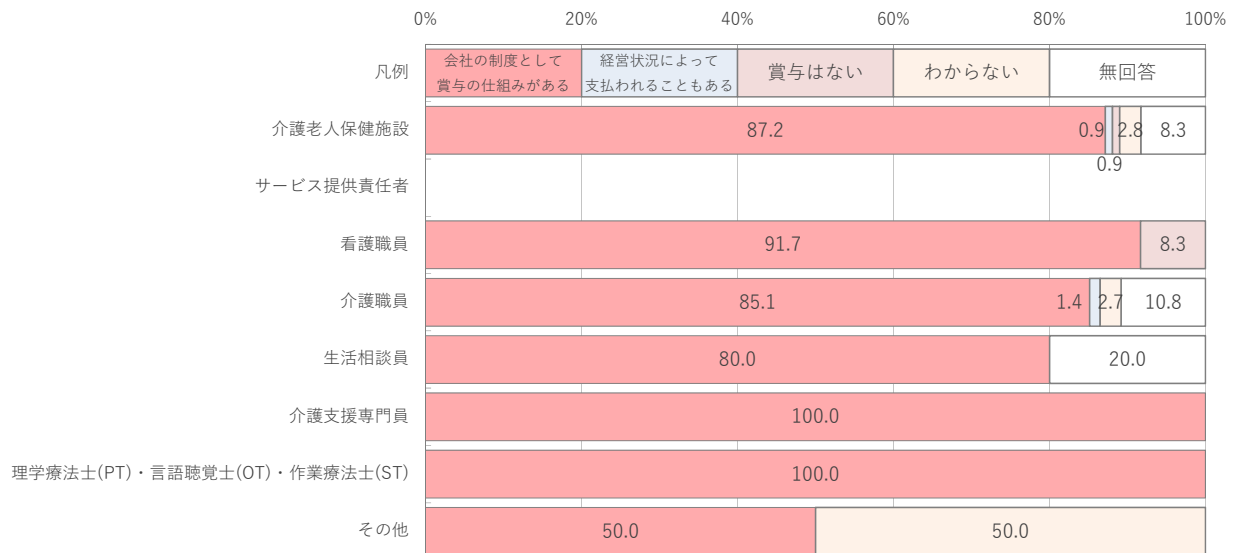
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
介護老人保健施設	1	190,000	184	3	137,283	22	102	223,370	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	0	-	-	0	-	-	12	287,550	0	-
介護職員	1	190,000	184	3	137,283	22	67	212,556	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	5	210,400	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	3	173,500	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	13	239,803	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	2	160,000	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が 87.2%、「経営状況によって支払われることもある」、「賞与はない」が 0.9%、「わからない」が 2.8%となっている。

図表 22-2-6 (N=109)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社が制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
介護老人保健施設	109	95	1	1	3	9	100.0	87.2	0.9	0.9	2.8	8.3
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	12	11	0	1	0	0	100.0	91.7	0.0	8.3	0.0	0.0
介護職員	74	63	1	0	2	8	100.0	85.1	1.4	0.0	2.7	10.8
生活相談員	5	4	0	0	0	1	100.0	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0
介護支援専門員	3	3	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	13	13	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	1	0	0	1	0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 527,861 円となっている。「正規職員」の平均は 529,434 円、「非正規職員」の平均は 479,120 円となっている。

職種別にみると、「介護職員」が 454,214 円、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が 665,482 円、「看護職員」が 860,337 円となっている。

図表 22-2-7 (N=109)

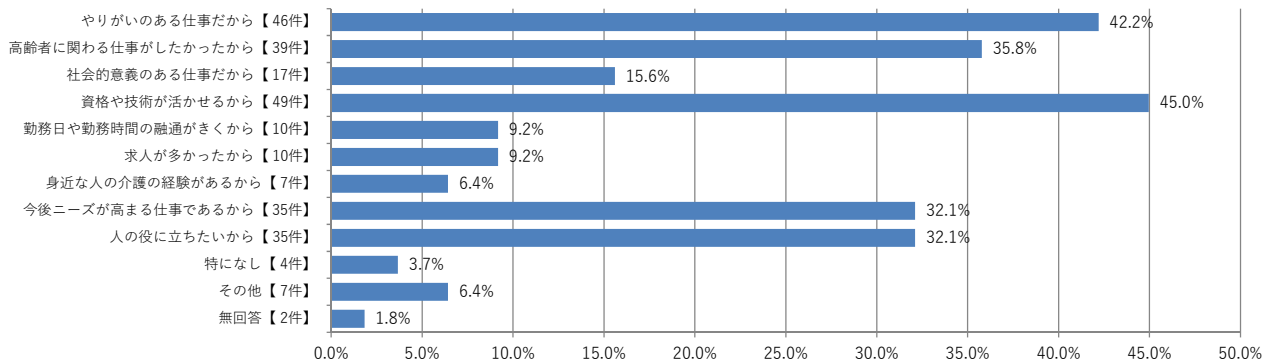
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
介護老人保健施設	109	88.1	0.9	2.8	8.3	96	527,861	介護老人保健施設	109	96	1	3	9	96
正規職員	104	89.4	1.0	1.9	7.7	93	529,434	正規職員	104	93	1	2	8	93
非正規職員	3	100.0	0.0	0.0	0.0	3	479,120	非正規職員	3	3	0	0	0	3
無回答	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0	-	無回答	2	0	0	1	1	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	12	91.7	8.3	0.0	0.0	11	860,337	看護職員	12	11	1	0	0	11
介護職員	74	86.5	0.0	2.7	10.8	64	454,214	介護職員	74	64	0	2	8	64
生活相談員	5	80.0	0.0	0.0	20.0	4	462,500	生活相談員	5	4	0	0	1	4
介護支援専門員	3	100.0	0.0	0.0	0.0	3	380,000	介護支援専門員	3	3	0	0	0	3
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	13	100.0	0.0	0.0	0.0	13	665,482	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	13	13	0	0	0	13
その他	2	50.0	0.0	50.0	0.0	1	500,000	その他	2	1	0	1	0	1

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が45.0%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が42.2%、「高齢者に関わる仕事をしたかったから」が35.8%、「今後ニーズが高まる仕事であるから」、「人の役に立ちたいから」が32.1%となっている。

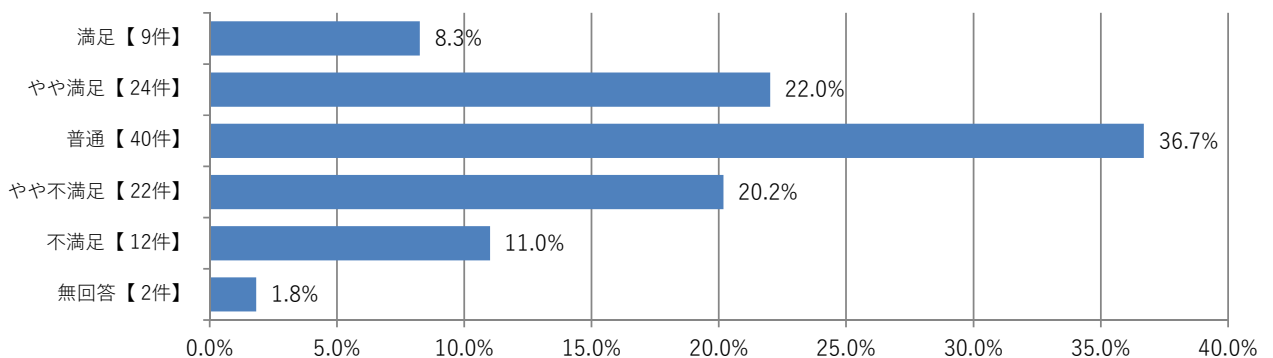
図表 22-3-1 (N=109)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「普通」が36.7%と最も多く、次いで、「やや満足」が22.0%、「やや不満足」が20.2%、「不満足」が11.0%、「満足」が8.3%となっている。

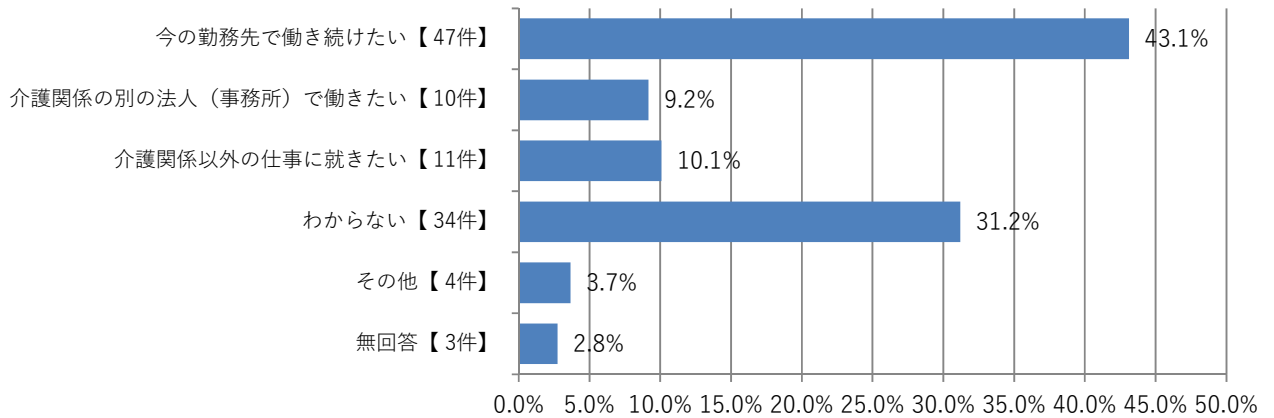
図表 22-3-2 (N=109)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働きたい」が43.1%と最も多く、次いで、「わからない」が31.2%となっている。

図表 22-3-3 (N=109)

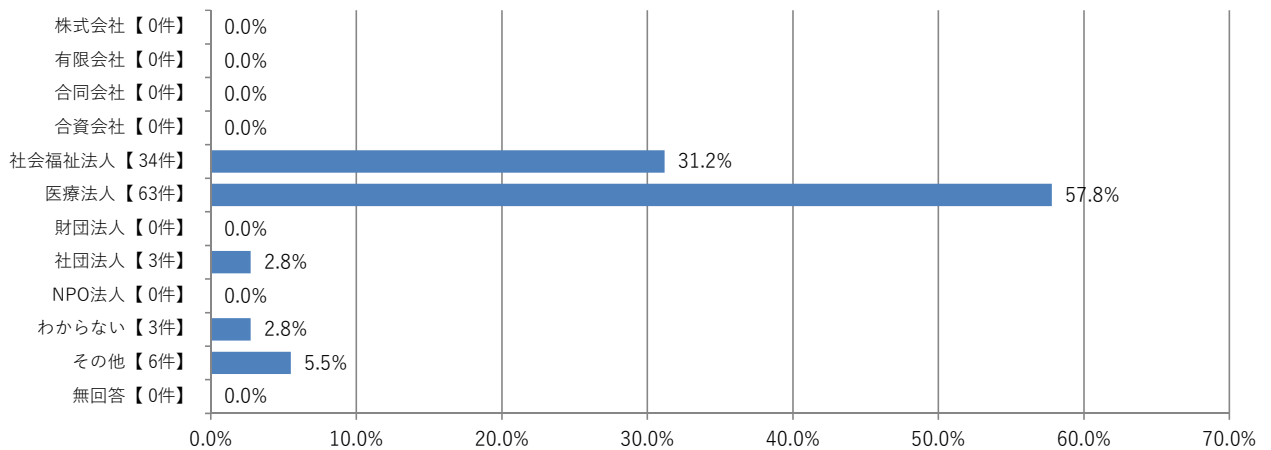


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「医療法人」が 57.8%と最も多く、次いで、「社会福祉法人」が 31.2%となっている。

図表 22-4-1 (N=109)

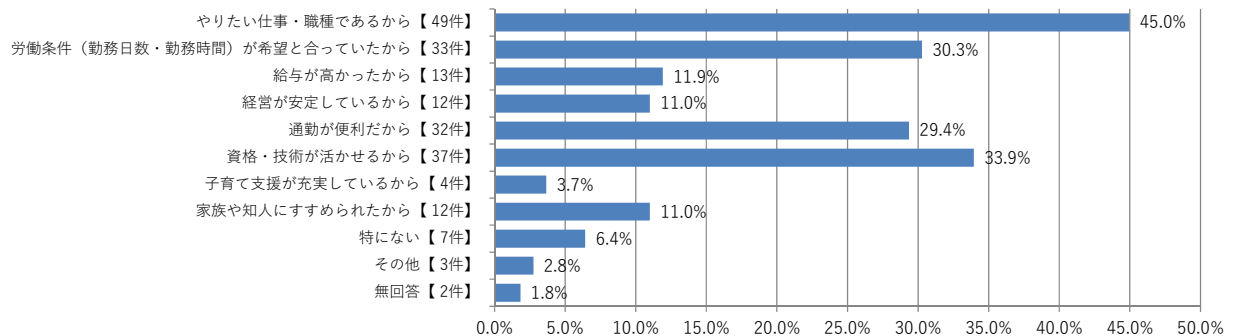


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」が45.0%と最も多く、次いで、「資格・技術が活かせるから」が33.9%、「労働条件が希望と合っていたから」が30.3%、「通勤が便利だから」が29.4%となっている。

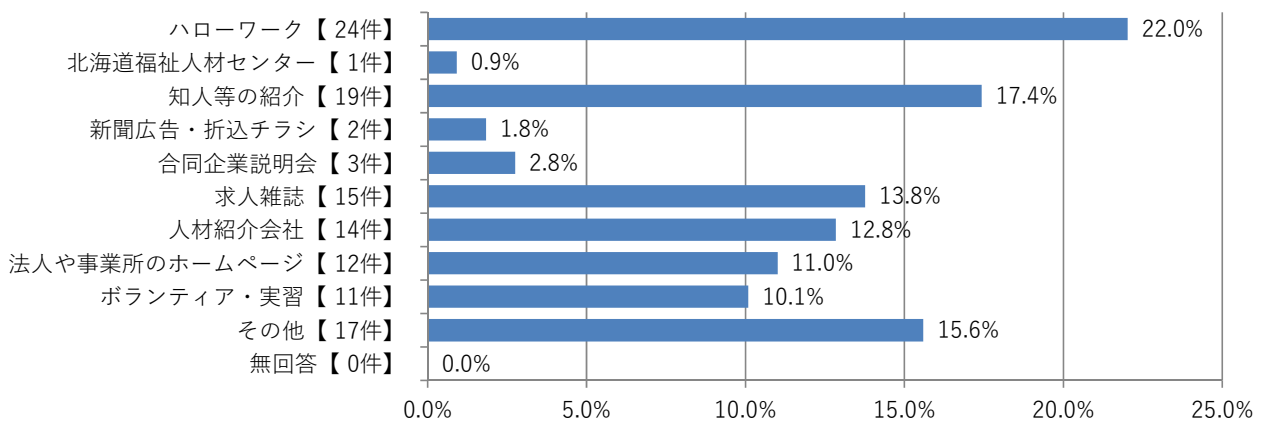
図表 22-5-1 (N=109)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「ハローワーク」が22.0%と最も多く、次いで、「知人等の紹介」が17.4%、「その他」が15.6%となっている。

図表 22-5-2 (N=109)

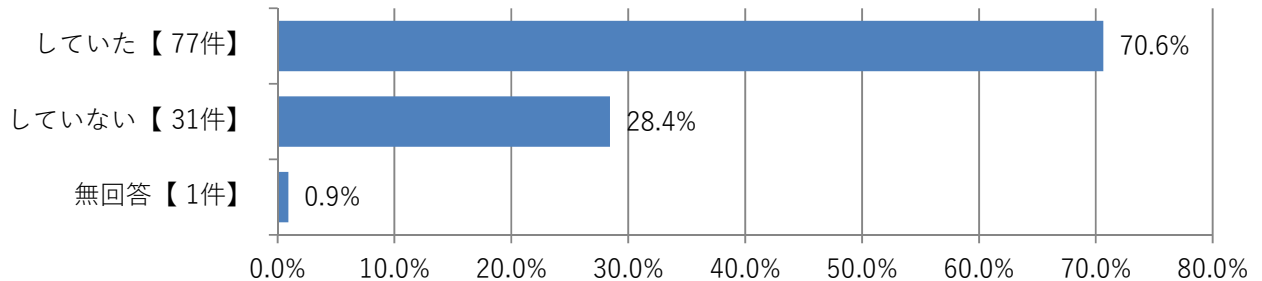


その他の内容
学校の紹介
看護協会
学校の求人案内
事業買収で同じ会社だが法人が変わったので

問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が70.6%、「仕事をしていない」が28.4%となっている。

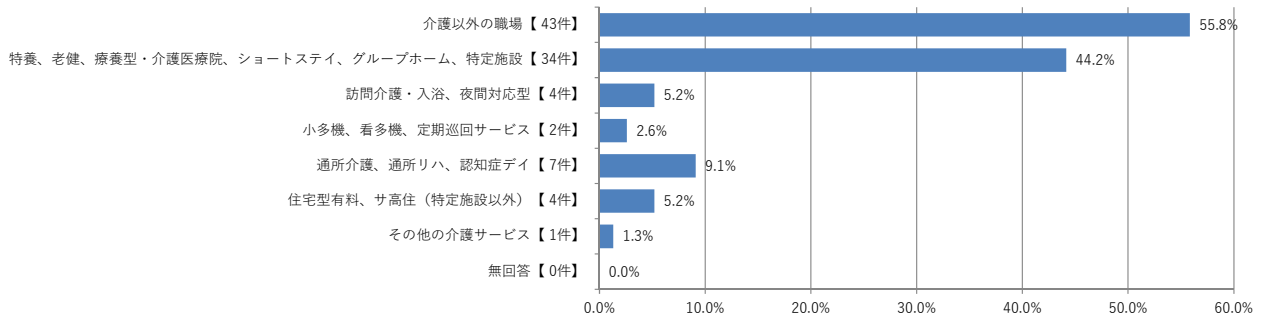
図表 22-5-3 (N=109)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が55.8%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が44.2%となっている。

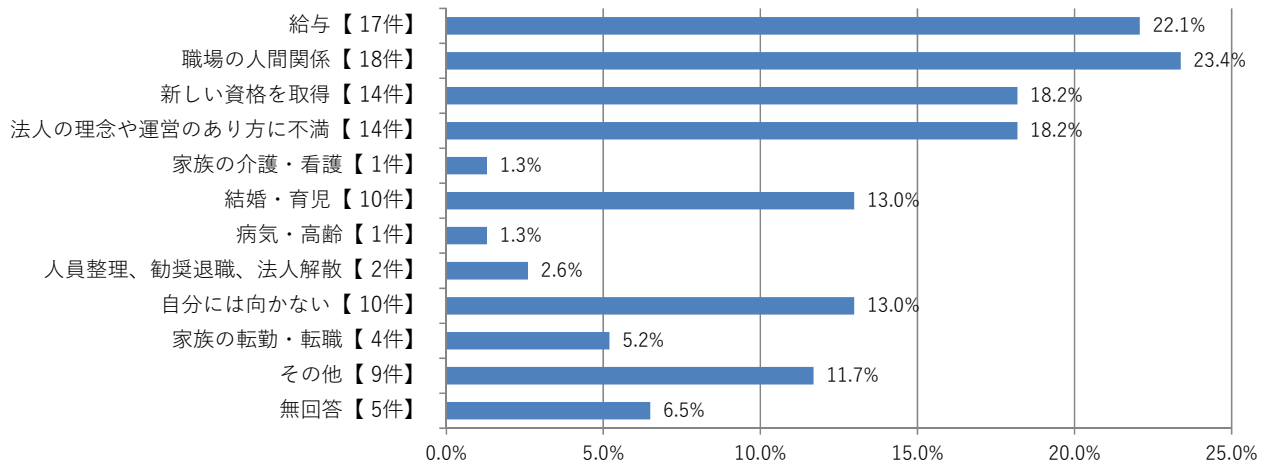
図表 22-5-4 (N=77)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が23.4%と最も多く、次いで、「給与」が22.1%、「新しい資格を取得」 m 「法人の理念や運営のあり方に不満」が18.2%となっている。

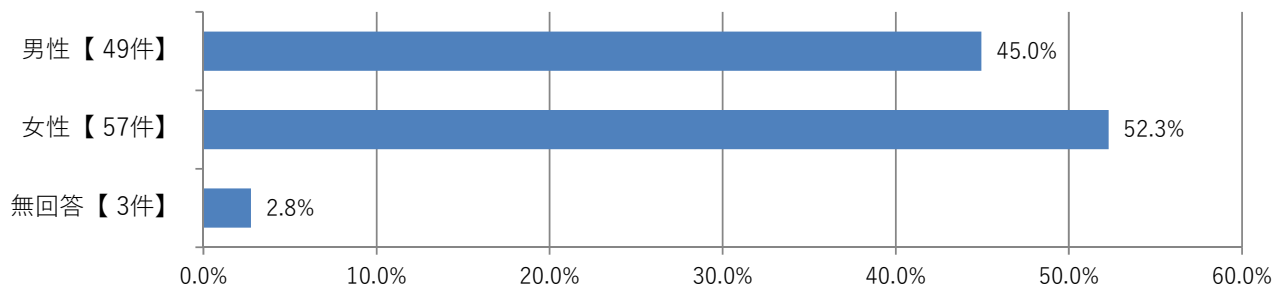
図表 22-5-5 (N=77)



問5（6）性別

性別は、「男性」が45.0%、「女性」が52.3%となっている。

図表 22-5-6 (N=109)



問5（7）年齢

平均年齢は、39.2 歳となっている。

図表 22-5-7 (N=109)

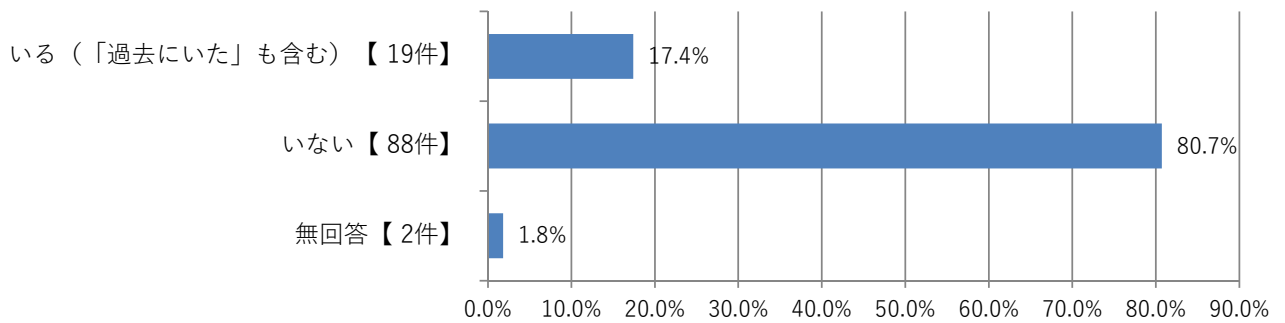
	対象者数	平均年齢（歳）
介護老人保健施設	109	39.2

問6 外国人介護職員について

問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が80.7%、「いる（過去にいた）」が17.4%となっている。

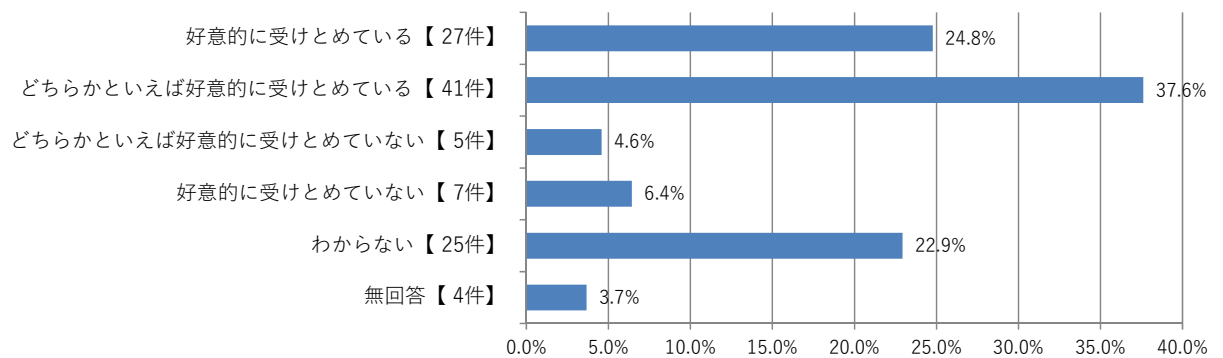
図表 22-6-1 (N=109)



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が37.6%と最も多く、次いで、「好意的に受けとめている」が24.8%、「わからない」が22.9%となっている。

図表 22-6-2 (N=109)

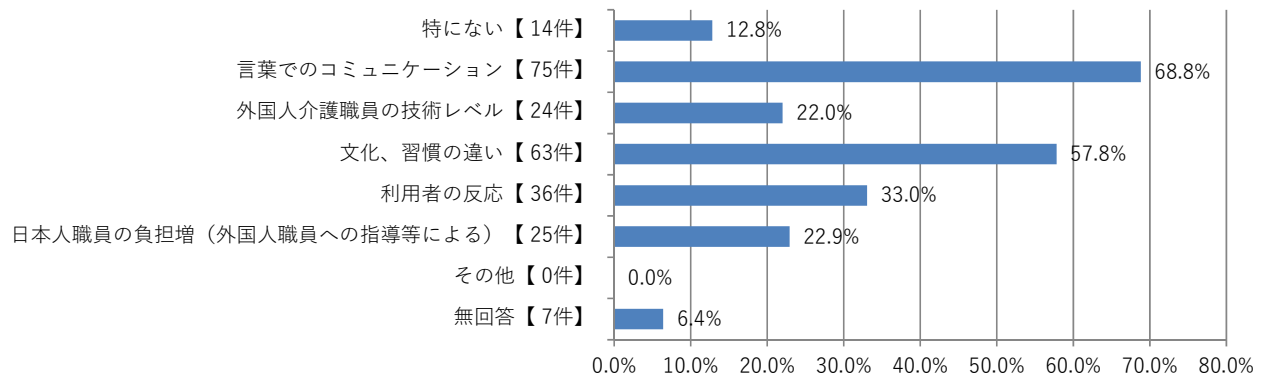


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が68.8%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が57.8%、「利用者の反応」が33.0%、「日本人職員の負担増」が22.9%となっている。

図表 22-6-3 (N=109)

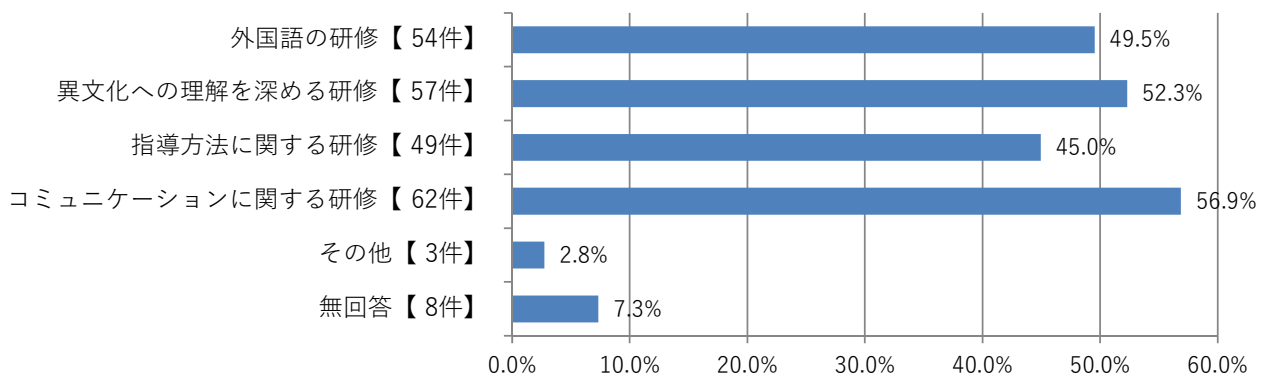


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が56.9%と最も多く、次いで、「異文化への理解を深める研修」が52.3%、「外国語の研修」が49.5%、「指導方法に関する研修」が45.0%となっている。

図表 22-6-4 (N=109)



②3 介護療養型医療施設

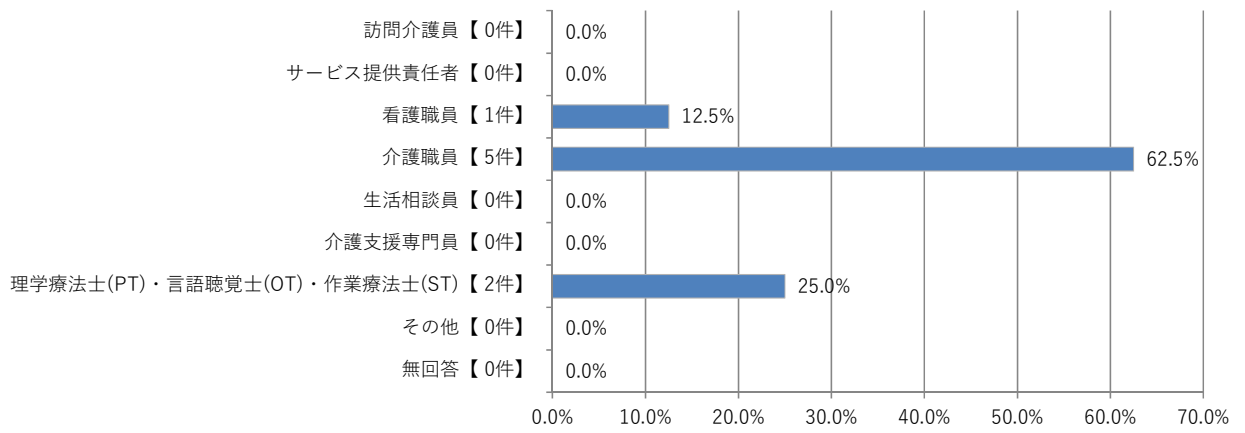
回答者数 8

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「介護職員」が62.5%と最も多く、次いで、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が25.0%、「看護職員」が12.5%となっている。

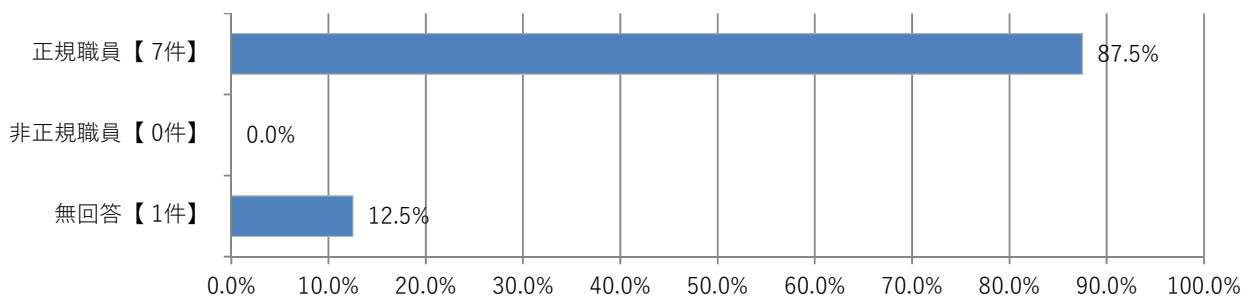
図表 23-1-1 (N=8)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が87.5%となっている。

図表 23-1-2 (N=8)



問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

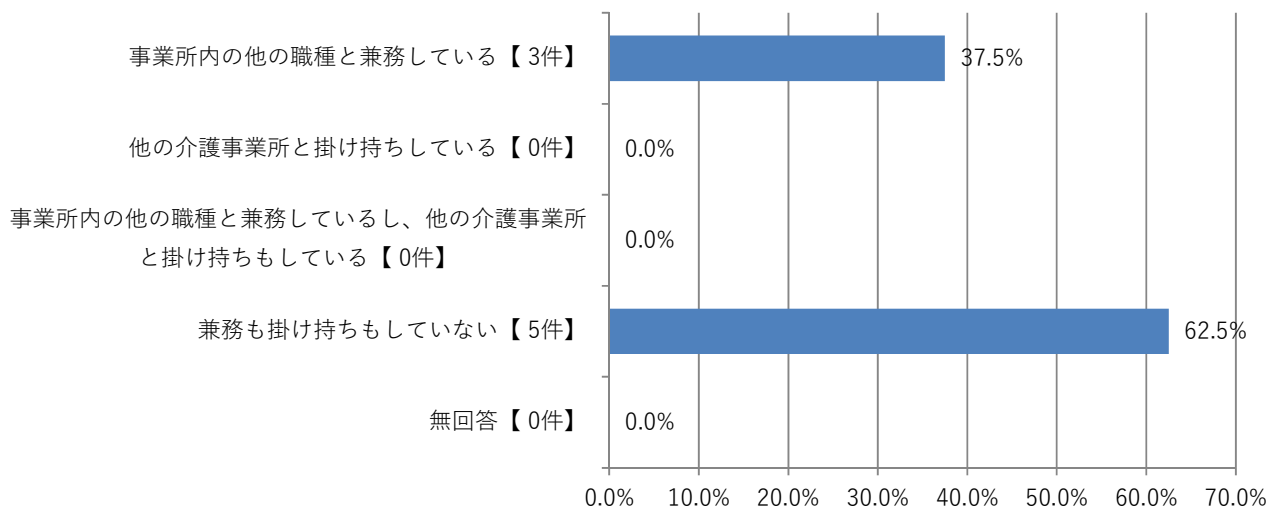
<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

回答対象なし。

問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が62.5%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が37.5%となっている。

図表 23-1-3 (N=8)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が21.2年となっており、「正規職員」が21.4年となっている。

図表 23-1-4 (N=8)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護療養型医療施設	8	21.2	21.4	-	20.3

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が14.0年、「正規職員」が12.9年となっている。

図表 23-1-5 (N=8)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護療養型医療施設	8	14.0	12.9	-	20.3

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が5.0日、「正規職員」が5.0日となっている。

職種別では、「介護職員」、「看護職員」、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が5.0日となっている。

図表 23-2-1 (N=8)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護療養型医療施設	8	5.0	5.0	-	5.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	1	5.0	5.0	-	-
介護職員	5	5.0	5.0	-	5.0
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	2	5.0	5.0	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が35.9時間、「正規職員」が36.9時間となっている。

職種別では、「介護職員」が37.4時間、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が40.0時間となっている。

図表 23-2-2 (N=8)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護療養型医療施設	8	35.9	36.9	-	30.0
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	1	24.5	24.5	-	-
介護職員	5	37.4	39.2	-	30.0
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	2	40.0	40.0	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が1.6時間、「正規職員」が1.7時間となっている。

職種別では、「介護職員」が2.1時間、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が0.5時間となっている。

図表 23-2-3 (N=8)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護療養型医療施設	8	1.6	1.7	-	0.5
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	1	1.0	1.0	-	-
介護職員	5	2.1	2.5	-	0.5
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	0	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	2	0.5	0.5	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が100%となっている。

図表 23-2-4 (N=8)



問2 (5) 1 か月当たりの税込み月収

1 か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が 212,932 円となっている。

職種別では、支払形態「月給」の、「介護職員」が 202,691 円、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が 220,000 円となっている。

図表 23-2-5 (N=8)

	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
介護療養型医療施設	0	-	-	0	-	-	8	212,932	0	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	0	-	-	0	-	-	1	250,000	0	-
介護職員	0	-	-	0	-	-	5	202,691	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	2	220,000	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が87.5%となっている。

図表 23-2-6 (N=8)

	(件)						(%)						
	対象者数	会社が ある	会社 の制 度と して 賞 与 の 仕 組 み が あ る	経 営 状 況 に よ っ て 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い	無 回 答	対象者数	会社が ある	会社 の制 度と して 賞 与 の 仕 組 み が あ る	経 営 状 況 に よ っ て 支 払 わ れ る こ と も あ る	賞 与 は な い	わ か ら な い
介護療養型医療施設	8	7	0	0	0	1	100.0	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
看護職員	1	1	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護職員	5	4	0	0	0	1	100.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
生活相談員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
介護支援専門員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	2	2	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-	-



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 599,532 円となっている。「正規職員」の平均は 599,532 円となっている。

職種別にみると、「介護職員」が 374,181 円、「理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)」が 850,000 円となっている。

図表 23-2-7 (N=8)

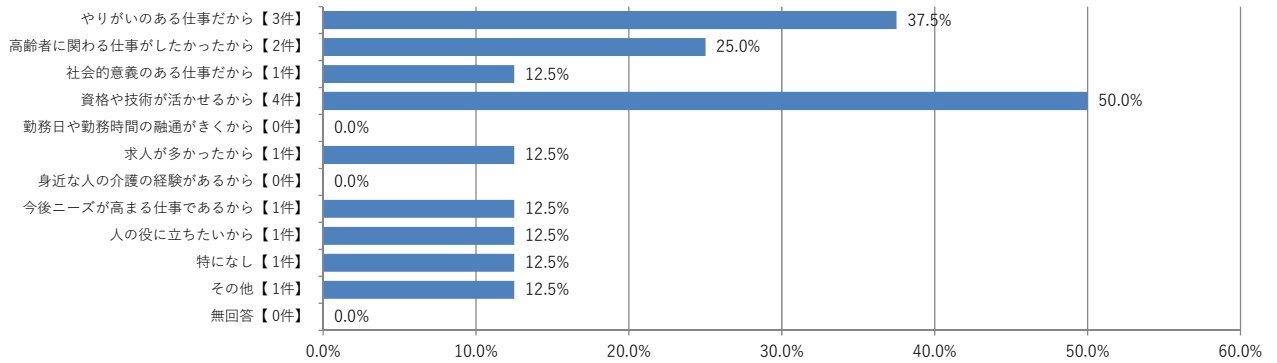
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
介護療養型医療施設	8	87.5	0.0	0.0	12.5	7	599,532	介護療養型医療施設	8	7	0	0	1	7
正規職員	7	100.0	0.0	0.0	0.0	7	599,532	正規職員	7	7	0	0	0	7
非正規職員	0	-	-	-	-	0	-	非正規職員	0	0	0	0	0	0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0	-	無回答	1	0	0	0	1	0
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	1,000,000	看護職員	1	1	0	0	0	1
介護職員	5	80.0	0.0	0.0	20.0	4	374,181	介護職員	5	4	0	0	1	4
生活相談員	0	-	-	-	-	0	-	生活相談員	0	0	0	0	0	0
介護支援専門員	0	-	-	-	-	0	-	介護支援専門員	0	0	0	0	0	0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	2	100.0	0.0	0.0	0.0	2	850,000	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	2	2	0	0	0	2
その他	0	-	-	-	-	0	-	その他	0	0	0	0	0	0

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が50.0%と最も多く、次いで、「やりがいのある仕事だから」が37.5%、「高齢者に関わる仕事がしたかったから」が25.0%となっている。

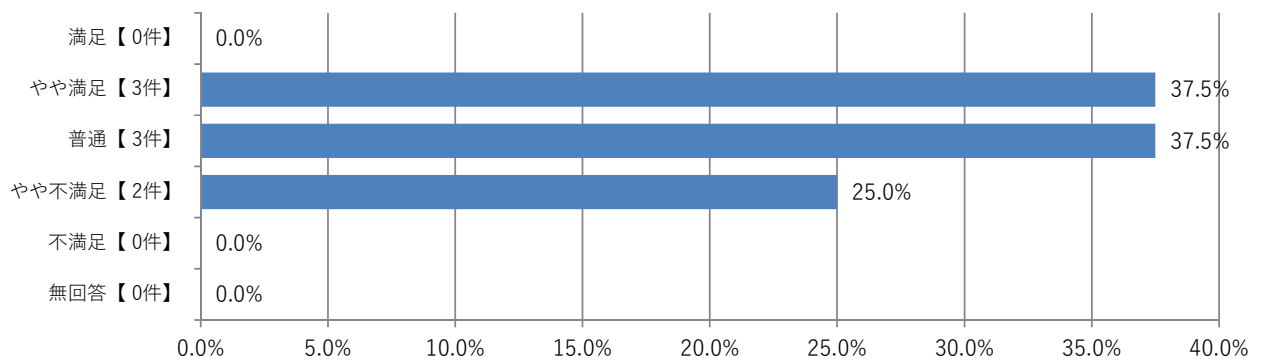
図表 23-3-1 (N=8)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「やや満足」、「普通」が37.5%と最も多く、次いで、「やや不満足」が25.0%となっている。

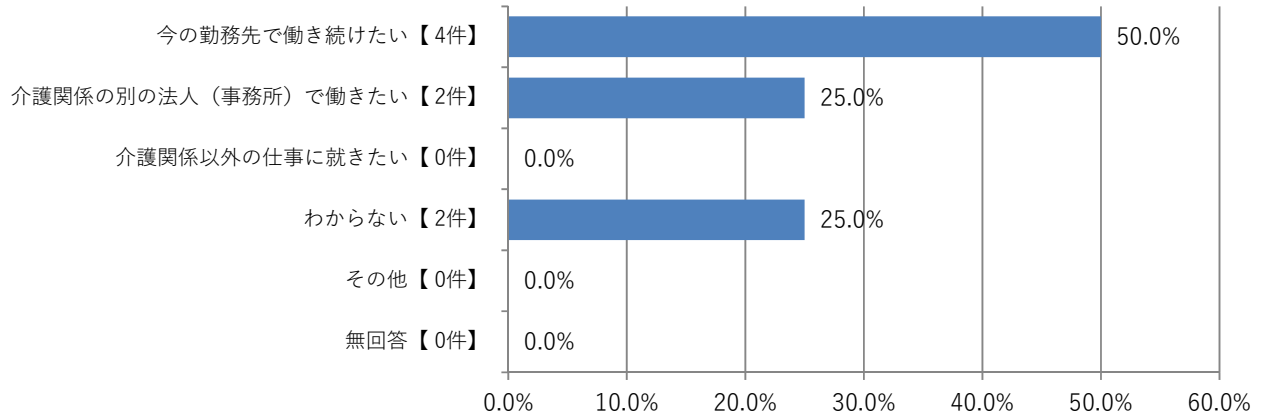
図表 23-3-2 (N=8)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が50.0%と最も多く、次いで、「介護関係の別の法人で働きたい」、「わからない」が25.0%となっている。

図表 23-3-3 (N=8)

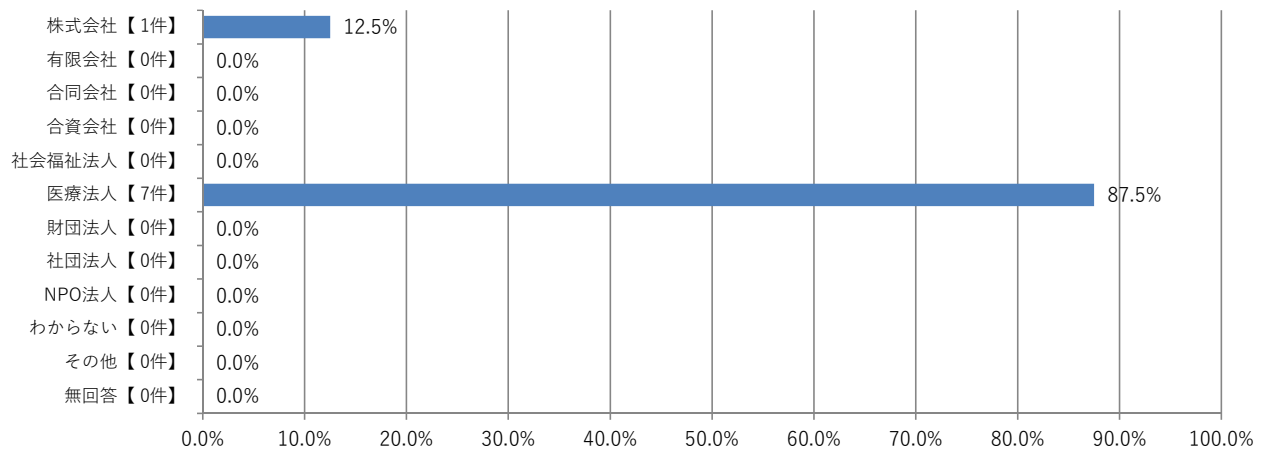


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「医療法人」が87.5%と最も多く、次いで、「株式会社」が12.5%となっている。

図表 23-4-1 (N=8)

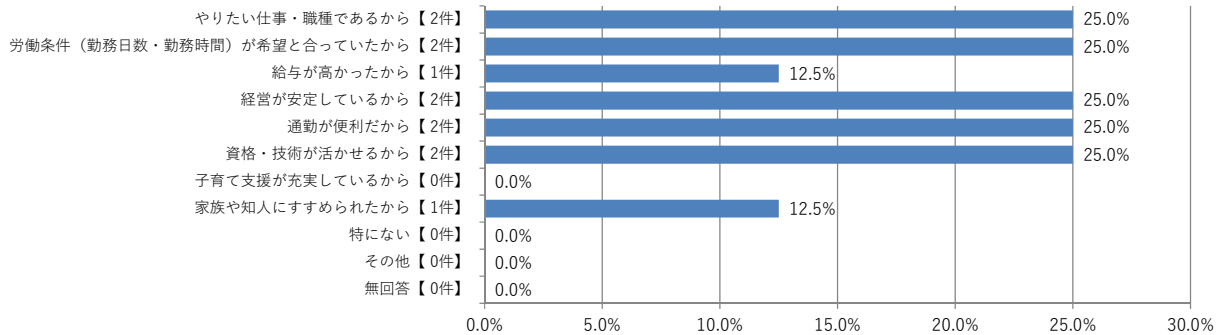


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「やりたい仕事・職種であるから」、「労働条件が希望と合っていたから」、「経営が安定しているから」、「通勤が便利だから」、「資格・技術が活かせるから」が25.0%となっている。

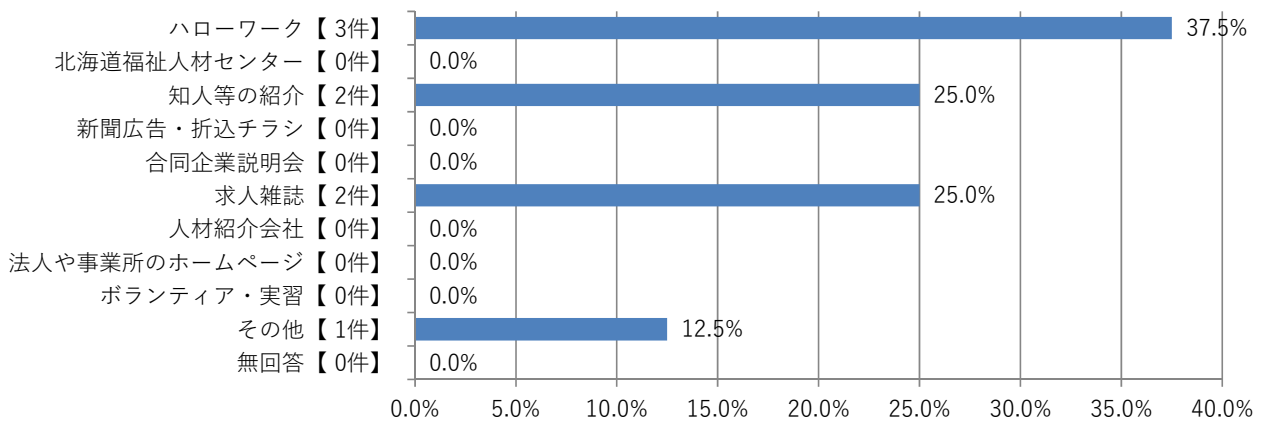
図表 23-5-1 (N=8)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「ハローワーク」が37.5%と最も多く、次いで、「知人の紹介」、「求人雑誌」が25.0%となっている。

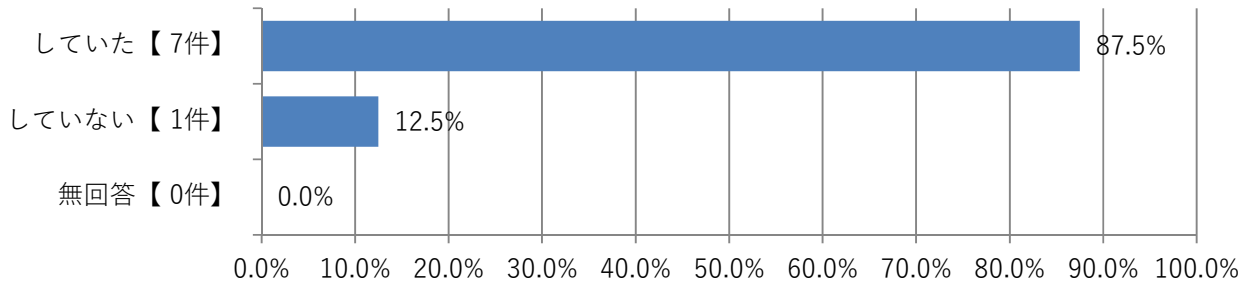
図表 23-5-2 (N=8)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が87.5%、「仕事をしていない」が12.5%となっている。

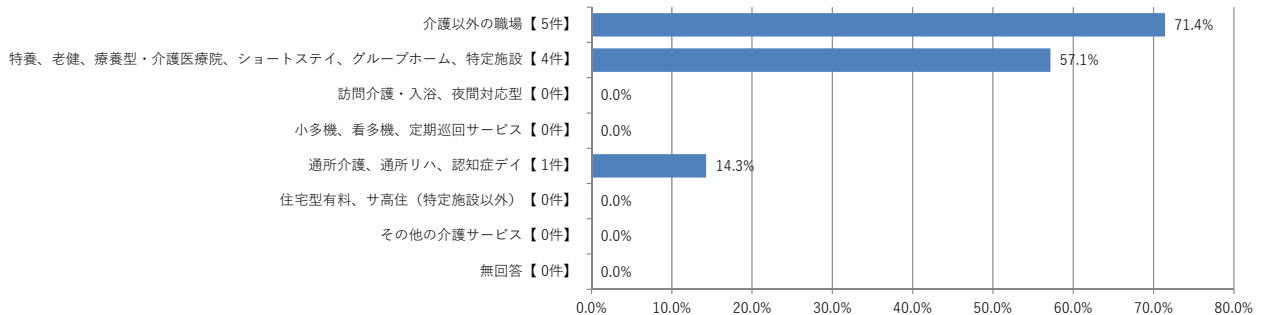
図表 23-5-3 (N=8)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「介護以外の仕事」が71.4%と最も多く、次いで、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が57.1%となっている。

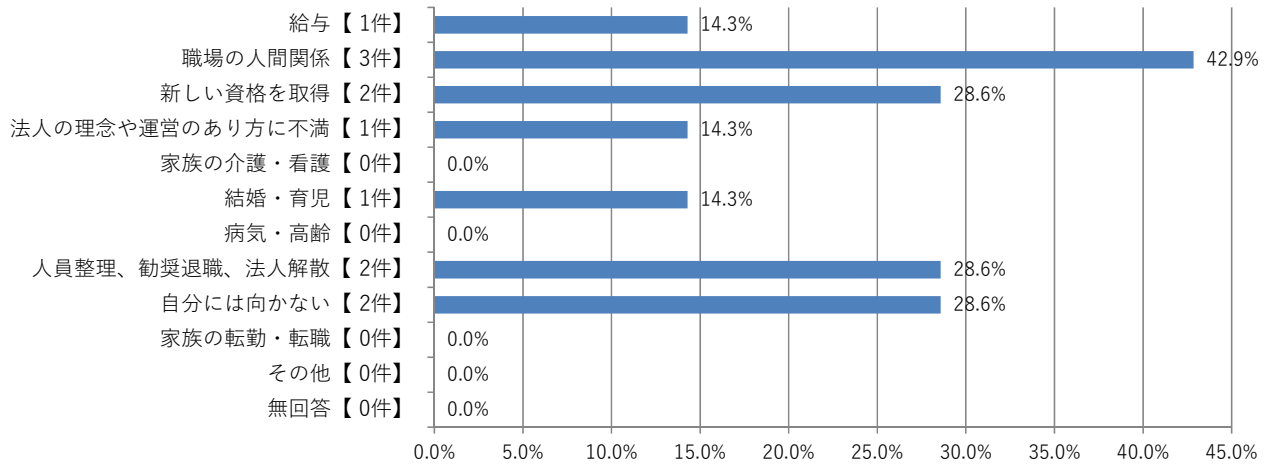
図表 23-5-4 (N=7)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「職場の人間関係」が42.9%と最も多くなっている。

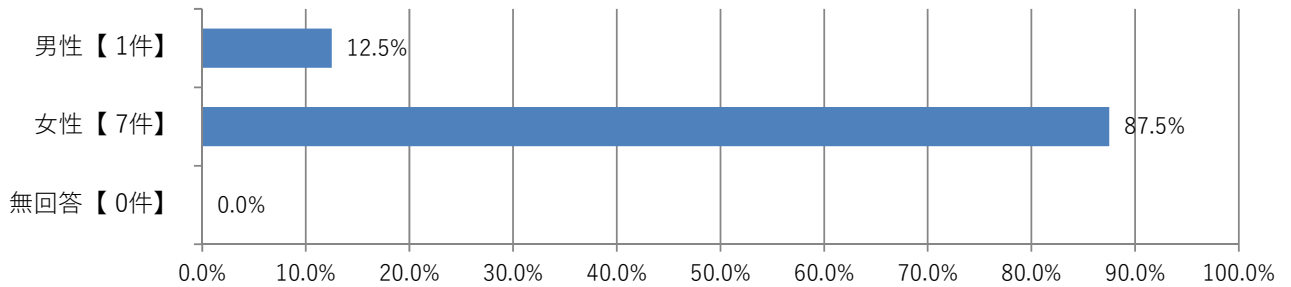
図表 23-5-5 (N=7)



問5（6）性別

性別は、「男性」が12.5%、「女性」が87.5%となっている。

図表 23-5-6 (N=8)



問5（7）年齢

平均年齢は、51.9歳となっている。

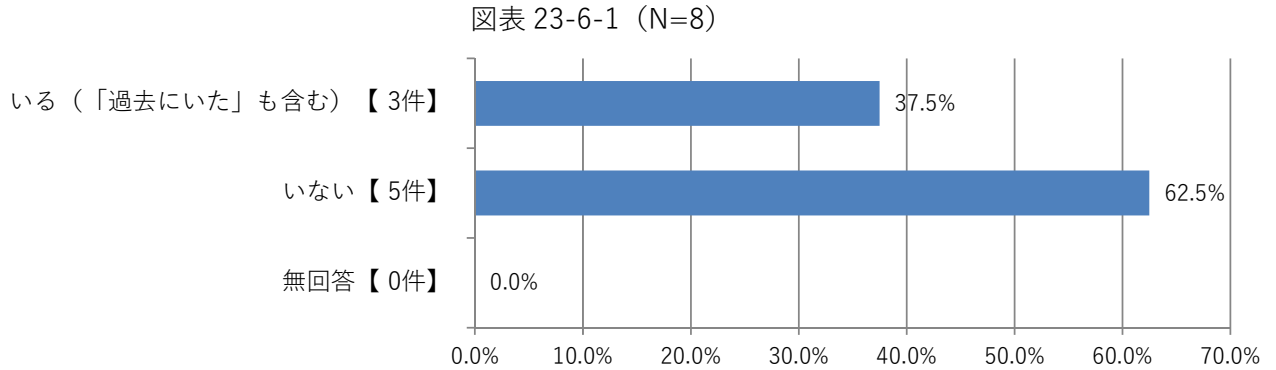
図表 23-5-7 (N=8)

	対象者数	平均年齢（歳）
介護療養型医療施設	8	51.9

問6 外国人介護職員について

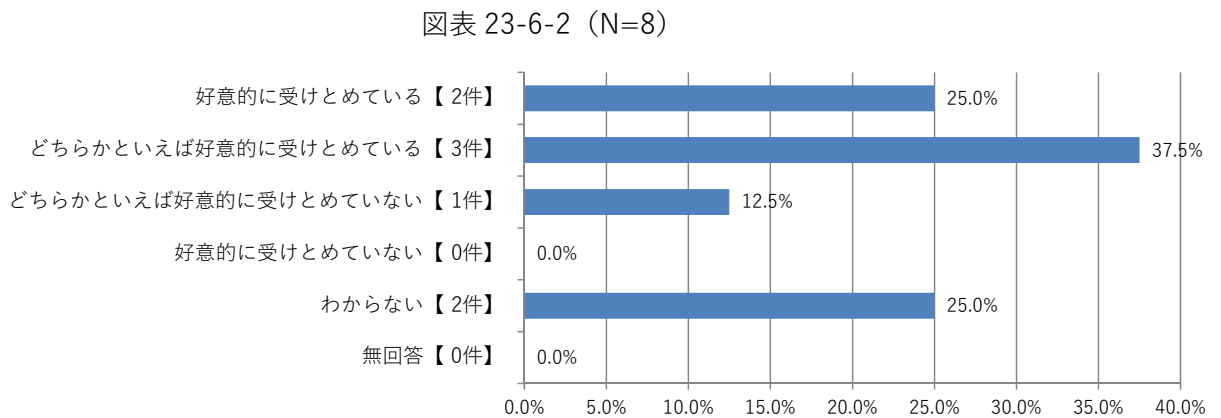
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」が62.5%、「いる（過去にいた）」が37.5%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が37.5%と最も多く、次いで、「好意的に受けとめている」、「わからない」が25.0%、「どちらかといえば好意的に受けとめていない」が12.5%となっている。

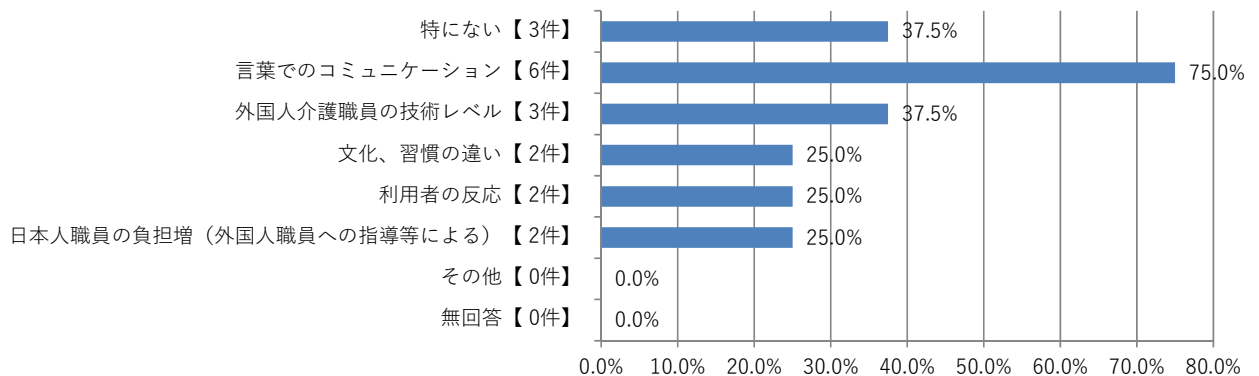


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

[複数回答可]

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が75.0%と最も多く、次いで、「特にない」、「外国人介護職員の技術レベル」が37.5%となっている。

図表 23-6-3 (N=8)

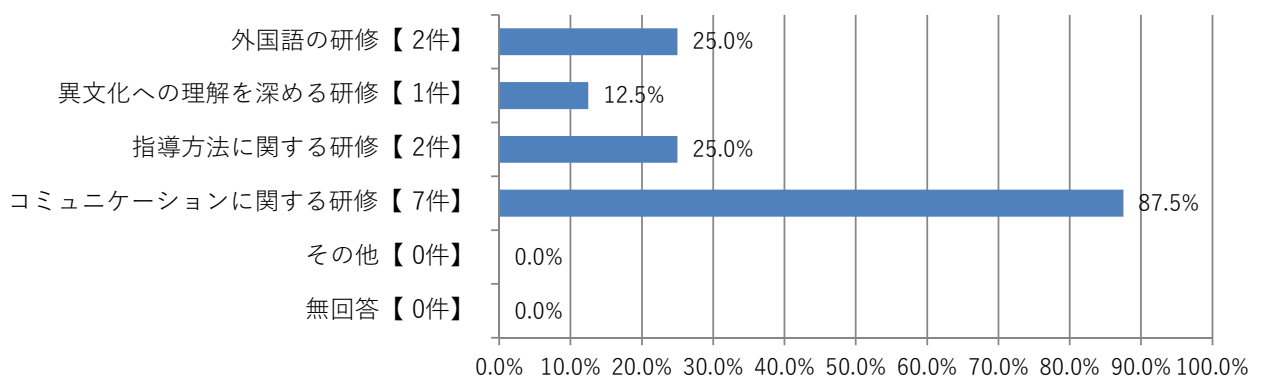


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

[複数回答可]

支援策は、「コミュニケーションに関する研修」が87.5%と最も多く、次いで、「外国語の研修」、「指導方法に関する研修」が25.0%となっている。

図表 23-6-4 (N=8)



②④介護医療院

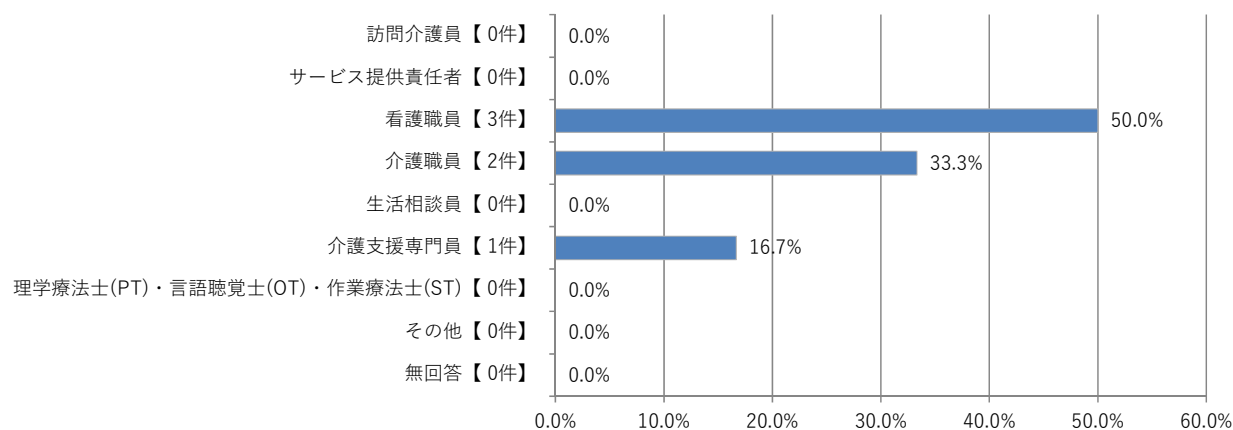
回答者数 6

問1 現在の仕事について

問1（1）あなたの主な職種は何ですか。 ※兼務している場合は常勤換算を目安に選択

主な職種は、「看護職員」が50.0%と最も多く、次いで、「介護職員」が33.3%、「介護支援専門員」が16.7%となっている。

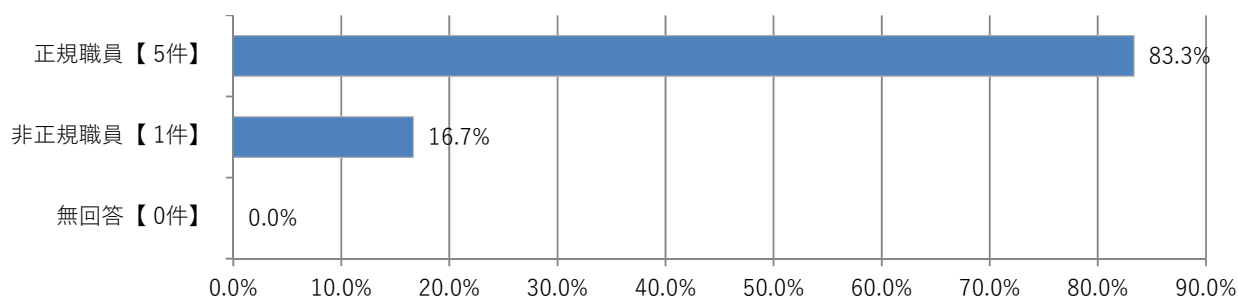
図表 24-1-1 (N=6)



問1（2）あなたの就業形態はどちらですか。

就業形態は、「正規職員」が83.3%、「非正規職員」が16.7%となっている。

図表 24-1-2 (N=6)

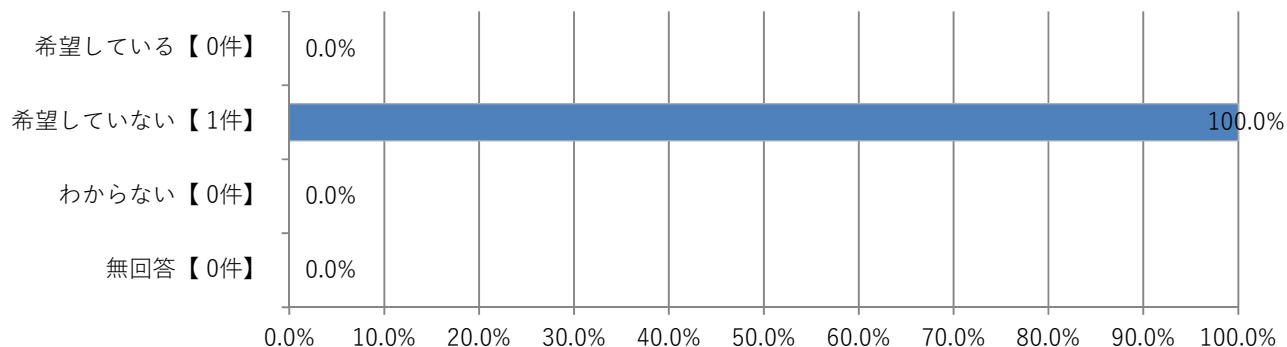


問1（3）今後、正規職員になることを希望していますか。

<（2）で「2.非正規職員」と回答した方のみ>

今後、正規職員になることについては、「希望していない」が100%となっている。

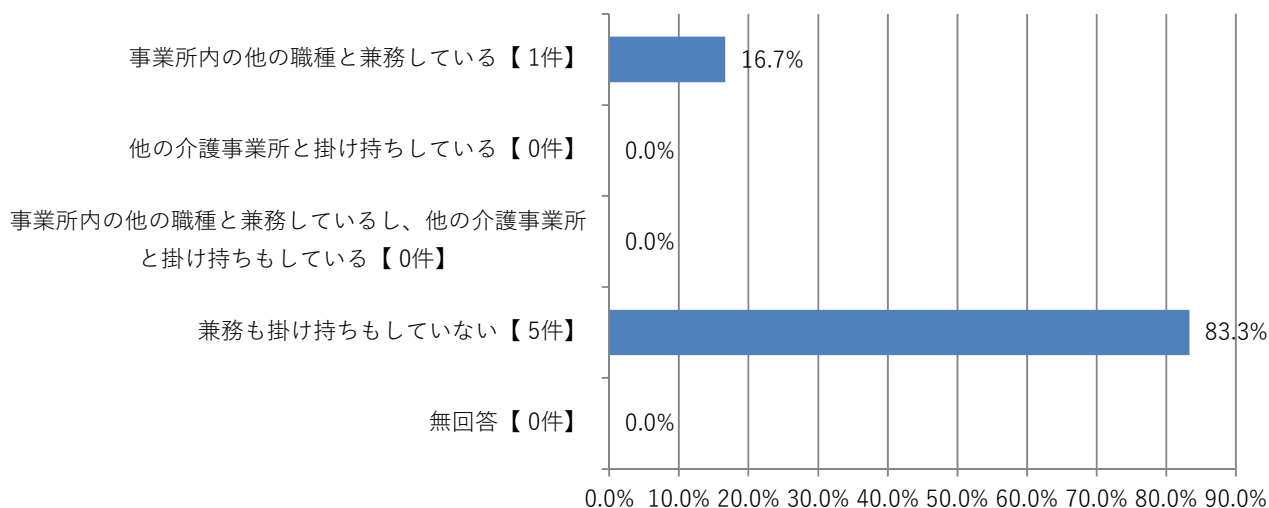
図表 24-1-3 (N=1)



問1（4）他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか。

兼務、掛け持ちについては、「兼務も掛け持ちもしていない」が83.3%と最も多く、次いで、「事業所内の他の職種と兼務している」が16.7%となっている。

図表 24-1-4 (N=6)



問1（5）あなたの主な職種の経験年数（他の法人での勤務を含む）

主な職種の経験年数の平均は、「全体」が17.3年となっており、「正規職員」が16.5年、「非正規職員」が21.3年となっている。

図表 24-1-5 (N=6)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護医療院	6	17.3	16.5	21.3	-

問1（6）現在勤務している法人での勤続年数

現在勤務している法人での勤続年数の平均は、「全体」が9.1年、「正規職員」が8.7年、「非正規職員」が11.2年となっている。

図表 24-1-6 (N=6)

	対象者数	平均経験年数（年）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護医療院	6	9.1	8.7	11.2	-

問2 勤務時間・賃金について

問2（1）平均労働日数

1週間の平均労働日数は、「全体」が4.8日、「正規職員」が5.0日、「非正規職員」が4.0日となっている。

職種別では、「看護職員」と「介護支援専門員」が5.0日となっている。

図表 24-2-1 (N=6)

	対象者数	平均労働日数（日/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護医療院	6	4.8	5.0	4.0	-
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	3	5.0	5.0	-	-
介護職員	2	4.5	5.0	4.0	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	1	5.0	5.0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（2）平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間は、「全体」が38.3時間、「正規職員」が39.6時間、「非正規職員」が32.0時間となっている。

職種別では、「看護職員」が39.3時間、「介護職員」が36.0時間となっている。

図表 24-2-2 (N=6)

	対象者数	平均労働日数（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護医療院	6	38.3	39.6	32.0	-
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	3	39.3	39.3	-	-
介護職員	2	36.0	40.0	32.0	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	1	40.0	40.0	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（3）平均残業時間

平均労働時間のうち1週間の平均残業時間は、「全体」が2.8時間、「正規職員」が1.9時間、「非正規職員」が7.0時間となっている。

職種別では、「看護職員」が1.8時間、「介護職員」が4.3時間となっている。

図表 24-2-3 (N=6)

	対象者数	平均残業時間（時間/週）			
		全体	正規職員	非正規職員	無回答
介護医療院	6	2.8	1.9	7.0	-
訪問介護員	0	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	-	-	-	-
看護職員	3	1.8	1.8	-	-
介護職員	2	4.3	1.5	7.0	-
生活相談員	0	-	-	-	-
介護支援専門員	1	2.5	2.5	-	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-
その他	0	-	-	-	-

問2（4）給与の支払形態

給与の支払形態は、「月給」が100%となっている。

図表 24-2-4 (N=6)



問2 (5) 1 か月当たりの税込み月収

1 か月当たりの税込み月収の平均金額は、支払形態「月給」が 209,200 円となっている。
 職種別では、支払形態「月給」の、「看護職員」が 135,500 円、「介護職員」が 267,500
 円となっている。

図表 24-2-5 (N=6)

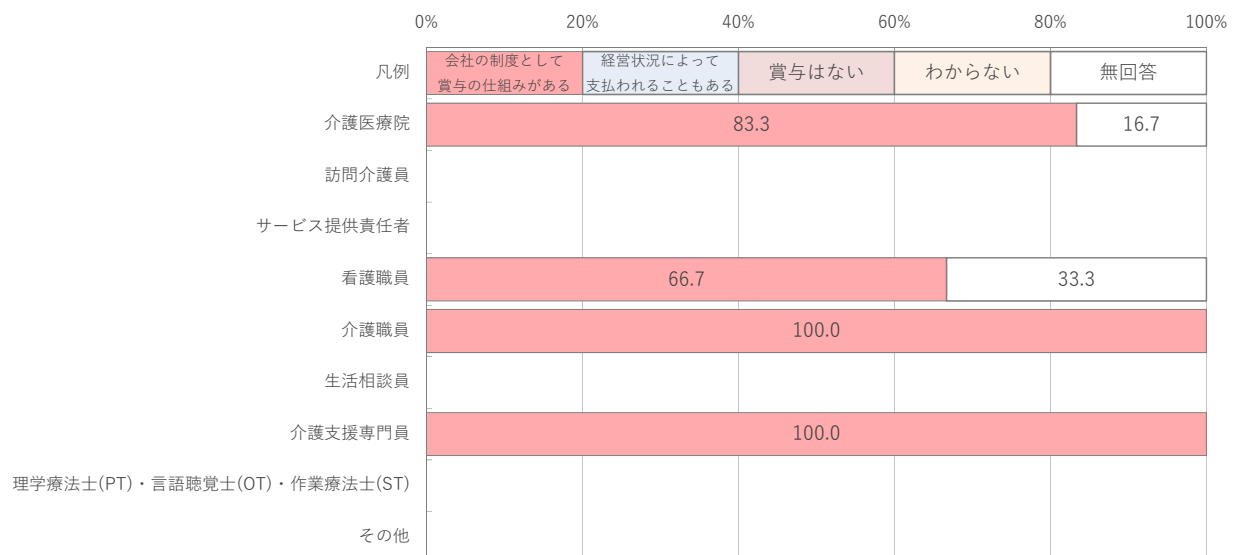
	時給			日給			月給		その他	
	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 時間)	平均稼働時間 (時間 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 日)	平均稼働日数 (日 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)	対象者数 (人)	平均賃金 (円 / 月)
介護医療院	0	-	-	0	-	-	6	209,200	0	-
訪問介護員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
サービス提供責任者	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
看護職員	0	-	-	0	-	-	3	135,500	0	-
介護職員	0	-	-	0	-	-	2	267,500	0	-
生活相談員	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
介護支援専門員	0	-	-	0	-	-	1	240,000	0	-
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-
その他	0	-	-	0	-	-	0	-	0	-

問2（6）賞与の状況

賞与の状況は、「会社の制度として賞与の仕組みがある」が83.3%となっている。

図表 24-2-6 (N=6)

	(件)						(%)					
	対象者数	会社の制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答	対象者数	会社の制度として賞与の仕組みがある	経営状況によって支払われることもある	賞与はない	わからない	無回答
介護医療院	6	5	0	0	0	1	100.0	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7
訪問介護員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
看護職員	3	2	0	0	0	1	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
介護職員	2	2	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活相談員	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
介護支援専門員	1	1	0	0	0	0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-
その他	0	0	0	0	0	0	0.0	-	-	-	-	-



問2（7）賞与の金額

賞与の金額は、全体平均で 608,000 円となっている。「正規職員」の平均は 760,000 円となっている。

職種別にみると、「看護職員」が 950,000 円、「介護職員」が 125,000 円となっている。

図表 24-2-7 (N=6)

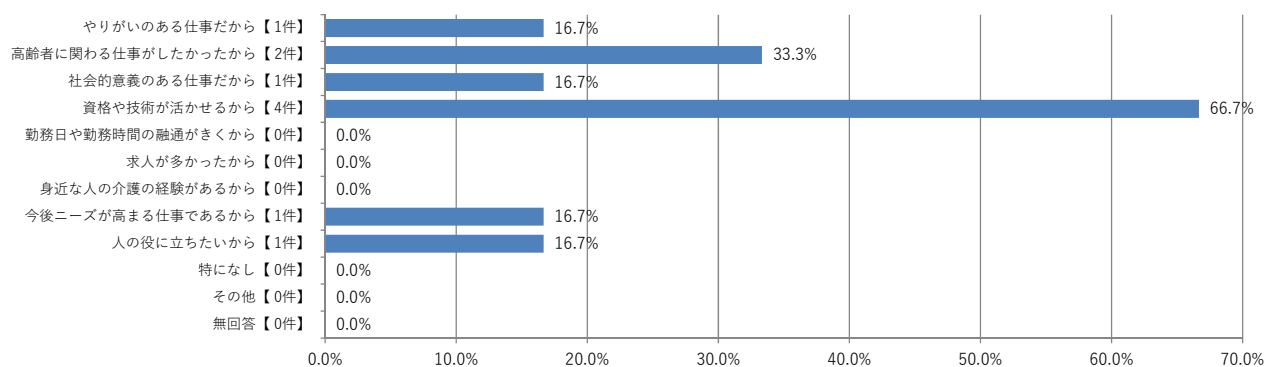
	対象者数	賞与の有無 (%)				対象者数 (賞与あり)	平均賞与 (円)		対象者数	賞与あり	賞与なし	不明	無回答	対象者数 (賞与あり)
		賞与あり	賞与なし	不明	無回答									
介護医療院	6	83.3	0.0	0.0	16.7	5	608,000	介護医療院	6	5	0	0	1	5
正規職員	5	80.0	0.0	0.0	20.0	4	760,000	正規職員	5	4	0	0	1	4
非正規職員	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	0	非正規職員	1	1	0	0	0	1
無回答	0	-	-	-	-	0	-	無回答	0	0	0	0	0	0
訪問介護員	0	-	-	-	-	0	-	訪問介護員	0	0	0	0	0	0
サービス提供責任者	0	-	-	-	-	0	-	サービス提供責任者	0	0	0	0	0	0
看護職員	3	66.7	0.0	0.0	33.3	2	950,000	看護職員	3	2	0	0	1	2
介護職員	2	100.0	0.0	0.0	0.0	2	125,000	介護職員	2	2	0	0	0	2
生活相談員	0	-	-	-	-	0	-	生活相談員	0	0	0	0	0	0
介護支援専門員	1	100.0	0.0	0.0	0.0	1	890,000	介護支援専門員	1	1	0	0	0	1
理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	-	-	-	-	0	-	理学療法士(PT)・言語聴覚士(OT)・作業療法士(ST)	0	0	0	0	0	0
その他	0	-	-	-	-	0	-	その他	0	0	0	0	0	0

問3 仕事についての考え方

問3（1）介護の仕事を選んだ理由は何ですか。 [複数回答可]

介護の仕事を選んだ理由は、「資格や技術が活かせるから」が66.7%と最も多く、次いで、「高齢者に関わる仕事がしたかったから」が33.3%となっている。

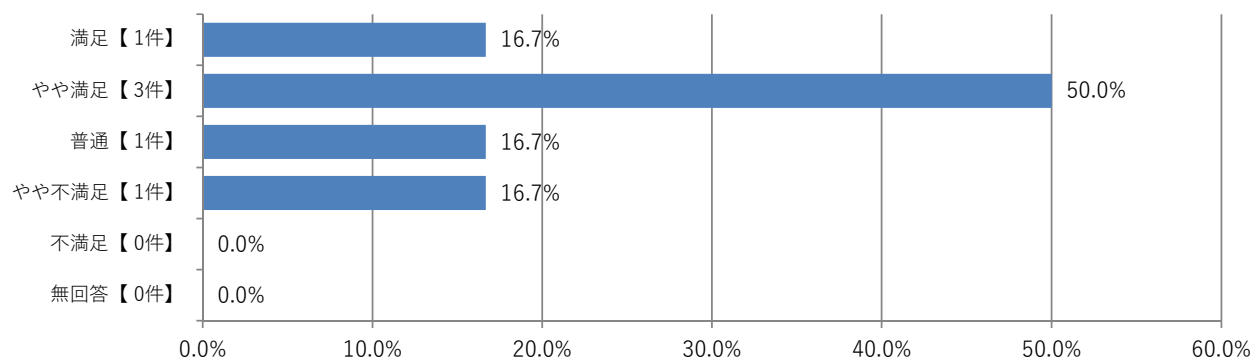
図表 24-3-1 (N=6)



問3（2）介護の仕事（現職）の満足度について

介護の仕事の満足度は、「やや満足」が50.0%、「満足」、「普通」、「やや不満足」が16.7%となっている。

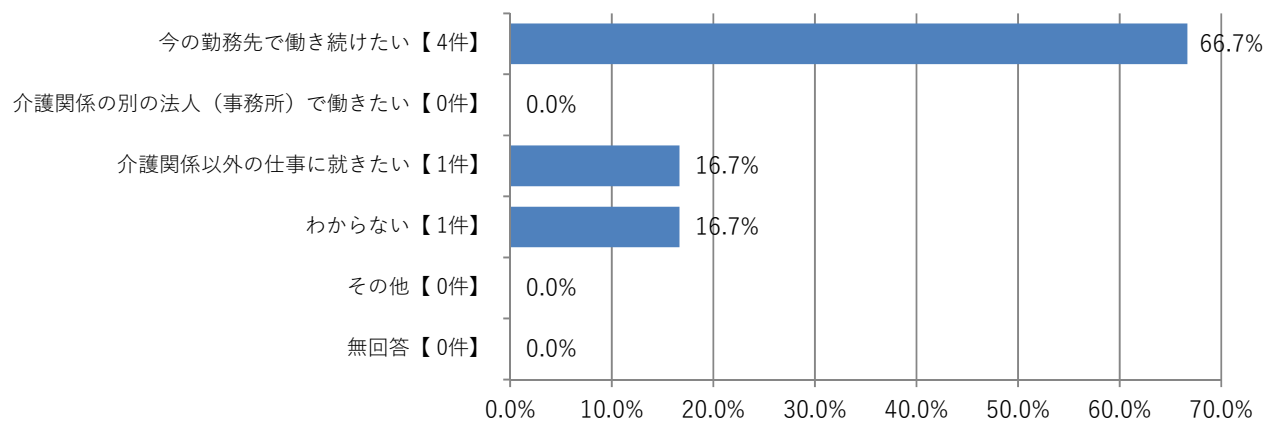
図表 24-3-2 (N=6)



問3（3）現在の勤務先について

現在の勤務先については、「今の勤務先で働き続けたい」が66.7%と最も多く、次いで、「介護関係の別の法人で働きたい」、「わからない」が16.7%となっている。

図表 24-3-3 (N=6)

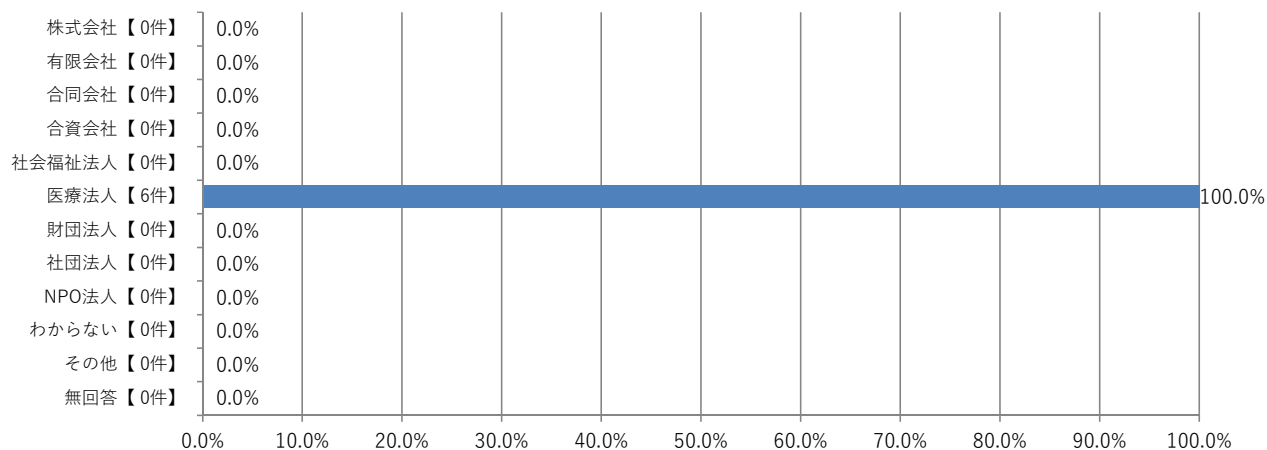


問4 法人、事業所について

問4（1）あなたが働いている事業所の法人格について

働いている事業所の法人格は、「医療法人」が100%となっている。

図表 24-4-1 (N=6)

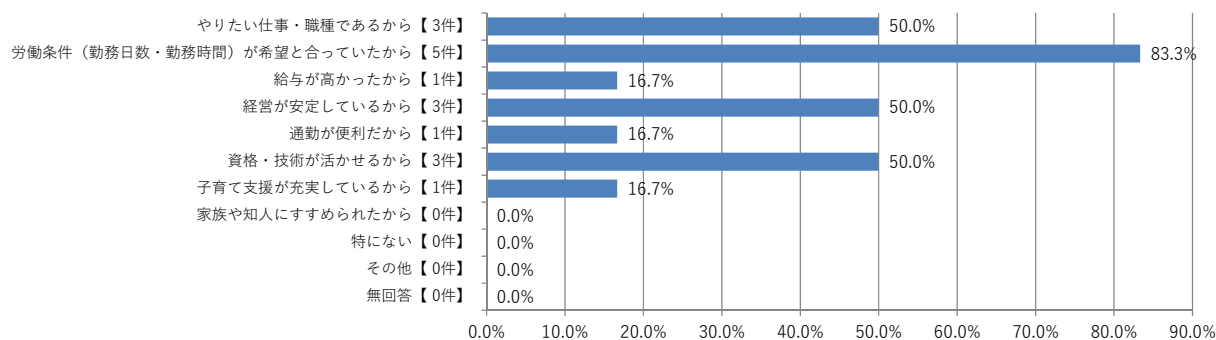


問5 あなた自身の仕事について

問5（1）現在の法人に就職した理由 [複数回答可]

現在の法人に就職した理由は、「労働条件が希望と合っていたから」が83.3%と最も多く、次いで、「やりたい仕事・職種であるから」、「経営が安定しているから」、「資格・技術が活かせるから」が50.0%となっている。

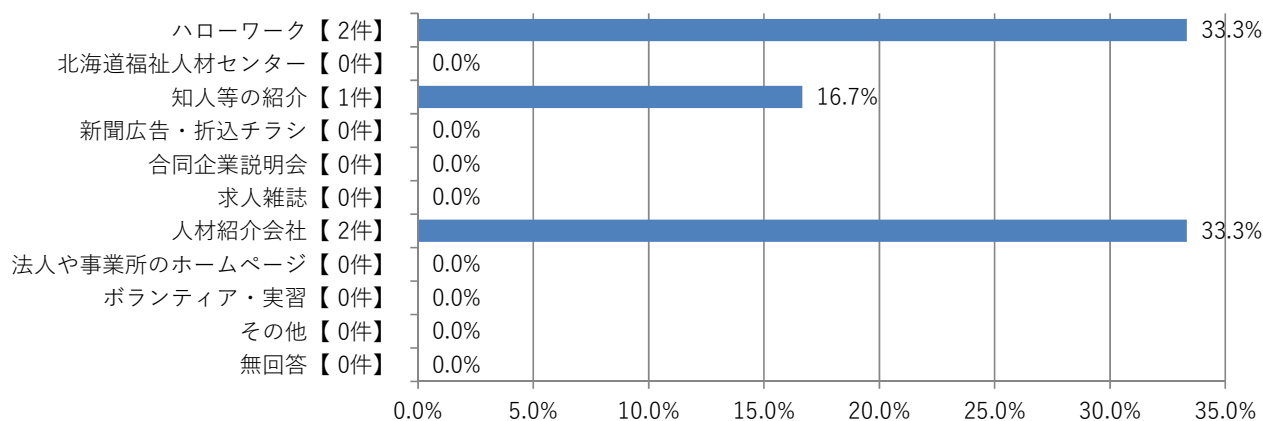
図表 24-5-1 (N=6)



問5（2）現在の法人に就職したきっかけ [複数回答可]

現在の法人に就職したきっかけは、「ハローワーク」、「人材紹介会社」が33.3%と最も多くなっている。

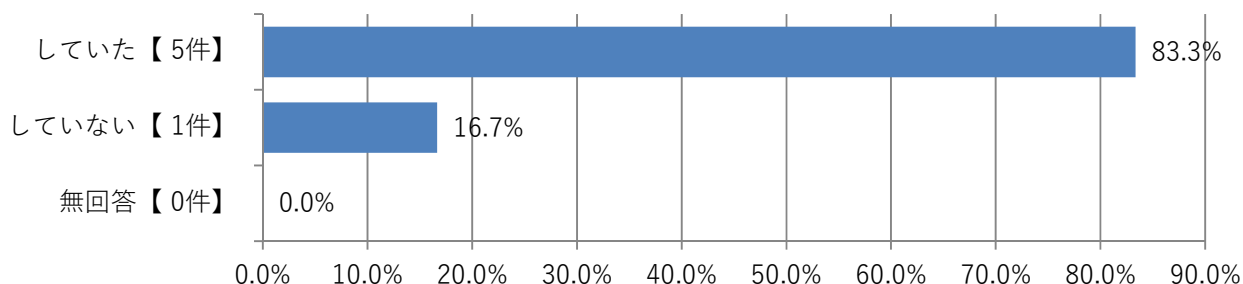
図表 24-5-2 (N=6)



問5（3）学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか。

現在の勤務先に就職する前の仕事については、「仕事をしていた」が83.3%、「仕事をしていない」が16.7%となっている。

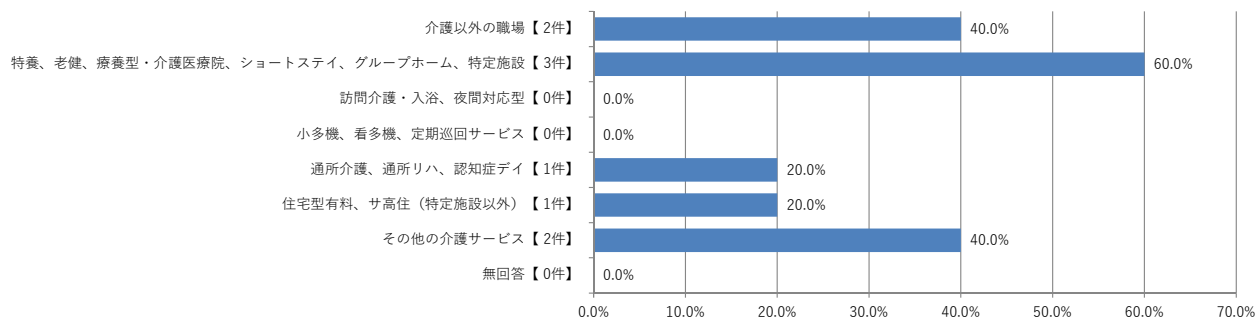
図表 24-5-3 (N=6)



問5（4）現在の勤務先の前の仕事 [複数回答可]

現在の勤務先の前の仕事は、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が60.0%と最も多く、次いで、「介護以外の仕事」、「その他の介護サービス」が40.0%となっている。

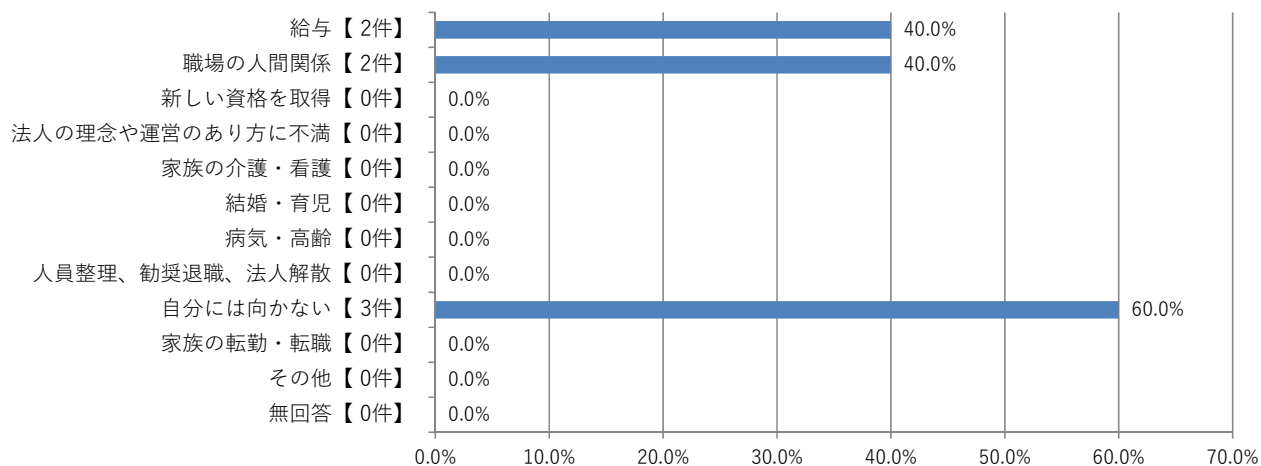
図表 24-5-4 (N=5)



問5（5）（4）の仕事を辞めた理由 [複数回答可]

仕事を辞めた理由は、「自分には向かない」が60.0%と最も多く、次いで、「給与」、「職場の人間関係」が40.0%となっている。

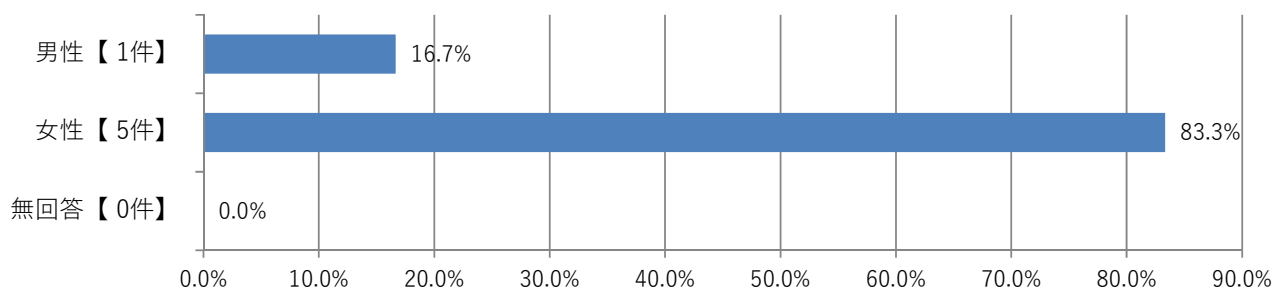
図表 24-5-5 (N=5)



問5（6）性別

性別は、「男性」が16.7%、「女性」が83.3%となっている。

図表 24-5-6 (N=6)



問5（7）年齢

平均年齢は、45.3歳となっている。

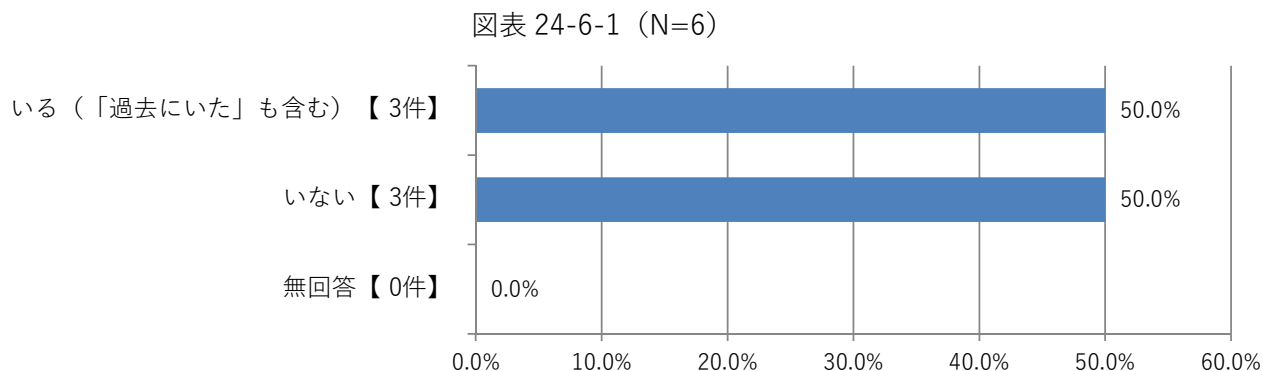
図表 24-5-7 (N=6)

	対象者数	平均年齢（歳）
介護医療院	6	45.3

問6 外国人介護職員について

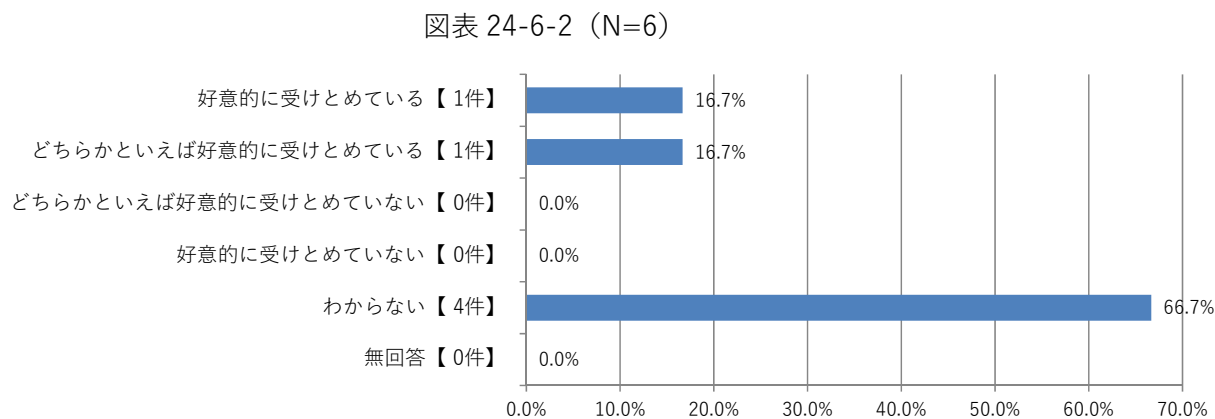
問6（1）あなたの職場に外国人介護職員はいますか。

外国人介護職員については、「いない」、「いる（過去にいた）」が50.0%となっている。



問6（2）外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか。

外国人介護職員と一緒に働くことに関しては、「わからない」が66.7%と最も多く、次いで、「好意的に受けとめている」、「どちらかといえば好意的に受けとめている」が16.7%となっている。

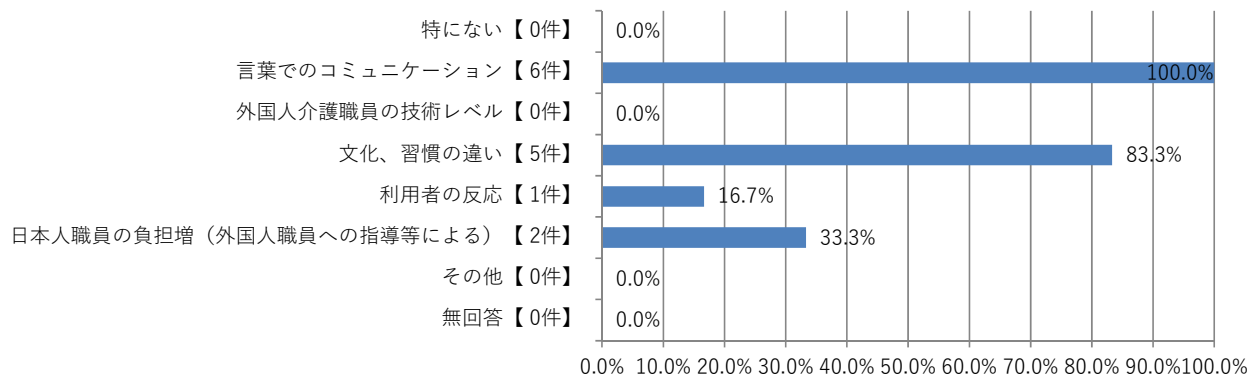


問6（3）外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。（1）で「2.いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。

〔複数回答可〕

外国人介護職員と働く中で困っていることは、「言葉でのコミュニケーション」が100%と最も多く、次いで、「文化、習慣の違い」が83.3%となっている。

図表 24-6-3 (N=6)

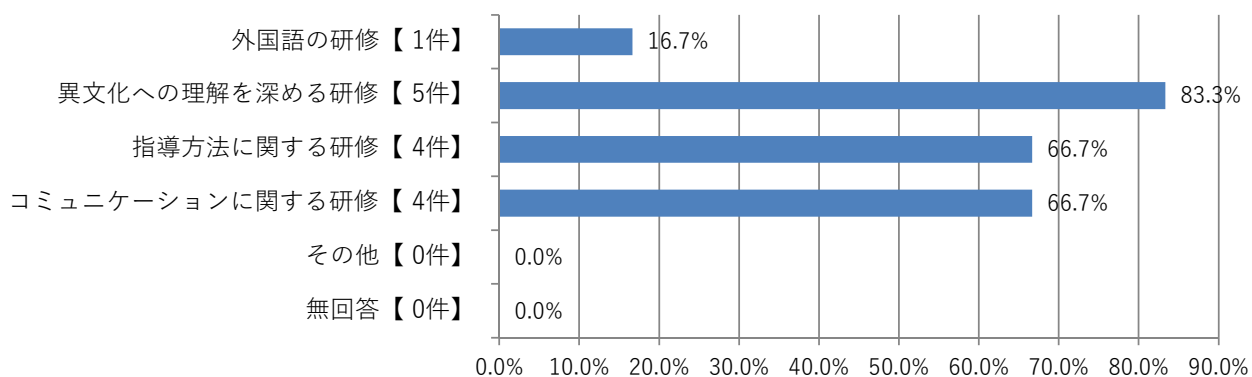


問6（4）外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか。

〔複数回答可〕

支援策は、「異文化への理解を深める研修」が83.3%と最も多く、次いで、「指導方法に関する研修」、「コミュニケーションに関する研修」が66.7%となっている。

図表 24-6-4 (N=6)



2 . 自 由 回 答

2. 自由回答

各問の自由回答を記載。

サービス 種別	問1 (1)
1	社会福祉士
1	保健師
2	介護事務
2	管理者
2	事務
2	事務員
2	事務職
4	訪看ステーション事務
4	事務
4	事務員
4	事務職管理職
4	ソーシャルワーカー
5	福祉用具専門相談員
6	機能訓練士
6	機能訓練指導員
6	機能訓練指導員、柔道整復師
6	経営者
6	柔道整体師
6	柔道整復師
6	不明
7	機能訓練師
7	機能訓練指導員
7	事務
7	柔道整体師
7	柔道整復師
7	柔道整復師、機能訓練指導員
7	鍼灸師
7	不明
8	不明
10	不明
11	福祉用具貸与
11	福祉用具業者
11	福祉用具専門相談員
11	福祉用具相談員
11	福祉用具貸与、販売
11	福祉用具貸与事業所事務
11	ヘルパー及び事務員

サービス 種別	問1 (1)
11	不明
12	計画作成責任者
12	計画作成担当者
14	管理者
14	柔道整復師
16	管理者
16	調理員ヘルパー
16	不明
17	グループホームお手伝い
17	計画作成担当
17	事務職
18	管理者
20	社会福祉士
20	包括支援センター
20	保健師
20	不明
21	総務
22	支援相談員
22	庶務
99	社会福祉士
99	福祉用具専門相談員

サービス 種別	問3 (1)
1	地域にやりたい仕事の職場がない
1	知人の紹介
1	世帯主であり安定した収入が必要だったから
1	他に仕事がなかったから。
1	介護より給料がいい。介護より体がラクだから。
1	就職難の中、介護系のみ求人多かった。
1	正社員になりやすいから
1	正社員で働くことができるから
1	身体への負担減のため
1	家族の起業のため
1	長く仕事ができる
1	知人紹介
1	歳もとりにこれしかないから
1	会社の都合
1	祖父がいたから。
1	雇用年齢が高い。
1	就職に年齢制限がなかったから。
1	紹介（業者ではない）

サービス種別	問3 (1)
1	高齢でも働けるから
1	資格が取りやすかった
1	生活の為
1	介護保険の仕組みを知りたかった。
1	母が介護の仕事をしていたから。
1	不明
1	近いから
1	病気の為介護の現場に立てなくなった為
1	資格があり、頼まれた
1	資格取得のついでになんとか
1	今後自分の家族の介護をする時のため少しでも知識を得たかったため
1	介護職が腰痛でできなくなった
1	土、日休み
1	職場が家から近いので
1	30歳を過ぎてから、今からでも正社員になれる仕事と考えたら介護しかなかったから
1	好きだから
2	正社員で働けるから
2	一度社会生活を抜けた後復職するためには介護しかなかった
2	他に生計を立てられる給料が頂ける仕事がない。もちろん資格や技術もない。
2	子育て中だったため。
2	興味があったから。
2	生活の為
2	訪問介護に興味がありサ責になる事で給料アップすると思ったから
2	身内と以前から話し合いで決めた。
2	不明
2	人間が好き
2	事務職に就きたかったから
2	資格を取り母の介護をするため。
2	人が足りなかった為。
2	安定した生活の為。
2	家が近いから
2	身近な人の介護に活かせると思ったから
2	家族を介護する時の為に
2	お年寄が好き。自分の為に。
2	好きだから
2	好きでない仕事だが、転職しやすそうだったので
2	働かないと生きていけないから
2	障害がある子供の面倒がみたかった。
2	自分自身の為
2	楽しいから
4	介護ではない。
4	対象の利用者さんが好きだから。
4	在宅の支援がしたかったから
4	自宅から近い。
4	自宅から近い

サービス種別	問3 (1)
4	不明
4	夜勤がない
4	今の仕事が好きだから。
4	訪問介護に興味があったから。
4	給料が良いと聞いたから。
4	携帯当番はあるが夜勤はないから。
4	看護職である
4	医療機関に所属しているので介護だけで選んだわけではない
4	介護ではなく医療なので
6	他に手を差しのべた企業が無かった
6	友人に誘われたため
6	経験があるから
6	勤務条件が希望に合ったため。
6	母が高血圧で倒れたことがきっかけ
6	仕事がなかった。
6	自宅から近いから
6	紹介
6	言葉や表情で人を安心することが可能だから。
6	人手不足の業界だからシングルマザーでも雇ってくれると思った
6	不明
6	学校が福祉系だったため
6	興味が無く嫌いになってもいいと、気楽にできるから。
6	介護という仕事がどのような事をしているか、確認してみたかった。
6	病院で働きたくなかったから。
6	前職を活かせると思ったから
6	知人の影響
6	雇用者に頼まれたから
6	自分の家族の為
6	親の影響
6	生活の為
6	気がついたら
6	親の介護をするのに
7	人に勧められ
7	家から近いから
7	好きだから
7	なるべく残業がない仕事。休みの希望がとれる職場を希望。途中で法人が変わったので休みも給与も雇用も変わって悪くなった。
7	安定して仕事（求人）がある
7	人事異動
8	親の介護
8	今勤めている環境を変えたい夢があったから。今の管理者の方のために自分のできることを生かしたかったから。
9	近いから
10	親の為

サービス 種別	問3 (1)
10	不明
10	配属により
10	長く働けるから (年を取っても)
10	知識と技術の習得のため
10	友人からの勧誘
10	ハローワークの紹介
10	そのくらいしか働ける仕事なかったから
11	不明
11	配属先だったから
12	やってみたら楽しく自分に合っていたから
12	先輩より。
12	正規職員になれるから
12	父母の介護ができなかったため
12	不明
12	スキルアップのため
14	自宅が近いため
14	身体に負担が少ないから
14	祖母の入浴介助がしたかったため。
14	自分が将来たどり着くと思いだんな仕組みになっているかみてみたかったから
14	異動
14	不明
14	自宅に近い
14	始めた当時の都合
14	知人の勧めにより
14	職場が近かったから
15	親の仕事を見て
15	仕事がないから
15	自分の親のために知識を身につけたかった
15	今の自分にできる事だと思ったから
15	好きだから
15	不明
16	失業したため
16	両親がお世話になった仕事だから。
16	親の介護。
16	医療機関はつらいのです。
16	好きだから。
16	不明
16	ドラマを見て。
16	自宅の近所
16	たまたま
16	興味があったから。
16	お世話するのが好きだから。
16	友人に勧められたから
16	老人が好きだから
16	将来無くならない仕事だから

サービス種別	問3 (1)
16	身体的な理由
17	資格取得の為
17	生活の為。
17	正規職員で働ける仕事を探していた。近所だった。
17	自宅から近い
17	知り合いの紹介
17	体が働けるまで長く働ける
17	過去の仕事の経験を介護職にも取り入れ、活かしたかったため
17	興味があった。親の影響。
17	不明
17	身内で働いている人がいたので。ハローワークへ行ったら受講料無料で資格を取得できる情報を得て。
17	人に言われたから
17	昔から母を見ていたから
17	紹介
17	無資格未経験で入社できたから
17	求人があったから
17	上司の勧め
17	生活のため
17	自分の障害を活かせるから
17	祖母が認知症になったから。
17	認知症を知りたかったから
17	介護を勉強したかった。いつか両親の介護をする時のために
17	亡くなった父への恩返し
17	厚生年金が払えるから
17	母を看たかった、助けたかった。
17	家が近かったから
17	前の仕事をどうしてもやめたかったから
17	身内に福祉関係の仕事をしている人がいたから興味があって
18	楽しいから
19	人と関わる仕事がしたい。
19	現在の年齢から
19	紹介
20	異動
21	不明
22	学校を卒業したから
22	異動で
22	自分に合っていると思えるから。
22	介護の勉強のため
22	院内での部署移動の為
22	家が近いから
22	身近な人が要介護状態となり知識や技術が必要うになった為
23	前々職場勤務でしたがパートさん皆人員整理にあい、ハローワークでヘルパー2級の講習を受けたので介護の仕事について

サービス種別	問3 (3)
1	年齢的に再就職は無理なのでここで働き続けたい
1	不満はないけど他にも働きたい。
1	定年の為年末で退職予定
1	不明
1	今の職場で働き続けたいが、自宅から遠いため長く働くのは難しい
1	役員のため
1	定年は60歳だが年金では暮していけないので65歳定年の職場にいずれ転職したい
1	独立
1	年齢により退職になったが嘱託で働いている
1	未定
1	待遇面での改善があれば今の勤務先で働きたい。
1	よいところがあれば転職を考える
1	仕事はいいが給与が安い。残業代も。介護職より給与が少ない。
1	思案中
2	他で自分との条件が合えば考えたい
2	現在の勤務先に不満はないが他の業種にも興味がある
2	高齢で仕事をしない為
2	6月に退職予定
2	不明
3	3月で退職する
4	不明
4	現状としては勤務しているが家族の状況や職場環境で別の勤務先へ就きたくなる
4	今後の状況次第
4	考え中
4	特に考えていません
5	不明
6	不明
6	高齢者福祉以外の社会福祉で働きたい。
6	人間関係が良い意味で改善されていたら今の会社にいると思う。
6	同事業所の別の部署
6	給与がもう少し高かったら続けたい。
6	どうでもよい
6	現在の勤務先は好きですが給与面では将来に不安があるので条件のいい仕事（仕事内容も含め）日々検討中です。
7	考え中
7	独立したい
7	いずれ違う職場に移りたい。理由は、定時で帰りたい。何でも職員がやらなければならない事が多くなった。
7	不明
8	福祉業で独立したい為
10	なるべく家の近く
10	未定
10	お金が上がれば考えたい
13	65歳まで働かなければ生活できない

サービス種別	問3 (3)
14	不明
14	こだわりは無い
16	年齢的に別は無理
16	介護関係の別職種で働きたい
16	不明
17	不明
17	将来は介護業界の中で、今とは違う働き方（職種）も経験したい。相談支援、人材育成等
17	移動になったら辞めたい
17	退職したい
17	R2年3月末で退職予定
19	年齢的に転職しづらい
21	給与のよりよい勤務先を探している
21	福祉施設以外で介護に関わる仕事（育成とか学校関係）
21	仕事内容によって判断
22	不明
22	体力的に限界がきたら他を考えていく。
22	今のところは現職で
22	1、に○を付けたいのですが、現状の労働環境では厳しい。改善してほしい。

サービス種別	問4 (1)
1	学校法人
1	協同組合
1	生協法人
1	生協
2	生活協同組合
4	福祉生協
10	宗教法人
12	福祉生協
12	社会福祉協同組合
12	組合
14	生活クラブ生協
22	独立行政法人
22	JCHO

サービス種別	問5 (1)
1	職場の雰囲気
1	事業譲渡会社都合
1	中立、公正の立場が守られる。
1	倒産後事業引継ぎしてくれた所だから。
1	倒産後の引き継がれた会社だから
1	尊敬する上司がいるから
1	ヘッドハンティング
1	実習に行きそのまま就職
1	起業したため
1	上司命令
1	前いた事業所が廃止となったため
1	研修が充実していた
1	地域に根ざした信頼のおける病院理事長だったから
1	人と関わる仕事がよかった。
1	新施設に興味があったから
1	一緒に働きたいと思った方々がいたから
1	研修でお世話になり、働けそうだったため。
2	スカウトされたため
2	有名だから
2	面接の決定の連絡がスピーディーだった。
2	研修先であったのでそのつながりで
2	体力的な理由
2	融通が効くから。
2	前の会社が退いたので現会社になった
2	健全な仕事ができると思ったから
2	仲間と立ち上げた
2	休みが自由
2	家族と起業したから
2	資格取得支援
2	ワーカーズの仕事がしたかった
3	前の会社が指定取り消しになり引き継がれた
4	勉強になる職場だと思った。同僚となるスタッフが真面目な人がほとんどだったから。
4	一緒に働きたい人がいた
4	学ぶ機会がある。
4	働いていた職員が一緒だった
6	実習先だったので。
6	前ディサービスの利用者が残られていたため。
6	実習先であった
6	事業所変更に伴い
6	実習先
6	ヘッドハンティング
6	前の法人がつぶれたので
7	資格を取りたかったから
7	法人の雰囲気が好きだったので

サービス種別	問5 (1)
7	人事異動
8	移籍
10	立派な会社だと思ったから
10	専門学校の実習生だった
10	新規オープンだった
12	上司が良かった
12	社風
14	一緒に働きたい上司がいた。
14	事業所譲渡
15	考え方
16	新規施設だったから
16	電話対応のよさ
16	最初は非正規職員
16	資格を取るため
16	利用者人数が少ないから
17	移籍を希望したため。又、前々職が倒産したため
17	働きやすい
17	職場見学をし気に入ったから。
17	オープニングスタッフだったため
17	新設だったため
17	研修に来たので
17	オープンしてまもなくだったから
17	新規開設だったから
17	社長の人柄の良さ
17	実習先で楽しかったから
17	スキルアップ
17	スキルアップができるから
17	ここが良いと思ったから（実習先だった）
17	前の仕事をどうしてもやめたかったから
19	雰囲気
20	母体が大きく専門制があったので経験がなくても学びながら仕事が出来ると思ったため
21	理念
21	実習先だったから
21	新設のため
21	学生の時の実習生
21	新規オープンだったため
22	実習先
22	新設だった。次のステップアップのため。
22	実習生だった。

サービス種別	問5 (2)
1	学校の求人
1	起業
1	自分で立ち上げた。
1	学校
1	ネット
1	事業譲渡による都合
1	indeed
1	専学への求人
1	携帯インターネット求人
1	口コミ、うわさ
1	倒産後事業引継ぎしてくれた所。
1	倒産後の引き継がれた会社だから
1	自営
1	大学の求人
1	起業のため
1	学校の紹介
1	廃業した会社を引きついた会社にそのまま就職、
1	インターネットの求人
1	大学のすすめで
1	人事異動
1	学校求人
1	現在の法人の学校（講座）
1	ネット求人
1	求人サイト
1	専門学校の求人板
1	インターネット求人
1	専門学校の求人
1	ヘルパーをしていた（同社にて）
1	前社継承
1	以前から違う職種で同法人に勤めていた
1	ネットの求人
2	会社の人にスカウトされた
2	求人アプリ
2	自営
2	ネット求人
2	資格習得先からの紹介
2	親族
2	登録会に出席した時
2	インターネット求人
2	介護ジョブ
2	アルキタ
2	家族と起業
2	前事業所閉鎖に伴い、そのまま吸収してもらった
2	新卒

サービス 種別	問5 (2)
2	インターネット
2	親が会社をやっていたから
2	主婦ナビ
2	全事業者からの独立
2	ネット検索
3	前の会社が指定取り消しになり引き継がれた
4	インターネットの求人サイト
4	看護協会
4	インターネット求人
4	学校の求人
4	ナースバンク
4	ネット
4	北海道看護協会
4	養成校の求人
4	インターネット
4	看護協会の求人
4	法人解散による継承
4	ネットから検索
5	学校への求人
6	卒業校の求人
6	ネット求人
6	ネット
6	ネット検索してインディードで発見直接応募
6	吸収合併
6	資格をとったところ
6	学校への求人
6	ナースバンク
6	M&Aによる
6	前法人からの継続雇用
6	別部署から移動
6	学校求人
6	学校での求人
6	ヘッドハンティング
7	医療職専門求人
7	専門学校
7	求人情報
7	インターネット
7	学校の勤め
7	学校の求人
7	学校からの紹介
7	学校
7	業務引継ぎ
8	学校の求人
8	学校卒業で求人
8	ジョブメドレー

サービス 種別	問5 (2)
8	移籍
8	専門学校の人
9	学校での求人
10	資格取得先からの
10	学校紹介
10	web
11	リクナビネクスト
11	事業譲渡
11	会社倒産引き続き
12	会社都合
12	アルキタ
12	学校からの紹介
12	求人サイト
12	転籍
12	福祉学校の紹介
13	会社が倒産した後そのまま今の法人に就職
14	グループ会社からの異動
14	ネット
14	経営者が家族
14	インディード
14	学校求人
14	事業所譲渡
14	社協のイベント
14	indeed
14	求人情報のホームページ
15	学校求人
15	求人サイト
15	学校の求人情報
16	ネットのサイト
16	ネット
16	新卒募集
16	専門学校から紹介
16	グループ法人からの異動
16	求人ネット
16	専門学校からの紹介
16	派遣先の紹介
16	ネット求人
17	グループ施設より移籍
17	専門学校で講師にすすめられた。
17	職場見学
17	ネット求人
17	スマホ求人
17	学校の求人
17	ネットアプリ
17	学校に来た求人

サービス 種別	問5 (2)
17	就労移行支援事業所
17	しゅふきた
17	学校の就職斡旋
17	インターネットの求人
17	営業先だった
19	学校の紹介
19	学校求人
19	学校で勧められた
19	スマホ
20	看護協会のホームページ
20	ナースセンター
20	インディード
20	学校求人
21	専門学校を紹介
21	学校に求人が来ていた。
21	学校の紹介
21	大学の求人
21	専門学校求人票
21	専門学校からの仲介
21	学校の先生から
21	学校の求人
22	法人変更前に新卒で入職
22	学校の紹介
22	専門学校の紹介
22	看護協会
22	大学の求人
22	専門学校への求人
22	学校の紹介。移動し現在にいたる。
22	学校の求人案内
22	専門学校に求人があったため
22	専門学校の求人
22	学校の求人
22	学校に来ていた求人
22	事業買収で同じ会社だが法人が変わったので
22	学校への求人
23	大学の推薦

サービス種別	問5 (5)
1	知人の誘い
1	派遣社員だった
1	体力の限界を感じたため
1	通勤が遠く疲れた
1	進学のため
1	遠くて通勤時間がかかったため
1	雇用期間終了の為
1	体がきつくなった。
1	定年退職
1	ハードワーク
1	家庭内の事情
1	休みがない
1	通勤時間
1	新しい職場で自分の目指すサービスを提供する為
1	通勤が大変
1	定年
1	時間が不規則で身体への負担増のため
1	福利厚生
1	期間満了
1	15時間勤務
1	同じ理事長の法人転居
1	通勤が負担になり
1	正社員ではなかった為
1	違法事業所の事業所と気づいたから（指定取り消し）
1	新しい居宅立ち上げの誘いをうけたから。
1	スキルアップの為
1	母の介護に区切りがついたから。
1	非常勤であったため。
1	通勤時間。
1	単調でやりがいがなく、先が見えるつまらない仕事だったから
1	学校事務で先の見えない会社と思った為
1	現在の仕事をやりたかったから
1	やってみたかったから。
1	転居
1	正社員からパート希望。子供の進学に合わせパート勤務機能するもパートは不要と言われ退職し転職
1	64歳になったため。
1	将来性
1	包括は仕事が多すぎでした。
1	体調不良
1	家から職場が遠かった為
1	場所が遠かった 通勤時間軽減
1	軽減
1	体力の限界
2	身体的負担

サービス種別	問5 (5)
2	箱だけでなく在宅を経験したい
2	契約期間満了
2	介護度が高く、肩や腰を痛めた
2	人員不足
2	勤務時間
2	通勤に一時間かかり遠かったから
2	定年
2	現法人の紹介があった
2	体力的理由
2	移動
2	仕事が忙しい
2	条件が整ったから。
2	今の法人に就職するため。
2	職員不足のため、休日有給が取れず残業も多かった。
2	シフトがきつかったため
2	勤務条件
2	現在の仕事につくため
2	体力の低下のよりきつくなってきた。
2	家族の意向。
2	派遣期間満了
2	利用者に対しての暴言など
2	キャリアアップ
2	年齢制限がなかった
2	夜勤等勤務が苦痛になった
2	夜勤が難しくなったため
2	事業規模縮小に伴う希望退職制度利用
2	勤務時間の激増
2	夜勤が辛かったため
2	一身上の都合
2	長く働ける為
2	残業が多すぎる
2	別のことをしたかったから
2	雇用切り
2	やりたい事ができた
2	再度サービス提供責任者の仕事を希望
2	全事業所から独立
3	介護の仕事につきたかったから。
4	通勤が不便
4	夜勤が多く体力的に限界を感じた
4	今のほうが家から近い
4	訪問看護をしたかったため
4	夜勤
4	訪問をしたかった
4	訪看に興味があったから（以前は病院、学校）
4	子供が大きくなり近くの職場にうつりたかった

サービス 種別	問5 (5)
4	夜勤が体に合わなかった。
4	訪問介護をやってみたかった
4	訪問介護がやりたかった
4	やりがい
4	ステップアップの為
4	定年
4	定年退職
4	海外勤務
4	退職
4	残業が多かった。自宅から遠かった。
4	訪問をやりたかった。
4	労働条件
4	知人の事業に参加するため
4	訪問看護をしたかったから。
4	希望の休みがもらえない
4	希望した時間帯での就業を断られた為。
4	他の病院、事業所で勉強したいと思ったため。
4	残業が多かった。
4	やりたい事があったから。
4	体力がもたず
4	残業が多い、夜勤が辛い
4	違う職場で経験をつむため
4	在宅の仕事を希望したため
4	今の仕事がしたかった。以前病院、今訪問看護
4	キャリアアップのため
4	訪問看護がやりたかったから
4	精神的疲労が強くなり環境を変えたかったため
4	業務が多忙で仕事をこなさきれなかったため
4	イノベーションをおこす為
4	60才定年退職
4	家庭と仕事の両立が難しくなったため
4	人員不足、残業過多
5	定年
5	キャリアアップ
6	自宅から遠い。
6	今の職場を進められた為
6	伝道（ボランティア）
6	定年退職
6	通勤が困難
6	管理職につきたくなかった。現場で勉強が必要。
6	退職
6	資格を活かしたいため
6	責任や義務は大量に押し付けるのに権限は渡さず残業代も出さない。自分達（事務）は定時上がり、土、日、祝を休みをとっていたから。
6	体力がきつくなった

サービス種別	問5 (5)
6	介護に興味があったから。
6	通勤時間
6	介護の仕事をしたかったので
6	契約切れ
6	通勤に時間がかかる
6	時間外労働が多かった、残業手当がもらえなかった。
6	残業
6	正社員になりたかった
6	定年退職、通勤
6	勤務日数、時間の変更があった為
6	この先続けていけるか不安だった為。
6	場所。
6	やりがい。
6	労働条件が合わなかった。
6	家から近い所で働きたいと思うようになったため
6	定年
6	日祝の休みがない
6	契約満了
6	契約期間満了
6	激務
6	他の職種への経験のため
6	体調不良
6	残業代やシフトが出てない
6	高齢者、老人介護をやりたかった。
6	転職希望の為
6	体力的に続かなかった
6	忙しい
6	現職場に興味を持った
6	体調
6	雇用期間満了
7	パートだったため
7	勤務時間
7	介護の仕事がしなくなったので。
7	契約期間満了の為
7	元々介護の仕事をしようと思っていた。不満があって辞めたわけではない。
7	留学
8	学校をやめたから
8	体力的
8	地元近辺に戻りたかった
8	就職の為
8	体力の限界
9	通勤に時間がかかる
10	任期満了
10	定年退職
10	体力的に無理

サービス種別	問5 (5)
10	ブラック
10	パート職であり、正職員を希望していたから
10	夜勤が身体的に負担
10	仕事が多すぎるため
10	残業代が出ない長時間残業が多い。自宅への持ち帰り仕事が多い。
10	今の仕事の求人の魅力を感じた。
10	契約期間満了のため。
10	転職のため
10	より条件の良い職場が見つかったため
10	人生観の変化
10	札幌に住みたかったから
10	残業の多さ
11	今の会社に誘われたので
11	ハードワーク
11	勤務時間が長すぎた
11	安定した職場を探していた
11	残業の多さ
12	離婚
12	資格がいかせない
12	辞めたいと思ったから
12	勤務時間
12	介護員として自身のレベルアップ
12	他の事業所も経験してみたかった
12	身体的
13	定年退職
14	契約期間満了
14	身体的負担
14	違うところで働いてみたかった
14	定年
14	忙しすぎた
14	体力的理由
14	定年退職
14	体力の限界
14	夜勤が嫌
14	期間満了
14	転勤があるから
14	残業、夜勤の回数
14	勤務時間の長さ
14	勤務時間が不規則
14	新たに勉強したいと思ったから
14	知人の勧め
14	やりがいを感じなかった為
14	通勤に不便になったため
15	家族の体調不良のため
15	65歳定年のため

サービス 種別	問5 (5)
15	異動
15	公休が少なくて身体が休まらなかった。シフトがなかなか出なくて予定が立てられなかった。
16	定年退職
16	自身の向上の為に
16	正職員で働くため
16	施設内での移動
16	体力が続かなかった
16	事業所が移転して通勤に時間がかかる
16	長期の休みが取れない
16	体調不良
16	宗教があったので
16	キャリアアップ
16	非正規だから
16	人員不足が全く解消しない
16	ストレスを感じた
16	道外であった
17	派遣社員だった為
17	満了により
17	パートだったため
17	通勤時間と子供の関係
17	介護職に就きたかったから
17	過酷な勤務シフト（夜勤9～10回、11連勤等）
17	自営をやめたため
17	将来の事を考えて
17	非正規職員だったため。
17	病院ケアワークの激務
17	夏場（4から10月）だけの仕事
17	引越し
17	体力・精神的に疲れた
17	私事都合
17	65歳以上でも正社員でいれるから
17	子どもの進学先検討のため
17	新しいことを学びたい
17	子供が大きくなったので
17	体調不良
18	就業規則がない、圧力
19	体力的なもの
19	達成感を感じたから
19	現職に誘われた
19	月300時間労働だったため
20	違う仕事がしたいと思った
20	業務過多
20	遠いから
20	残業が毎日20時、時には23時という事があった
20	資格を活かしたかったため

サービス 種別	問5 (5)
20	残業が多すぎたため
20	学業
21	神学の為
21	労働環境
21	社会保険に未加入だったから。
21	自分の環境を変えたかっただけ。職場に対し不満はなかった。
21	異動
21	定年
21	他の仕事に興味があった
22	個人的な理由により
22	介護の仕事に戻りたかった
22	資格を活かすため（前の職場は病院勤務）
22	留学
22	残業、休日出勤、出張が多すぎて、休みがとれなかった。
22	興味があったから。
22	老人の介護をしてみたかった
22	一度介護じゃない事をしたかった
22	色々勉強したかったから

サービス種別	問6 (2) 1. 好意的に受けとめている
1	とにかくマンパワーが不足しています。どんなに手厚く対応したいと思っても個人にかかる負担が大きすぎます。介護現場もそうですが居宅も同様です。
1	人材がいいため仕方ない。働くならお互いに好意的でありたいと思う。
1	以前は外国人が居て交流があった
1	人が足りないので早く外国人が入ってきてほしい
1	人員不足のなか外国人が介護の仕事をしてくれるというのは日本を支える上で今後必要不可欠だと思う為。
1	人種は関係ない。
1	今後人材不足となるため一生懸命働いてくださる方は外人でも歓迎します
1	全職場で外国人と働いていた
1	人がいない
1	他国の人の支援がなければ私達日本人が自国の高齢者を支援していくことが出来ないから。
1	自分の持っている知識を学んでほしい。教えてあげたいと思う。人生経験豊かな先輩として、学ぶ意欲のある人なら教え甲斐あり。
1	言葉の壁はあると思いますが本人の意識の高さが一番大切だと思います。日本人でも意識の低い方はたくさんいます。
1	すごいと思う。言葉がわかって通じない、伝わらない事も多いのに自分は外国でできないと思う。
1	高齢者が増えるがそれを担う介助職がなかなか増えず現在働いている方々が疲弊しています
1	国籍にこだわらない
1	仕事ができるのであれば外国人でも問題ないと思う。同じ仕事で同じ待遇であれば。
1	人材不足だから
1	やる気のある方なら、外国人でも良いと思います。外国から来るの方が、モチベーションが高かったり、労働意欲があると思います。
1	職員が不足しており、働いてもらえるのであれば、もっといきとどいたケアができると思う。
1	一度、外国人と一緒に介護職以外で働いた事があるため。
2	日本人より仕事に対し熱心に行なってくれそう。お客様を大切にしてくれると思う。
2	日本人以外の考え方等、勉強になる
2	介護業界は人手不足なのできちんと勉強してくる外国人の方は歓迎する。
2	人手不足
2	国籍は関係ないと思っている
2	違った文化や考え方に興味があるから。英語教えてもらえるかな？楽しそう
2	きちんと研修を受けて資格も取得しているなら、外国人とか関係がないから。
2	働き手としてもう外国人に頼らなければならないと考える為
2	真摯な態度で働く姿に好感が持てたから
2	介護職員が不足のため
2	国による
2	留学経験がある為、又、娘が外国にいて親近感がある為。
2	国が違って介護に対する気持ちがあれば一緒に頑張っていけそう。一緒に働いたことないですが。言葉の壁があっても、笑顔でどうにでもなると思う。
2	異文化交流により、人生の幅が広がる。コミュニケーション能力が高まる（外国人の表現力の豊富さ）。お互いに学ぶところが多い。気づきのきっかけになる。
2	一生懸命な方が多かった
2	文化の違う国の人と交流でき、勉強になる事があるのではないかと考えるため。
2	一生懸命働くのであれば国籍は関係ない。
2	日本で結婚され、日本語も上手な方で、国籍関係なく普通に一緒に仕事してました。
2	楽しい。英語の勉強ができる。

サービス種別	問6 (2) 1. 好意的に受けとめている
4	文化や考え方の違いを知ることができるから。コミュニケーションをとるのが楽しいから。
4	仕事において日本人であっても外国人であっても問題はないと思うから
4	同じ社会人、会話、文字、理解力など問題ない。
4	好意的にしない理由がないから。
4	利用者にも外国人がいるので、コミュニケーション面で助かる。日本人と同じ様に働いていたので問題は感じられない。
4	仕事ができれば何も問題ないと思う。
5	きちんと研修を受けて技術があるならば問題ない
5	人材確保の為積極的に受け入れていくべきだと思うため
6	これから多種多様な状況がより進んでいくと思うから
6	とても熱心なので
6	勉強熱心な姿を見ると、こちらも初心にかえり、意欲的になれる。見習いたいと思う。恥ずかしい指導はできないので、皆が丁寧な仕事をする。
6	特に気にしないため。
6	個人の差はあると思うが一緒に働いている人が楽しく明るい人だからこれからの介護職に必要なになっていくと思う。
6	おもしろそうだから。
6	利用者にとっても良い刺激になると思うから
6	前職場にいたが仕事はしっかりとこなしていた。勤務時間が1秒でもすぎると退勤していた。(当日、翌日の準備、片付けが終わっていなくても。)
6	色々な意見を聞きたい。色々な人と関わり自分を成長させたい。
6	仕事の教え甲斐がありそう。まじめに取り組む姿勢がありそう。異文化交流で利用者さんも喜ぶと思う。
6	外国人実習生を受け入れたとき色々細かな問題はありますが感触が良かったから
6	どこでも人員不足につき介護職員がどんどん不足の状況。知人よりとてもよく働くとの感想を聞いたので。
6	とくに人種は問わないため
6	コミュニケーションが取れば国籍は関係ないと思うから。
6	介護職に就く人が少ないため。以前に働いた事があるため。
6	介護に興味を持って働くから気持ちがあるのであれば、どの国の方でも良いことだと思う。
6	言葉が通じれば関係ないから
6	今後必要になってくると思うため。
6	人手が足りないので外国人でも良い。日本人にない考えがあるかも。
6	国や文化が違う人と働くことで利用者への関わり方の違いや考え方を知ることができるため。
7	他国の文化に触れてみたい
7	人材不足が解消されそうだから
7	人種関係なく同じ職場の人に対して嫌な感覚はない。
8	人種は関係ないと思っているから
8	自分自身のスキルアップにもつながる。
9	以前、実習生としてベトナムの方が来ており熱心に実習に取り組んでいたのと一緒に働くことになっても一生懸命働いてくれるのではないかと期待できた。また会話に関しても日本語についてかなり勉強しており日常会話においては不自由なく行なっていた。
9	外国人実習生を受け入れた際に入所者への対応が素晴らしかった。今後の介護人材不足に対して必要な人材と感じています。
10	以前一緒に労働していた。非常にスキルが高かった。
10	前向きな姿勢があり頑張るから。
10	外国人だからという理由はなく、仕事に来てもらえるなら問題ないです。

サービス種別	問6 (2) 1. 好意的に受けとめている
11	様々な新しい文化を吸収できる為。
11	人材不足の為一般的なマナーがある外国人は歓迎したい
11	どの職種でも外国人はいる時代だから
11	人材不足を補うには有効
12	真面目な方が多そう
12	韓国、フィリピンのそれぞれ2名の方と働きましたが2人共に仕事にまじめに取り組んでいた。他国の言語を理解し、文字も書け尊敬できますし、向上心も感じられた。周りの職員ともコミュニケーションは友好でした。仕事仲間として働きやすかったので外国人だからどうと思わずに働いていました。
12	他国の技術や考え方等学点が多くあると思うから
12	日本の介護員でも外国人介護職員でも色々な介護の考え方、とらえ方をするとします。「こういう介護のやり方があったんだ」等新しい発見が必ずあると思います。自身のレベルアップ、スキルアップに繋がります。
12	社会には多くの外国人が働いているしDrだって外国人がいるから
12	特に外国人と意識していない
12	何も感じない。コンビニ等社会で外国人はいっぱい働いているから。
13	介護の人材不足が深刻。外国人の学ぶ姿勢に一目置いている。
14	意思疎通が出来ればお願いしたいと思います
14	外国人、日本人に関わらず皆地球人です。
14	日本人でも外国人でも色々な方がいるので一生懸命に働いている姿は同じだと思います
14	コミュニケーションに問題なく他の職員と変わらないです
14	外国人であろうと志は一緒。
14	おもしろそうだから
14	研修を一緒に受けた事があるので
14	特に抵抗はないと考えているので
15	人類差別はない！
15	外国の方の介護に対する熱心さは以前テレビで見た事があり、好感を持てたから。
15	人手が無い職業。働く事に人種は関係ない。
15	日本語、技術、その他を教えてあげたい。
15	色々な文化を知れて楽しい。人を知るという事では道外の人と変わらない認識。
16	一緒に働いていて楽しかった。外国人ははっきり物を言う。
16	これからの時代に必要だから
16	以前テレビの放送で日本へ介護職員としてやってくる外国人の方々について紹介している番組を見たさいに、登場していた方々がとても一生懸命で本当に日本で働きたいという気持ちでいることが伝わってきた。すべての人にあてはまらないかもしれないが、日本の若者より優しそうだった。
16	コミュニケーションスキルやその人の人間性によると思うから
17	特に仕事に対し問題はないと思われるし色々な方と会話もでき、スキルが上がると思っているの
17	自国を離れ外国で働きながら勉強し、言葉もよく覚え何事にも努力し、ひたむきに取り組んでいる姿勢で好感が持てます。
17	国は違っても同じ人間だから
17	その人自身が良い人だったら日本人だろうが外国人だろうが関係ないから
17	同じ人間なのでやる気があれば国籍は関係ないと思うから。
17	意欲的な人材であれば国籍や人種は問題ではないと思う。
17	外国人と一緒に働き、その国のコミュニケーションをとりたい。
17	優しいイメージがある
17	外国人だからと言って特に気にはとめない
17	閉鎖的な職種なので、様々な価値観を共有したいから。

サービス種別	問6 (2) 1. 好意的に受けとめている
17	経験がないのでわからない
17	外国人の方が介護の現場で働くニュースなどを見て、もし一緒に働く事になったら助けてあげられたら…と思う。
19	色々な方がいると職場も明るくなる
19	自身も利用者様もまた変わった刺激をもらえるため
20	優れた人材であれば国籍は関係ないと思う。外国人の方が高齢者に親切、思いやりがあると思う。
21	性格のいい人だと思ったから。
21	他の国の方と働く事で知識が得られるから
21	優しく一生懸命
21	言葉の問題はあれど、本人自身がどうあるかという点が重要と思うから。
21	実習等の受け入れを経験してそう感じたため
21	人材不足だから
21	色々大変なことは互いにあると思うが、新しい時代と思えば好意的に受け止められる。外国の方と接する機会もつくれ、利用者を含め交流をもてる。
21	あまり外国人と意識していない
21	一生懸命働く方なら人種は問いません。頼らざるを得ない状況があるので別に構わない。仕方がないと思う。
21	お互いに成長していく事が出来ると思うから。
21	必要な事だと思うから
21	外国の方と接して働いた事はないが、どの国の人でも一緒に働く事に対して嫌だとは思わない。
22	言葉の通じない異国に来て皆があまりやりたがらない仕事をやっていただけだけでもありがたい。
22	日本で介護の仕事につきたいという前向きなモチで入ってきてくれた方なので、協力したいと思うため。
22	介護には現在かかわっていない外国人はいるが、とても熱心でとても頑張っているの、今後もこちらに来てほしいと思った。
22	外国人と交流しても視野を広げたい。
22	コミュニケーションやカルチャーの違いはあると思うが、それらを含めてもポジティブに扱っている。共に働くことで自身にとって何かしら得られるものがあるのではと感じています。（語学や人生観、接遇や新たな視野、目線で介護という仕事に向き合えるのではないだろうかと考えます。そういった事が得られるかと思いました。
22	以前働いたことがあります、同じ人間なので日本人も外国人も変わらないと思います。
22	新たな考えを聞くのは新鮮だから
22	働く上で人種や国籍は関係ないです
22	とてもまじめに働いているから
22	職員が増え介護業務の負担を分散させられることが重要なため
22	外国人の方が丁寧で優しい。
22	留学経験が有る為
23	言葉は多少通じない所もあるが一生懸命であるから。

サービス種別	問6 (2) 2. どちらかといえば好意的に受けとめている
1	人材不足は深刻である。その反面人材確保のとりくみとして賃上げ等してからにしてほしい。安い、きつい、人がいなくて現場は大変。日本人の働き手がいなくて当然。
1	利用者も多様化しており、外国人の方も増える為。
1	人手不足の折、仕方のないことだと思う。
1	日本で働く人が少なければ、やる気のある人であれば言葉の心配はあるが、外国の人と一緒に働くことは自然なことになると思う。
1	人員不足解消のために必要だと思うから。
1	好意的に受けとめるが、外国人が入ることにより日本人の給料や待遇が下がることがあればあまり好まない。
1	きちんと挨拶してくれるし、印象が良かったから。
1	言葉が通じるか心配。
1	介護人材のなり手が国内ではまかなえなくなっているの、やむを得ないと思う。文化の違い等で苦勞する面もあると思う。
1	職員による。
1	中国人以外ならよい
1	外国人も日本人も特に思わない。外国人だから働かないということもない。日本人の方が働かないかもしれない。
1	仕事をまじめに取り組んでくれる方なら問題ないと思っているため。
1	以前GHに務めていた際に、外国人を雇用していたことがあり、嫌な印象がない。
1	人手不足だから仕方ない
1	人だから人種ではなく「人」として仕事ができるかどうか判断基準だから
1	異国の地で志をもって（言葉の壁）学んでいる。すばらしく感じます。良いことだと思います。
1	文化は違って同じ人間なので良いと思う
1	人材不足だと思うので、介護技術があれば外国人でも良いと思う
1	人材不足にいたるため、外国の人と働くことも必要
1	外国人介護職の方は介護に対して意欲的で熱心だと思うから。
1	指導が大変だとは思う
1	日本人でも外国人でも、良いことも悪いこともあると思うので人員確保のためには必要だと思う。
1	特に気にしてません。経験がないので機会があれば関わってみたいです。
1	国は関係なくきちんと働けるならそれで良い
1	福祉の仕事に人種は関係ないと考えている。すでにそこにこだわるのが「差別」の根源だと思う。
1	文化、宗教的な考えで戸惑う面もあるとは思いますがコミュニケーション、技術的に問題がなければ外国人、日本人といったことは特に支障はないように思います。（実際働いた事がないためはっきりとしたことは分かりませんが）
1	とにかく人手が足りていないので
1	国籍は関係ないと思うため。
1	多用な考え方が持てると思うから。
1	人員不足のため
1	人材が不足しているし外国人の方がお金を稼ぎたい、国に仕送りしたい、技術を習得したいなどという明確な目標があると思うので。
1	高齢であれば地元の言葉を使うことが多いため
1	前のところで一緒に働いていた。
1	今後の日本の動向を見据えると必要になってくるものと思われるため。
1	求人を出しても人材が集まらない。ヘルパーの高齢化。
1	人材確保したいのはやまやまだけど、仕事に慣れず退職帰国は日本人よりも多いのではないかな…と勝手な想像します。
1	言語や価値観の違い等意思疎通に自信がない
1	言葉が通じれば特に問題はない

サービス種別	問6 (2) 2. どちらかといえば好意的に受けとめている
1	日本に来て仕事をするというものは何らかの事情をかかえている方も多く、より真面目に誠実に仕事と向き合おうとしている姿勢が見える方が多い様に感じられるから。
1	人口減少の中、高齢者の生活を支える有意義な仕事に日本人、外国人という垣根はないと思っており、外国の文化などを知ること介護の現場に取り入れたりしながら多様性を図っていけると思う。
1	日本で働こうと勉強してきた外国人の方は熱心だと思うので。
1	人手不足の為外国人でも働いてくれるならいいのでは。3年間やめないって思うと指導しがいもあると思う。
1	日本が直面している問題（人材不足）から受け止めざるを得ない。
1	外国人が日本に来て一緒に働くのは良いことだと思うが、国が介護職の給料を上げたくないからだ考えると憤りを感じる。とにかく給料が低いし、人も足りない。
2	人として真心をもって対応して学んでいただく事。文化、習慣は違うと思います。
2	一生懸命働いてくれる仲間なら外国人でもどなたでも良い。
2	前の事業所にはいて、とても真面目に働いていたから
2	外国人職員がどういった職務に従事するかによると思います。デイサービス等明るく接する時間が限られている職場なら問題ないかと思いますが。
2	真面目に働く人もいた。さぼる人もいたが。
2	今現在、介護職員不足であるから
2	コミュニケーションがとれれば受け止められる
2	以前の職場にいて積極的に働いている人だったから
2	人手不足解消のためと学ぼうとする意欲は間違えがないような気がします。
2	良いことと思うが、意思の疎通に不安がある。
2	利用者様も新鮮な気持ちになってくれて、刺激になるのであれば良いと思います。外国人以外にLGBTの方が介護の現場に来てもらいたいと感じています。
2	人によると思いますが、日本人よりは一生懸命仕事をされると思いますので。
2	しっかり働いてくれれば何でもいい。
2	私達が好意的でも利用者の方々がどうなのか？
2	言葉やニュアンス、生活習慣の違いなど日本人でも難しい部分があるので利用者様とのかかわりを外国人の方がするには大変ではないかと思う。
2	日本人の介護職員が少ないので、しょうがない。
2	言葉や文字が大変なのではないかと思う。そこがクリアできるのであればとても良いと思う。
2	一緒に働いていないので嫌う理由がない
2	働く意欲のある人なら外国人かどうかは関係ない
2	外国人であろうと職員であることに変わりはないと思うから
2	言葉の壁、文化の違いなどに戸惑うでしょうが一緒に働いてみないと答えはでないと思います。
2	人手不足は慢性的に続いているので、やる気があるのであれば外国人も日本人も変わらずできる仕事だと思うので（言葉の問題はクリアする必要がありますが）。
2	人材不足している中、働いていただけるありがたさはあるが、実習生の失踪件数や円滑なコミュニケーションを取れている人員は少ないため、責任という点で不安はある。現在働いている方に対しては好意的。
2	個人的には今後必要だと思うが、育生の体制が整っていない。そのため共に働く事はデメリットが大きくなると思う。
2	言葉の壁があるかもしれないが逆に非言語コミュニケーションが図れると思う
2	母親が入所していた特養に外人さんがいましたが、日本人より優しく入所者に接していました。一生懸命やっている姿がとてもよかったので。
2	言葉さえわかれば一緒に働きたい。
2	意思疎通できるか少し心配
2	視野が広がる
2	人員不足なので働ける方がいれば良いと思います。

サービス種別	問6 (2) 2. どちらかといえば好意的に受けとめている
2	利用者さんの理解があれば問題ないと思う。
2	言葉が通じるか心配。やる気があるなら働くのは良い事だと思う。
4	文化、思想の違いはあるがその違いと一緒に働いてみたい。
4	・働き手の人員不足や今後のニーズとして期待できると思ったため。・国や文化の違いを共有すると楽しそうだから。
4	日本人、外国人問わずやる気のある方には頑張ってもらいたいが、ビザの問題などきちんと整理し公的に就労が問題ない状況であることは必須。
4	言葉や習慣の違いが心配
4	人手不足の解消になる。高齢者の刺激になる。
4	人材不足で実際に介護の現場では大変な場面も多く見られるため。
4	互いに語学を高めたい為。
4	学ぼうとする努力が見える。潜在NSや介護職を優遇する対応でもっと良いケアを提供できるようにしてほしい。
4	働きたい意欲があるのならば、国籍などは関係ないと思うので。
4	文化の交流で相互理解をしたい。刺激になると思う。
4	外国人でも日本人でもその人が真面目に働いてくれるのなら良い。でも外国人を安く労働させるのは良くないので。
4	学校では一緒でした。良い人でした。
4	日本人としての親切心やおもてなしの心、気配り、言葉の奥に隠された本当の気持ちを読み取る能力が日本人より劣る。看護の質が低下する。
4	会話が成立すれば特に問題ないと思う。
4	人員が不足しており、仲間として働くなら国籍は関係ないと考えているから。
4	日本語が話せてコミュニケーションが取れるのであれば問題はないと思うから。
4	外国人介護職員がどのような勉強をし、技術を習得したか興味があるため。
5	人材不足の対応として今後必要性が高まるから
6	へたな日本人よりも真面目でよく働くイメージがあります。また人間として優しいイメージもあります。
6	どんな感じか経験がないので気になる。
6	ただ各個人の能力の差があるので一概にはいえない部分が多々あると考えられる。
6	常に人員不足の業界なので一人でもやる気のある人材が入ってくれば良いので国籍は関係ないと思っていますし、外国人の方も技術を身につけて母国で生かしてもらえたらと思います。
6	細かいニュアンスを共有できるか不安だが人材不足は解消できそう
6	人柄は良かったが習慣の違い、言葉のニュアンスでコミュニケーションが取れなかったことがあった。
6	文化の違いを教えるのに苦労した。
6	自分としてはその職員の性格や取り組み姿勢にあると思うので好意的だが、言葉の面、利用者が受け入れられるのかというポイントで不安。
6	働くときに教え方など難しい気がするが、人員が増えることは人手不足にも良いのではないかと。
6	視野が広がるかもしれない。
6	日本人でさえ障がい者の方とコミュニケーションをとる時難しい時があるのに、語学の問題があると思われる為。
6	これから外国人の方を介護するようになる世の中になると思うので。
6	人員不足が解消されるなら好意的に受け止める
6	日本の若い人は仕事を選んでなかなか定職につかないが外人さんは家族の事など収入を考えて仕事している方もたくさんいるので素晴らしいと思う。
6	コミュニケーションが取れて本人にやる気があり、仕事に向いていれば一緒に働いても良い。
6	コミュニケーションや文化の面での意識統一が可能であれば一緒に働いてみたいと考えた為
6	職員の人数が足りない為介護職員として働きたいと思っているのであれば一緒に働いてみたい
6	お客様の送迎先に外国人介護職員の方がいて特に違和感を感じる事はない。ただ実際同僚として一緒に働くとなると言葉の壁等や認識のズレは生じないのかな・・・という心配はでてくるのかなと思っている。また結局は介護職員は人間性が大切なのではと思うので日本人だ外国人だは関係ないと思う。

サービス種別	問6 (2) 2. どちらかといえば好意的に受けとめている
6	慢性的な人材不足もあり、業務の支障も考慮し、まずは人材確保のため受け入れを受容する状況にあると思う。
6	以前、一緒に働いたことがあったので
6	一緒に働く事に支障はありません。
6	働きたいという意欲を大事にしたい。
6	人材不足のため
6	人手が足りない為少しでも人材が増えてほしいから。(交流、言語等の問題を除いて考えている)
6	外国人の方と働いた事はありませんが、真面目に仕事をされる方であれば良いと思います。
6	言葉に不安を感じる
6	外国の方でも人員がいてくれるとありがたいと思います。
7	受け止められない理由が無い。差をおく意味もない。
7	外国人に頼らなければならない状況で来て下さる方に対しありがたいと思っているから。
7	別に特に気にしていない。
7	熱心な人ならどの国の人でも良いと思う
7	同じ人間だから
7	外国人の考えを聞いてみたい。
7	特に否定する理由が見当たらない。
7	日本人でも外国人でも人間性が良ければいい。
7	言葉も文化も違う環境で頑張っている姿を見ると良い印象を受ける。
7	地域差はあると思うが、介護を通して人を助けたい、支えたいと思う気持ちは尊重したいと一緒に働くという点では言葉を通じた意思疎通を図れるか不安。
7	働く人がいる事は良いと思いますが、コミュニケーションがとれるかが不安です。
7	いろんな新しいことが分かると思うので
8	職場で異文化交流みたいに出来る為
8	外国人の人が働くと思う。多様な文化を受け入れようとする姿勢が感じられる。日本人以外の人と働く事で私達も勉強になる。
8	言葉の問題はあるが、良いと思う。
10	昨年初めてベトナムの方と仕事を1年ばかりしたが、日本語も堪能でとても良く働く子だった。今後前の子のような優秀な人ばかりではないだろう。
10	友人の職場に外国人介護職員がいて、仕事に対して誠実と聞いているから。また、外国人ということは気にならない。
10	言葉の問題が大きいかと思います。特に認知症の方との意思疎通や日本人特有の空気を読むとか曖昧な表現だったり。仕事に関してはどの人種でも問題ないかと思います。
10	人員不足なので人種にかかわらず働ける人材がほしい
10	文化の違いなどが在るかもしれないが、自分にはないもの、考えを吸収できる可能性があると思っている。
10	マンパワーが必要と感じるが、コミュニケーションや文化の違いなどあり、対応として決めておかないといけない事があるのではないか等、不明な点が多くある。好意的には受け止めている。
10	人手不足の状況で意思の疎通や本人の資質の問題がなければ問題の解決策である
10	どんな形でも良いので、人員があるとありがたいので
10	他国の文化など知的好奇心の向上につながるため。
10	介護において特に国は関係ないと考えている。
10	これから職員確保が厳しくなるから
11	視野が広がる為
11	一緒に働いたことがないのでわかりませんが、外国の方には外国の方の良い所がありそうだからです。
11	介護現場の人手不足を解消できる為。
11	人手不足のため仕方ないと思う。コミュニケーションがとれるのか働いてみないとわからない。

サービス種別	問6 (2) 2. どちらかといえば好意的に受けとめている
11	人手不足より良いと思う。他の国の方の考え方を学んでみたい。
12	人員不足が解消されるのであれば良い
12	コミュニケーション、文化の違いが心配。周りの人の配慮が必要だが人手不足でフォローしきれない所もある。
12	言語的コミュニケーションに不安を感じる。文化や習慣の違いの不安はありますが、やってみないと（実際一緒に働いてみないと）わからないというところもあると思います。
12	お互いに刺激しあい、よりいっそう介護技術等スキルアップに繋がると思います。
12	人種は関係ない為
12	特になんとも思っていない
14	それなりに勉強してきていると思うのである程度は戦力になるのではと考えているから
14	まったく違う環境で育った人と働くのもおもしろいと思いました
14	新鮮な感じがする
14	今後の人手不足等も考えられるので積極的にガンバって頂ける方なら歓迎です
14	今の時代外国人労働者の増加もあり、新しい関係が広がると思うため。
14	新しい感覚を入れたいから。
14	仕事に対して一生懸命さがあるイメージが強い為
14	人員不足が解消されるのであれば良いと思う
14	日本まで来て介護職につこうと考えること自体とても介護に関して意欲があるのだと判断する。現在介護職員を募集してもなかなか応募がないのが現実。
14	今後人材確保が難しくなった時、必要でであると考えている為
14	よし悪しはあると思うが働く意思があるのであれば問題ないかと。ただし日本語をある程度話せるという前提。
14	人としての職種（心持）は同じだから。一緒に働いた事がないので、はっきりわからないが。
14	特に否定的に思う事がない
15	言葉や思いが違うのではないかとすることもあるが、否定はしない。
15	別の職場で働いている外構人職員と関わりがあったため
15	国籍に関わらず、その人の人柄だと思うから。
16	今現在は外国人介護職員と一緒に働いていないが、過去に訪問介護と一緒に働いた。良い人でした。
16	人間性がきちんとしていれば外国人でも何も問題ない。
16	人材不足の為受け入れる必要性を感じている
16	人材が少ない中で外国の方が努力されているので、一緒に働く機会があれば働いてみたい。
16	日本人でも大丈夫かな？と思われる職員が多いです。外国の方の実習生でも心優しい方が多かったので、一緒に働いてみたいと思います。
16	自分としては特に問題ないが、利用者の立場を考えると文化の違いやニュアンスなど困ることが多々あるのかと。
16	自分にとって色々な面で変りそうな感じがする
16	外国人でも長く居住していれば日本人と変らなく真面目に仕事をする
16	言葉さえ通じれば良いと思う。
16	対、高齢者という事に関しては、歴史や文化の違いから外国人介護職員も利用者様も多くの混乱があると思う。また、それとは別に文化に触れる事によって、大いなる刺激が与えられるであろうと期待できる。
16	まじめでとても仕事熱心でした。利用者さんへのかかわりもていねいでとてもやさしい気持ちでかかわってました。
16	超高齢化社会で要介護のお年寄りが増加する中で、日本の介護離れ、若い世代の担い手が今後増えない限り外国人介護職員に頼らざるをえない状況にきていると思う。現在私も親の介護を考える世代です。
16	文化の違う方と一緒に働く事でお互いに刺激を受け新たな考えで仕事ができると考えます。
16	異国の文化に触れる良い機会だと思うから
16	まじめに仕事ができる人ならば日本人、外国人にこだわらない。
16	コミュニケーションがとれれば良いと思うから。

サービス種別	問6 (2) 2. どちらかといえば好意的に受けとめている
16	日本人だからといって仕事を覚えることができるとは限らなかった。働き方が良くない日本人に教えるよりも、やる気のある外国人の方のほうが良いと考えるから。
16	一緒に働いた事はないが新しい風が入ると感じる
16	人手不足なので外国人介護職員の方が辞めないで長く働いてもらえそうです
17	素直で一生懸命働いてくれそうだから。
17	人手不足の為働く意欲がある人であれば好意的に受け止めている。
17	人間性が良い方なので。
17	初めてのことで戸惑いもあると思いますが好意的に働けるかと思っています。
17	問題ない
17	長い目で見れば外国人職員は確実に増えていくと思われる為。
17	一緒に仕事した経験があまりないが、経験年数や人柄で上手くやっているといます。
17	本来ならば外国の人に頼る事なく人材確保が出来れば良いですが外国人介護員の方達は学びたい気持ちも強いと思うので一緒に働くことによって自分自身も向上できるのではと思います。
17	日本語が出来てコミュニケーションがとれるのなら良いと思う
17	介護職に就く人が少ない中外国人に手伝っていただくのも良いのではないかと。
17	人手不足。
17	他事業所では外国人介護職員の導入にd取り組んでいるため。
17	習慣の違う国の方と同じ様に仕事が出来るか、こちらの伝えたいことが正しく伝わるか、他の職員ともうまく対応出来るのか不安は大きいですがイヤではない。
17	働く気持ちがあるなら。
17	人手不足だから
17	人手が不足している為人材がほしい。人が入らなければ休日も取れない為。
17	文化・言葉は違えど同じ人間であると考えているから。
17	人種は関係ないと思います
17	人には変りないから。問題は社会の体制にあると思う。
17	慣れない環境で努力しているから
17	現在、外国の方々日本で居住されている事が増加されているため。今後の日本の介護には必要になってくるのではないかと考えているため。
17	色々な価値観にふれられるので
17	全世界共通の仕事であると思うので、好意的に受け止めている。
17	言葉のカベを感じます。その理解がなければ皆がストレスを感じ、負担になると思います。しかしながら人手不足で好意的に受け止めなければと感じます。
17	国が違ふと考え方も違ふ為、色々な視点から見ることが出来ると思うから、互いに良いことを認め合って成長できたら素晴らしいと思う。風習が違ったり、見た目から苦手とする方もいると思うので、フォローが大変ではないかと思う。
17	日本人より仕事に対して誠実だと思うから。
17	人手不足のため
17	一生懸命で優しいから
17	一生懸命であれば応援したい
17	気持ちがあれば問題ないと思う
17	人物の人柄や協調性等、介護に対する心や技術的な事が大事なので外国人だからと不安には思わない。
17	おそらく外国に来てまで働く方々なので一生懸命に学んで、一生懸命に働かれると思うので。
17	日本とは違ったコミュニケーションだったり、考え方があるので良い刺激になると思う。
17	生活習慣の違いなどで、言葉や感じ方、考え方がうまく伝わるかが心配。
17	スタッフ不足であり、就労してもらえることはありがたい。ただ、外国人の方の生活の支援や展望など配慮すべき点がなく心配である。

サービス種別	問6 (2) 2. どちらかといえば好意的に受けとめている
18	仕事上では外国人も日本人も変わらないから
20	言葉が違うだけでもハンデをもっているのにしっかり勉強して働きたい意思是すごいと思う
20	人材不足を補う方法が他に見当たらない
20	日本語が問題なく制度等も理解できるのであれば働けると思います。
20	価値観に差異があるような気がしているので、どちらかといえば、を選択。
20	人材不足なので
20	日本人よりも仕事に対して熱心な印象があるので
20	日本人でも職種として合わない人も多い。外国人でも人柄が良ければ文化の違いは楽しめる。
21	どのような仕事をするか興味がある。優秀な人材を期待できる。
21	外国人介護職員も一通り勉強してきているので。
21	日本で介護をしようと思って下さる気持ちが嬉しいので
21	外国人の方がしっかり真面目に働いてくれそう
21	異文化交流ができるから。人材が足りない現状があるから。
21	介護の仕事に国籍は関係ないと思うから。
21	外国人の方の方がコミュニケーションが上手だったり、懸命に働いてくれそうな気がするから。
21	現在、他職種でも外国人が勉強しながら働いている現状があり、国は関係なく同じ人間として思っているから。
21	深刻な人員不足を補うのは外国人であっても問題はないと考えている。人間性によるが、気持ちは伝わるとは思います。
21	日本人も見習う所があると思います。全てではないですが、働く姿勢がまじめな方も多いいと思います。
21	人手が少ないので、少しでも多い方が良い
21	介護職員不足の中、外国人介護職員がいても良いと思った。
22	個人としては人員不足を感じる事が有る為好意的に思うがサービスを受ける側の利用者の立場になると高齢者、そのご家族には外国人介護職員を受け入れる事は難しいと考える。
22	2だけど人数が多いとつらい
22	きちんと働けるなら国籍は関係ない
22	同じ仕事をしようと思ったことについて、日本人でも外国人でも気持ちは一緒だと思うので、言葉や習慣の違いはあっても一緒に頑張りたいと思いました。
22	まじめに仕事ができるなら国籍はどこでも良いと思います。
22	今後の介護労働者が少なくなっていくため外国人の労働力が必要になると強く思います
22	外国人を受け入れる会社の方が印象も良い
22	その人が行いたい仕事であれば国籍は関係ないため。
22	現在、間接業務には3名の中国人アルバイトが働いている。3名ともコミュニケーション能力が高く真面目なため。
22	まだ体験してないが、同じ職場で働くなら新しいことも発見できるような気がする。
22	人材不足なら良いと思う
22	人としてみたらあたりまえ。日本人でも外国人みたいな人もいる。
22	言語能力が低いとコミュニケーションがはかれないが、人材不足の現場にはありがたい。
22	興味がある。新しい交流や人間関係を築いてみたい。
22	特別悪いようには受け取ってはならず、能力や人柄さえ良ければ互いに良い影響になる。
23	あまり外国人だからと意識しない。同じ人として接する。
23	介護に興味があり、異国で働いているため
24	言葉の違う国で介護というコミュニケーション力をとわれる仕事をしたという志が凄いと考える。自分自身の異文化交流の経験にもなる。

サービス種別	問6 (2) 3. どちらかといえば好意的に受けとめていない
1	利用者様に選択肢があるのかないのか不明
1	価値観の違い、ただ人材がないので仕方がない。介護の質↓
1	自国で就職していない方等いるのでそちらの問題が先だと思う
1	生活歴の違い
1	自己主張が強い。権利を主張。個人主義。
1	日本語のニュアンスのとらえ方が難しく行きがちがってしまうと思われるため
1	外国人と言っても国や個人の性格や気性によって大きな違いがあると思うので一概には言えないが、言葉や文化・習慣の違いがあり一緒に働くのは不安です。外国人の手を借りる事に対して好意的ではないが、昨今の人材不足を考えると仕方のないことだと考えています。
1	誠実さに欠ける点が多いと思われるため。
1	コミュニケーションの不安。
1	別の仕事をしていた時、外国人と一緒に働いたことがあり日本人とは習慣が違う所があったから。
1	コミュニケーションに不安を感じる。文化の違い。
1	簡単な仕事ではない
1	英語が話せないため。
1	コミュニケーションの大事な仕事なので言葉の問題があると思う。
1	外国人の方に日本語、日本の文化、介護技術をお金をかけて教育するより日本人の介護職員の処遇改善をするべきだと思う。外国人を安く使おうとしている感じがする。
1	コミュニケーションが大切なのでトラブルが起きそうでその分時間をとられそう。余計な仕事が増え、もっとサービス残業が増える。
1	文化の違いを柔軟に受けとめる余裕が自分にはない。
1	コミュニケーションの不安
1	細かいコミュニケーションが求められる現場であるため、業務時間内でコミュニケーションを図る自信がない。
2	言葉が通じない
2	仕事しない、遅刻が多い、早く帰る、電話に出ないなどほぼ全員です。
2	日本人でも認知症の利用者様の対応がむずかしいので外国人の人が利用者様の背景が理解できないと思っている為
2	生活も習慣も違った人が日本に来て日本人の介護ができるだろうか？
2	外国人とは働きたくないです。同じ職場でも各々個性があり、全員と上手に働く事が難しいので。外国の人とはとても働けません。ストレスがたまると思います。
2	言葉や習慣の違い
2	コミュニケーションがとりにくい。文化の違いで理解していただけない事も多かった。
2	言葉が通じない
2	以前の勤務先にフィリピン人の職員がいましたが介護に対する考え方、利用者さんとのコミュニケーション等なかなか理解してもらえないことが多かったです。
2	日本では日本人が介護した方が良い。相手とのコミュニケーションが介護のすべてだと思う。
2	日本人どうしてもトラブルは起きている。訪問介護の現場で言葉や、文化の壁を超えるられるかどうか、疑問に思っている。
3	文化の違いを高齢の認知症のある方々の多くはとまどってしまうのではという不安がある
4	生活習慣が違うので難しそう
4	言葉が通じたとしても文化的背景の差異はあり、それを原因とした接遇でのトラブルはありうると考えています。
4	誤解がないように仕事するのは大変だと思う
4	育った国、国柄によって物事の受け止め方や感情が異なるため。患者・利用者の特に精神的ニーズを理解し得ないことが多いと思うから。
4	文化や風習の違いがある為仕事面において様々な影響が生じるのではないかと思います。
4	生活に即した仕事なので文化が違うと働く人も受ける側も葛藤が多いのではないかと思います。
4	日本語の理解と結局こっちが負担が多くなるのが考えられる。

サービス種別	問6 (2) 3. どちらかといえば好意的に受けとめていない
6	言語、コミュニケーションの問題
6	ちゃんとした仕事してくれるかが不安だからです。
6	どこも人手不足ではあるが、外人はさしあたり外れが激しい。今いる外人はいるだけで給料が発生していると考えているふしがあり、全く戦力になっていないどころか、現場の輪を乱している。
6	言葉が通じるか心配。時間や生活のスタイルが違いすぎるのではと思ってしまい不安になってしまう。あわせられる気がしない。
6	文化の違いが接し方に影響しそうであまり好意的に受け止めていない。
6	未知のため
6	今まで外国人と接したことがないため言語や文化の違いに不安がある
6	文化も違う中で共に働く仲間として意思疎通などで苦勞するのは利用者様、入居者様にとっても疲れると思う。日本にとっての「当たり前」も通用しなくなる。
6	伝える事の難しさを感じる。常識と考える事に対して国民性の違いがあり、お互いに大変だと思う。
6	果たして同じ介護職員として働いて頂くことが可能なのか？介護補助のような感覚なのか分からないから（ケアマネや相談員としても働けるようになる？）
6	文化の違いがある中で一緒に働く事に不安を感じる。
7	コミュニケーションがとれるか不安がある。
7	日本人と働くよりも多くの苦勞がありそうだから
7	言葉や感情の理解、考え方の違いが有りお互いに理解することは仕事の大変さプラスアルファになってしまうと思うため。
7	自分の国ではこうだからなどと理由をつけて、文句を言うことが多かった。
7	話がなかなか通じないのではないかと不安を感じる
7	まずは日本人の給与について国で改めて考えるべきだからです。
7	経験がないためどう対応すべきかわからない。指導が難しそう。
7	文化の違いから、人材指導は難しいと思う。
8	言葉、文化、習慣の違い
9	コミュニケーション、文化、習慣での違いによる不安
10	文化、言語の違い
10	日本人で資格を有していて勤務できる人は豊富。給与面の問題で人が集まらないことから目を背け外国人労働者に逃げている様子を感じるから。
10	言葉の壁について不安。説明してもしっかり伝わっているのか？伝わっていなければケガにつながる仕事でもあるため。
10	フィリピン出身の方でしたが国民性の違いが大きく感じられた
10	介護の仕事は価値観が大事な要素だと思っている。外国人の方も日本の事を熱心に勉強している方であれば良いが、それ以外だと働くことは難しいと思っている。また、言葉の壁もあり、クリアできるかはその方次第だが。いくら人材がたりないといっても、資格がなければ一緒に働いてもお年寄りや他のワーカーも困ると思っている。
10	風習の違い、言葉がどこまで理解し合えるか不安。
10	日本人の気持ちを理解できるか不安。特に高齢者介護において
10	コミュニケーションがうまくとれるか不安
12	言葉、歴史、文化が違う。
12	利用者様への対応や技術面・精神面の不安がある為
12	普段から外国人の方との接触がないので、想像がつかない。
14	日本人の担い手不足。
14	コミュニケーションさえとれば友好的に仕事ができる。
14	言葉が通じないかも
14	外国人だから差別というのではなく、言葉や習慣の違いが老人との間に何もトラブルを起こさないかという点と違うかなと思う。

サービス種別	問6 (2) 3. どちらかといえば好意的に受けとめていない
15	国の風習、言葉
15	日本人が日本の方を理解するのが大変なのに、外国人が日本人を理解するのはなかなか難しいと思う。
16	言葉の問題。作業的になる様に思う。
16	コミュニケーションが上手に取れるか不安な為。失礼なことを言ってしまうたり、言われたりするのが負担に思う。
16	国によって生活様式、倫理観などの違いがあるため日本人の考え方、求める事を理解できるのか、意思疎通できるのか疑問。
17	以前勤めていた職場に居た方が気性が荒かった。記録物が書けなかったの。
17	言葉や風習の違いに戸惑いそうだから。
17	言語や文化の壁。
17	コミュニケーションができると思わない
17	結果的に現場の負担が大きくなるのではと思う
17	日本人がしない（したがない）仕事を外国人におしつけるようで嫌だと感じる。言葉やコミュニケーションもむずかしいし、色々な問題が起きてくると思う。
17	コミュニケーションのとり方にとまどってしまいそうだから。
17	言葉、文化の違い等介護の仕事は日本人に合った仕事だと思うので外国人の習得は難しいと思う
17	言葉のコミュニケーションと文化の違いがある。それぞれプラス面や受け入れ側の新しい発見もあると思うがギャップがどれくらいあるかそれを理解してくれるか不安がある。
17	言葉の壁
17	生活習慣の違いと言葉の壁
17	食事や文化の違いで壁になる点はでてくるから。また気を使ってしまいそう。
17	他国とのもとの考えの違いや価値観の違い等お互いが理解し支援し同じ方向性が出来るか不安。言葉、コミュニケーションについて若干不安がある。
17	言葉や文化の違い外国人が介護を行うことは不安。
17	今人手が足りないのに教える余裕などない。夜勤等とても無理なことで、今まで以上に仕事が増えていくと思う。
17	言葉が通じない。生活環境の違い。
17	お年寄りの混乱を招き新たな問題が生じる
17	人間性はあると思いますが、2ヶ月もしないうちに仕事を忘れていく、日本語を理解出来ていないのにわかったふりをする。怒って急に帰る。やっていないのにやったと言うなど、同じく働いていて外人で良い人と出会ったことがない。
17	意思疎通ができるとは思えない
17	日本人の良さを外国人に求めることができないと思っている（気づかい、心配り、思いやり、責任感の面で）。
17	現在グループホームで勤務しており、認知症の人のケアには習慣や思い出、その人に関わるものへの理解が必要だと思う。人員として受け入れるのであれば、その地域の習慣、時代等を含めた深い理解をした上でケアをする必要がある為、身体介護のみではないから、育成に時間を要すると思う。
17	意思の疎通が難しいとおもう
17	国によって危ない
17	人間関係を築くのに不安。入居者だけでも大変なのにスタッフに気を遣いたくないから。
17	外国人雇用が大事である事は理解しています。人員不足も確かですが現在働いている介護職員の時給や月給を更に保障していく事で一人一人の労働意欲も高まるのではと感じています。
17	認知症の方々が入居している環境であり、入居者の方々が外国人スタッフを身近な存在として受け止められるのか疑問であるから。またスタッフ間のやりとりにおいても少なからず負担が生まれると思えるため。
17	言葉によるコミュニケーションの難しさ。又、外国人がどれだけ日本の文化を理解できるかが難しい為。
17	コミュニケーション面での不安が大きいため
19	外国によっては常識がちがう事でトラブルがある様な気がする
19	国柄で考えか方が異なる気がする。
20	会話がネックだと思う

サービス種別	問6 (2) 3. どちらかといえば好意的に受けとめていない
21	お互いの文化にへだたりがあると、今行っている仕事の内容に対して考えの違いが生じてしまいそうな気がするから。
21	言語、文化、習慣、見た目の違いから利用者さんが不安な思いをしそうに思うため。また、自分に介護が必要になり外国の方に介助されるのが普通になっていても同じく不安に感じると思うから。
21	人員が増えていくことはとても良いと思うが言葉でのコミュニケーションがどこまで取れていけるのか不安がある。人員不足の中教えていく事に時間が多くかかってしまうのは更なる負担増になってしまうように思う。
21	コミュニケーションや習慣、言葉の捉え方など様々な違いや課題が現実問題あると思ったから。
21	必要なのはわかっているが、文化や言葉の壁があるのではないか。
22	日本人でも働いていない人がいる。障害の方もいる。まず、日本国内で介護職を目指しやすい環境を整えるべきだと思うから。
22	生活環境や習慣が違うから外国人の方の対応や接し方に高齢者の方々がスムーズに馴染んでいけるかがどうなのか。
22	生活環境、文化、言葉、宗教、仕事への考え方など日本人と違う事が多く、職員はもちろん利用者が困惑、混乱、誤解してしまう。日本国内であっても違いは大きい。
23	言葉・コミュニケーションが心配。入居者様に快くうちとけられるか心配。

サービス種別	問6 (2) 4. 好意的に受けとめていない
1	言葉の壁があるのでムリだと思う
1	会話、文化、習慣等の違い。
1	文化の違い、言葉のちがいがあり。利用者様が受け入れてくれるのかの問題も有る。
1	言葉の壁、文化の違い、価値観の違い
1	言葉がしっかり通じるか不安。国によるが人間的に雑なイメージ。入居者が不安にならないか心配。
2	日本語以外話せないためコミュニケーションが難しそうだから
2	習慣が違う。ニュアンスを伝える労力が必要となる。教育システムがない。人手不足が解消するとは思えない。
2	文化が違うため不安。
2	国が違えば文化、風習が違うのでまず私たちがその国を理解すべき。
2	国が違えば文化、風習が違うのでまず私たちがその国を理解すべき。
2	言葉やコミュニケーションで不安がある
2	こわい
2	生理的に無理
2	受け入れがない
2	訪問の仕事なので難しいのではないかと
2	言葉が通じないと介護ミスにつながる可能性があると思う。
2	自分のコミュニケーション能力に日本語以外自信ない
2	コミュニケーションがとれるか不安。文化、習慣の違い。
2	言葉違いなどが酷いから（タメ口）
3	文化の違いをうめるのが大変そう。
4	日本人ならではの言葉のニュアンスや細やかな気遣いが外国人にはまったくないから。
4	コミュニケーションに不安がある為です
4	認知症の方との会話は日本人でも難しいので外国人だともっと大変ではないかと思う。日本人同士でも指導は大変なので外国人では会話や文化的背景等でより大変になる。
4	生活習慣の違いなどがあり一緒に働く事に不安がある。理解（考え方）が得られない可能性がある。以前一緒に外国人と働いたが考え方の違いがあり難しいと思われる。

サービス種別	問6 (2) 4. 好意的に受けとめていない
6	現在の日本人介護者の職場環境をもっと整備すべきと思います
6	価値観、風習、コミュニケーションがとれなさそう
6	専門的なことを伝える語学力が自分にはないから。
7	日本語が分からないと言って、指導した内容に対して怒ったり泣いたりする。自身で学ぼうという姿勢が見られない。人によると思う。
7	仕事をおぼえようとしな。我が強くプライドも高いわりに何も出来ない。すすんで仕事をしようとしな。
7	日本の文化がわからなく、利用者様との会話が合わないと思う。
10	お互い文化や生活面でのサポートなど本当に大変だと思うことを理解していないと感じる。(会社も社会も)現場にすべて押し付けてくるのは目に見える。
10	転職先にフィリピンのスタッフと働いた事があるが日本の習慣に馴れておらず入居者様から苦情が多かった
10	言葉の問題。文化習慣の違い。
10	言葉の問題がある
10	日本に20年以上住み、日本人と結婚し子供もいるフィリピン出身の方と1年ほど仕事したが、難しいと感じた。
10	一緒に働いたことがないのでわかりませんが、生活観や考え方が違うと思うので不安。
11	社内でのトラブルが起きる可能性大と現在コロナウイルスの問題があるので一緒には働きたくないです。
12	高齢者と直接触れて、会話の機微をくみとるデリケートな職種であるので、環境や生活習慣の違いが多いと思われる外国人の方に、それが十分にできるのかの不安はある。
14	言葉や文化等ちがいがあためお年寄りに混乱を与えないか心配
15	言葉や生活環境の違う人とのコミュニケーションは日本人同士でさえむずかしいのに外国人はなおさら大変だと思います。
16	安価な労働力の確保に思える
16	外国人介護員と働くのであれば仕事を辞めます。介護の資格を取得する為にかなり費用がかかっています。外国人労働者に無料で資格を取得させ職場へと考える国に対しての不満ははかり知れません。その資金を何故現場で頑張っている介護員に渡らないのか？渡してもらえないのか？若くしてこの仕事に入った。職場結婚の共働きの時は生活できますが、賃金安い為に、子供出産の為に共働きできなくなった時は辞めざるを得ない現実を見てほしい。
16	日本人ですら高齢者に対して尊敬を重んじて仕事ができない現状で、文化が異なる外国人には難しいことだと思う。
16	文化の違いでこちらが当たり前と思っている事が当たり前でなく説明してもらえなさそう
16	性格的に受け入れられないと思っている
16	言葉の壁、文化の違い、利用者様が戦争の事をよく話すから。
17	資格も経験もなく言葉は汚い。字はかけない、英語もわからない。～やれ、うるさい、だまれ。入居者を赤ちゃん扱い。フィリピン人ン、風呂で排尿させる。
17	外国人が語学勉強しても、日本語の深い意味を本当に理解して仕事に結び付けれると思えないから。
17	外国人というよりはその人個人の性格の問題。
17	自分勝手に気に入らぬと怒る。ひどい時は時間前でも帰ってしまったら、皆がしている仕事なのにできないと明けの人が変わらせて平気でいる等協力できない。
17	介護そのものより、国の風習などの違いがあり、高齢者の対応には難しいものがあると思います。
19	文化や言葉の違いがあり、マイナスにはたらく気がするから。
19	対人労働でその人の人生観に深く関わる仕事。なのに日本人の文化等理解してもらえるのか疑問。
19	伝えたいことが伝わらない
19	トラブルがあると「わからない」と無責任な言動、行動をとる。利用者のペースに合わせる事が出来ない(自分本位)。
20	日本人でも続けられない仕事なので外国人であれば文化の違いもあり、続けられないと思うから。
20	言葉、文化の壁があると思う。同じ日本人でも生れた時代によって理解できないことがある。外国人には特に理解できないと思う。

サービス種別	問6 (2) 4. 好意的に受けとめていない
21	高齢者対応ということで文化の違いが大きくなると思うから。言葉や言葉遣い記録等日本人でもむずかしい部分もあるのに外国人が理解するのはむずかしと思う。
22	日本人どうしても言葉や、協力したい時に伝わらず、仕事をこなして無難に対応できる人間の仕事量が増えている。人数=マンパワーがあるわけではないから。
22	外国人を低賃金で雇用するのは不当だと思う。
22	病院でEPAナースを指導していました。文化の違いでしょうか、急な休みをとったり母国へ帰省すると休みの延長を迫られました。結局妊娠して国へ帰ってしまいました。
22	辞めていく人が多い中で言葉の壁があると一人前になるまでに時間がかかる。それでも人数に入れられてしまうと自分達が疲弊していくと思う。こういう事が解決できれば好意的に受け入れたいです。
22	外国人より日本人を採用してほしい。

サービス種別	問6 (2) 5. わからない
1	現在の職種で外国人の方はよほどの語学力が必要で国の特性があると思われるため。
1	福祉業界で働くため十分な給与、休暇等の処遇が整っていれば人材不足に苦しむ現状の改善につながっていると思われるため（制度による介護報酬の課題はまだまだ大きいと考える）
1	今の職場はケアマネの職場なのでイメージできない
1	利用者とのコミュニケーションがとれない可能性が高い。
1	言葉が通じない分、人間性を理解するまでに日本人よりも時間を要すると思ったので。
1	外国人だからと意識したことはない。
1	経験がない為。
1	課題が多く、現状の即戦力としては難しい。将来的なことを考え、いまから準備していくのは良いのでは。
1	外国人の方と働いた事が無いため一緒に働くことどのような感じになるのかあまり想像つかない。言葉などの不安を感じる。日本語以外はなせないので相手がある程度の日本語が話せないと業務的にも困ると思う。
1	一緒に働いてみないとわからない
1	スキルと人間性による
1	言葉が理解できるのかや文化が違う為コミュニケーションに不安がある。
1	指導が多岐にわたり大変そうなイメージがある。日本人と価値観がちがいが埋められない溝がありそう。あくまでもイメージです。疲れそう。
1	働いた事がないから
1	実際に一緒に働いていないから
1	想定外
1	具体的に考えた事がない
1	働いていないのでわからない。
1	別に外国人だからと意識したことがない。
1	外国人に対しての職場のサポート体制がしっかりしていて現場まかせなどにならないのであれば一緒に働けると思う。
1	一緒に働いた経験がないのでわからない
1	言葉の壁もあると思う
1	仕事した事がないから。
1	外国人の方によると思います。犯罪が多い場合があるので問題が起きなければいいと思います。
1	言葉の壁により支障が出そう
1	受け入れ側（法人）、利用者の理解を得て体制を整えなくてはならない。
1	人による。国籍かわからず。

サービス種別	問6 (2) 5. わからない
1	現在の職種では考えにくい
1	実際接した事がないので不明
1	実際に働いた事(身近に)がないのでわからないが、聞くところによると習慣などが違うので大変だとか。
1	相談業務のため導入になるとは思えない。介護職と一緒にいる場面がない。
1	一緒に働いた経験がないから。
1	働いたことがないのでわからないが、評判はいい。
1	まだ一緒に働く経験をしたことがないため。
1	一緒に働いたことがない為。
1	最初は大変そうであるが、なれたら違和感がなくなりそうな気もするが、そうでもない気もします。
1	文化、生活習慣、言葉の壁、食べ物など全てにおいて違いがあり。しかしそれは思い込みであるため、働く機会があれば2を選択か？
1	一緒に働いたことがないので
1	訪問介護、在宅の高齢者のひとり暮らし等での言葉や習慣の違いで不安があるのではと思う。
1	人による。昔インドネシア人と働いた事があったが面接の時に日本語の読み書きが出来ると言ったので採用したが出来なかった。うそも多く時間にもルーズすぐに辞めてしまった。
1	日本の生活習慣や常識を身につけている在日外国人であればスムーズになじめるのではないかと思います。介護職につくために外国から来た方は慣れるまで時間がかかるか、利用者から拒否される可能性が高いです。一緒に働く事は特に気にしていません。
1	今まで経験がないため
1	経験がないため
1	セクションが違うので
1	職種によっては良いかもしれないが(ヘルパー等)、ケアマネとして外国人が働いているところが想像つかない。
1	メリット、デメリットがわからないから
1	良いと思うが言葉の問題は大きいと思う。認知症の対応など言語コミュニケーションが重要な場面では特に。
1	同じ人間なので特別何かを感じることはありません
1	言葉の問題が心配である
1	訪問介護のヘルパーとして、利用者とのコミュニケーションや日本文化の理解、各家庭の習慣に寄り添えるか。会社の書類業務や制度の理解ができるか。
1	コミュニケーションに不安あり
1	今後必要な人材であるが、どのような指導・協力体制・コミュニケーションをとるのが必要なのか、利用者様へ不安を与えないか見通せない。
1	言葉の問題など個人差があると思うから。
2	コミュニケーションが上手にとれるかわからない
2	外国人であってもその人個人がやる気があって頑張っていれば良いと考えている。が、その逆もあるので。
2	一緒に働いてみないとわからない。
2	わがもの顔で戦後70年以上もたち、おのれの政府が日本からどれだけ頂いたか知ろうとせず執念深い中国や韓国は絶対嫌。その他ならいいと思う。
2	一緒に働いたことがないからわからない。
2	外国人とほぼ接したことがないから想像できない。
2	言葉の問題。うちの事業所にはコミュニケーション障害の子供が多いのでその問題をクリアできるのか不安がある。
2	実際に一緒に働いてみないと何とも言えません
2	働いてみないとわからないから
2	一緒に働いたことがないから
2	今まで務めていた会社での海外の方は約8割の方が都合が悪くなると日本語がわからないと言う人や責任感のない方が多かったのです。
2	言葉の壁がなければ大丈夫だと思う。

サービス種別	問6 (2) 5. わからない
2	人あいての仕事はコミュニケーション能力、洞察力が全てなので外国人には難しいと感じます。掃除だけなら可能かもしれない。
2	まだ一緒に働くことの経験がない為わからない。仕事をしてくれば問題ないと思う。
2	実際にそうしてみないとわからない
2	一緒に働いた事がないから何とも言えない
2	働いていないと分からないから
2	一度も働いたことがないから
2	言語、文化の違い。ニュアンス、コミュニケーションの不安。
2	外国人と一緒に働いたことがないから。
2	いないから。
2	日本人で意思疎通ができてても根拠を持たない介護職が多いため、外国人だからとかは考えられない。
2	実際に関わってみないとわからない
2	日本人よりしっかりと仕事に関しては行なってくれると思いますが言葉の面で大きく不安があります
2	以前全く違う職場で働いた事があるから、どちらとも言えない。
2	言葉やコミュニケーションがうまくできるか不安。
2	仕事の内容が限定的にならざるを得ないのではないか。日本人スタッフの負担が大きくなっていくのではないかな。
2	実際に一緒に働いてみないとわからない。
2	生活習慣の社会観違いがどのように出るのが不安。
2	一緒に働いたことがないのでわかりません。
2	どんな人でも同じように仕事ができればかまわない。日本人でも話の通じない仕事のできない人がいる。
2	一緒に働いた事がないのでわからない
2	訪問介護で在宅に入る仕事なので利用者が受け入れることができるかどうか心配。言葉、理解力が心配です。
2	サ責として日本の習慣等も含めた介護保険によるサービスを指導できるか不安があり、また利用者様の反応も気になります。
2	言葉の壁。少しのニュアンスの違いが伝わるのか不安。日本人相手でもなかなか伝わらないのに。
2	外国人と仕事をすることがないから
2	言葉の壁
2	なかなかイメージできなかった。
2	意思の疎通が不安である。
2	一緒に働いた経験がないのでわかりません。
2	身近に接したことがないから
2	一緒に働いた事がないので、一概に言えない。国籍問わず、真剣に取り組んでいただけるなら歓迎したい。
2	日本人も外国人も個性があり、協調性の問題だと思う。
2	ネットの中では外国人とやり取りしているが、仕事となった時のイメージが難しい。
2	未知の世界
2	互いに文化の違い、育った環境の違い等から共にうまく働いていけるか不安。
2	ご利用者様と外国人介護職員の話をする時があり、ご利用者様は外国人はイヤだと話されています。話が通じないのではないかと不安だそうです。人手不足の今は外国人介護職員に頼らなければ立ち行かないところも理解できます。なのでどっちも結論が出ないです。
2	実際に一緒に働いてみないとわからない
2	言葉などのコミュニケーションが必要です。
2	生活習慣の違いからコミュニケーションの取り方が難しく、高齢者の受け入れも難しいとお話も伺っています。
3	直に接していないのでわからない。
3	よくわからないからです
4	人による

サービス種別	問6 (2) 5. わからない
4	精神的な信頼とか過度な依頼心とか同郷者同士のサークルとか心理的なサポートが必要になると思う
4	以前の職場で外国人介護職員の方と働く機会があったがコミュニケーションの難しさを感じたから（言葉の違いや表現など）
4	文化と言葉の違う国で生まれ育った人達と働くことで起こりうる事が想像出来ない為。
4	実感なし
4	言葉や習慣の違いを埋めれるのか不安
4	コミュニケーションがうまくとれるか不安
4	自分の問題としてとらえていないので
4	人として接するので国籍ではなく人柄をみるほうだと思います。ただし習慣の違い価値観の違いが有ると思うのでその場にならないと判断できないと考えます。
4	外国人だから…と考えられない。その人による。日本人でも好意をもてる人もてない人はいます。
4	その様な経験がないのでわからない
4	文化的背景に不安を感じる。仕事以外に話した言葉の意味など説明する場面があるだろうと考えると面倒。（忙しい時は特に）
4	考え方、習慣の違いから一緒に働く事に不安がある。
4	コミュニケーションに支障がなければ問題ない。
4	働いた事もないし考えた事もない
4	関わったことがないから。
4	どのくらいの知識や技術にもよりますが（言語や介護技術など）外国人とひとくくりにはできず日本人でもそうですが個人の人間性などによると思われます。
4	働いたことがない。あまりプライベートでも関わる事がないので、コミュニケーションの取り方など心配不安は多々ある。
4	言葉が通じるかどうか不安がある。
4	実際に働いてみないと機能できるのかわからない
4	日本人との価値観の違い等で、やりずらさが出るのではないかと不安はある。
4	経験がないためわからない
4	経験がない
4	特に何とも思いません
4	実際に働いてみないとよくわからない（言葉など）
4	一緒に働いてみないとわからない
4	文化や価値観の違いが及ぼす影響が不安。
4	状況がわからない
5	文化背景、言葉の問題など具体的にどうなるかわからない。
5	言語
5	経験が無い。他の人と同様に働ければ問題なし。
6	以前の勤め先（介護施設）に居たが言葉の問題等な働き者の方。外国の方というよりもその人の人間性によるものと思う。
6	働いてみないとわからない
6	一緒に働いたことがないからわからない。
6	働いた事がないから
6	他部署なので一緒に働いていない
6	一緒に働いてみないとわからない
6	人による
6	一緒に働いたことがないので。
6	働いたことがないのでわかりません。

サービス種別	問6 (2) 5. わからない
6	国籍ではなく人として採用すると思うから。
6	コミュニケーション等、その人に合ったサービスが存在すると思うので、それにそったサービスを提供できるか不安。
6	他職員や利用者の方とのコミュニケーションや意思の疎通がとれれば可。
6	イメージがわからない
6	特に何も感じないのでどれもあてはまらない。
6	一緒に働いたことがない
6	一緒に働いた事がないので実感がわからない。一生懸命に努力する方であれば日本人であろうと外国人だろうと関係ないと思うが、介護士の待遇がまだいいとは思えないのでそこが改善して頂く事ができたら一緒に働くことはいいと思う。まずは現在の介護士がどんな状況にあるのかを考えて頂きたい。
6	国がどのような制度を作っていくかよくわからない為、文化や宗教等を尊重できる制度が出来上がらないかぎり、利用者様にも迷惑をかけてしまう。環境が出来上がったしまうのではないかという不安があります。
6	利用者への対応、言葉の違いがあるから丁寧な接遇が出来るのか？現時点では判断できない為。
6	働く機会がないのでわからない。
6	一緒に働いたことがない。人柄が大事だと思う。
6	想像がつかないから。
6	一緒に働いたことがないのでよくわからない
6	一緒に働いたことがないから。
6	個人差がある事だし働いてみないとわからない。
6	文化の違いや微妙な言い回し等日本語は難しいと思うのでその方がそれを受け入れてやっていけるか？が重要かと。
6	一緒に働いた経験がないので想像がつかない
6	外国人というよりもどのような人間かが問題。立派な福祉の志があれば日本人も外国人も関係ない
6	実際に一緒に働いた事がないため実感がわからない
6	一緒に仕事をしたことがないから
6	あまり身近に関わっていないので
6	働いてみないとわからないから
6	実際に働いてみないとわからない
6	言葉が通じるか不明なため
6	一緒に働いた事が無いため
6	身近にテストモデルなど実施例がない為。イメージがつきにくい為。
6	働いてみないと分からない
6	想像できない
6	言葉、文化、思想、宗教の違いが業務にどのような影響を与えるかよく考えてサポートする必要がある。
6	経験が無いしイメージがわからない
6	人によると思うのでわからない
6	一緒に働いたことがないので、判断が難しいです。
6	働く環境にないため、答えられない。
7	経験がない
7	実際に働いた事がない為分からない部分が多い。どの程度言葉が通じるか等によって大きく変わるため。
7	実際に身近にそういった職場がない為イメージがつかない
7	経験がないのでよくわからない
7	考えたことが無いので
7	経験がない為。
7	一緒に勤務したことがないため
7	一人一人、人格や性格が違うので働いてみないとわかりません。

サービス種別	問6 (2) 5. わからない
7	介護はコミュニケーションが重要な仕事のため、会話や言葉の理解がどれくらいできるかが心配。理解ができてコミュニケーションがとれるのであれば、国籍は関係ないと思う。
7	コミュニケーションをとれるか不安がある。
7	働いた事が無い外国人と、少々人見知りの方だと思うので慣れるまで不安あり。
7	想像がつかないから
7	言葉が理解できるなら（書く、聞く、話す）能力が仕事に支障ない程度あれば問題ないと思う。
7	外国人と働いた事が無い為、何ともいえない。
8	同じ建物内にいるが一緒に働いていない
8	働いてみないとわからない。
8	働いたことがないので何とも言えないが、頑張って働いてくれそうな気はします。
8	入居者がどう受け止めるかが心配なので。
8	一緒に働いてはいない
8	実感がわからない。話に聞いたことはあるが、どんな働き方なのか想像できないから。
8	文化も違うし、認知症の方への対応など出来るのか分からない。
8	まだ経験していないため
8	あまり関わっていないので特にわかりません。
9	働いてみないと、どう感じるかわからないです
9	実際働いてみないとわからない。日本人でさえ認知症の介護は難しいのに言葉の壁は大丈夫なのか？とってしまう。
9	留学経験が有る為
10	一緒に働いた経験がないので答えようがない
10	一緒に働いたことがないのでわからない。
10	メリットもあると思うしデメリットもあると思います
10	外国人と一緒に働いたことがなく、イメージできない
10	一緒に働いてみないとわからない
10	外国人であっても日本人であっても仕事に向き合う姿勢での仲間意識となるのでこの質問では正しい回答はできません
10	現場で働いてみないとわかりません
10	かかった事がないのでわからないが、お国柄違いなどでできて、多分、働きづらいところもあると思う。
10	個人的には一緒に働きたいがお客様のことを考えると難しい気がする
10	一緒に働いたことがなく、どういう状況になるのかイメージがつかない。
10	接する機会がなかったため
10	働いてみてどういいう感じかの想像ができない。高齢者に対しての思いやりがあれば国の違いは関係ないとも思う。
10	コミュニケーションがとれるか分からない。言葉が通じるかどうか不安である事。
10	働いてみないと何とも言えません
11	一緒に働いた事がないので想像できない
11	コミュニケーション力に問題なければとすが、福祉用具の選定等確認が必要なことが多いのでかなり難しいのではと思う。
11	一緒に働いたことがなく情報も少ないため
11	一緒に働いた方もないので
11	人手不足の解消になるのであれが良い手段に思うが、文化やそこから発生する価値観を職員・利用者と近づける事、折り合いをつける事が出来ないのであれば現在働いている職員の負担増にしかならないと思うから。
11	一緒に仕事したことないため
11	直接的に関わったことがないので想像できない
11	外国人の方と働いたことがないので、何とも言えない。

サービス種別	問6 (2) 5. わからない
12	言葉の壁があり、こちらの説明（仕事内容等）がきちんとと田割るか心配。
12	一緒に働いたことがないからわからない。
12	どこの国の人かによる
12	言葉等コミュニケーションに不安がある。利用者の言葉を聞き取りできるか、理解出来るか不安。
12	物や金銭
12	あまり考えたことがない
12	言葉の壁がある
12	どんな外国人かわからないのに選択する事はできない
12	お互いの個性や協調性の問題だと思うから。
12	文化の違いの壁があるのではと思う
13	夜間訪問看護に関しては危険性を感じる為好意的には受け止める事ができない
13	経験がない為。
14	一緒に働くことがないので不明
14	考えたことがない。
14	経験がないためわからない
14	一緒に働いたことがないため
14	言葉の壁？風習、習慣の違いを感じている。どこまで日本式を納得してもらえるのか？納得させるべきなのか？疑問、高齢者の方は昔からの生活習慣や日本の文化が生活の背景にあるので難しいと感じています。
14	毎日変化のある人々との暮らしに共同ケアがどこまでできるのか心配。
14	経験がないのでわからない
14	一緒に働いた経験がないため
14	環境（国）の違い人と接した事がなくイメージがつかめない
14	関わった事もないし、メディアの情報も判断できる材料もないため。
14	一緒に働いたことが過去にないので、相手の人柄などで変わると思われる。
14	これまで外国人の方と一緒に働いたことがないため、イメージがわからないが、今後働く状況になっていくのではないかと思う。共に頑張れば良いと思う。
14	現実、働いたことがないので
14	基本的には好意的に思っているが、実際一緒に働くとなると偏見を持っているように感じる。
14	人種関係なく業務が出来るかどうかで判断する為
14	これからは必要になってくると思うが今は現実的に考えられない
14	周りでまだ聞いたことが無い為
14	外国人だからといって気になるという事はない。その人の人柄によって感じ方が違うと思う。
14	その内容で働いたことがないので、何とも言えない。
15	介護職員不足に対するメリットは感じますが人員面だけではない業務やご利用者様との関わりがあるため
15	一緒に働いたことがないので、好意的でもどちらでもない。
15	言語の意味が通じるか不安。
15	外国人介護職員とのコミュニケーションをうまく取れるか分からない
15	この国で老いる事に不安を感じる。言葉、文化の違い、感性の相違を考えると一緒に働けるのか不安。又、自分が介護されるなら日本人が良い。
15	色々な文化があるので、合うかどうかは働いてみないとわからないと思ったため。
15	実際に一緒に働いてみなければ難しいため
16	今まで一緒に働いた事が無いので想像できないし、言葉が通じるかも分からないので。
16	外国人介護職員と一緒に働いた事がない為
16	外国人に会った経験がほとんどありません
16	国籍による。

サービス種別	問6 (2) 5. わからない
16	実際に接していないのでまだわかりません
16	外国人と働いたことがない為。
16	一緒に働いた事もなく違う施設でも勤務しているのを見たことがないのでわかりません
16	以前一緒に外国人と働いた事があります。人によると思いますが、自我が強くてこれからは、あまり一緒に働きたいとは思いませんでした。
16	言葉の壁もどこまで大丈夫か。日本人の考えや環境をどこまで理解し、利用者様への配慮が出来るのか気になってしまう。
16	良いと思うが、うまくコミュニケーションがとれるか不安である。
16	実際言葉としてのコミュニケーションが図れるのか不明
16	一緒に働いた事がないから
16	実際に経験していないので、外国人介護職員といっても個人差や教育の違いなどあり一概には判断できない。
16	経験がないのでわかりません
16	単なる担い手不足の対応のために安価で雇える外国人労働者に頼るということであれば、倫理的な介護の実践が行われるのかどうか不安を感じます。
16	実際一緒に働いてみないと何とも言えない。同じ日本人でも合う合わないがあるから。
16	経験がない
16	外国人と働く学ぶ事が多いと思うが言葉が通じるか、意思疎通がうまくとれるか心配がある。
16	人手不足には良いと思うが、言葉の問題、生活習慣の違いなど不安要素がある。
16	想像したこともないので分からない
16	外国人と接したことが無いためわからない
16	コミュニケーションの度合いが不明
16	どちらかといえば好意的に受け止めているが不安もある。言葉や風習、考え方の壁・・・。利用者様に理解していただき好意的に受け止めていただけるのだろうか？
16	外国の方を職員にする前に、介護職員の給与をあげれば人材は確保できる。
17	一緒に仕事をしたことがないのでわからない
17	一緒に仕事していないので不明。
17	想像がまったくつかないため
17	その場の環境になってみないとわからない。
17	考えたことはありません。
17	外国の方と働いたことがないのでわかりません。
17	人柄もあるのでわからない
17	すぐ辞めてしまう日本人もいる中で外国の方のことを言うのは・・・。一緒に働くうえで日本語が通じる方が良いなあと思う。
17	働いた事がないため
17	考えた事も無く周りにも外国人介護職員との職場での経験の話聞くことも無かった為だと思います
17	働いてみないとわからない。
17	一緒に働いたことがないので
17	経験して思う事なので
17	日本語力、カルチャー違い等人による（中国人は無理）
17	一緒に働いた事がないので
17	一緒に働いた事が無いため
17	一緒に働いた事が無いためわかりません。
17	実際に働いた事が無いのでわからない。
17	一緒に働く人間の国籍等どうでもいいから。
17	一緒に働いたことがない為わかりませんがもし働くことになったら、外国人の方とも助け合い仕事できたらいいと考えております。

サービス種別	問6 (2) 5. わからない
17	言葉や習慣が違うのでよくわからない。
17	一緒に働いてみないとわからない。
17	一緒に働いた事がないから
17	外国人かどうかよりその人自身の人となりを見て判断してしまうから
17	場が明るくなるところはいいところ。学ぶ姿勢や出来なくてもやろうとする所（例えば日本語がうまく書けないけど一生懸命しようとするなど）が見られれば好意的に受け止められると思う。
17	利用者の反応がどうなるか心配。
17	一緒に働いた事がないから分からない
17	働いてみないとわからない
17	どれくらい日本語が話せるのか意思疎通できるのか等。関わったことがないので想像できない。
17	言葉の壁にぶつかり悩みそうな気がする
17	一緒に働いた事がなく、解らない。
17	想像もつかないので、イメージもわからない為わからない。
17	一緒に働いた事が無い
17	外国人でも日本人でもできる人はできるし、やめる人は辞めるので。利用者様の心に寄り添える人ならば国籍は関係ないと思う。しかし、一定の割合で日本人の方が差別意識を持っている人がいる事が問題と感じる。
17	給料（会社負担）は安くすむかも知れないが、他のスタッフは指導大変だと思う。
17	抵抗はないと思っているが、実際に関わってみないとわからないため。
18	働いた事がない
19	イメージがわからない
19	働いたことがない。
19	一緒に働いた事がないので
19	一緒に働いた事は今迄経験ないが人員不足の問題は大きい。文化や習慣の違いはあるだろうが責任をおわせず「一緒に働く」をかんがえてゆく。
19	実際に仕事をしてみないとわからない
20	・現在の65歳以上の高齢者は外国人がいることに慣れていない。・時々無償で働く際に、お金のために来た外国人が理解を持って働いてくれるかわからない
20	働いた事が分からないから
20	その人個人の性格や知識、考え方によって異なるから
20	一度も外国人と働いた事がないため。友人、知人にいないため。
20	働いたことがないので想像できません。
20	一緒に働いた経験が無いから
21	一緒に働くより介護を受ける側の意見を尊重すべき。
21	習慣の違いもありコミュニケーションがとりづらいのではないかと思う
21	先の事を考え受け入れる準備が必要と考えているが現状まだ動きだしていない事もあり色々不安に思うこともあるのでなんとも言えない
21	一緒に働くことには好意的。ただ、外国人労働者を受け入れるシステムを作る前に国内の現職の人達の待遇を変えるべき。そのための制度づくりが優先。
21	コミュニケーションや文化、習慣の違いをどう対応したらいいのか。
21	実際に働いた事がないためわからない
21	実際に働いてみないとわからないので
21	どのような地域から来るかにより宗教、教育などの違いがあるから。
21	実務上、経験・体験していないため
21	イメージがつかない為
21	一緒に働く事が無い為

サービス種別	問6 (2) 5. わからない
22	地域が違うだけでも分からないことがあるので、耳が聞こえづらい等ある高齢者の介護で言葉や文化、習慣の壁を感じる。日本人の職員より頑張っている人材沢山いると思うので良いと思う反面不安もある。身近でお金を盗んで逃げた人の話も聞いた事がある。
22	経験がない
22	好意あるもないも特に何も感じない。外国人であろうとなかろうと日本人と変わらない。その人自体の人柄によるので。
22	言葉の壁が大変。コミュニケーションや教え方等。生活環境、文化の違い等どうなのか？
22	実際に働いたことがないのでわかりません。
22	言葉や風習など様々な壁がありそう。ほがらか、素直な人が多そうで職場が明るくなりそう。
22	外国人というだけでは好意あるなしを決めることはできない。一緒に働くとなった場合は、その人個人との関わりの中で友好的になれるようコミュニケーションを取り、より良い関係を築いていくと思う。
22	まだ働いた事がないのでなんとも言えない。指導にあたり言葉の壁をどうするかが気になります。
22	一緒に働いた事がないから
22	実際に外国人介護職員と働いてみないとわからない。
23	今の病棟にはいないので。
23	働いたことがないから
24	言葉や文化の違いがあるため、働いてみないとわからない。

サービス種別	問6 (3)
1	「認め合う」ことを職場として共有させること
2	日本語を話すことはできたのでコミュニケーションはとれたが書けないので記録は他の日本人スタッフに仕事を振り分けられたがあった。
2	一般常識や仕事に対しての向き合い方、完成度を一定にしていくことの難しさ。
2	現状、いろんな研修をする時間が不足しています
4	字の理解
5	接遇
10	介護記録を日本語で記入するため時間がかかる
16	住居など、里帰りによる休暇など
17	記録
17	外国人介護職員が孤立感を感じないか日本人のいじめなども心配。
20	日本の制度理解

サービス種別	問6 (4)
1	色々な支援が必要と思います
4	日本人職員の負担軽減、給料の差。
4	本人の努力
7	介護保険利用者への説明（研修など）
10	会社が主体となって受け入れる制度。
10	ポケットーク等の配布
14	翻訳機活用
19	相談機関があり随時相談できる体制がほしい
20	接遇
21	現場で働きながら指導もするのはハードすぎる。指導専門員がいれば良い（言葉、風習、介護技術等）。
22	外国人職員の働きやすい環境作り。
22	日本人職員負担を軽減する支援策
22	外国人介護職員のための支援組織が地域毎にあって、当人と当該施設へのサポートがあると良いと思います。

サービス種別	問6 (5)
1	日本語での記録を書く事が多いと思うので言葉だけではなく文字も書く事ができるといい。
1	受け入れる側の教育が必要（いじめやパワハラを防ぐため）
1	介護を受ける側、支援を受ける側の意見や要望の方が大切かと思えます。
1	現実問題として介護業界の人材不足は課題となっているが解決方法を外国人介護職員の導入ありきで制度化されていることに疑問を感じる。
1	利用者の方が外国人介護職員をどう受け入れるかという事が懸念されます。個人的には介護職員不足の現在、改善策ひとつと思えます。特に問題はないですがコミュニケーションの不安はあります。
1	生活習慣の自分からの発案。
1	外国人に介護の仕事を担っていただくのも良いとは思いますが、まず日本人が魅力を感じ、働きたいと思う職種としての社会的な地位をもっと確立した方が良いかと思えます。
1	外国人に対して、閉鎖的な年寄りも多いと思うので利用者、同僚の職員に意識が必要。現場で大事なものは支援してもらおう利用者かな。
1	本人のやる気とコミュニケーション能力があれば通用すると思う。
1	事前の研修はしっかりと行ってもらいたいです。
1	前の職場でインドネシア人の技術実習生が働いているようで、とても勤勉で日本人も見習う部分が多いと思います。増えて行くことに賛成です。
1	仕方がないとは思いますが、文化や習慣が違うので、介護業界では難しいと思う。おむつ交換や食事介助など作業的な事など出来ると思うが。
1	人権の尊重
1	受け入れ先の指導者のレベル、意識を向上させなければ雇用しても職場に馴染めなかったり長く勤務できない可能性があります。日本人の若い職員の定着率が低いことに関しても当事者の問題と考えている職場が多いと思います。育成には時間と高いスキルを要すると思うので、者からの指導法やコミュニケーションの方法を改める事も必要です。行政は外国人介護職員の入、退職についても検証して行くべきと考えます。
1	施設の中にいるので一緒に働く場面が分かりません。
1	色々な方がいらっしゃると思うので、日本人もですが・・・
1	時間を守って欲しい

サービス種別	問6 (5)
1	外国人労働者を早く入れてほしい。
1	英会話が得意なので、今後介護の現場でも生かせるようになればと自身で思っています。
1	国や専門機関による研修をしっかりといただき、やる気と志を持って働いてほしいと思います。
1	向上心がある方大歓迎です。
1	日本人がはたらく人が少なくなり、大変なため外国人も必要な人材だと思います。若い日本人でも働けそうなのに生活保護受給しています。働いている人の給与をアップしないと、働く人のほうが生活保護以下の生活となってしまいます。介護印だけでなくケアマネも処遇改善してほしいです。
1	特有の文化、習慣の違いには懸念こそありますが、熱意や情熱意欲は（人それぞれかとも思いますが）日本人以上に備えているような気はします。時間をかけながら共存していければと思います。
1	住宅など文化の違いがあり、むずかしいとは思いますが積極的に受け入れるべきだと思います。
1	特になく「心」こそ第一だと思っています
1	外国から来た人を「外人」として差別する日本人の教育が必要
1	外国人だとか関係なく職員全体が向上（相乗効果）になるので。これから高齢化になっているので必要。
1	積極的に導入すべきと思う
1	ケアマネのような仕事は希望する外国人が日本での生活がある場合ではないと難しいと思います。言葉の含み的なことをある程度考えて言葉を引出す必要と思うためです。
1	外国人介護職員を一時的に活用するのではなく長く働いていけるような制度（安心して暮らしの基盤がつくれる）にしてほしい
1	介護の仕事自体がストレスフルな仕事であるため外国人である事のストレスも想定できます。外国人に対するメンタルヘルスの視点での相談窓口をきちんと確保してあげてください。
1	日本人は日本人で
1	介護支援専門員に関しては不用と思います。
1	人材不足もあり、協力しながら育成出来るシステムがあれば利用や検討したいと思っています。
1	利用者様がどう受け止めるか心配です。
1	施設介護ではフォローできるが私の勤めている在宅ではむずかしいと思う。
1	外国人というよりも人柄が良ければ問題はないと考えます
1	新たな使い捨て人材として扱わないでほしい。ケアマネとしては各種事務作業のペーパーレス化を求む。FAX等非効率的な習慣が多すぎる。
1	お金に対して執着心が強く介護員の意味の理解がたりない。介護の自覚をもち対応して欲しい。
1	日本の文化、習慣への理解
1	現場は非常に忙しいので、指導や研修に時間がとれないと考える。
1	年齢が高いほど外国人に対し差別意識がある。認知が入る人ほどその考えは改めることができず、文句を言われたことがある。
1	外国人も日本人もその方の性格により異なると思いますが、利用者さんがどう思われるのかりスクマネジメントの際の対応などスムーズに対応ができれば良いと思います。又外国人スタッフが入ることで現場スタッフの負担が増え、離職につながらなければいいと思います。
1	福祉の職場の給与が上がれば、日本人の方が就職するのではないか。外国の方に安価な賃金で委託する前に考える事が必要である。
1	職員が外国人に合わせた場合職員による研修等の負担になる
1	他国の人にはルーズ、時間通りに動けず約束しても来ない。「汚い」の認識が日本人と違うなど文化道徳の違いが大きいのので働く人にはその辺を理解してほしい。
1	外国人を受け入れる事に対する現場職員の本音を聞きだす作業が必要
1	あまり身近でないためご利用者の反応が気になります
1	日々の仕事量をこなす利用者への対応に苦慮しているのに、その上職場での異文化理解、コミュニケーションに関する研修など時間をかけている場合ではない。余力がない。

サービス 種別	問6 (5)
1	外国人に頼らなくても、今まで働いてきた日本人介護職員が多数いるはずですよ。待遇と労働のバランスさえ整えれば働きたいと思う日本人が戻ってくると思います。みんなヘトヘトで辞めて行きました。
1	日本人でやるべき。
1	日本人だけでは人員不足で現場の職員さんは仕事に追われ精神的にも追い詰められ犯罪が起きてる現状。外国の人でも日本人よりは熱心に仕事をされる人はいっぱいいる。今の時代日本人が・・・とか外国人が・・・とか言ってる場合ではないと思う。ただせっかく身に付けた技術を役立ててほしい。
1	これだけ人材不足が問題になれば外国人を雇うのも真剣に考えなければならぬと思う。
1	働きたい外国人がいるのであれば受け入れてみるべきだと思う。言葉や文化の違いはお互いの気持で解消できるはず。利用者さん、職員にも新しい風が入るといいと思います。人種ではなく働く気持です。
1	一緒に働いた事はありませんが、病棟での情報交換、高齢者住宅へ行った時にお会いした時などとても丁寧に親切、よくして頂きました。言葉遣いもしっかり勉強されていて感じが良かったです。見習おうと思いました。
1	施設では他国の目があり、適宜補助できると思いますが、訪問介護は独り立ちするまで相当時間を要し、更に急な代行や緊急時の対応は困難と思います。
1	こちらに長く住んでいる外国人と仕事の為に来た外国人では対応の仕方が違ってくると思います。
1	日本人よりも親切丁寧な対応をしてもらえそうな感じがある。
1	訪問ヘルパーの不足により必要な利用者様の依頼をお断りすることが多くなっている状況。介護に関心があり、やる気のある外国の方であれば受け入れても良いと感じています。
1	やる気のある方でしたら指導・教員させていただきます。最低限日本語は話せてたら助かります。
1	今後は外国人への偏見なく関わりも多くなった方が良く思う
1	日本語を覚えたり書くのに介護以外での学ぶ事もたくさんあるので大変であろうと思っております
1	様々な要望があると思うが、もし外国人を取り入れるのであれば外国人にしっかりと日本での文化・習慣・言葉などしっかりと学んで理解した上で働いてほしい。正直外国人を取り入れるのであればその分自分達の給与面にあててほしい思いの方が強い。
1	受け入れるにはかなり大変なハードルだと思いますが日本人の人口減少、若い方々に負担もかかってくると思うので考え方を切り替えて外国の方の力を借りることも必要ではないでしょうか。
1	日本という外国にくることだけでも不安や心配は尽きないと思います。そこに言語や介護の専門知識を身につける事など、自分が逆の立場であったら海外に行くことを目的として出国するだろうか、疑問です。現在介護職員で働いている人、今後介護職員として働こうとしている方々に、ただただ感謝の気持ちしかありません。
1	在日外国人も増えているので介護職員で外国人の方がいても良いと思います
1	言葉さえ通じたら大丈夫。人種関係なくだめな奴はだめ。
1	結局は日本人でもコミュニケーションがとれていない人がいるので人柄が大事。空気を読むより、マニュアル化した仕事内容を考えて行く必要があると思う。
1	介護職員の不足を解消するにはいいが、文化の違い等をどう理解していくかが課題となるだろう。
1	一生懸命学んで、介護の仕事に誇りをもって一緒に頑張っていきたい。
1	働いて欲しいです。それで現場が整うならば。
1	孤独にならないようにサポーター制度等、あるとよいのではと思います。
1	ヘルパーは現実的に難しいと思います。ヘルパーはただの家政婦ではなく利用者1人に対し複数人で曜日配置しているケースもあり、コミュニケーション・連携の面で困難です。又、高齢者が戦後の時代や生活歴に傾聴する技術・理解が無いと受け入れてもらえません。対応できないと思います。
1	精神的にサポートするシステムが必要だと思います。
1	外国人も大事だが、日本人のレベルアップが必須
1	訪問介護は一人でのサポートになるため、外国人が一人で訪問しサポートは難しいと思います。認知症の方は「○○がない」とよく言う。外国人が理解できるのか？
1	ワークライフバランスに合った個々の働き方が選択できれば、日本人の介護資格者も働きやすくなるし人材も増える。及び、外国人も働きやすい環境になると思う。

サービス種別	問6 (5)
1	文化や生活習慣の違いがあるので、しっかり指導・教育してほしいです。受け入れる側も日本人と同じように接してよりよい介護現場を作っていくべきだと思います。日本人の介護職員に対しても、もう少し教育できる場があると良いと思います。質の低下がこの10年でかなり目立つと思います。
1	今いる日本人の人材をもっと大切に扱うのが先ではないか？と感じる。今頑張っている介護職員を大切にできていないのに、外国から来た人を大切にできず結局人間関係が悪くなればまた人は辞めてしまい、人手不足になる事は目に見えている。いつも手を入れる順番が間違っていると思う。
1	身体的な介護に対しては、外国人介護職員で対応していく事も可能であると思うが、認知部分の方や性格的な困難な方への介護対応に関しては利用者・介護職の負担が大きく不穏につながると思う。外国人職員の介護職に対しての離職につながる恐れがあると感じます。
2	外国人の差別をする気持はないが行政の施策として外国人を頼る方向性が求められているのだろうか・・・現在資格を持っていても働くに至らない日本人が働きやすい様になってほしい。50～70才位の人に向いている仕事だと感じている。年金が遅くなっていく今貴重な仕事です。機会があればこの仕事の良さを自分なりに発信するつもりです。
2	人手不足が解消されるならいいと思う
2	外国人、理解するのに時間はかかります。居住者にどのような影響があるか心配です。安心して働くサポートが必要。
2	外国人介護職員を増員する前に日本人の介護職員の地位を向上してほしいです。
2	在宅系、特に訪問介護では外国人は無理だと思います。日本人でも拒否をする事があるので。
2	文化を学びたい。
2	日本の文化、習慣を理解して行動してもらえたら良いと思うが、自国ではこうだからと考えて行動されると利用者が困ると思う。それが不安。
2	円を外貨に持っていかれると思う。なぜ日本人の介護士を増やさなかったか増やせなかったからといって外国人に頼るのは情けないという感情があるためしっかりコミュニケーションがとれるか不安はある。
2	仕事への意欲があり、入居者に思いやりをもてるなら良いと思います。
2	定着性について疑問、不安があります。
2	文化、習慣というのは一朝一夕でどうにかなるものではないと思います。また、高齢者は特に感じる事だとも思います。心身共に元気で活力もあれば、相手の事を理解しようとする余裕もありますが、介護職を安易に外国人に頼むのは熟考していただきたい。そんな簡単じゃないですよ！！
2	異文化への理解を深める研修は絶対やってほしい。
2	先ず日本の介護に対する制度が問題。だから日本人の介護就職者が少ないだけ。
2	特定の施設で勤務年数経過後に入社してもらえたらスムーズかと思う。語学はもちろん理解している事が条件だと思う。
2	資格がないと今後は難しい。
2	一緒に働くスタッフよりもそれを受ける高齢者が微妙な反応です。実際にそうなる前に死にたいよ！と言われました。
2	ある程度日本語が話せるようにしてほしい。利用者様に迷惑がかかります。外国人介護職員の方もそれなりに努力してほしい。
2	ある程度日本語が話せるようにしてほしい。利用者様に迷惑がかかります。外国人介護職員の方もそれなりに努力してほしい。
2	介護職員が不足しているので外国人の方でもがんばってほしい
2	外国人労働者の方が、お客様の文化、習慣に合わせてくださるのならば、何も問題はありません。（自分の文化、習慣を押し付けなければ）
2	お互いのコミュニケーションをしっかり取れるような場が公共のものとしてあると良いと思う。
2	訪問介護事業所でも外国人労働者を採用可能にしてほしい。
2	国による宗教、習慣を理解し職場で一緒に働いていけるか？おたがい助けあえるのか？言葉も！介護される側が受け入れてくれれば普通の事になると思うときもあるが。

サービス 種別	問6 (5)
2	日本では人手不足という現実的な問題があり、外国人を受け入れる事には賛成です。こちらが心を開かなければ直接的な表現の外国人を迎えることは出来ないと思います。日本の文化を教えつつ相手の習慣も理解しなければならないと思います。日本人の言わなくてもわかってもらえるという感覚は相手には通じないと思います。時間はかかると思います。
2	利用者様によっては良いかもしれない
2	時間にルーズ
2	日本で働くのであれば、しっかり文化についても勉強し規則を守ってほしい。
2	国内の求人（雇用問題）に特化した方が良くと思う。
2	アジアの人材以外にも先進国からも働けるようドンドン受け入れてほしい。閉鎖的な日本に良い刺激になると思う。
2	お互いに歩み寄る気持ちと、介護をするという意識のレベルが同等となる取り組みを双方で行う必要があるとおもいます。
2	日本語学校の人員の向上、増員（知人が働いており、大変だと聞いているので）
2	介護職人員の不足と知り、高齢者増となってきた（独居）いることが案じられる。外国人の方の助けを受け励ましを受けられること期待します。
2	特にないです。身近に感じれずわからない。
2	コミュニケーションや言葉の壁はあると思いますが、それは日本人同士でも同じだと思います。ITの技術（パッドの利用）も利用しながらやってみるのも良いかもしれませんが。又外国の方のメンタルのフォローなども併用する必要があると思っています。
2	ホテルなどではすでに外国人の方がたくさん働いているのでは。知っています とても丁寧に一生懸命のお姿が素晴らしいと思います。日本人が見習う部分はたくさんあるはずと感じます。
2	外国人が身近にいない為、想像つかない。
2	外国人介護職員とふれあう場所があればいいと思う。
2	過去に外国人の同僚がいましたが、言葉よりも記録（日本語）に苦労されていました。日本語の理解が難しく誤解から人間関係が悪くなり数ヶ月で辞められる方ばかりでした。
2	20年近くかごの仕事をしてきて、仕事はだんだんきつくなり、でも給料は上がりず。どこも介護員不足で外国人にたよる状況をまず、なぜこうなっているか考えられたらどうでしょう。これを記入した所でよくなるわけもなく。
2	スムーズに行くような人材を希望します。
2	介護職員が少ない、なり手がない現状にとって外国人職員は急場をしのぐ対策としては問題もありますが、良い事なのかもしれません。看護師の歴史のように介護職員の質や専門性の向上をよりはかり（給与待遇も含め）社会に根づいているイメージを払拭していかないと介護の未来はないと思います。
2	外国人介護職員を採用する前に日本人職員の採用を考えた方が良くと思う。ヘルパーの資格を持っていて、活用していない人が沢山いる。給与や待遇などを見直して欲しい。
2	生まれ育ち環境の違いがあり、生活の違い、文化の違いで一緒に働く事はできても、宗教の違いが共に働く事が難しくなっていくのではないかと思います。
2	基本的なスキル（言語能力、文化・習慣の理解）をどの程度求めていくのかというラインを決めて、受け入れる側の体制をしっかりと積極的に受け入れていけるよう専門の指導者が養成されることを望みます。
2	遠慮がちの方が多く思われる。あかるく仕事をしてほしい。仲間ですよ！と声をかけてあげたい。
2	介護保険法は複雑で理解が難しいと思います。ケアマネの仕事は利用者への説明が必要になるので理解を深める勉強が必要かと思えます。
2	施設等であれば働く環境を提供出来るかもしれないが訪問介護という個人のお宅へ行き1対1で行う介護は正直難しいと思います。ただし、日本への居住歴が長い外国人の方であれば可能かもしれません。
2	機会があれば一緒に働いてみたい。お互いの仕事について勉強になれば良いなと思っています。
2	施設だけでなく在宅でも技能実習ができると良いと思います。又、受け入れたくても技術や仕事だけでなく、プライベートのお世話も必要と思いますがなかなか余裕がないのが現状と思うのでその辺受け入れやすくしやすくなればと思います。

サービス 種別	問6 (5)
2	介護現場において親の年金で（無職の）暮す子供（成人）さんも散見するのでそのような方々の自立を促す制度も合わせて行ってほしい。外国人の方はやる気がある方達なら良いと思います。
2	日本人同士でも難しく、大変な仕事である為、外国人の方がどう取り組むのが興味深い。もしかすると学ぶことがたくさんあるかもしれない。まだまだできることがたくさんあると日々感じている。外国の方とも協力しあい、より良い介護を目指したい。
2	もっと増えてほしいです。日本で働く介護現場の外国人スタッフに。
2	言葉の問題に不安があります。職員間は身振りをまじえて何とかなるものですが、利用者にはそうもいかないので研修などしっかりしてもらいたいと思います。
2	外国人介護職員に対して研修などを行った方は好意的であるが、研修中に失踪する外国人が何故出るかを考えてほしい。劣悪な環境で逃げる方も少なからず存在しているため、日本が用意する環境も再考してほしい。
2	訪問については文化的な面や利用者自身の拒否が強くとする。全体の意識改革を事業所単位では難しいため札幌市が主になり対応してほしい。
2	是非是非 沢山の方が一緒に働いてくれる事を願っています。
2	職場としてよりも利用者の方の感じ方が問題だと思う。施設では良いと思うが、在宅の場合利用者さんの受け方が違うと思うから。
2	同じ給料なのに負担が多い。利用者からの不信感。言葉が通じない分、自分がやらなきゃいけない。
2	一緒に働かなければ意見要望が見つけれない。
2	今後日本人の働き手が減っていくことを考えると、介護の担い手として外国籍の方が増えるのは当然の流れだと思う。他業種の外国籍の方の働きぶりを見るととても優秀な方が多いと思うので導入には賛成です。
2	外国人と一緒に働くには異文化の違いがあるので、コミュニケーションを取っていく事が大切ではないかと思ます。
2	ヘルパーは足りていないので、外国人介護職員とも協力しあって仕事ができたら良いなと思っている。日本で仕事を頑張ろうと思っていることは嬉しいし、仲間として迎えていたいと思っている。
2	経営者が責任取れば身寄りの無い高齢者に身体拘束、虐待をしていいのか？ケアマネが訪問介護の登録をしていないのにヘルパーの仕事をしている。訪問介護員が住宅の仕事をしている。もう少し住宅型有料老人ホームの指導を厳しくすべきでは？とくに事業所が住宅内ない事業所。
2	外国人職員を増やしても底上げにはなりづらい。賃金を上げるには、基本的な介護報酬を上げないと無理がある。加算を追加しても事務手間がかかり、研修費用等で会社の利益はなくなる。外国人の職員を増やすには上限もなくした方がやりがいなども生まれ、仕事として定着しやすいと考える。上限とは看護師や医師にもなれるというチャンスがあるという事。介護職はやりがいはあるが、未来に対する希望がないので、希望を見つける事が出来る支援策が必要である。
2	差別なく働ける環境を作っていただきたい。
3	どの国の方でも文化の違いや考え方の違いはあります。お互いにその事を良く理解しあう事が大切だと思います。外国に来て働くことの不安を受け止めてあげてほしいと思います。
3	頑張してほしい
3	日本の認知症介護の現場で働く強い意思があり何事も謙虚に受け止められるようなそんな人がいれば一緒に働いてみたい
4	具体的な働き方を示してくれないと意見も書けません
4	女性が多いと思うので日本人の女性の理解が重要と思う。外国人介護職員に対するメンタルケアを担う人材が必要だが、日本人側のメンタルケアも考えないといけないと思う。利用者様からのサインが重要だと思う。
4	生産年齢の減少に伴い、外国の方々に働いてもらわなければ人手が足りなくなる状況は理解しているつもりです。日本で介護職として働いてくれる外国の方々にも感謝の気持ちを持っています。お互いに理解しあう事が大切だと思うのでそこをサポートしてくれる何かが必要だと思います。

サービス種別	問6 (5)
4	海外ではその国の言葉や文化で全てやっている。日本人は自ら学んでいるし、海外では上記の様な研修はない。こちらが教え伝えるのは利用者と患者の個性のみ。
4	言葉が充分ではなくて良いので、「違う」「おかしい」と感じたことはどんな小さなことでも教えて欲しい。
4	個人的に中国の方以外ならどの外国人でも良いです。
4	良き指導者の育成
4	今後の人材不足へ向けなくてはならない存在となると感じる。不法滞在や不法就労とならないよう採用した会社への支援や労働環境条件などのアドバイスや支援が必要だと思う。当会社で働いているスタッフは大変熱心に学業、仕事に取り組んでおり感謝しています。
4	生活、文化、習慣の違いについてうかがいたいです。自分自身の視野を広げたいですしその人を知りたいと思います。
4	日本人は礼儀作法を細かく気にされます。職場でもそう思います。(上下関係など陰険な部分もあると思います。)日本人の特性を外国人に理解してもらえるよう研修し、受け入れてもらったらよい。(全てを礼儀正しくする必要はないですが)差別を受けず外国人の方もその人らしく働けるよう支援を行ってほしいです。
4	日本で働きたいなら本人達が積極的に日本語や日本の文化を学ぶべき。私達が外国人と働くための研修を受けてまで、そんな努力を使ってまで一緒に働きたいと思わない。
4	しっかりと研修制度を設ける。試験等実施し、クリアした人だけを就職させる。
4	誠実な対応が出来れば歓迎です。
4	日本人介護スタッフへの指導も大変ななかで外国人スタッフへの指導に対しては不安感があります
4	お互いにメリット、デメリットはあるかと思いますが、ともに働ける環境が現場に作れるといいと思います。
4	人手不足(介護スタッフ)が解消出来る様一定のスキルのある方を育成してほしい。
4	テレビでは見るが、実際の状況、働くところが見れてないので何ともいえない。が、他の国の方でも人柄だと思う。外国人だからという考えは日本のこの先の状況では言えないと思う。
4	コミュニケーションや文化に苦労なく、一緒に働けたらと思います。
4	日本語が不自由な状態で業務にあたらなでほしい。
4	外国人職員が何を一番に働くのか知りたい。外国人職員が長く勤務できるよう生活面、勤務場でのサポーターとなる人材が数人必要(管理者ではない人)だと思います。外国人同士での交流も大切かと思ひます。
4	スキルがあれば人材不足なためありがたいとは思ひ。ただ、文化・習慣の違いがどの程度大変か(同じ日本人でも分かり合えない事もあるので)課題は大きい。
4	外国人を受け入れられる環境が整っていないので現実的に考えられません
4	片言の日本語だと高齢者はなお伝わりにくいかな?と思う。その辺フォローが必要。
4	コミュニケーション力、日本の文化を理解する心。
4	外国の方を全面的にサポートしてくれる人が必要(病院スタッフと円滑に出来る人で外国人の見方となってくれる人)
4	職員同士が話し合える時間を十分に取れる様にして欲しい。お互いにストレスをためないよう、仕事の時間の中で話し合いの場を作ってほしい。
4	人員不足にはなるがもう少し給料を高くするなどして日本人の介護者(看護師)が職場離れしないような取組みが必要。これからは高齢者が多いので複雑な治療とかをしなくて自然な形で看取るための援助だけで良いと思う。人工呼吸器、胃ろうなどの延命処置は必要ないと思ひます。人間は食べる事ができなくなればその時でそれが自然だと思ひます。その人らしさを生活を支援するだけで十分だと思ひます。
4	出身国、地域では常識・日常となっている事でも日本ではそうでない場合がたくさんあり、その逆も然り。日本で働くのなら日本のルールに従わなければならないのでそれを学び、理解して頂いてはじめて共に働ける。日本人が外国人に合わせるのではなく労働に来た外国人が合わせるべき。
4	2025年問題もあり、外国人の支援がないと日本は少子高齢化にてマンパワー不足ということは早急に対策を練らないと思ひます。
4	日本で長く暮らしたことの無い介護員が在宅現場で働く事はコミュニケーションとして無理がある。

サービス 種別	問6 (5)
6	日本人、外国人といった区分けではなく、人間性を見てほしい。日本人でも疑問な人、非常識な人、思いやりがない人・・・と様々いるでしょうし。又、外国の人だからと差別ある待遇はもってのほかだと思う。
6	外国の方と一緒に働いた事がない為分からない
6	現在の職場はスタッフが足りない（風邪をひいても休めない状況）有給があっても全く使えない。外国人介護職員の人がいればとても助かる。とにかく人不足。
6	真面目な方が多いと感じていますが言葉等の問題で本来の能力を発揮できない方も多いのでは。ただそれをふまえての就職なので日本で働くのは少々ハードルが高いのではと感じています。（自分が他国で働くと考えてみて）
6	コミュニケーションが可能であれば特に気にしないと思う。
6	外国人の方にもジョブコーチのような人がいてくれたらこちらも助かると思います。
6	外国人もスキルアップも必要であるし、学ぶ姿勢も大事だが、受け入れる側のスキルや教育する気力が不足している。（業務量が多く皆余裕がない。）
6	あせらず、しっかり検討してから導入していただきたい。
6	働いてくれる外国人介護職員も受け入れる会社職員にも研修や理解が必要だと思う。利用者にも色々な考え方があると思うので、理解をしてもらうことも必要。メリット、デメリットを色々な方向から考えなければいけないと思う。
6	現在の介護スタッフ不足の時代、外国人介護職員に期待しています。
6	言葉でのコミュニケーションを取れるように働き始める前に準備が必要。
6	外国人の職員の方が賃金がやや安い点があり、相対の介護職員の給与も上がらないと考えています。必要な仕事であり、全体の給与の底上げを期待しています。
6	文化の差がすごく大きいと思うので（労働時間等）その理解をしていただかないとどんなに外国人の人が来てもすぐ辞めてしまうと思う。
6	日本人の職員が変わらなければ外国人のスキルアップのならない。外国人の研修も必要だが日本人職員の研修も必要だと感じる。外国人も対等な職員だと理解する事が大事だと思います。
6	言語、文化、様々な違いを学ぶ機会があればよし。
6	日本に長く暮している人であれば良いかもしれない。日本のルールについていける人だと一緒に働いても良いと思います。
6	コミュニケーションがとれれば問題ないと思います
6	積極的に受け入れた方が良い。コミュニケーションも増え、脳の活性化に繋がる。
6	一定の決まった仕事、入浴、オムツ交換、食事などは大丈夫かと。デイサービスや、運動など（デイケア）などはお話を聞いて話の中からその日の気分、様子、体調不良、色々なことを感じ取らなくてはならないので、ちょっと難しいかもしれません。
6	職場での人間関係が上手くできるように外国人スタッフをしっかりサポートできる体制が必要だと思う。
6	日本人の介護職員の質にまず目を向けるべきでは。
6	是非、文化の違いが尊重し合えるような、職場環境を作れるようにしてほしいです。
6	コミュニケーションは非常に重要だと考えます。日本語のレベルアップを日々意識して頂きたいと思います。こちら側の話し手優先ではなく聞き手としてのコミュニケーションの為に。
6	これから必要になって行くと思います。
6	日本のしきたり、社会のしきたりに合わせられる人。
6	言葉の問題が大きいことと、逃げ出さずしっかり仕事してる方がいいと思う。
6	バックアップ体制を整え、受け入れて欲しい。
6	管理書類を少なくする事で負担軽減。どんどん受入れを増やすべき。
6	外国人を低賃金で雇用するのではなく、日本人介護職員の賃金UPを願います。認知症介護は本当に過酷です。暴言、暴力を受け汚物の処理。介護職員による高齢者・障害者への虐待はあってはならないですが、要因の一つとして低賃金では？益々若者からの担い手不足だと感じます。施設ばかり次々と建ってますが、人員は足りているのでしょうか？そもそも本当に介護が必要な方が受けているのでしょうか？※もっと現場の声を聞いてください！
6	外国人かどうかではなく人対人の仕事なので、相手（利用者さん）を思いやることのできる方が必要な人材だろうなと思う。好きでなければ続けられ事は難しい仕事だから。

サービス 種別	問6 (5)
6	外国人介護職員に対しての意見・要望はありません。人手不足と実感はありますが外国人と働いた経験がないのでなんとも言えませんが。事前に日本文化、言語に理解がある人のほうが一緒に働きやすいと思っています。
6	日本語を大切にしてほしい
6	外国人だから違って当たり前。無理に日本に合わせるよりもその国の文化等を活かしていけばよいと思う。
6	日本の非言葉コミュニケーションや文化、地域性を知ってほしい。
6	人材不足なので積極的に採用してほしいと思う
6	外国人介護職員の賃金が仮に安く設定されてしまい、私たちの働く環境が悪くなるのは困る。今後外国人の方々が増えていくのはグローバル社会なので当たり前なのかもしれないが双方に研修支援してくれないと現場で困ることが多くなり、何よりお客様が困惑することはあってはならないと思う。
6	外国人に求める事だけでなく、受け入れる側も受け入れ前に研修(相手国の文化等)をするべき。
6	輪を乱さない異文化の理解があれば良い。
6	安い賃金で済まそうとしてないのであれば良いが、人手不足の解消がねらいであるならもっと賃金上がるような制度を確約していただけたなら日本人も働きたいと思うのでは…。労働の割には安いと思う。
6	資格重視ではなく人柄ややる気などが大事かと思う
6	外国人の方は、仕事への意欲はあり、働きたい、学びたいという気持ちは強いと思う。受け入れる側の体制作りや、環境整備を早急に進めていけたらと思っています。
6	もし現実に使うなら、給与に差をつけず日本人と同じ条件で使ってほしい。
6	過去に外国人介護職員が勤務している法人に勤めた事があるが、その外国人は非常に真面目で勤勉であった。そのような外国人であれば介護業界も少しは楽になると思う。
6	忙しく業務をこなしながら、教えながらは難しいと思う。マンツーマンでじっくり時間を掛けて指導できる体制があれば良いと思う。
6	基本的には施設系での勤務を想定しているのか？つらい、嫌な思いをして祖国に帰っていくような方が増えないでもらいたいと思う。
6	一定レベルの日本語や、日本の習慣など知識が身につけていると良いと思います。
6	日本が戦前、「統治国家」としていた諸外国が多く、今サービスを受けている高齢者には「違和感」があるのは当たり前。介護概論ををもっと指導するプリセプターに教育すべきだ。
7	一緒に働いている外国人の方2名は一生懸命頑張っています。日本語の勉強もしっかり行い、逆に教えてもらっています。
7	異国での大変な仕事をしようという思いは大変すばらしいと思う。困った事や辛い事もたくさんあると思うが日本の国を知ってほしい。全て良い人悪い人ではない。
7	日本で働きたいと思っているくせに、日本語を学ぼうという姿勢が感じられない。同じ職場で同じ仕事をしているにしては介護のレベルや人としてという部分で思うところがたくさんある。文化の違いだと言うならばこちらに合わせてほしい。ゴミは捨てない。分かっていると言って分かっていない。気が強い等。
7	技術だけではなく文化や習慣をお互いに理解する勉強会の開催を希望します
7	日本人のなり手が減る中、日本に来て同業者として働く事に対しありがたく思います。
7	異文化コミュニケーションも必要なのだが今の高齢者の生きてきた時代背景も学んで欲しい。
7	日本の介護に興味を持ってくれる外国人の方がいるのは素晴らしいことだと思うので、教育体制をしっかりさせて良い介護を伝えてあげられるようにしたい。
8	人手が不足している所が多い中、希望している外国人がいるのならお試して働いてもらっても…。
8	言葉のコミュニケーションがとれるのであれば、利用者様・スタッフとのコミュニケーションもとれ、指導などができやすくなると思います。
8	早く採用していった方が良いと思う。
8	日本と違った高齢者さんに対する意見や見方を知りたい。今の日本はどうしても高齢者さんに対するイメージが良くないです。それについてどう思い、感じているか僕は知りたいと思っています。

サービス種別	問6 (5)
9	現状福祉の現場における人手不足が深刻で外国人介護職員受け入れに関しても好意的に感じているが、現職の方やこれから福祉の仕事をしよと考えている人たちに対しても給与を上げて欲しい。給与が少ない上に仕事が見ついと辞める人が多くなるのもこれから福祉の仕事を目指そうとしている人が少ないのも致し方ないと思う。
9	長い年月を働いていただける法の整備、対応が必要と思います。
9	しっかりとやる気のある人で人間性が良ければ特に日本人であろうと気にしません。
10	こういったアンケートがなされる程、日本人の職員が不足している現実には驚いています。
10	自分が知る限り、外国のかたは皆さん熱心でスキルが高かった。
10	日本には職業についていない(常勤)若者が沢山いる。なぜ日本人の若者が喜んで仕事につかないのか外国人にお願いしなければならぬのかを解決しなければ今後も外国人労働者にたよらざるを得ない国になるんですね。
10	ある程度の日本の理解力は必須だと思う。指導する場において困難だ。
10	先に受け入れを行っている施設での問題点や取り組みなどを取りまとめある程度の指針を示すことが必要。その場その場に任せきりでは外国の人にも失礼だし将来的に二度と日本へ来てくれなくなる。外国の人が問題でなく受け入れる姿勢が問題。
10	日本人だからこそ出来ることが多いと思うので、その中に外国人を入れてほしくないです。高齢者の人達も戦争を知っている方々なので、外国人を受け入れることが出来ないのではないかと思います。認知症の方は不憫になるのではと心配です。
10	人材不足の中での雇用ですので大切にしたい
10	本来であれば外国人労働者に頼らなくてもいいように介護職員の給与を上げ日本人介護職員の確保に努めてほしい。
10	採用する企業だけの力では受け入れることに負担が大き。言葉の問題、困ったときにオンコールできる公的機関が必要。
10	人種差別はしたくない、されたくない。
10	入居者様の反応等が一番の心配です
10	人手不足を解消するにあたって必要な事であるとは思いますがご入居者様の受け入れに不安があるのが正直なところです。また折角仕事に慣れたのに突然母国に帰国してしまうのでは？というのがあります。
10	人員不足のため外国人介護職員の補充は必要だと思いますが、バックアップできる体制が整っていないと受け入れる側も入った方も現状厳しいと思う。
10	意欲があり良いという意見を聞いたことがあります。職員間のコミュニケーションでの不安が改善すると良いと思います。
10	日本で働くのであれば日本語はしっかりと覚えてきてからと思う。相手は物ではなく人なので、言葉に間違いがあるとケガにつながることも考えられる。
10	読み書きだけではできるように努力してほしい
10	日本に来て働くのであれば、こちらの文化や言語など深く理解した人材を求む。
10	人材がたりないといって外国人に介護を任せるのは賭けだと感じる。しかし現実には日本で介護する人材も少ないため外国人を雇うのであれば、上の様な支援策を設備することが大事だと思う。
10	外国人でも結局はその人次第だと思う。言葉が通じなくても相手を思う気持ちが伝わると入居者、利用者様も受け入れてくれると思うので。そもそも、人が集まらないから外国人に頼るといのが疑問。魅力ある、志す人がいれば人員を確保できるかもしれない。そこを並行して国や自治体には支援をして欲しい。介護職員の地位向上に期待します。せっかく目指してきてくれる若い人のためにも。
10	介護職員が現状でも不足している中で今後の少子高齢化が進むにつれ、外国人介護職員に頼らざるを得ない状況になると思うが、利用者の心理や不安を考えると受け入れる施設の管理者や主任、リーダーなど教育する立場の人こそ徹底した人材育成の研修をするべきだと考えます。
10	実際に受け入れを行い、どのような業務を担っているかなど聞いてみたい(コミュニケーション、情報共有の工夫なども)。
10	職員定着の為行政の支援や制度の充実が必要

サービス種別	問6 (5)
10	現在の職場で頑張っている姿を見て、自分も刺激を受けます。日本人よりも勤勉でまっすぐな姿勢で取り組まれている姿を見ると一緒に頑張っていきたいと思います。
10	しっかりと研修を受けたのちに入ってほしいです。
10	一次的な労働力としての就労には価値観の違い等リスクが高いと考えられます。帰化する心構えと生涯的な活躍を期待したいです。
10	会社ごとに外国人に対しての待遇が違い、外国人どうしで情報共有し（私の所はあれない、これがない）と話が出る。どこまでの対応という線引きは必要だと思う。
10	以前の職場には、外国人介護職員がいたが話し方がおかしいことで、ご利用者から冷たい言葉をかけられている事があった。職員だけではなく、ご利用者やご家族の理解も必要だと感じた。
10	長く働いてもらえば良いです。
10	人間の問題なので、どの国の人でもやる気があれば良いと思う。
11	文化、風習などの違いがあるので協調性や理解度に難しい事が多くあるので深めていくまでに時間が必要になると思われる。
11	市で研修を行い雇用希望法人へ紹介頂きたい。すべてを法人側で行うには時間、人材の両面での負担がある。
11	雇用主、外国人職員ともに困らないような制度作りを願います。（法人への支援、外国人労働者への受け皿）
11	最低限日本語で会話が可能であること、日本文化への理解がある人でなければ採用しても意味ないと思う。日本の方が給料が良いからという理由だけの出稼ぎで来た人はすぐいなくなると思うので見極める事が大事だと思う。
11	現場の職員やご利用者様と大きなトラブルになりかねないので介護の業界に外国人は受け入れないのが良いと思います。また、ほとんどのご利用者様が介護されるのを拒む方が多いと思われます。
11	文化や習慣の違いで生じるずれがあると思います。日本人には当たり前の事でも外国人からすれば当たり前ではない等。
11	ボーダレスの時代なのでもっと受入を広めてほしい
12	人材が不足している現状を考えればありえる話だが実態としてはわかりづらい
12	やさしいにほんご教育
12	介護施設と外国人の間に入るコーディネーターがいてお互いに円滑に動ければ良いと思います。
12	利用者様やご家族の不安・不満につながるのでは
12	日本の文化を理解していただく事は必要だと思いますが他の国の文化や国民性を理解する必要もあると思います。現在の介護の対象の方々には戦争を経験していたり同じ日本人でも暮し方が違う方がまだまだいらっしゃるので大正から昭和での暮し方等を知らせていただく外国の方もより介護に活かせるのではと思います。
12	以前に勤務していた職場で、研修として中国から若い学生さんが介護の勉強に一ヶ月の日程で何名かにグループで来ていました。日本語もわからない中で単語帳持参し熱心に勉強され介護技術を見につけていました。この短期間で少しでも多くのことを吸収しようとする姿勢にとっても感動したことを覚えています。国籍が違えど気持ちを持っていれば相手（利用者様）には伝わるものだと思います。
12	文化の共通性があるとお互いに良いかもしれません。
12	記録する際に時が書けない事により日本人職員の負担が増えるのではないと思う。
12	主張が強い（権利等）
12	一度も一緒に働いた事がないので働いてみたいと思っています。会社、個人、他介護職員等スキルアップ、新しい発見が必ずあるので「日本で働きたい」と話される外国人介護職員は受け入れるべきだと思います。
12	外国人労働者に頼るのではなく国内にいる介護士に十分な手当等を出し「士」から「師」へ社会的地位の向上をさせるだけでも今後介護を仕事にする人も増えていくと思う。外国人介護士に数億円かけるなら現職の介護スタッフにかけて欲しいと思っています。だからといって外国人介護職員を否定する気は全然ありません。
12	日本の介護を今後もよろしく願います！
13	人格的な問題はある。生活観の違いもあるし。給与について何でも資格資格と言われてますが、何の実力もなしに上へ上へ上がって人がいっぱい結局下にいる。ベテランがフォローし成り立っている現状変ですよね。お金があれば上に行って、結局そういうやつが年寄りを殺してしまう現状を何とかして。

サービス種別	問6 (5)
14	優しく気がきく人ならいい
14	処遇改善費が国から会社に払われている件について、いくら国が処遇改善費の予算を沢山取っても私達に還元がなさすぎる。時給950円の中に処遇改善費が含むとなっている。おかしい。
14	私個人としては日本人でも外国人でもスタッフが来てくれるのなら有難いです。不安な点は外国人との文化、言葉の違い等があります。外国人労働者と一緒に働く事として研修会や勉強会等あれば良いと思います。
14	日本人特有の良い意味での付度や慮る心、先を見越した判断、阿吽の呼吸等、外国人以前に日本人でもなくなってきていて戸惑っている状況があるため、異文化の外国人となると更に不安を感じ業務量が多くなるのではと思う。「なんとなく」という曖昧な部分をしっかりと伝える術を持っていない。
14	認知症の方に接する時日本人の私たちでも話しかけ・声かけはとても難しい。どの様にどんな言葉で話しかけるか・・・相手の方がどれくらい理解できるか聞き取れるか・・・など。外国人の方は言葉でのコミュニケーションに苦戦すると思う。比較的クリアな方などは可能だと思う。
14	人が少なく1人で抱えている業務が多い。その中で外国の方々とどこまで見守れるのか心配です。
14	外国人だからということはありません。優しさがあ、一生懸命な人と働きたいです。
14	国内外関係なく介護に対して感じる事、思うことは同じだと思う。働く方も受け入れる企業も互いに不安が少なくなる様な支援があると思います。
14	超高齢化社会において、介護職の離職が多いことは何かしらの対策が必要と思われる。外国人と一緒に働く状況になることが増えていくと考えられるが、互いに理解し切磋琢磨し合えるよう職場の環境を整え、自分自身も努力する必要があると思う。
14	日本で働くなら日本語及び日本の文化・価値基準を理解して欲しい。
14	コロナウイルスもありますが人員不足の中、自分達の会社だけではなくすべての職種に人手不足の解消につながると思います。
14	今後の人材不足にはぜひ必要となるので積極的に受け入れてほしいと思います。
15	外国人職員を入れなくても良い社会にしてほしい
15	慣れない環境で介護に関わる方達がきちんとした労働環境で正しい条件で働けるようにしてほしい。不満をためての感情労働は不適切なケアにつながり弱者に向うので（利用者様など）
15	外国人を考える前に現在介護についている日本人のベースアップができないのか。グループホームは夜勤1人で大変です。仮眠もできない（18時間勤務です）。法改正を望みます。
15	色んな職場、職種（介護だけでなく）どんどん進出してきて欲しい。
15	どんどん採用して頂きたい反面、指導・教育体制の構築が必要と感じました。人によっては日本人である我々よりも意欲がありますので逆に我々が勉強させられる事が多いときもありました。
15	反対です！！必要ないと思っている。トラブルの元になるだけ。
15	利用者、入居者を大事にする思いはあり働く意欲もあると思う。言葉のコミュニケーションや介護技術は日本人と同等であれば良いと思いました。やる気のない日本人より必死に働いてくれる外国人介護職員なら、是非同僚にいても良いと思っています。文化は違うがそれも話題にして過酷な現場だけど頑張ってもらいたいと思う。この業界は日本人は良い環境を求めてすぐ良い人柄がいなくなるので一生懸命働く人と一緒に仕事がしたい。
15	真剣な方であれば是非来てもらいたい
15	受け入れる気持ちはあるが、相手と歩みよってほしい。日本人へ支援するのに、働く人への配慮ばかりでは意味ない。介護の基本である”相手を知る”ということをお互いにできなければ外国人の定着は難しいと思う。優遇していると日本人が辞めます。
15	頑張ってもらえばお互いにどこの国であろうと分かり合え、協力して良い介護につながると思います。
15	人間性を重要視したいので、あまり細かいことは気にしません。
16	人材不足の解消になるのであればと思うが、国の文化習慣を理解のないまま対応となるとトラブルの原因になるのではと思う。
16	外国人ははっきり物を言うのでやりやすい事も多かった
16	外国人介護職員のことより日本人介護職員の給料を上げるなど待遇の向上を考えてもらいたい。

サービス種別	問6 (5)
16	受け入れる側の教育もきちっと指導して欲しいです
16	外国人に対して積極的に考える前に、日本人がどうして働かないか、働きやすい環境を作る努力をするべきだと思う。
16	人間性さえ良ければ特に心配はないですが利用者との通訳や橋渡しの仕事が増えるなら負担が増えて大変かもしれないので辛い。
16	まわりにいた事がないのでその時にならないと分からない
16	人手不足な介護業界でするので人材が増えるのは良いことだと思います。ですが、介護はお年寄りが相手の仕事ですので少しでも日本人的な考え方や対応ができるよう、しっかり研修してから現場に入っていただきたいと思います。
16	過去と一緒に働いた事がある。すぐ辞めてしまった。
16	私は自分の親を外国人介護員に関わってほしくありません。
16	特にありませんが、自国の高齢者を自国の人間が介護できず「人手不足」という問題だけで外国人を受け入れている対策には賛同していません。その前に現職の労働者の環境を整えてほしいです。働き手が無いにも関わらず毎年建物だけを増やし、この先にメリットはないです。
16	本人のやる気さえあれば親切丁寧に指導させていただきます
16	同じ日本人同士でも話が通じない事もあるので、基本全員宇宙人だと思っていただけるとありがたいと思います。目指すとこだけ同じものもてれば大丈夫です。
16	外国人に目を向けるより、まず日本人（介護従事者）への待遇改善が先だと思う。国をあげて目を向ける問題ですよ。
16	介護に必要な接遇やコミュニケーションを言葉が通じない状態でどのように指導していけば良いのか？外国の方が日本語を覚えるのはこの国に来るのであれば必須だが迎える側も少しは理解してあげたい。外国語の研修や指導方法の研修があればぜひ参加したいです。
16	以前全く別の職業で働いていた時中国人が会社において周りの人も対応や指導において悩みの種になっていたことがある。結局は個人の性格の問題もあったのだがもしこの先外国人が入社した時職場の環境も変ると思うしやはり人格の良い人にはこちらも一生懸命助けてあげたいと思うし興味はとても持っている。
16	特別はありません。コミュニケーションがしっかり取れれば問題ないと思います。
16	日本は特有の文化や歴史があり、この国で外国人介護職員が労働していくことは大変な事と思う。頑張り抜いて資格取得を成し得た外国人労働者の情報も色々耳にする。海外の文化、またやり抜くだけのバイタリティに我々自国人も触発されて頑張っていきたい。
16	実際にお互いを尊重しあって働けば、文化の違いも楽しく思える、活気のあるよい職場になると思うし、そういうところで働きたい。
16	以前、富良野の特養で働く外国人（女性）介護職員をテレビで拝見しました。とても流暢な日本語で字も丁寧に日本語で書いて一生懸命努力した姿でした。いつも笑顔で接しているので、日本人よりもコミュニケーション能力が高い方が多いのでは？と感じました。ごく一部だけでも知れませんがもっと外国人介護職員の現状をテレビや企業側の講演会、説明会、セミナー等で外国人介護職員の方々と、介護現場のあり方を共に考えていけたらと思います。
16	外国で働く気持の人は強い意思がないと難しいと思う。でするので日本人よりも意識向上を持っている人も多いと思う。ただ研修として帰国されるのであれば実際現場はキツイ。
16	今後は外国人介護職員の方を雇用しやすい、又外国人介護職員の方が就労しやすい環境を作る等国や市町村に働きかけてもらえればと思います。
16	コミュニケーションをスタッフ同士で出来る様にある程度会話や指導を行なうにあたり、日本語が伝わるようにしてほしい。
16	どこの国かによって対応が変わると思う
16	外国人の方が嫌な思いをしない環境を作ってあげてほしい。
16	外国人というだけで心配であるが、そこは同じ人間なので考え直したい。外国語ができない自分にも問題はあがる。日本で働くのであれば利用者とのコミュニケーションを考え、日本語が話せる人が良い。利用者の混乱をまねいて事故につながると思う。

サービス種別	問6 (5)
16	介護を単純労働とみなすことに疑問がある
16	習慣の違い、食生活の違い等により体臭が強い。汗の臭いが強いなど介護では利用者様の体の近くで仕事をするので、とても困りました。
16	宗教の問題でお祈りの時間をとるなど（断食なども）抜けたりするのはこちらに負担がふえる。
16	テレビで紹介されている番組をよく見るのだが、苦勞している所や、その方々が今現在も働いているのか（離職しているか）も良い部分だけではなく色々な所を見たいです。
16	言葉の理解が可能であることが大前提にあると思います。その上で介護の理解を深めていければ良いと思います。
16	日本も国際化が進み、外国人介護職員も増えてきている。介護人材不足は大きな社会問題なので、これからは外国人介護職員の力が益々必要になってくると思う。
16	[活用]そのものの真価をいかしてうまく使う事。そもそも「活用」という表現を使うのはいかがなものか。
16	現在外国人介護職員が働かされている現場を見たい。日本人介護職員とのコミュニケーションのとり方や介護指導方法を見たい。DVDでも良いので。
16	外国人が多く集まる場やゲストハウス等外国人介護士が孤独にならないようなコミュニティーにつなげること、逃げ道を作ってあげることが大切だと思います。
16	新しい人入ってもすぐ辞めてしまうので外国人介護職員さん長く働いてもらいたいです。
17	研修も終わっているので特に心配もなく仲良く仕事できればそれでよし
17	以前、一緒に仕事したことがあります但し休みで自国に行くと一ヶ月帰らない人がおりました。
17	外国人介護職員を歓迎する声は身近では全く聞かれません。介護職は低賃金の為有資格者でも他職種に就いている人が多くいます。給与の見直しをしっかりと行なってもらえれば外国人を招かなくても働く方は増えると思います。
17	自国の家族と一緒に気もちで接してほしい。ただ受け入れ側の日本人介護職
17	外国人にばかり頼るのではなく要介護者の家族やその他の一般の人の介護知識や介護方法など勉強やスキルアップなどに力をいれてほしい。日本全体での大問題だととらえてほしい。
17	要らない。
17	外国に来て生活に慣れること、言葉を覚えること、勉強をしていかなければならないこと、とても大変と思いますが是非目的を達成され技術を身につけて自国で頑張ってくださいと思います。
17	外国人の人が働きやすい環境であってほしいです。「人は平等です」どんな人でも。
17	今年外国人介護職員が入るが日勤のみ、食事作りはしない、言葉を含めた指導と負担が増し、仕事に慣れた頃帰郷（3年程で）されてしまいます。普段から職員人数が少ないので今以上に忙しく大変になるので不安に感じます。
17	日本の文化や、習慣を学んでから職場に来てほしい。
17	仲良くできれば幸いです。
17	外国人介護職員に頼る前に、介護労働者の離職率をどう防ぐか、労働に見合った給与や処遇改善が急務ではないでしょうか。
17	文化、習慣の違いにより、コミュニケーションしていても、行き違いが発生すると思います。仕事以外での交流の場があると良いと思います。
17	介護は人で不足なので外国人介護職員も受け入れた方が良いと思います。
17	実習として来て、入職できるか判断したい。
17	日本語の読み書き
17	まず日本の文化やルール、日本語を話せるようになってから入国してほしい。指導する側が気を使って研修を受けたりする理由がわからない。
17	介護に関する基本的な知識を身につけて文化の違いやコミュニケーションのとり方など研修した上で一緒に仕事していく。
17	働いてくれるなら人種は関係ない。
17	これだけは必要（準備）であるのとマニュアル。
17	外国人職員を雇用し新しい風を入れるのは良い事だと思います。人員不足を解決できる。ただ、今働いている職員を大事に、又、離職率が多いことの問題解決をしないと根本的な人員不足の解決にはならないのでは。

サービス種別	問6 (5)
17	介護職員が増えると助かる
17	志を持って働いていただけるのは良いと思うが、日本で働く手段として選んでられると困る。又、私の職場は精神的介護が多く、又、臨機応変に対応しなければならない事も多いためそのニュアンスを理解できるか?これは日本人に限ったことではない。人手不足だからとりあえず人を入れておけば良いのでは決してない。同じ志を持った者でなければいけないのは同じなのです。もう少し本当の現場をみつめて欲しいです。実際日本人でもこの仕事が好きなのもいっぱいいます。しかしながら給料が他職に比べて安すぎる。そこに支援が入れば人手不足もなくなると思います。生意気言ってごめんなさい。何かの参考になる事を祈ります。
17	日本語を話して欲しい。
17	現在介護士不足のため外国人受け入れをすることは良いと思いますが、言葉の問題、入居者様の反応、指導するための人員などたくさん問題点がある。
17	異文化（日本）の壁を乗り越える事ができる柔軟性を持ち、介護技術を習得し「自立支援」を実践に取り組んで楽しく職場で働くことを身につけていってほしいです。
17	日本人でも良い人、悪い人、介護に向いている人、向いていない人がいるが話し合いで解決できる。しかし、外国人で介護に向いていない人は話をしても文化の違いで理解してもらえず、日本人では考えられない行動をとることがある。まず「日本人」を理解してから介護の仕事をしてほしい。
17	外国人の方が、すぐ辞めてしまったり仕事ができない日本人よりも意識が高いかもしれない。機会を持ってみたい。
17	介護業界は慢性的な人手不足、超高齢化社会となるので外国人介護職員も重要にはなると思うが、現在の介護職員の労働条件を更に改善してほしい。特に中小の。
17	虐待など日本人職員より少ないような気がするので良いと思う。今の高齢者が外国人を受け入れてくれるかどうか不安。
17	日本の文化や習慣を知ってほしい。
17	人手不足なのはわかるが既存の職員の不満が増えそうな懸念を抱いている状態で、受け入れ体制が整っていない。外国人が入ればやめるという職員も出て来ている。
17	人手が足りないのは確かだが、会話が難しいとか、記録がかけない等がでると、他の職員にしわ寄せが来ると思う。外国人に認知症の対応ができるのか疑問（身体介護だけではないので）
17	体験できる機会があれば良いと思います。
17	外国人に限ったことではないのですが、入居者様一人一人を知ろうと思う気持ちを持ってほしいと思います。私はグループホームに勤務しています。こちらの言うことをなかなか理解できない方も多くいます。言葉ではなく表情や態度、その人にとってどうすることが良いのかを考え接することが必要だと思います。多くの介護施設が人手不足と聞いています。実際、私の勤めているグループホームも人手が不足しています。資格ではないです。毎日楽しく共に働ける人はいかに入居者様に寄り添えることができるか？だと思のです。介護の仕事は大変ですが、仕事はどんな職種も大変です。介護職は大変だけど楽しくやりがいのある仕事だと思います。謙虚さと笑顔。これがうちのグループホームの目指すことです。お互いに理解し合って一緒に働けたら良いと思います。
17	同僚スタッフだけではなく会社、国が触れるべき課題であり、同スタッフが抱く外国人に対する差別しが生まれたいと思う。
17	昨年外国人受け入れの話があり、日本語指導を上司から勧められた。結局話は無くなった為負担はなかったが介護に関する指導だけではなく日本語習得のサポートを現場でしなくてはならないのは時間的余裕のない中で無理がある。
17	日本の常識、日本語を書く、読む、理解する。まずそこが出来ていないのに日本で働くのならコミュニケーションの少ない職場で働いてほしい。頭が悪くて忘れてしまうのは？返事が出来ないのは？やはり日本で働くという意味をわかってきてほしい。
17	すぐに帰国しなくても良い状況の下、安定した収入を得て働いて欲しい
17	日本を好意的に見てくださる事と、日本人の悪いところや日本の風習を良くも悪くも知識や自分で感じていただいて職務についていただきたい。
17	以前フィリピンの方と働いていましたが、技術はできても（漢字）、記録を書くことが難しい。また、読むことも難しいためスムーズな情報共有ができない。他にも色々ありますが、書ききれません。

サービス 種別	問6 (5)
17	自分勝手すぎでしない仕事が多いのに、他の人がしなかった事に関しては文句を言う等。一緒に仕事をしてフォローが多いので、体力的にも精神的にも疲れてしまう。本当は一緒に仕事をしたくない。負担が多すぎる。1人として考えられない。
17	違う国の介護の仕事に携わろうと考えてくださった事にとても感謝しています。（異文化を学ぶ）という事は容易なことではなく、言葉だけでない時代の背景や、その頃に流行したもの、ものすごく広範囲な勉強になると思います。もともとその国に住んでいる私達でさえ学校では習いきれない事が多く、現場で待っていますが、どうか簡単に諦めてしまわないで、一緒に頑張ってくださいと嬉しいです。
17	利用者（特に認知症）からすれば外国人を差別してしまったり、拒否もあるかもしれませんが、これからの時代多様な価値観を共有しやっていたら良いなあと思います。
17	日本語がわかる方
17	色々な施設を見て自分に合っていると思ったところで働いてほしいです。
17	人手不足は賃金の低さが一番の理由である。日本人がだめなら外国から引っ張って来ると言う発想がわからん！結局現場の人間がより一層大変になって離職へとつながる。現在の現場の手当をより一層暑くするのが先決。国は何もわかってない。
17	お互い様ですがせめて簡単な日本語は勉強してきてもらいたい
17	実際に一緒に働いたことがないので共に働く良さも多々あると思います。グループホームの中で認知症高齢者とのコミュニケーション方法は他職員にとっても良い刺激となる事も考えられます。これからの職員に必然的に雇用されていく時代なので常に頭に置いておくことが自分の役割としては大事と感じます。
17	どうか突然失踪してしまうことのないように・・・。異国での生活、労働は本当に苦勞することが多いと思います。何でも相談できる人や場を活用し1つでも悩みが少なくなるよう楽しく働けるよう願っています。
17	人材不足の業種であり、外国の方でも勤務してくれるとありがたい。
17	安い賃金で外国人を働かせようとしているのではないかと疑問を感じる。外国人を介護士として受け入れるお金があるのなら、介護士と看護師の年収を近づけるほうが先決ではないか。
17	趣味で英語の勉強をしているが、コミュニケーションを取れるまでの会話はまだ難しいので、もし必要になった時には是非研修などに参加したいです。
17	外国人介護の方も良いと思いますが、もっと日本人の賃金を上げて処遇を良くして介護福祉士の資格を持っていない方々を働いてもらうようにしてほしいです。
17	職場に入る前に（働く前に）、ある程度の日本の文化とマナーを研修しておいてほしいです。
17	介護職員に限らず、看護の職員の方も期間が短すぎだと思います。10年、20年とずっと働けるようになってほしいです。それに伴い、コミュニケーションも格段にスムーズになるはずですし、何より「使い捨て」のような発想に納得がいきません。
17	長期的に一緒に働いていただけるような制度設計が必要。
19	本人達のフォローをしてくれる人、（組織）があれば私もお互いに働きやすいと思う。
19	外国人介護職員も将来的に一緒に働いてもいいと思っている。（4）の研修や賃金・労働条件を日本人と同じにしてほしい。同一労働、同一賃金の立場より安上りの労働力として扱うと介護の質も下がると思う。
19	物を扱う仕事なら外国人は賛成だが、認知症の利用者や高齢者と関わりある仕事には向かないと思います。
20	時期尚早でないかと思う。高齢者を時短で労働力とした方が安心だし、お世話してもらって当たり前と考えている高齢者の意識も変わっていくと思う。
20	外国人介護職員受け入れよりも、給与を増やしてほしい。きつくて汚くて給料安いでは誰も働きたくないです。
20	他の職種のように安く使い身体を壊すまで働かせる事がないための法制度や金銭の応援を行政にしてもらいたい。気持ちよく長く働いてもらいたい。

サービス種別	問6 (5)
20	外国人の習慣・風習が違って、サービスに違いが出てくることは懸念されますが、本人達の受け入れ態勢があれば検討の余地はあると思います。それよりも日本人が働きたいと思える体制づくりを考えてほしいです。
20	人手が足りないから外国人を受け入れるよりも外国人も働きたいと思ってもらえるような待遇が必要なのでは
20	(4)の質問は外国人職員に向けての質問だと思います。日本で働くなら外国人が日本の文化・習慣をよく学ぶ必要があると思います。
20	受け入れる側の教育も必要と思います。
21	受け入れ前は不安要素が多く職員側も前向きではありませんでした。でも実際仕事をしているとこちら側が勉強させられる面も多々有り刺激になっています。利用者さんの表情も明るくなり、職場の雰囲気が変わりました。
21	現に入居者様から外国人から介護を受けたくないと直接聴いた事もあり、抵抗があると感じている。(利用者目線)スタッフとしては抵抗はあまりありません。
21	(4)全ての研修や支援策がほしい。
21	専門的な仕事なので専門用語や記録の仕方を学んで日本の文化や特長を理解していれば一緒に働けると思います。
21	職員不足の現状必要である。
21	最低限の日本の習慣などは学んでほしい。言葉もニュアンスまで理解してほしい。
21	この国の人が介護の仕事を望まない事で人材不足になるのなら海外の方のやる気のある方を入れていくべきだと思います。
21	介護助手としてなら大きなトラブルなく業務をこなせると思います。家事援助的な掃除、洗濯等。
21	外国の方の労働者に頼らず国内の労働者に目を向けてほしい。外国人労働者が当たり前になったら、ただでさえ少ない日本人介護従事者は更に減るように思われる。
21	今後増加する事になると思うので外国人のための専門学校があればいいと思います
21	日本で不安なことも多いと思うが、日本人を理解し対応してほしい。互いにそうだが、知ろうとする事、理解する気持ちを大切にしてほしい。
21	文化、習慣の違いはおあるていど理解できている方であれば良いとおもう。受け入れる側として日本人や日本の文化以外に慣れておくべきだ。
21	1人雇う事での費用の目安はどんなものなのか。居住費、支度金等、雇う側の負担の平均等知りたい。
21	2ニット型の施設で働いていますが1人の職員に対して10人の入居者をみるのは非常に大変です。ただ食事と排泄の介助をする毎日です。精神的にもきつい為もう介護はやりません。私のような人は今後もっと増えると思いますし悪循環です。この調査票ももっと意見が書ける枠を増やした方がいいのでは？ただ○をつけるだけで現場の状況がわかるのでしょうか。
21	外国人の手助けは今後必ず必要であるため、早めに受け入れ体制を整えていただきたい。間違いなくあと数年で深刻化する人員不足で、どこの施設も業務がまわらなくなり、更に介護離れにつながる可能性があり不安です。日本人も柔軟な考えが必要かと思います。もっと現実を知るべきだと思います。
21	現時点では特にないが、今後身近に関わってくることになるから何らかの気付いたこと等が出てくるかもしれない。
21	積極的に会話してほしい。日本語が間違っても大丈夫なので。
22	日本よりも少子化が進んでいる外国が多いので、外国人を活用してのマネジメント、カバナンスは無理ではないか。
22	施設(受け入れ側)の体制等の問題の有無を問わず、札幌市として外国人介護職員を増やしていく考えであるのであれば、どんどん研修生として強制的に受け入れてもらうよう働きかけ当たり前の社会を目指すべきと考えます。日本人よりもしっかり働かれるとも思います。
22	その人が頑張っているなら日本人も外国人も関係ない。
22	日本人と日本人で難しいのに、利用者として外国人職員の板挟みにあうのかと思うと少し働いていける自信がないです。
22	まずは日本人から介護職を増やすべきだと思います。日本の文化が分かり、利用者様の気持ちに少しでも寄り添えるから。お年寄りが不安に思うのでは？外国人に慣れていないので。

サービス種別	問6 (5)
22	指導側の負担軽減
22	雇用を義務化する。雇用することで一定の補助金が出る体制を検討して欲しい。
22	異文化も理解必要ですが日本人でも言えることですが指導をしっかりと聞き入れる姿勢が大切だと思います。
22	外国人を受け入れる側（施設等）の対応を十分に行っていかなければいけないと思う。施設側の職員にも外国人を受け入れる為の対応などの勉強会の開催。たとえば現在受け入れている施設の生の声を聞くなど。
22	色々な外国人が来ると、こちらでの対応を考えなくてはいけないので、今後言葉の壁などでコミュニケーションが少なくなり、こちらも勉強しないといけないと思います。
22	私はそう遠くはない未来と感じています。受け入れていきたいと考えています。
22	外国人と言っても人それぞれなので（日本人同様）本当に仕事でお金を稼ぐことに真剣な人、又、粘り強い人達を希望します。又、日本語の勉強はもちろんきてほしいと思います。日本文化も。
22	外国の方を受け入れ一緒に働ける事に楽しみはありますが、離職率の高さの原因を表面ではなく根本的に見てもらえる行政になってほしい。介護の仕事のみならず働いている人は使い捨ての道具じゃねーんだよ！！
22	仕事の技術よりも対人のコミュニケーションスキルが高い人材を育成してほしいです
22	日本人同士でも高齢者あるいは職場でのコミュニケーションや人間関係、信頼を得ることが難しい中で外国人との関係づくりはさらに難しくさせると思います。
22	日本人より努力している人が多い印象。受け入れに必要な事を整備して外国の人も働きやすい現場を作って欲しい。
22	人手不足なのでどんどん導入してほしい
22	外国人よりも日本人がどうやったら入職しようと希望するのか、考えて対策してほしい。
23	どの職種でも接遇に厳しいので日本人としてもままならない。私は外国人の方に細かな言葉のニュアンスが感じ取れるか心配です。正解がない仕事なので（個人個人違う方という意味で）。また、長く経験のあるスタッフとの人間関係も大変です。
23	好意的に受け止めているが、言葉の問題、介護の技術などの問題、文化・習慣の問題等心配なことも出てくる。
23	一緒に働いたことがないからわからないが、忙しい職場だと思うので早く慣れてもらえればよいかと（半年～1年位で?）
24	利用者様のコミュニケーションもそうですが働きやすい職場であるために日常会話程度のことばの学習は必要と思っています。私たちが努力しますが現在の勤務中の中では限られてくるので・・・。

4 . 調 査 票

3. 調査票

産業人材不足対策に資する介護人材不足対策に係る調査

■ 介護事業所向け調査票 ■

札幌市

※ このアンケート調査は、特に指定がない限り令和2年(2020年)1月1日現在の状況を、
管理者またはそれに準ずる方がご記入ください。

※ 札幌市経済観光局から健康医療分野の産業・サービス等に関する調査票が同時期に届く場合があります。調査目的が異なるため、大変お手数ですが、それぞれご回答くださいますようお願い申し上げます。

問1. 事業所についてお答えください。

(1) サービス種別

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション
6. 通所介護
7. 通所リハビリテーション
8. 短期入所生活介護
9. 短期入所療養介護
10. 特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護
11. 福祉用具貸与
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
13. 夜間対応型訪問介護
14. 地域密着型通所介護
15. 認知症対応型通所介護
16. 小規模多機能型居宅介護
17. 認知症対応型共同生活介護
18. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
19. 看護小規模多機能型居宅介護
20. 介護予防支援
21. 介護老人福祉施設入所者生活介護
22. 介護老人保健施設
23. 介護療養型医療施設
24. 介護医療院

(2) 利用者の登録人数または施設入所者数は何人ですか。

(訪問系・通所系・その他の場合) 登録人数 () 人

(居住系の場合) 施設入所者数 () 人

問2. 介護職(訪問介護員含む)についてお答えください。**(1) 介護職(訪問介護員含む)の配置人数は何人ですか**

※常勤換算数ではなく、実人数を記入して下さい

1. 配置人数 () 人 → (2) へ

2. 介護職(訪問介護員含む)はいない → 問3へ

(2) 安定的な運営に必要な介護職(訪問介護員含む)の人数

1. 現状で可 → (4) へ

2. あと () 人必要 ※常勤換算ではなく実人数 → (3) へ

(3) <(2)で2と回答した方のみ>不足する職員について、外国人介護人材を充てる予定はありますか。

1. 外国人介護人材を今すぐにでも採用したい(採用する予定である)

2. 将来的には検討しているが、まずは国内人材(日本人)の採用を優先したい

3. 外国人介護人材の採用予定はない

4. その他 ()

(4) 介護職(訪問介護員含む)の総数について

正規職員 () 人 非正規職員 () 人 ※常勤換算ではなく実人数

(5) 現在雇用している介護職(訪問介護員含む)の性別毎の人数(実数)について。

男性 () 人 女性 () 人 ※常勤換算ではなく実人数

(6) 介護職(訪問介護員含む)の平均年齢について

平均年齢 () 歳

(7) 介護職(訪問介護員含む)の有資格者数

※1人で複数所持している場合は全て計上してください

1. 介護福祉士 () 人

2. 実務者研修 () 人

3. 初任者研修 () 人

4. 旧ヘルパー1級 () 人

5. 旧ヘルパー2級 () 人

6. 旧介護職員基礎研修 () 人

(8) 直近1年間の介護職（訪問介護員含む）の採用率について

※計算式

2019年1月1日～12月31日までの採用者数 ()人・・・①

2018年12月31日の在籍者数 ()人・・・②

①÷②×100＝採用率 ()%

(9) 直近1年間の介護職（訪問介護員含む）の離職率について

※計算式

2019年1月1日～12月31日までの離職者数 ()人・・・①

2018年12月31日の在籍者数 ()人・・・②

①÷②×100＝離職率 ()%

(10) 介護職（訪問介護員含む）の平均在職年数

()年 ()か月 ※同法人内やグループ法人の異動は通算してください

(11) 派遣労働者の受入れについて ※労働者派遣法に基づき派遣会社から派遣された者

1. 介護職員 ()人

2. 訪問介護員 ()人

3. 看護職員 ()人

4. 一般事務 ()人

5. その他の職種（職種名：) ()人

(12) 職員の採用の単位

1. 事業所単位

2. 法人単位

3. その他 ()

(13) 介護職の採用対象範囲 ※1～5全てに回答してください。

1. 年齢 ・不問 ・()歳以上 ()歳以下

2. 性別 ・不問 ・男性のみ ・女性のみ

3. 学歴 ・不問 ・大学卒 ・短大卒 ・専門学校卒 ・高校卒

4. 資格 ・不問 ・介護福祉士 ・実務者研修 ・初任者研修 ・その他

5. 経歴 ・不問 ・実務経歴 ()年以上 ・その他

(14) 1年前と比較して職員の採用のしやすさ

1. 採用しにくくなった

4. やや採用しやすくなった

2. やや採用しにくくなった

5. 採用しやすくなった

3. 変わらない

6. 採用の機会はなかった

問4. 外国人介護人材についてお答えください。

(1) 外国人介護職員を雇用していますか

1. 現在雇用している → (2) へ
 2. 過去に雇用していた → (2) へ
 3. 雇用していない → (15) へ

※以下の設問は(1)で「1. 現在雇用している」「2. 過去に雇用していた」と回答した事業所がお答えください

(2) 雇用している又は雇用していた外国人介護職員の国籍、雇用人数、在留資格を記入してください

※国籍が同じで在留資格が別の場合は二段に分けて記載してください

国 籍	在留資格	人 数

(3) 外国人介護職員はどのくらいの期間従事していますか(していましたか)、期間ごとに人数をお答えください。

1. 1年未満 ()人 4. 3年以上4年未満 ()人
 2. 1年以上2年未満 ()人 5. 4年以上5年未満 ()人
 3. 2年以上3年未満 ()人 6. 5年以上 ()人

(4) 採用までの外国人介護職員特有の費用(日本人職員では発生しない費用)はどれくらいかかりましたか。(在留資格別、一人あたりの平均額)

在留資格 () () 円
 在留資格 () () 円
 在留資格 () () 円

(5) 採用後の外国人介護職員特有の費用(日本人職員では発生しない費用)はどれくらいかかっていますか。(在留資格別、一人あたりの月平均額)

在留資格 () () 円
 在留資格 () () 円
 在留資格 () () 円

(6) 外国人介護職員を雇用に至るまで何がたいへんでしたか。(複数回答可)

1. 採用方法や在留資格などの制度理解
2. 職場環境や設備など受け入れ環境の整備
3. 日本人職員の理解
4. サービスを受けている利用者の理解
5. 費用負担
6. その他 ()
7. 特になし

(7) 外国人介護職員に対し、独自に行っている(又は行っていた)支援策はありますか。

1. ある
- ※具体的に記入してください。複数ある場合は複数記入してください。

2. ない

(8) 外国人介護職員と一緒に働く日本人職員に対し、独自に行っている(又は行っていた)支援策はありますか。

1. ある
- ※具体的に記入してください。複数ある場合は複数記入してください。

2. ない

(9) 外国人介護職員が日常生活や業務の中で困っている(又は困っていた)と思われることはありますか(複数回答可)

1. 日本文化・社会への適応
2. 業務上の技術的なこと
3. コミュニケーション
4. 資格取得試験への対応
5. その他 ()
6. 特になし

産業人材不足対策に資する介護人材不足対策に係る調査

■介護労働者向け調査票■

札幌市

※ このアンケート調査は、特に指定がない限り令和2年(2020年)1月1日現在の状況を、事業所に勤務する介護関連職種(管理者以外)の方がご記入ください。

問1. 現在の仕事について

(1) あなたの主な職種は何ですか ※兼務している場合は常勤換算を目安にしてください。

1. 訪問介護員
2. サービス提供責任者
3. 看護職員
4. 介護職員
5. 生活相談員
6. 介護支援専門員
7. 理学療法士 (PT)・言語聴覚士 (OT)・作業療法士 (ST)
8. その他 ()

(2) あなたの就業形態はどちらですか

1. 正規職員 → (4) へ
2. 非正規職員 → (3) へ

(3) <(2)で2と回答した方のみ>今後、正規職員になることを希望していますか

1. 希望している
2. 希望していない
3. わからない

(4) 他の職種と兼務していますか、または他の介護事業所と掛け持ちしていますか

1. 自事業所内の他の職種と兼務している
2. 他の介護事業所と掛け持ちしている
3. 自事業所内の他の職種と兼務しているし、他の介護事業所と掛け持ちもしている
4. 兼務も掛け持ちもしていない

(5) あなたの主な職種の経験年数(他の法人での勤務を含む)

()年 ()か月

(6) 現在勤務している法人での勤続年数

()年 ()か月

問2. 勤務時間・賃金について**(1) 平均労働日数**

1週間の平均労働日数 () 日 ※小数点第1位まで

(2) 平均労働時間

残業時間を含んだ1週間の平均労働時間数 () 時間 () 分

(3) 平均残業時間

(2)のうち1週間の平均残業時間 () 時間 () 分

(4) 給与の支払形態

1. 時給 () 円
2. 日給 () 円
3. 月給
4. その他

(5) 1か月当たりの税込み月収

税込みで () 円 ※通勤手当・残業代・賞与除く

(6) 賞与の状況

1. 会社の制度として賞与の仕組みがある → (7) へ
2. 経営状況によって支払われることもある → (7) へ
3. 賞与はない → 問3へ
4. わからない → 問3へ

(7) 賞与の金額

税込みで () 円 ※平成31年1月～令和元年12月までの年間の合計金額

問4. 法人、事業所について

(1) あなたが働いている事業所の法人格について

- | | |
|-----------|------------------------|
| 1. 株式会社 | 7. 財団法人 |
| 2. 有限会社 | 8. 社団法人 |
| 3. 合同会社 | 9. NPO 法人 |
| 4. 合資会社 | 10. わからない |
| 5. 社会福祉法人 | 11. その他 () |
| 6. 医療法人 | |

(2) あなたが働いている事業所のサービス種別について

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション
6. 通所介護
7. 通所リハビリテーション
8. 短期入所生活介護
9. 短期入所療養介護
10. 特定施設入居者生活介護・地域密着型特定施設入居者生活介護
11. 福祉用具貸与
12. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
13. 夜間対応型訪問介護
14. 地域密着型通所介護
15. 認知症対応型通所介護
16. 小規模多機能型居宅介護
17. 認知症対応型共同生活介護
18. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
19. 看護小規模多機能型居宅介護
20. 介護予防支援
21. 介護老人福祉施設入所者生活介護
22. 介護老人保健施設
23. 介護療養型医療施設
24. 介護医療院

問5. あなた自身の仕事について

(1) 現在の法人に就職した理由（複数回答可）

1. やりたい仕事・職種であるから
2. 労働条件（勤務日数・勤務時間）が希望と合っていたから
3. 給与が高かったから
4. 経営が安定しているから
5. 通勤が便利だから
6. 資格・技術が活かせるから
7. 子育て支援が充実しているから
8. 家族や知人にすすめられたから
9. 特にない
10. その他（ ）

(2) 現在の法人に就職したきっかけ（複数回答可）

1. ハローワーク
2. 北海道福祉人材センター
3. 知人等の紹介
4. 新聞広告・折込チラシ
5. 合同企業説明会
6. 求人雑誌
7. 人材紹介会社
8. 法人や事業所のホームページ
9. ボランティア・実習
10. その他（ ）

(3) 学校卒業後、現在の勤務先（法人）に就職する前に仕事をしていましたか

1. していた → (4) へ
2. していない → (6) へ

(4) 現在の勤務先の前の仕事（複数回答可）

1. 介護以外の職場
2. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設
3. 訪問介護・入浴、夜間対応型
4. 小多機、看多機、定期巡回サービス
5. 通所介護、通所リハ、認知症デイ
6. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外）
7. その他の介護サービス

(5) (4) の仕事を辞めた理由 (複数回答可)

1. 給与
2. 職場の人間関係
3. 新しい資格を取得
4. 法人の理念や運営のあり方に不満
5. 家族の介護・看護
6. 結婚・育児
7. 病気・高齢
8. 人員整理、勧奨退職、法人解散
9. 自分には向かない
10. 家族の転勤・転職
11. その他 ()

(6) 性別

1. 男
2. 女

(7) 年齢

() 歳

問6. 外国人介護職員について**(1) あなたの職場に外国人介護職員はいますか**

1. いる (「過去にいた」も含む)
2. いない

(2) 外国人介護職員と一緒に働くことに関してどう感じていますか

1. 好意的に受けとめている
2. どちらかといえば好意的に受けとめている
3. どちらかといえば好意的に受けとめていない
4. 好意的に受けとめていない
5. わからない

選択した理由を記入してください。

()

(3) 外国人介護職員と働く中で何か困っていることはありますか。(1)で「2. いない」を選択した方は今後外国人介護職員と一緒に働くことになった場合、心配なことはありますか。
(複数回答可)

1. 特にない
2. 言葉でのコミュニケーション
3. 外国人介護職員の技術レベル
4. 文化、習慣の違い
5. 利用者の反応
6. 日本人職員の負担増(外国人職員への指導等による)
7. その他()

(4) 外国人介護職員と一緒に働くにあたり、どのような支援策があれば活用したいですか(複数回答可)

1. 外国語の研修
2. 異文化への理解を深める研修
3. 指導方法に関する研修
4. コミュニケーションに関する研修
5. その他()

(5) 外国人介護職員に関して意見・要望があれば記入してください。(自由記載)

ご協力ありがとうございました。

調査票は同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに

2月14日(金)までに投函してください